

山口県立萩美術館・浦上記念館年報

平成 8～13年

ANNUAL REPORT
1996～2001
HAGI URAGAMI MUSEUM

目 次

山口県立萩美術館・浦上記念館の沿革	4
山口県立萩美術館・浦上記念館の概要	5
I 事 業	7
1 展覧会事業	7
(1) 特別展示	9
(2) 平常展示	160
(3) 特別展示室展示	189
(4) 和風展示室展示	191
2 教育普及事業	193
(1) 美術講座	194
(2) こどものミュージアム・スクール	196
(3) ギャラリー・トーク	199
(4) 季刊誌「萩」	202
(5) ウェブ・サイト	207
(6) アート・ドキュメンタリー	208
(7) 特別展示の記念講演会	211
(8) 博物館実習	217
3 調査研究事業	219
4 収集事業	223
(1) 館蔵品貸出利用状況	225
(2) 作品収集	230
II 入館者	287
III 関係法規	289
IV 運営組織	295

山口県立萩美術館・浦上記念館の沿革

山口県立萩美術館・浦上記念館は、平成5年5月に、萩市出身の美術品収集家・浦上敏朗氏から浮世絵・東洋陶磁のコレクションを山口県が寄贈を受けたことを契機に、氏の郷里・萩市に整備設置することとなった。

平成4年4月 企画部県民生活課に「文化振興班」設置

平成5年5月 山口県立萩美術館・浦上記念館（仮称）整備基本構想策定
(内 容)

- I 山口県立萩美術館・浦上記念館（仮称）の整備に向けて
 - 1 萩美術館・浦上記念館整備の背景
 - 2 萩地域における文化的状況
 - 3 新美術館の果たす役割
 - 4 既存の県立美術館との連携
- II 萩美術館・浦上記念館の整備構想
 - 1 萩美術館・浦上記念館の設置目的
 - 2 萩美術館・浦上記念館の建設場所
 - 3 萩美術館・浦上記念館の事業と活動
- III 施設の内容について
 - 1 施設の規模及び様式
 - 2 施設の機能
- IV 管理・運営について
 - 1 基本方針
 - 2 運営形態と設置主体
 - 3 組織と職員
 - 4 運営協議会
 - 5 相互連携

平成5年6月 萩美術館・浦上記念館（仮称）建設基本計画策定

(内 容)

- I 基本理念
- II 各種計画の基本的方向
 - 1 環境計画
 - 2 配置計画
 - 3 景観計画
 - 4 アプローチ計画
 - 5 交通・サービス計画
- III 建設の計画
 - 1 施設の基本的方向
 - 2 施設の概要と規模

平成5年～平成6年 基本設計及び実施設計

平成6年4月1日 教育庁文化課内に
「萩美術館・浦上記念館開設準備室」設置

平成6年10月21日 着工

平成8年3月27日 竣工

平成8年4月1日 萩美術館・浦上記念館設置

平成8年10月14日 開館

山口県立萩美術館・浦上記念館の概要

萩美術館・浦上記念館は、平成8年10月14日に、2館目の県立美術館として開館した。
浮世絵版画約5,000点、東洋陶磁約400点を所蔵。

I 施設概要

1 施設

- | | |
|-----------|---|
| (1) 敷地面積 | 11,747m ² |
| (2) 建築面積 | 3,194m ² (鉄筋コンクリート造、地下1階 地上2階) |
| (3) 延床面積 | 4,990m ² |
| (4) 常設展示室 | 441m ² |
| (5) 企画展示室 | 721m ² |
| (6) 収蔵庫 | 590m ² |
| (7) 図書室 | 73m ² |
| (8) 講座室 | 139m ² |
| (9) その他 | 身障者用トイレ、身障者用エレベーター、車椅子（3台）、授乳室 |

2 所管及び管理

県教育委員会 文化財保護課 直営

3 開館時間等

- | | |
|------------|---------------------|
| (1) 開館時間 | 9:00～17:00 |
| (2) 定期休館日 | 月曜日（祝日の場合は翌日） |
| (3) 年末年始休館 | 12月26日～1月2日（平成13年度） |

4 駐車場 普通車 50台

5 サービス施設

- | | | |
|----------|-------------------|----|
| (1) 喫茶 | 131m ² | 民間 |
| (2) ショップ | 68m ² | 民間 |

II 事業概要

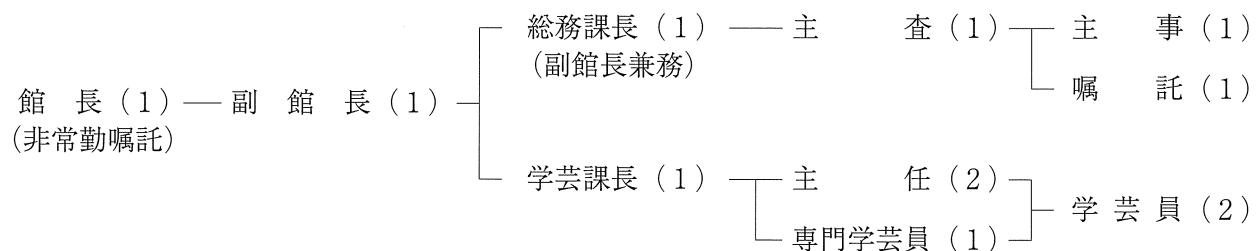
1 事業方針

- ・山口県の北浦地域において、新しい地域文化振興の発信拠点にふさわしい、浮世絵と東洋陶磁を核とした、高い専門性と機能を有する特色ある美術館として多様な活動を展開する。
- ・展示活動としては、県民の多様なニーズに応えるため、浮世絵と東洋陶磁の平常展示を軸に、関連のある企画展（特別展示）を年間数回開催する。
- ・また、教育普及事業としては、平常展示に関連する「美術講座」の開催や子どもたちを対象とした「ミュージアムスクール」などを積極的に行う。
- ・調査研究事業にあっては、学芸員個々の専門分野（領域）を中心に、着実な調査研究活動を進め、展覧会を含めた美術館事業に結実させるとともに、各種展覧会（特別展示）における専門的研究を積極的に行う。
- ・収集事業については、浮世絵と中国・朝鮮陶磁を主体とした美術品の収集を体系的かつ継続的に実施する。

2 観覧料

- | | |
|----------|---|
| (1) 平常展示 | 一般：190円、160円（団体） |
| | 学生：120円、100円（団体） |
| (2) 特別展示 | 展覧会ごとに定める。 |
| (3) その他 | 70歳以上と18歳以下の方、及び高等学校、中等教育学校、盲学校、聾学校、養護学校に在学する生徒は無料。 |

III 組織 (H13. 4. 1)



I 事業

1 展覽会事業

(1) 特別展示

当館は浮世絵と東洋陶磁を収集の2本の柱とする専門美術館である。従って、展覧会事業においても浮世絵と東洋陶磁に関する展示を核にする。

特別展示においては、浮世絵、東洋陶磁に直接関連するテーマ性の高い展覧会の他に、上記展示の観点に基づいた、浮世絵および東洋陶磁に関連する幅広いジャンル、テーマの展覧会を行い、展示の振幅を拡大し、浮世絵ファン、陶磁器ファンのみならず、広く県民のニーズに対応する多彩な展覧会事業を展開している。

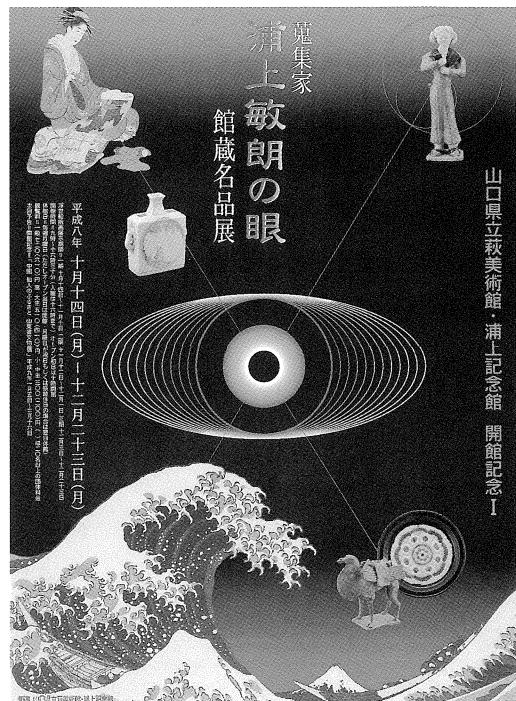
また、山東省との共催展（山東省文物展、シリーズ山東文物など）も当館の特別展示の根幹の一つである。この事業は、1996年に締結された『山東省文化庁と山口県教育委員会の今後の文物及び考古研究分野の友好協力に関する意向書』に基づくもので、「シリーズ山東文物」は、陶磁器や陶磁器の祖形としての青銅器、さらには中国文化そのものを理解するために、わかりやすい個別的、具体的なテーマを選ぶことを基本的な構想としている。山東省は中国古代文化の発祥の地で、大汶口文化、龍山文化などの中国陶磁史上の重要な文化が栄えた地域である。今後、山東省との学術的な文化交流事業を継続展開することは、本館の活動をより深く、より幅広いものにすると期待される。

開館記念Ⅰ 薦集家 浦上敏朗の眼 一館蔵名品展

会期 平成8(1996)年10月14日(月)～12月23日(月)

会場 展示室1・2・3・4・5・6(全館)

主催 山口県立萩美術館・浦上記念館



(1) 趣旨

山口県立萩美術館・浦上記念館は、浦上コレクション(浮世絵版画約2,000点、中国陶磁230点、朝鮮陶磁86点、中国青銅器ほか43点)をもとに設立された。

ここでいう、浦上コレクションとは、萩市出身の実業家浦上敏朗氏(1926年～)が40年間近くにわたって蒐集した美術品群のうち、非常に愛着の強かったジャンルの美術品を中心に、平成5(1993)年に山口県へ一括して寄贈されたコレクションを指す。これは、日本美術史やヨーロッパ近代絵画史においても貴重な浮世絵版画と、学術的にも価値の高い中国と朝鮮の古陶磁を包含していることで、個人の蒐集家によるものとしては質、量ともに充実したコレクションといえる。

本展覧会は、浦上敏朗氏が、自身の寄贈コレクション、当館設立の趣旨に賛同された方々からの寄贈美術品、および本県購入の美術品のなかから、厳選したもので構成されている。錦絵以降の浮世絵の展開が概観できる版画195点、新石器時代から明時代までの中国陶磁154点、高麗時代から朝鮮時代までの朝鮮陶磁79点、計428点を展示する大規模な開館記念展を開催することで、当館収蔵品の性格を明確に示した。

(2) カタログ

《浮世絵版画篇》

構成 浦上敏朗

編集・発行 山口県立萩美術館・浦上記念館

内容 ごあいさつ 山口県立萩美術館・浦上記念館

山口県立萩美術館・浦上記念館の開館にあたって 浦上敏朗

謝辞

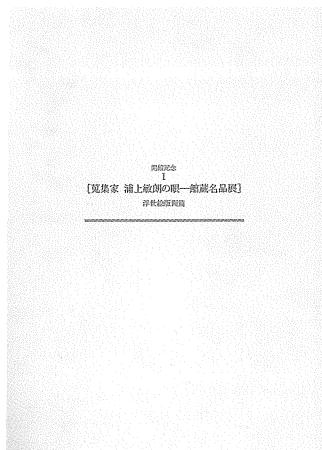
浦上さんと浮世絵収集への情熱 鈴木重三

浮世絵の特質とその展開 小林 忠

初代豊国と歌川派 佐藤光信

[図版・作品略解篇]

作品解説 (執筆:芳賀淑子)



[資料篇]

出品浮世絵師在世表
出品浮世絵師略伝 (執筆:芳賀淑子)
浮世絵版画の標準寸法、浮世絵版画の制作工程
用語解説 (執筆:芳賀淑子)
主要参考文献一覧
出品作品一覧
体裁 A4判 268ページ

《中国・朝鮮陶磁篇》

構成 浦上敏朗
編集・発行 山口県立萩美術館・浦上記念館
内容 ごあいさつ 山口県立萩美術館・浦上記念館
山口県立萩美術館・浦上記念館の開館にあたって 浦上敏朗
謝辞
浦上コレクションの中国・朝鮮陶磁 長谷部樂爾
中国陶磁の展開 西田宏子
朝鮮陶磁の流れ 伊藤郁太郎
中国陶磁 [図版・作品略解]
中国史略年表
中国主要窯址略図
扉解説・作品解説 (執筆:石崎泰之)
朝鮮陶磁 [図版・作品略解]
朝鮮史略年表
朝鮮主要窯址略図
扉解説・作品解説 (執筆:榎本 徹)
主要参考文献一覧
出品作品一覧 (データ作成:上田秀夫)

体裁 A4判 232ページ

開館記念
【美術家 浦上敏朗の贈—館藏名品展】
中国・朝鮮陶磁篇

(3) 記念講演会

日時 平成8(1996)年10月14日(月) 13:00~15:30

演題・講師

「浦上コレクションの浮世絵版画」鈴木重三(近世文芸研究家)
「浦上コレクションの東洋陶磁」長谷部樂爾(恵泉女子大学教授)

(4) 出品目録

出品番号	作品名	作家名	判型	形態	制作年代	館蔵品番号
1	坐鋪八景 鏡台の秋月	鈴木春信	中判	錦絵	明和2年(1765)頃	U 3 (TU)
2	浮世美人寄花 山しろや内はついと 萩	鈴木春信	中判	錦絵	明和6~7年(1769~1770)	U 4 (TU)
3	舟遊び男女	鈴木春信	中判	錦絵	明和3~7年(1766~1770)	U 5 (TU)
4	腰付馬で遊ぶ男児	鈴木春信	中判	錦絵	明和3~7年(1766~1770)	U 6 (TU)
5	風流六哥仙 大伴黒主	鈴木春信	中判	錦絵	明和5~6年(1768~1769)	U 7 (TU)
6	月を見る美人	鈴木春信	中判	錦絵	明和3~7年(1766~1770)	U 8 (TU)
7	草履かくし	鈴木春信	中判	錦絵	明和3~7年(1766~1770)	U 9 (TU)
8	五条大橋 牛若丸と弁慶	鈴木春信	中判	錦絵	明和2~7年(1765~1770)	U 10 (TU)
9	寺小姓と上葛	鈴木春信	横中判	錦絵	明和2~7年(1765~1770)	U 11 (TU)
10	蚊帳	司馬江漢	中判	錦絵	明和7年(1770)頃	U 12 (TU)
11	高野乃玉川	司馬江漢	中判	錦絵	明和6~7年(1770~1771)頃	U 1896 (TU)
12	影絵遊び	作者未詳	中判	錦絵	明和末期	U 13 (TU)
13	風流四季の色 冬	磯田湖龍斎	中判	錦絵	安永	U 18 (TU)
14	風流十二支 戌	磯田湖龍斎	中判	錦絵	安永	U 2202 (TU)
15	釈迦ヶ嶽と美女	磯田湖龍斎	柱絵判	錦絵	明和末~安永期頃	U 2259
16	嫖客と太夫(見立雁金五人男)	磯田湖龍斎	中判	錦絵(5枚続の内)	安永9年(1780)頃	U 14 (TU)
17	雛形若菜の初模様 がくたはらや内れん山	磯田湖龍斎	大判	錦絵	安永5年(1776)頃	U 15 (TU)
18	雛形若菜の初模様 松かねや内あづまや わかき わかば	磯田湖龍斎	大判	錦絵	安永	U 17 (TU)
19	雛形若菜初模様 松葉屋内染之介	磯田湖龍斎	大判	錦絵	安永	U 16 (TU)
20	初世尾上菊五郎の松風	一筆斎文調	細判	錦絵	明和7年(1770)	U 19 (TU)
21	摂州一之谷鶴越平家追伐八嶋檀浦合戦之図	北尾重政	横大々判	錦絵	明和~安永頃	U 2533
22	小野川喜三郎 谷鳳梶之助 木村庄之助	勝川春章	横大々判	錦絵	天明初~寛政初期	U 2009 (DC)
23	中村仲蔵 三世大谷広次 二世中村助五郎	勝川春章	細判	錦絵(5枚続の内3枚)	明和後期	U 2001 (DC)
24	二世山下金作 五世市川団十郎	勝川春章	間判	錦絵	安永8~9年(1779~1780)頃	U 20 (TU)
25	三世瀬川菊之丞の頭巾の女	勝川春章	細判	錦絵	安永期	U 21 (TU)
26	中村仲蔵の狐忠信	勝川春章	細判	錦絵	天明7年(1787)	U 22 (TU)
27	唐人酒宴図	勝川春章	中判	錦絵	明和~安永	U 2451
28	唐人採蓮図	勝川春章	中判	錦絵	明和~安永	U 2452
29	尾上松助 五世市川団十郎 二世市川門之助	勝川春好	細判	錦絵3枚続	安永末期	U 2004 (DC)
30	二世市川門之助	勝川春好	細判	錦絵	天明後期	U 27 (TU)
31	三世沢村宗十郎	勝川春好	細判	錦絵	天明後期	U 26 (TU)
32	隈取 二世市川門之助	勝川春好	細判	錦絵	天明後期	U 28 (TU)
33	大相撲土俵入り	勝川春英	大判	錦絵3枚続	寛政頃	U 2261
34	娘道成寺	勝川春英	細判	錦絵3枚続	寛政8年(1796)	U 29 (TU)
35	浮世七小町 閑寺	鳥居清長	中判	錦絵	安永9年(1780)頃	U 41 (TU)
36	中村里好と遊女	鳥居清長	間判	錦絵	天明2年(1782)頃	U 32 (TU)
37	少女玉花子の席書	鳥居清長	中判	錦絵	天明3年(1783)	U 33 (TU)
38	当世遊里美人合 蚊帳の内外	鳥居清長	大判	錦絵	天明4年(1784)	U 34 (TU)
39	風俗東之錦 汐汲	鳥居清長	大判	錦絵	天明4年(1784)頃	U 35 (TU)
40	五節遊 雛祭	鳥居清長	中判	錦絵	天明5年(1785)頃	U 36 (TU)
41	出語図 四天王大江山入	鳥居清長	大判	錦絵	天明5年(1785)	U 37 (TU)
42	大坂新町西楓屋琴鶴太夫 りきの ふじの	鳥居清長	大判	錦絵	天明6年(1786)頃	U 38 (TU)
43	童女と人形	鳥居清長	細判	錦絵	天明	U 39 (TU)
44	金太郎 鳶上げ	鳥居清長	大判	錦絵	寛政期	U 40 (TU)
45	東錦美人合 口紅をつける芸者	鳥居清峰	大判	錦絵	文化	U 43 (TU)
46	青楼仁和嘉女芸者部 大万度 荻江 おいよ 竹次	喜多川歌麿	大判	錦絵	天明3年(1783)	U 63 (TU)
47	煙草を吸う女	喜多川歌麿	大判	錦絵	寛政4~5年(1792~1793)	U 44 (TU)
48	難波屋おきた	喜多川歌麿	大判	錦絵	寛政4~5年(1792~1793)頃	U 45 (TU)
49	おきたとおひさの首引き	喜多川歌麿	横大判	錦絵	寛政5年頃(1793)	U 46 (TU)
50	松葉屋内喜瀬川 たけの さゝの	喜多川歌麿	大判	錦絵	文化末期~寛政初期頃	U 1801 (TU)

51	青楼十二時 孎ノ刻	喜多川歌麿	大判	錦絵	寛政6年(1794)頃	U 2005 (TU)
52	青楼七小町 扇屋内瀧川 男なみ 女なみ	喜多川歌麿	大判	錦絵	寛政6~7年(1794~1795)頃	U 47 (TU)
53	写シ上手本絵の姿見 四睡之図	喜多川歌麿	大判	錦絵	寛政10~12年(1798~1800)頃	U 62 (TU)
54	千話鏡月の村雲 契情清川 かりかね文七 雷り庄九郎	喜多川歌麿	大判	錦絵	寛政10~12年(1798~1800)頃	U 49 (TU)
55	鏡台前の母子	喜多川歌麿	大判	錦絵	寛政11~12年(1799~1800)頃	U 55 (TU)
56	文字樓一と本	喜多川歌麿	大判	錦絵	寛政後期	U 50 (TU)
57	青楼六家選 松葉屋粧ひ	喜多川歌麿	大判	錦絵	享和1~2年(1801~1802)頃	U 54 (TU)
58	忠臣蔵 七段目	喜多川歌麿	大判	錦絵	享和1~2年(1801~1802)頃	U 57 (TU)
59	山姥と金太郎 煙草のけむり	喜多川歌麿	大判	錦絵	享和1~3年(1801~1803)頃	U 51 (TU)
60	山姥と金太郎 耳そうじ	喜多川歌麿	大判	錦絵	享和1~3年(1801~1803)頃	U 52 (TU)
61	団扇を持つ娘	喜多川歌麿	大判	錦絵	享和初期	U 53 (TU)
62	教訓親の目鑑 正直者	喜多川歌麿	大判	錦絵	享和2年(1802)頃	U 1802 (TU)
63	松葉屋内瀧川 市川	喜多川歌麿	大判	錦絵	享和初期	U 58 (TU)
64	母子図 たらい遊	喜多川歌麿	大判	錦絵	享和	U 59 (TU)
65	夏衣裳当世美人 荒木仕入の織島向キ	喜多川歌麿	大判	錦絵	文化1~3年(1804~1806)頃	U 60 (TU)
66	美人草花顔見せ 中万字屋内中川 萩	二代喜多川歌麿	大判	錦絵	文化6年(1809)頃	U 1803 (TU)
67	六玉川月眉墨 蚊帳	二代喜多川歌麿	大判	錦絵	文化	U 2208 (TU)
68	全盛花姿画 卷二 松葉屋内市川 たまも みつも	喜多川月麿	大判	錦絵	文化1年(1804)	U 65 (TU)
69	三世市川高麗藏の志賀大七	東洲斎写楽	大判	錦絵	寛政6年(1794)	U 66 (TU)
70	二世中島三甫右衛門と中村富十郎	東洲斎写楽	豎間判	錦絵(2枚続の内)	寛政6年(1794)	U 2007 (DC)
71	四ツ目屋うち七町 すまの あかし	鳥文斎栄之	大判	錦絵	寛政1年(1789)	U 67 (TU)
72	六歌仙 業平	鳥文斎栄之	大判	錦絵	天明末期	U 68 (TU)
73	青楼美人六花仙 松葉屋喜瀬川	鳥文斎栄之	大判	錦絵	寛政6~7年(1794~1795)頃	U 69 (TU)
74	青楼美人六花仙 角玉屋小紫	鳥文斎栄之	大判	錦絵	寛政6~7年(1794~1795)頃	U 70 (TU)
75	鸚鵡小町	鳥文斎栄之	間判	錦絵	寛政後期	U 71 (TU)
76	郭中美人競 笹屋春日野	鳥高斎栄昌	大判	錦絵	寛政7~8年(1795~1796)頃	U 74 (TU)
77	三勝 半七 お園	一楽亭栄水	大判	錦絵	寛政末期	U 75 (TU)
78	六玉川 野田の玉川	窪俊満	大判	錦絵(6枚続の内)	天明末期	U 76 (TU)
79	六玉川 野路の玉川	窪俊満	大判	錦絵(6枚続の内)	天明末期	U 77 (TU)
80	貴人の屋敷	勝川春山	大判	錦絵3枚続	寛政	U 78 (TU)
81	浮絵 新吉原惣仕舞之図	歌川豊春	横大判	錦絵	安永頃	U 2203 (TU)
82	新板浮絵忠臣蔵夜打之図	歌川豊春	横大々判	錦絵	安永頃	U 2450
83	夏 金魚鉢を持つ美人	歌川豊廣	大判	錦絵	享和	U 103 (TU)
84	永代橋上の美人たち	歌川豊国	大判	錦絵	寛政1年(1789)	U 83 (TU)
85	新版風流五節句遊 正月	歌川豊国	横大判	錦絵(3枚続の内)	寛政初期	U 84 (TU)
86	三世市川八百蔵	歌川豊国	大判	錦絵	寛政10年(1798)頃	U 86 (TU)
87	出村新兵衛 沢村宗十郎 玉や新兵衛 市川八百蔵	歌川豊国	大判	錦絵	寛政10年(1798)	U 87 (TU)
88	初世松本米三郎	歌川豊国	大判	錦絵	寛政11年(1799)頃	U 85 (TU)
89	夏の富士美人合	歌川豊国	大判	錦絵	寛政末期	U 98 (TU)
90	十二枚続 初時鳥の図	歌川豊国	大判	錦絵	文化末期	U 95 (TU)
91	五人美女	歌川豊国	大判	錦絵	文政1年(1818)	U 90 (TU)
92	初世岩井絹三郎	歌川国政	大判	錦絵	寛政8年(1796)	U 101 (TU)
93	こしもとまかき 松本米三良 下部つま平 市川男女蔵	歌川国政	大判	錦絵	寛政10年(1798)	U 102 (TU)
94	ゑびす講大盃や明からす 南北	勝川春扇	大判	錦絵	文化頃	U 81 (TU)
95	隅田川 渡の雪	葛飾北斎	横大判	錦絵	享和~文化初期	U 106 (TU)
96	風流無くてな、くせ 遠眼鏡	葛飾北斎	大判	錦絵	享和期頃	U 105 (TU)
97	吉原妓楼の図	葛飾北斎	大判	錦絵5枚続	文化8年(1811)頃	U 142 (TU)
98	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2~5年(1831~1834)	U 107 (TU)
99	富嶽三十六景 山下白雨	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2~5年(1831~1834)	U 108 (TU)
100	富嶽三十六景 相州七里浜	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2~5年(1831~1834)	U 113 (TU)
101	富嶽三十六景 甲州石班沢	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2~5年(1831~1834)	U 114 (TU)

102	富嶽三十六景 東海道江尻田子の浦略図	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2~5年 (1831~1834)	U 124 (TU)
103	富嶽三十六景 御厩川岸より両国橋夕陽見	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2~5年 (1831~1834)	U 119 (TU)
104	富嶽三十六景 尾州不二見原	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2~5年 (1831~1834)	U 112 (TU)
105	富嶽三十六景 遠江山中	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2~5年 (1831~1834)	U 118 (TU)
106	諸国名橋奇覧 足利行道山くものかけはし	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834) 頃	U 131 (TU)
107	諸国名橋奇覧 すほうの国きんたいはし	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834) 頃	U 132 (TU)
108	諸国瀧廻り 木曾海道小野ノ瀑布	葛飾北斎	大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834) 頃	U 129 (TU)
109	諸国瀧廻り 和州吉野義経馬洗滝	葛飾北斎	堅大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834) 頃	U 130 (TU)
110	百物語 こはだ小平二	葛飾北斎	中判	錦絵	天保2~3年 (1831~1832) 頃	U 144 (TU)
111	百物語さらやしき	葛飾北斎	中判	錦絵	天保2~3年 (1831~1832) 頃	U 145 (TU)
112	東都両国之風景	昇亭北寿	横大判	錦絵	文化~文政期頃	U 165 (TU)
113	上総九十九里地引網大漁獵正写之図	昇亭北寿	横大判	錦絵	文化~文政期頃	U 166 (TU)
114	江戸の華役者ひいき 濑川路晩	菊川英山	大判	錦絵	文化初期	U 171 (TU)
115	吉原の花	菊川英山	大判	錦絵	文化9年 (1812) 頃	U 175 (TU)
116	大井川渡し	菊川英山	大判	錦絵3枚続	文化6~7年 (1809~1810) 頃	U 174 (TU)
117	青楼十二時 夜亥の刻 玉屋内しら糸 おとわたきの	菊川英山	大判	錦絵	文化9年 (1812) 頃	U 180 (TU)
118	風流雪月花 月	菊川英山	大判	錦絵	文化末期	U 172 (TU)
119	青楼行事八景 居続乃暮雪	菊川英山	大判	錦絵	文化末期~文政初期	U 177 (TU)
120	美艶仙女香 朝霞	溪齋英泉	大判	錦絵	文政3~5年 (1820~1822)	U 186 (TU)
121	浮世風俗美女競 看花復飲酒 酔臥落花園	溪齋英泉	大判	錦絵	文政5年 (1822) 頃	U 185 (TU)
122	当世好物八契 けん酒	溪齋英泉	横大判	錦絵	文政6年 (1823)	U 189 (TU)
123	今世姿 傘美人	溪齋英泉	横大判	錦絵	文政後期~天保初期	U 187 (TU)
124	掛川宿 廿七	溪齋英泉	大判	錦絵	天保13年 (1842)	U 201 (TU)
125	周防岩国錦帶橋之図	溪齋英泉	横大判	錦絵	文政~天保頃	U 2539 (TU)
126	日光山名所之内 華厳之瀧 三瀧之其一景	溪齋英泉	大判	錦絵	弘化	U 212 (TU)
127	宝船七福神	溪齋英泉	大判	錦絵3枚続	天保末期	U 214 (TU)
128	衣更着 王子詣	歌川国貞	大判	錦絵3枚続	文化末期	U 225 (TU)
129	当世三十二相 世事がよさ相	歌川国貞	大判	錦絵	文政前期	U 227 (TU)
130	当世三十二相 はやりさふ	歌川国貞	大判	錦絵	文政前期	U 228 (TU)
131	当世美人合 かこゐ	歌川国貞	大判	錦絵	文政12年 (1829) 頃	U 221 (TU)
132	当世美人合 身じまい芸者	歌川国貞	大判	錦絵	文政12年 (1829) 頃	U 220 (TU)
133	今風化粧鏡 はみがき	歌川国貞	大判	錦絵	文政6年 (1823) 頃	U 1894 (TU)
134	今風化粧鏡 髪すき	歌川国貞	大判	錦絵	文政6年 (1823) 頃	U 1895 (TU)
135	紅毛油絵名所尽 不忍池弁天	歌川国貞	横大判	錦絵	文政末期	U 1893 (TU)
136	紅毛油絵名所尽 錦帶橋	歌川国貞	横大判	錦絵	文政末期	U 263 (TU)
137	江戸両国橋間のすみ	歌川国貞	大判	錦絵3枚続	文政初期	U 244 (TU)
138	夕立景	歌川国貞	大判	錦絵3枚続	文政中期	U 2389 (TU)
139	謎織当世島 吊り舟	歌川国貞	大判	錦絵	弘化初期	U 301 (TU)
140	梅の由兵衛 三代目沢村宗十郎 諭子	歌川国貞	大判	錦絵	文久3年 (1863)	U 2246
141	東都三ツ股の図	歌川国芳	横大判	錦絵	天保初期	U 400 (TU)
142	東都富士見三十六景 佃沖晴天の不二	歌川国芳	横大判	錦絵	弘化1年 (1844) 頃	U 413 (TU)
143	東都富士見三十六景 新大はし橋下の眺望	歌川国芳	横大判	錦絵	弘化1年 (1844) 頃	U 414 (TU)
144	猫の当字 なまづ	歌川国芳	大判	錦絵	天保末期~弘化初期	U 513 (TU)
145	相馬の古内裏	歌川国芳	大判	錦絵3枚続	弘化	U 429 (TU)
146	讃岐院眷属をして為朝をすくふ図	歌川国芳	大判	錦絵3枚続	嘉永3~5年 (1850~1852)	U 533 (TU)
147	大江山酒呑童子	歌川国芳	大判	錦絵3枚続	嘉永	U 534 (TU)
148	荷宝蔵壁のむだ書 (黄腰壁)	歌川国芳	大判	錦絵3枚組	弘化4年 (1847) 頃	U 523 (TU)
149	荷宝蔵壁のむだ書 (黒腰壁)	歌川国芳	大判	錦絵2枚組	嘉永1年 (1848) 頃	U 524 (TU)
150	としよりのよふな若い人だ	歌川国芳	大判	錦絵	弘化末期~嘉永期	U 431 (TU)
151	見立明けがらす	歌川国芳	団扇絵判	錦絵	嘉永	U 440 (TU)
152	謎染好の色取 あい見る茶	歌川国芳	団扇絵判	錦絵	嘉永6年 (1853)	U 579 (TU)
153	暑中の夕立	歌川国芳	大判	錦絵3枚続	嘉永	U 575 (TU)
154	松にいんこ	歌川広重	大短冊判	錦絵	天保1~2年 (1830~1831) 頃	U 779 (TU)
155	牡丹	歌川広重	横中判	錦絵	天保中期	U 1892 (TU)

156	東海道五十三次之内 日本橋 朝之景	歌川広重	横大判	錦絵	天保3~5年 (1832~1834)	U 817 (TU)
157	東海道五十三次之内 庄野 白雨	歌川広重	横大判	錦絵	天保3~5年 (1832~1834)	U 862 (TU)
158	東海道五十三次之内 蒲原 夜之雪	歌川広重	横大判	錦絵	天保3~5年 (1832~1834)	U 832 (TU)
159	京都名所之内 あらし山満花	歌川広重	横大判	錦絵	天保5年 (1834) 頃	U 800 (TU)
160	京都名所之内 祇園社雪中	歌川広重	横大判	錦絵	天保5年 (1834) 頃	U 798 (TU)
161	京都名所之内 淀川	歌川広重	横大判	錦絵	天保5年 (1834) 頃	U 799 (TU)
162	本朝名所 相州江ノ島岩屋之図	歌川広重	横大判	錦絵	天保3年 (1832) 頃	U 2248
163	本朝名所 駿州富士川渡船之図	歌川広重	横大判	錦絵	天保3年 (1832) 頃	U 2249
164	本朝名所 遠州秋葉山	歌川広重	横大判	錦絵	天保10年 (1838) 頃	U 2252
165	木曾海道六十九次之内 宮ノ越	歌川広重	横大判	錦絵	天保後期	U 809 (TU)
166	木曾海道六十九次之内 軽井沢	歌川広重	横大判	錦絵	天保中期	U 811 (TU)
167	木曾海道六十九次之内 大井	歌川広重	横大判	錦絵	天保中期	U 2258
168	甲陽猿橋之図	歌川広重	大判	錦絵巻2枚続	天保13年 (1842) 頃	U 2008 (DC)
169	東都名所 両国夕すみ	歌川広重	大判	錦絵3枚続	弘化末期～嘉永初期	U 1076 (TU)
170	信州更科田毎乃月	歌川広重	大判	錦絵3枚続	嘉永6年 (1853)	U 794 (TU)
171	隅田堤闇夜の桜	歌川広重	大判	錦絵3枚続	嘉永初期	U 790 (TU)
172	木曾路之山川	歌川広重	大判	錦絵 (5枚続きの内3枚)	安政4年 (1857)	U 796 (TU)
173	名所江戸百景 大はしあたけの夕立	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 993 (TU)
174	名所江戸百景 亀戸梅屋舗	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 970 (TU)
175	名所江戸百景 王子表束ゑの木大晦日の狐火	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 1059 (TU)
176	名所江戸百景 赤坂桐烟雨中夕けい	二代歌川広重	大判	錦絵	安政6年 (1859)	U 989 (TU)
177	諸国名所百景 薩州枕崎海門ヶ嶽寿星踊	二代歌川広重	大判	錦絵	安政6年 (1859)	U 1087 (TU)
178	諸国名所百景 周防岩国錦帯橋	二代歌川広重	大判	錦絵	安政6年 (1859)	U 1080 (TU)
179	龍虎	歌川貞秀	大判	錦絵3枚続	安政5年 (1858)	U 1188 (TU)
180	見たて似たかきん魚	落合芳幾	大判	錦絵3枚続	文久3年 (1863)	U 1172 (TU)
181	岩見重太郎妖怪退治	月岡芳年	大判	錦絵3枚続	慶応1年 (1865)	U 1603 (TU)
182	鳥井又助 市川小団次	月岡芳年	大判	錦絵	万延1年 (1860)	U 1614 (TU)
183	奥州安達がはらひとつ家の図	月岡芳年	大判	錦絵巻2枚続	明治18年 (1885)	U 1604 (TU)
184	九世市川団十郎 弁慶	月岡芳年	大判	錦絵3枚続	明治23年 (1890)	U 2010 (SA)
185	雪月花の内 花 御所五郎蔵 市川左団次	月岡芳年	大判	錦絵3枚続	明治23年 (1890)	U 1633 (TU)
186	風俗参十二相 遊歩がしたそう 明治年間 妻君之風俗	月岡芳年	大判	錦絵	明治21年 (1888)	U 1500 (TU)
187	東風俗年中行事 四月	楊洲周延	大判	錦絵	明治23年 (1890)	U 1453 (TU)
188	東京新大橋雨中図	小林清親	横大判	錦絵	明治9年 (1876)	U 1253 (TU)
189	今戸の月	小林清親	横大判	錦絵	明治10年 (1877) 頃	U 1250 (TU)
190	箱根三枚橋雨	小林清親	横大判	錦絵	明治14年 (1881) 頃	U 1251 (TU)
191	浅草橋雨中之景	井上安治	横大判	錦絵	明治14年 (1881)	U 1261 (TU)
192	肌競花の勝姫湯	豊原国周	大判	錦絵3枚続	明治1年 (1868)	U 1303 (TU)
193	貴顕演劇遊覧図	井上安治	大判	錦絵3枚続	明治20年 (1887)	U 1897 (TU)
194	墨堤の渡船	楊洲周延	大判	錦絵3枚続	明治28年 (1895)	U 1454 (TU)
195	西東舞子嘉代 大坂舞子一鶴 東京芸妓小吉	小林清親	大判	錦絵	明治10年 (1877) 頃	U 2019 (SA)

出品番号	作品名	員数	生産窯	製作年代 (時代または時期)	西暦 (世紀)	館藏品番号
1	彩陶双耳尖底瓶	1		馬家窯文化	前3100-1700	T 348
2	彩陶双耳壺	1		馬家窯文化	前3100-1700	T 89 (TU)
3	彩陶双耳小壺	1		馬家窯文化	前3100-1700	T 88 (TU)
4	彩陶双耳壺	1		馬家窯文化	前3100-1700	T 91 (TU)
5	白陶鬹	1		大汶口文化	前30-24世紀	T 333
6	白陶鬹	1		龍山文化	前24-20世紀	T 334
7	黑陶高脚杯	1		龍山文化	前24-20世紀	T 335
8	黑陶鼎	1		戰国時代	前5-3世紀	T 336
9	灰釉印文遊環獸耳壺	1	原始瓷器	戰国時代	前5-3世紀	T 350
10	灰釉線刻文双耳壺	1	原始瓷器	戰国時代	前5-3世紀	T 339
11	灰釉印文紐鐘 (大)	1		戰国時代	前5-3世紀	T 340

11	灰釉印文紐鐘（中）	1	戰國時代	前5-3世紀	T 341
11	灰釉印文紐鐘（小）	1	戰國時代	前5-3世紀	T 342
12	加彩雙耳熊足有蓋壺	1	前漢	紀元前3-後1世紀	T 113 (TU)
13	灰陶家	1	前漢	紀元前3-後1世紀	T 114 (TU)
13	黑陶雙耳壺	1	理番文化	前3世紀	T 351
15	灰釉刻鳥文雙耳壺	1	原始瓷器	前3世紀-後1世紀	T 343
16	褐釉熊足鼎	1	後漢	1-3世紀	T 344
17	綠褐釉犬	1	後漢	1-3世紀	T 354
18	綠釉犬	1	後漢	1-3世紀	T 121 (TU)
19	綠釉狩獵文壺	1	後漢	1-3世紀	T 93 (TU)
20	綠釉狩獵文溫酒尊	1	後漢	1-3世紀	T 110 (TU)
21	綠釉人物文溫酒尊	1	後漢	1-3世紀	T 352
22	綠釉狩獵文博山爐	1	後漢	1-3世紀	T 353
23	青磁神亭壺	1	越州窯	三国（魏、蜀、吳）～西晉	T 337
24	青磁鐵斑文鷄頭壺	1	越州窯	東晉	T 126 (TU)
25	黑釉天鵝壺	1	德清窯	東晉	T 125 (TU)
26	青磁蓮瓣文四耳壺	1	越窯系	南朝	T 127 (TU)
27	加彩馬	1		南北朝	T 131 (浦上満氏寄贈)
28	加彩牛	1		南北朝	T 132 (TU)
29	加彩駱駝	1		南北朝	T 133 (浦上満氏寄贈)
30	加彩文官俑	1		南北朝	T 134 (TU)
31	青磁四耳壺	1	北方青磁	隋	T 345
32	白磁長頸瓶	1		隋～唐	T 135 (TU)
33	白磁有蓋万年壺	1		唐	T 144 (TU)
34	加彩婦人坐俑	1		唐	T 154 (TU)
35	加彩文官俑	1		唐	T 152 (TU)
36	加彩婦人俑	1		唐	T 155 (TU)
37	加彩騎馬鷹匠俑	1		唐	T 151 (TU)
38	三彩騎馬女子俑	1		唐	T 156 (TU)
39	藍三彩女子俑	1		唐	T 157 (TU)
40	黃釉龍耳瓶	1		唐	T 139 (TU)
41	藍三彩有蓋万年壺	1		唐	T 346
42	三彩長頸瓶	1		唐	T 141 (TU)
43	藍三彩寶相華文三足盤	1		唐	T 140 (TU)
44	藍三彩兔形腕枕	1		唐	T 142 (TU)
45	褐釉羊	1		隋～唐	T 136 (TU)
46	黃褐釉豬	1		唐	T 158 (TU)
47	三彩家鴨	1		唐	T 145 (TU)
	三彩家鴨	1		唐	T 146 (TU)
48	白磁小壺	1		唐	T 175 (TU)
49	藍彩小壺	1		唐	T 170 (TU)
50	黃釉小壺	1		唐	T 182 (TU)
51	綠褐釉杯	1		唐	T 160 (TU)
52	綠釉杯	1		唐	T 159 (TU)
53	三彩杯	1		唐	T 161 (TU)
54	黃釉紋胎碗	1		唐	T 176 (TU)
55	三彩印花碗	1		唐	T 177 (TU)
56	三彩手付杯	1		唐	T 162 (TU)
57	三彩手付小壺	1		唐	T 171 (TU)
58	三彩獅子口小水注	1		唐	T 185 (TU)
59	藍三彩小水注	1		唐	T 172 (TU)
60	綠彩小水注	1		唐	T 173 (TU)
61	三彩有蓋小壺	1		唐	T 169 (TU)

62	綠釉小壺	1	唐	8世紀頃	T 178 (TU)	
63	三彩合子	1	唐	8世紀頃	T 164 (TU)	
64	三彩合子	1	唐	8世紀頃	T 166 (TU)	
65	綠彩合子	1	唐	8世紀頃	T 165 (TU)	
66	藍釉合子	1	唐	8世紀頃	T 163 (TU)	
67	黑釉合子	1	唐	8世紀頃	T 167 (TU)	
68	黃釉鉄繪鳳凰文水注	1	長沙窯	唐末五代	9-10世紀	T 143 (TU)
69	青磁有蓋夾耳壺	1	越州窯	五代	9-10世紀	T 338
70	白磁鐵斑蝶文合子	1		五代	10世紀頃	T 168 (TU)
71	白磁合子	1	定窯	五代~北宋	10世紀	T 249 (TU)
72	白磁有蓋小壺	1	定窯	北宋	11-12世紀	T 250 (TU)
73	褐釉龍首水注	1		五代~北宋（または遼）	10世紀	T 202 (TU)
74	綠釉唐草文皮囊壺	1		遼	10世紀頃	T 196 (TU)
75	黃褐釉皮囊壺	1		遼	11世紀	T 195 (TU)
76	黃褐釉広口長頸瓶	1		遼	10世紀頃	T 203 (TU)
77	三彩花文稜花長盤	1		遼	10世紀頃	T 186 (TU)
78	三彩花文皿	1		遼	11世紀頃	T 188 (TU)
79	三彩花文皿	1		遼	11世紀頃	T 187 (TU)
80	綠彩花文皿	1		遼	11世紀頃	T 189 (TU)
81	青白磁唐子唐草文鉢	1	景德鎮窯	北宋	11-12世紀	T 232 (TU)
82	青白磁輪花杯	1	景德鎮窯	北宋	11-12世紀	T 233 (TU)
83	青白磁輪花托	1	景德鎮窯	北宋	11-12世紀	T 234 (TU)
84	青白磁刻線文合子	1	景德鎮窯	宋	11-12世紀	T 238 (TU)
85	青白磁七宝繫文合子	1	景德鎮窯	北宋	11-12世紀	T 239 (TU)
86	青磁花文盤	1	耀州窯	北宋	12世紀	T 242 (TU)
87	青磁波魚文碗	1	耀州窯	北宋	11-12世紀	T 244 (TU)
88	月白釉盤	1	鈞窯	北宋~金	12-13世紀	T 347
89	澱青釉紅斑文杯	1	鈞窯	北宋~金	12-13世紀	T 247 (TU)
90	紫紅釉碗	1	鈞窯	北宋~金	12-13世紀	T 246 (TU)
91	褐釉合子	1		北宋~金	11-12世紀	T 218 (TU)
92	褐釉有蓋碗	1		北宋~金	11-12世紀	T 220 (TU)
93	黑褐釉碗	1		北宋~金	11-12世紀	T 221 (TU)
94	褐釉壺	1		北宋~金	11-12世紀	T 227 (TU)
95	黑釉双耳壺	1	河南天目	北宋~金	12-13世紀	T 211 (TU)
96	黑釉錫斑文瓶	1	河南天目	金	12-13世紀	T 210 (TU)
97	黑釉錫斑文碗	1		北宋~金	12-13世紀	T 216 (TU)
98	黑釉錫斑文鉢	1		北宋~金	11-12世紀	T 214 (TU)
99	黑釉刻花蓮華文壺	1		北宋~金	12-13世紀	T 208 (TU)
100	白釉鉄繪牡丹文瓶	1	磁州窯系	北宋~金	11-12世紀	T 252 (TU)
101	白釉刻花兔文枕	1	磁州窯系	北宋~金	12世紀	T 257 (TU)
102	三彩花文皿	1	磁州窯系	金~元	13-14世紀	T 259 (TU)
103	三彩魚文皿	1	磁州窯系	金~元	13-14世紀	T 258 (TU)
104	禾目天目碗	1	建窯	南宋頃	12-13世紀	T 226 (TU)
105	玳玻天目碗	1	吉州窯	南宋頃	12-13世紀	T 223 (TU)
106	梅花天目碗	1	吉州窯	南宋頃	12-13世紀	T 228 (TU)
107	青磁劃花文鉢	1	越州窯	北宋	11世紀	T 245 (TU)
108	青磁双魚文盤	1	龍泉窯	南宋	13-14世紀	T 241 (TU)
109	青磁牡丹唐草文瓶	1	龍泉窯	南宋~元	13-14世紀	T 240 (TU)
110	青磁牡丹文水注	1	龍泉窯	元~明	14-15世紀	T 270 (TU)
111	青花鳳凰文瓶	1	景德鎮窯	元	14世紀	T 260 (TU)
112	法花蓮華文壺	1		明	15-16世紀	T 263 (TU)
113	法花蓮華文洗	1		明	15-16世紀	T 261 (TU)
114	法花蓮華文洗	1		明	15-16世紀	T 262 (TU)
115	五彩龍文角鉢	1	景德鎮官窯	明 嘉靖在銘	1522-1566	T 269 (TU)
116	五彩龍文壺	1	景德鎮官窯	明 萬曆在銘	1573-1620	T 273 (TU)

117	五彩虎人物文杯	1	景德鎮官窯	明 萬曆在銘	1573-1620	T 271 (TU)
118	青花龍鳳文杯	1	景德鎮官窯	明 萬曆在銘	1573-1620	T 272 (TU)
119	五彩梅樹文角瓶	1		明	17世紀	T 318 (TU)
120	青花騎象唐子文鉢	1	古染付	明	17世紀	T 281 (TU)
121	青花蝦蔓仙人文輪花鉢	1	古染付	明	17世紀	T 282 (TU)
122	青花指月羅漢文皿	1	古染付	明	17世紀	T 285 (TU)
123	青花持塔羅漢文皿	1	古染付	明	17世紀	T 286 (TU)
124	青花仙人渡海文皿	1	古染付	明	17世紀	T 288 (TU)
125	青花釣人文皿	1	古染付	明	17世紀	T 298 (TU)
126	青花唐子遊文皿	1	古染付	明	17世紀頃	T 300 (TU)
127	青花八仙人文八角皿	1	古染付	明	17世紀	T 280 (TU)
128	青花山水文八角皿	1	古染付	明	17世紀	T 283 (TU)
129	青花若松碁盤文皿	1	古染付	明	17世紀	T 293 (TU)
130	青花算木文皿	1	古染付	明	17世紀	T 302 (TU)
131	青花蛇の目文皿	1	古染付	明	17世紀	T 355
132	青花吹墨玉兔文皿	1	古染付	明	17世紀	T 287 (TU)
133	青花兔文皿	1	古染付	明	17世紀	T 295 (TU)
134	青花釉裏紅兔文皿	1	古染付	明	17世紀	T 294 (TU)
135	青花梅鶯春字文皿	1	古染付	明	17世紀	T 296 (TU)
136	青花岩上鷺文皿	1	古染付	明	17世紀	T 290 (TU)
137	青花松竹鳥文皿	1	古染付	明	17世紀	T 291 (TU)
138	青花虎文皿	1	古染付	明	17世紀	T 308 (TU)
139	青花吹墨蛙文皿	1	古染付	明	17世紀	T 305 (TU)
	青花吹墨蛙文皿	1	古染付	明	17世紀	T 306 (TU)
140	青花蘇鐵文皿	1	古染付	明	17世紀	T 297 (TU)
141	青花葡萄栗鼠文皿	1	古染付	明	17世紀	T 289 (TU)
142	青花四牛文皿	1	古染付	明	17世紀	T 292 (TU)
143	青花石疊文合子	1	古染付	明	17世紀	T 314 (TU)
144	青花山水人物文碗	1	古染付	明	17世紀	T 313 (TU)
145	青花芦雁文筒碗	1	古染付	明	17世紀	T 315 (TU)
146	青花麦藁手筒碗	1	古染付	明	17世紀	T 356
	青花麦藁手筒碗	1	古染付	明	17世紀	T 357
147	五彩山水樓閣文盤	1	吳須手	明	17世紀	T 278 (TU)
148	五彩帆船羅針盤文盤	1	吳須手	明	17世紀	T 277 (TU)
149	青磁鉢	1		高麗	11-12世紀	T 6 (TU)
150	青磁陰刻鸚鵡文鉢	1		高麗	12世紀頃	T 4 (TU)
151	青磁瓜形水注	1		高麗	11-12世紀	T 7 (TU)
152	青磁象嵌牡丹文碗	1		高麗	12世紀頃	T 3 (TU)
153	青磁象嵌菊花文四耳壺	1		高麗	12世紀頃	T 5 (TU)
154	青磁鉄絵草文瓶	1		高麗	13-14世紀	T 13 (TU)
155	青磁象嵌菊花文合子	1		高麗	12世紀頃	T 2 (TU)
156	青磁象嵌菊花文有蓋小壺	1		高麗	12世紀頃	T 8 (TU)
157	青磁象嵌菊花文有蓋小壺	1		高麗	12世紀頃	T 9 (TU)
158	青磁象嵌菊花文松葉形合子	1		高麗	12世紀頃	T 1 (TU)
159	青磁象嵌菊花文葉器	1		高麗	12世紀頃	T 10 (TU)
160	青磁象嵌菊花文龍耳杯	1		高麗	12-13世紀	T 11 (TU)
161	黒釉扁壺	1		朝鮮	15世紀頃	T 14 (TU)
162	粉青沙器印花双魚文皿	1		朝鮮	15-16世紀	T 52 (TU)
163	粉青沙器印花蝶文鉢	1		朝鮮	15世紀	T 48 (TU)
164	粉青沙器印花菊花文鉢	1		朝鮮	15世紀頃	T 47 (TU)
165	粉青沙器印花菊花文瓶	1		朝鮮	15世紀頃	T 46 (TU)
166	粉青沙器搔落蓮華文瓶	1		朝鮮	15世紀頃	T 44 (TU)
167	粉青沙器搔落牡丹文扁壺	1		朝鮮	15-16世紀	T 43 (TU)
168	粉青沙器線刻花文扁壺	1		朝鮮	15世紀頃	T 41 (TU)
169	粉青沙器線刻魚文扁壺	1		朝鮮	15世紀頃	T 42 (TU)

170	粉青沙器線刻線條文壺	1	朝鮮	15-16世紀	T 45 (TU)
171	白磁象嵌蓮華文碗	1	朝鮮	15世紀	T 84 (TU)
172	粉青沙器鉄絵草文碗	1	鷄龍山窯	朝鮮 15-16世紀	T 65 (TU)
173	粉青沙器鉄絵草文瓶	1	鷄龍山窯	朝鮮 15-16世紀	T 64 (TU)
174	白磁鉄砂草文壺	1	朝鮮	17世紀	T 58 (TU)
175	白磁壺	1	朝鮮	15世紀	T 53 (TU)
176	白磁有蓋壺	1	朝鮮	15世紀	T 54 (TU)
177	白磁扁壺	1	朝鮮	17世紀	T 55 (TU)
178	白磁鎬文鉢	1	朝鮮	18-19世紀	T 56 (TU)
179	白磁陽刻龍文筆筒	1	朝鮮	18世紀	T 57 (TU)
180	青花祭字四方祭器	1	朝鮮	18世紀	T 78 (TU)
181	青花葡萄栗鼠文壺	1	朝鮮	18世紀	T 75 (TU)
182	青花葡萄栗鼠文壺	1	朝鮮	18世紀	T 76 (TU)
183	青花栗文壺	1	朝鮮	18-19世紀	T 74 (TU)
184	青花山水人物文角瓶	1	朝鮮	18世紀	T 77 (TU)
185	青花月兔文栗鼠耳角扁壺	1	朝鮮	18世紀	T 79 (TU)
186	青花花卉文瓶	1	朝鮮	18-19世紀	T 71 (TU)
187	青花山水人物文瓶	1	朝鮮	18-19世紀	T 73 (TU)
188	青花龜甲文瓶	1	朝鮮	19世紀	T 70 (TU)
189	青花山水人物文瓶	1	朝鮮	18-19世紀	T 68 (TU)
190	青花鷺文瓶	1	朝鮮	18-19世紀	T 69 (TU)
191	青花鶴文瓶	1	朝鮮	18-19世紀	T 72 (TU)
192	青花辰砂梅鶴文瓶	1	朝鮮	18-19世紀	T 67 (TU)
193	瑠璃釉十長生文角瓶	1	朝鮮	18-19世紀	T 80 (TU)
194	飴釉面取瓶	1	朝鮮	18-19世紀	T 60 (TU)
195	白磁縦鉄砂宝尽文瓶	1	朝鮮	18-19世紀	T 62 (TU)
196	青花辰砂牡丹文鉢	1	朝鮮	19世紀	T 66 (TU)
197	青花菊花蝶文鉢	1	朝鮮	19世紀	T 81 (TU)
198	半使茶碗	1	朝鮮	17世紀	T 87 (TU)
199	青花馬上人物文皿	1	朝鮮	18世紀	T 15 (TU)
200	青花鯰魚文皿	1	朝鮮	19世紀	T 17 (TU)
201	青花玄武文皿	1	朝鮮	19世紀	T 19 (TU)
202	青花芭蕉寿字文皿	1	朝鮮	19世紀	T 18 (TU)
203	青花花格子文皿	1	朝鮮	19世紀	T 20 (TU)
204	青花寿字格子文皿	1	朝鮮	19世紀	T 21 (TU)
205	青花寿字文菊皿	1	朝鮮	18-19世紀	T 23 (TU)
206	青花文房具文六角皿	1	朝鮮	19世紀	T 16 (TU)
207	青花怪石文角皿	1	朝鮮	19世紀	T 22 (TU)
208	青花吉祥文角皿（五客）	5	朝鮮	19世紀	T 24 (TU)
209	粉青沙器粉引耳杯	1	朝鮮	15-16世紀	T 83 (TU)
210	白磁耳杯	1	朝鮮	15世紀	T 82 (TU)
211	白磁鉄砂菊花文小壺	1	朝鮮	16世紀	T 59 (TU)
212	白磁宝珠形水滴	1	朝鮮	15-16世紀	T 34 (TU)
213	白磁丸水滴	1	朝鮮	18-19世紀	T 33 (TU)
214	青花山水人物文角水滴	1	朝鮮	18世紀	T 37 (TU)
215	青花松樹虎文角水滴	1	朝鮮	18-19世紀	T 26 (TU)
216	青花樹下兔文角水滴	1	朝鮮	18-19世紀	T 25 (TU)
217	青花水禽文角形水滴	1	朝鮮	18-19世紀	T 27 (TU)
218	青花梅竹文蛙口角水滴	1	朝鮮	18世紀	T 28 (TU)
219	青花更紗文角水滴	1	朝鮮	19世紀	T 29 (TU)
220	青花花文六角水滴	1	朝鮮	19世紀	T 36 (TU)
221	青花辰砂桃形水滴	1	朝鮮	19世紀	T 35 (TU)
222	白磁家形水滴	1	朝鮮	18-19世紀	T 32 (TU)
223	鉄釉家形水滴	1	朝鮮	18-19世紀	T 30 (TU)

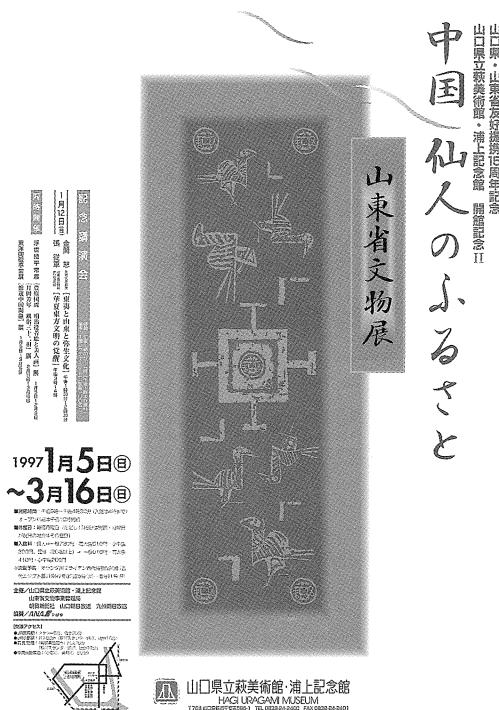
開館記念Ⅱ 『中国 仙人のふるさと—山東省文物展—』

会期 平成9（1997）年1月5日(日)～3月16日(日)

会場 展示室3・4・6

主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、
山東省文物事業管理局、朝日新聞社、
山口朝日放送、九州朝日放送

後援 全日空



（1）趣旨

開館記念第2弾の展覧会として、「中国 仙人のふるさと—山東省文物展—」を開催した。山東省は孔子の故郷、魯国の地として著名であり、また、始皇帝の命を受けた徐福が不老長寿の仙薬を求めて蓬萊の地へと旅立った所でもある。

孔子が生れた紀元前6世紀頃、中国は春秋戦国時代という動乱の時代であり、やがて登場する秦・漢という強大な統一国家への胎動期に当たっていた。同じ頃、わが国でも縄文時代から弥生時代へという大きな画期を経て、各地にクニが誕生していく。弥生時代の歴史も、大陸の動きと無関係ではない。山東省では、わが国の縄文時代頃に大汶口文化と呼ぶ文化が栄え、続いて章丘市龍山鎮の城子崖遺跡で発見された龍山文化が花開く。また、春秋戦国時代には春秋五霸、戦国七雄の1つに唱われた齊という大国があり、秦の統一まで中国東方の中心地として繁栄していた。

この展覧会は、山東省文化庁、省文物事業管理局、省文物考古研究所の全面的な協力を得、近年山東省で発見された、1級文物11点を含む、春秋戦国時代から漢代にかけての日本初公開の文物168点を展示し、弥生時代と前後する時期の中国の華麗な文化の一端を紹介した。

（2）カタログ

監修 金闕 恕

企画 山口県立萩美術館・浦上記念館、大阪府立弥生文化博物館、
山東省文物事業管理局

編集 大阪府立弥生文化博物館

発行 山口県立萩美術館・浦上記念館

内容 ごあいさつ 主催者

前言と祝辞 山東省長 李 春亭

はじめに 天理大学教授 金闕 恕

図版

「霸と礼楽—春秋戦国時代—

— 霸權の時代 宮野淳一



二 臨淄の繁栄 森井貞雄
 漢帝国の東方世界－前漢～新～後漢－
 一 漢帝国の成立 宮崎泰史
 二 描かれた神仙世界 渡辺昌宏
 山東古代文化と日本 宮野淳一
 特別論考
 東方の風 張 徒軍
 漆浪郡と漢代の山東－弥生時代史の一背景 谷 豊信
 論考・エッセイ
 山東省における大型墓の変遷 渡辺昌宏
 陶磁概説－春秋時代から漢時代の陶磁 上田秀夫
 山東半島と弥生文化のつながり－廟島列島の
 南長山島で出土した青銅器の画像紋から考える－ 金闕 恕
 作品解説 山東省文物事業管理局、山東省文物考古研究所
 解説・コラム 大阪府立弥生文化博物館学芸課
 体裁 A4判 144ページ

(3) 記念講演会

日時 平成9（1997）年1月12日(日) 13:00～15:30
 13:00～14:00
 演題 「東夷と山東と弥生文化」
 講師 金闕 恕（天理大学教授）
 14:30～15:30
 演題 「華夏東方文明の覚醒」
 講師 張 徒軍（山東省文物局弁公室主任）

(4) ギャラリーツアー

日時 平成9（1997）年1月11日(土)、2月8日(土) 11:00～12:00
 担当 上田秀夫（学芸課長）

(5) 出品目録

番号	指定	名称	数量	時代	出土遺跡・地点	出土年	法量(cm)	所蔵
1		銅扁鑄	2	春秋	臨淄区淄河店	1990	大：通高77.6 口長径65.5 短径46.5 小：通高68.9 口長径51 短径45	文物考古研究所
2		銅背壺	1	春秋	臨淄区東古墓	1975	高20.4 寬13.2 厚9.4	临沂濱城博物館
3		呉王夫差劍	1	春秋	鄒城朱山庄	1991	長60 寬5 柄長9.8	鄒城文物局
4		銅牛首鳳尾飾件	1	春秋	沂水劉家店子	1978	長29 尾寬13.2	文物考古研究所
5	一級文物	銅鳳頭斤	1	春秋	臨沂鳳凰嶺	1982	幅11.6 寬2.9 長11.1	文物考古研究所
6		銅鋗形壺	1	春秋	莒県干家溝村	1988	高34.6 口徑8.2 底徑9	莒縣博物館
7		銅鋗	1	春秋	莒県崔家峪	1975	高18.5 長35	文物考古研究所
8	一級文物	銅提梁壺	1	春秋	滕州薛城	1978	高22 口長6.8 寬4	濟寧市博物館
9		銅孟	1	春秋	滕州薛城	1978	高17.5 腹徑17	濟寧市博物館
10		銅方壺	1	春秋	長清仙人台	1995	通高63 口長20.2 寬15.5 腹徑33.5	山東大學歴史系
11		銅飾鳥支架	1	春秋	長清仙人台	1995	通高48.5 底辺長13	山東大學歴史系
12	一級文物	銅孟	1	春秋	海陽賈子前	1994	口徑69.5 高37 重36kg	海陽県博物館
13		銅帷架构件	27	戰國	長清崗辛	1977	転角柱支座：高7.5 辺長17.4 転角柱頭：長7.1 寬4.5 厚3.5 帷拘：長3.1 寬0.7 厚0.5	文物考古研究所

14	一級文物	彩繪樂舞陶俑	38	戰國	章丘女郎山	1990	歌唱俑：1件·高7.9 舞俑：10件·高約7.6 演奏俑：5件·高約8.8 鑑賞俑：10件·高約8 祥鳥俑：8件·高約8.9	文物考古研究所
15		鎏金鋪首·金盒	2	戰國	臨淄区大夫觀墓 臨淄区九小墓	1979 1992	鋪首：長3.9厚1.4重34.38g 盒：高1.3直徑2.7重13.2g	文物考古研究所
16		銅鋸削·銅削	2	戰國	臨淄区勇士区墓	1992	鋸削：長21.1 削：長22.2	文物考古研究所
17		銅鷹首匝	1	戰國	臨淄区勇士区墓	1992	高9.8口長徑17.9直徑16.3	文物考古研究所
18		銅箕	1	戰國	臨淄区勇士区墓	1992	長30.1寬34.8高9.1	文物考古研究所
19	一級文物	銅套餐具	8	戰國	臨淄区勇士区墓	1992	壺：1件·高24.5腹徑24.1底徑15.5 碗：1件·高8.3口徑22.5 盤：1件·高4.3口徑20.6 碟：2件·大·高4.2口徑20.9 小·高1.8口徑9.6 花邊盤：1件·高3.5長21.4口徑17.5 盒：1件·高4.2口徑15.4 耳坏：1件·高2.2長0.8寬10.1	文物考古研究所
20		銀盒	1	戰國	臨淄区勇士区墓	1979	高9.3口徑27	文物考古研究所
21		銀匙	2	戰國	臨淄区勇士区墓	1992	長26.3頭寬4.5	文物考古研究所
22		銅人形足方爐	1	戰國	臨淄区商王村	1992	高40.8口徑長34.8底徑長30.8	淄博市博物館
23		銅燎爐	1	戰國	臨淄区商王村	1992	高19口徑20.4底徑16	淄博市博物館
24		銅鳥形柄灯	1	戰國	臨淄区商王村	1992	高13.2口徑16.6足徑11.8	淄博市博物館
25		銅雁足灯	1	戰國	臨淄区商王村	1992	高36盤口徑24	淄博市博物館
26		銅吸酒器	1	戰國	臨淄区商王村	1992	長65.4球徑7.2柄徑1.4	淄博市博物館
27		銅蒜頭壺	1	戰國	臨淄区商王村	1992	高42口徑4.1足徑13.3	淄博市博物館
28		銅高柄提梁壺	1	戰國	臨淄区商王村	1992	高22口徑7.5足徑9.2	淄博市博物館
29		銅尊形杯	1	戰國	臨淄区商王村	1992	高26.8口徑9.8底徑6.8	淄博市博物館
30		銅豆形杯	1	戰國	臨淄区商王村	1992	高20.8口徑9.6足徑11.6	淄博市博物館
31		銀耳杯	2	戰國	臨淄区商王村	1992	高5.2口徑14.17.8底徑5.7-10.6	淄博市博物館
32	一級文物	白玉龍虎佩	1	戰國	臨淄区商王村	1992	長7.9寬4.3厚0.35	淄博市博物館
33	一級文物	玉瑗	1	戰國	臨淄区商王村	1992	長11寬10.5厚0.3	淄博市博物館
34	一級文物	玉璜	1	戰國	臨淄区商王村	1992	長12.5寬5.6厚0.3	淄博市博物館
35		銅量	2	戰國	臨淄区劉家村	1992	大：通長24.2高10.1口徑13.9 小：通長14.8高6.1口徑8.1	文物考古研究所
36		陶量	1	戰國	鄒城紀王城	1951	高33口徑30.6底徑22.9	山東省博物館
37		半兩錢范·五朱錢范	2	西漢	章丘東平陵城 莒縣東關	1975 1988	半兩范：長28.7寬11厚1.8 五朱范：殘長20.5寬13厚1.6	章丘博物館 莒縣博物館
38		閔內候金印	1	西漢	新泰東石萊	1976	高2.1口徑2.4重134.3g	山東省博物館
39		劉庇瑪瑙印	1	西漢	臨沂洪家店	1978	高1.6長2.3重16.2g	臨沂市博物館
40		鎏金熊支座	1	西漢	臨淄区稷山墓	1985	高4.5寬4厚3.2重51g	齊故城博物館
41		銅臼	1	西漢	臨淄区稷山墓	1985	高11.3口徑10.3	齊故城博物館
42		銅扁壺	1	西漢	泰安角峪	1966	高25.5口徑8.7腹徑28.8	泰安市博物館
43		銅劍·鞘	1	西漢	臨沂金雀山	1978	劍長118柄長23鞘長94劍鞘全長811	臨沂市博物館
44		銅戟	1	西漢	臨淄区大武墓	1978	通長52戟長16長14	莒博市博物館
45		銅大官鼎	1	西漢	臨淄区大武墓	1978	通高24.2口徑19	莒博市博物館
46		銅鋗	1	西漢	臨淄区大武墓	1978	通高42（蓋付）口徑11.6	莒博市博物館
47		銅蓋方爐	1	西漢	臨淄区大武墓	1978	高13.2長24寬18.8	莒博市博物館
48		銅骰子	1	西漢	臨淄区大武墓	1978	直徑4.9	莒博市博物館
49		陶六博磚	1	西漢	章丘市華陽墓	1975	長26寬25厚8	章丘市博物館
50		銅水井	1	西漢	濟寧市公園	1969	高49.5長24.8	山東省博物館
51		彩繪頂水罐陶俑	1	西漢	臨沂市金雀山	1978	通高22.3俑高16.8罐高5.5	臨沂市博物館
52		陶馬車	6	西漢	濟南市無影山	1969	車：1件·高29.5長34.2 馬：5件·①高32.5長33.5	濟南市博物館

						②高26.9 長31.1 ③高26.9 長31.4 ④高30 長33.1 ⑤高30.1 長33	
53	一級文物	彩繪載人載鼎鳩	1	西漢	濟南市無影山	1969	長40 高53.5 寬45
54	一級文物	帛画	1	西漢	臨沂市金雀山	1976	長200 幅42
55		金竈 · 金蟾 · 金盾	3	西漢	莒縣城闥	1992	竈：長1.2 寬0.9 高0.9 重2.9g 盾：長2.7 寬1.4-1.2 厚0.1 重5.1g 蟾：長1.9 寬2 厚0.1 重4.4g
56		陶瓮棺	2	西漢	臨淄区友聯墓	1992	大：高101.1 口徑48.2 小：高 99.5 口徑47.8
57		銅盤	1	新莽	章丘東平陵城	1976	高8 口徑42 底徑36
58		銅壺	1	東漢	蒼山縣作城	1980	高36 口徑15.6 腹徑28
59		銅洗	1	東漢	蒼山縣作城	1980	高16.5 口徑34 底徑21
60		五龍戲珠石硯	1	東漢	沂南北寨	1994	高7.4 直徑19.7
61	一級文物	宜子孫玉璧	1	東漢	青州馬家塚	1982	通高26.2 直徑20.7 厚0.6 孔徑2.7
62		綠釉陶樓	1	東漢	寧津縣龐家寺	1978	通高144 長64 寬36
63		綠釉陶灯	1	東漢	寧津縣龐家寺	1978	高77 圈長120
64		綠釉陶走馬灯	1	東漢	寧津縣龐家寺	1978	高37 口徑15 底徑23
65		綠釉陶井	1	東漢	寧津縣龐家寺	1978	高49 寬30 底徑16
66		綠釉陶狗	2	東漢	寧津縣龐家寺	1978	立式：高25.5 長23.4 蹲式：高15.2 長22
67		陶享堂	1	東漢	臨淄乙烯廠	1986	通高44 面闊36 進深28
68		陶倉	1	東漢	臨淄乙烯廠	1986	通高85 長51.5 寬19
69		陶瞑器	7	東漢	棗莊市渴口鄉	1985	樓：高27.5 長27 寬17 倉：通高15.4 長17.4 寬12.2 竈：高17 長24.5 寬19.8 甑：高8.5 口徑17 底徑6.5 磨：高16.5 底徑16.8 豬圈：通高23.5 長31.5 寬33.4 廁所：通高15.6 迂長22.5
70		陶麒麟磚	1	東漢	臨沂金雀山	1988	長32.5 寬17 厚6
71		陶四神磚	4	東漢	臨沂金雀山	1988	青龍：長33.7 寬17 厚6 白虎：長32 寬16.4 厚6 朱雀：長32.5 寬16.5 厚6 玄武：長32.4 寬16.8 厚6
72		陶手印磚	2	東漢	臨沂金雀山	1988	大：長33.5 寬16 厚6 小：長33.4 寬16 厚6

オランダ国立ライデン古代博物館所蔵 古代エジプト展

会期 平成9（1997）年3月25日（火）～5月11日（日）
会場 展示室3・4・5・6
主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、
TYSTV山口、毎日新聞社
後援 オランダ大使館、山口県、山口県教育委員会、
萩市、萩市教育委員会、RKB毎日放送、
BSS山陰放送、JA山口中央会
協賛 山口セキスイハイム株式会社
協力 日本航空



(1) 趣旨

今からおよそ5,000年前にはじまった人類最初の高度な文明は、ギリシアの歴史家ヘロドトスが「エジプトはナイルの賜物である。」といったように、毎年氾濫を繰り返す世界第二の大河ナイルの流域に興った。肥沃な土壤を形成するナイル流域には太古から人々の集住が進み、紀元前3000年前後にはファラオとよばれる国王を中心とした統一国家の成立をみせた。このエジプト王国は、紀元前332年にアレクサンダー大王に滅ぼされるまでの二千数百年の間、約30の王朝が交替したが、その間数多くの墳墓や神殿がつくられている。

古代エジプト人は靈魂の不滅を信じ、魂は死後再び肉体に戻ると考え、遺体をミイラにして保存して死後の住居となる壯麗な墳墓をつくったが、近代以降における考古学調査研究から、これら古代の墳墓や神殿より出土した遺物についての整理と学術的検討がに進んできている。

1818年創立のオランダ国立ライデン古代博物館は、国立ライデン大学との緊密な協力を保ち、その豊富な収蔵品と高度な研究成果によりヨーロッパの最も重要な博物館の一つとなっているが、特に古代エジプト部門は、質量ともに世界一流の内容を誇り、大英博物館、ルーブル美術館などと並び称されている。

本展覧会はオランダ政府および同博物館の格別の好意を得て、パピルスやミイラをはじめとする貴重な遺物253点が出品され、それらによって古代エジプト人の考え方や生活をより明確に紹介することができた。

(2) カタログ

編集・発行 東京新聞

テキスト オランダ国立ライデン古代博物館

　　ハンス・D.シュナイダー

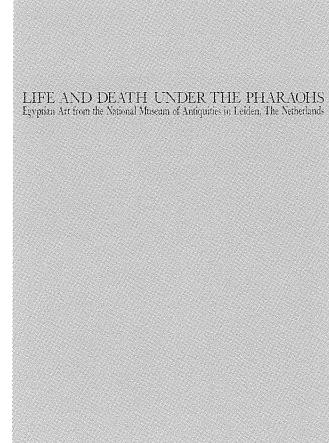
　　マールテン・J.ラーフェン

英語訳 ジュリア・ハーヴェイ

日本語訳監修 鈴木八司

内容 メッセージ 主催者

　　メッセージ J.R.マヘンダンス



緒言 ハンス・D.シュナイダー

序文 ハンス・D.シュナイダー

図版

I. エジプト人の世界：創造、神々、エジプトの国土

(解説：ハンス・D.シュナイダー、ただし第1段落はマールテン・J.ラーフェン)

II. 国王と家臣たち (解説：ハンス・D.シュナイダー)

III. 日常生活 (解説：ハンス・D.シュナイダー)

IV. 死後の生命

(解説：ハンス・D.シュナイダー、ただし第2、3段落はマールテン・J.ラーフェン)

カタログ (解説：ハンス・D.シュナイダー、マールテン・J.ラーフェン)

古代エジプト史年表

古代エジプト関連地図

古代エジプトの神々

出品目録

体裁 B5判 262ページ

(3) 記念講演会

日時 平成9(1997)年3月24日(月) 16:30~18:00

演題 「ホルエムヘブ：将軍、摂政、ファラオ（国王）」

講師 ハンス・D・シュナイダー（オランダ国立ライデン古代博物館エジプト部主任学芸員）

(4) 関連イベント

「親子で探そうエジプトの謎！」

日時 平成9(1997)年4月12日(土)、4月26日(土)、5月5日(祝・月) 13:30~15:00

担当 石崎泰之（学芸課専門学芸員）、美術館教育ボランティア

(5) 出品目録

番号	作品名称	員数	時代(西暦)	出土地
1	ターイウヘレトの「死者の書」	1	第21王朝（紀元前1000年頃）	テーベ
2	アンクネシト夫人の供養碑	1	第26王朝（紀元前650年頃）	テーベ
3	ウナギ（アトゥム神）の棺	1	第6王朝（紀元前600年頃）	
4	マート女神像	1	ピトレマイオス王朝（紀元前300~100年頃）	
5	サティス=ソティス女神像	1	後期王朝またはピトレマイオス王朝（紀元前400~100年頃）	
6A	ブタハ神の奉納像	1	第26王朝（紀元前600年頃）	
6B	ブタハ神の頭部	1	第6王朝（紀元前600年頃）	
7	悪靈を討つセト神の碑	1	第19王朝（紀元前1250年頃）	
8	セクメト女神像	1	後期王朝（紀元前600~300年頃）	
9	ネフェルテム神像	1	後期王朝（紀元前600年頃）	
10	ハトホル女神像	1	後期王朝（紀元前600年頃）	
11	クヌム神像	1	新王国（紀元前1200年頃）	
12	アヌビス神像	1	後期王朝（紀元前600年頃）	
13	ヒビの姿のトト神像	1	後期王朝（紀元前600年頃）	
14	イビス鳥	1	後期王朝（紀元前600年頃）	
15	ベンレンヌの供養碑	1	第19王朝~第20王朝（紀元前1250~1100年頃）	
16	スフィンクスの姿のアメン=レー神	1	第19~20王朝（紀元前1250~1100年頃）	
17	ムート女神像	1	後期王朝（紀元前600年頃）	
18	神像	1	後期王朝（紀元前600年頃）	
19	アメン神の3神群像	1	後期王朝（紀元前600年頃）	
20	石碑上部	1	第8~19王朝（紀元前1300年頃）	

21	オシリス神像	1 新王国後期またはそれ以降（紀元前1100～800年頃）	
22	ホルス神を抱くイシス女神像	1 後期王朝（紀元前600年頃）	
23	幼児ホルス神像	1 後期王朝（紀元前600年頃）	
24	成年ホルス神像	1 後期王朝（紀元前600年頃）	
25	オシリス神の3神群像	1 後期王朝（紀元前600年頃）	
26	子供頭部	1 後期王朝（紀元前680年頃）	ムート女神の神殿イシェルウ
27 A	アピス聖牛	1 後期王朝（紀元前600年頃）	
27 B	アピス聖牛のミイラの義眼	1 後期王朝	
28	ブキス聖牛の浮彫	1 プトレマイオス王朝またはローマ時代（紀元前250～紀元250年頃）アルマント	
29	イムハテブ神像	1 後期王朝（紀元前350年頃）	
30	バステト女神像	1 後期王朝（紀元前600年頃）	
31	猫のミイラの棺	1 プトレマイオス王朝（紀元前300年頃）	
32	猫のミイラ	1 プトレマイオス王朝（紀元前300年頃）	
33	セベク神のワニの奉納碑	1 第19王朝（紀元前1200年頃）	
34	ワニのミイラのマスク	1 プトレマイオス王朝またはそれ以降（紀元前300～紀元100年頃）	ファイユーム地方
35	子ワニのミイラ	1 プトレマイオス王朝（紀元前300年頃）	
36	幼児ホルス神の石碑	1 後期王朝（紀元前350年頃）	
37	ベス神頭浮彫	1 プトレマイオス王朝またはローマ時代（紀元前100～紀元100年頃）上エジプト	
38	トウトゥ神像	1 後期王朝（紀元前600年頃）	
39	トウトゥ神浮彫	1 プトレマイオス王朝またはローマ時代（紀元前100～紀元100年頃）	
40	ラメセス2世が自身の像を崇拝する石碑	1 第19王朝（紀元前1250年頃）	カンティール
41	アメン神の高級神官ラーマーの供養碑	1 第19王朝（紀元前1195年頃）	デイル・エル=メディーナ
42	アトゥム神像付き供物用碗	1 (不詳)	アビドス
43	アメン神像付き供物用碗	1 (不詳)	アビドス
44	オシリス神像付き供物用碗	1 (不詳)	アビドス
45	ウェルヘカウ神像付き供物用碗	1 (不詳)	アビドス
46	儀式用容器	1 新王国後期またはそれ以降（紀元前1100～800年頃？）	
47	ナオスを支える神官	1 後期王朝（紀元前600年頃）	
48	シトゥラ（儀式用小壺）	1 後期王朝（紀元前400年頃）	
49	香具	1 プトレマイオス王朝（紀元前2～3世紀）	
50	シストラム	1 プトレマイオス王朝またはローマ時代（紀元前100～紀元100年頃）	
51	耳の碑	1 新王国（紀元前1300～1100年頃）	
52	アメン神祈願碑	1 新王国（紀元前1300～1100年頃）	テーベ
53	イシス女神とセラピス神の浮彫	1 ローマ時代（2世紀）	
54	彩文土器	1 ナカーダII期（紀元前3500～3100年頃）	
55	執事ヘシエフシェムスネスのシャブティ	1 第19王朝（紀元前1300～200年頃）	
56	鋤	1 ローマ時代（1～3世紀）	
57	シャブティ用の籠	1 新王国（紀元前1350～1100年頃）	
58	環形棍棒頭	1 ナカーダI期（紀元前4000～3500年頃）	
59	洋梨形棍棒頭	1 ナカーダII期（紀元前3500～3100年頃）	
60	円筒形容器	1 第0王朝（紀元前3100年頃）	アビドス
61	ペリイブセン王名付き封泥	1 第2王朝（紀元前2750年頃）	アビドス
62	セネフェル王名付き指輪	1 新王国（紀元前1200年頃）	
63	裁判官アンクの倚像	1 第3王朝（紀元前2650年頃）	
64	男性倚像	1 第5王朝後期（紀元前2350年頃）	メンフィス地方
65	メルアンクエフの墓の浮彫	1 第6王朝（紀元前2150年頃）	アクミーム
66	女性立像	1 第5王朝（紀元前2400年頃）	
67	イチャイと妻ヘヌウトセンの供養碑	1 第9～10王朝（紀元前2100年前）	ナガー・エッディル
68	イニイトと妻ベンジトと犬の石碑	1 第9～10王朝（紀元前2100年頃）	ゲベレーン
69	国王浮彫	1 第11王朝（紀元前2025年頃）	デイル・エル=バハリ
70	男子立像	1 第11王朝（紀元前2000年頃）	アシュート
71	神官立像	1 第12王朝（紀元前1900年頃）	
72	男子頭部	1 第12王朝（紀元前1800年頃）	
73 A	ヒクソス王キアンの名付きスカラブ	1 第15王朝（紀元前1600年頃）	
73 B	トトメス3世即位名付き小板	1 新王国またはそれ以降	

73 C	4国王の誕生名付きスカラブ	1	第18王朝（紀元前1500～1400年頃）	
73 D	有翼スフィンクス図付きスカラブ	1	第18～19王朝（紀元前1350～1150年頃）	
73 E	セティ2世の誕生名と即位名付き小板	1	第19王朝（紀元前1210年頃）	
73 F	ラメセス3世の狩獵図のある小板	1	第20王朝（紀元前1175年頃）	
73 G	アハメス2世の即位名と誕生名付き印章	1	第26王朝（紀元前550年頃）	
74	トトメス3世頭部浮彫	1	第18王朝（紀元前1450年頃）	
75	トトメス3世銘壺	1	第18王朝（紀元前1450年頃）	
76	ジェフティ將軍銘壺	1	第18王朝（紀元前1450年頃）	
77	少女立像	1	第18王朝（紀元前1450年頃）	
78	男性と二人の女性の群像	1	第18王朝（紀元前1425年頃）	
79	トトメス3世とアメンヘテプ2世の像のある供養碑	1	第18王朝（紀元前1400年頃）	
80	3高官夫妻の供養碑	1	第18王朝（紀元前1450年頃）	
81	アメンヘテプ3世の記念スカラブ	1	第18王朝（紀元前1390年頃）	
82	アメンヘテプ3世の像のあるオストラコン	1	第18王朝（紀元前1375年頃）	
83	アテン神碑文浮彫	1	第18王朝（紀元前1345年頃）	アマルナ
84	アケナテン王名付き筆記用パレット	1	第18王朝（紀元前1345年頃）	
85 A	アメンヘテプ4世即位名付き護符鋲型	1	第18王朝（紀元前1345年頃）	アマルナ
85 B	アメンヘテプ4世誕生名付き護符鋲型	1	第18王朝（紀元前1345年頃）	
86	ラメセス1世即位名付き護符鋲型	1	第19王朝（紀元前1305年頃）	
87	ツタンカーメン王倚像（部分）	1	第18王朝（紀元前1330年頃）	
88	ツタンカーメン王名付きブームラン模型	1	第18王朝（紀元前1330年頃）	
89	アイ王定礎式埋納物	1	第18王朝（紀元前1320年頃）	
90	ホルエムヘブ将軍浮彫	1	第18王朝（紀元前1330年頃）	サッカーラ
91	アメンヘテプ=ファの方形像	1	第18王朝後期または第19王朝初期（紀元前1300年頃）	
92	司令官家族の供養碑	1	第18王朝（紀元前1350年頃）	
93	ナオスを支えるチャイイリの像	1	第20王朝（紀元前1190年頃）	サッカーラ
94	アメンナクト立像	1	第19王朝（紀元前1250年頃）	デイル・エル=メディーナ
95	女性立像	1	第18王朝（紀元前1350年頃）	
96	セティ1世のシャブティ	1	第19王朝（紀元前1290年頃）	テーベ
97	ラメセス2世のシャブティ	1	第19王朝（紀元前1224年頃）	テーベ
98	プセンネス1世のシャブティ	1	第21王朝（紀元前992年頃）	タニス
99	アメン神高級神官ピネジエム1世のシャブティ	1	第3中間期（紀元前990年頃）	デイル・エル=バハリ
100	ウェンジェバウエンジェドのシャブティ	1	第21王朝（紀元前990年頃）	タニス
101	ヘヌウトタウイ王妃のシャブティ	1	第3中間期（紀元前990年頃）	デイル・エル=バハリ
102	ニトクリス王女浮彫	1	第26王朝（紀元前650年頃）	テーベ
103	女性立像	1	プトレマイオス王朝初期（紀元前3世紀）	
104	国王頭部の彫刻モデル	1	後期王朝（紀元前350年頃）	
105	国王像	1	第26王朝（紀元前600年頃）	
106	王妃像	1	第26王朝（紀元前600年頃）	
107	神官ジェフティミン倚像	1	後期王朝またはプトレマイオス王朝初期（紀元前350～300年頃）	
108	外国人のマスク	1	新王国（紀元前1200年頃）	
109	呪術用の小像	1	第12～13王朝（紀元前1750年頃）	
110 A	笏	1	新王国（紀元前1200年頃）	
110 B	扇の柄	1	第18王朝（紀元前1350年頃）	
110 C	儀式用斧	1	第18王朝（紀元前1375年頃）	
111	ロバの群れの浮彫	1	第5王朝（紀元前2400年頃）	サッカーラ
112	家屋模型	1	中王国初期（紀元前2000年頃）	エジプト中部
113	醸造作業所模型	1	第12王朝（紀元前1900年頃）	エジプト中部
114	供物を運ぶ召使いと子牛の模型	1	第11王朝（紀元前2000年頃）	アシュート
115	トトメス3世の名付き鋸模型	1	第18王朝（紀元前1475年頃）	
116	トトメス3世の名付き斧模型	1	第18王朝（紀元前1475年頃）	
117	木工職人の職場の浮彫	1	第18王朝（紀元前1330年頃）	サッカーラ
118	ペス神像のある柄のナイフ	1	第18王朝（紀元前1350年頃）	
119 A	サンダル1足	1	第18～19王朝（紀元前1300年頃）	
119 B	サンダル片方	1	第19王朝（紀元前1250年頃）	

120	ペルバーの椅子	1	第18王朝（紀元前1350年頃）	
121	貴族、執事長アメンヘテブ=トイのアヒル頭形の椅子脚	1	第18王朝（紀元前1370年頃）	サッカーラ
122	宫廷管理官リライアの枕	1	第18～19王朝（紀元前1300年頃）	
123	蓋付き籠	1	第18王朝（紀元前1330年頃）	
124	小籠	1	新王国（紀元前1300年頃）	
125	キュビット物差し	1	第18王朝（紀元前1375年頃）	サッカーラ
126	筆記用パレット	1	新王国（紀元前1300年頃）	
127	パピルス書簡	1	第20王朝（紀元前1075年頃）	デイル・エル=メディーナ
128	パピルス書簡	1	第19王朝（紀元前1250年頃）	サッカーラ
129	インク容器	1	第19王朝（紀元前1285年頃）	
130 A	サギ鳥鋳型	1	後期王国（紀元前400年頃）	
130 B	サギ鳥スタイル	1	後期王国（紀元前400年頃）	
131	ベス神護符鋳型	1	新王国（紀元前1300年頃）	
132	櫛	1	新王国（紀元前1300年頃）	
133	柄鏡	1	第18王朝（紀元前1350年頃）	
134 A	ベス神像付きヘアピン	1	第18王朝（紀元前1375年頃）	
134 B	ベス神形装飾具	1	第18王朝（紀元前1375年頃）	
135	鳥形化粧用パレット	1	先王朝時代またはそれ以降	
136	魚形化粧用パレット	1	第18王朝（紀元前1350年頃）	
137	小皿	1	新王国（紀元前1300年頃）	
138	ネブエムテク王女のコホル・ポット	1	新王国（紀元前1300年頃）	
139	コホル容器	1	第18王朝（紀元前1350年頃）	
140	軟膏用スプーン	1	第18王朝（紀元前1350年頃）	
141	軟膏容器	1	第18王朝（紀元前1375年頃）	
142	コホル容器	1	第18王朝（紀元前1350年頃）	
143	イヤリング1組	1	第18王朝（紀元前1375年頃）	
144	ネックレス	1	第18王朝（紀元前1375年頃）	
145	ネックレス	1	第18王朝（紀元前1375年頃）	
146	ネックレス	1	第18王朝（紀元前1375年頃）	
147	アイ王名付き指輪	1	第18王朝（紀元前1320年頃）	
148 A	太陽の船とヒヒ、魚の印章付き指輪	1	新王国（紀元前1300～1100年頃）	
148 B	セクメト女神とアンク、コブラ付き指輪	1	第3中間期（紀元前1000～800年頃）	
148 C	ラメセス2世の名付き指輪	1	第19王朝（紀元前1250年頃）	
148 D	アメン神とムート女神付きスカラブ形指輪	1	第19王朝（紀元前1250年頃）	
148 E	ウジャト眼の指輪	1	第18王朝（紀元前1350年頃）	
148 F	ウジャト眼の指輪	1	第18王朝（紀元前1350年頃）	
149 A	アケナンテン王即位名付き指輪	1	第18王朝（紀元前1350年頃）	
149 B	アメンヘテブ3世即位名付き指輪	1	第18王朝（紀元前1375年頃）	
150	イヤリング1組	1	第20王朝（紀元前1150年頃）	
151 A	イヤリング1組	1	新王国	
151 B	イヤリング片方	1	新王国	
151 C	イヤスタッド受け鉢	1	新王国	
152	アメンヘテブ3世のカルトゥーシュ付き腕輪	1	第18王朝（紀元前1375年頃）	
153 A	腕輪	1	第18王朝（紀元前1450年頃）	
153 B	腕輪	1	第18王朝（紀元前1450年頃）	
154 A	ハヤブサ頭襟飾り端末片	1	第18王朝（紀元前1350年頃）	
154 B	ハヤブサ頭襟飾り端末片	1	第18王朝（紀元前1350年頃）	
154 C	ホルス神形ペンダント	1	第12王朝（紀元前1800年頃）	
154 D	ネックレス	1	第12王朝（紀元前1800年頃）	
154 E	ネックレス	1	第12王朝（紀元前1800年頃）	
155	ナイル神像装飾付き小箱	1	第20～22王朝（紀元前1200～900年頃）	
156 A	宝石箱	1	第18王朝（紀元前1350年頃）	
156 B	異国人捕虜を象った箱蓋	1	第18王朝（紀元前1350年頃）	
157	カルトゥーシュ形石箱	1	第18王朝（紀元前1350年頃）	

158	ガラス容器	1	第18王朝（紀元前1375年頃）	
159 A	ツタンカーメン王とその妃アンクエスエ ンアメンの名付き	1	第18王朝（紀元前1330年頃）	
159 B	コホル容器	1	第18王朝（紀元前1350年頃）	
160	杓	1	ローマ時代（1~3世紀）	
161	ヌン碗	1	第18~19王朝（紀元前1300年頃）	
162	母子小像	1	ローマ時代（紀元前100~紀元100年頃）	
163	女神小像	1	後期王朝（紀元前600年頃）	
164 A	少年小像	1	第18王朝（紀元前1350年頃）	
164 B	うずくまる人物の小像	1	第18王朝（紀元前1350年頃）	
165	猿小像	1	第12王朝（紀元前1800年頃）	
166	ライオン小像	1	第12王朝（紀元前1800年頃）	
167	侏儒小像	1	第12王朝（紀元前1800年頃）	
168	犬小像	1	第12王朝（紀元前1800年頃）	
169	蛙小像	1	第12王朝（紀元前1800年頃）	
170	アメンヘテプの壺	1	第18王朝（紀元前1450年頃）	
171	セティ王名付き容器	1	第19王朝（紀元前1300~1200年頃）	
172	供物用石製品	12	初期王朝/古王国	アブ・ラワーシュ
173	ブタハメスの壺	1	第18王朝（紀元前1375年頃）	
174 A	タツツア	1	第18王朝（紀元前1375~1300年頃）	
174 B	ミニ・タツツア	1	第18王朝（紀元前1375~1300年頃）	
175	台付きアンフォラ形石製容器	1	第18王朝（紀元前1375~1300年頃）	
176 A	アンフォラ形石製容器	1	第18王朝（紀元前1375~1300年頃）	
176 B	アンフォラ形石製容器	1	第18王朝（紀元前1375~1300年頃）	
176 C	アンフォラ形石製容器	1	第18王朝（紀元前1375~1300年頃）	
177	石製容器	1	第18王朝（紀元前1375~1300年頃）	
178	石製容器	1	第19王朝（紀元前1250年頃）	
179	シトウラ	1	第18王朝（紀元前1330年頃）	
180	アンフォラ形彩文土器	1	第18王朝（紀元前1300年頃）	
181	粉をひく召使いの模型	1	新王国（紀元前1300~1200年頃）?	
182	イセトウェレト夫人の「死者の書」	1	プトレマイオス王朝（紀元前300~100年頃）	
183	神官アンクエフエンコンスの「冥界にあ る者の書」	1	第21~22王朝（紀元前1050~900年頃）	テーベ
184	オシリス神像	1	第26王朝（紀元前650年頃）	
185	船の中に横たわる人物	1	先王朝、ナカーダⅠ期（紀元前4000~3500年頃）	エジプト中部
186	船の模型	1	第12王朝（紀元前1900年頃）	ペルシャー
187	フェフィの擬扉（見せかけの扉）	1	古王国後期（紀元前2200年頃）	メンフィス地方
188	クウの家族供養碑	1	第12王朝（紀元前1900年頃）	アビドス
189	供物卓	1	第12王朝（紀元前1900年頃）	アビドス
190	穀倉管理官セヘテプイブレーアンクの供養碑	1	第12王朝（紀元前1825年頃）	アビドス
191	パーケレルの「死者の書」	1	第19王朝（紀元前1300~1200年頃）	サッカーラ
192	レーの「死者の書」	1	第19王朝初期（紀元前1300年頃）	サッカーラ
193	パーディトコンスの「死者の書」	1	新王国後期（紀元前1150年頃）	テーベ
194	イバーイ夫人のミイラ形像	1	第18王朝（紀元前1375年頃）	サッカーラ
195	パーウティのピラミディオン	1	第19王朝（紀元前1300年頃）	
196	イプウとその家族の供養碑	1	第18王朝（紀元前1330年頃）	
197	ホルのミイラ	1	第26王朝（紀元前650年頃）	
198	年少者のミイラ	1	ローマ時代（2~3世紀）	伝ベナーナ
199	ターカーテルウ夫人の内棺	1	第22王朝（紀元前900年頃）	テーベ
200	ターカーテルウ夫人のミイラ・ケース	1	第22王朝（紀元前900年頃）	
201 A,B	神官アメンヘテプのミイラ棺とミイラ・ カヴァー	2	第21王朝（紀元前1000年頃）	テーベ
202	プサースの木棺の棺板	2	後期王朝またはプトレマイオス王朝（紀元前500~200年頃）	
203	陶棺の蓋	1	後期王国（紀元前650年頃）?	
204	ミイラ包衣	1	プトレマイオス王朝（紀元前300年頃）	テーベ

205	ミイラ・マスク	1 ローマ時代（3世紀）
206	トト神形護符	1 後期王朝またはプトレマイオス王朝（紀元前400～100年頃）
207	ライオン頭アエギス形護符	1 新王国後期（紀元前1100年頃）
208	ハトホル女神形護符	1 後期王朝（紀元前400～100年頃）
209	幼児形ペンダント	1 第18王朝（紀元前400～100年頃）
210	ディディトゥの心臓スカラブ	1 第17王朝（紀元前1600年頃）
211	セブの心臓スカラブ	1 第18王朝（紀元前1475年頃）
212	バア	1 後期王朝（紀元前600年頃）
213 A	バア護符	1 後期王朝（紀元前500年頃）
213 B	ネイル・キャップ	6 後期王朝またはプトレマイオス王朝（紀元前600～300年頃）
214 A	アメンナクトの蛇頭形護符	1 第18王朝（紀元前1350年頃）
214 B	アメンエムオペの名付きビーズ	1 第18～19王朝（紀元前1300年頃）
215	2本指形護符	1 後期王朝（紀元前500年頃）
216	枕形護符	1 後期王朝またはプトレマイオス王朝初期（紀元前500～250年頃）
217 A	上エジプトの王冠形護符	1 後期王朝（紀元前500年頃）
217 B	下エジプトの王冠形護符	1 後期王朝（紀元前500年頃）
218	王のシェンディト形護符	1 後期王朝（紀元前500年頃）
219	ターウェレト女神形護符	1 後期王朝（紀元前600年頃）
220	ティト形護符	1 第18王朝（紀元前1350年頃）
221	ジェド柱形護符	1 後期王朝（紀元前600年頃）
222 A	ファイアンス製のパピルス柱形護符	1 後期王朝（紀元前600年頃）
222 B	長石製のパピルス柱形護符	1 第18王朝（紀元前1350年頃）
223	2児神像形護符	1 後期王朝（紀元前400年頃）
224	ホルス神と2女神の群像形護符	1 後期王朝（紀元前600年頃）
225	混種動物形護符	1 後期王朝（紀元前600年頃）
226	8神像形小板	1 後期王朝（紀元前700年頃）
227	母猫と子猫たちの護符	1 後期王朝（紀元前600年頃）
228	心臓形の壺形護符	1 新王国後期（紀元前1000年頃）
229 A	ミイラ・ラベル	1 ローマ時代（2～3世紀）
229 B	ターイльтのミイラ頭敷	1 プトレマイオス王朝（紀元前300年頃）
230	ネフェルのカノボス壺	1 第18王朝（紀元前1475～1375年頃）
231	メンチュエムヘトの墓の軒飾り	1 第25～26王朝（紀元前670年頃）
232	バーカールのパピルス容器	1 第3中間期（紀元前1000年頃）
233	パシェリエンパケムの供養碑	1 プトレマイオス王朝（紀元前150年頃）
234	護符パピルス	1 第5王朝（紀元前700～600年頃）
235	円筒形パピルス容器	1 第3中間期（紀元前1000～700年頃）?
236	女性像	1 第15～16王朝（紀元前1600年頃）
237	死者の花嫁	1 第19王朝（紀元前1200年頃）
238	市長ケベニのシャブティ	1 第17～18王朝（紀元前1500年頃）
239	アマルナ時代のシャブティ	1 第18王朝（紀元前1350年頃）
240	アメンエムオペ=イブイのシャブティとその棺	1 第18王朝（紀元前1330年頃）
241	アハメスのシャブティ	1 第19王朝（紀元前1300年頃）
242	ラーのシャブティ	1 第19王朝（紀元前1300年頃）
243	フィ=ネフェルのシャブティ	1 第19王朝（紀元前1300年頃）
244	ワハイブラーのシャブティ	1 第30王朝（紀元前350年頃）
245	ムートエムメレトエス夫人のシャブティ箱	1 第22王朝（紀元前900年頃）
246	ディディマの供養碑	1 ローマ時代（3世紀初期）
247	女性墓碑	1 ローマ時代後期（3世紀～4世紀初期）
248	若い男の墓碑	1 ローマ時代後期（3世紀～4世紀初期）
249	女性スフィンクス	1 ローマ時代（1～3世紀）
250	ナイル女神とワニの浮彫	1 コプト時代（5世紀）
251	鳩とブドウを持つ男児の供養碑	1 ローマ時代後期（4世紀後期）
252	チュニカ	1 コプト時代（8～10世紀）
253	ミイラ肖像画	1 ローマ時代（2世紀後期～3世紀初期）

浮世絵企画展示 生誕200年記念 広重の風景画展

会期 平成9（1997）年5月16日(金)～8月3日(日)

Part1 東都・江戸名所シリーズ

5月16日(金)～6月8日(日)

Part2 東海道五十三次之内

6月10日(火)～7月6日(日)

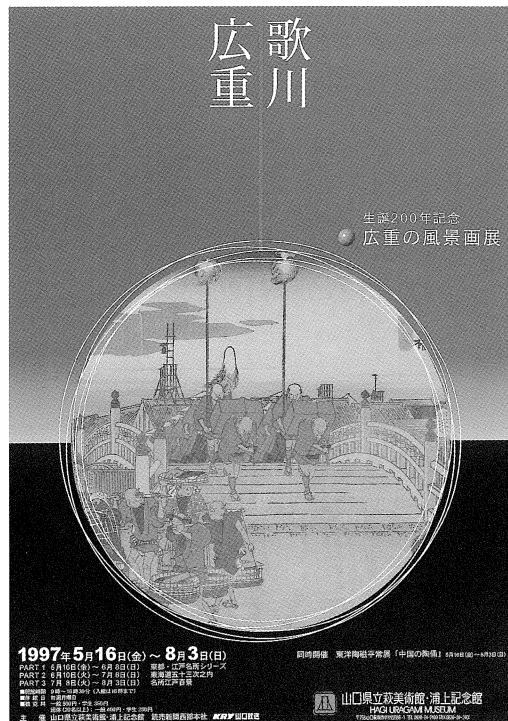
Part3 名所江戸百景

7月8日(火)～8月3日(日)

会場 展示室1・2

主催 山口県立萩美術館・浦上記念館

読売新聞西部本社 KRY山口放送



(1) 趣旨

歌川広重の生誕200年を記念して、当館の収蔵品の中から広重の風景画の代表的な揃物を3期に分けて紹介した最初の小企画展である。広重は葛飾北斎とともに幕末期に活躍した風景画の名手として世界的に知られている浮世絵師である。第1期の「Part1 東都・江戸名所シリーズ」では、人物画から風景画へと活躍の世界を変えて、最初に発表した大判錦絵の名所シリーズ「東都名所」（川口正蔵版）など、新機軸を打ち出していった初期の江戸名所絵シリーズから59点を展示了。第2期の「Part2 東海道五十三次之内」では、出世作であり、また代表作ともなった保永堂版「東海道五十三次之内」の全作品55点を展示了。第3期の「Part3 名所江戸百景」では、晩年の大作である120枚の名所江戸百景シリーズから、59点を選んで展示し、総計173点による構成で、広重の抒情感あふれる風景画の世界を紹介した。

(2) カタログ

編集・発行 山口県立萩美術館・浦上記念館

内容 ごあいさつ 山口県立萩美術館・浦上記念館

広重略伝 芳賀淑子

東都・名所シリーズ概要、出品リスト

東海道五十三次之内概要、出品リスト

名所江戸百景概要、出品リスト

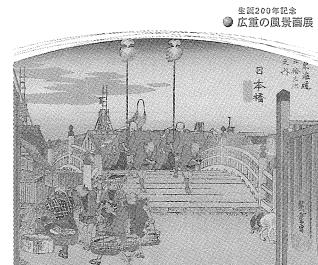
広重年譜

東海道五十三次図

名所江戸百景描寫地点絵図

主要参考文献

体裁 A4判変形 28ページ



(3) ギャラリーツアー

日時 平成9（1997）年5月24日(土)、6月28日(土) 11:00～12:00

担当 芳賀淑子（学芸課学芸員）

(4) 出品目録

出品番号	作品名	作家名	判型	形態	制作年代	館蔵品番号
1	東都名所 忍ヶ岡蓮池之図	歌川広重	横大判	錦絵	天保2年(1831)頃	U 664 (TU)
2	東都名所 洲崎雪之初日	歌川広重	横大判	錦絵	天保2年(1831)頃	U 665 (TU)
3	東都名所 佃嶋初郭公	歌川広重	横大判	錦絵	天保2年(1831)頃	U 666 (TU)
4	東都名所 両国之宵月	歌川広重	横大判	錦絵	天保2年(1831)頃	U 667 (TU)
5	東都名所 日本橋之白雨	歌川広重	横大判	錦絵	天保初期～中期	U 668 (TU)
6	東都名所 吉原仲之町夜桜	歌川広重	横大判	錦絵	天保初期～中期	U 669 (TU)
7	東都名所 五百羅漢さゞみ堂	歌川広重	横大判	錦絵	天保初期～中期	U 670 (TU)
8	東都名所 亀戸梅屋舗ノ図	歌川広重	横大判	錦絵	天保初期～中期	U 671 (TU)
9	東都名所 芝愛宕山上之図	歌川広重	横大判	錦絵	天保初期～中期	U 674 (TU)
10	東都名所 駿河町之図	歌川広重	横大判	錦絵	天保3～10年(1832～1839)頃	U 675 (TU)
11	東都名所 真崎雪晴之図	歌川広重	横大判	錦絵	天保初期～中期	U 676 (TU)
12	東都名所之内 隅田川八景 三圍暮雪	歌川広重	横間判	錦絵	天保11～13年(1840～1842)頃	U 716 (TU)
13	東都名所 亀戸藤花	歌川広重	横大判	錦絵	天保末期頃	U 683 (TU)
14	東都名所 吾妻之森	歌川広重	横大判	錦絵	天保末期頃	U 690 (TU)
15	東都名所 浅草金龍山年ノ市	歌川広重	横大判	錦絵	天保末期頃	U 693 (TU)
16	東都名所 道灌山虫聞之図	歌川広重	横大判	錦絵	天保末期頃	U 682 (TU)
17	東都名所 芝赤羽根之雪	歌川広重	横大判	錦絵	天保14年～弘化4年(1837～1847)	U 686 (TU)
18	東都名所 王子瀧の川	歌川広重	横大判	錦絵	天保末期頃	U 687 (TU)
19	東都名所 芝愛宕山之図	歌川広重	横大判	錦絵	天保末期頃	U 680 (TU)
20	東都名所 上野不忍蓮池	歌川広重	横大判	錦絵	天保14年～弘化4年(1837～1847)	U 696 (TU)
21	東都名所 高輪月の景	歌川広重	横大判	錦絵	天保14年～弘化4年(1837～1847)	U 697 (TU)
22	東都名所 芝居町繁栄之図	歌川広重	横大判	錦絵	天保末期頃	U 698 (TU)
23	東都名所 御殿山花見の図	歌川広重	横大判	錦絵	天保14年～弘化4年(1837～1847)	U 699 (TU)
24	東都名所 新吉原日本堤衣紋阪曙	歌川広重	横大判	錦絵	天保末期	U 700 (TU)
25	東都名所 隅田川花盛	歌川広重	横大判	錦絵	天保末期	U 701 (TU)
26	東都霞か関山王祭諫込之図	歌川広重	横大判	錦絵	天保末期	U 705 (TU)
27	東都名所 上野自清水堂觀不忍図	歌川広重	横大判	錦絵	天保末期	U 702 (TU)
28	東都名所 洲崎汐干の図	歌川広重	横大判	錦絵	弘化4年～嘉永5年(1847～1852)	U 695 (TU)
29	東都名所 上野東叡山中清水堂花見	歌川広重	中短冊判	錦絵	天保中期～後期	U 780 (TU)
30	東都名所 霞か闕夕景	歌川広重	中短冊判	錦絵	天保中期～後期	U 781 (TU)
31	東都名所坂つくし之内 吉原衣紋阪之図	歌川広重	横大判	錦絵	天保末期	U 703 (TU)
32	東都名所高輪廿六夜待遊興之図	歌川広重	大判	錦絵3枚続	天保末期	U 797 (TU)
33	江戸名所之内 両国花火	歌川広重	横大判	錦絵	天保3～5年(1832～1834)頃	U 721 (TU)
34	江都名所 御殿山遊興	歌川広重	横大判	錦絵	天保3～5年(1832～1834)頃	U 708 (TU)
35	江都名所 洲崎しほ干狩	歌川広重	横大判	錦絵	天保3～5年(1832～1834)頃	U 709 (TU)
36	江都名所 飛鳥山はな見	歌川広重	横大判	錦絵	天保3～5年(1832～1834)頃	U 710 (TU)
37	江都名所 湯しま天神社	歌川広重	横大判	錦絵	天保3～5年(1832～1834)頃	U 711 (TU)
38	江都名所 王子稻荷之祠	歌川広重	横大判	錦絵	天保3～5年(1832～1834)頃	U 712 (TU)
39	江都勝景 芝新錢坐之図	歌川広重	横大判	錦絵	天保後期	U 743 (TU)
40	江都勝景 よろみの渡し	歌川広重	横大判	錦絵	天保後期	U 744 (TU)
41	江都勝景 桜田外の図	歌川広重	横大判	錦絵	天保後期	U 745 (TU)
42	江都名所 芝あたご山	歌川広重	横間判	錦絵	天保中期～後期	U 715 (TU)
43	江都名所 両国夜ノ景	歌川広重	横間判	錦絵	天保中期～後期	U 714 (TU)
44	新撰江戸名所 日本橋雪晴図	歌川広重	横大判	錦絵	天保11～13年(1840～1842)頃	U 742 (TU)
45	江戸名所 霞か関之景	歌川広重	横大判	錦絵	天保末期	U 741 (TU)
46	江戸名所三ッのながめ 御殿山花見	歌川広重	横大判	錦絵	天保末期	U 739 (TU)
47	江戸名所三ッのながめ 芝増上寺雪中	歌川広重	横大判	錦絵	天保末期	U 740 (TU)
48	名所雪月花 たま川秋の月あゆ獵の図	歌川広重	横大判	錦絵	天保14年～弘化4年(1837～1847)	U 747 (TU)
49	名所雪月花 井の頭の池弁財天の社雪之景	歌川広重	横大判	錦絵	天保14年～弘化4年(1837～1847)	U 748 (TU)
50	江戸名所 大伝馬町大丸呉服店の図	歌川広重	横大判	錦絵	弘化4年～嘉永5年(1847～1852)	U 719 (TU)
51	江戸名所 よし原仲の丁桜道中	歌川広重	横大判	錦絵	弘化4年～嘉永5年(1847～1852)	U 718 (TU)
52	江戸名所 浅艸金龍山雪中	歌川広重	横大判	錦絵	弘化4年～嘉永5年(1847～1852)	U 706 (TU)

53	江戸名所 新吉原日本堤見帰柳	歌川広重	横大判	錦絵	嘉永6年 (1853)	U 722 (TU)
54	江戸名所 高輪秋の景	歌川広重	横大判	錦絵	嘉永6年 (1853)	U 723 (TU)
55	江戸名所 霞か関眺望	歌川広重	横大判	錦絵	嘉永6年 (1853)	U 725 (TU)
56	江戸名所 両国橋夕涼	歌川広重	横大判	錦絵	嘉永6年 (1853)	U 727 (TU)
57	江戸名所 上野東叡山境内	歌川広重	横大判	錦絵	嘉永6年 (1853)	U 729 (TU)
58	江戸名所 亀戸天満宮境内	歌川広重	横大判	錦絵	嘉永6年 (1853)	U 731 (TU)
59	江戸名所 御茶の水	歌川広重	横大判	錦絵	嘉永6年 (1853)	U 733 (TU)

出品番号	作品名	作家名	判型	形態	制作年代	館蔵品番号
1	東海道五十三次之内 日本橋 朝之景	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 817 (TU)
2	東海道五十三次之内 品川 日之出	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 818 (TU)
3	東海道五十三次之内 川崎 六郷渡舟	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 819 (TU)
4	東海道五十三次之内 神奈川 台之景	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 820 (TU)
5	東海道五十三次之内 保土ヶ谷 新町橋	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 821 (TU)
6	東海道五十三次之内 戸塚 元町別道	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 822 (TU)
7	東海道五十三次之内 藤沢 遊行寺	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 823 (TU)
8	東海道五十三次之内 平塚 繩手道	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 824 (TU)
9	東海道五十三次之内 大磯 虎ヶ雨	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 826 (TU)
10	東海道五十三次之内 小田原 酒匂川	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 825 (TU)
11	東海道五十三次之内 箱根 湖水図	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 827 (TU)
12	東海道五十三次之内 三島 朝霧	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 828 (TU)
13	東海道五十三次之内 沼津 黄昏図	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 829 (TU)
14	東海道五十三次之内 原 朝之富士	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 830 (TU)
15	東海道五十三次之内 吉原 左富士	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 831 (TU)
16	東海道五十三次之内 蒲原 夜之雪	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 832 (TU)
17	東海道五十三次之内 由井 薩埵嶺	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 833 (TU)
18	東海道五十三次之内 奥津 興津川	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 834 (TU)
19	東海道五十三次之内 江尻 三保遠望	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 835 (TU)
20	東海道五十三次之内 府中 安部川	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 836 (TU)
21	東海道五十三次之内 鞠子 名物茶店	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 837 (TU)
22	東海道五十三次之内 岡部 宇津之山	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 838 (TU)
23	東海道五十三次之内 藤枝 人馬繼立	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 839 (TU)
24	東海道五十三次之内 島田 大井川駿岸	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 840 (TU)
25	東海道五十三次之内 金谷 大井川遠岸	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 841 (TU)
26	東海道五十三次之内 日坂 佐夜ノ中山	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 842 (TU)
27	東海道五十三次之内 掛川 秋葉山遠望	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 843 (TU)
28	東海道五十三次之内 袋井 出茶屋ノ図	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 844 (TU)
29	東海道五十三次之内 見附 天竜川図	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 845 (TU)
30	東海道五十三次之内 浜松 冬枯ノ図	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 846 (TU)
31	東海道五十三次之内 舞坂 今切真景	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 847 (TU)
32	東海道五十三次之内 荒井 渡舟ノ図	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 848 (TU)
33	東海道五十三次之内 白須賀 汐見阪図	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 849 (TU)
34	東海道五十三次之内 二川 猿ヶ馬場	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 850 (TU)
35	東海道五十三次之内 吉田 豊川橋	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 851 (TU)
36	東海道五十三次之内 御油 旅人留女	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 852 (TU)
37	東海道五十三次之内 赤阪 旅舎招婦ノ図	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 853 (TU)
38	東海道五十三次之内 藤川 棒鼻ノ図	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 854 (TU)
39	東海道五十三次之内 岡崎 矢矧之橋	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 855 (TU)
40	東海道五十三次之内 池鯉鮒 首夏馬市	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 856 (TU)
41	東海道五十三次之内 鳴海 名物有松紋	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 857 (TU)
42	東海道五十三次之内 宮 熱田神事	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 858 (TU)
43	東海道五十三次之内 桑名 七里渡口	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 859 (TU)
44	東海道五十三次之内 四日市 三重川	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 860 (TU)
45	東海道五十三次之内 石薬師 石薬師寺	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 861 (TU)
46	東海道五十三次之内 庄野 白雨	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 862 (TU)

47	東海道五十三次之内	龜山 雪晴	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 863 (TU)
48	東海道五十三次之内	関 本陣早立	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 864 (TU)
49	東海道五十三次之内	阪之下 筆捨嶺	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 865 (TU)
50	東海道五十三次之内	土山 春之雨	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 866 (TU)
51	東海道五十三次之内	水口 名物干瓢	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 867 (TU)
52	東海道五十三次之内	石部 目川ノ里	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 868 (TU)
53	東海道五十三次之内	草津 名物立場	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 869 (TU)
54	東海道五十三次之内	大津 走井茶店	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 870 (TU)
55	東海道五十三次之内	京師 三條大橋	歌川広重	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834)	U 871 (TU)

出品番号	作品名	作家名	判型	形態	制作年代	館蔵品番号
1	名所江戸百景 千住の大はし	歌川広重	大判	錦絵	安政3年 (1856)	U 1044 (TU)
2	名所江戸百景 玉川堤の花	歌川広重	大判	錦絵	安政3年 (1856)	U 982 (TU)
3	名所江戸百景 上野清水堂不忍ノ池	歌川広重	大判	錦絵	安政3年 (1856)	U 951 (TU)
4	名所江戸百景 王子瀧の川	歌川広重	大判	錦絵	安政3年 (1856)	U 1029 (TU)
5	名所江戸百景 赤坂桐畠	歌川広重	大判	錦絵	安政3年 (1856)	U 988 (TU)
6	名所江戸百景 品川ささき	歌川広重	大判	錦絵	安政3年 (1856)	U 1024 (TU)
7	名所江戸百景 日本橋雪晴	歌川広重	大判	錦絵	安政3年 (1856)	U 941 (TU)
8	名所江戸百景 千駄木団子坂花屋敷	歌川広重	大判	錦絵	安政3年 (1856)	U 956 (TU)
9	名所江戸百景 八景坂鑓掛松	歌川広重	大判	錦絵	安政3年 (1856)	U 966 (TU)
10	名所江戸百景 糀町一丁目山王祭なり込	歌川広重	大判	錦絵	安政3年 (1856)	U 1006 (TU)
11	名所江戸百景 龜戸天神境内	歌川広重	大判	錦絵	安政3年 (1856)	U 998 (TU)
12	名所江戸百景 龜戸天神境内 (後摺)	歌川広重	大判	錦絵	安政3年 (1856)	U 1060 (TU)
13	名所江戸百景 小奈木川五本まつ	歌川広重	大判	錦絵	安政3年 (1856)	U 1038 (TU)
14	名所江戸百景 目黒千代か池	歌川広重	大判	錦絵	安政3年 (1856)	U 963 (TU)
15	名所江戸百景 隅田川水神の森真崎	歌川広重	大判	錦絵	安政3年 (1856)	U 975 (TU)
16	名所江戸百景 利根川ばらばらまつ	歌川広重	大判	錦絵	安政3年 (1856)	U 1002 (TU)
17	名所江戸百景 するがてふ	歌川広重	大判	錦絵	安政3年 (1856)	U 948 (TU)
18	名所江戸百景 真間の紅葉手古那の社継はし	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 1035 (TU)
19	名所江戸百景 霞かせき	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 942 (TU)
20	名所江戸百景 永代橋佃しま	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 944 (TU)
21	名所江戸百景 小梅堤	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 1045 (TU)
22	名所江戸百景 蒲田の梅園	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 967 (TU)
23	名所江戸百景 鉄炮洲稻荷橋湊神社	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 1018 (TU)
24	名所江戸百景 三つまたわかれの渕	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 1008 (TU)
25	名所江戸百景 川口のわたし善光寺	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 960 (TU)
26	名所江戸百景 四ツ木通用水引ふね	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 973 (TU)
27	名所江戸百景 柳しま	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 972 (TU)
28	名所江戸百景 目黒新富士	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 964 (TU)
29	名所江戸百景 よし原日本堤	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 1041 (TU)
30	名所江戸百景 墨田河橋場のかわら籠	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 977 (TU)
31	名所江戸百景 高輪うしまち	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 1022 (TU)
32	名所江戸百景 目黒爺々が茶屋	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 1025 (TU)
33	名所江戸百景 目黒太鼓橋夕日の岡	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 1052 (TU)
34	名所江戸百景 堀切の花菖蒲	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 997 (TU)
35	名所江戸百景 水道橋駿河台	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 1004 (TU)
36	名所江戸百景 金杉橋芝浦	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 1021 (TU)
37	名所江戸百景 市中繁榮七夕祭	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 1014 (TU)
38	名所江戸百景 佃しま住吉の祭	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 991 (TU)
39	名所江戸百景 吾妻橋金龍山遠望	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 979 (TU)
40	名所江戸百景 月の岬	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 1023 (TU)
41	名所江戸百景 真崎辺より水神の森内川閑屋 の里を見る図	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 976 (TU)
42	名所江戸百景 請地秋葉の境内	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 1032 (TU)
43	名所江戸百景 馬喰町初音の馬場	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 946 (TU)

44	名所江戸百景 王子稻荷の社	歌川広重	大判	錦絵	安政4年(1857)	U 958 (TU)
45	名所江戸百景 王子不動之瀧	歌川広重	大判	錦絵	安政4年(1857)	U 987 (TU)
46	名所江戸百景 昌平橋聖堂神田川	歌川広重	大判	錦絵	安政4年(1857)	U 986 (TU)
47	名所江戸百景 王子裝束ゑの木大晦日の狐火	歌川広重	大判	錦絵	安政4年(1857)	U 1059 (TU)
48	名所江戸百景 王子裝束ゑの木大晦日の狐火 (後摺)	歌川広重	大判	錦絵	安政4年(1857)	U 1823 (TU)
49	名所江戸百景 虎の門外あふひ坂	歌川広重	大判	錦絵	安政4年(1857)	U 1054 (TU)
50	名所江戸百景 浅草田甫酉の町詣	歌川広重	大判	錦絵	安政4年(1857)	U 1042 (TU)
51	名所江戸百景 神田紺屋町	歌川広重	大判	錦絵	安政4年(1857)	U 1016 (TU)
52	名所江戸百景 京橋竹がし	歌川広重	大判	錦絵	安政4年(1857)	U 1017 (TU)
53	名所江戸百景 御厩河岸	歌川広重	大判	錦絵	安政4年(1857)	U 1046 (TU)
54	名所江戸百景 大伝馬町こふく店	歌川広重	大判	錦絵	安政5年(1858)	U 1015 (TU)
55	名所江戸百景 日本橋通一丁目略図	歌川広重	大判	錦絵	安政5年(1858)	U 984 (TU)
56	名所江戸百景 目録	歌川広重	大判	錦絵		U 940 (TU)
57	名所江戸百景 品川すさき(ちりめん絵)	歌川広重		縮緬絵	安政3年(1856)	U 1063 (TU)
58	名所江戸百景 小梅堤(ちりめん絵)	歌川広重		縮緬絵	安政4年(1857)	U 1064 (TU)
59	名所江戸百景 堀切花菖蒲(ちりめん絵)	歌川広重		縮緬絵	安政4年(1857)	U 1065 (TU)

毛利元就展—その時代と至宝—

会期 平成9（1997）年8月8日(金)～9月15日(月・祝)

会場 展示室3・4・5・6

主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、

NHK山口放送局、

NHKちゅうごくソフトプラン

後援 文化庁、萩市



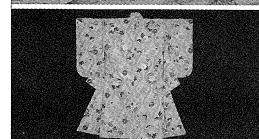
毛利元就



毛利元就展

—その時代と至宝—

平成9年8月8日(金)～9月15日(月・祝)



毛利元就展

—その時代と至宝—

平成9年8月8日(金)～9月15日(月・祝)

(1) 趣旨

安芸の国吉田庄（現広島県吉田町）をおさめていた毛利氏は、元就の時代に中国地方10カ国を領し、飛躍的な拡大を遂げる。山陽の大内氏、山陰の尼子氏という二大勢力の狭間にあって、家の存続に苦慮してきた毛利氏は、すぐれた戦略家であった元就によって困難な時代をのりきり、領地のみならず文化も継承し、発展させていった。

本展では、毛利元就の75年の生涯を縦糸に、戦国期のダイナミックな地域社会を横糸に、歴史資料をまじえつつ美術品によって構成し、この時代とその文化的な様相を、国宝5点、重文38点を含む140余点の作品によって呈示した。

(2) カタログ

企画 毛利元就展企画委員会

編集 毛利元就展企画委員会、NHK

発行 NHK、NHKプロモーション

内容 ごあいさつ 主催者

境目の盟主・毛利元就の意識—国衆との連合、そして統合にむけて— 岸田裕之

文化人毛利元就の人柄と遺品 白杵華臣

図版

第一部 毛利元就の生涯

第二部 毛利氏ゆかりの美術と工芸

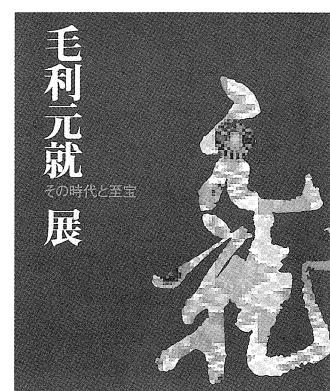
解説編

毛利氏と雲谷等顔—大内文化への憧憬— 山本英男

毛利元就文書の基礎的考察 秋山信隆

出土貿易陶磁から見た中・四国地方の交易 村上 勇

体裁 A4判変形 257ページ



(3) 記念講演会

日時 平成9年（1997）8月10日(日) 14:00～15:15

演題 「毛利氏の歴史と美術」

講師 白杵華臣（毛利博物館顧問）

日時 平成9年（1997）8月16日(土) 14:00～15:15

演題 「毛利氏の染色美術」

講師 丸山伸彦（国立歴史民俗博物館助教授）

(4) 出品目録

番号	指定	作品名	作者等	材質等	員数	時代	法量(cm)	所蔵
1	重要文化財	毛利元就画像	仁如集堯贊	絹本着色	一幅	永禄五年	縦97.0×横49.8	山口県 豊栄神社
3		毛利元就画像	仁如集堯贊	絹本着色	一幅	永禄六年	縦85.6×横42.8	
5		毛利元就画像	伝 雲谷等顔筆	紙本着色	一幅	江戸時代	縦68.2×横28.6	山口県 毛利博物館
6		毛利元就座像	大仏師山本右京作	桧材寄木造り	一躯	天正十三年	像高45.6	
8	重要文化財	色々糸威腹巻 兜・ 大袖・喉輪付			一領	室町時代	胴高53.5・兜鉢高15.5	山口県 毛利博物館
11	重要文化財	太刀 銘 備前国□□ (伝 友成)			一口	平安時代	刃長87.3・反り3.5	山口県 毛利博物館
14		大江匡範詩九行書		紙本着色	一幅	鎌倉時代	縦28.7×横42.2	山口県 毛利博物館
15	国宝	史記呂后本紀第九	大江家國筆	紙本着色	一巻	平安時代	縦28.5×横645.4	山口県 毛利博物館
16	国宝	菊造腰刀 振付			一口	鎌倉時代	刃長26.5・振長30.8	山口県 毛利博物館
17		大江広元所用鞭 納袋付			一握	鞭 鎌倉・袋	鞭長89.7	山口県 毛利博物館
						室町時代		
78	重要文化財	太刀 銘 一 黒漆太 刀振付			一口	鎌倉時代	刃長72.7・反り3.0	広島県 嶽島神社
80		竹透鏽象嵌銘			一枚	室町時代	縦8.1	山口県 毛利博物館
81		黒漆塗打刀振			一口	室町時代	総長74.6・刃長59.1	山口県 毛利博物館
83		軍幟			二旒	室町時代	縦94.6×横43.5	山口県 毛利博物館
86		黒漆三十八間三鍼形覆 輪筋兜			一頭	室町時代	兜高19.0	山口県 吉川資料館
90		白紫糸段威腹巻			一領	室町時代	胴高53.0	
91		過所旗			一旒	室町時代	縦53.3×横44.8	
92		金梨子地糸巻太刀振 刀身 太刀 銘 国綱			一口	桃山時代	振長109.2	広島県 嶽島神社
94	重要文化財	赤糸威胴丸具足			一領	桃山時代	胴高38.0・兜高20.0	広島県 嶽島神社
95		芸州嶽島一戦之図		紙本着色	一舗	江戸時代	縦105.5×横176.3	山口県 文書館
100		出陣膳椀具			一具	室町時代	膳 橫36.5×奥行36.3	山口県 毛利博物館
102	重要文化財	曲直瀬道三意見書			一通	永禄十年	縦15.5×横219.4	山口県 毛利博物館
103		「啓廻集」 曲直瀬道三筆	紙本着色		全揃八冊	天正二年	縦27.0×横20.8	広島県 三原市立図書館
113		坐具（身毒金襴の尼師檀）			一枚	室町時代	縦縦89×縦横114.5	山口県 建咲く院
116		水晶数珠	水晶珠		一連	室町時代	縦長112.0	山口県 建咲く院
117		堆朱香箱			一合	室町時代	面径21.5・高6.7	山口県 建咲く院
118		安芸国人一揆契状			一通	永正九年	縦27.4×横108.7	
121		毛利元就起請文			一通	大永五年	縦27.8×横39.9	
122		天野興定起請文			一通	大永五年	縦27.8×横39.2	
127	重要文化財	毛利元就外十一名契状			一通	弘治三年	縦32.3×横82.8	山口県 毛利博物館
131	重要文化財	毛利元就自筆書状			一通	弘治三年	縦28.9×横285.4	山口県 毛利博物館
132	重要文化財	毛利元就自筆書状			一通	弘治三年	縦27.9×横28.9	山口県 毛利博物館
133	重要文化財	毛利隆元・吉川元春・ 小早川隆景連署請書			一通	弘治三年	縦26.3×横202.0	山口県 毛利博物館
139		白茶地桐竹文様綾頭巾			一頭	室町時代	縦21.0×横29.5	山口県 日頬寺

140	濃萌葱麻地袴		一腰	室町時代	丈59.0・生地幅35.0	山口県	日頬寺
144	毛利隆元自画像	紙本墨書	一幅	室町時代	縦83.5×横41.5	山口県	毛利博物館
145	毛利隆元自画像	紙本着色	一幅	室町時代	縦80.7×横42.7	山口県	常栄寺
146	毛利隆元禁制	杉材	一枚	永禄四年	縦27.4×横87.5	山口県	防府天満宮
149	白鷺図	毛利隆元筆 紙本淡彩	一幅	室町時代	縦36.0×横48.7	山口県	毛利博物館
150	枇杷に鷹図	毛利隆元筆 紙本淡彩	一幅	室町時代	縦95.7×横45.6	山口県	毛利博物館
152	縲糸胸紅白威胴丸具足		一領	室町時代	胴高34.8	山口県	毛利博物館
153	吉川元春画像	絹本着色	一幅	桃山時代	縦51.5×横37.0	山口県	吉川資料館
154	吉川元春画像	絵所左近筆 絹本着色	一幅	江戸時代	縦110.5×横70.0	山口県	吉川資料館
155	重要文化財 太平記		二十四冊	永禄六~八年	各縦28.2×横20.6	山口県	吉川資料館
156	重要文化財 吾妻鏡	右田弘詮書写	十六冊	大永二年	各縦27.1×横20.9	山口県	吉川資料館
158	重要文化財 小早川隆景画像	玉仲宗秀贊 絹本着色	一幅	文禄三年	縦108.0×横51.2	広島県	米山寺
159	小早川隆景画像	秀峯玄鉛贊 紙本着色	一幅	慶長十三年	縦114.0×横52.5	広島県	佛通寺
160	小早川隆景短冊和歌		一幅	室町・桃山時代	縦35.6×横5.6	山口県	毛利博物館
162	毛利輝元画像	絹本着色	一幅	江戸時代	縦121.5×横54.3	山口県	毛利博物館
163	毛利輝元画像	絹本着色	一幅	江戸時代	縦119.0×横51.6	山口県	毛利博物館
164	重要文化財 刀絵図	本阿弥光徳筆 紙本墨書	一巻	文禄三年	全長268.6・縦38.3	山口県	毛利博物館
165	毛利輝元所用 印判	銅・牛角製 四顆		桃山~江戸時代		山口県	毛利博物館
166	毛利輝元所用 鏡	白銅製丸鏡 一面		桃山~江戸時代	径9.5・厚0.25	山口県	毛利博物館
167	毛利輝元所用 眼鏡		一掛	桃山~江戸時代	レンズ 長径5.0・短径4.6	山口県	毛利博物館
168	毛利輝元所用 印籠	黒漆塗千鳥蒔絵 一合		桃山~江戸時代	長径5.0・短径2.5	山口県	毛利博物館
169	毛利輝元所用 積箱	木製、一閑塗 一合		桃山~江戸時代	縦25.3×横19.8	山口県	毛利博物館
171	雪舟画像	雲谷等与筆 絹本着色	一幅	江戸時代	縦83.1×横30.8		
173	国宝 四季山水図巻	伝 雲谷等顔筆 紙本墨画	一巻	桃山~江戸時代	縦39.7×横1592.0	山口県	毛利博物館
174	四季山水図巻	狩野古信筆 紙本墨画	一巻	享保十年	縦39.7×横1759.2	山口県	毛利博物館
175	重要文化財 四季山水図巻	伝 雪舟等楊筆	一巻	室町時代	縦21.4×横1151.3	京都国立博物館	
176	重要文化財 山水図巻	雪舟等楊筆 紙本墨画	一巻	室町時代	縦23.6×横554.5	山口県立美術館	
178	仁保弘有画像	伝 雪舟等楊筆 絹本着色	一幅	室町時代	縦76.0×横36.0	山口県	源久寺
180	富士清見寺図	伝 雪舟等楊筆 紙本墨画	一幅	室町時代	縦43.3×横103.0	東京都	永青文庫
185	山水図屏風	雲谷等顔筆 紙本淡彩	六曲一双	桃山時代	各縦153.7×横357.0	山口県	熊谷美術館
189	群馬図屏風	雲谷等益筆 紙本墨画淡彩	六曲一双	江戸時代	各縦152.3×横355.0	岡山県立美術館	
195	山水図屏風	雲谷等顔筆 紙本淡彩	六曲一双	室町~桃山時代	各縦169.0×横376.0	山口県立山口博物館	
208	白地立湧菊文様唐織		一領	江戸時代	丈134.0・桁66.0	山口県	野田神社
212	茶萌葱浅葱段替り唐草 と格子文様厚板		一領	江戸時代	丈138.0・桁65.5	山口県	野田神社
217	紫地藤袴蜻蛉文様長絹		一領	江戸時代	丈144.5・桁104.0	山口県	野田神社
219	紺地夕顔唐草犀角文様 緞子着籠		一領	江戸時代	胴 丈66.0・桁40.0	山口県立山口博物館	
220	金襤五条袈裟		一肩	江戸時代	縦53.0×横156.0	山口県	龍泉寺
221	大飛出	木彫彩色	一面	江戸時代	縦20.7×横14.3	山口県	野田神社
224	山姥	木彫彩色	一面	江戸時代	縦20.6×横13.8	山口県	野田神社
229	曲見	児玉満章作 木彫彩色	一面	江戸時代	縦21.2×横13.5	山口県	野田神社
230	枝菊漆絵椀		一組	室町時代	椀 高9.5・径12.9	山口県	毛利博物館
234	漁樂図	伝 錢穀筆 絹本着色	三幅	明時代	各縦110.2×横72.4	山口県	毛利博物館
235	山水図	伝 米友仁筆 絹本着色	三幅	李朝時代	各縦125.8×横56.8	山口県	毛利博物館
238	黒釉兔毫文碗		一口	南宋時代	口径11.7・高7.3	山口県	毛利博物館
239	黒釉兔毫文碗 (禾目天目茶碗)		一口	南宋時代	口径12.4・高7.5	山口県	毛利博物館
240	大井戸茶碗 銘 常磐		一口	李朝時代	口径14.4・高8.3	山口県	毛利博物館
241	高麗茶碗		一口	李朝時代	口径13.9・高8.3	山口県	毛利博物館
242	山水人物螺钿天目台		二口	明時代	口径15.2・高6.8	山口県	毛利博物館
243	黒漆塗天目台(尼崎台)		一口	明時代	径5.8・高5.6	山口県	毛利博物館
244	唐物丸壺茶入 銘 時鳥		一口	元~明時代	口径3.3・高5.8	山口県	毛利博物館
245	唐物大海茶入		一口	元~明時代	口径4.6・高6.2	山口県	毛利博物館
246	唐物文琳茶入 銘 宇都良		一口	元~明時代	口径2.5・高6.4	山口県	毛利博物館

247	唐物笠耳茶入		一口	元～明時代	口径3.2・高6.7	山口県	毛利博物館
248	茶壺玉蟲		一口	明時代	口径12.5・高40.2		
249	黄褐釉五耳壺		一口	元～明時代	口径10.1・高37.8	山口県	毛利博物館
250	粉青沙器印花文皿		一枚	李朝時代	径18.9・高4.4	山口県	毛利博物館
254	花鳥堆朱食籠		一合	明時代	口径22.5・高11.0	山口県	毛利博物館
257	樓閣山水人物堆朱輪花花盆		一枚	明時代	径18.2・高3.4	山口県	毛利博物館
259	瓜栗鼠堆朱軸益		一枚	明時代	縦36.1×横13.5	山口県	毛利博物館
262	蒟醬食籠		一合		縦13.2×横21.8	山口県	毛利博物館
264 国宝	古今和歌集卷八 (高野切本)	紙本墨書	一巻	平安時代	縦26.4×横414.7	山口県	毛利博物館
265	伝 伏見天皇宸翰 新古今和歌集抜書	絵料紙墨書	一巻	鎌倉時代	縦26.6×横394.1	山口県	毛利博物館
266	毛利元就句集	里村紹巴筆	紙本墨書、 巻子仕立	元龜三年	全長729.4×縦18.7	山口県	毛利博物館
269	続古今和歌集卷十一	毛利元就書写	一幅	室町時代	縦30.7×横83.2	山口県	毛利博物館
274	飯尾宗祇画像	絹本着色	一幅	室町時代	縦76.2×横36.5	山口県立山口博物館	
275 重要文化財	元亨釈書		二冊	室町時代	各縦26.2×横19.5	山口県	吉川資料館
276	源氏物語		五帖	室町時代	各縦16.8×横16.8	山口県	吉川資料館
277	手鑑翰墨帖	紙本墨書	一帖	江戸時代編集	縦38.1×横36.0	山口県	吉川資料館
				計	127件		

開館一周年記念 チコチンの浮世絵—新収蔵品展

会期 平成9（1997）年9月20日(土)～10月19日(日)
会場 展示室1・2・3・4・5・6（全館）
主催 山口県立萩美術館・浦上記念館
NHK山口放送局 朝日新聞社
後援 YAB山口朝日放送



(1) 趣旨

チコチン・コレクションは日本美術の研究家でありコレクターでもあった故フェリックス・チコチン氏が収集した浮世絵版画の一大コレクションであった。昭和47年（1972）に当館の浦上敏朗名誉館長の鑑定評価のもと日本に買い戻され長らく民間の所有となっていたのを、山口県が一括購入して、当館所蔵となったものである。

このコレクションには、菱川師宣に始まる墨摺絵、紅絵、漆絵、紅摺絵の初期浮世絵の作品から、鈴木春信、鳥居清長、喜多川歌麿、東洲斎写楽、葛飾北斎、歌川広重の六代浮世絵師を中心とする、錦絵創始期から黄金時代にいたる美人画や役者絵の作品、そして後期浮世絵時代の代表的なテーマとなった風景画などが揃い、二百年にわたって発展した浮世絵版画の歴史を通観できるものであった。

当展覧会では、コレクションの特長を活かし、初期浮世絵の時代、錦絵の誕生、役者似顔絵の展開、浮世絵の黄金時代、後期浮世絵の時代、北斎と広重の6つのコーナーに分けて、184点を展示了。チコチン・コレクションの紹介は昭和53年（1978）に初めて日本で公開されて以来19年ぶりの展覧となり、質の高さを誇る同コレクションによって浮世絵版画の美の世界が堪能でき、開館一周年記念にふさわしい展覧会となった。

(2) カタログ

編集・発行 山口県立萩美術館・浦上記念館
内容 ごあいさつ 山口県立萩美術館・浦上記念館
チコチン・コレクションと私 浦上敏朗
チコチン・コレクション私観 鈴木重三
作品略解 鈴木重三（山口県立萩美術館・浦上記念館顧問）
木村八重子（白百合女子大学）
中村恵美（東京文化会館音楽資料室）
松村倫子（東京都立中央図書館）
鈴木浩平（学芸課専門学芸員）
芳賀淑子（学芸課学芸員）



出品浮世絵師略伝
浮世絵版画の標準寸法
浮世絵版画の制作工程
用語解説
収品作品一覧
体裁 A4判 233ページ

(3) ギャラリーツアー

日時 平成9(1997)年9月27日(土)、10月11日(土) 11:00~12:00
担当 鈴木浩平(学芸課専門学芸員)

(4) 国際シンポジウム

(P.221参照のこと)

(5) 出品目録

出品番号	作品名	作家名	判型	形態	制作年代	館蔵品番号
1	よしはらの躰 高嶋前	菱川師宣	横大判	墨摺絵	延宝後期	U 2602
2	玉沢才次郎 松本七蔵	鳥居清信(二代か)	細判	漆絵	享保期	U 2603
3	荻野伊三郎 山下亀松	鳥居清信(二代か)	細判	漆絵	享保期	U 2604
4	梅紅葉伊達大閑	二代鳥居清信	細判	紅摺絵	宝暦10年(1760)	U 2605
5	最中月見 三秋	二代鳥居清倍	細判	漆絵	享保中期~後期頃	U 2607
6	虎が石 曾我十郎祐成 市村卯左衛門	二代鳥居清倍	細判	漆絵	元文2年~延暦2年(1737~1745)	U 2606
7	辰五郎 さの川市松	二代鳥居清倍	細判	紅摺絵	宝暦2年(1752)	U 2608
8	鼓打つ若衆	鳥居清春	細判	漆絵	享保期	U 2609
9	人形を使う千ねんうり	西村重長	細判	紅絵	享保期	U 2610
10	市川団十郎 市川団蔵	西村重信	細判	漆絵	享保末期頃	U 2611
11	大黒の打金	奥村政信	横大判	丹絵	正徳後期頃	U 2612
12	格子先、長煙管を持つ遊女と禿	奥村政信	細判	漆絵	享保期	U 2613
13	ふだんさくらないぎ風	奥村政信	細判	漆絵	享保期	U 2614
14	若衆人形を遣う封じ文紋の美人	奥村政信	細判	紅摺絵	寛延3年(1750)頃	U 2616
15	草子洗小町	奥村政信	横大判	紅摺絵	寛延~宝暦初期	U 2617
16	おにつぐ女房つま木 瀬川菊之丞	奥村利信	細判	漆絵	享保16年(1731)	U 2615
17	花篠	筆者未詳	横中判	紅絵	享保~宝暦期	U 2618
18	淨瑠璃本を持って立つ女	筆者未詳	細判	墨摺絵	享保3年(1718)頃	U 2619
19	お七 吉三	筆者未詳	細判	墨摺絵	享保期	U 2620
20	早川新勝	松寿	細判	漆絵	享保8~20年(1723~1735)	U 2621
21	湯上りの爪を切る女	鳥居清広	細判	紅摺絵	宝暦期	U 2623
22	市村亀蔵の矢の根五郎	鳥居清満	細判	紅摺絵	宝暦9年(1759)	U 2624
23	市村亀蔵の曾我五郎	鳥居清満	細判	紅摺絵	宝暦9年(1759)	U 2625
24	かさや半七 坂東彦三郎 馬かた長蔵 中嶋三甫蔵	鳥居清満	細判	紅摺絵	宝暦9~12年(1759~1762)	U 2626
25	水壳兵助 坂東彦三良	鳥居清満	細判	紅摺絵	宝暦13年(1763)	U 2627
26	京の二郎 市村亀蔵 しげたゞ 尾上菊五郎	鳥居清経	細判	紅摺絵	宝暦末期~明和初期頃	U 2622
27	高下駄の雪取り	石川豊信	細判	紅摺絵	寛延~宝暦期(1748~1763)	U 2628
28	炬燧に掛けて文を読む中村喜代三郎	石川豊信	大判	紅摺絵	寛延2年(1749)~宝暦初期	U 2629
29	風俗四季哥仙 三月	鈴木春信	中判	錦絵	明和中期	U 2631
30	五常 仁	鈴木春信	中判	錦絵	明和4年(1767)	U 2632
31	柱絵の前に立つ遊女	鈴木春信	細判	錦絵	明和中期	U 2633
32	三味線をひく若衆と尺八をもつ遊女	鈴木春信	中判	錦絵	明和6~7年(1769~1770)頃	U 2634
33	まねへもん 十三	鈴木春信	横中判	錦絵	明和7年(1770)	U 2635
34	文を書く美人	筆者未詳	中判	錦絵	明和2年(1765)	U 2637
35	見立王子喬	筆者未詳	横中判	錦絵	明和2年(1765)	U 2638

36	邯郸	筆者未詳	横中判	摺物	明和期	U 2639
37	歳時昼夜十二ヶ月 葉月 はぎ つき見	歌川豊春	中判	錦絵	安永初期頃	U 2660
38	竹に虎	歌川豊春	中短冊判	錦絵	安永5年 (1776)	U 2661
39	尼ヶ崎坊 ゆり	雪圭斎昌房	細判	合羽摺	安永期	U 2630
40	嵐雛治の菊を持つ侍女	一筆斎文調	細判	錦絵	明和8年 (1771) 頃	U 2644
41	二世山下金作の女三の宮の侍女むつ花	一筆斎文調	細判	錦絵	明和6~8年 (1769~1771)	U 2645
42	花相撲 西小結逢身屋半太輔	一筆斎文調	細判	錦絵	明和8年~安永1年頃 (1771~1772)	U 2646
43	四世市川団十郎の雲に乗る天狗	勝川春章	細判	錦絵	明和7年 (1770)	U 2647
44	三世大谷広右衛門の刀をくわえた老翁	勝川春章	細判	錦絵	明和期	U 2648
45	中村仲蔵の衛士の鶴平実は斎藤別当実盛	勝川春章	細判	錦絵5枚続の内	安永9年 (1780)	U 2650
46	四世市川団蔵の崇徳院	勝川春章	細判	錦絵	安永9年 (1780)	U 2649
47	三世瀬川菊之丞の盃をもつ美人	勝川春章	細判	錦絵	安永末期	U 2651
48	五世市川団十郎の編笠の侍	勝川春章	細判	錦絵	安永期	U 2652
49	三世沢村宗十郎と二世市川門之助	筆者未詳	細判	錦絵	天明3年 (1783) カ	U 2791
50	三世瀬川菊之丞のお軽	勝川春好	細判	錦絵	安永期	U 2653
51	二世市川門之助の胡弓を弾く編笠の侍	勝川春好	細判	錦絵	安永期	U 2654
52	三世瀬川菊之丞のお軽	勝川春好	細判	錦絵	安永6年 (1777)	U 2656
53	五世市川団十郎の弓杖を突く荒事師	勝川春好	細判	錦絵	天明6年 (1786) カ	U 2655
54	五世市川団十郎の浅間左衛門	勝川春英	細判	錦絵	天明7年 (1787)	U 2657
55	五世市川団十郎の奴刃平実は源次兵衛広綱と二世小佐 川常世の黒木壳	勝川春英	間判	錦絵	寛政2年 (1790)	U 2658
56	四世岩井半四郎の兼好妹千早と尾上松助の湯浅孫六入 道定虎	勝川春英	間判	錦絵	寛政6年 (1794)	U 2659
57	東の里栄花八景 両国の夕照	礒田湖龍斎	中判	錦絵	明和末期頃	U 2640
58	風流四季遊 夏	礒田湖龍斎	中判	錦絵	安永期	U 2641
59	雛形若菜の初模様 大かなや内なをえ	礒田湖龍斎	大判	錦絵	安永期	U 2642
60	雛形若菜の初模様 蔦屋内しほきぬ	礒田湖龍斎	大判	錦絵	安永後期	U 2643
61	和国美人略集 小式部内侍	鳥居清長	中判	錦絵	天明1~2年 (1781~1782) 頃	U 2662
62	茶見世十景 御殿山	鳥居清長	中判	錦絵	天明3年 (1783) 頃	U 2663
63	雛形若菜の初模様 あふきや内遠路 里次 浦次	鳥居清長	大判	錦絵	天明4年 (1784) 頃	U 2664
64	風俗東之錦 褒着	鳥居清長	大判	錦絵	天明3~4年 (1783~1784) 頃	U 2665
65	女三の宮	鳥居清長	大判	錦絵	天明4年 (1784) 頃	U 2666
66	社頭の見合い	鳥居清長	大判	錦絵2枚続の右	天明4年 (1784) 頃	U 2793
67	隅田川渡し船	鳥居清長	大判	錦絵3枚続	天明7年 (1787) 頃	U 2667
68	雪景柳下に立つ四世松本幸四郎と美人	鳥居清長	細判	錦絵	天明初期	U 2668
69	六玉川 野路の玉川	窪俊満	大判	錦絵6枚続の内	天明末期頃	U 2776
70	由良之助 一力遊興	窪俊満	大判	錦絵3枚続	天明末期	U 2673
71	忍ヶ岡散策	勝川春潮	大判	錦絵3枚続の内	天明後期	U 2788
72	三味線をもつ美人	勝川春潮	大判	錦絵3枚続の内	天明末期~寛政初期	U 2790
73	萩の庭	勝川春潮	大判	錦絵3枚続の右	寛政前期	U 2789
74	風流十二月	勝川春潮	中判	錦絵	寛政前期	U 2671
75	土手下遊山船の美人	勝川春潮	大判	錦絵3枚続	寛政3~5年 (1791~1793) 頃	U 2670
76	三世瀬川菊之丞の梅下片肌脱ぎの女	勝川春潮	細判	錦絵	天明末期~寛政初期	U 2669
77	扇屋内花扇 よしの たつた	喜多川歌麿	大判	錦絵	寛政8年 (1796) 頃	U 2676
78	座敷歌舞遊宴の図	喜多川歌麿	大判	錦絵3枚続	寛政1~2年 (1789~1790) 頃	U 2674
79	唐樓閣美人遊興図	喜多川歌麿	大判	錦絵3枚続	寛政1~2年 (1789~1790) 頃	U 2675
80	見立静御前	喜多川歌麿	大判	錦絵3枚続	寛政後期	U 2682
81	逢身八契 三勝半七の母節	喜多川歌麿	大判	錦絵	寛政10~11年 (1789~1799) 頃	U 2677
82	実競色乃美名家見 城き屋お駒 尾花才三郎	喜多川歌麿	大判	錦絵	寛政10~11年 (1789~1799) 頃	U 2678
83	忠臣蔵 五段目	喜多川歌麿	大判	錦絵	寛政10~11年 (1789~1799) 頃	U 2679
84	女織蚕手業草 三	喜多川歌麿	大判	錦絵	寛政10~12年 (1798~1800) 頃	U 2782
85	女織蚕手業草 八	喜多川歌麿	大判	錦絵	寛政10~12年 (1798~1800) 頃	U 2781
86	江戸六玉顔 此君情深し	喜多川歌麿	大判	錦絵	享和期	U 2681
87	名所風景 美人十二相	喜多川歌麿	大判	錦絵	享和期	U 2683
88.	風流六玉川 紀伊	喜多川歌麿	大判	錦絵6枚続の内	享和~文化1年 (1801~1804) 頃	U 2684

89	見立妹背山	喜多川歌磨	大判	錦絵3枚続	文化2年（1805）頃	U 2685
90	丁子屋内唐琴 あけは やよひ	喜多川歌磨	大判	錦絵	文化1年（1804）頃	U 2680
91	弓矢をもつ美人	鳥文斎栄之	大判	錦絵3枚続の内	天明末期～寛政初期	U 2777
92	風流やつし源氏 若菜巻上	鳥文斎栄之	大判	錦絵3枚続	寛政3～4年（1791～1792）頃	U 2687
93	風流やつし源氏 すま	鳥文斎栄之	大判	錦絵3枚続の右	寛政初期	U 2794
94	青楼美人六花仙 越前屋唐土	鳥文斎栄之	大判	錦絵	寛政6～7年（1794～1795）頃	U 2688
95	青楼美人六花仙 静玉屋志津加	鳥文斎栄之	大判	錦絵	寛政6～7年（1794～1795）頃	U 2689
96	お高祖頭巾	鳥高斎栄昌	大判	錦絵	寛政8年（1796）頃	U 2690
97	隅田川	勝川春山	大判	錦絵3枚続の左	天明後期	U 2775
98	両国花火	勝川春山	大判	錦絵3枚続の中	天明後期頃	U 2787
99	とうせい女忠臣蔵 四段目 城渡の段	勝川春山	中判	錦絵	寛政前期	U 2672
100	青楼後朝雨 三枚続	栄松斎長喜	大判	錦絵3枚続の内	寛政後期	U 2686
101	三世瀬川菊之丞の田辺文蔵妻おしづ	東洲斎写楽	大判	錦絵	寛政6年（1794）	U 2691
102	二世瀬川富三郎の大岸蔵人妻やどり木	東洲斎写楽	大判	錦絵	寛政6年（1794）	U 2692
103	中山富三郎の義興妻つくば御前	東洲斎写楽	細判	錦絵	寛政6年（1794）	U 2693
104	三世市川高麗藏の衛士姿の新田義貞	東洲斎写楽	細判	錦絵	寛政6年（1794）	U 2694
105	吉原大門口	歌川豊国	大判	錦絵3枚続の内	天明後期	U 2779
106	隅田川	歌川豊国	大判	錦絵5枚続の内	寛政3～5年（1791～1793）頃	U 2778
107	しか茶や	歌川豊国	大判	錦絵3枚続	寛政3～5年（1791～1793）頃	U 2696
108	座敷狂言 釣狐	歌川豊国	大判	錦絵5枚続の内	寛政4～5年（1792～1793）頃	U 2695
109	洗張	歌川豊国	大判	錦絵3枚続の左	寛政11～12年（1799～1800）頃	U 2780
110	三世坂東彦三郎の菅丞相と七世片岡仁左衛門の白太夫	歌川豊国	大判	錦絵	寛政8年（1796）	U 2699
111	三世市川八百蔵の武部源蔵と岩井喜代太郎の戸浪	歌川豊国	大判	錦絵	寛政8年（1796）	U 2698
112	二世中村仲蔵の松王丸と二世中村野塩の松王女房千代	歌川豊国	大判	錦絵	寛政8年（1796）	U 2697
113	けいせい島寺の袖 瀬川菊三良 新田よしはる 中村伝九良	歌川豊国	大判	錦絵	寛政10年（1798）	U 2700
114	三浦の片かい 岩井彥三郎	歌川豊国	大判	錦絵	享和2年（1802）	U 2701
115	尾上栄三郎の曾我五郎	歌川国政	大判	錦絵	享和3年（1803）	U 2702
116	柳下 屋根舟に乗る美人	歌川豊広	大判	錦絵堅2枚続	享和期～文化初期	U 2703
117	相州江之嶋ノ図	勝川春亭	横大判	錦絵	文化初期	U 2737
118	東都名所 大森	歌川国芳	横大判	錦絵	天保初期	U 2747
119	東都名所 するがだひ	歌川国芳	横大判	錦絵	天保初期	U 2748
120	名勝八景 大山夜雨 従前不動頂上之図	二代歌川豊国	横大判	錦絵	天保4～5年（1833～1834）頃	U 2739
121	名勝八景 玉川秋月 玉川鮎汲の図	二代歌川豊国	横大判	錦絵	天保4～5年（1833～1834）頃	U 2740
122	名勝八景 金沢帰帆 従瀬戸橋野嶋之図	二代歌川豊国	横大判	錦絵	天保4～5年（1833～1834）頃	U 2741
123	名勝八景 鎌倉晩鐘 鶴ヶ岡より房州山の図	二代歌川豊国	横大判	錦絵	天保4～5年（1833～1834）頃	U 2742
124	名所八景 江ノ島晴嵐 小田留木の磯もろこしが原	二代歌川豊国	横大判	錦絵	天保4～5年（1833～1834）頃	U 2743
125	名勝八景 熱海夕照 熱海ヶ浜より大鳴之真景	二代歌川豊国	横大判	錦絵	天保4～5年（1833～1834）頃	U 2744
126	名勝八景 三保落雁 駿州清見寺吉原宿遠景	二代歌川豊国	横大判	錦絵	天保4～5年（1833～1834）頃	U 2745
127	名勝八景 富士暮雪 下仙元従宮中宿全図	二代歌川豊国	横大判	錦絵	天保4～5年（1833～1834）頃	U 2746
128	富嶽三十六景 凱風快晴	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2～5年（1831～1834）	U 2704
129	富嶽三十六景 深川万年橋下	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2～5年（1831～1834）	U 2707
130	富嶽三十六景 山下白雨	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2～5年（1831～1834）	U 2705
131	富嶽三十六景 東都駿台	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2～5年（1831～1834）	U 2708
132	富嶽三十六景 武州千住	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2～5年（1831～1834）	U 2709
133	富嶽三十六景 武州玉川	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2～5年（1831～1834）	U 2710
134	富嶽三十六景 甲州犬目峠	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2～5年（1831～1834）	U 2711
135	富嶽三十六景 尾州不二見原	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2～5年（1831～1834）	U 2786
136	富嶽三十六景 東都浅草本願寺	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2～5年（1831～1834）	U 2712
137	富嶽三十六景 武陽佃嶋	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2～5年（1831～1834）	U 2713
138	富嶽三十六景 相州梅沢左	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2～5年（1831～1834）	U 2714
139	富嶽三十六景 甲州三鳴越	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2～5年（1831～1834）	U 2715
140	富嶽三十六景 江都駿河町三井見世略図	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2～5年（1831～1834）	U 2716
141	富嶽三十六景 五百らかん寺さゝみどう	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2～5年（1831～1834）	U 2717
142	富嶽三十六景 磨川雪ノ旦	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2～5年（1831～1834）	U 2720

143	富嶽三十六景 下目黒	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2~5年 (1831~1834)	U 2721
144	富嶽三十六景 隠田の水車	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2~5年 (1831~1834)	U 2722
145	富嶽三十六景 東海道江尻田子の浦略図	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2~5年 (1831~1834)	U 2723
146	富嶽三十六景 東海道吉田	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2~5年 (1831~1834)	U 2724
147	富嶽三十六景 上総ノ海路	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2~5年 (1831~1834)	U 2718
148	富嶽三十六景 江戸日本橋	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2~5年 (1831~1834)	U 2719
149	富嶽三十六景 登戸浦	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2~5年 (1831~1834)	U 2725
150	富嶽三十六景 相州箱根湖水	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2~5年 (1831~1834)	U 2726
151	富嶽三十六景 甲州三坂水面	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2~5年 (1831~1834)	U 2727
152	富嶽三十六景 本所立川	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2~5年 (1831~1834)	U 2792
153	富嶽三十六景 甲州伊沢暁	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2~5年 (1831~1834)	U 2728
154	富嶽三十六景 駿州片倉茶園ノ不二	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2~5年 (1831~1834)	U 2729
155	富嶽三十六景 東海道金谷ノ不二	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2~5年 (1831~1834)	U 2730
156	富嶽三十六景 諸人登山	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2~5年 (1831~1834)	U 2731
157	琉球八景 龍洞松涛	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保3年 (1832)	U 2732
158	諸国瀧廻り 相州大山 ろうべんの瀧	葛飾北斎	大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834) 墾	U 2733
159	諸国名橋奇覧 足利行道山 くものかけはし	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保4~5年 (1833~1834) 墾	U 2734
160	百人一首 乳母か絵説 中納言家持	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保6~7年 (1835~1836) 墾	U 2735
161	諸国名所 上州三国越不動峠	魚屋北溪	横大短冊判	錦絵	天保5~6年 (1834~1835) 墾	U 2736
162	木曾街道沓掛ノ駅 平塚原雨中之景	溪斎英泉	横大判	錦絵	天保6~7年 (1835~1836) 墾	U 2738
163	近江八景之内 石山秋月	歌川広重	横大判	錦絵	天保5年 (1834) 墾	U 2749
164	近江八景之内 三井晩鐘	歌川広重	横大判	錦絵	天保5年 (1834) 墾	U 2750
165	浪花名所図会 今宮十日ゑひす	歌川広重	横大判	錦絵	天保5年 (1834) 墾	U 2751
166	浪花名所図会 安井天神山花見	歌川広重	横大判	錦絵	天保5年 (1834) 墾	U 2752
167	浪花名所図会 道とんぼりの図	歌川広重	横大判	錦絵	天保5年 (1834) 墾	U 2753
168	浪花名所図会 八けん屋着船之図	歌川広重	横大判	錦絵	天保5年 (1834) 墾	U 2754
169	浪花名所図会 しん町九けん丁	歌川広重	横大判	錦絵	天保5年 (1834) 墾	U 2755
170	浪花名所図会 順慶町夜見世之図	歌川広重	横大判	錦絵	天保5年 (1834) 墾	U 2756
171	浪花名所図会 堂じま米あきない	歌川広重	横大判	錦絵	天保5年 (1834) 墾	U 2757
172	浪花名所図会 雜喉場魚市の図	歌川広重	横大判	錦絵	天保5年 (1834) 墾	U 2758
173	難波名所図会 住吉御田の祭式田楽之図	歌川広重	横大判	錦絵	天保5年 (1834) 墾	U 2759
174	浪花名所図会 安立町難波屋のまつ	歌川広重	横大判	錦絵	天保5年 (1834) 墾	U 2760
175	六十余州名所図会 備後 阿武門觀音堂	歌川広重	大判	錦絵	嘉永6年 (1853)	U 2761
176	名所江戸百景 真乳山山谷堀夜景	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 2764
177	名所江戸百景 深川万年橋	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 2765
178	名所江戸百景 両国橋大川ばた	歌川広重	大判	錦絵	安政3年 (1856)	U 2766
179	名所江戸百景 よし原日本堤	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 2769
180	名所江戸百景 南品川鰐州海岸	歌川広重	大判	錦絵	安政4年 (1857)	U 2770
181	東都名所之内 両国橋元柳橋	歌川広重	間短冊判	錦絵	天保末期	U 2771
182	紫陽花に翡翠	歌川広重	大短冊判	錦絵	天保3年 (1832) 墾	U 2772
183	松に鳥	長谷川貞信	大短冊判	錦絵	天保後期	U 2774
184	富嶽三十六景 山下白雨 (変わり摺)	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保頃力	U 2706

耀州窯展—中国中原に華ひらいた名窯—

会期 平成9（1997）年10月25日（土）～12月21日（日）
会場 展示室3・4・5・6
主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、
陝西省文物事業管理局、耀州窯博物館、
朝日新聞社、YAB山口朝日放送、
KBC九州朝日放送
後援 外務省、文化庁、中国国家文物局、中国大使館
協力 日中文物事業協議会



(1) 趣旨

中国・陝西省西安の北、銅川市・黃堡鎮を中心に広がる耀州窯は、唐から宋・金・元代に及ぶ製陶の歴史を持ち、特にオリーブグリーンの青磁で北宋時代を代表する名窯のひとつに数えられている。

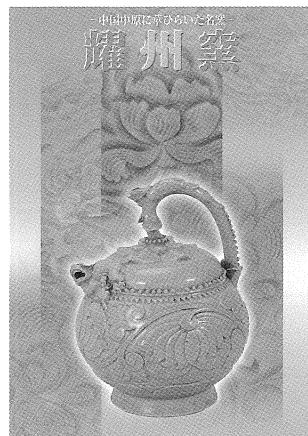
近年、中国では窯址の発掘調査が盛んに行われている。特に、耀州窯では、目覚ましい考古学的成果があり、1995年には銅川市に耀州窯博物館が開館するなど、中国陶磁のなかでも、最も研究が進んでいる窯のひとつである。

発掘調査の中で、唐代では唐三彩が生産されていたことが確認され、五代の「官」銘のある青磁が出土しています。また、窯跡が知れず、産地が特定されていなかった東窯タイプの青磁も耀州窯の製品であることが判明し、幻と言われ鼎州窯が耀州窯であったことも判った。金代には月白釉の美しい焼物を生み出し、元代になると白釉鉄絵のいわゆる河北・磁州窯タイプの製品も出土している。このように、従来の中国陶磁史に再考を促すさまざまな新事実が明らかになっている。

この展覧会では、耀州窯博物館、陝西歴史博物館、陝西省考古研究所に所蔵されている一級文物12点を含む発掘資料109点によって最新の学術成果を展示するとともに、日本国内に所蔵されている重要文化財を含む名品約50点を展示し、耀州窯の全容を紹介した。

(2) カタログ

- 編集 大阪市立弥生文化博物館
発行 朝日新聞社
内容 ごあいさつ 主催者
メッセージ 陝西省文物事業管理局局長 王 文清
瓷苑明珠—耀州窯 耀州窯博物館館長 薛 東星
図版 I
図版 II 出土陶片
中国陶磁史における耀州窯の位置 出川哲朗
耀州窯歴代青磁の工芸上の特色 楊 振西
耀州窯と伝世の東窯器 杜 葆仁
耀州窯陶磁にみる文様 野村恵子



耀州窯の窯構造・工房・窯道具 森 達也
日本出土の耀州窯系青磁 上田秀夫
論文翻訳 小林 仁
解説文翻訳 西谷 大、森 達也
体裁 A4判 195ページ

(3) 講演会

記念講演会（兼平成9年度第4回美術講座）

日時 平成9（1997）年10月25日（土）14：00～15：30
演題 「中国陶磁史における耀州窯の位置」
講師 出川哲朗（大阪市立東洋陶磁美術館学芸課長）

教育文化週間教養講座

日時 平成9（1997）年11月3日（月・文化の日）14：00～15：30
演題 「食器と料理」
講師 平野雅章（食文化史研究家）

(4) ギャラリーツアー

日時 平成9（1997）年11月22日（土）11：00～12：00
担当 上田秀夫（学芸課長）

(5) 出品目録

No.	指定	作品名	時代	世紀	法量 (cm)	所蔵（収蔵品No.）
1	一級文物	三彩龍頭棟飾	唐	8～9	w:24.0×13.5 h:17.5	陝西省考古研究所（標本IIZ2-3:5）
2		三彩住宅	唐	8～9		耀州窯博物館（郊01）
3		三彩牛車	唐	8～9	W:22.0×19.5 h:18.0	耀県博物館（標本LM4:34）
4		三彩俑	唐	8～9	h:25.4	耀州窯博物館（耀博1373）
5		白釉綠彩瓶	唐	8～9	d:1.2 h:7.9	耀州窯博物館（92009）
6	一級文物	黑釉塔型壺	唐	8～9	H:51.5	耀州窯博物館（81176）
7		黑釉鉢	唐	8～9	d:13.2 h:11.5	耀州窯博物館（86003）
8		褐釉共蓋壺	唐	8～9	d:13.0 H:23.8	耀州窯博物館（86013）
9		白釉合子	唐	8～9	d:10.2 h:6.9	耀州窯博物館（遺91034）
10		白地黒花文合子	唐～五代	9～10	d:9.5	京都国立博物館（G甲258）
11		白地鏽斑小壺	唐	8～9	d:7.5 h:7.2	東京国立博物館（TG2458）
13		青磁三足壺	唐～五代	9～10	d:8.0 h:10.1	
14		青磁壺	唐～五代	9～10	d:3.0 D:7.0 H:8.3	耀州窯博物館（93118）
15		青磁鉢	五代	10	d:12.7 h:5.5	
16		青磁鉢	五代	10	d:13.7 h:6.4	
17		青磁皿	五代～北宋	10	d:13.5 h:2.0	東京国立博物館（TG2923）
18		青磁碗	五代	10	d:12.8 h:5.3	大阪市立東洋陶磁美術館（Acc.No11629）
19		青磁鉢	五代～北宋	10	d:12.9 h:5.4	
20		青磁輪花碗	五代～北宋	10	d:12.5 h:4.1	
22		青磁刻花文三足共蓋壺	五代～北宋	10	D:30.7 H:10.6	陝西省歴史博物館
23		青磁刻花牡丹唐草文水注	五代～北宋	10	h:17.1 H:21.3	
24		青磁刻花牡丹文壺	五代～北宋	10	d:8.0 H:7.5	陝西省考古研究所
25		青磁刻花文灯	北宋	11～12	d:10.7 h:8.0	耀州窯博物館（84019）
26		青磁輪花鉢	北宋	11	d:12.6 h:6.5	大阪市立東洋陶磁美術館（Acc.No11624）
27		青磁輪花碗	北宋	11～12	d:11.9 h:5.5	耀州窯博物館（80492）
28	一級文物	青磁刻花宝相華文水注	北宋	11～12	D:14.5 H:19.0	陝西省歴史博物館
29		青磁刻花牡丹唐草文水注	北宋	11～12	h:28.9	東京国立博物館（TG1247）

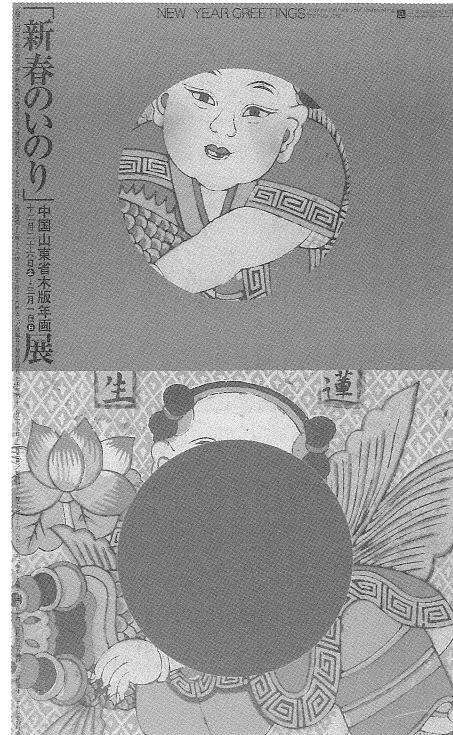
30	青磁刻花双鳳唐草文承盤	北宋	11~12	d:15.7	東京国立博物館 (TG1248)
31	青磁杯・托	北宋	11~12	d:8.2 h:5.2(杯) d:13.3 h:3.0(托)	陝西省歴史博物館
32	青磁刻花牡丹文尊	北宋	11~12	d:13.2 h:12.0	
33	青磁刻花蓮弁文壺	北宋	11~12	d:4.9 h:10.2	梅澤記念館
34	青磁刻花宝相華唐草文壺	北宋	11~12	h:12.2	大阪市立東洋陶磁美術館 (Acc.No10793)
35	青磁刻花牡丹唐草文瓶	北宋	11~12	h:28.7	MOA美術館
36 重要文化財	青磁刻花牡丹唐草文瓶	北宋	11~12	h:16.7	大阪市立東洋陶磁美術館 (Acc.No10740)
37	青磁刻花花喰鳥牡丹唐草文枕	北宋	11~12	w:19.4×23.3 h:10.7	静嘉堂文庫美術館
38	青磁刻花牡丹文壺	北宋	11~12	d:6.8 D:10.4 h:10.2	出光美術館 (5648)
39	青磁刻花宝相華唐草文碗	北宋	11~12	d:10.3 h:7.2	富山美術館
40	青磁盤	北宋	11~12	d:12.4 h:3.2	耀州窯博物館 (80494)
41	青磁刻花波文盤	北宋	11~12	d:12.8	
42	青磁刻花牡丹文盤	北宋	11~12	d:18.7	
43	青磁刻花蓮弁文碗	北宋	11~12	d:13.1	京都国立博物館 (G甲263)
44	青磁刻花牡丹文碗	北宋	11~12	d:12.0	京都国立博物館 (G甲251)
45	青磁刻花牡丹文碗	北宋	11~12	d:12.4 h:6.8	出光美術館 (8985)
46	青磁刻花牡丹文碗	北宋	11~12	d:11.8 h:5.0	耀州窯博物館 (82001)
47	褐釉輪花碗	北宋	11~12	d:11.5 h:5.5	耀州窯博物館 (81009)
48	褐釉碗	北宋	11~12	d:12.1 h:6.2	
49	青磁共蓋碗	北宋	11~12	d:11.1 h:10.3	出光美術館 (9158)
50	褐釉共蓋碗	北宋～金	12	d:9.2	山口県立萩美術館・浦上記念館 (HUM/T220)
51	青磁盒	北宋	11~12	d:9.7 h:3.7	耀州窯博物館 (81025)
52	青磁盒	北宋	11~12	d:9.3 h:4.0	愛知県陶磁資料館
53	青磁碗	五代～北宋	10	d:11.6 h:4.0	
54	黑釉碗	北宋	11~12	d:14.5 h:4.6	
55	青磁碗	北宋	11~12	d:10.5	大阪市立東洋陶磁美術館 (Acc.No11626)
56	褐釉碗	北宋	11~12	d:4.2 h:11.3	
57	青磁鉢	北宋	11~12	d:20.2 h:7.6	耀州窯博物館 (考27)
59	青磁印花牡丹唐子文碗	北宋	11~12	d:15.1	京都国立博物館 (G甲224)
60	青磁刻花蓮華唐子文碗	北宋	11~12	d:14.9	大阪市立美術館
61	青磁刻花唐子遊戯図碗	北宋	11~12	d:14.6	大阪市立東洋陶磁美術館 (Acc.No11326)
62	青磁印花牡丹唐草文碗	北宋	11~12	d:16.7 h:7.0	出光美術館 (8956)
63	青磁印花牡丹文輪花鉢	北宋	11~12	d:18.5	美術工芸振興佐藤基金
64	青磁刻花牡丹文碗	北宋	11~12	d:22.5 h:5.0	出光美術館 (5649)
65	青磁刻花牡丹文碗	北宋	11~12	d:19.3	
66	青磁刻花牡丹文碗	北宋	11~12	d:20.6	大阪市立東洋陶磁美術館 (Acc.No10888)
67	青磁刻花蓮華文碗	北宋	11~12	d:13.0	大阪市立東洋陶磁美術館 (Acc.No11633)
68	青磁刻花波水魚文碗	北宋	11~12	d:11.9 h:4.8	耀州窯博物館 (80527)
69	青磁印花蓮華文八角盤	北宋	11~12	d:11.0 h:2.1	耀州窯博物館 (耀博008)
70	青磁小皿	北宋	11~12	d:9.9 h:2.1	
71	青磁瓜形双耳壺	北宋	11	h:11.9	
72	青磁刻花花文香炉	北宋	11~12	d:10.1 h:3.2	大阪市立東洋陶磁美術館 (Acc.No11636)
73	青磁刻花牡丹文水注	北宋	11~12	d:8.8 h:25.4	耀州窯博物館 (耀博075)
74	青磁刻花牡丹文筒型壺	北宋	11~12	d:18.6	大阪市立東洋陶磁美術館 (Acc.No11351)
75	青磁刻花牡丹唐草文瓶	北宋	11~12	m.d:5.9 h:22.2	
76	青磁刻花唐草文盒	北宋	11~12	d:12.0 h:9.0	陝西省考古研究所 (KZ77)
77	青磁刻花花文合子	北宋～金	12	d:5.7 h:3.0	東京国立博物館 (TG2441)
78	青磁透影灯	北宋	11~12	d:18.6 h:16.0	耀州窯博物館 (95001)
79	青磁刻花鎬文五足香炉	北宋	11~12	d:18.6 h:11.5	耀州窯博物館 (95002)
80	青磁蓮華形香炉	北宋	11~12	d:5.5 h:6.9	耀州窯博物館 (87052)
81	青磁刻花唐草文香炉	北宋	11~12	d:10.7 h:10.9	東京国立博物館 (TG2168)
82	青磁印花花文香炉	北宋～金	12	d:13.6 h:13.9	大阪市立東洋陶磁美術館 (Acc.No10693)
83	青磁刻花唐草文三足香炉	金	12	d:12.0 h:13.2	耀州窯博物館 (耀博002)
84	青磁刻花牡丹唐草文瓶	北宋	11~12	d:5.5 h:30.5	耀州窯博物館 (渭008)
86	青磁俑	北宋	11~12	h:13.1(80566) W:6.0 H:6.5(標006)	耀州窯博物館 (80566 標006)

87	青磁俑	北宋	11~12	h:11.7 · 10.0 · 7.3	耀州窯博物館 (81147)
88	青磁碗	金	12	d:10.1 h:4.4	耀州窯博物館 (耀博018)
89	青磁刻花文盒	金	12	d:8.0 H:6.6	耀州窯博物館 (考9432)
90	青磁盤	金	12	d:21.0 h:4.9	大阪市立東洋陶磁美術館 (Acc.No11630)
91	青磁刻花牡丹文鉢	北宋	11~12	d:20.9 h:5.0	
92	青磁刻花牡丹文盤	金	12	d:18.7 h:3.9	耀州窯博物館 (耀博013)
93	青磁刻花菊文碗	北宋~金	12	d:18.5	大阪市立東洋陶磁美術館 (Acc.No11637)
95	青磁刻花文盤	金	12	d:19.0	山口県立萩美術館・浦上記念館 (HUM/T242)
97	青磁刻花百合文盤	五代~北宋	10	d:18.6 h:3.3	
98 一級文物	青磁合子	金	12	d:6.8 H:10.0	耀州窯博物館
99	青磁共蓋碗	金	12	d:9.9 (碗) H:10.0	耀州窯博物館 (耀博072)
100	青磁碗	金	12	d:13.1 h:7.8	耀州窯博物館 (耀博070)
101	月白釉水注	金	12	d:5.6 h:11.8	耀州窯博物館 (耀博1173)
102 一級文物	月白釉板耳付盤	金	12	d:15.4 h:6.0	耀州窯博物館 (耀博0001)
103	月白釉瓶	金	12	d:6.4 h:29.0	
104 一級文物	月白釉貼花夔鳳文双耳三足香炉	金	12	d:20.0 h:27.3	陝西省歴史博物館
105	青磁貼花夔鳳文香炉	金	12~13	d:21.5	大阪市立東洋陶磁美術館 (Acc.No10740)
106	青磁獅子飾灯	金	12	d:10.3 (盤) H:9.2 W:7.7×5.8	耀州窯博物館 (耀博076)
107	青磁印花蓮池魚文盤	金	12	d:16.8 h:3.5	耀州窯博物館 (86022)
108	青磁貼花龍文瓶	金	12	d:6.4 h:18.1	陝西省歴史博物館
109	青磁刻花七宝繫文瓶	金	12	d:6.0 D:9.7 h:17.8	耀州窯博物館 (耀博026)
110	青磁瓶	金	12	d:6.2 h:20.2	耀州窯博物館 (耀博069)
111	青磁刻花蓮池文碗	元	13	d:17.8 h:6.8	耀州窯博物館 (80506)
112	青磁瓢形水注	元	13	d:6.0 h:12.7	耀州窯博物館 (耀博1172)
113	青磁刻花唐草文瓶	元	13	d:8.0 D:15.3 h:28.8	耀州窯博物館 (93026)
114	黑釉碗	元	13	d:17.9 h:6.1	耀州窯博物館 (80501)
115	黑釉水注	元	13	d:5.8 D:16.7 h:24.5	耀州窯博物館 (宜432)
116	白地黑花花文洗	元	13	d:28.1 h:8.8	耀州窯博物館 (耀博1141)
117	白釉黑花唐草文壺	元	13	d:7.7 D:12.8 h:12.0	耀州窯博物館 (宜232)
118	白釉褐彩騎馬俑	元	13	W:12.5 h:14.2	耀州窯博物館 (86001)
119	綠釉筒瓦	唐	8 ~ 9	w:26.6×11.0 h:5.6	耀州窯博物館 (93177)
120 一級文物	黑釉白斑鼓胴	唐	8 ~ 9	D:22.0 W:24.5	耀州窯博物館 (93175)
121	白地黑花花文碗	唐	8 ~ 9	d:11.2 h:4.0	耀州窯博物館 (80512)
122 一級文物	白地黑花花文盤	唐	8 ~ 9	d:16.6 h:3.8	耀州窯博物館 (96017)
123 一級文物	黑釉刻花文水注	唐	8 ~ 9	D:11.8 h:11.2	耀州窯博物館 (93260)
124	茶葉末釉瓜形水注	唐	8 ~ 9	d:9.4 D:14.0 h:24.6	耀州窯博物館 (遺9108)
125	白釉双耳瓶	唐	8 ~ 9	d:8.5 D:22.0 h:31.5	耀州窯博物館 (80401)
126	白釉碗陶片	唐	8 ~ 9	d:13.8 h:4.1	耀州窯博物館
127	茶葉末釉人面形笛	唐	8 ~ 9	h:5.4	耀州窯博物館 (87140)
128	白釉綠彩瓶陶片	唐	8 ~ 9	h:4.7	耀州窯博物館
129	白釉褐彩瓜形壺陶片	唐	8 ~ 9	h:4.5 w:7.5	耀州窯博物館
130	青磁輪花碗陶片	唐	8 ~ 9	D:21.7 h:6.7	耀州窯博物館
131	青磁輪花盤	五代	10	d:16.7 h:3.2	耀州窯博物館 (考179)
132	青磁輪花碗	五代	10	d:17.5 h:7.1	耀州窯博物館 (考09)
133	青磁尊	五代	10	d:7.7 h:8.5	陝西省考古研究所 (K115)
134	青磁刻花唐草文鉢	五代	10	d:18.5 h:5.3	耀州窯博物館 (遺9129)
135	青磁碗陶片「官」字銘	五代	10	d:7.6	耀州窯博物館 (93256)
136	青磁碗陶片	五代	10	D:11.0	耀州窯博物館
137	青磁輪花碗陶片	五代	10	D:10.0 h:8.8	耀州窯博物館
138	青磁刻花文碗陶片	五代	10	D:6.1 h:1.2	耀州窯博物館
139	青磁托陶片	五代	10	D:9.7 h:2.7	耀州窯博物館
140	青磁輪花碗陶片	五代	10	D:9.5 h:6.6	耀州窯博物館
141	青磁刻花花文輪花盤	五代	10	d:18.5 h:6.0	陝西省考古研究所 (KZ44)
142	青磁刻花牡丹文水注	五代	10	h:17.7	耀州窯博物館 (80551)
143	青磁刻花宝相華文鳳首水注	五代	10	d:5.4 H:20.8	陝西省考古研究所

144	青磁刻花宝相華唐草文蓋	北宋	11~12	D:13.1 h:4.2	耀州窯博物館 (87035)
145	青磁刻花花文尊	北宋	11~12	d:12.3 h:10.9	耀州窯博物館 (81141)
146	青磁印花鴟磨文碗	北宋	11~12	d:13.5 h:5.7	耀州窯博物館 (84017)
147	青磁印花水禽文碗	北宋	11~12	d:10.5 h:4.7	耀州窯博物館 (遺臨9303)
148	青磁刻花牡丹唐草文鉢	北宋	11~12	d:22.3 h:8.0	耀州窯博物館 (80447)
149	青磁刻花宝相華唐草文渣斗	北宋	11~12	d:15.3 h:6.7	耀州窯博物館 (耀博1168)
150	青磁刻花牡丹文灯陶片	北宋	11~12	D:14.1 h:4.2	耀州窯博物館
151	青磁刻花花唐草文鉢陶片	北宋	11~12	D:14.0 h:5.0	耀州窯博物館
152	青磁刻花牡丹文盤陶片	北宋	11~12	D:19.5 h:6.0	耀州窯博物館
153	青磁刻花牡丹文碗陶片	北宋	11~12	D:12.4 h:3.5	耀州窯博物館
154	青磁刻花花文盤陶片	北宋	11~12	D:11.2 h:2.2	耀州窯博物館
155	青磁刻花水波文碗陶片	北宋	11~12	D:9.9 h:3.1	耀州窯博物館
156	青磁刻花鳥樹文盤	北宋	11~12	d:14.3 h:2.3	耀州窯博物館 (87125)
157	青磁印花牡丹唐草文盤	北宋	11~12	d:10.5 h:3.5	耀州窯博物館 (遺臨9302)
158 一級文物	青磁印花牡丹文碗「大觀」銘	北宋	11~12	d:9.3 h:3.8	耀州窯博物館 (89039)
159	青磁印花宝相華唐草文碗·陶範	北宋	11~12	d:13.0 h:6.0(碗) d:15.0 h:9.3(範)	耀州窯博物館 (碗81113 範81169)
160	墓石	北宋	11~12	d:1.7 h:0.5	耀州窯博物館 (87079 87080)
161	青磁印花宝相華唐草文碗陶片	北宋	11~12	D:11.3 h:5.1	耀州窯博物館
162	青磁印花宝相華唐草文盤陶片	北宋	11~12	W:9.7	耀州窯博物館
163	青磁印花牡丹文碗陶片	北宋	11~12	D:13.3	耀州窯博物館
164	青磁印花花文盤陶片	北宋	11~12	D:9.7 h:2.5	耀州窯博物館
165	黑釉碗	北宋	11~12	d:13.3 h:5.5	耀州窯博物館 (92039)
166	黑釉綉斑文碗	北宋	11~12	d:14.4 h:4.8	耀州窯博物館 (86023)
167	青磁碗陶片	金	12	D:8.4	耀州窯博物館
168	青磁刻花花文碗陶片	金	12	D:14.0 h:9.8	耀州窯博物館
169	青磁刻花水波文碗陶片	金	12	D:14.4 h:9.0	耀州窯博物館
170	青磁印花水波魚文碗陶片	金	12	D:12.5 h:3.4	耀州窯博物館
171	陶範	五代	10	d:7.1 h:3.5(90010) d:7.3 h:4.0(90019)	耀州窯博物館 (90010 90019)
172	匣鉢	五代	10	d:18.5 h:5.0	耀州窯博物館 (考9446)
173	八角形陶範	北宋	11~12	h:3.8	耀州窯博物館 (82037)

「新春のいのり」—中国山東省木版年画展

会期 平成9（1997）年12月26日(金)
～平成10（1998）年3月1日(日)
会場 展示室3・4・5・6
主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、山東省文化庁、
毎日新聞社、TYSテレビ山口



(1) 趣旨

中国の伝統的な民間美術の一つである年画は、新年に際して吉祥多福を祈って門口や屋内に貼る木版画である。年画はめでたい図様を単純な線と派手な色彩で描いたもので、その画題には民衆の生活に根ざした素朴な信仰心を凝縮したような通俗的雰囲気を持ったものがもっとも多く、ときには支配階層の思想的教宣の彩を帯びたものさえみられる。これらは地域特有の民衆の生活感情や時代の社会的動向を直截に反映するため、制作環境などの変化に応じて多様な様式展開と形式表現の変容をみせている。

山東省は、中国における沿海部と内陸部という対照的な二つの性格を併せもつた地域で、各々の交通・流通手段の違いから、大陸内における民衆文化の影響関係もかなり異なった様相を呈しており興味深いものがある。

本展覧会は、同省内という限られた地方のなかにあって一見等質のようにさえ感じられる、農村部または農業地帯を背景とした都市部での、年中行事の民俗に関わる表現活動というものが、実際にはさらに広い地域との交流の中で発達・変遷していったものであり、民衆とりわけ農民の生活環境の底流にある様々な歴史的に起因する要素や、時事の社会経済的要因によって地域ごとに特色ある表現形式をとっべきていることを、かれらの生活感情の素朴な表出の一つである「年画」の中に見いだそうというものである。

中国における三大年画生産地に数えられる山東省濰坊市の楊家埠を中心とする山東半島の膠東地区と、山西省や河南省との交流のもとに発展した中原の魯西地区との年画図像形式（様式）を対照的にとらえながら、山東省の伝統的な木版年画の世界を紹介すると同時に、新年（春節）を迎えるに当たっての風俗習慣（年中行事）や、その底流にある「福祥豊年の祈り」を表現した図像（年画）が民衆（特に農民）の生活の中でどのように伝承され展開してきたかを160点の作例を通して紹介した。

(2) カタログ

企画協力 河野 実
編集・発行 山口県立萩美術館・浦上記念館
翻訳 郭 海燕、尾鷺卓彦、石崎泰之

内容 ごあいさつ 山口県立萩美術館・浦上記念館、山東省文化庁、毎日新聞社、TYSテレビ山口
前言と祝辞 張 長森（山東省文化庁長）

特別論考

山東の農民年画 謝 昌一

論考

年画の変遷と変貌 河野 実

喜びのうちに旧正月を過ごす 郭 思克

図版（作品解説：謝昌一、扉解説：石崎泰之）

楊家埠年画

平度年画

高密年画

孔府（曲阜）の門神年画

魯西の年画

楊家埠改革年画

（中文による特別論考「山東の農民年画」、論考「喜びのうちに旧正月を過ごす」、

「山東における民間年画の体裁」「作品解説」）

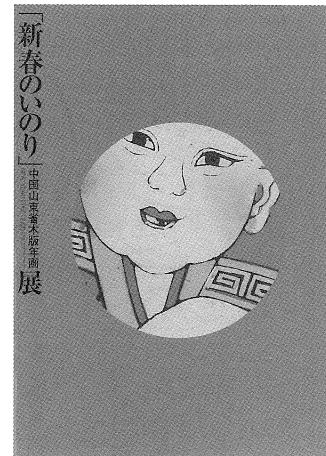
主要参考文献一覧 石崎泰之編

出品作品一覧

山東における民間年画の体裁 謝 昌一

List of Works（英訳：宮田絵津子）

体裁 A4判変形 208ページ



(3) 記念講演会

日時 平成9（1997）年12月26日(金) 10:30～12:00

演題 「山東民間年画」

講師 謝 昌一（中国国家一級美術師）

(4) ギャラリーツアー

日時 平成10（1998）年1月10日(土)、2月14日(土) 11:00～12:00

担当 石崎泰之（学芸課専門学芸員）

(5) 出品目録

出品番号	標題	枚数	制作年代	制作地	作者	形式	技法	縦(cm)	横(cm)	縦(cm)	横(cm)	所蔵者
1	神荼鬱壘	2	清末	楊家埠		門神	彩色套印	76.4	43.7	79.2	43.6	謝昌一
2	趙公明與燃燈道人	2	清末	楊家埠		門神	彩色套印	79.2	43.4	78.8	42.9	謝昌一
3	秦瓊敬德	1	清末	楊家埠		門神	彩色套印	49.3	54.6			謝昌一
4	趙公明與燃燈道人	1	清末	楊家埠		門神	彩色套印	54.7	78.9			謝昌一
5	福祿壽三星	1	清末	楊家埠		門神	彩色套印	54.8	78.8			謝昌一
6	狀元及第	1	清末	楊家埠		門神	彩色套印	46.8	54.7			謝昌一
7	五子登科	1	清末	楊家埠		門神	彩色套印	29.4	22.2	29.4	22.5	謝昌一
8	吉慶有餘	1	清末	楊家埠		福字灯	套印・筆絵	61.3	61.3			謝昌一
9	平安如意	1	清末	楊家埠		灯画	套印・筆絵	59.4	58.9			謝昌一
10	天官賜福	1	清末	楊家埠		独座	彩色套印	48.0	30.4			謝昌一
11	趙公明	1	清末	楊家埠		独座	彩色套印	48.2	30.6			謝昌一
12	打豬鬼鍾馗	1	清末	楊家埠		欄門画	彩色套印	29.3	21.4	29.3	21.4	謝昌一
13	牛馬平安	1	清末	楊家埠		牛子	彩色套印	20.0	27.5			謝昌一
14	竈王	1	清版新印	楊家埠		神馬	彩色套印	79.0	45.6			謝昌一
15	財神	1	清末	楊家埠		神馬	套印・筆絵	47.6	29.4			謝昌一

16	興家立業財源主 治國安邦富貴神	1	清末	楊家埠	花对子	彩色套印	64.5	26.5	謝昌一		
17	祈福保安	1	清末	楊家埠	神馬	單色	28.4	18.0	謝昌一		
18	鹿鶴同春	1	清末	楊家埠	美人条	彩色套印	42.3	54.5	謝昌一		
19	天女散花	1	清末	楊家埠	美人条	彩色套印	42.6	54.4	謝昌一		
20	麒麟送子	1	清末	楊家埠	美人条	彩色套印	39.4	54.8	謝昌一		
21	蟾宮折桂 連中三元	1	清末	楊家埠	美人条	彩色套印	39.0	54.6	謝昌一		
22	劉海戲金蟾	1	清末	楊家埠	金童子	彩色套印	40.4	54.0	謝昌一		
23	喜報三元	1	清末	楊家埠	金童子	彩色套印	40.8	57.7	謝昌一		
24	獅童進門 萬福來臨	1	清末	楊家埠	金童子	彩色套印	40.2	54.8	謝昌一		
25	桃獻千年壽榴開百子圖	1	清末	楊家埠	月光	彩色套印	39.7	55.0	謝昌一		
26	金玉滿堂	1	清末	楊家埠	月光	彩色套印	39.7	55.2	謝昌一		
27	麒麟送子	1	清末	楊家埠	月光	彩色套印	41.9	55.5	謝昌一		
28	喜報三元	1	清末	楊家埠	月光	彩色套印	39.1	52.2	謝昌一		
29	鎮宅神鷹	1	清末	楊家埠	条鷹	彩色套印	39.4	55.0	謝昌一		
30	慶賀新年	1	清末	楊家埠	小条鷹	彩色套印	55.4	37.4	謝昌一		
31	花瓶	1	清末	楊家埠	窗傍	彩色套印	62.8	37.4	謝昌一		
32	牛郎織女	1	清末	楊家埠	窗傍	彩色套印	67.8	28.9	謝昌一		
33	福祿壽喜	1	清末	楊家埠	窗傍	彩色套印	65.4	29.1	謝昌一		
34	年年有魚	2	清末	楊家埠	毛方子	套印·筆繪	38.4	36.8	38.5	36.1	謝昌一
35	金魚滿堂	2	清末	楊家埠	毛方子	套印·筆繪	38.2	34.6	37.8	34.1	謝昌一
36	八仙過海	1	清末	楊家埠	鳳凰祺	彩色套印	36.0	36.5	謝昌一		
37	十二生肖	1	清末	楊家埠	鳳凰祺	彩色套印	21.2	21.5	謝昌一		
38	蝴蝶牡丹	1	清末	楊家埠	針線冊封面	彩色套印	24.2	13.4	謝昌一		
39	男十忙	1	清末	楊家埠	橫披	彩色套印	24.7	40.8	謝昌一		
40	女十忙	1	民国	楊家埠	小橫披	彩色套印	21.8	32.4	謝昌一		
41	大春牛	1	清末	楊家埠	橫披	彩色套印	24.8	42.4	謝昌一		
42	沈萬三打漁	1	清末	楊家埠	橫披	彩色套印	24.6	42.0	謝昌一		
43	二月二	1	民国	楊家埠	小橫披	彩色套印	21.4	30.7	謝昌一		
44	包公上任	1	清末	楊家埠	橫披	彩色套印	24.6	42.2	謝昌一		
45	財神進門 馬下雙駒	1	清末	楊家埠	橫披	彩色套印	24.2	41.7	謝昌一		
46	財神叫門	1	民国	楊家埠	小橫披	彩色套印	21.4	29.8	謝昌一		
47	人財兩旺	1	清末	楊家埠	橫披	彩色套印	25.4	45.0	謝昌一		
48	五世同堂	1	清末	楊家埠	橫披	彩色套印	24.3	42.2	謝昌一		
49	活財神	1	清末	楊家埠	橫披	彩色套印	25.7	44.8	謝昌一		
50	一門三狀元	1	清末	楊家埠	橫披	彩色套印	24.7	40.1	謝昌一		
51	過新年	1	清末	楊家埠	橫披	彩色套印	24.6	40.2	謝昌一		
52	接福迎祥	1	清末	楊家埠	小橫披	彩色套印	24.6	32.2	謝昌一		
53	正月十五鬧元宵	1	民国	楊家埠	小橫披	彩色套印	18.5	33.0	謝昌一		
54	親事有成	1	清末	楊家埠	橫披	彩色套印	22.2	43.2	謝昌一		
55	男女大吉	1	清末	楊家埠	橫披	彩色套印	22.1	42.9	謝昌一		
56	欣遇	1	民国	楊家埠	小橫披	彩色套印	21.6	30.9	謝昌一		
57	猴子騎羊	1	民国	楊家埠	小橫披	彩色套印	21.5	33.1	謝昌一		
58	徐庶走馬篤諸葛	1	清末	楊家埠	橫披	彩色套印	26.2	43.0	謝昌一		
59	三顧茅廬	1	清末	楊家埠	橫披	彩色套印	26.4	43.1	謝昌一		
60	蟠桃大會	1	清末	楊家埠	橫披	彩色套印	26.4	43.3	謝昌一		
61	慶壽宮郭暖拜壽	1	清末	楊家埠	橫披	彩色套印	25.1	43.8	謝昌一		
62	金沙灘雙龍赴會	1	民国	楊家埠	小橫披一对	彩色套印	26.8	74.9	謝昌一		
63	七郎八虎撞幽州	1	民国	楊家埠	小橫披一对	彩色套印	27.6	78.3	謝昌一		
64	蹬蹠跪馬武藝通	1	清末	楊家埠	橫披	綫版	23.2	39.9	謝昌一		
65	打拳賣藝達享通	1	清末	楊家埠	橫披	綫版	23.2	40.0	謝昌一		
66	我看爾吹牛跨骨	1	清末	楊家埠	小橫披	彩色套印	27.0	47.3	謝昌一		
67	鼈喝白酒 兔子討烟吃	1	清末	楊家埠	小橫披	綫版	21.0	31.7	謝昌一		
68	杠相(箱)官	1	清末	楊家埠	橫披	綫版	28.1	48.9	謝昌一		
69	東方朔種田法	1	清末	楊家埠	橫披	綫版	32.6	55.5	謝昌一		
70	清憲書	1	清末	楊家埠	橫披	綫版	31.6	55.4	謝昌一		

71	十子争鵲奪梅	1	清末	楊家埠	橫披	彩色套印	31.6	55.4	謝昌一		
72	摸鶴	1	民国	楊家埠	小橫披	彩色套印	24.5	35.1	謝昌一		
73	兄弟同樂	1	民国	楊家埠	小橫披	彩色套印	20.6	34.4	謝昌一		
74	香圓壽桃	1	民国	楊家埠	小橫披	彩色套印	27.6	39.4	謝昌一		
75	榴開百子	2	民国	楊家埠	小橫披一對	彩色套印	27.5	39.5	27.5	39.5	謝昌一
76	連生貴子	2	民国	楊家埠	小橫披一對	彩色套印	22.3	28.2	22.2	29.4	謝昌一
77	鎮宅神虎	1	清末	楊家埠	小橫披	彩色套印	28.0	39.1	謝昌一		
78	六合同春	1	民国	楊家埠	小橫披	彩色套印	28.0	37.3	謝昌一		
79	金鶴報曉	1	民国	楊家埠	小橫披	彩色套印	27.4	39.8	謝昌一		
80	春夏秋冬	1	清末	楊家埠	方貢尖	彩色套印	29.2	47.0	謝昌一		
81	同樂新年	1	清末	楊家埠	方貢尖	彩色套印	29.3	44.6	謝昌一		
82	拾二生肖全圖	1	民国	楊家埠	方貢尖	彩色套印	32.6	46.6	謝昌一		
83	連年有餘	1	民国	楊家埠	方貢尖	彩色套印	32.6	46.3	謝昌一		
84	白蛇傳	1	民国	楊家埠	方貢尖	彩色套印	34.2	49.4	謝昌一		
85	牛郎會	1	民国	楊家埠	方貢尖	彩色套印	33.8	50.4	謝昌一		
86	水滸全傳	16	清末	楊家埠	画對子	綫版	117.0	20.3	謝昌一		
87	牧童遙指杏花村	1	清末	楊家埠	屏條之一	綫版	52.4	16.4	謝昌一		
88	滿地江湖一漁翁	1	清末	楊家埠	屏條之一	綫版	52.4	16.8	謝昌一		
89	八仙聚會	1	清末	楊家埠	大橫披	淡墨套印	55.9	94.8	謝昌一		
90	老鼠娶親	1	清末	平度	四裁	彩色套印	23.0	41.2	謝昌一		
91	觀天喜地	1	清末	平度	四裁	彩色套印	25.8	43.2	謝昌一		
92	猴搶草帽	1	清末	平度	四裁	彩色套印	25.9	43.6	謝昌一		
93	清河橋	1	清末	平度	四裁	彩色套印	25.8	43.6	謝昌一		
94	大戰戰長板坡	1	清末	平度	四裁	彩色套印	28.6	46.7	謝昌一		
95	華容道	1	清末	平度	四裁	彩色套印	28.3	46.0	謝昌一		
96	西（溪）黃莊	1	民国	平度	四裁	彩色套印	28.7	47.7	謝昌一		
97	連環寨	1	清末	平度	四裁	彩色套印	27.7	41.3	謝昌一		
98	瓜蝶富貴	2	清末	平度	門童	彩色套印	54.0	38.5	54.4	38.0	謝昌一
99	劉海戲金蟾	2	清末	平度	門童	彩色套印	54.6	37.6	54.4	38.0	謝昌一
100	和合二仙	1	清末	平度	門童	彩色套印	46.6	32.2	46.6	33.9	謝昌一
101	千手觀音	1	清末	平度	神馬	彩色套印	38.1	24.0	謝昌一		
102	春夏秋冬	1	清末	平度	窗頂	彩色套印	23.7	91.6	謝昌一		
103	四季花鳥	1	清末	平度	窗頂	彩色套印	27.0	92.0	謝昌一		
104	梅降雪	1	清末	平度	三節鷹部分	綫版	21.1	27.4	謝昌一		
105	蝴蝶杯	1	清末	平度	三節鷹部分	綫版	21.8	27.4	謝昌一		
106	四郎探母	1	清末	平度	三節鷹部分	綫版	21.2	27.5	謝昌一		
107	八蜡廟	1	清末	平度	三節鷹部分	綫版	21.6	27.2	謝昌一		
108	踢毬子	2	民国	高密	對屏	撲灰年畫	94.0	50.9	94.0	50.9	濰坊市博物館
109	對我生財	2	民国	高密	對屏	撲灰年畫	91.4	45.0	91.4	45.0	濰坊市博物館
110	豹頭山	2	清末	高密	對屏	撲灰年畫	72.0	45.6	72.0	45.6	濰坊市博物館
111	桃獻千年 榴開百子	2	清末	高密	對屏	半印半畫	96.0	52.9	96.0	52.9	濰坊市博物館
112	富貴有餘	1	清末	高密	門童	套印·筆繪	40.0	64.0	濰坊市博物館		
113	秦瓊敬德	2	清	曲阜（孔府內宅門）	門神一對	套印·筆繪	97.0	55.5	曲阜市文物管理委員會		
114	平安吉慶如意	2	清	曲阜（孔府內宅門）	門神一對	套印·筆繪	96.0	55.7	曲阜市文物管理委員會		
115	秦瓊敬德	1	清末	聊城	門神	彩色套印	38.3	55.3	謝昌一		
116	秦瓊敬德	1	清末	聊城	門神	彩色套印	36.2	55.3	謝昌一		
117	趙公明 燃燈道人	1	清末	聊城	門神	彩色套印	36.2	26.4	36.2	27.0	謝昌一
118	麒麟送子	1	清末	聊城	門童	彩色套印	36.8	26.8	36.8	28.0	謝昌一
119	花籃娃娃	1	清末	聊城	門童	彩色套印	37.1	24.5	37.1	24.5	謝昌一
120	全神	1	清末	聊城	神馬	彩色套印	37.9	26.5	謝昌一		
121	竈王	1	清末	聊城	神馬	彩色套印	39.2	27.5	謝昌一		
122	天地牌	1	清末	聊城	神馬	彩色套印	21.6	15.7	謝昌一		
123	趙雲救阿斗	1	清末	張秋鎮	門神	彩色套印	35.7	27.3	35.7	26.6	謝昌一
124	月中嫦娥	1	清末	張秋鎮	神馬	彩色套印	20.8	14.8	謝昌一		
125	狀元及第	1	清末	滕縣	門神	彩色套印	38.0	56.1	謝昌一		

126	反西涼	1	清末	原范縣	扇面画	淡墨套印	29.6	51.8	謝昌一		
127	晋唐宋四名家	1	清末	原范縣	扇面画	淡墨套印	25.9	50.6	謝昌一		
128	三才子游湖	1	清末	原范縣	扇面画	淡墨套印	27.7	51.0	謝昌一		
129	大保國	1	清末	原范縣	扇面画	彩色套印	30.3	51.3	謝昌一		
130	報（豹）頭山	1	清末	原范縣	扇面画	彩色套印	27.3	50.6	謝昌一		
131	戰宛城	1	清末	原范縣	扇面画	彩色套印	26.0	51.3	謝昌一		
132	周濂溪愛蓮	1	民国		書本子	淡墨套印	14.3	28.8	濰澤地區文物事業管理處		
133	藍橋會	1	民国		書本子	彩色套印	13.5	26.5	濰澤地區文物事業管理處		
134	女子洋槍隊	1	民国	鄆城	書本子	彩色套印	14.0	28.4	濰澤地區文物事業管理處		
135	美人乘洋車	1	民国	鄆城	書本子	套印·筆繪	14.0	26.5	濰澤地區文物事業管理處		
136	老叟飲馬	1	民国	鄆城	書本子	淡墨套印	14.0	23.5	濰澤地區文物事業管理處		
137	白毛女	1	現代	鄆城	書本子	套印·筆繪	14.7	17.6	濰澤地區文物事業管理處		
138	慶祝人民共和國勝利	1	1951年	楊家埠改革年画	楊連元 方貢尖	彩色套印	34.3	47.0	謝昌一		
139	婦女翻身大解放	1	1951年	楊家埠改革年画	張漾兮 小橫披	彩色套印	22.0	32.0	謝昌一		
140	熱愛和平 保衛世界	2	1951年	楊家埠改革年画	李震堅 小橫披一对	彩色套印	25.2	32.0	25.2	32.0	謝昌一
141	迎接祖國大建設	1	1952年	楊家埠改革年画	徐永祥 方貢尖	彩色套印	33.5	49.3	謝昌一		
142	交通便利	1	1952年	楊家埠改革年画	楊連元 方貢尖	彩色套印	31.5	45.8	謝昌一		
143	光榮人家	1	1952年	楊家埠改革年画	王兆相 小橫披	彩色套印	22.0	31.3	謝昌一		
144	生產互助	1	1953年	楊家埠改革年画	郭蘭村 小橫披	彩色套印	22.5	32.5	謝昌一		
145	勞動得魚	1	1953年	楊家埠改革年画	郭蘭村 小橫披	彩色套印	22.5	31.0	謝昌一		
146	勝利得餘	1	1953年	楊家埠改革年画	郭蘭村 小橫披	彩色套印	23.0	31.5	謝昌一		
147	合作社分紅	1	1954年	楊家埠改革年画	戎玉秀 小橫披	彩色套印	21.8	33.0	謝昌一		
148	互动力量大	1	1954年	楊家埠改革年画	白逸如 小橫披	彩色套印	23.5	31.0	謝昌一		
149	媽媽教我學綉花 我教媽媽學文化	2	1954年	楊家埠改革年画	叶振興 房門画	彩色套印	36.5	57.0	謝昌一		
150	新五子登科	1	1958年	楊家埠改革年画	施邦華 小橫披	彩色套印	22.5	32.0	謝昌一		
151	水庫好	1	1959年	楊家埠改革年画	施邦華 方貢尖	彩色套印	35.0	46.5	謝昌一		
152	學習好 勞動好	1	1959年	楊家埠改革年画	謝昌一 月光	彩色套印	31.5	22.0	31.5	22.0	謝昌一
153	飼養員	1	1959年	楊家埠改革年画	呂學勤 積披	彩色套印	39.5	25.8	謝昌一		
154	龍鳳呈祥	2	1959年	楊家埠改革年画	朱學達 大門画	彩色套印	49.0	31.5	49.0	31.5	謝昌一
155	三面紅旗萬萬歲	1	1960年	楊家埠改革年画	呂學勤 積披	彩色套印	32.4	31.8	謝昌一		
156	講衛生	1	1960年	楊家埠改革年画	白逸如 窗頂	彩色套印	21.5	70.5	謝昌一		
157	喜做千家飯 巧縫万人衣	2	1960年	楊家埠改革年画	白逸如 房門画	彩色套印	49.5	32.5	49.5	32.5	謝昌一
158	人人學雷鋒 个个爭先進	2	1964年	楊家埠改革年画	董率真 大門画	彩色套印	49.0	33.5	楊家埠木版年画研究所		
159	過新年	1	1985年	楊家埠改革年画	李述之 農曆圖	彩色套印	56.5	33.0	楊家埠木版年画研究所		
160	《金魚滿堂》木版	10	現代	楊家埠	毛方子	年画原版	39.0	35.0	楊家埠木版年画研究所		

ハプスブルク家の遺宝 マリア・テレジアの愛した古伊万里展

会期 平成10（1998）年4月29日(水)～6月7日(日)
会場 展示室3・4・5・6
主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、KRY山口放送、
読売新聞西部本社
後援 萩市、FBS福岡放送
協賛 オーストリア航空



(1) 趣旨

ヨーロッパの歴史を通じて最も華やかな文化を織り綴ってきたオーストリア、ウィーンのハプスブルク家。一族の集めてきた美術品は膨大な量に昇ります。その中でも17・18世紀に貴族達にこよなく愛され、熱心に収集されたのは実は日本の有田で焼かれた古伊万里だったのです。

日本の江戸時代にあたるこの時期に古伊万里は長崎を出発し、遙か海を越えたヨーロッパに輸出されていきました。日本で作られた古伊万里は、金、銀の装飾を施され、形、趣を変えて食器や美術品として愛好されました。特に芸術に造詣が深かったといわれる女帝マリア・テレジアの時代にこうした古伊万里は多く集められ、西洋の装飾技術と融合し、日本国内で見られる古伊万里とは全く異なる美術品としてハプスブルク家の華やかな貴族文化を彩ったのです。

本展会では長きにわたって王宮倉庫で眠り続け、1995年に再び公開されることとなったマリア・テレジアの古伊万里コレクションの中から厳選された100点を紹介するとともに日本とオーストリアとの、古伊万里が繋いだ華麗なる交流の歴史を綴ります。

(2) カタログ

監修・学術考証 ペーター・パンツァー

編集・発行 有限会社ササキ企画

翻訳 田中みどり

内容 序文 ペーター・パンツァー

シェーンブルン宮殿

日本とウィーン万国博覧会

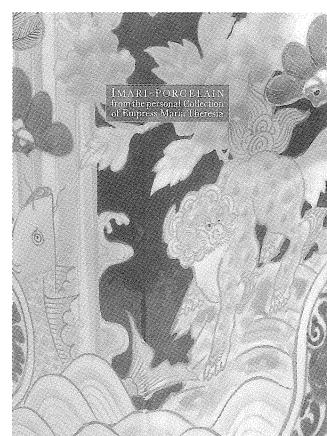
ウィーン磁器工房

ハプスブルク家系図

ハプスブルク家の古伊万里コレクション

ペーター・パンツァー

ハプスブルク家所蔵の古伊万里 大橋康二



出品リスト

〔参考マップ〕 ウィーン案内

体裁 B5版 120ページ

(3) 記念講演会

第1回

日時 平成10（1998）年4月29日(水) 10：30～12：00
演題 「ヨーロッパ貴族の生活と古伊万里」
講師 ペーター・パンツァー（ボン大学教授）

第2回

日時 平成10（1998）年5月9日(土) 14：00～15：30
演題 「古伊万里の輸出とハプスブルク家伝来品」
講師 大橋康二（佐賀県教育庁文化財課課長補佐）

(4) ギャラリーツアー

日時 平成10（1998）年5月2日(土)、5月10日(日) 11：00～12：00
担当 宮田絵津子（学芸課学芸員）

(5) 出品目録

出品番号	作品名	借用先名	生産地	制作年	法量 (cm)
1	色絵牡丹樹木文皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1690-1730	d:55.0
2	色絵樓閣山水花鳥文皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	d:54.8
3	色絵樓閣婦人菊牡丹文皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	h:9.0 d:48.8
4	白磁陽刻銀杏文皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1655-1670	d:21.4
5	白磁陽刻木目文皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1655-1670	d:21.8
6	染付芙蓉手唐人文皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1680-1710	d:36.5
7	色絵花盆文皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1690-1730	d:55.5
8	色絵梅竹牡丹文皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	d:54.0
9	色絵鯉文皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	h:5.0 d:32.1
10	色絵栗鶴文皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1720-1740	d:39.6
11	色絵花盆文皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	d:29.0
12	色絵花盆文皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	d:27.6
13	色絵花盆獅子牡丹花鳥文皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	d:35.4
14	色絵花盆桜樹文皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	d:31.4
15	色絵花盆鳳凰文皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	d:37.4
16	色絵花盆鳳凰文皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	d:33.0
17	色絵花籠獅子牡丹文皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1720	d:31.4
18	色絵花盆芥子菖蒲文輪花鉢	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1720-1750	D:22.6
19	色絵菊透蓋付三足香炉	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1680-1710	d:15.1
20	色絵牡丹梅菊文宝石箱	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田・中国(両側面・蓋)	1700-1730	h:23.5
21	色絵樓閣人物文段重	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	h:31.0 d:17.5
22	色絵樓閣桜樹文鏡子	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	h:21.8 d:16.0
23	色絵窓絵撫子文杯	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	h:8.9
24	色絵窓絵撫子文受皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	d:15.4
25	色絵草花文瓶	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	h:27.0 D:14.0
26	色絵草花文瓶	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	h:27.0 D:14.0
27	色絵草花文瓶	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	h:27.0 D:14.0
28	色絵草花竹雀文蓋付鉢	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1740	d:17.0
29	色絵花唐草文輪花鉢	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	d:14.9
30	色絵菊花卉文三足鉢	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	d:14.7
31	色絵丸人物文蓋付鉢	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1730-1770	d:15.8

32	色絵熨斗文鉢	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	d:14.0
33	色絵菊椿牡丹文人形鉢蓋物	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	h:13.9 d:13.5
34	色絵婦人像燭台	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1750	h:32.9
35	色絵婦人像燭台	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1750	h:32.9
36	色絵牡丹文燭台	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1690-1740	h:24.9
37	色絵牡丹文燭台	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1690-1740	h:25.2
38	色絵草花文燭台	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1740	h:31.0
39	色絵草花文燭台	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1740	h:30.6
40	色絵栗鶴花蝶文蓋付鉢	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	d:16.4
41	色絵松桜鳥文蓋付鉢	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1720-1750	h:21.6
42	色絵柘榴花鳥文蓋付鉢	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	h:31.5 D:28.5 d:22.5
43	色絵菊牡丹文手付鉢	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1690-1730	d:14.3
44	色絵樓閣桜樹文水注	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田・中国(筒状容器部分)	1700-1730	h:45.0
45	色絵婦人図鷹獅子文皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1720-1750	d:22
46	色絵婦人図鷹獅子文皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1720-1750	d:35.8
47	色絵婦人図鷹獅子文皿(深皿)	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1720-1750	d:27.0
48	色絵婦人図鷹獅子文皿(平皿)	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1720-1750	d:32.0
49	色絵婦人図鷹獅子文皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1720-1750	d:42.4
50	色絵婦人図鷹獅子文皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1720-1730	d:41.0
51	色絵婦人図鷹獅子文皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1720-1750	d:40.2
52	食卓装飾セット 色絵窓絵楼閣花盆文蓋付鉢	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	h:25.0 d:22.9
53	食卓装飾セット 色絵菊牡丹文蓋付鉢	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1690-1730	d:15.7
54	食卓装飾セット 色絵菊牡丹文蓋付鉢	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1690-1730	d:15.5
55	食卓装飾セット 色絵菊牡丹文蓋付鉢	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1690-1730	d:15.3
56	食卓装飾セット 色絵菊牡丹文蓋付鉢	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1690-1730	d:15.6
57	食卓装飾セット 色絵楼閣桜樹文調味料入	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田・中国(蓋部分)	1700-1730	h:12.6
58	食卓装飾セット 色絵楼閣桜樹文S字入蓋付水注	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田・中国(蓋部分)	1700-1730	h:13.0
59	食卓装飾セット 色絵楼閣桜樹文O字入蓋付水注(調味料入)	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	h:10.6
60	食卓装飾セット 色絵楼閣桜樹文蓋付水注	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	h:10.5
61	色絵菊花牡丹文皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	d:29.8
62	食卓装飾セット 色絵草花文燭台	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1690-1730	h:29.5 D:26.0
63	食卓装飾セット 色絵菊牡丹文台	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1690-1730	h:10.0
64	食卓装飾セット 色絵紙梅葡萄蔓草山水文高脚杯	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1690-1730	h:9.6
65	食卓装飾セット 色絵紙梅葡萄蔓草山水文高脚杯	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1690-1730	h:9.2
66	食卓装飾セット 色絵唐子花卉文瓶	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1690-1730	h:21.0
67	食卓装飾セット 色絵唐子花卉文瓶	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1690-1730	h:20.2
68	食卓装飾セット 色絵椿菊人物文水注	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	h:16.8
69	食卓装飾セット 色絵椿菊人物文水注	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	h:17.4
70	食卓装飾セット 色絵花卉文水注	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	h:17.7
71	食卓装飾セット 色絵花卉文水注	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	h:17.7
72	色絵鯉滝昇獅子牡丹文角瓶	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1720-1750	h:29.5
73	色絵鯉滝昇獅子牡丹文角瓶	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1720-1750	h:48.3
74	色絵鯉滝昇獅子牡丹文角瓶	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1720-1750	h:46.8
75	色絵鯉滝昇獅子牡丹文角瓶	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1720-1750	h:46.8
76	色絵獅子牡丹菊文瓶	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1720-1750	h:25.5 d:28.0
77	2 4 人用ナイフ・フォークセット	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	フランス	1760頃	
78	果物ナイフ 1 2本とケース	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	フランス	1760頃	
79	色絵菊牡丹秋草文鉢	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730代	h:12.0 d:25.4
80	色絵窓絵椿牡丹文蓋付鉢	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730代	h:16.0 d:26.5
81	色絵楼閣山水牡丹文蓋付鉢	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730代	h:12.5 d:24.0
82	色絵花盆楼閣山水文壺	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	h:66.6
83	色絵花盆楼閣山水文壺	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1730	h:66.8
84	色絵麒麟文大壺	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1740	h:114.0
85	色絵麒麟文大壺	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1700-1740	h:114.0
86	染付花鳥文花瓶	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	1850-1860	h:75.0

87	染付丸絵文花瓶	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	明治初期	h:125.0
88	色絵花盆獅子牡丹文皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	有田	明治初期	h:9.2 d:64.8
89	色絵大皿	オーストリア工芸美術館	ウィーン	1718-1744	h:8.5 d:51.2
90	「MF」のイニシャル付皿		ウィーン	1750-1780	h:3.5 d:25.0
91	色絵皿		ウィーン	1760-1770頃	d:24.4
92	色絵皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	ウィーン	1760-1770頃	h:4.3 d:25.5
93	色絵皿（裏面）	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	ウィーン	1760-1770頃	d:24.5
94	色絵楕円大皿		ウイーン	18世紀後半	h:5.0 D:44.5
95	色絵ティーポット	個人蔵	ウイーン	1789	h:10.0 d:10.0
96	染付小湯呑み	個人蔵	ウイーン	1790頃	h:4.0 d:5.0
97	周面画入皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	ウイーン	1804	h:4.0 d:24.5
98	ウイーン王宮の「和風ティーセット」：砂糖入れ	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	ウイーン	1859-1860頃	h:6.5 d:11.4
99	ウイーン王宮の「和風ティーセット」：カップと受け皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	ウイーン	1859-1860頃	h:5.0 d:12.0
100	ウイーン王宮の「和風ティーセット」：カップと受け皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	ウイーン	1859-1860頃	h:3.5 d:14.7
101	ウイーン王宮の「和風ティーセット」：デザート皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	ウイーン	1859-1860頃	h:2.5 d:19.0
102	ウイーン王宮の「和風ティーセット」：デザート皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	ウイーン	1859-1860頃	h:2.5 d:19.0
103	ウイーン王宮の「和風ティーセット」：ミルク入れ	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	ウイーン	1859-1860頃	h:12.5 d:13.5
104	ウイーン王宮の「和風ティーセット」：蓋付ティーポット	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	ウイーン	1859-1860頃	h:17.0 d:23.5
105	ウイーン王宮の「和風ティーセット」：盛り皿	ホーフブルク宮殿内銀器食卓美術館	ウイーン	1859-1860頃	h:17.0 d:39.2
106	女帝マリア・テレジアの肖像	連邦家具家財美術館	アレクシス・ロワ(作家)	1753	138×110
107	オーストリア・エリザベト皇后の肖像	連邦家具家財美術館所蔵	フェルディナント・アクスマン(作家)	1870	74.3×90.0

北斎—東西の架け橋展

会期 平成10（1998）年6月13日（土）～7月20日（月・祝）
会場 展示室 3・4・5・6
主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、
毎日新聞西部本社、TYSテレビ山口、
日本経済新聞社、RKB毎日放送、BBS山陰放送
後援 外務省、文化庁、萩市



(1) 趣旨

葛飾北斎の没後150年を記念して開催された展覧会。「北斎の作品における西洋の影響」をテーマとし、（1）洋風遠近法の応用（2）空間の広がりと深さの創造（3）西洋画法の試行（4）自然主義と写実主義への挑戦（5）静止と生動の表現（6）北斎と小布施という6つのセクションからなる展示。19世紀末～20世紀初頭の西洋絵画史に、多大な影響を与えたことで知られる北斎だが、その作品の表現には、すでに日本に流入していた西欧の様々な文物からの影響が取り入れられていることを、風景画、花鳥画、人物画などの各主題を描いた版画、肉筆画、摺物など約160点の作品から解き明かす内容。望遠鏡、顕微鏡、虫眼鏡、大方儀（測量器具）といった新来の道具類に触れて知り得た自然主義的な視線、銅板画、油彩画などの西洋絵画から学習した遠近法やキアロスコープといった技法、ペロ藍といわれた舶来の色料などを、いかにして自らの作画理念に取り入れ、自己表現の追及を試みているかを検証した。またオランダ商館長と商館医シーボルト旧蔵品で、北斎門弟が深く関与したとされているオランダ製の紙に描かれた一連の作品が出品され、北斎とその工房が受けた西洋の影響の多様な側面と展開に触れる内容となった。

(2) カタログ

展覧会総監修 小林 忠

展覧会監修 マティ・フォラー

編集・発行 日本経済新聞社

内容 あいさつ

変身の達人 葛飾北斎 小林 忠

北斎の作品に於ける西欧の影響 マティ・フォラー

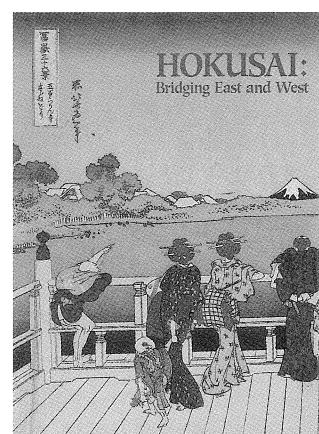
図版 章解説 マティ・フォラー

出品作品目録

葛飾北斎年譜（未定稿） 菅原真弓編

葛飾北斎邦文文献目録（未定稿） 菅原真弓編

葛飾北斎欧文文献目録 新田健史編



(3) 記念講演会

日時 平成10（1998）年6月13日（土） 10：30～12：00

演題 「北斎と西洋」

講師 小林 忠（学習院大学文学部教授）

(4) ギャラリーツアー

日時 平成10（1998）年6月14日（日）、7月11日（土） 11：00～12：00

担当 吉田洋子（学芸課学芸員）

(5) 出品目録

出品番号	作品名	作家名	判型	形態	制作年代	借用先名
1	地方測量之図	葛飾北斎	横大々判	錦絵	嘉永1年（1848）	ホノルル美術館
2	『画本狂歌 山満多産』一編 高田	葛飾北斎	彩色摺狂歌本	大本	享和4年／文化1年（1804）	ブルヴェラー・コレクション
3	『画本狂歌 山満多山』二編 目白山	葛飾北斎	彩色摺狂歌本	大本	享和4年／文化1年（1804）	ブルヴェラー・コレクション
4	『富嶽百景』二編 写真の不二	葛飾北斎	墨摺絵本	半紙本	天保6年（1835）	ライデン国立民族学博物館
5	『富嶽百景』三編 ふじ穴のふじ	葛飾北斎	墨摺絵本	半紙本	天保13年頃（1842）頃	アムステルダム国立美術館
7	『北斎漫画』十二編 拡大鏡	葛飾北斎	彩色摺絵手本	半紙本	天保5年（1834）頃	ホノルル美術館
8	『北斎漫画』三編 三つわりの法	葛飾北斎	彩色摺絵手本	半紙本	文化12年（1815）	ブルヴェラー・コレクション
9	富嶽三十六景 五百らかん寺さゞゐ堂	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保5年（1834）頃	ブルヴェラー・コレクション
10	富嶽三十六景 東海道吉田	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保5年（1834）頃	バウアー・コレクション
11	富嶽三十六景 江都駿河町三井見世略図	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保3年（1832）頃	山口県立萩美術館・浦上記念館
12	『東遊』日本橋	葛飾北斎	墨摺狂歌本	大本	寛政11年（1799）	ブルヴェラー・コレクション
13	『東都名所一覧』日本橋	葛飾北斎	彩色摺狂歌本	大本	寛政12年（1800）	ブルヴェラー・コレクション
14	『都鳥』日本橋	葛飾北斎	彩色摺狂歌本	半紙本	享和2年（1802）頃	ライデン国立民族学博物館
15	富嶽三十六景 江戸日本橋	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保4年（1833）頃	ミネアポリス美術館
16	渡船山水図	葛飾北斎	紙本	墨画淡彩	弘化4年（1847）	北斎館
17	浅草金龍山觀世音境内之図	葛飾北斎	横大判	錦絵	天明8年～寛政1年（1788～1789）頃	ホノルル美術館
18	浮絵 東觀山中堂之図	葛飾北斎	横大判	錦絵	天明8年～寛政1年（1788～1789）頃	ホノルル美術館
20	新板浮絵 浦島龍宮入之図	葛飾北斎	横大判	錦絵	寛政初期（1790年代）	ホノルル美術館
21	新板浮絵 犬喰鴻門之会ノ図	葛飾北斎	横大判	錦絵	寛政初期（1790年代）	ホノルル美術館
22	浮絵 源氏十二段之図	葛飾北斎	横大判	錦絵	天明8年～寛政1年（1788～1789）頃	ライデン国立民族学博物館
23	阿蘭陀画鏡 江戸八景 境町	葛飾北斎	横小判	錦絵	文化7年（1810）頃	神戸市立博物館
24	新板浮絵忠臣蔵 初段鶴ヶ岡	葛飾北斎	横間判	錦絵	寛政10年（1798）頃	大英博物館

25	仮名手本忠臣蔵 初段	葛飾北斎	横大判	錦絵	文化3年(1806)	バウアー・コレクション
26	新板浮絵忠臣蔵 第六段目	葛飾北斎	横間判	錦絵	寛政10年(1798)頃	大英博物館
27	新板浮絵忠臣蔵 第七段目	葛飾北斎	横間判	錦絵	寛政10年(1798)頃	大英博物館
28	浮絵忠臣蔵夜討之段	葛飾北斎	横大判	錦絵	天明8年~寛政1年 (1788~1789)頃	ミネアポリス美術館
29	新板浮絵忠臣蔵 第十一段目	葛飾北斎	横間判	錦絵	寛政10年(1798)頃	大英博物館
30	仮名手本忠臣蔵 十一段	葛飾北斎	横中判	錦絵	文化3年(1806)	バウアー・コレクション
31	新板浮絵新吉原大門口之図	葛飾北斎	横大判	錦絵	文化8年(1811)頃	バウナー・コレクション
32	浮絵一ノ谷合戦坂落之図	葛飾北斎	横大判	錦絵	天明8年~寛政1年 (1788~1789)頃	バウナー・コレクション
33	新板浮絵両国橋夕涼花火見物之図	葛飾北斎	横大判	錦絵	天明8年~寛政1年 (1788~1789)頃	大英博物館
34	江戸両国橋夕涼花火之図	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保中期(1830年代)・ 33の後摺	大英博物館
35	『絵本隅田川両岸一覧』中巻 両国橋	葛飾北斎	彩色摺狂歌本	大本	享和3年(1803)頃	ブルヴェラー・コレクション
35a	『絵本隅田川両岸一覧』中巻 両国橋	葛飾北斎	彩色摺狂歌本	大本	享和3年(1803)頃	ライデン国立民族学博物館
36	隅田川	葛飾北斎	横長判	摺物	文化1年(1804)頃	ハーバード大学 サックラー美術館
37	馬尽 駒形堂・御厩川岸・駒止石	葛飾北斎	色紙判	摺物3枚続	文政5年(1822)	アムステルダム 国立美術館
38	東海道名所一覧	葛飾北斎	横大々判	錦絵	文政1年(1818)	ライデン大学図書館
39	木曾名所一覧	葛飾北斎	横大々判	錦絵	文政2年(1819)	ライデン大学図書館
40	新板浮絵忠臣蔵 第二段目	葛飾北斎	横間判	錦絵	寛政10年(1798)頃	大英博物館
41	新板浮絵忠臣蔵 第三段目	葛飾北斎	横間判	錦絵	寛政10年(1798)頃	大英博物館
42	新板浮絵忠臣蔵 第四段目	葛飾北斎	横間判	錦絵	寛政10年(1798)頃	ホノルル美術館
43	新板浮絵忠臣蔵 第五段目	葛飾北斎	横間判	錦絵	寛政10年(1798)頃	大英博物館
44	新板浮絵忠臣蔵 第九段目	葛飾北斎	横間判	錦絵	寛政10年(1798)頃	大英博物館
45	新板浮絵忠臣蔵 第十段	葛飾北斎	横間判	錦絵	寛政10年(1798)頃	大英博物館
46	『柳の絲』江島春望	葛飾北斎	彩色摺狂歌本	画帖	寛政9年(1797)	大英博物館
47	江之島図	葛飾北斎		摺物	寛政11年(1799)	ハーバード大学 サックラー美術館
48	伸子張	葛飾北斎		摺物	寛政11年(1799)頃	ハーバード大学 サックラー美術館
49	王子稻荷詣図(王子のみち)	葛飾北斎	横長判	摺物	文化2年(1805)頃	ハーバード大学 サックラー美術館
50	三園花見茶屋図	葛飾北斎	横長判	摺物	文化2年(1805)頃	ハーバード大学 サックラー美術館
51	仮名手本忠臣蔵 二段目	葛飾北斎	横大判	錦絵	文化3年(1806)	バウナー・コレクション
52	仮名手本忠臣蔵 三段目	葛飾北斎	横大判	錦絵	文化3年(1806)	ハーバード大学 サックラー美術館
53	仮名手本忠臣蔵 五段目	葛飾北斎	横大判	錦絵	後摺・文化3年(1806)以降	ミネアポリス美術館
54	仮名手本忠臣蔵 六段目	葛飾北斎	横大判	錦絵	文化3年(1806)	バウナー・コレクション
55	仮名手本忠臣蔵 八段目	葛飾北斎	横大判	錦絵	文化3年(1806)	ホノルル美術館
56	仮名手本忠臣蔵 十段目	葛飾北斎	横大判	錦絵	文化3年(1806)	バウナー・コレ

						クション
57	風流東都八景 両国の秋月	葛飾北斎	中判	錦絵	文化5~7年 (1808~1810)頃	ハーバード大学
58	近江八景 石山の秋の月	葛飾北斎	中判	錦絵	文化5~7年 (1808~1810)頃	サックラー美術館
59	近江八景 瀬田の夕照	葛飾北斎	中判	錦絵	文化5~7年 (1808~1810)頃	ハーバード大学
60	新版浮絵八ツ山花盛群衆之図	葛飾北斎	横大判	錦絵	文化8年(1811)頃	ホノルル美術館
61	富嶽三十六景 武陽佃嶋	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2年(1831)頃	ホノルル美術館
62	富嶽三十六景 武州玉川	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2年(1831)頃	ミネアポリス美術館
63	琉球八景 臨海潮声	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保3年(1832)頃	ミネアポリス美術館
64	琉球八景 筒崖夕照	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保3年(1832)頃	ホノルル美術館
65	千絵の海 五島鯨突	葛飾北斎	横中判	錦絵	天保4年(1833)頃	ホノルル美術館
66	千絵の海 蚊針流	葛飾北斎	横中判	錦絵	天保4年(1833)頃	ギメ東洋美術館
67	雪月花 淀川(月)	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保4年(1833)頃	アムステルダム国立美術館
68	諸国名橋奇覧 かうつけ佐野ふなはしの古づ	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保5年(1834)頃	ミネアポリス美術館
69	勝景奇覧 信州諏訪湖	葛飾北斎		団扇絵	天保6年(1835)頃	ホノルル美術館
70	百人一首うばがゑとき 阿倍仲磨	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保6~7年 (1835~1836)頃	ホノルル美術館
71	百人一首うはが縁説 清原深養父	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保6~7年 (1835~1836)頃	ホノルル美術館
72	富嶽三十六景 深川万年橋下	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2年(1831)頃	ミネアポリス美術館
73	『富嶽百景』二編 七橋一覧の不二	葛飾北斎	墨摺絵本	半紙本	天保6年(1835)	ブルヴェラー・コレクション
74	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保1~2年 (1830~1831)頃	メトロポリタン美術館
75	富嶽三十六景 甲州三島越	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2年(1831)頃	ミネアポリス美術館
76	富嶽三十六景 東都浅草本願寺	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2年(1831)頃	ハーバード大学
77	芥子	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保3年(1832)頃	ミネアポリス美術館
78	富嶽三十六景 凱風快晴	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保1~2年 (1830~1831)頃	ホノルル美術館
79	富嶽三十六景 山下白雨	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保1~2年 (1830~1831)頃	ホノルル美術館
80	『北斎写真画譜』あやめ	葛飾北斎	彩色摺絵本	画帖	文化11年(1814)頃	ブルヴェラー・コレクション
82	あやめときりぎりす	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保3年(1832)頃	ギメ東洋美術館
82a	あやめときりぎりす	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保3年(1832)頃	個人蔵
84	百合	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保3年(1832)頃	ミネアポリス美術館
85	桜花に富士図	葛飾北斎	横長判	摺物	寛政12年~文化2年 (1800~1805)頃	アムステルダム国立美術館
86	桔梗	葛飾北斎	紙本	扇面	文化12年(1815)頃	北斎館
87	墨竹図	葛飾北斎	紙本	墨画	文化年間(1810年代)	パリ国立図書館
88	富嶽三十六景 常州牛堀	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2年(1831)頃	東京都江戸東京博物館
89	富嶽三十六景 碓川雪ノ旦	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保3年(1832)頃	ホノルル美術館
90	富嶽三十六景 甲州石班澤	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2年(1831)頃	メトロポリタン

						美術館
91	富嶽三十六景 東海道程ヶ谷	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保5年(1834)頃	ミネアポリス美術館
92	富嶽三十六景 遠江山中	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2年(1831)頃	ミネアポリス美術館
93	菊に蜂	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保3年(1832)頃	ギメ東洋美術館
93a	菊に蜂	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保3年(1832)頃	東京国立博物館
94	『富嶽百景』二編 遠江山中の不二	葛飾北斎	墨摺絵本	半紙本	天保6年(1835)	アムステルダム 国立美術館
95	百人一首うばがゑとき 春道列樹	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保6~7年 (1835~1836)頃	ホノルル美術館
96b	阿蘭陀画鏡 江戸八景 高輪	葛飾北斎	横小判	錦絵	文化7年(1810)頃	神戸市立博物館
97	銅版近江八景 ひらのばせつ	葛飾北斎	横小判	錦絵	文化8年(1811)頃	アムステルダム 国立美術館
98	銅版近江八景 やばせのきはん	葛飾北斎	横小判	錦絵	文化8年(1811)頃	アムステルダム 国立美術館
99	銅版近江八景 からさきのよるのあめ	葛飾北斎	横小判	錦絵	文化8年(1811)頃	アムステルダム 国立美術館
100	ぎょうとくしほはまより のぼとのひがた をのぞむ	葛飾北斎	横中判	錦絵	文化2~7年 (1805~1810)頃	ギメ東洋美術館
101	日本堤田中見之図	葛飾北斎	横間判	錦絵	文化2~7年 (1805~1810)頃	神奈川県立歴史 博物館
102	羽田弁天之図	葛飾北斎	横間判	錦絵	文化2~7年 (1805~1810)頃	神奈川県立歴史 博物館
103	くだんうしがふち	葛飾北斎	横中判	錦絵	文化2~7年 (1805~1810)頃	パリ国立図書館
105	銅版近江八景 あはづのせいらん	葛飾北斎	横小判	錦絵	文化8年(1811)頃	アムステルダム 国立美術館
106	銅版近江八景 三井のばんせう	葛飾北斎	横小判	錦絵	文化8年(1811)頃	アムステルダム 国立美術館
107	銅版近江八景 かたゝのらくがん	葛飾北斎	横小判	錦絵	文化8年(1811)頃	アムステルダム 国立美術館
108	銅版近江八景 せたのせきしやう	葛飾北斎	横小判	錦絵	文化8年(1811)頃	アムステルダム 国立美術館
109	銅版近江八景 石山の秋月	葛飾北斎	横小判	錦絵	文化8年(1811)頃	アムステルダム 国立美術館
110	魚貝図(参考出品)	葛飾北斎	油彩	カンバス	天保11年~嘉永2年 (1840~1849)頃	個人所蔵
112	富嶽三十六景 相州七里浜	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2年(1831)頃	アムステルダム 国立美術館
113	富嶽三十六景 信州諏訪湖	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2年(1831)頃	メトロポリタン 美術館
114	諸国名橋奇覧 飛越の堺つりはし	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保5年(1834)頃	ミネアポリス美 術館
115	雪の渡し	北斎工房作	紙本	水彩	文政7~9年 (1824~1826)頃	パリ国立図書館
116	雨中の漁	北斎工房作	紙本	水彩	文政7~9年 (1824~1826)頃	パリ国立図書館
117	海浜の漁師	北斎工房作	紙本	水彩	文政7~9年 (1824~1826)頃	パリ国立図書館
118	端午の節句	北斎工房	紙本	水彩	文政7~9年 (1824~1826)頃	ライデン国立民 族学博物館
119	遊女と禿図	北斎工房	紙本	水彩	文政7~9年 (1824~1826)頃	ライデン国立民 族学博物館
120	節季の商家	北斎工房作	紙本	水彩	文政7~9年	ライデン国立民

121	五美人図	葛飾北斎	絹本		(1824~1826) 傢 文化5~9年 (1808~1812) 傢	族学博物館 細見美術館
123	雪中傘持美人図	葛飾北斎	絹本			個人蔵
124	千野兵庫肖像	葛飾北斎	絹本		文化7~9年 (1810~1812) 傢	個人蔵
125	武家図	北斎工房作	紙本	水彩	文政7~9年 (1824~1826) 傢	パリ国立図書館
126	町屋の娘	北斎工房作	紙本	水彩	文政7~9年 (1824~1826) 傢	パリ国立図書館
127	老人図	伝北斎	紙本		天保年間(1840)	ライデン国立民族学博物館
128	八十三歳自画像	葛飾北斎	紙本	墨画	天保13年(1842)	ライデン国立民族学博物館
129	蔬菜に撫子図	葛飾北斎	紙本	扇面	文政1年(1818) 傢	ホノルル美術館
130	蝶にめばる・さより	葛飾北斎	紙本		弘化3年(1846)	北斎館
132	『肉筆画帖』福寿草と扇面	葛飾北斎	紙本	画帖	天保6年(1835) 傢	北斎館
133	『肉筆画帖』鷹	葛飾北斎	紙本	画帖	天保6年(1835) 傢	北斎館
134	『肉筆画帖』はさみと雀	葛飾北斎	紙本	画帖	天保6年(1835) 傢	北斎館
135	『肉筆画帖』桜花と包み	葛飾北斎	紙本	画帖	天保6年(1835) 傢	北斎館
136	『肉筆画帖』蛇と小鳥	葛飾北斎	紙本	画帖	天保6年(1835) 傢	北斎館
137	『肉筆画帖』かれいとなでしこ	葛飾北斎	紙本	画帖	天保6年(1835) 傢	北斎館
138	『肉筆画帖』塩鮀と鼠	葛飾北斎	紙本	画帖	天保6年(1835) 傢	北斎館
139	元禄歌仙貝合 いろ貝	葛飾北斎	色紙判	摺物	文政4年(1821)	アムステルダム 国立美術館
140	元禄歌仙貝合 しほ貝	葛飾北斎	色紙判	摺物	文政4年(1821)	アムステルダム 国立美術館
141	馬尽 馬脳石	葛飾北斎	色紙判	摺物	文政5年(1822)	アムステルダム 国立美術館
142	馬尽 馬蹄石	葛飾北斎	色紙判	摺物	文政5年(1822)	ハーバード大学 サックラー美術館
143	馬尽 初午詣	葛飾北斎	色紙判	摺物	文政5年(1822)	アムステルダム 国立美術館
144	馬尽 駒菖蒲	葛飾北斎	色紙判	摺物	文政5年(1822)	アムステルダム 国立美術館
145	馬尽 馬除	葛飾北斎	色紙判	摺物	文政5年(1822)	アムステルダム 国立美術館
146	鯉図	伝北斎	紙本	6曲1隻屏風(部分)	天保年間(1830年代)	個人蔵
147	鯉の滝登り	葛飾北斎	長大判	錦絵	天保4年(1833) 傢	東京国立博物館
148	劉備檀溪渡河図	葛飾北斎	絵馬		文政1年(1818) 傢	常楽寺
150	早駆	北斎工房作	紙本	水彩	文政7~9年 (1824~1826) 傢	ライデン国立民族学博物館
151	武士の乗馬	北斎工房作	紙本	水彩	文政7~9年 (1824~1826) 傢	パリ国立図書館
152	富嶽三十六景 隅田川関屋の里	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保4年(1833) 傢	東京都江戸東京博物館
153	驟雨	北斎工房	紙本	水彩	文政7~9年 (1824~1826) 傢	ライデン国立民族学博物館
154	富嶽三十六景 駿州江尻	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2年(1831) 傢	ギメ東洋美術館
154a	富嶽三十六景 駿州江尻	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保2年(1831) 傢	山口県立萩美術館 館・浦上記念館
155	紫陽花に燕	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保3年(1832) 傢	ギメ東洋美術館
155a	紫陽花に燕	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保3年(1832) 傢	東京国立博物館
156	牡丹に蝶	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保3年(1832) 傢	ブルヴェラー・コレクション

157 桔梗にとんぼ	葛飾北斎	横大判	錦絵	天保3年（1832）頃	個人蔵
158 富士越龍図	葛飾北斎	絹本	墨画淡彩	嘉永2年（1849）	北斎館
159 『画本彩色通』初編 凤凰図	葛飾北斎	墨摺絵本	中本	嘉永1年（1848）	ブルヴェラー・コレクション
160 岩松院天井「鳳凰」図下絵	葛飾北斎	紙本		弘化年間（1840年代中期）	岩松院
161 東町祭屋台天井絵「鳳凰」図	葛飾北斎	桐板		弘化1年頃（1844）	北斎館
162 上町祭屋台天井絵「女浪」図	葛飾北斎	桐板		弘化年間（1840年代中期）	北斎館

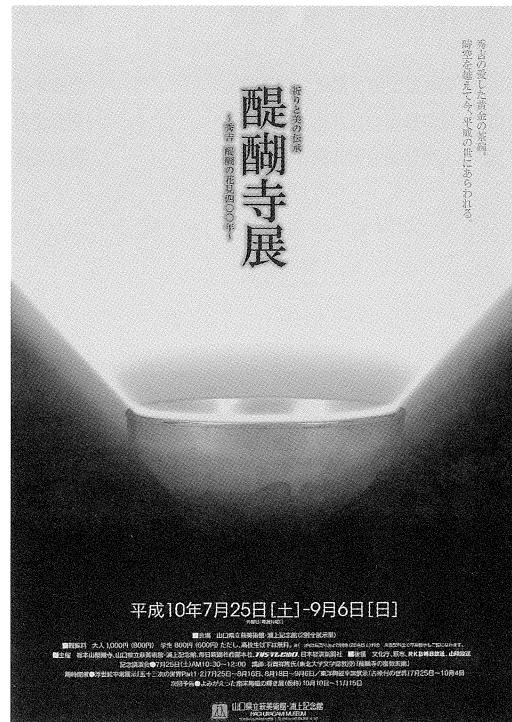
祈りと美の伝承 醍醐寺展 秀吉・醍醐の花見400年

会期 平成10（1998）年7月25日（土）～9月6日（日）

会場 展示室3・4・5・6

主催 総本山醍醐寺、山口県立萩美術館・浦上記念館、
毎日新聞社西部本社、TYSテレビ山口、
日本経済新聞社

後援 文化庁、萩市、RKB毎日放送、山陰放送



（1）趣旨

真言宗醍醐派総本山、醍醐寺は京都・伏見の笠取山全山に広がる大伽藍を誇り、山上を上醍醐、麓を下醍醐と称する。貞觀16年（874）理源大師聖宝が山上に草庵を建てたことに始まり、聖宝が真言宗内部で徐々に重要な地位を占めるに従い大きく発展するが、その後も醍醐、朱雀、村上の三帝が帰依したことにより御願寺として隆盛をきわめた。

永久3年（1115）に座主勝覚によって創建された三宝院は下醍醐の中心であり、室町から江戸期にかけては修験道当山派の総本山として、全国の修験道を統括していたが、長い年月の間には幾たびかの火災に遭い、多くの建物が再建、復興を繰り替えしている。殊に応仁・文明の乱では五重塔を残して下醍醐一帯を焼失し、長らく荒廃した時期が続いた。その本格的復興は、第八十代座主の義演が豊臣秀吉と関係を深めてからのこととなる。秀吉の寄進により伽藍が再建され、その検分を兼ねて慶長3年（1598）年に催されたのが、世に有名な「醍醐の花見」である。本年はそれから数えて400年にあたり、これを機にあらためて密教文化の奥深さとその美を広く紹介する目的で、醍醐寺創建当時から伝わる名宝85件を展示した。

（2）カタログ

監修 西川新次、有賀祥隆

編集 総本山醍醐寺、日本経済新聞社

発行 日本経済新聞社

内容 あいさつ 主催者

論文

醍醐寺創建期・中興期の密教美術—仏像を中心に— 西川新次

醍醐寺の歴史 伸田順和

醍醐寺展細見 有賀祥隆

図版 （各章解説：有賀祥隆）

一、密教の祈り

二、醍醐を彩る人々

三、美の伝承



作品解説

彫刻 副島弘道
絵画 有賀祥隆、川村知行
工芸 関根俊一
書跡・文書 永村 真、藤井雅子

出品目録

醍醐寺略年表 (岡田祐雄 編)

体裁 A4判変形 204ページ

(3) 記念講演会

日時 平成10（1998）年7月25日(土) 10:30～12:00

演題 「醍醐寺の密教美術」

講師 有賀祥隆（東北大学文学部教授）

(4) ギャラリーツアー

日時 平成10（1998）年7月26日(日)、8月13～16日(旧盆期間)、8月22日(土)、8月23日(日)

11:00～12:00

担当 石崎泰之（学芸課専門学芸員）

(5) 出品目録

展示番号	図版番号	作品名	員数	制作年代(時代区分)	材質	装幀	法量(cm)	
1	1	千手觀音立像	1躯	平安	天徳年間 957-961	木造漆箔	像高191.0	
2	2	両界曼荼羅	2幅	江戸	17c	絹本著色(金剛界) 絹本著色(胎藏界)	掛軸装 掛軸装	縦103.3×横88.4 縦104.5×横88.0
3	3	十二天屏風	1双	江戸	17-18c	絹本著色	屏風装	縦141.0×横49.3(一扇)
4	4	山水屏風	1双	江戸	18c	絹本著色	屏風装	縦144.0×横41.5(一扇)
5	5	大壇及び仏具	1式	江戸	18-19c			方170.3
6	7	大日如来坐像(金剛界)	1躯	平安	9c	木造漆塗り		像高61.0
7	8	大日如来坐像(金剛界)	1躯	平安	12c	木造古色		像高91.3
8	9	阿弥陀如来坐像	1躯	平安	12c	木造漆箔		像高96.5
9	10	十一面觀音立像	1躯	鎌倉	13c	木造素地		像高76.3
10	11	如意輪觀音踏み下げ像	1躯	平安	9c	木造古色		像高97.1
11	12	如意輪觀音坐像	1躯	鎌倉	13c	木造金泥及び截金文様		像高33.3
12	13	不動明王及び二童子像	3躯	平安	12c	木造古色(中尊) 木造彩色及び截金文様 (左脇侍、矜羯羅童子)		像高85.5 像高93.3
						木造彩色及び截金文様 (右脇侍、制吒迦童子)		像高94.1
13	14	地蔵菩薩立像	1躯	江戸	18c	木造彩色		像高51.3
14	15	愛染明王坐像	1躯	南北朝	14c	木造彩色及び截金文様		像高24.8
15	16	天部立像	1躯	鎌倉	13c	木造彩色及び截金文様		像高57.0
16	18	俱生神立像	1躯	鎌倉	14c	木造彩色		像高40.0
17	21	広目天立像	1躯	鎌倉	13c	木造彩色		像高201.7
18	22	多聞天立像	1躯	鎌倉	13c	木造彩色		像高200.0
19	23	獅子・狛犬	1対	鎌倉	13c	木造彩色(獅子、阿形) 木造彩色(狛犬、吽形)		像高45.4 像高45.2
20	24	両界曼荼羅	2幅	鎌倉	14c	絹本著色	掛幅装	各縦144.0×横125.5
21	26	一字金輪曼荼羅	1幅	南北朝	14c	絹本著色	掛幅装	縦103.8×横84.0
22	27	尊勝曼荼羅	1幅	南北朝	14c	絹本著色	掛幅装	縦142.2×横81.3
23	28	大勝金剛曼荼羅	1幅	鎌倉	13c	紫絹金銀泥	掛幅装	縦113.0×横100.0

24	29	八字文殊曼茶羅	1幅 室町	15c	絹本着色	掛幅装	縦132.0×横99.0
25	30	五秘密像(五秘密曼茶羅)	1幅 室町	15c	絹本着色	掛幅装	縦101.4×横64.3
26	33	愛染明王曼茶羅	1幅 鎌倉	14c	絹本着色	掛幅装	縦86.0×横83.0
27	34	大輪明王曼茶羅	1幅 鎌倉	13-14c	絹本着色	掛幅装	縦86.0×横83.0
28	35	北斗曼茶羅	1幅 南北朝	14c	絹本着色	掛幅装	縦121.0×横87.0
29	36	准胝觀音像	1幅 江戸 寛文7年	1667	絹本着色	額装	縦171.5×横86.0
30	38	如意輪觀音・大威德・毘沙門天像	1幅 鎌倉	13c	絹本着色	掛幅装	縦83.6×横40.3
31	39	聖觀音像	1幅 鎌倉	14c	絹本着色	掛幅装	縦59.0×33.4
32	40	紙本白描水月觀音像	1幅 鎌倉	14c	紙本白描	掛幅装	縦59.7×横32.8
33	41	清滝本地両尊像	1幅 室町	16c	絹本着色	掛幅装	縦121.2×横80.0
34	43	普賢延命像	1幅 室町	15c	絹本着色	掛幅装	縦165.5×横90.2
35	44	普賢延命像	1幅 江戸 元禄15年	1702	絹本着色	掛幅装	縦165.5×横90.2
36	47	紙本淡彩馬鳴菩薩像	1幅 鎌倉	14c	紙本白描	掛幅装	縦85.4×横48.1
37	51	紙本白描愛染明王像	1幅 鎌倉	14c	紙本白描	掛幅装	縦56.2×横31.8
38	52	孔雀明王像	1幅 鎌倉	13c	絹本着色	掛幅装	縦75.0×横44.0
39	54	図像抄	2巻 鎌倉	13c	紙本白描	巻子装	(卷六) 觀音部上 縦28.1×全長914.0 (卷八) 明王部 縦29.0×全長1287.3
40	56	五大明王塔鉢	1口 中国・宋	11-12c	銅製		高16.7 口径6.0
41	58	玉幡	1旒 江戸	17-18c	銅製 鎏金		長112.5 幡頭幅15.7
42	59	華籠	2枚 室町	15c	竹製		径29.2
43	60	転法輪筒	1口 鎌倉	13c	銅製 鎏金		高23.4 径6.2
44	61	如意	1柄 江戸	13c	銅製 鎏金		長41.7
45	62	説相箱	1口 江戸 文化4年	1807	木製 金銅装		縦29.0×横34.0×高13.3 (金剛界)高127.8
46	64	仏台	2基 江戸 寛永2年	1625	各木造漆塗り及び漆箔		(胎藏界)高126.9
47	65	釈迦如来及び両脇侍像	3躯 平安	12c	(釈迦如来) 木造漆箔 (文殊菩薩) 木造漆箔、 金泥、彩色及び截金文様 (普賢菩薩) 木造漆箔、 金泥、彩色及び截金文様		像高52.0 像高30.7 像高30.5
48	66	仏涅槃図	1幅 鎌倉	13c	絹本着色	掛幅装	縦140.0×横112.8
49	69	弘法大師坐像	1躯 江戸 寛文7年	1667	木造彩色		像高84.8
50	70	理源大師(聖宝)坐像	1躯 江戸 寛文5年	1665	木造彩色		像高83.0
51	71	弘法大師像(善通寺御影)	1幅 室町後期	16c	絹本着色	掛幅装	縦110.5×横69.0
52	72	理源大師(聖宝)像	1幅 室町	15c	絹本着色	掛幅装	縦90.9×横41.4
53	73	觀賢像	1幅 室町	15c	絹本着色	掛幅装	縦88.0×横41.0
54	74	勝覺像	1幅 室町	15c	絹本着色	掛幅装	縦86.7×横42.2
55	75	賢覺像	1幅 室町	15c	絹本着色	掛幅装	縦87.6×横42.3
56	76	仁海像	1幅 室町	15c	絹本着色	掛幅装	縦87.7×横41.0
57	77	深賢像	1幅 室町	16c	絹本着色	掛幅装	縦81.0×横38.8
58	78	憲深像	1幅 室町	16c	絹本着色	掛幅装	縦64.0×横35.5
59	79	賢俊像	1幅 江戸	18c	絹本着色	掛幅装	縦87.6×横42.3
60	80	満済像	1幅 室町	15c	絹本着色	掛幅装	縦87.6×横42.3
61	81	金剛場陀羅尼經	1巻 平安前期成立	8-10c	紙本墨書	巻子装	縦18.5×横885.5 (18紙貼続)
		伝弘法大師筆			(楮紙打紙)		
62	82	大方広仏華嚴經	1巻 奈良成立	8c	紙本墨書	巻子装	縦27.6×横858.9
		伝弘法大師筆			(麻紙)	(撥形軸)	(18紙貼続)
63	83	金剛寿命陀羅尼經	1巻 平安中期成立	10-11c	紙本墨書	巻子装	縦27.6×横96.4
		伝觀賢筆			(楮紙、墨界)		(2紙貼続)
64	84	紺紙金泥大般若經卷第十七	1巻 平安院政期成立	11-13c	紺紙金泥(楮紙、金界)	巻子装(軸頭 八角鎔金魚子地)	縦26.0×横686.7 (16紙貼続)
		伝菅原道真筆					
65	85	金光明最勝王經	1巻 平安前期成立	8-10c	紙本墨書(楮紙打紙、墨界)	巻子装(後補紫檀)	縦26.3×横83.2

		伝小野道風筆				八角軸)	前後欠	(2紙貼続)
66	86	足利尊氏筆紺紙金泥 般若心経	1紙 南北朝期成立	14c	紺紙金泥 (楮紙、銀界)	豎紙	縦25.7×横41.2	
67	87	後陽成天皇宸筆紺紙 金泥阿弥陀経	1巻 安土桃山期成立	16c	紺紙金泥	巻子装 (軸頭水晶)	縦25.9×横191.1 (6紙貼続)	
68	88	義演像	1幅 江戸	17c	絹本著色	掛幅装	縦95.5×横49.3	
69	89	正親町天皇宣旨	1通 安土桃山期成立	16c	紙本墨書 (檀紙)	豎紙	縦34.2×横48.7	
70	92	大地震記	1巻 安土桃山期成立	16c	紙本墨書 (檀紙)	巻子装	縦29.5×横373.9 (8紙貼続)	
71	95	豊臣秀吉像	1幅 江戸	19c	絹本著色	掛幅装	縦100.4×横56.3	
72	104	豊国大明神号	1幅 江戸前期成立	17c	紙本墨書 (檀紙)	掛幅装	縦65.0×横28.0 (1紙)	
73	105	黄金天目茶碗	1口 桃山	16c	金製 (木胎)		径12.6 高5.7	
74	106	角盤・棗	1具 桃山	16c	木製 黒漆塗 蒔絵		(角盤) 長43.5 (棗) 径19.5	
75	107	炭取	1口 桃山	16c	木製 黒漆塗 蒔絵		縦33.0 横29.9 高21.0	
76	108	腰掛	1脚 桃山	16c	木製 黒漆塗 蒔絵		高38.5 幅32.8	
77	109	華籠	2枚 江戸	17c	銅製 鍍金		径28.1 径26.8	
78	110	義演乘輿	1基 江戸	慶長14年 1609			長348.0 高148.0 幅111.0	
79	111	松桧群鴉図 六曲屏風	1双 江戸	17c	紙本金地墨画著色	屏風装	縦159.5×横364.8	
80	113	松桜幔幕図 生駒等寿筆	1双 江戸 六曲屏風	17c	紙本金地著色	屏風装	縦168.0×横359.0	
81	114	御所車図 石田幽汀筆	1面 江戸	18c	紙本著色	衝立貼付	縦185.5×横284.0	
82	115	桜楓図 山口雪溪筆	2双 江戸 六曲屏風	17-18c	紙本金地著色	屏風装	縦168.0×横361.5	
83	116	泊船図 松村與春筆	4面 江戸	19c	紙本墨画淡彩	襖貼付	縦170.3×横69.3	
84	117	海浜図 塩川文麟筆	4面 江戸	19c	紙本著色	襖貼付	縦170.3×横69.3	
85	124	塔と桜 浜田泰介筆	4面	平成9年 1997	紙本著色	襖貼付	縦178.5×横92.0	

シリーズ山東文物1 神秘の王国・邿国王墓展

会期 平成10（1998）年9月12日（土）～11月1日（日）
11月20日（金）～平成11（1999）年2月21日（日）
会場 展示室3（一時展示室2に展示替）
主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、
山東省文物事業管理局、朝日新聞社、
YAB山口朝日放送
協力 山東省人民政府外事弁公室



「シリーズ山東文物」の開設

山口県と中国山東省の1982年以来の友好協定に基づき、1996年に『山東省文化庁と山口県教育委員会の今後の文物及び考古研究分野の友好協力に関する意向書』が締結されました。そして、その一環として萩美術館・浦上記念館では1997年と1998年に2度の山東省文物展を開催して参りました。

本館は事業展開の根幹の一つを東洋陶磁におく専門美術館ですが、すべての東洋陶磁の源流として中国陶磁の位置づけは特に重要です。近年の中国での窯跡や墳墓の発掘調査の進展につれて集積された資料は、世界の陶磁器研究の動向を大いに左右する趨勢にあります。

このような状況の中、山口県が交流を進めている山東省は中国古代文化の発祥の地であり、大汶口文化、龍山文化などの中国陶磁史上の重要な文化が栄えた地域でもあります。本館においては、『意向書』の趣旨をさらに進めて、本館の展示における新たな核として、山東省からの借用文物を常設的に展示する展示室設置の可能性を山東省と協議し、ここに実現に至りました。

この展示は、陶磁器や陶磁器の祖形としての青銅器、さらには中国文化そのものを理解するため、50～60点程度で構成するわかりやすい個別的なテーマを選ぶことを基本的な構想としています。

今後、県省間の、陶磁器を核にした学術的な文化交流事業を継続展開することは、本館の活動をより深く、より幅広いものにすることと期待しています。

(2) カタログ

企画 山口県立萩美術館・浦上記念館、山東省文物事業管理局

編集・発行 山口県立萩美術館・浦上記念館

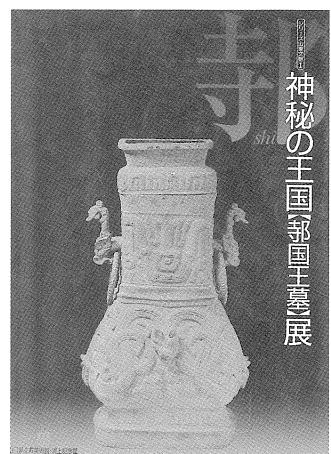
内容 はじめに 山口県立萩美術館・浦上記念館

論考

周代邿国と仙人台墓地 任 相宏

国君の輝かしい宝物—仙人台6号墓を中心として 崔 大庸

仙人台6号墓出土の楽器 任 相宏



図版

作品解説 崔 大庸

補助解説・コラム 上田秀夫

論文・作品解説翻訳 徐 光輝

体裁 A4判 47ページ

(3) 記念講演会

日時 平成10(1998)年9月12日(土) 10:30~12:00

演題 「中国山東長清周代邿国墓地の発掘及びその意義」

講師 任 相宏(山東大学考古系副教授)

(4) ギャラリーツアー

日時 平成10(1998)年9月13日(日)、11月28日(土)、平成11(1999)年1月23日(土) 11:00~12:00

担当 上田秀夫(学芸課長)

(5) 関連イベント

「磬」とフルートによるミュージアム・コンサート

日時 平成10(1998)年11月21日(土)、12月5日(土)、平成11(1999)年1月10日(日)

13:00、14:00、15:00開始の3回公演

場所 エントランスホール

出演 照喜名仙子(山口県交響楽団団員 パーカッション)

桑原奈緒子(山口県交響楽団団員 フルート)

曲目 即興演奏 -「磬」独奏-

日本のうたより「里の秋」「夕焼け小やけ」「もみじ」「ゆきやこんこ」

(6) 出品目録

1995年仙人台遺跡M6出土

山東大学歴史系所蔵

No.	名称	件数	通高(cm)	口径(cm)	備考	時代	出土位置
1	銅鼎	1	71.0	77.0	飪食器	春秋	北辺箱
2	銅鼎	1	59.5	60.0			北辺箱
3	銅鼎	1	59.5	60.0			北辺箱
4	銅鼎	1	41.2	42.0			北辺箱
5	銅鼎	1	41.0	42.0			北辺箱
6-1	銅鼎	1	31.0	36.3			北辺箱
6-2	銅鼎	1	32.5	36.8			北辺箱
6-3	銅鼎	1	36.4	35.5			北辺箱
6-4	銅鼎	1	35.7	37.1			北辺箱
6-5	銅鼎	1	35.6	36.5			北辺箱
6-6	銅鼎	1	35.0	37.0			北辺箱
6-7	銅鼎	1	35.5	38.0			北辺箱
6-8	銅鼎	1	35.5	37.2			北辺箱
6-9	銅鼎	1	35.7	37.0			北辺箱
6-10	銅鼎	1	32.0	33.5			北辺箱
7-1	銅簋	1	24.2	19.2	盛食器		北辺箱
7-2	銅簋	1	24.0	19.0			北辺箱
7-3	銅簋	1	24.1	19.0			北辺箱
7-4	銅簋	1	23.9	19.1			北辺箱
7-5	銅簋	1	24.1	20.0			北辺箱
7-6	銅簋	1	24.2	20.8			北辺箱
7-7	銅簋	1	23.7	20.2			北辺箱

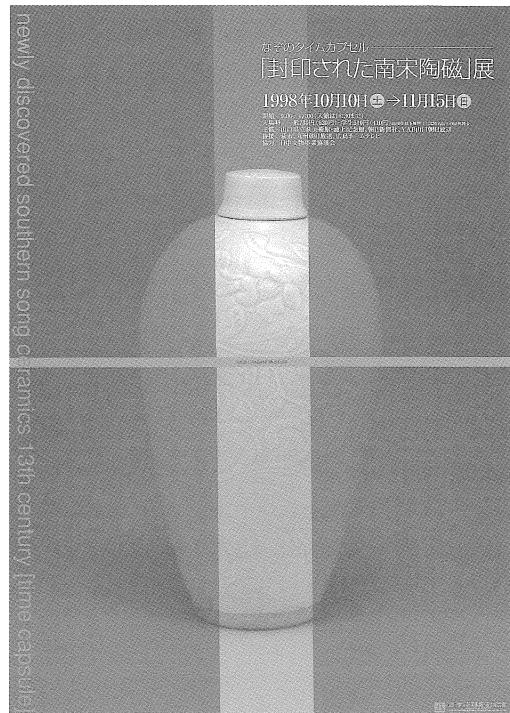
7-8	銅鑼	1	22.8	19.7		北辺箱
			通高	銚長		
8-1	銅甬鍾	1	66.0	42.5	樂器	南辺箱
8-2	銅甬鍾	1	61.0	39.5		南辺箱
8-3	銅甬鍾	1	55.5	35.0		南辺箱
8-4	銅甬鍾	1	51.4	32.2		南辺箱
8-5	銅甬鍾	1	48.2	31.0		南辺箱
8-6	銅甬鍾	1	42.5	27.0		南辺箱
8-7	銅甬鍾	1	41.0	25.0		南辺箱
8-8	銅甬鍾	1	36.0	22.5		南辺箱
8-9	銅甬鍾	1	30.8	19.5		南辺箱
8-10	銅甬鍾	1	24.0	15.2		南辺箱
8-11	銅甬鍾	1	22.5	14.3		南辺箱
9-1	銅鉦鍾	1	24.0	19.0	樂器	南辺箱
9-2	銅鉦鍾	1	23.0	18.2		南辺箱
9-3	銅鉦鍾	1	21.8	17.7		南辺箱
9-4	銅鉦鍾	1	20.4	16.3		南辺箱
9-5	銅鉦鍾	1	20.0	16.3		南辺箱
9-6	銅鉦鍾	1	17.5	14.1		南辺箱
9-7	銅鉦鍾	1	15.7	12.5		南辺箱
9-8	銅鉦鍾	1	14.0	11.4		南辺箱
9-9	銅鉦鍾	1	13.6	10.5		南辺箱
			通長	通高		
10-1	石磬	1	64.0	18.5	樂器	南辺箱
10-2	石磬	1	55.0	16.5		南辺箱
10-3	石磬	1	56.0	16.2		南辺箱
10-4	石磬	1	56.0	19.0		南辺箱
10-5	石磬	1	49.3	17.0		南辺箱
10-6	石磬	1	45.0	14.8		南辺箱
10-7	石磬	1	42.3	15.0		南辺箱
10-8	石磬	1	42.0	16.0		南辺箱
10-9	石磬	1	34.6	12.5		南辺箱
10-10	石磬	1	33.5	12.5		南辺箱
11	銅方壺	1	通高63.5/口高51.7		容酒器	北辺箱
12	銅方壺	1	通高63		〃	北辺箱
13	銅円壺	1	通高43.7/口高36.4		〃	北辺箱
14	銅円壺	1	通高45/口高37		〃	北辺箱
15	銅扁壺	1	通高30.9/口高27.7		〃	北辺箱
16	銅盂	1	通高38/口径55		盛水器	北辺箱
17	銅盤	1	通高10.3/盤口高9.2		〃	北辺箱
18	銅	1	通高14.1/通長26.2		盥洗器	北辺箱
19	銅豆	1	通高32/盤口径26.5		盛食器	北辺箱
20	銅豆	1	通高30.6/盤口径26.8		〃	北辺箱
21	小罐	1	通高9.2/口径8.5		〃	北辺箱
22	銅鉄戈	1	通長27.5/通寬4.3		兵器	櫛室
23	銅短劍	1	通長31.7/劍身長26.8		〃	櫛室
24	銅箭頭	4	通長7.5-8		〃	櫛室
25	玉璧	1	外徑15.6/好徑4.3		玉器	櫛室
26	石圭	1	通長20.2/寬2.8			墓坑上層
27	銅車轡	2	通高7.5-8		馬具	墓坑上層
28	銅銜鑣	3	略		〃	墓坑上層
29	骨細腰	3	長2.7/徑0.7		〃	墓坑上層
30	海貝	20	略		〃	墓坑上層
			通高	口径		
31	陶簋	1	24.4	20.6	盛食器	北辺箱
32	陶豆	1	14.3	16.6	〃	北辺箱
合	計		32件, 102点			

なぞのタイムカプセル 封印された南宋陶磁展

会期 平成10（1998）年10月10日(土)～11月15日(日)

場所 展示室 3・4・5・6

主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、
YAB山口朝日放送



(1) 趣旨

1991年、中国四川省成都の東部にある遂寧市郊外の金魚村で地下に埋蔵されていた陶磁器、銅器、石器1005点が発見された。このうち900点以上を占める陶磁器は、いずれも南宋時代を代表する珠玉の製品ばかりで、そのうち40点が国家一級文物として認定されている。このように精良な陶磁器の大量出土はこれまでになく、学術的にも貴重な成果として、この年の「中国十大考古発見」の一つとされた。

日本でも鎌倉時代に輸入されていた龍泉窯の青磁や景德鎮窯の青白磁も出土品の中に含まれています。本展覧会では、出土品の中から、日本にもなじみの深い砧青磁をはじめとする陶磁器123点、青銅器11点、青石琮形瓶2点の計136点を展示した。

(2) カタログ

監修 弓場紀知、出川哲朗

編集 弓場紀知、出川哲朗、森 達也、小野公久、東真理子

発行 朝日新聞社

翻訳 東真理子、小島茂穎

内容 ごあいさつ 主催者

序文 雷 徒雲

祝辞 梁 旭仲

図版

作品解説 森 達也（陶磁器）、弓場紀知（青銅器・石器）

論文

金魚村における南宋代窖藏の重要な発見とその初步的な研究 庄 文彬

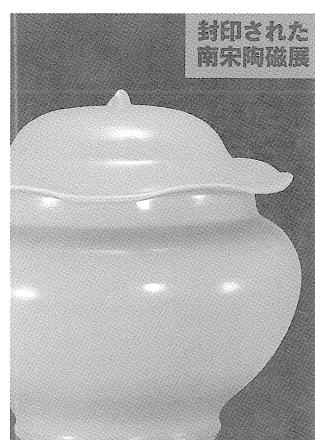
四川遂寧発見の南宋窖藏出土の陶磁器とその意義 弓場紀知

遂寧窖藏出土の龍泉窯青磁と新安沖沈船及び日本伝世品との比較 出川哲朗

遂寧窖藏出土陶磁器の年代について 森 達也

出品目録

体裁 A4判 140ページ



(3) 記念講演会（兼、平成10年度美術講座第5回）

日時 平成10（1998）年10月10日（土）10：30～12：00

演題 「南宋砧青磁と青白磁」

講師 出川哲朗（大阪市立東洋陶磁美術館学芸課長）

(4) ギャラリーツアー

日時 平成10（1998）年10月11日（日）、18日（日）、25日（日）、11月1日（日）、3日（火）、8日（日）

11：00～12：00

担当 宮田絵津子（学芸課学芸員）

(5) 出品目録

作品番号	作品名	生産窯	時代（年代）	法量（cm）	所蔵先
1	青磁共蓋酒会壺	龍泉窯	南宋（13世紀）	H:30.2 D:31.4	中国四川省遂寧市博物館
2	青磁筍形瓶	龍泉窯	南宋（13世紀）	h:31.2	中国四川省遂寧市博物館
3	青磁筍形瓶	龍泉窯	南宋（13世紀）	h:31.6	中国四川省遂寧市博物館
4	青磁筍形瓶	龍泉窯	南宋（13世紀）	h:15.6	中国四川省遂寧市博物館
5	青磁筍形瓶	龍泉窯	南宋（13世紀）	h:30.2	中国四川省遂寧市博物館
6	青磁琮形瓶	龍泉窯	南宋（13世紀）	h:26.8	中国四川省遂寧市博物館
7	青磁琮形瓶	龍泉窯	南宋（13世紀）	h:26.5	中国四川省遂寧市博物館
8	青磁管耳瓶	龍泉窯	南宋（13世紀）	h:16.7	中国四川省遂寧市博物館
9	青磁管耳瓶	龍泉窯	南宋（13世紀）	h:32.0	中国四川省遂寧市博物館
10	青磁管耳瓶	龍泉窯	南宋（13世紀）	h:14.8	中国四川省遂寧市博物館
11	青磁管耳瓶	龍泉窯	南宋（13世紀）	h:15.0	中国四川省遂寧市博物館
12	青磁瓶	龍泉窯	南宋（13世紀）	h:17.0	中国四川省遂寧市博物館
13	青磁瓶	龍泉窯	南宋（13世紀）	h:16.5	中国四川省遂寧市博物館
14	青磁瓶	龍泉窯	南宋（13世紀）	h:16.4	中国四川省遂寧市博物館
15	青磁瓶	龍泉窯	南宋（13世紀）	h:15.0	中国四川省遂寧市博物館
16	青磁瓜形菱瓶	龍泉窯	南宋（13世紀）	h:15.6	中国四川省遂寧市博物館
17	青磁瓜形菱瓶	龍泉窯	南宋（13世紀）	h:16.2	中国四川省遂寧市博物館
18	青磁五管瓶	龍泉窯	南宋（13世紀）	h:12.3 D:13.8	中国四川省遂寧市博物館
19	青磁五管瓶	龍泉窯	南宋（13世紀）	h:12.8 D:13.5	中国四川省遂寧市博物館
20	青磁五管瓶	龍泉窯	南宋（13世紀）	h:12.4 D:13.8	中国四川省遂寧市博物館
21	青磁袴腰香炉	龍泉窯	南宋（13世紀）	h:10.0 d:12.9	中国四川省遂寧市博物館
22	青磁袴腰香炉	龍泉窯	南宋（13世紀）	h:12.6 d:16.3	中国四川省遂寧市博物館
23	青磁筒形香炉	龍泉窯	南宋（13世紀）	h:6.7 d:8.0	中国四川省遂寧市博物館
24	青磁八卦文香炉	龍泉窯	南宋（13世紀）	h:7.1 d:7.4	中国四川省遂寧市博物館
25	青磁鼎形香炉	龍泉窯	南宋（13世紀）	h:11.0 D:11.8	中国四川省遂寧市博物館
26	青磁瓢形水注	龍泉窯	南宋（13世紀）	h:14.2	中国四川省遂寧市博物館
27	青磁盤	龍泉窯	南宋（13世紀）	d:15.2	中国四川省遂寧市博物館
28	青磁盤	龍泉窯	南宋（13世紀）	d:15.3	中国四川省遂寧市博物館
29	青磁盤	龍泉窯	南宋（13世紀）	d:15.3	中国四川省遂寧市博物館
30	青磁盤	龍泉窯	南宋（13世紀）	d:12.7	中国四川省遂寧市博物館
31	青磁盤	龍泉窯	南宋（13世紀）	d:12.9	中国四川省遂寧市博物館
32	青磁盤	龍泉窯	南宋（13世紀）	d:13.1	中国四川省遂寧市博物館
33	青磁盤	龍泉窯	南宋（13世紀）	d:9.7	中国四川省遂寧市博物館
34	青磁盤	龍泉窯	南宋（13世紀）	d:9.6	中国四川省遂寧市博物館
35	青磁盤	龍泉窯	南宋（13世紀）	d:9.6	中国四川省遂寧市博物館
36	青磁碗	龍泉窯	南宋（13世紀）	d:15.7	中国四川省遂寧市博物館
37	青磁碗	龍泉窯	南宋（13世紀）	d:15.6	中国四川省遂寧市博物館
38	青磁碗	龍泉窯	南宋（13世紀）	d:16.1	中国四川省遂寧市博物館
39	青磁杯	龍泉窯	南宋（13世紀）	d:8.8	中国四川省遂寧市博物館
40	青磁杯	龍泉窯	南宋（13世紀）	d:9.1	中国四川省遂寧市博物館

41	青磁杯	龍泉窯	南宋 (13世紀)	d:8.6	中国四川省遂寧市博物館
42	青磁杯	龍泉窯	南宋 (13世紀)	d:8.6	中国四川省遂寧市博物館
43	青磁杯	龍泉窯	南宋 (13世紀)	d:8.5	中国四川省遂寧市博物館
44	青磁鎬蓮弁文盤	龍泉窯	南宋 (13世紀)	d:17.4	中国四川省遂寧市博物館
45	青磁鎬蓮弁文盤	龍泉窯	南宋 (13世紀)	d:16.0	中国四川省遂寧市博物館
46	青磁鎬蓮弁文盤	龍泉窯	南宋 (13世紀)	d:14.3	中国四川省遂寧市博物館
47	青磁鎬蓮弁文盤	龍泉窯	南宋 (13世紀)	d:14.5	中国四川省遂寧市博物館
48	青磁鎬蓮弁文盤	龍泉窯	南宋 (13世紀)	d:14.4	中国四川省遂寧市博物館
49	青磁鎬蓮弁文碗	龍泉窯	南宋 (13世紀)	d:13.2	中国四川省遂寧市博物館
50	青磁鎬蓮弁文碗	龍泉窯	南宋 (13世紀)	d:16.3	中国四川省遂寧市博物館
51	青磁鎬蓮弁文碗	龍泉窯	南宋 (13世紀)	d:16.2	中国四川省遂寧市博物館
52	青磁鎬蓮弁文碗	龍泉窯	南宋 (13世紀)	d:16.1	中国四川省遂寧市博物館
53	青磁鎬蓮弁文碗	龍泉窯	南宋 (13世紀)	d:17.1	中国四川省遂寧市博物館
54	青磁鎬蓮弁文碗	龍泉窯	南宋 (13世紀)	d:16.1	中国四川省遂寧市博物館
55	青磁鎬蓮弁文碗	龍泉窯	南宋 (13世紀)	d:16.2	中国四川省遂寧市博物館
56	青磁鎬蓮弁文共蓋碗	龍泉窯	南宋 (13世紀)	H:8.1 d:8.2	中国四川省遂寧市博物館
57	青磁鎬蓮弁文共蓋碗	龍泉窯	南宋 (13世紀)	H:8.2 d:8.5	中国四川省遂寧市博物館
58	青磁鎬蓮弁文共蓋碗	龍泉窯	南宋 (13世紀)	H:8.4 d:8.3	中国四川省遂寧市博物館
59	青磁鎬蓮弁文共蓋碗	龍泉窯	南宋 (13世紀)	H:9.8 d:11.9	中国四川省遂寧市博物館
60	青磁鎬蓮弁文共蓋碗	龍泉窯	南宋 (13世紀)	H:9.9 d:11.9	中国四川省遂寧市博物館
61	青白磁刻花唐草文共蓋梅瓶	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	H:41.0 h:39.7	中国四川省遂寧市博物館
62	青白磁刻花唐草文共蓋梅瓶	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	H:30.5 h:29.6	中国四川省遂寧市博物館
63	青白磁刻花唐草文共蓋梅瓶	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	H:30.4 h:29.5	中国四川省遂寧市博物館
64	青白磁刻花牡丹文深鉢	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	h:19.9 d:15.3	中国四川省遂寧市博物館
65	青白磁刻花莲花文深鉢	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	h:16.2 d:14.3	中国四川省遂寧市博物館
66	青白磁鬲形香炉	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	h:14.8 d:12.0	中国四川省遂寧市博物館
67	青白磁鼎形香炉	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	h:14.7 d:9.5	中国四川省遂寧市博物館
68	青白磁刻花莲花文鼎形香炉	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	h:17.4 d:16.5	中国四川省遂寧市博物館
69	青白磁鼎形香炉	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	h:20.6 d:17.2	中国四川省遂寧市博物館
70	青白磁瓶	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	h:13.8	中国四川省遂寧市博物館
71	青白磁水注	景德鎮窯	南宋 (12~13世紀)	h:24.7	中国四川省遂寧市博物館
72	青白磁印花龍文水注	景德鎮窯	南宋 (12~13世紀)	h:8.5	中国四川省遂寧市博物館
73	青白磁鳳首水注	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	h:9.3	中国四川省遂寧市博物館
74	青白磁蛙形水孟	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	l:10.3	中国四川省遂寧市博物館
75	青白磁蛙形水孟	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	l:18.0	中国四川省遂寧市博物館
76	青白磁蓮花文筆洗	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	d:8.8	中国四川省遂寧市博物館
77	青白磁双鳳文盒子	景德鎮窯	南宋 (12~13世紀)	d:8.3	中国四川省遂寧市博物館
78	青白磁印花鳥文盤	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	d:10.9	中国四川省遂寧市博物館
79	青白磁印花鳥文盤	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	d:10.9	中国四川省遂寧市博物館
80	青白磁印花双魚文盤	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	d:10.6	中国四川省遂寧市博物館
81	青白磁印花双魚文盤	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	d:10.8	中国四川省遂寧市博物館
82	青白磁印花双魚文盤	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	d:10.8	中国四川省遂寧市博物館
83	青白磁印花双魚文盤	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	d:10.5	中国四川省遂寧市博物館
84	青白磁刻花唐草文盤	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	d:10.5	中国四川省遂寧市博物館
85	青白磁盤	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	d:13.3	中国四川省遂寧市博物館
86	青白磁輪花盤	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	d:11.1	中国四川省遂寧市博物館
87	青白磁盤	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	d:18.7	中国四川省遂寧市博物館
88	青白磁盤	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	d:11.8	中国四川省遂寧市博物館
89	青白磁盤	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	d:12.1	中国四川省遂寧市博物館
90	青白磁輪花盤	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	d:10.9	中国四川省遂寧市博物館
91	青白磁輪花盤	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	d:10.7	中国四川省遂寧市博物館
92	青白磁輪花盤	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	d:10.8	中国四川省遂寧市博物館
93	青白磁輪花盤	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	d:11.2	中国四川省遂寧市博物館
94	青白磁印花蓮花文盤	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	d:18.7	中国四川省遂寧市博物館
95	青白磁印花牡丹文盤	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	d:20.3	中国四川省遂寧市博物館

96	青白磁刻花唐子文碗	景德鎮窯	南宋 (12~13世紀)	d:19.5	中国四川省遂寧市博物館
97	青白磁刻花双魚文碗	景德鎮窯	南宋 (12~13世紀)	d:18.6	中国四川省遂寧市博物館
98	青白磁刻花双魚文碗	景德鎮窯	南宋 (12~13世紀)	d:18.6	中国四川省遂寧市博物館
99	青白磁刻花文文碗	景德鎮窯	南宋 (12~13世紀)	d:18.8	中国四川省遂寧市博物館
100	青白磁印花蓮花文碗	景德鎮窯	南宋 (12~13世紀)	d:13.8	中国四川省遂寧市博物館
101	青白磁刻花双魚文碗	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	d:18.7	中国四川省遂寧市博物館
102	青白磁刻花双魚文碗	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	d:18.1	中国四川省遂寧市博物館
103	青白磁印花双鳳文碗	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	d:18.4	中国四川省遂寧市博物館
104	青白磁印花双鳳文碗	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	d:17.8	中国四川省遂寧市博物館
105	青白磁鎬蓮弁文共蓋碗	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	H:8.5 d:7.9	中国四川省遂寧市博物館
106	青白磁鎬蓮弁文共蓋碗	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	H:8.7 d:8.0	中国四川省遂寧市博物館
107	青白磁鎬蓮弁文共蓋碗	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	H:8.5 d:8.0	中国四川省遂寧市博物館
108	青白磁鎬蓮弁文共蓋碗	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	H:8.8 d:7.8	中国四川省遂寧市博物館
109	青白磁鎬蓮弁文共蓋碗	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	H:8.4 d:7.8	中国四川省遂寧市博物館
110	青白磁弦文共蓋碗	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	H:8.5 d:7.8	中国四川省遂寧市博物館
111	青白磁共蓋碗	景德鎮窯	南宋 (12~13世紀)	H:12.7 d:16.4	中国四川省遂寧市博物館
112	青白磁共蓋碗	景德鎮窯	南宋 (12~13世紀)	H:13.1 d:16.4	中国四川省遂寧市博物館
113	青白磁蓮弁文共蓋碗	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	H:13.2 d:16.0	中国四川省遂寧市博物館
114	青白磁蓮弁文共蓋碗	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	H:12.9 d:15.7	中国四川省遂寧市博物館
115	青白磁蓮弁文共蓋碗	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	H:13.3 d:16.1	中国四川省遂寧市博物館
116	青白磁蓮弁文共蓋碗	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	H:13.5 d:15.9	中国四川省遂寧市博物館
117	青白磁刻花蓮弁文鉢	景德鎮窯	南宋 (13世紀)	d:18.9	中国四川省遂寧市博物館
118	青磁刻花波濤文盤	耀州窯	北宋~金 (11~12世紀)	d:12.8	中国四川省遂寧市博物館
119	青磁碗	耀州窯	金 (12世紀)	d:10.1	中国四川省遂寧市博物館
120	白磁印花牡丹文輪花碗	定窯	北宋~金 (11~12世紀)	d:20.3	中国四川省遂寧市博物館
121	玳玻天目碗	広元窯	南宋 (13世紀)	d:11.4	中国四川省遂寧市博物館
122	白磁印花蓮花鶯鳥文碗	磁峰窯	南宋 (13世紀)	d:19.8	中国四川省遂寧市博物館
123	白磁印花蓮花鶯鳥文碗	磁峰窯	南宋 (13世紀)	d:20.9	中国四川省遂寧市博物館
124	青銅尊式瓶			h:15.5	中国四川省遂寧市博物館
125	青銅角形口瓶			h:14.6	中国四川省遂寧市博物館
126	青銅瓶			h:12.2	中国四川省遂寧市博物館
127	青銅瓶			h:16.7	中国四川省遂寧市博物館
128	青銅高脚杯			h:7.3	中国四川省遂寧市博物館
129	青銅筒形香炉			h:7.8 d:9.7	中国四川省遂寧市博物館
130	青銅斗			l:35.0	中国四川省遂寧市博物館
131	青銅片口			l:12.5	中国四川省遂寧市博物館
132	青銅鈴			D:7.3	中国四川省遂寧市博物館
133	青銅鐘			h:8.5	中国四川省遂寧市博物館
134	青銅鐘			h:23.4	中国四川省遂寧市博物館
135	青石琮形瓶			h:17.0	中国四川省遂寧市博物館
136	青石琮形瓶			h:17.7	中国四川省遂寧市博物館

※法量については、「h.」は高さ、「d.」は口径、「l.」は長さ、「H.」は通（総）高、「D.」は最大径を表す。

浮世絵企画展示 相撲絵展

会期 平成10（1998）年11月3日(火)～11月29日(日)
会場 展示室1・2
主催 山口県立萩美術館・浦上記念館



(1) 趣旨

相撲は江戸時代においても歌舞伎とともに人気の高い娯楽として江戸の人々に親しまれてきた。相撲を題材とした浮世絵の作品は初期浮世絵の時代にも素朴なものがみられるが、役者絵や美人画のようにジャンルとして確立されていったのは錦絵の時代になってからである。とくに天明以降、役者似顔絵を得意とした勝川派の絵師たちが谷風や小野川など人気力士の姿絵を描くようになって急激に増えていく。春章、春好、春英らが、当時活躍していた力士たちの化粧回し姿や土俵入り、取組、外出時の姿を描いて、相撲絵の基本的な表現形式を創り出していったのである。そして、後期浮世絵の時代に入って、勝川派が創出した相撲絵の流れを受けつぎ、題材をさらに発展させ表現を典型化し、よりすっきりとわかりやすい作品にして量産していったのが、国貞、二代豊国、国芳、芳虎、二代国貞、国輝、国明など歌川派の絵師たちであった。

当展覧会では、相撲絵の種類やその流れを紹介するとともに、第6代横綱となった阿武松緑之助など萩藩お抱え力士、阿武松門系の力士、さらには説話や豪傑にまつわる相撲、怪童力士、戯画、美人画や役者絵、風景画に描かれた相撲風俗など、相撲絵関係の作品を一挙に64点展示した。

(2) カタログ

編集・発行 山口県立萩美術館・浦上記念館
内容 本文・作品解説 鈴木浩平（学芸課主任）

（相撲絵の種類、相撲絵の流れ、萩藩お抱えの力士、阿武松門系の力士、説話・豪傑、怪童力士・子供相撲、戯画、開国にまつわる話、番付、相撲風俗）

絵師略伝
出品作品一覧
参考文献
体裁 A4判変形 32ページ



(3) ギャラリーツアー

日時 平成10（1998）年11月14日（土） 11：00～12：00

担当 鈴木浩平（学芸課主任）

(4) 出品目録

展示番号	作品名	作家名	判型	形態	制作年代	館蔵品番号
1	駒ヶ嶽峰五郎	歌川国貞	大判	錦絵	文久1年（1861）	U 2270
2	錦木塚五郎	勝川春英	大判	錦絵	文化中期	U 2260
3	大相撲土俵入りの図	菊川英山	大判	錦絵3枚続	文化12年（1815）頃	U 2266
4	玉垣・立神取組図	菱川柳谷	大判	錦絵3枚続	文化13年（1816）	U 104 (TU)
5	鬼若力之助土俵入り	歌川国芳	大判	錦絵	嘉永3年（1850）	U 2285
6	相撲年寄 雷権太夫	歌川国芳	大判	錦絵	安政5年（1858）	U 2289
7	糸迦ヶ嶽と美女	礒田湖龍斎	柱絵判	錦絵	安永3年（1774）頃	U 2259
8	西方 三国山兵太夫 江戸崎源治	勝川春章	大判	錦絵	天明6年（1786）頃	U 2560 (TU)
9	小野川喜三郎 谷風楓之助 木村庄之助	勝川春章	横大々判	錦絵	天明1年～寛政2年（1781～1790）頃	U 2009
10	秀ノ山伝治郎	勝川春英	大判	錦絵	文化7～9年（1810～1812）頃	U 2561 (TU)
11	大相撲俵入り	勝川春英	大判	錦絵3枚続	寛政5～6年（1793～1794）頃	U 2261
12	縄張吉太夫	勝川春亭	大判	錦絵	文化末期～文政初期	U 2263
13	宮城野改 音羽山峰右エ門	勝川春亭	大判	錦絵	文政4年（1821）	U 2262
14	大空武左エ門 亥二十三歳	溪齋英泉	大判	錦絵	文政10年（1827）	U 2267
15	大空武左エ門 亥二十三歳	溪齋英泉	大々判	錦絵	文政10年（1827）	U 2582 (DC)
16	勢藤吾	二代歌川豊国	大判	錦絵	文政中期～後期	U 2281
17	西の方闇取 相撲繁栄遊宴之図	歌川国貞	大判	錦絵3枚続	嘉永1年（1848）頃	U 2275
18	丸亀 宝川石五郎	歌川国貞	大判	錦絵	嘉永3年～安政5年（1850～1858）	U 2280
19	西の方支度部屋ノ図	歌川国貞	大判	錦絵3枚続	嘉永1～2年（1848～1849）頃	U 2277
20	東の方支度部屋ノ図	歌川国貞	大判	錦絵3枚続	嘉永1～2年（1848～1849）頃	U 2276
21	鬼面山谷五郎	二代歌川国貞	大判	錦絵	文久2年（1862）	U 2291
22	鏡岩浜之助	歌川芳虎	大判	錦絵	天保9～13年（1838～1842）頃	U 2299
23	秀ノ山雷五郎	歌川芳虎	大判	錦絵	弘化1年～嘉永3年（1844～1850）頃	U 2300
24	江戸両国回向院大相撲之図	歌川国郷	大判	錦絵3枚続	安政5年（1858）頃	U 2302
25	大角力稽古図	歌川国明	大判	錦絵3枚続	万延1年（1860）	U 2293
26	鬼面山・小の川取組図	豊原国周	大判	錦絵3枚続	文久1年（1861）	U 2303
27	姫路 高砂浦五郎	二代歌川国輝	大判	錦絵	明治4～6年（1871～1873）	U 2296
28	勧進大相撲繁栄之図	二代歌川国輝	大判	錦絵3枚続	慶応2年（1866）	U 2294
29	大日本大相撲 勇力闘取鏡	歌川周重	大判	錦絵2枚続	明治8年（1875）	U 2537 (TU)
30	小柳改 阿武松緑之助	勝川春亭	大判	錦絵	文政10年（1827）	U 2264
31	稻妻 阿武松 木村庄之助	歌川国貞	横大判	錦絵	文政8年～天保3年（1825～1832）	U 2535 (TU)
32	大相撲東之方	歌川国虎	大判	錦絵3枚続	文政10年（1827）	U 2536
33	長州 越ヶ浜岩五郎	勝川春亭	大判	錦絵	文政8年～天保3年（1825～1832）	U 2265
34	越ヶ浜 追手風 行司木村正蔵	歌川国貞	横大判	錦絵	天保2年（1831）頃	U 2534 (TU)
35	長州 黒岩森之助	歌川国貞	大判	錦絵	天保中期	U 274 (TU)
36	菊ヶ浜勝藏	落合芳幾	大判	錦絵	万延1年～文久1年（1860～1861）	U 2400 (TU)
37	小柳・荒馬仕切の図	歌川国貞	大判	錦絵3枚続	天保14年～弘化4年（1843～1847）	U 2272
38	小柳・猪王山取組図	歌川国貞	大判	錦絵3枚続	弘化4年～嘉永2年（1847～1849）頃	U 2274
39	新版勧進大相撲之図	歌川国貞	大判	錦絵3枚続	安政1年（1854）	U 2273
40	相生改綴瀬川山左エ門 境川浪右エ門 小柳常吉 二代歌川国輝	大判	錦絵3枚続	明治3年（1870）	U 2295	
41	河津殷野赤沢山相撲ノ図	歌川国貞	大判	錦絵	文化末期～文政初期	U 2271
42	和漢准源氏 はつ音 毛谷村六介	歌川国芳	大判	錦絵	安政2年（1855）	U 460 (TU)
43	本朝水滸伝豪傑八百人一箇 天眼磯兵衛	歌川国芳	大判	錦絵	天保初期	U 2290
44	和漢百物語 白藤源太	月岡芳年	大判	錦絵	慶応1年（1865）	U 1692 (TU)
45	大童山文五郎生写し		大判	錦絵	享和3年（1803）	U 2305
46	浦風門人 鬼勝力弥	歌川国芳	大判	錦絵	嘉永4年（1851）	U 2288
47	鬼若力之助	歌川国芳	横大判	錦絵	嘉永3年（1850）	U 2287

48	鬼若力之助 鯉つかみ	歌川国芳	大判	錦絵	嘉永3年（1850）	U 2286
49	東海道 浪花天保山 子供角力照覧	河鍋暁斎	大判	錦絵	文久3年（1863）	U 2304
50	遷宮賀角力図	筆者未詳	横大々判	錦絵	文化中期頃	U 2268
51	朝比奈三郎万国すもふの図	歌川国芳	横大判	錦絵	天保後期	U 2292
52	戯力競	歌川国貞	大判	錦絵3枚続	弘化年（1844）	U 2279
53	黒船 米俵はこび	筆者未詳		墨摺絵	安政1年（1854）	U 2306
54	横浜誉勝眞附	歌川芳藤	大判	錦絵	文久1年（1861）	U 2298
55	番付 天保十五年（弘化一年）正月			墨摺	弘化1年（1844）	U 2307
56	番付 弘化四年十一月			墨摺	弘化4年（1847）	U 2308
57	番付 嘉永五年二月			墨摺	嘉永5年（1852）	U 2309
58	松葉屋内瀬川 市川	喜多川歌麿	大判	錦絵	享和初期	U 58 (TU)
59	相撲人形花の取組	歌川国貞	大判	錦絵	弘化1年（1844）	U 2282
60	月夜のたはむれ	歌川国貞	大判	錦絵3枚続	弘化4年～嘉永5年（1847～1852）	U 2278
61	鬼ヶ嶽	歌川国芳	大判	錦絵	弘化4年～嘉永5年（1847～1852）	U 2284
62	東海道五十三次之内 奥津 興津川	歌川広重	横大判	錦絵	天保4～5年（1833～1834）	U 834 (TU)
63	東都両国回向院境内相撲の図	歌川広重	横大判	錦絵	弘化4年～嘉永5年（1847～1852）	U 692 (TU)
64	名所江戸百景 両ごく回向院元柳橋	歌川広重	大判	錦絵	安政4年（1857）	U 945 (TU)

中国陶磁の至宝 英国デイヴィッド・コレクション展

会期 平成11（1999）年4月10日（土）～6月13日（日）

会場 展示室3・4・5・6

主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、

英国デイヴィッド・コレクション展実行委員会、
読売新聞西部本社、KRY山口放送

共催 財団法人地域創造・ジャンボ宝くじ助成事業

後援 外務省、文化庁、英國大使館、

ブリティッシュ・カウンシル、萩市、

FBS福岡放送

協力 日本航空



(1) 趣旨

デイヴィッド・コレクションは、中国陶磁の収集家であり研究家としても有名なイギリスのサー・パーシヴァル・デイヴィッド（1892～1964）が半生をかけて収集した中国陶磁のコレクションである。およそ1400点にものぼる作品はどれも北京、台北の故宮の伝世品以外ではみることのできない名品を多く含み、まさに世界屈指のコレクションとしてその名を知られている。サー・パーシヴァルはその深い学識と鋭い鑑識眼によって官窯（かんよう）の精品を中心に収集を行い、中国の宫廷趣味を反映させた「宫廷コレクション」を形成した。官窯とは皇帝の命を受けて宫廷の御用品を焼成した窯のことで、宋、元、明、清各時代を通じて世界最高の陶磁器を生みつづけてきた。彼はまた、こうした中国陶磁の究極の美を追い求めると同時に学術的な見地に立った在銘品の収集にも情熱をそそいだのである。これによってその製作年代が明確になった元時代の青花雲龍文双耳瓶（せいかうんりゅうもんそうじへい）はそれまでの陶磁史をぬりかえ、元時代にすでに青花が焼かれていたことが判明した。世界の研究者を驚かしたこの作品は今や「デイヴィッド瓶」の名前で基準作品ともなっている。本展では端整で気品のある北宋時代の汝窯青磁（じょようせいじ）、明時代の景德鎮官窯で焼かれた華やかな色絵や青花、最高の窯業技術を駆使した清時代の琺瑯彩（ほうろうさい）など、各時代を特徴付ける中国陶磁の至宝80点を紹介した。

(2) カタログ

監修 伊藤郁太郎

編集 セゾン美術館、大阪市立東洋陶磁美術館、福島県立美術館、
山口県立萩美術館・浦上記念館、読売新聞大阪本社

発行 読売新聞大阪本社

内容 ごあいさつ 主催者

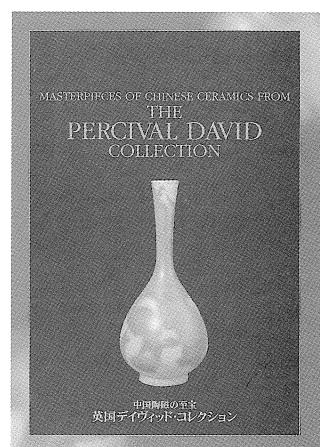
メッセージ サー・ティム・ランケスター

サー・パーシヴァル・デイヴィッドのこと

レイディ・デイヴィッド

パーシヴァル・デイヴィッド・コレクションの中国陶磁

ローズマリー・スコット



デイヴィッド・コレクションと官窯の芸術 出川哲朗
詩銘解説 野村恵子
用語解説・窯解説 宮田絵津子
中国 窯址分布図
中国 年代表
主要参考文献
出品目録
体裁 A4判 181ページ

(3) 記念講演会

日時 平成11（1999）年4月10日（土）10:30～12:00
演題 「PDFの中国陶磁－あるコレクターによる宫廷趣味の反映」
講師 スティシー・ピアソン（パーシバル・ディヴィッド財団学芸員）

日時 平成11（1999）年5月1日（土）14:00～15:30
演題 「文字が記されている陶磁器」（兼1999年度第1回美術講座）
講師 亀井明徳（専修大学教授）

(4) ギャラリーツアー

①ギャラリーツアー

日時 毎週日曜日 11:00～12:00
担当 宮田絵津子（学芸課学芸員）

②親子ギャラリーツアー

日時 平成11（1999）年5月3日（祝・日）、5月5日（祝・水）15:00～16:00
担当 宮田絵津子（学芸課学芸員）

(5) 出品目録

展示番号	作品名	生産窯	時代	法量 (cm)	
1	青磁刻花 双魚文 盤	越州窯	西晋・3世紀	d:33.6	
2	茶葉末 双耳壺	耀州窯	唐・8～9世紀	h:12.4	J.C.ヴァン・ラー氏旧蔵
3	青磁刻花 双龍文 碗	越州窯	五代～北宋・10世紀	d:14.8	
4	青磁劃花 双鳳文 盤 「永」字銘	越州窯	五代・10世紀	d:17.5	
5	青磁 盤口双耳瓶 「元豐三年」銘	龍泉窯	北宋・1080年	H:38.3	
6	青磁刻花 牡丹唐草文 盒	耀州窯	北宋・11～12世紀	d:17.1	C.T.ロー氏旧蔵
7	白釉象嵌 凤凰文 枕	磁州窯	北宋・1056年	H:16.8	
8	禾目天目 鉢 「宝」、「坤寧殿」、「和適」銘	建窯	南宋・12～13世紀	d:26.2	故宮伝来
9	白磁刻花 牡丹唐草文 梅瓶	定窯	北宋・11～12世紀	h:36.5	沈吉甫氏、アレキサンダー氏旧蔵
10	白磁刻花 牡丹文 盤	定窯	北宋・11～12世紀	d:18.8	
11	白磁刻花 牡丹唐草文 洗	定窯	北宋・11～12世紀	d:27.6	沈吉甫氏旧蔵
12	白磁刻花 水波魚文 盤	定窯	金・12～13世紀	d:18.4	
13	白磁刻花 蓼唐草文 瓶	定窯	北宋・11～12世紀	h:25.0	故宮伝来
14	青磁 下蕪形瓶	汝窯	北宋・11～12世紀	h:24.8	ジョージ・ユーモルフォプロス氏旧蔵
15	青磁 三足香炉	汝窯	北宋・11～12世紀	h:15.3 d:23.8	
16	青磁 輪花盤	官窯	南宋・12～13世紀	d:16.8	
17	青磁 琮形瓶	官窯	南宋・12～13世紀	h:22.6	
18	月白釉 枕 「乾隆辛丑」銘	鈞窯	北宋・11～12世紀	h:13.3 w:29.6	故宮伝来
19	月白釉 輪花盤	鈞窯	北宋・11～12世紀	d:25.9	沈吉甫氏旧蔵
20	澱青釉紅斑 瓶	鈞窯	金・12世紀	h:29.0	浅野梅吉氏旧蔵
21	澱青釉紅斑 盤	鈞窯	金・13世紀	d:18.5	ジョージ・ユーモルフォプロス氏旧蔵

22	紫紅釉 輪花花盆 「九」、「養心殿」、「明窓用」銘	鈞窯	金・13世紀	d:17.0	マッキンノン・ウッド氏旧藏
23	青磁 盤	龍泉窯	南宋・12~13世紀	d:16.6	ホワード・バック氏旧藏
24	青磁 龍虎瓶 一対	龍泉窯	南宋・12~13世紀	H:25.2、H:26.6	加藤正治氏旧藏
25	青磁鐵斑 瓶	龍泉窯	元・14世紀	h:27.2	
26	青磁貼花 鳥文 輪花盤	龍泉窯	元・14世紀	d:16.7	
27	青磁貼花 虎文 盤	龍泉窯	元・14世紀	d:41.1	
28	青磁 水注	龍泉窯	元・13~14世紀	h:26.8	
29	青磁刻花 花唐草文 瓶 「宣德七年」銘	龍泉窯	明・1432年	h:44.2	
30	青花 雲龍文 双耳瓶 「至正十一年」銘	景德鎮窯	元・1351年	h:63.4	チャールズ・ラッセル氏旧藏
31	青花紅釉貼花 花卉文 壺	景德鎮窯	元・14世紀初	h:33.0	S.D. ウィンクワース氏旧藏
32	釉裏紅 宝相華唐草文 水注	景德鎮窯	明・洪武(1368~98)	h:32.5	
33	白磁暗花 蓮花文 梅瓶	景德鎮窯	明・永樂(1403~24)	h:32.0	
34	青花 束蓮文 盤	景德鎮窯	明・永樂(1403~24)	d:44.5	
35	青花 花鳥文 扁壺	景德鎮窯	明・永樂(1403~24)	h:30.8	マウントスチュアート・エルフィンストーン氏旧藏
36	青花 龍文 扁壺	景德鎮窯	明・永樂(1403~24)	h:47.8	
37	青花 雲龍文 鉢 「大明宣德年製」銘	景德鎮窯	明・宣德(1426~35)	d:26.3	
38	青花 松竹梅文 鉢 「大明宣德年製」銘	景德鎮窯	明・宣德(1426~35)	d:20.0	
39	青花 花唐草文 共蓋壺 「大明宣德年製」銘	景德鎮窯	明・宣德(1426~35)	H:18.8	
40	黃地青花 花卉文 盤 「大明宣德年製」銘	景德鎮窯	明・宣德(1426~35)	d:29.5	
41	青花釉裏紅 龍濤文 高足杯	景德鎮窯	明・宣德(1426~35)	h:10.5 d:15.3	
42	青花紅彩 龍文 鉢 「大明宣德年製」銘	景德鎮窯	明・宣德(1426~35)	d:17.3	
43	青花 花唐草文 碗 「大明成化年製」銘	景德鎮窯	明・成化(1465~87)	d:14.5	ジョージ・ユーモルフォプロス氏旧藏
44	青花 宝相華唐草文 碗 「大明成化年製」銘	景德鎮窯	明・成化(1465~87)	d:15.4	ジョージ・ユーモルフォプロス氏旧藏
45	青花 八宝唐草文 盤 「大明成化年製」銘	景德鎮窯	明・成化(1465~87)	d:19.1	
46	白磁綠彩 龍文 盤 「大明成化年製」銘	景德鎮窯	明・成化(1465~87)	d:17.8	
47	豆彩 葡萄文 高足杯 「大明成化年製」銘	景德鎮窯	明・成化(1465~87)	h:6.8	
48	豆彩 雲龍文 壺 「天」字銘	景德鎮窯	明・成化(1465~87)	h:9.9	
49	青花 蓮池龍文 盤 「大明弘治年製」銘	景德鎮窯	明・弘治(1488~1505)	d:21.4	
50	白磁褐彩 花卉文 盤 「大明弘治年製」銘	景德鎮窯	明・弘治(1488~1505)	d:26.1	
51	青花 龍唐草文 広口壺 「正徳年製」銘	景德鎮窯	明・正徳(1506~21)	h:12.2	
52	黃地綠彩 雲龍文 広口壺 「正徳年製」銘	景德鎮窯	明・正徳(1506~21)	h:11.6	
53	青花 唐子遊戯図 水注 「大明嘉靖年製」銘	景德鎮窯	明・嘉靖(1522~66)	H:29.0	チャールズ・ラッセル氏旧藏
54	五彩 魚藻文 盤 「大明嘉靖年製」銘	景德鎮窯	明・嘉靖(1522~66)	d:17.2	
55	綠地金彩 宝相華唐草文 碗(金欄手) 「富貴佳器」銘	景德鎮窯	明・16世紀	d:12.1	根津嘉一郎氏旧藏
56	紅地金彩 宝相華唐草文 碗(金欄手) 「富貴佳器」銘	景德鎮窯	明・16世紀	d:11.8	
57	藍地金彩 宝相華唐草文 碗(金欄手) 「長命富貴」銘	景德鎮窯	明・16世紀	d:11.9	根津嘉一郎氏旧藏
58	五彩金彩 人形水注(金欄手) 「壽福」銘	景德鎮窯	明・16世紀	H:31.8	根津嘉一郎氏旧藏
59	五彩 蓮地水禽文 壺 「大明隆慶年造」銘	景德鎮窯	明・隆慶(1567~72)	d:55.2	
60	青花 龍文 盒 「大明萬歴年製」銘	景德鎮窯	明・万曆(1573~1620)	H:13.0	S.H.ド・フォレスト氏旧藏
61	五彩 人物図 碗 「大明萬歴年製」銘	景德鎮窯	明・万曆(1573~1620)	d:15.3	
62	五彩 舟遊図 盤 「大明萬歴年製」銘	景德鎮窯	明・万曆(1573~1620)	d:20.6	
63	素三彩 盛花図 盤 「大明萬歴年製」銘	景德鎮窯	明・万曆(1573~1620)	d:29.4	
64	素三彩 龍文 盤 「大明萬歴年製」銘	景德鎮窯	明・万曆(1573~1620)	d:27.4	
65	五彩 麒麟文 双耳瓶	漳州窯	明・17世紀	h:29.9	
66	白磁貼花 龍文 瓶 器台	德化窯	清・康熙(1662~1722)	H:31.5	
67	五彩 花枝文 桃形水注	景德鎮窯	清・康熙(1662~1722)	h:11.6	
68	五彩 桃果文 盤 「大清康熙年製」銘	景德鎮窯	清・康熙(1662~1722)	d:28.6	
69	桃花紅釉 瓶 「大清康熙年製」銘	景德鎮窯	清・康熙(1662~1722)	h:21.0	
70	淡青釉 団花文 瓶 「宣和年製」銘	景德鎮窯	清・康熙(1662~1722)	h:20.8	マウントスチュアート・エルフィンストーン氏旧藏
71	綠釉刻花 牡丹唐草文 「大清康熙年製」銘	景德鎮窯	清・康熙(1662~1722)	d:19.6	マウントスチュアート・エルフィンストーン氏旧藏
72	黃地玳瑩彩 牡丹文 碗 「康熙御製」銘	景德鎮窯	清・康熙(1662~1722)	d:11.5	マウントスチュアート・エルフィンストーン氏旧藏

73	紅地琺瑯彩 牡丹文 碗 「雍正御製」銘	景德鎮窯	清・雍正（1723～35）	d:11.3	マウントスチュアート・エルフィンストーン氏旧蔵
74	琺瑯彩 蓮花文 水注・杯 「雍正御製」銘	景德鎮窯	清・雍正（1723～35）	h:11.4 (teapot) d:6.3 (cup)	A.E.ヒッピスリー氏旧蔵
75	豆彩 葡萄栗鼠文 瓢形瓶 「大清雍正年製」銘	景德鎮窯	清・雍正（1723～35）	h:12.8	
76	豆彩 松竹梅文 水注 「大清雍正年製」銘	景德鎮窯	清・雍正（1723～35）	H:13.7	故宮伝来
77	粉彩 梅樹鶲文 碗 「大清乾隆年製」銘	景德鎮窯	清・乾隆（1736～95）	d:11.0	
78	琺瑯彩 花卉文 盤 「乾隆年製」銘	景德鎮窯	清・乾隆（1736～95）	d:14.3	
79	琺瑯彩 花卉文 瓢形瓶 「乾隆年製」銘	景德鎮窯	清・乾隆（1736～95）	h:9.3	
80	琺瑯彩 花卉文 瓶 「乾隆年製」銘	景德鎮窯	清・乾隆（1736～95）	h:14.4	A.E.ヒッピスリー氏旧蔵

※法量については、「d」は口径、「w」は幅、「h」は高さ、「H」は総高を表す。

神品とよばれたやきもの 宋磁展

会期 平成11（1999）年6月20日(日)～8月15日(日)
主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、
YAB山口朝日放送
後援 文化庁、萩市、KBC九州朝日放送
協賛 鹿島建設
協力 日本航空、安田火災、三菱製鋼

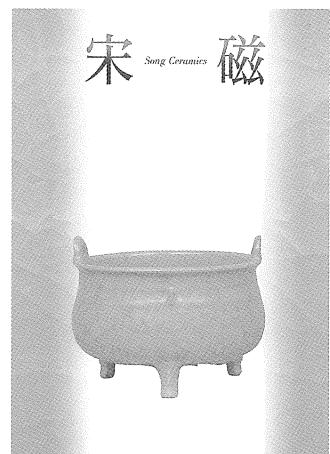


(1) 趣旨

やきものの長い歴史のなかにあって、中国・宋代（北宋970-1126、南宋1127-1279）のやきもの「宋磁」は、卓越した技術力に裏付けされた超絶技巧と高度に洗練された造形の美しさのために、ひときわ高い評価を受けてきた。とりわけ、皇帝の用に供された汝窯、鈞窯、定窯は、「神品」と評される優れた青磁や白磁を産み出している。これに官窯-北宋官窯・南宋官窯と哥窯を加えたものを、のちの人々は宋代五大名窯と呼んで、中国のやきもののうちでも別格の扱いをしてきた。このほか、砧青磁に代表される美しい粉青色の青磁を生み出した龍泉窯、刻花や印花を施したオリーブ・グリーンの青磁釉が特色の耀州窯、白玉のような滑らかな光沢の青白磁で知られる景德鎮窯、天目などの黒釉陶を産した建窯や吉州窯、白地に鉄絵や搔き落とし文様の独特な陶器を焼成した北方民窯の磁州窯など、二千を超える窯場で多種多様な陶磁が生産されている。完成された技と美を表現した「宋磁」は、同時代はもとより現代においても高く評価され、世界の陶磁史に屹立する高峰として認識されている。本展では国内外に伝世する優品の中から、最新の学術的成果に基づいて厳選された国宝1点、重要文化財16点を含む97点を展示し、「宋磁」の崇高明晰な表現世界を紹介した。

(2) カタログ

監修 長谷部樂爾、伊藤郁太郎、西田宏子、弓場紀知、
今井 敦、出川哲朗
編集 大阪市立東洋陶磁美術館、朝日新聞社文化企画局大阪企画部
発行 朝日新聞社
内容 ごあいさつ 主催者
謝辞
巻頭論文
宋瓷—その背景と精神 梅原 郁
宋磁序説 長谷部樂爾
図版



青磁・白磁

天目

磁州窯

遼

卷末論文

宋代の青磁 今井 敦

宋代の白磁の位置づけ 弓場紀知

天目—日本伝世の黒釉陶磁の世界 西田宏子

宋代の磁州窯および磁州窯系諸窯 出川哲朗

朝鮮半島出土の中国陶磁 中沢富士雄

作品解説

石崎泰之、今井 敦、出川哲朗、中沢富士雄、西田宏子、野村恵子、長谷川祥子、

長谷部樂爾、森 達也、弓場紀知

体裁 A4判変形 230ページ

(3) 記念講演会

日時 平成11（1999）年6月20日(日) 10：30～12：00

演題 「宋磁の鑑賞」

講師 長谷部樂爾（当館顧問、東洋陶磁学会副委員長）

(4) 記念行事

宋磁展開催記念トークショー「やきものに魅せられた わたし」

日時 平成11（1999）年7月2日(金) 19：00～20：30

場所 萩市民館大ホール

出演 真野響子、三輪龍作

主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、萩市教育委員会、朝日新聞社、YAB山口朝日放送

※第5回萩市民大学講座（平成11年度第1回）と共同開催

(5) ギャラリーツアー

①ギャラリーツアー

日時 毎週日曜日 11：00～12：00 （ただし、6月20日は実施しない）

担当 石崎泰之（学芸課主任）

②親子ギャラリーツアー

日時 8月13日(金)・14日(土) 15：00～16：00

担当 石崎泰之（学芸課主任）

(6) 出品目録

展示番号	図版番号	作品名	指定	所蔵先名	員数	生産窯	出土地	製作年代(時代区分)
1	1	青磁劃花蓮唐草文唾壺		韓国国立中央博物館	1	越州窯	開城付近の高麗古墳	五代～北宋
2	2	青磁劃花鳳凰文水注		大阪市立東洋陶磁美術館	1	越州窯		北宋
3	3	青磁刻花葉文壺		大阪市立東洋陶磁美術館	1	越州窯		北宋
4	4	青磁刻花蓮花文合子			1	越州窯		北宋
5	7	青磁刻花唐草文輪花盤		大阪市立東洋陶磁美術館	1			北宋
6	8	青磁刻花葉文八角水注		大阪市立東洋陶磁美術館	1			北宋
7	9	青磁刻花牡丹文多嘴壺		出光美術館	1			北宋
8	10	青磁刻花蓮弁文壺		戸栗美術館	1	耀州窯		北宋
9	11	青磁刻花弁文獅子口水注		クリーブランド美術館	1	耀州窯		五代～北宋
10	12	青磁刻花牡丹文鳳凰口水注		ギメ国立東洋美術館	1	耀州窯		五代～北宋
11	13	青磁刻花宝相華唐草文水注		サンフランシスコ・アジア美術館	1	耀州窯		北宋
12	14	青磁刻花牡丹唐草文瓶	重要文化財	大阪市立東洋陶磁美術館	1	耀州窯		北宋
13	15	青磁刻花牡丹文盤			1	耀州窯		北宋
14	16	柿釉蓋付壺			1	耀州窯		北宋
15	17	月白釉瓶			1	耀州窯		金
16	18	青磁水仙盆		大阪市立東洋陶磁美術館	1	汝窯		北宋
17	19	青磁輪花盤		大英博物館	1	汝窯		北宋
18	20	青磁輪花盤			1	汝窯		北宋
19	21	青磁盤			1	汝窯		北宋
20	22	青磁洗		上海博物館	1	汝窯		北宋
21	23	澱青釉紫紅斑文花盆			1	鈞窯		金
22	24	澱青釉尊		上海博物館	1	鈞窯		金
23	25	白磁盤口瓶		エルソン・アトキンス美術館	1	定窯		五代
24	26	白磁刻花牡丹唐草文瓶		大阪市立東洋陶磁美術館	1	定窯		北宋
25	27	白磁刻花蓮弁文瓢形水注		大英博物館	1	定窯		北宋
26	28	白磁刻花牡丹唐草文瓢形水注		ギメ国立東洋美術館	1	定窯		北宋
27	29	白磁刻花牡丹文盤		エルソン・アトキンス美術館	1	定窯		北宋
28	30	白磁刻花蓮花文洗	重要文化財	大阪市立東洋陶磁美術館	1	定窯		北宋
29	32	白磁印花雲龍文盤		上海博物館	1	定窯		北宋～金
30	33	白磁劃花蓮花文碗			1	定窯		北宋
31	34	白磁刻花唐子形枕		サンフランシスコ・アジア美術館	1	定窯		北宋
32	36	柿釉金銀彩牡丹文碗	重要文化財	東京国立博物館	1	定窯	中国陝西省北部	北宋～金
33	38	黒釉金彩蝶牡丹文碗	重要美術品		1	定窯		北宋～金
34	39	白磁金彩雲鶴文碗	重要文化財	東京国立博物館	1	定窯		北宋～金
35	40	柿釉碗			1	定窯系		北宋～金
36	41	柿釉瓶			1	定窯系		北宋～金
37	42	白磁花牡丹唐草文瓶	重要文化財	大阪市立東洋陶磁美術館	1	定窯		北宋
38	43	青白磁瓜形水注		大阪市立東洋陶磁美術館	1	景德鎮窯		北宋
39	44	青白磁獅子鉢蓋水注		出光美術館	1	景德鎮窯		北宋
40	45	青白磁刻花牡丹唐草文瓶		大英博物館	1	景德鎮窯		北宋
41	46	青白磁劃花瓜形水注	重要文化財		1	景德鎮窯		北宋
42	47	青白磁刻花唐子唐草文鉢			1	景德鎮窯		北宋
43	48	青白磁刻花牡丹唐草文百合口瓶			1	景德鎮窯		北宋
44	49	青白磁刻花牡丹唐草文瓶 一対		出光美術館	2	景德鎮窯		北宋
45	50	青白磁刻花唐子唐草文瓶		浜松市美術館	1	景德鎮窯		北宋
46	52	白磁鸚鵡形杯			1			五代
47	53	白磁刻花蓮弁文壺		出光美術館	1	広東窯		北宋
48	54	白磁刻花牡丹唐草文鳳首瓶		大英博物館	1	広東窯		北宋
49	55	青磁三足香炉		静嘉堂文庫美術館	1	官窯		南宋
50	58	青磁管耳瓶			1	官窯		南宋
51	59	青磁洗		クリーブランド美術館	1	官窯		南宋
52	60	青磁瓶		大英博物館	1	官窯		南宋

53	63	青磁下蕉形瓶	大英博物館	1	官窯	南宋
54	64	青磁下蕉形瓶（米色青磁）		1	官窯	南宋
55	66	青磁輪花碗 銘 馬蝗絆	重要文化財 東京国立博物館	1	龍泉窯	南宋
56	67	青磁鳳凰耳瓶 銘 千声	重要文化財 陽明文庫	1	龍泉窯	南宋
57	69	青磁筒形瓶 銘 大内筒	重要文化財 根津美術館	1	龍泉窯	南宋
58	70	青磁筍形瓶	重要文化財 根津美術館	1	龍泉窯	南宋
59	72	青磁輪花洗 銘 青海波	重要美術品 金沢市中村記念美術館	1	龍泉窯	南宋
60	73	青磁捲腰香炉	出光美術館	1	龍泉窯	南宋
61	74	油滴天目茶碗	国宝 大阪市立東洋陶磁美術館	1	建窯	南宋
62	76	油滴天目茶碗	重要文化財 文化庁	1	建窯	南宋
63	77	油滴天目茶碗	重要文化財 静嘉堂文庫美術館	1	建窯	南宋
64	78	禾目天目茶碗	京都国立博物館	1	建窯	南宋
65	79	木葉天目茶碗	重要文化財 大阪市立東洋陶磁美術館	1	吉州窯	南宋
66	80	玳皮天目茶碗（折枝鳥文）	京都国立博物館	1	吉州窯	南宋
67	81	玳皮天目鳳凰文瓶	重要美術品	1	吉州窯	南宋
68	82	油滴天目白綠茶碗	大阪市立東洋陶磁美術館	1		南宋
69	84	黒釉柿縁茶碗	京都国立博物館	1		北宋
70	85	黒釉銹斑瓶	韓國国立中央博物館	1		北宋
71	86	黒釉錫花牡丹文瓶	東京国立博物館	1		金
72	87	白搔落し唐草文水注	東京国立博物館	1	磁州窯	北宋
73	88	白搔落し唐草文深鉢	根津美術館	1	磁州窯	北宋
74	89	白地黒搔落し牡丹文瓶	重要文化財 永青文庫	1	磁州窯	北宋
75	90	白地黒搔落し龍文瓶	重要文化財 白鶴美術館	1	磁州窯	北宋
76	92	白地黒搔落し龍文長頸瓶	ネルソン・アトキンス美術館	1	磁州窯	北宋
77	94	白地黒搔落し牡丹文壺	戸栗美術館	1	磁州窯	北宋
78	95	白地黒搔落し草花文壺		1	磁州窯	北宋
79	96	白搔落し象嵌唐草文長頸瓶	クリーブランド美術館	1	磁州窯	五代～北宋
80	97	白地黒搔落し牡丹文枕	静嘉堂文庫美術館	1	磁州窯	北宋
81	98	白地黒搔落し熊文枕	大英博物館	1	磁州窯	北宋
82	99	白地黒搔落し鶴文枕	出光美術館	1	磁州窯	北宋
83	100	白地黒搔落し鳥蝶文枕	ギメ国立東洋美術館	1	磁州窯	北宋
84	101	緑釉白地黒搔落し牡丹唐草文瓶	大英博物館	1	磁州窯	北宋
85	102	緑釉白地黒搔落し牡丹文瓶	重要文化財 大阪市立東洋陶磁美術館	1	磁州窯	北宋
86	103	白地黒搔落し飛白文壺		1	磁州窯	北宋
87	105	白地鉄絵魚藻文深鉢	出光美術館	1	磁州窯	北宋
88	106	黒釉堆線文水注	大阪市立東洋陶磁美術館	1		北宋
89	107	赤絵牡丹文碗		1	磁州窯	金
90	108	赤絵魚蓮文碗	重要美術品 美術工芸振興佐藤基金	1	磁州窯	金
91	109	黄釉鉄絵蛸文盤	韓國国立中央博物館	1	磁竈窯	南宋
92	110	白搔落し唐花文長頸瓶	出光美術館	1	乾瓦窯	遼
93	111	白地緑彩草花文長頸瓶	出光美術館	1	乾瓦窯	遼
94	113	褐釉印花龍首水注	山口県立萩美術館・浦上記念館	1		北宋もしくは遼
95	114	白地皮囊壺	出光美術館	1	林東窯	遼
96	115	緑釉刻花唐草文皮囊壺	山口県立萩美術館・浦上記念館	1		遼
97	116	三彩牡丹文稜花盤	大阪市立東洋陶磁美術館	1	乾瓦窯	遼

ブルックリン美術館所蔵浮世絵名品展

MASTERPIECES OF UKIYO-E FROM THE BROOKLYN MUSEUM OF ART

会期 平成11（1999）年8月21日（土）～9月19日（日）

会場 展示室3・4・5・6

主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、毎日新聞社、
T Y S テレビ山口

後援 外務省、文化庁、アメリカ大使館、萩市、
山口県農業協同組合中央会、R K B 毎日放送、
山陰放送

協賛 山口セキスイハイム株式会社、J T B

協力 日本航空



(1) 趣旨

ニューヨーク市の近郊に位置するブルックリン美術館が日本およびアジアの美術品を多数所蔵していることは一部の研究者たちには知られていたが、美術館の外で公開される機会はほとんどなく、ベールに包まれた存在であった。本展はブルックリン美術館所蔵の作品だけで構成する浮世絵展としては初の試みとなるため、日本初公開の作品が多く含まれている。また、このたび同館の全面的な協力によって、その全容を調査する機会を得ることができ、最高レベルの保存状態であることが確認できたばかりでなく、世界でブルックリン美術館にしかない貴重な作品が多数存在することが明らかになった。中でも、渓斎英泉の「唐土山水図」は、西洋の化学絵具「ペロ藍」が日本の浮世絵版画に使用された上限を探る資料として、江戸時代の文献によって名前はよく知られておりながら作品の所在は不明のままであった。長年研究者たちが探し求めていたこの作品も、ブルックリン美術館のコレクションの中に発見された。

ブルックリン美術館コレクションの中から浮世絵創始期の菱川師宣から歌磨、北斎、広重、写楽など浮世絵の代表的絵師を網羅し、明治以降の河鍋暁斎、橋口五葉に至る作品、104点を里帰り展示了した。

(2) カタログ

監修 永田生慈

編集・発行 産経新聞大阪本社

内容 ごあいさつ 主催者

メッセージ アーノルド・L.リーマン

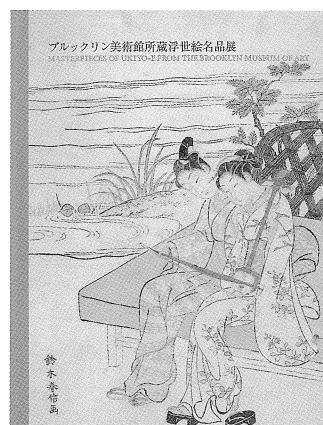
ブルックリン美術館所蔵浮世絵名品展によせて 永田生慈

ブルックリン美術館の浮世絵とアジア美術

エイミー・G.ポスター

絵師略伝

出品目録・作品解説



(3) 記念講演会

日時 平成11（1999）年8月21日（土）14：00～15：30

演題 「浮世絵の歴史と魅力」

講師 永田生慈（太田記念美術館副館長）

(4) ギャラリーツアー

①ギャラリーツアー

日時 毎週日曜日 11：00～12：00

担当 藤村忠範（学芸課専門学芸員）

②親子ギャラリーツアー

日時 平成11（1999）年9月15日（祝・水）15：00～16：00

担当 藤村忠範（学芸課専門学芸員）

(5) 出品目録

展示番号	作品名	判型	作家名
1	よしはらの躰 三	大判墨摺絵筆彩	菱川師宣
2	源氏物語 若菜 上	大々判墨摺絵	杉村治兵衛
3	中村源太郎	大々判墨摺絵	鳥居清倍
4	二代目藤田半太夫	大々判墨摺絵	鳥居清倍
5	初代瀬川菊次郎	細判漆絵	二代鳥居清倍
6	初代荻野八重桐 出来島平八	細判漆絵	二代鳥居清倍
7	初代中村富十郎の揚巻 二代目中村七三郎の万屋介六	大判紅摺絵	鳥居清広
8	縁台の遊女と山伏	大判墨摺絵	奥村政信
9	やねふき久米仙人	大判墨摺絵	奥村政信
10	福ろくハあたまのようじん	大判墨摺絵筆彩	奥村政信
11	勢田夕照 第七	細判漆絵	奥村政信
12	三代目市川団蔵の安達八郎	細判紅摺絵	鳥居清経
13	蚊帳の男女	柱絵錦絵	鳥居清経
14	紅葉狩	中判錦絵	鈴木春信
15	おせんの茶屋	中判錦絵	鈴木春信
16	胡弓のつれびき	中判錦絵	鈴木春信
17	月見る二美人	中判錦絵	鈴木春信
18	菊見る花魁	柱絵錦絵	益信
19	虚無僧に花魁と禿	中判錦絵	磯田湖龍斎
20	風流江戸八景 両国ノ晴嵐	大判錦絵	磯田湖龍斎
21	雛形若菜の初模様 丁子屋内ひな鶴	大判錦絵	磯田湖龍斎
22	雛形若菜の初模様 松かねや内あづまや	大判錦絵	磯田湖龍斎
23	雛形若菜の初模様 大かなや内住の戸	大判錦絵	磯田湖龍斎
24	美人戯犬図	柱絵錦絵	磯田湖龍斎
25	忍び逢い	柱絵錦絵	磯田湖龍斎
26	当世美人色競 山下花	大判錦絵	北尾政演
27	楊枝屋娘お藤	細判錦絵	一筆斎文調
28	五代目市川団十郎の梅津掃部	細判錦絵	一筆斎文調
29	二代目坂田半五郎の布袋市右衛門 二代目市川門之助の雁金文七	細判錦絵 5枚続の内 2枚	勝川春章
30	初代大谷友右衛門	細判錦絵	勝川春章
32	碁太平記白石嘶 繡屋の段	中判錦絵	鳥居清長
33	社頭の見合い	大判錦絵 2枚続の内	鳥居清長
34	当世遊里美人合 橋妓	大判錦絵	鳥居清長
35	大黒屋店先	大判錦絵 3枚続	喜多川歌麿

38	七五三子宝合 袴着之図	大判錦絵	喜多川歌麿
39	鮑とり	大判錦絵 3枚続の内	喜多川歌麿
40	三代目瀬川菊之丞の田辺文蔵妻おしづ	大判錦絵	東州斎写楽
41	中島和田右衛門の家主身替り地蔵	細判錦絵	東州斎写楽
42	てうじや内せんざん あふきや内扇野	大判錦絵	勝川春潮
43	寛永寺詣の母子	柱絵錦絵	鳥文斎栄之
44	橋上往来の美人	大判錦絵 3枚続の内	鳥文斎栄之
45	青楼正月二日年礼仕着小袖模様正写之図	大判錦絵 3枚続	栄松斎長喜
47	風流三幅対 難波屋おきた	大判錦絵	歌川豊国
48	三代目市川高麗藏の佐々木巖流	大判錦絵	歌川豊国
49	美人楊弓図	大判錦絵 2枚続	歌川豊国
51	初代岩井糸三郎	小判錦絵	無款
52	二代目荻野伊三郎の海道三郎	細判錦絵	二代叢農丸
53	初代坂東三津五郎の万作狐	細判錦絵	豊好
54	浮絵 東叡山中堂之図	大判錦絵	勝川春朗（葛飾北斎）
56	舞台道具の図（坂東秀佳名残狂言）	横長判摺物	葛飾北斎
57	富嶽三十六景 山下白雨	大判錦絵	葛飾北斎
58	富嶽三十六景 甲州石班澤	大判錦絵	葛飾北斎
59	富嶽三十六景 常州牛堀	大判錦絵	葛飾北斎
60	富嶽三十六景 信州諫訪湖	大判錦絵	葛飾北斎
61	富嶽三十六景 五百らかん寺さゝみ堂	大判錦絵	葛飾北斎
63	諸国名橋奇覧 摂州天満橋	大判錦絵	葛飾北斎
64	朝顔に蛙	大判錦絵	葛飾北斎
65	百人一首姥かゑと幾 菅家	大判錦絵	葛飾北斎
66	下総銚子浦鰯釣舟之図	大判錦絵	昇亭北寿
67	遊亀図	摺物	魚屋北溪
68	馬を驅る中国武人	摺物	魚屋北溪
69	江ノ島	摺物	魚屋北溪
70	貼交絵 鯉魚	大判錦絵	葛飾戴斗
71	花見	中判摺物 5枚続の内 4枚	岳亭春信
72	仲之町年札図 若那屋内白露 玉屋内姿野 角海老屋内相染	大判錦絵 3枚続	鳥居清峰
74	青楼四季之詠 京町一丁目 海老屋内花の戸	大判錦絵	鳥居清峰
75	金欄見本帖図	摺物	溪斎英泉
76	唐土山水図	団扇絵藍摺	溪斎英泉
77	三保ノ浦	団扇絵藍摺	歌川国貞
78	東都名所 かすみが関	大判錦絵	歌川国芳
79	七代目市川團十郎と五代目瀬川菊之丞	色紙判摺物	歌川広重
80	洲崎雪ノ朝	絵半切 横長判摺物	歌川広重
81	御殿山ノ図	絵半切 横長判摺物	歌川広重
82	東海道五拾三次之内 日本橋	大判錦絵	歌川広重
83	東海道五十三次之内 丸子	大判錦絵	歌川広重
85	木曾海道六拾九次之内 長久保	大判錦絵	歌川広重
89	諸国名所 豆相箱根山夜行之図	団扇絵判錦絵	歌川広重
90	薄化粧 御あせとり 涼し香	化粧品包み紙 藍摺	歌川広重
91	横浜鈍宅之図	大判錦絵 3枚続	五雲亭貞秀
92	横浜異人商館賣場之図	大判錦絵 3枚続	五雲亭貞秀
93	相馬良門古寺之図	大判錦絵 3枚続	歌川（豊原）国周
94	龍頭觀音図	63.0×25.0cm 木版画	河鍋暁斎
95	梅に二羽の鳩図	69.9×25.4cm 木版画	河鍋暁斎
96	雨中鳩図	38.4×26.0cm 木版画	河鍋暁斎
97	温泉宿	44.5×26.4cm 木版画	橋口五葉
98	杵をつく月中の兎	12.2×10.8cm 絵暦	無款
99	煙草を吸う娘	14.3×11.5cm 絵暦	磯田湖龍斎
100	湯上がりの美人	14.1×11.8cm 絵暦	無款
101	二人の奴	9.8×8.0cm 絵暦	無款

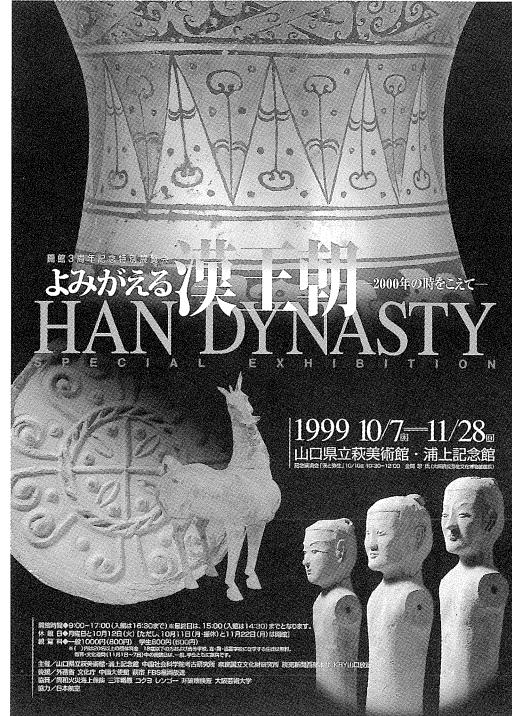
102	羽簾にねずみ	8.5×13.0cm 絵暦	無款
103	海老	13.5×7.7cm 絵暦	無款
104	ねずみと俵	8.7×13.2cm 絵暦	無款
105	春駒踊り	10.9×7.2cm 絵暦	無款
106	醉客と送りの男	13.5×9.0cm 絵暦	無款
107	影絵あそび	12.0×12.0cm 絵暦	無款
108	蝶	11.3×13.5cm 絵暦	無款
109	馬の絵	9.7×11.6cm 絵暦	無款
110	青樓吉原 年中行事	半紙本 2 冊	喜多川歌麿
112	曉斎画談	半紙本 4 冊	河鍋曉斎
113	面壁達磨図	32.7×24.1cm 紙本墨画	無款・葛飾派
114	三味線を弾く婦人	25.0×34.2cm 紙本墨画	無款・葛飾派
115	蛙合戦図	36.0×25.4cm 紙本淡彩	河鍋曉斎

～特別展～よみがえる漢王朝 －2000年の時をこえて－ HAN DYNASTY

会期 平成11（1999）年10月7日(木)～11月28日(火)

会場 展示室3・4・5・6

主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、
中国社会科学院考古研究所、
奈良国立文化財研究所、読売新聞西部本社、
KRY山口放送
後援 外務省、文化庁、中国大使館、萩市、
FBS福岡放送
協力 日本航空
協賛 同和火災海上保険、三洋電機、コクヨ、
レンゴー、非破壊検査、大阪芸術大学



(1) 趣 旨

約2000年前、アジア最大の帝国として君臨した「漢」。農民出身の劉邦が楚の項羽を倒して秦帝國滅亡後の世を治め、栄光の時代は始まった。皇帝を柱とした中央集権国家は、日本の弥生時代にほぼ相当する約400年間続き、7代皇帝・武帝の時にシルクロードが開かれるなど最盛期を迎えた。後漢時代にはわが国が「漢委奴国王」金印を受けたことでもよく知られている。

本展覧会は、1997年から奈良国立文化財研究所が北京の中国社会科学院考古研究所と西安・漢代長安城跡（前漢の都）の共同発掘調査に着手したのを機に企画された。長安城創建期の瓦や様々な表情の陶俑、後漢の都・洛陽出土の銅鏡など中国各地出土の文物97件を「長安城」「漢代の人々の暮らし」「軍事」「漢墓」の4部構成で展示した。とくに、武帝異母兄の中山王劉勝夫妻墓のいわゆる満城漢墓出土の青銅器や武器類、王妃の金縷玉衣など華麗な遺品に注目が集まった。

(2) カタログ

総監修 金関 恕、劉 慶柱

編集 大阪市立美術館・読売新聞大阪本社

発行 読売新聞大阪本社

内容 ごあいさつ 主催者

前言 劉 慶柱

巻頭論文

中国古代の漢王朝 劉 慶柱 （翻訳：黄 曜芬）

漢と弥生 金関 恕

図版

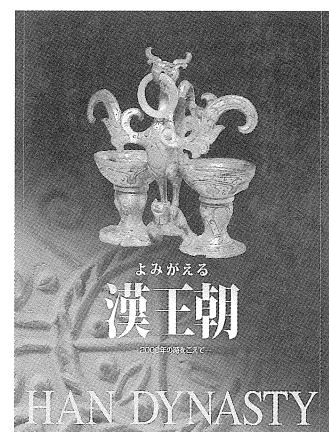
第一部 長安城 （扉文 玉田芳英）

第二部 漢代の人々の暮らし （扉文 守屋雅史）

第三部 軍事 （扉文 守屋雅史）

第四部 漢墓 （扉文 町田 章）

解説論文



漢長安城及びその発掘調査史 李 篤芳

コラム

長安城と平城京 仁藤敦史

解説論文

長安城共同発掘調査の成果と意義 浅川滋男

コラム

桂宮2号宮殿の発掘 玉田芳英

解説論文

漢代の建築 田中 淡

解説論文

漢代の文物—出土品に見る進行と生活— 大重薰子

コラム

漢と弥生のブタ 西谷 大

解説論文

漢帝国の軍事 岡村秀典

解説論文

漢代の帝陵と諸侯王陵 町田 章

コラム

死者に仕える人達 杉山晋作

出品解説

中国社会科学院考古研究所及び中国内各所蔵機関が執筆（翻訳：黄 曜芬、一部日本側が加筆）。うち参考資料については、仁藤敦史（国立歴史民俗博物館）、宮野淳一（大阪府立弥生文化博物館）

模型解説 中国社会科学院考古研究所及び中国内各所蔵機関が執筆（一部日本側が加筆）。

漢時代年表（大阪市立美術館）

漢王朝皇帝系図（劉氏一族）（大阪市立美術館）

遺跡地図（展示作品の出土地）（大阪市立美術館）

参考文献（大阪市立美術館）

List of Special Exhibition（大阪市立美術館）

体裁 A4判変形 200ページ

(3) 記念講演会

日時 平成11（1999）年10月10日（日） 10：30～12：00

演題 「漢と弥生」

講師 金関 恕（大阪府立弥生文化博物館館長）

(4) ギャラリーツアー

①ギャラリーツアー

日時 平成11（1999）年10月9日（土）と会期中の日曜日 11：00～12：00 （10月10日は実施せず）

担当 石崎泰之（学芸課主任）

②親子ギャラリーツアー（各日15組30名程度）

日時 平成11（1999）年10月11日（月・振休）・11月3日（水・祝）・11月23日（火・祝） 15:00～16:00

担当 石崎泰之（学芸課主任）

(5) 出品目録

番号	枝番号	資料名	員数	時代	記年銘(西暦)	所蔵先名	指定(日本)	出土地
1	1	「維天降靈」瓦当	1	前漢		中国社会科学院考古研究所	重要文化財	陝西省西安市漢長安城武器庫遺跡出土
1	2	「長樂未央」瓦当	1	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市杜陵便殿遺跡
1	3	「長生無極」瓦当	1	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市杜陵皇后陵陵園東門遺跡
1	4	「都司空瓦」瓦当	1	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城西葉村採集
1	5	「右空」瓦当	1	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城遺跡採集
1	6	「上林」半瓦当	1	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城遺跡
1	7	「衛」瓦当	1	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城未央宮西南角樓遺跡
1	8	花纹瓦当	1	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城未央宮前殿遺跡
1	9	卷雲文瓦当	1	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城未央宮前殿遺跡
1	10	乳釘文半月形瓦当	1	新		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城南郊礼制建築遺跡
1	11	青龍文瓦当	1	新		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城南郊礼制建築遺跡
1	12	白虎文瓦当	1	新		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城南郊礼制建築遺跡
1	13	朱雀文瓦当	1	新		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城南郊採集
1	14	玄武文瓦当	1	新		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城南郊礼制建築遺跡
1	15	山雲文半瓦当	1	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市好漢廟採集
2	1	灰陶 幾何文方磚	1	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市陵便殿遺跡
2	2	灰陶 格子文方磚	1	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城長樂宮遺跡
3		灰陶 博局	1	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城37号窯跡
4	1	灰陶 井圈	1	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城長樂宮遺跡
4	2	灰陶 五角形水道管	1	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城遺跡
5		石 蟠鈞	1	漢～魏		中国社会科学院考古研究所		河南省洛陽市漢魏洛陽城東採集
6		青銅 鎏金 建築金具	1	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市杜陵寢殿遺跡
7		鉄 碎頭 (版築棒先端具)	1	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城武器庫遺跡
8		木簡		前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城未央宮殿前遺跡
9		白玉「鮮于平君」印	1	漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市唐長安城
10	1	「長安獄丞」封泥	1	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城遺跡
10	2	「河南太守章」封泥	1	漢		中国社会科学院考古研究所		河南省洛陽市漢河南縣城
10	3～7	封泥	5	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城未央宮少府遺跡
10	8～12	封泥	5	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城未央少府遺跡
11		骨簽	10	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城未央宮中央官署遺跡
12	1～3	石経	3	後漢		中国社会科学院考古研究所		河南省洛陽市漢魏洛陽城南郊太學遺跡
13		太学石球	1	後漢		中国社会科学院考古研究所		河南省洛陽市漢魏洛陽城南郊太學遺跡
14	1	灰陶 刑徒磚	1	後漢	延光4年(125)	中国社会科学院考古研究所		河南省洛陽市漢魏洛陽城南郊刑徒墓地
14	2	灰陶 刑徒磚	1	後漢	永寧元年(120)	中国社会科学院考古研究所		河南省洛陽市漢魏洛陽城南郊刑徒墓地
15		石 鑄范	2	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城遺跡
16		紅陶 器托范	1	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城5号灰坑
17	1～2	紅陶 五銖錢范 (母范・子范)	2	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城鑄幣遺跡
17	3	紅陶 五銖錢范 (母范)	1	前漢	本始元年(前73)	中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城鑄幣遺跡
18	1	灰陶 蛙文拍 (製陶具)	1	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城15号窯跡
18	2	灰陶 格子文拍 (製陶具)	1	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城19号窯跡
19	1	灰陶 裸体俑型	1	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城12号窯跡
19	2	灰陶 裸体俑型	1	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城13号窯跡
20		灰陶 裸体俑	20	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城9.11.16号窯跡
21		灰陶 裸体俑頭部	10	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城6.7.8.12.16号窯跡
22		灰陶 着衣俑	2	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城1号窯跡
23		青銅「食官」鼎	1	前漢		河北省鹿泉市文物管理所		河北省獲鹿縣高莊常山憲王劉舜墓
24		青銅「常山食官」鐘	1	前漢		河北省文物研究所		河北省行唐縣北高里村漢墓
25		青銅「中山內府」鎖	1	前漢		河北省文物研究所		河北省行唐縣北高里村漢墓
26		灰釉 壺	1	後漢		中国社会科学院考古研究所		河南省洛陽市漢魏洛陽城東効保莊32号墓
27		灰釉 長頸壺	1	後漢		中国社会科学院考古研究所		河南省洛陽市漢魏洛陽城東効保莊32号墓
28		青銅 經	1	前漢		河北省文物研究所		河北省懷來縣漢墓
29		青銅 經	1	前漢		中国社会科学院考古研究所		陝西省西安市漢長安城竇家村窑藏

30	青銅 鑽斗	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	陝西省西安市漢長安城竇寨村窖藏
31	青銅刻花 盒	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	陝西省西安市漢長安城竇寨村窖藏
32	青銅 高足杯	1	後漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢魏洛陽城東効石橋16号墓
33 1~2	漆彩画 幾何文耳杯	2	前漢	江蘇省揚州博物館	江蘇省揚州市邗江縣甘泉姚莊101号漢墓
34	骨刻花 狩獵文杯	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	河南省陝縣后川漢墓
35	青銅 洗	1	後漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢魏洛陽城東効石橋16号墓
36	青銅 釭灯	1	前漢	江蘇省揚州博物館	江蘇省揚州市邗江縣甘泉巴家墩漢墓
37	石 豆形灯	1	後漢	河北省衡水市文物管理所	河北省冀縣前塚村漢墓
38	青銅 盤	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	陝西省西安市漢長安城竇寨村窖藏
39	青銅 突斗	1	後漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢魏洛陽城東郊石橋16号墓
40	石 突斗台	1	後漢	河北省衡水市文物管理所	河北省冀縣前塚村漢墓
41	漆銀箔彩画 雲氣文七子奮		前漢	江蘇省揚州博物館	江蘇省揚州市胡常号漢墓
42 1	青銅「長宜子孫」連弧文鏡	1	後漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢魏洛陽城東効石橋15号墓
42 2	青銅「長宜子孫」連弧文鏡	1	後漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢魏洛陽城東郊景陽崗南2号墓
42 3	青銅「長宜子孫」連弧文鏡	1	後漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢魏洛陽城東郊石橋11号墓
42 4	青銅「長宜子孫」連弧文鏡	1	後漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢魏洛陽城東郊石橋16号墓
42 5	青銅「長宜子孫」連弧文鏡	1	後漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢魏洛陽城東郊石橋16号墓
42 6	青銅「內清」連弧文鏡	1	漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢河南縣城8007号墓
42 7	青銅 星雲文鏡	1	漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢河南縣城3191号墓
42 8	青銅「見日之光」連弧文鏡	1	漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢河南縣城3092号墓
42 9	青銅「見日之光」銘帶鏡	1	漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢河南縣城8001号墓
42 10	青銅 雲雷文鏡	1	後漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢魏洛陽城東郊保莊4号墓
42 11	青銅「長宜子孫」夔鳳文鏡	1	後漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢魏洛陽城東郊石橋16号墓
42 12	青銅「位至三公」獸首文鏡	1	後漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢魏洛陽城東郊石橋3号墓
42 13	青銅 禽獸文鏡	1	漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢河南縣城3006号墓
42 14	青銅 方格規矩四神文鏡	1	漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢河南縣城T10025
42 15	青銅 方格規矩四神文鏡	1	漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢河南縣城90018号墓
43 1~3	青銅 計量具	3	漢	中国社会科学院考古研究所	陝西省西安市唐長安城2号墓
43 4	青銅 計量具	1	後漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢魏洛陽城東郊石橋11号墓
44	青銅 尺	1	後漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢魏洛陽城東郊石橋15号墓
45	鉄金錯 尺	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	河北省滿城縣陵山寶綰墓
46	骨 尺	1	後漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢魏洛陽城東郊石橋11号墓
47 1	青銅 半兩錢	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	陝西省西安市杜陵便殿遺跡
47 2~3	青銅 五銖錢	2	前漢	中国社会科学院考古研究所	陝西省西安市漢長安城鑄幣遺跡
47 4	青銅 小五銖錢	67	前漢	中国社会科学院考古研究所	陝西省西安市杜陵1号陪葬坑
47 5	青銅 大泉五十錢	1	新	中国社会科学院考古研究所	陝西省西安市杜陵寢殿遺跡
47 6	青銅 契刀錢	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	陝西省西安市杜陵便殿遺跡3號窖穴
47 7	青銅 契刀五百錢	1	新	中国社会科学院考古研究所	陝西省西安市杜陵便殿遺跡
47 8	青銅 貨泉錢	1	新	中国社会科学院考古研究所	陝西省西安市杜陵便殿遺跡
47 9	青銅 帶柄錢	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	陝西省西安市杜陵便殿遺跡
47 10	青銅 壓勝錢	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	陝西省西安市杜陵便殿遺跡
48 1	灰陶加彩「黍米」鐘	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢河南縣城302号墓
48 2	灰陶加彩「稻米」鐘	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢河南縣城293号墓
48 3	灰陶加彩「梁米」鐘	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢河南縣城293号墓
49 1	灰陶「大豆万石」倉	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢河南縣城152号墓
49 2	灰陶「小豆万石」倉	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢河南縣城152号墓
49 3	灰陶「粟万石」倉	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢河南縣城152号墓
49 4	灰陶「薏万石」倉	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢河南縣城152号墓
49 5	灰陶「大麦千石」倉	1	後漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢魏洛陽城東郊保莊32号墓
49 6	灰陶「小麦千石」倉	1	後漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢魏洛陽城東郊保莊32号墓
50 1	灰陶加彩 倉	1	漢	中国社会科学院考古研究所	陝西省西安市印刷廠
50 2	灰陶加彩 倉	1	漢	中国社会科学院考古研究所	陝西省西安市未央區龍首村 2 号墓
51	青銅 竈	1	後漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢魏洛陽城東郊景陽崗42号墓
52	灰陶 竈	1	後漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢魏洛陽東郊保莊32号墓
53	灰陶 磨礎	1	後漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢魏洛陽城東郊保莊32号墓

54	灰陶 井欄	1	後漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢魏洛陽城東郊保莊32号墓
55	灰陶 猪圈	1	後漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢魏洛陽城東郊保莊32号墓
56	青銅 戈、青銅鍍金 鏃	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	河北省滿城縣陵山中山靖王劉勝墓
57	青銅 矛	1	後漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢魏洛陽城東郊石橋16号墓
58	鉄 矛形戟	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	陝西省西安市漢長安城武器庫遺跡
59	青銅 轉	2	後漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢魏洛陽城東郊石橋16号墓
60	鉄 轉	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	陝西省西安市漢長安城武器庫遺跡
61	青銅 鐸付矛	2	後漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢魏洛陽城東郊石橋16号墓
62	青銅 剣、青玉 瑞、 青玉 瑞	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	河北省滿城縣陵山中山靖王劉勝墓
63	鉄 剣	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	陝西省西安市漢長安城未央宮西南角樓遺跡
64	鉄 刀	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	河北省滿城縣陵山中山靖王劉勝墓
65 1	青銅 弩機	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	河北省滿城縣陵山中山靖王劉勝墓
65 2~3	青銅 弩機	2	前漢	中国社会科学院考古研究所	陝西省西安市漢長安城未央官署遺跡
66	鉄 桿・青銅 鏃	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	陝西省西安市漢長安城武器庫遺跡
67	青銅透彫 人物文帶飾	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	陝西省西安市長安縣客省莊140号墓
68	鉄 球	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	陝西省西安市漢長安城武器庫遺跡
69	白玉透彫 山羊文円飾	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	陝西省西安市漢長安城武器庫遺跡
複 1	鉄 鎧甲(複製品)	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	河北省滿城陵山中山靖王劉勝墓
複 2	鉄 甲冑(複製品)	1	後漢	中国社会科学院考古研究所	吉林省榆樹縣老河深67号墓
70 1	金縷玉衣	1	前漢	河北省文物研究所	河北省滿城縣陵山賓綰墓
70 2	青銅鍍金金嵌玉 枕	1	前漢	河北省文物研究所	河北省滿城縣陵山賓綰墓
71	青玉「宜子孫」璧	1	後漢	江蘇省揚州博物館	江蘇省揚州市邗江縣甘泉老虎墩漢墓
72	青玉 双鳳耳璧	1	前漢	河北省文物研究所	河北省定縣中山懷王劉脩墓
73	白玉 龍形環	1	前漢	河北省文物研究所	河北省定縣中山懷王劉脩墓
74	白玉 冀龍文璜	1	漢	江蘇省揚州博物館	江蘇省揚州市邗江縣甘泉老軍莊漢墓
75	青玉 豚形握	2	前漢	江蘇省揚州博物館	江蘇省揚州市邗甘泉姚莊2号漢墓
76	白玉 帶鉤	1	前漢	河北省文物研究所	河北省邢台縣北陳村漢墓
77	白玉 辟邪形壺	1	後漢	江蘇省揚州博物館	江蘇省揚州市邗江縣甘泉老虎墩漢墓
78	頸飾		前漢	江蘇省揚州博物館	江蘇省揚州市胡狀4号漢墓
79	青銅鍍金銀嵌玻璃 乳釘文鐘	1	前漢	河北省文物研究所	河北省滿城縣陵山中山靖王劉勝墓
80	青銅鍍金銀 蟠龍文鐘	1	前漢	河北省博物館	河北省滿城縣陵山中山靖王劉勝墓
81 1	灰陶加彩 車馬出行図鐘	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢河南縣城302号墓
81 2	灰陶加彩 四神文鐘	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢河南縣城302号墓
82 1~2	褐釉 鐘	2	後漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢魏洛陽城東郊保莊32号墓
83	銀 盆	1	前漢	河北省鹿泉市文物管理局	河北省獲鹿縣高莊常山憲王劉舜墓
84	漆彩画 雲氣文盤	1	前漢	江蘇省邗江縣文物管理委員會	江蘇省揚州市邗江縣揚壽鄉女墩漢墓
85	青銅 博山炉	1	前漢	河北省博物館	河北省滿城縣陵山賓綰墓
86	青銅金綠松石象嵌 朱雀形杯	1	前漢	河北省博物館	河北省滿城縣陵山賓綰墓
87 1	青銅鍍金銀 鋪首	1	前漢	河北省博物館	河北省滿城縣陵山中山靖王劉勝墓
87 2	青銅鍍金嵌玉 鋪首	1	前漢	河北省博物館	河北省滿城縣陵山中山靖王劉勝墓
88 1~2	青銅金銀錯 豹形鎮	2	後漢	中国社会科学院考古研究所	河北省滿城縣陵山賓綰墓
89 1~2	青銅 鹿形鎮	2	前漢	中国社会科学院考古研究所	河南省陝縣后川漢墓
90	鉄金錯 削	1	前漢	中国社会科学院考古研究所	河北省滿城縣陵山中山靖王劉勝墓
91	大馬蹄金	1	前漢	河北省文物研究所	河北省定縣中山懷王劉脩墓
92	鱗趾金	1	前漢	河北省文物研究所	河北省定縣中山懷王劉脩墓
93	金餅	4	前漢	中国社会科学院考古研究所	陝西省西安市杜陵 1号陪葬坑
94	青銅鍍金 牛形牌飾	1	前漢	河北省文物研究所	河北省石家莊市漢墓
95	灰陶 辟邪形挿座	2	後漢	中国社会科学院考古研究所	河南省洛陽市漢魏洛陽城東郊石橋16号墓
96	青銅 馬	1	後漢	河北省保定市文物管理所	河北省徐水縣防陵村2号漢墓
97	綠釉 樓閣	1	後漢	河北省文物研究所	河北省阜城縣桑莊後漢墓
参 1	宋版 史記	90	南宋	国立歴史民俗博物館	上杉家伝来、黄善夫刊本
参 2	宋版 漢書	61	南宋	国立歴史民俗博物館	上杉家伝来、慶元刊本
参 3	宋版 後漢書	60	南宋 慶元4年(1198)	国立歴史民俗博物館	上杉家伝来、慶元刊本
参 4	金「漢委奴國王」印(複製品)	1	(現代、原品:後漢)	福岡市博物館 (原品:福岡市博物館)	福岡県福岡市東区志賀島出土

参 5 鉄金錯 環頭太刀 1 後漢 文化庁 重要文化財 奈良県天理市東大寺山古墳
参 6 鉄金錯 環頭大刀(複製品) 1 (現代) 大阪府立弥生文化博物館(原品:文化庁)

『発掘された日本列島'99—新発見考古速報展—』

『発掘された郷土山口』（地域展示）

会期 平成11（1999）年12月4日（土）～
平成12（2000）年1月9日（日）

会場 展示室3・4・5・6

実施組織 発掘された日本列島展実行委員会

主催 文化庁、山口県教育委員会、
山口県立萩美術館・浦上記念館

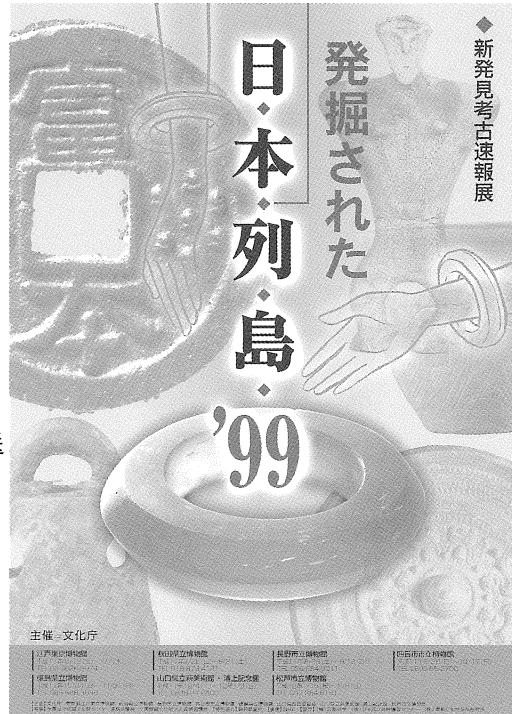
共催 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会、
全国埋蔵文化財法人連絡協議会

特別協力 朝日新聞社

後援 NHK、YAB山口朝日放送、KBC九州朝日放送

協賛 株京都科学、株ジャパン通信情報センター、
株東都文化財保存研究所

賛助 アジア空測株、株パスコ、株フジテクノ、
株文化財保存計画協会



（1）趣旨

『発掘された日本列島'99—新発見考古速報展—』

毎年全国で多くの発掘調査が実施され、昨年はほぼ10000件に達した。しかし、我々はそのごく一部をマスコミ等の報道により、間接的に知ることしかできない。そこで、この展覧会は、近年の発掘調査の成果の中で特に注目される出土品を中心に展示し、より多くの人に直接見て親しんでいただくことを目的としている。

新たに発見された遺跡や出土品により、日本の歴史が日々書きかえられている。和同開珎より古い「富本銭」、あざやかなコバルトブルーのガラス釧（腕輪）、九州ではじめての銅鐸、南海の貝札など注目の最新発掘成果を全国各地から一堂に集めて速報。

「発掘された郷土山口（地域展示）」

このたび中核展示とあわせて開催する地域展示は、県内におけるこれまでの重要な出土品とともに、最近の発掘資料を展示。

本州の西端に位置し、古くから中国大陸や朝鮮半島との文化交流の門戸として開かれた山口県には、さまざまな遺跡の所在が知られている。これらは、いずれも郷土の歴史や先人の生活の様相を正しく認識する上で不可欠の資料で、現在に生きる私たちが将来に向けて大切に保護し、伝えて行くべき貴重な遺産といえる。

地域展示は旧石器時代から近世までのコーナーに分け、各時代にテーマをもたせた内容とする。また、弥生～江戸時代にわたる出土品で、「顔」をモチーフにしたものの一堂に集め、個々の意匠に込められた古代人のロマンを探る。

（2）カタログ（地方展は三ツ折リーフレット）

編集 文化庁

発行 朝日新聞社

内容 ごあいさつ 文化庁長官 林田英樹

発掘された日本列島'99の開催にあたって 発掘された日本列島'99実行委員長 横山浩一
話題の遺跡と出土遺物

発掘された日本列島'99展示遺物

- 旧石器・縄文時代の最新情報「縄文人の「死者の谷」は何をかたるのか」 小林 克
 弥生時代の最新情報「海を望む丘に出現した巨大な弥生都市の意味は?」 池淵俊一
 古墳時代の最新情報「三角縁神獣鏡が再び語りはじめた」 岸本直文
 古代の最新情報「木簡・富本錢が出土。解明すすむ律令国家の成立期」 小池信彦
 中世・近世の最新情報
 「経塚、庭園、城下町。文献からは見えない歴史の実像」 坂井秀一

体裁 B5版118ページ

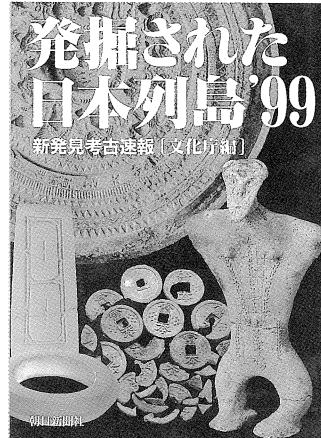
(3) 記念講演会

- 日時 平成11（1999）年12月5日(日) 13:00～15:00
 演題 「飛鳥池工房と富本錢—古代の銅生産をめぐって—」
 講師 松村恵司（奈良国立文化財研究所室長）

- 日時 平成11（1999）年12月25日(土) 13:00～15:00
 演題 「考古学ファンにおくるダイナミックヒストリー」
 講師 中村徹也（山口県埋蔵文化財センター所長）

(4) ギャラリーツアー

- 日時 平成11（1999）年12月5日(日) 11:00～12:00、
 その他の会期中日曜日の11:00～12:00と14:00～15:00
 講師 山口県埋蔵文化財センター職員



(5) 出品目録

時代	トピックス	所在地・遺跡名	展示遺物	年 代	法量 (cm)
旧石器	約5万年前の着柄痕のある斜軸尖頭器	北海道新十津川町 総進不動坂遺跡	斜軸尖頭器など4点	中期旧石器時代約5万年前	斜軸尖頭器 1点は長4.0
	旧石器時代人も赤と黒の顔料を使っていた	北海道千歳市 柏台1遺跡	琥珀玉顔料原材など	後期旧石器時代約2万年前	顔料原材最大長3.1
		宮城県色麻町 中島山遺跡			
		山形県尾花沢市 袖原3遺跡	遺跡間石器接合資料	中期旧石器時代約10万年前	加工痕のある 剥片 長7.6
	旧石器人の行動範囲を具体的に示す	新潟県津南町 下毛原1遺跡	遺跡間石器接合 資料5点	後期旧石器時代 約1万7000年前	彫刻刀形石器 長7.81
		新潟県津南町 井尻A遺跡			
縄文	1万3000年前の見事な石斧と装着痕のある槍先形尖頭器	山形県八幡町 八森遺跡	石斧尖頭器など	縄文時代草創期 約1万3000年前	尖頭器 最大長23.0
	縄文人の家は入母屋造り	北海道八雲町 栄浜1遺跡	家形石製品	縄文時代中期 約4600年前	長14.9 高13.8
	環状列石のまえぶれ? 三内丸山に環状配石群	青森県青森市 三内丸山遺跡	パネル展示	縄文時代前期～中期末	
	八ヶ岳山麓に大規模な環状集落、広場を中心には繩文人のムラはつくられた	長野県茅野市 聖石遺跡	翡翠製ペンダント 土偶など	縄文時代中期 約4500年前	土偶 高12.9
	繩文人の「死者の谷」 墓制の変遷と副葬品が語るのは?	千葉県茂原市 下太田貝塚	鹿角製ペンダント 土器棺など	縄文時代中期後葉～後期前葉 約4000～3700年前	土器棺 高38
	脚がのび、頭部も自立する土偶の誕生	青森県野辺地町 有戸・鳥井平4遺跡	自立する土偶	縄文時代後期約3500年前	高32
	縄文人の人体表現? 岩偶が貝塚から大量に出土	鹿児島県垂水市 桔原遺跡	軽石製岩偶6点	縄文時代後期～晩期初頭 約3500～3000年前	最大長19.2

	トチやクルミなど木の実をさらした水場は祭祀の場でもあった	埼玉県吉見市 三ノ耕地遺跡	縄文物土偶など	縄文時代晩期前半 約2500年前	縄文物 49×44
	縄文の漆 東から西から	群馬県高崎市 高崎情報団地Ⅱ遺跡	浅鉢形土器2点	縄文時代中期 約4500年前	径47 径33.5
		高知県土佐市 居徳遺跡群	漆器(蓋) 鍬など	縄文時代晩期後半 約2300年前	漆器 最大径44
弥生	300基を超える土坑墓と4基の方形周溝墓ムラを見下す弥生人の聖域	福島県いわき市 平塙諸荷遺跡	土器翡翠製玉など	弥生時代中期 約2100年前	波状口縁壺 高10.2
	琵琶湖畔で日本最小の銅鐸九州では銅鐸が初めて出土	滋賀県栗東町 下鈎遺跡	小銅鐸	弥生時代中期末頃 約2000年前	高3.4
		佐賀県神崎町ほか 吉野ヶ里遺跡	銅鐸	弥生時代中期～後期 約2000年前	高約28
	日本最大の銅鐸	滋賀県野洲町 大岩山遺跡	銅鐸(レプリカ)	弥生時代後期 約1750年前	高134.7
	日本海を望む高地に弥生人の国が出現	鳥取県大山町ほか 妻木晚田遺跡群	大型器台 玉類など	弥生時代中期～後期 約2000～1750年前	大型器台 高48.0
	弥生人の土木技術の粹、波止場。呪術者・悪靈・竜・カマキリ…絵画土器は何を語る？	岡山県倉敷市 上東遺跡	絵画土器 貨泉など	弥生時代後期 約2000～1750年前	絵画土器 高6.5
	扉のある家形高坏 弥生人の家は超モダン？	熊本県山鹿市 方保田東原遺跡	家形高坏	弥生時代後期 約1900年前	現高18
	弩？ジョッキ・腰掛…続々出土	島根県出雲市 姫原西遺跡	弩形木製品 刳物腰掛など	弥生時代後期 約1800年前	弩形木製品 長91.4
	ガラス釧も出土鉄の交易ルートを握った弥生の首長墓	京都市岩滝町 大風呂南墳墓群	ガラス釧 有鉤銅釧など	弥生時代後期 約1800年前	ガラス釧 径9.7
	三角縁神獣鏡32面が一挙に出土。大和政権の本拠地が配布元であることを裏付け	奈良県天理市 黒塚古墳	三角縁神獣鏡5点	古墳時代前期 約1750年前	6号鏡 径22.0
古墳	黒塚となる多量の三角縁神獣鏡をもつ最古の古墳。箸墓古墳と共に設計か？	京都府山城町 椿井大塚山古墳	三角縁神獣鏡(レプリカ)・土器など	古墳時代前期 約1750年前	壺形土器 口径約30
	浄水祭祀を表す埴輪群とミニチュア土製品の造形	大阪府藤井寺市 狼塚古墳	囲い形埴輪	古墳時代中期	一辺120
		静岡県磐田市 明ヶ島5号墳	土製模造品	約1550年前	武人形 高8.5
	古墳を守る？盾持人埴輪	群馬県群馬町 保渡田八幡塚古墳	盾持人埴輪2点	古墳時代後期初頭 約1500年前	高82 高103
	紀淡海峡に製塩の大コンビナート 5世紀後半の畿内の塩生産の拠点か	和歌山県和歌山市 西庄遺跡	製塩土器 漁労具など	古墳時代中・後期 約1500年前	製塩土器 1点は高4.5
	最北の前方後円墳を支えたムラ 北方の文化と古墳文化の接点	岩手県水沢市 中平人遺跡	土師器 須恵器など	古墳時代中期～後期 約1550～1500年前	土師器器台 高8.2
	噴火で完全保存の古墳と 金銅装頭椎大刀	群馬県子持村 浅田3号墳	パネル展示	古墳時代中期 約1500年前	
		三重県明和町 坂本1号墳	金銅装頭椎大刀	古墳時代後期 約1400年前	長105
	ヤコウガイ製貝匙とイモガイ製貝札 貝匙の製作過程が初めて明らかになった	鹿児島県名瀬市 小湊・フワガネク遺跡	貝匙貝札など	古墳時代後期並行 約1400年前	貝匙 1点は長16.2
	「五十税」「板野国守」「椿」… 7世紀後半の木簡が続々と出土	徳島県徳島市 觀音寺遺跡	木簡墨書土器など	飛鳥時代～奈良時代 約1350～1250年前	木簡 最大長63.5
奈良・平安・中世	最古の貨幣「富本銭」飛鳥の工房跡から40枚出土	奈良県明日香村 飛鳥島遺跡	富本銭3点 金片・銀片など	飛鳥時代 約1350年前	富本銭 平均径2.44
	天武天皇七年(678)の地震で倒壊した 九州最古の寺院と郡司?の居館跡	福岡県小郡市 上岩田遺跡	軒丸瓦 刻畫土器など	飛鳥時代～奈良時代 約1350～1250年前	軒丸瓦 径15.7
	北の城柵官衙から漆紙文書「死亡帳」 ほか出土	秋田県秋田市 秋田城跡	漆紙文書「死亡帳」「戸籍」など	平安時代 約1150年前	死亡帳 現存23×24
	クリ材を柱目取り ロクロの回転盤	青森県青森市 野木遺跡	ロクロの回転盤	平安時代 約1100年前	長24
	12世紀の経塚。宇治平等院にもほど近く、豪華な副葬品とともに発見	京都市宇治市 白川金色院跡	青白磁合子 山吹双鳥鏡など	平安時代 約850年前	青白磁合子 径10.8

足利氏の廟所。鎌倉から室町へ、中世寺院の生活を現代に伝える	栃木県足利市 かばきでら 樺崎寺跡	青白磁四耳壺 瀬戸四耳壺など	鎌倉時代～室町時代 約800～500年前	青白磁四耳壺 1点は高22.5
絵画にみえる巻数板 鎌倉時代の武士の館から初めて出土	石川県金沢市 かただ 堅田B遺跡	巻数板	鎌倉時代（「弘長参年」銘） 736年前	縦10.5 横79.5
常滑の大甕2つに約16万枚の埋蔵錢	東京都府中市 もじきこ ふ かんれん 武藏國府関連遺跡	常滑焼大甕 出土錢など	室町時代 約450年前	常滑焼大甕 高約60
大航海時代に世界の銀の三分の一を生産石見銀山の実態がみえてきた	島根県太田市 いわみぎんざん 石見銀山遺跡	鉄鍋 中国製磁器など	戦国時代末～近世初頭 約400年前	鉄鍋 径25
近世	高山右近ゆかりのキリストン墓地	大阪府高槻市 たかつき 高槻城跡	木棺および人骨 木棺蓋	安土桃山時代 約420年前
	和歌を鉄軸書きした織部が京都の町屋から出土	京都府京都市 いづやちゅう 井筒屋町遺跡	織部向付	江戸時代初期 約400年前
	堀を埋め立てて造った町屋を通して「毛利の城下町」がみえてきた	山口県萩市 はぎのし 萩城跡（そとぼり外堀地区）	染付碗 青花皿など	江戸時代 約400～200年前

(5) 発掘された郷土山口出品目録

テーマ	No	指定	遺物名称	時 代	法量 (cm)	出 土 遺 跡	所蔵（【】内は複製所蔵機関）
自然の恵みの中で	1		ハンドアックス	前期旧石器時代 10万年以上前	長8.7	下関市 綾羅木郷遺跡	下関市立考古博物館
	2		よくじょうはくべん 翼状剥片	後期旧石器時代 約2万年前	最長13.7	菊川町 山ノ口遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	3		ナイフ型石器	後期旧石器時代 約2万年前	長3.9	下関市 綾羅木郷台地遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	4		ナイフ型石器	後期旧石器時代 約2万年前	長3.5	豊浦町 高野遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	5		ナイフ型石器	後期旧石器時代 約2万年前	最長5.8	油谷町 雨乞台遺跡	小野田市歴史民俗資料館
	6		せんとうき 尖頭器	後期旧石器時代 約2万年前	最長7.6	油谷町 雨乞台遺跡	小野田市歴史民俗資料館
	7		さいせきじん 細石刃・石核	後期旧石器時代 2万～1万3千年前	石核長2.4	宇部市 長舛遺跡	小野田市歴史民俗資料館
生活の場の広がり	8		おしがなもん ど き へん 押型文土器片	縄文時代早期 9000～1万年前	最大長6.1	防府市 大將軍遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	9		ふかばち 深鉢	縄文時代前期 5000～6000年前	最大高20.6	下関市 梶栗浜遺跡	下関市立考古博物館
	10		じょうもん ど き へん 縄文土器片	縄文時代後期 3000～4000年前	最大幅13.6	下関市 神田遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	11		ふかばち・あさばち 深鉢・浅鉢	縄文時代後～晚期 約3000年前	最大高26.1	平生町 岩田遺跡	平生町歴史民俗資料館
	12		いしゃり 石檜	縄文時代後～晚期 約3000年前	長11.9	秋吉町 国秀遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	13		せきぞく 石鍬	縄文時代晚期 約3000年前	最長2.5	楠町上 原田遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	14		いしごわ 石鍬	縄文時代後～晚期 約3000年前	最長14.6	豊浦町 吉永遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	15		いしこま 石鎌	縄文時代後～晚期 約3000年前	最長17.5	平生町 岩田遺跡	平生町歴史民俗資料館
	16		つりばり 釣針	縄文時代後～晚期 約3000年前	軸部長6.2	下関市 六連島遺跡	下関市立長府博物館
	17	長門市	つりばり 釣針	縄文時代	長6.8	長門市 白潟遺跡	個人
	18		どぐう 土偶	縄文時代後～晚期 約3000年前	幅7.5	豊浦町 吉永遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	19		どぐう 土偶	縄文時代後～晚期 約3000年前	幅4.7	下関市 神田遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	20		がんばん 岩版	縄文時代後～晚期 約3000年前	長7.2	平生町 岩田遺跡	平生町歴史民俗資料館
	21		けつじょうみみかわ 块状耳飾	縄文時代前期 5000～6000年前	径2.9	美東町 三角原遺跡	秋吉台科学博物館
	22		どき せっけん 土器・石剣他	弥生時代前期 約2300年前	石剣幅5.0	豊北町 沖田遺跡	土井ヶ浜・人類学ミュージアム

弥生人の多様な生活	23	縁壺	弥生時代前期 約2200年前	高14.7	豊浦町 中ノ浜遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	24	県指定縁壺	弥生時代前期 約2100年前	高28.9	下関市 綾羅木郷遺跡	下関市立考古博物館
	25	ジョッキ形土器	弥生時代中期 約2000年前	高15.2	周東町 河池遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	26	県指定長頸壺	弥生時代中期 約2000年前	高26.6	豊北町 土井ヶ浜遺跡	土井ヶ浜・人類学ミュージアム
	27	器台	弥生時代後期 約1900年前	推定高48	熊毛町 天王遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	28	頭骨（男・女）	弥生時代前～中期 2000～2100年前		豊北町 土井ヶ浜遺跡	土井ヶ浜・人類学ミュージアム
	29	陶埴	弥生時代前期 約2100年前	高7.2	下関市 綾羅木郷遺跡	下関市立考古博物館
	30	男根状石製品	弥生時代前期 約2100年前	長16.9	下関市 綾羅木郷台地遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	31	女陰刻石	弥生時代前期 約2100年前	長24.4	下関市 綾羅木郷台地遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	32	貝製腕輪	弥生時代前～中期 2000～2100年前	長10.5	豊北町 土井ヶ浜遺跡	土井ヶ浜・人類学ミュージアム
	33	貝製指輪	弥生時代前～中期 2000～2100年	径2.5	豊北町 土井ヶ浜遺跡	土井ヶ浜・人類学ミュージアム
	34	貝製装身具	弥生時代前～中期 2000～2100年	宝貝形長2.2	豊北町 土井ヶ浜遺跡	土井ヶ浜・人類学ミュージアム
	35	動物形木製品	弥生時代前～中期 約2000年前	鳥形高5.9	阿東町 宮ヶ久保遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	36	船形土製品	弥生～古墳時代 1700～1800年前	最大長11.0	豊浦町 吉永遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	37	甕	弥生時代中期 約2000年前	高20.5	宇都市 沖ノ山遺跡	宇都市立図書館附属資料館
	38	半兩銭・五銖銭	弥生時代中期（前漢） 約2000年前	最大径2.6	宇都市 沖ノ山遺跡	宇都市立図書館附属資料館
	39	銅矛	弥生時代中～後期 約2000年前	長76.5	豊田町 (伝)華山山頂	神上寺
	40	重文 多鈕細文鏡（複製）	弥生時代前期 約2100年前	径8.8	下関市 梶栗浜遺跡	東京国立博物館 【下関市立考古博物館】
	41	重文 銅劍（複製）	弥生時代前期 約2100年前	長34.0	下関市 梶栗浜遺跡	東京国立博物館 【下関市立考古博物館】
	42	重文 蓋弓帽（複製）	弥生時代中期 2000～2100年	長11.0	下関市 地蔵堂遺跡	東京国立博物館 【下関市立考古博物館】
	43	ガラス容器片	弥生時代後期 約1900年前	幅0.8	秋芳町 中村遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	44	トンボ玉	弥生時代後期 約1800年前	長0.9	豊北町 甲殿遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	45	県指定アマゾナイト製勾玉	弥生時代前～中期 2000～2100年前	長1.5	下関市 綾羅木郷遺跡	下関市立考古博物館
古墳をつくった時代	46	県指定内行花文鏡	古墳時代前期 約1800年前	径9.1	田布施町 国森遺跡	田布施町郷土資料館
	47	重文 三角縁神獣鏡（複製）	古墳時代前期 約1800年前	径22.6	新南陽市 竹島古墳	個人【新南陽市教育委員会】
	48	県指定三角縁神獣鏡他	古墳時代前期 約1700年前	最大径21.6	山陽町 長光寺山古墳	山陽町立厚狭図書館
	49	県指定鍬形石	古墳時代前期 約1700年前	長16.4	山陽町 長光寺山古墳	山陽町立厚狭図書館
	50	鼈竜鏡（複製）	古墳時代前期 約1700年前	径44.5	柳井市 茶臼山古墳	東京国立博物館 【柳井市教育委員会】
	51	短甲	古墳時代中期 1500～1600年前	高40.0	山口市 天神山古墳	山口県立山口博物館
	52	角杯形土器	古墳時代中期 1500～1600年前	高16.7	田布施町 明地遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	53	須恵器・玉類他	古墳時代後期 約1400年前	大提瓶高30.9	山口市 大浦3号墳	山口県埋蔵文化財センター
	54	環頭柄頭	古墳時代後期 1400～1500年前	最大幅6.8	萩市 円光寺古墳	萩市郷土博物館

	55	杏葉	古墳時代後期 1400～1500年前	長9.6	防府市 片山古墳	山口県立山口博物館
	56	子持勾玉	古墳時代後期 1400～1500年前	長12.5	豊浦町 高野遺跡	豊浦町教育委員会
	57	子持勾玉	古墳時代後期 1400～1500年前	長9.5	秋芳町 松ヶ迫遺跡	秋吉台科学博物館
	58	蜻蛉形土器	古墳時代後期 1400～1500年前	最大長9.3	小野田市 本山海岸	小野田市歴史民俗資料館
	59	竈	古墳時代後期 1400～1500年前	高39.6	豊浦町 高野遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	60	壺	古墳時代後期 約1400年前	高18.1	長門市 塚原横穴墓群	長門市教育委員会
銅の生産と鑄錢	61	銅塊	古墳時代後期 1300～1400年前	長4.5	秋芳町 中村遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	62	陶質土器無蓋高杯	古墳時代後期 1300～1400年前	高8.8	秋芳町 国秀遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	63	銅鉛石・生産用具他	奈良時代 1200～1300年前	銅鉛石最大幅 18.9	美東町 長登銅山跡	美東町教育委員会
	64	スラグ	奈良時代 1200～1300年前	最大幅33.0	美東町 長登銅山跡	美東町教育委員会
	65	木簡(複製)	奈良時代 1200～1300年前	最大長68.5	美東町 長登銅山跡	美東町教育委員会
	66	重文 和同開珎・錢范	奈良時代 1200～1300年前	錢径2.4	下関市 長門銅錢所跡	下関市立長府博物館
	67	鉛塊	平安時代 1000～1100年前	長2.7	美東町 平原第II遺跡	美東町教育委員会
	68	轆羽口・埴堀	平安時代 1100～1200年前	埴堀口径19.0	山口市 周防銅錢司跡	山口市教育委員会
	69	印影粘土板	平安時代 約1200年前	厚3.3	山口市 周防銅錢司跡	山口市教育委員会
	70	土豚	奈良時代 1200～1300年前	長11.3	日置町 荒人遺跡	日置町教育委員会
古代の役所と寺	71	土馬	奈良時代 1200～1300年前	長12.0	豊浦町 下岡田遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	72	土製模造品	奈良時代 1200～1300年前	指輪径2.5	秋芳町 国秀遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	73	軒丸瓦・軒平瓦	白鳳～奈良時代 1200～1320年前	軒丸瓦径20.4	長門市 長門深川廃寺	山口県埋蔵文化財センター
	74	軒丸瓦・軒平瓦	奈良時代 1200～1300年前	軒丸瓦径17.3	防府市 周防國分寺	防府市教育委員会
	75	軒丸瓦・軒平瓦	奈良時代 1200～1300年前	軒丸瓦径17.5	下関市 長門國分寺跡	下関市教育委員会
	76	県指定 鎧帶	奈良～平安時代 1200～1300年前	鉢尾長6.1	萩市 三島ジーコンボ古墳群	萩市教育委員会
	77	青磁碗(越州窯)	奈良～平安時代 約1200年前	最大径17.5	防府市 周防國府跡	防府市教育委員会
	78	綠釉陶器碗・トチン	平安時代 1100～1200年前	碗最大径15.7	山口市 東禪寺・黒山遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	79	綠釉陶器碗	平安時代 1100～1200年前	最大径15.2	防府市 周防國府跡	防府市教育委員会
	80	県指定 銅製経筒	平安時代 800～900年前	高34.3	防府市 井上山経塚	防府市教育委員会
中世の民衆と城館	81	県指定 銅製経筒	平安時代 800～900年前	高30.1	山陽町 物見山経塚	山陽町教育委員会
	82	県指定 白磁四耳壺・合子他	平安時代 800～900年前	四耳壺高22.7	山陽町 妙徳寺山経塚	山陽町教育委員会
	83	金造菩薩形坐像(複製)	平安時代 800～900年前	高4.3	徳山市 日尾山出土	楞巖寺【徳山市美術博物館】
	84	青磁碗・白磁碗	鎌倉時代 約800年前	最大径17.1	むつみ村 岡田・江良遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	85	陶器壺(含銅錢500)	鎌倉時代 600～700年前	壺高38.0	防府市 下右田遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	86	小仏像	室町時代 500～600年前	高3.8	阿知須町 赤迫遺跡	山口県埋蔵文化財センター

	87	はじきつき 土師器杯	室町時代 約500年前	最大径14.8	山口市 大内氏館跡	山口市歴史民俗資料館
	88	せいじ さら はくじ じはい 青磁皿・白磁耳杯他	室町時代 約500年前	最大径14.8	山口市 大内氏館跡	山口市歴史民俗資料館
	89	がしつび きあしなべ 瓦質土器足鍋他	室町時代 400~500年前	足鍋口径26.9	防府市 下右田遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	90	いしなべみ せいひん 石鍋未製品他	室町時代 600~800年前	石鍋最大幅29.2	宇都市下 請川南遺跡	山口県埋蔵文化財センター
長州藩の時代	91	とうじき まめいたぎん 陶磁器類・豆板銀他	江戸時代 300~400年前	甕高27.4	萩市 萩城跡（外堀地区）	山口県埋蔵文化財センター
	92	げいこつ 鯨骨	江戸時代 300~400年前	幅40.5	萩市 萩城跡（外堀地区）	山口県埋蔵文化財センター
	93	かんえいつうほう 寛永通宝・砥石他	江戸時代 約400年前	銭径2.5	美東町 錢屋遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	94	じき わん じゅうだん 磁器碗・銃弾	江戸時代 約130年前	碗口径9.4	下関市 奇兵隊陣屋跡	山口県埋蔵文化財センター
	95	かいゆうわん 灰釉碗・皿	江戸時代 約400年前	皿口径13.5	萩市 萩焼古窯跡群	山口県埋蔵文化財センター
顔・顔・顔	96	じんめん ど せいひん 人面土製品	弥生時代前期 約2100年前	長8.7	下関市 綾羅木郷台地遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	97	ふんどうがな ど せいひん 分銅形土製品	弥生時代中期 約2000年前	幅16.2	田布施 町明地遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	98	ふんどうがな ど せいひん 分銅形土製品	弥生時代中期 約2000年前	幅4.4	熊毛町 追迫遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	99	ふんどうがな ど せいひん 分銅形土製品	弥生時代中期 約2000年前	幅9.1	防府市 井上山遺跡	防府市教育委員会
	100	じんめん ど せいひん 人面土製品	奈良~平安時代 1100~1300年前	高4.2	山口市 赤妻遺跡	山口県埋蔵文化財センター
	101	じんめんばくしょいし 人面墨書き	奈良時代 1200~1300年前	長径13.2	防府市 周防国府跡	防府市教育委員会
	102	かっせきせいひとがな 滑石製人形	平安時代 900~1000年前	長6.3	防府市 周防国府跡	防府市教育委員会
	103	ねつけ 根付	江戸時代 300~400年前	長4.2	萩市 萩城跡（外堀地区）	山口県埋蔵文化財センター

シリーズ山東文物 2 黄河の酒神展

会期

第Ⅰ期：平成11（1999）年12月4日（土）

～平成12（2000）年1月9日（日）

会場 展示室1・2

第Ⅱ期：平成12（2000）年1月15日（土）

～平成12（2000）年3月20日（月）

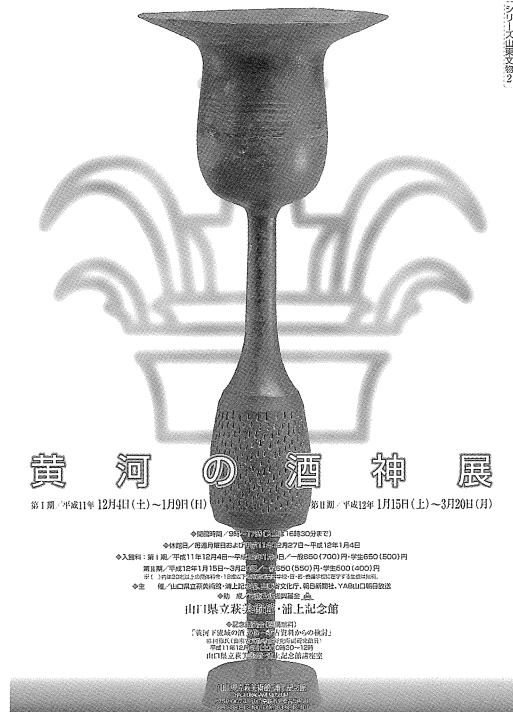
会場 展示室3・5

主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、山東省文化庁、

朝日新聞社、YAB山口朝日放送

助成 芸術文化振興基金

シリーズ山東文物2



（1）趣旨

昨年より始まった山東省からの借用文物を紹介するシリーズ山東文物の第2弾。今回は、大汶口文化～漢代までの山東省内の各遺跡から出土した酒器、酒道具、約100点を集めて展示。中国においては、新石器時代からすでに飲酒の習慣が存在し、殷商時代には、祭祀や祖先崇拜のなかで、神と人間とを結びつける重要な道具として、酒は欠かせない存在だった。その後、周、春秋・戦国時代を経て、酒は依然、儀礼と強い関係を持ちながらも、次第に食文化の一端として身近に親しまれるものへと変容して行く。「酒器」というモノを時代ごとに見ていくことで、各時代の人々の酒との関わり方、ひいては精神性を窺い知る事ができるのではないだろうか。

（2）カタログ

監修 由 少平

編集・発行 山口県立萩美術館・浦上記念館

内容 ごあいさつ 山口県立萩美術館・浦上記念館

酒文化と酒器の変遷

中国酒の歴史 孫 波

中国古代の酒と祭祀 鄭 同修

参考文献

出品目録

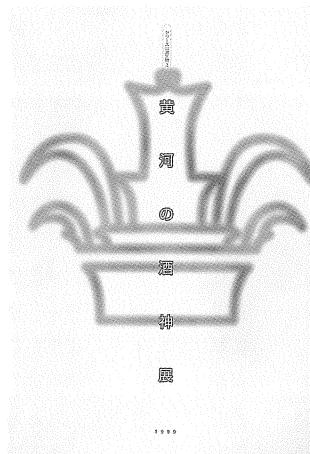
体裁 A4判 63ページ

（3）記念講演会

日時 平成11（1999）年12月4日（土） 10:30～12:00

演題 「黄河下流域の酒文化—考古資料からの検討」

講師 鄭 同修（山東省文物考古研究所副研究員）



(4) ギャラリーツアー

日時 平成11（1999）年12月11日(土)、12月25日(土)、平成12（2000）年1月8日(土)、1月15日(土)、
1月29日(土)、2月5日(土)、2月19日(土)、3月4日(土)、3月18日(土) 11:00～12:00
担当 上田秀夫（学芸課長） 藤村忠範（学芸課専門学芸員）

(5) 出品目録

作品番号	作品名	借用先名	出土地	時代	法量 (cm)
1	陶鼎	山東省文物考古研究所	1978年泰安市大汶口遺跡H24	北辛文化	h:29.2 d:33.2 D:34.8
2	陽刻文陶三足罐	山東省文物考古研究所	1978年泰安市大汶口遺跡M2018	大汶口文化	h:10.8 d:9.2 D:13.2
3	彩陶釜	山東省文物考古研究所	1978年泰安市大汶口遺跡M2007	大汶口文化	h:30.8 d:32.4 D:41.2
4	彩陶鉢	山東省文物考古研究所	1975年茌平県尚莊遺跡採集品	大汶口文化	h:8.0 d:14.0
5	彩陶壺	山東省文物考古研究所	1974年泰安市大汶口遺跡M1014出土	大汶口文化	h:16.5 d:6.8 D:14.0
6	彩陶觚形杯	山東省文物考古研究所	1978年泰安市大汶口遺跡M2012	大汶口文化	h:19.5 d:11.2
7	彩陶觚形杯	山東省文物考古研究所	1978年泰安市大汶口遺跡M2011出土	大汶口文化	h:27.2 d:11.0
8	黑陶觚形杯	山東省文物考古研究所	1978年泰安市大汶口遺跡M2005	大汶口文化	h:30.7 d:14.5
9	厚胎陶高柄杯	山東省文物考古研究所	1979年莒縣陵陽河遺跡M26	大汶口文化	H:21.8 d:8.6
10	厚胎陶高柄杯	山東省文物考古研究所	1979年莒縣大朱家村遺跡M22	大汶口文化	H:19.8 d:8.2
11	黑陶高足杯	山東省文物考古研究所	1974年泰安市大汶口遺跡M1014	大汶口文化	h:19.2 d:7.2
12	陶圈足杯	山東省文物考古研究所	1978年泰安市大汶口遺跡M2018	大汶口文化	H:21.9 d:11.2
13	陶背壺	滕州市博物館	1992年滕州市西康留遺跡M3	大汶口文化	H:27.0 d:9.5 D:12.5
14	陶瓶	滕州市博物館	1992年滕州市西康留遺跡M10出土	大汶口文化	H:25.6 d:9.8
15	陶瓶	滕州市博物館	1992年滕州市西康留遺跡採集	大汶口文化	H:34.0 d:13.5
16	陶觚形杯	滕州市博物館	1992年滕州市西康留遺跡採集	大汶口文化	H:31.2 d:9.5
17	陶高足杯	山東省文物考古研究所	1976年茌平県尚莊遺跡M27	大汶口文化	h:15.0 d:8.0
18	陶高足杯	山東省文物考古研究所	1976年茌平県尚莊遺跡M26	大汶口文化	h:11.0 d:6.5
19	陶高足杯	山東省文物考古研究所	1976年茌平県尚莊遺跡M7	大汶口文化	h:13.0 d:6.0
20	薄胎陶高柄杯	山東省文物考古研究所	1979年莒縣陵陽河遺跡M1	大汶口文化	h:20.0 d:7.5
21	薄胎陶高柄杯	山東省文物考古研究所	1979年莒縣大朱家村遺跡M18	大汶口文化	h:27.0 d:7.8
22	陶蓋罐	山東省文物考古研究所	1979年莒縣大朱家村遺跡M18	大汶口文化	H:22.6 d:13.4
23	黑陶盃	山東省文物考古研究所	1979年莒縣陵陽河遺跡M17	大汶口文化	h:22.5 d:12.5
24	彩陶鬶形杯	山東省文物考古研究所	1995年廣饒県傳家遺跡M333	大汶口文化	h:15.0 d:9.0
25	陶鬶形杯	山東省文物考古研究所	1979年莒縣陵陽河遺跡M6	大汶口文化	h:11.5 d:6.8
26	陶鬶形杯	山東省文物考古研究所	1979年莒縣陵陽河遺跡M17	大汶口文化	h:17.7 d:8.5
27	陶鬶形杯	山東省文物考古研究所	1979年莒縣大朱家村遺跡M18	大汶口文化	h:14.5 d:7.2
28	陶小把杯	山東省文物考古研究所	1975年茌平県尚莊遺跡M18	大汶口文化	h:8.0 d:7.0
29	黑陶单耳杯	山東省文物考古研究所	1976年茌平県尚莊遺跡H212	龍山文化	h:10.0 d:7.2
30	陶单耳杯	山東省文物考古研究所	1982年淄博市臨淄田曜遺跡H5	龍山文化	h:14.0 d:8.5
31	卵殼陶高柄杯	山東省文物考古研究所	1974年日照市東海峪遺跡	龍山文化	h:22.6 d:9.0
32	卵殼陶高柄杯	山東省文物考古研究所	1986年兗州市西吳寺遺跡M6	龍山文化	h:17.2 d:11.8
33	陶高柄杯	山東省文物考古研究所	1986年兗州市西吳寺遺跡M1003	龍山文化	h:14.7 d:13.0
34	陶鬶	山東省文物考古研究所	1986年兗州市西吳寺遺跡H584	龍山文化	H:31.2
35	陶罍	山東省文物考古研究所	1990年章丘市城子崖遺跡T302・L層出土	龍山文化	h:29.5 d:12.5
36	銅觚	山東省文物考古研究所	1986年青州市蘇埠屯遺跡M7	商	h:26.2 d:16.1
37	銅尊	山東省文物考古研究所	1986年青州市蘇埠屯遺跡M8	商	h:25.6 d:21.2
38	銅觚	山東省文物考古研究所	1986年青州市蘇埠屯遺跡M8	商	h:26.4 d:15.6
39	銅斝	滕州市博物館	1982年滕州市呂樓遺跡採集	商	H:21.2 d:14.5
40	銅斝	滕州市博物館	1979年滕州市大康留遺跡	商	H:23.8 d:14.3
41	銅爵	山東省文物考古研究所	1986年青州市蘇埠屯遺跡M7	商	H:19.7
42	銅爵	山東省文物考古研究所	1986年青州市蘇埠屯遺跡M8	商	H:21.0
43	銅觶	山東省文物考古研究所	1986年青州市蘇埠屯遺跡M8	商	H:18.7
44	銅罍	山東省文物考古研究所	1986年青州市蘇埠屯遺跡M8	商	h:30.4 d:15.4
45	銅卣	山東省文物考古研究所	1986年青州市蘇埠屯遺跡M8	商	H:35.0 d:12.0
46	銅斗	山東省文物考古研究所	1986年青州市蘇埠屯遺跡M8	商	H:17.5

47	銅壘	山東省文物考古研究所	1986年青州市蘇埠屯遺跡M8	商	H:35.2 d:19.6
48	銅円鼎	山東省文物考古研究所	1986年青州市蘇埠屯遺跡M8	商	H:25.1 d:19.5
49	銅方鼎	山東省文物考古研究所	1986年青州市蘇埠屯遺跡M8	商	H:21.5
50	銅簋	山東省文物考古研究所	1986年青州市蘇埠屯遺跡M8	商	h:21.7 d:25.3
51	陶罐	山東省文物考古研究所	1986年青州市蘇埠屯遺跡M7	商	h:8.1 d:6.0
52	陶爵	山東省文物考古研究所	1986年青州市蘇埠屯遺跡M7	商	H:9.4 d:8.1
53	銅盃	山東省文物考古研究所	1985年済陽縣劉台子遺跡M6	西周	H:19.1 d:10.0
54	銅舟	山東省文物考古研究所	1985年滕州市薛國故城遺跡M115	東周(春秋)	h:7.6
55	銅鳥形杯	滕州市博物館	1982年滕州市莊里西遺跡	東周(春秋)	d:5.3
56	銅扁壺	山東省文物考古研究所	1984年沂水縣劉家店子遺跡	東周(春秋)	H:14.0
57	銅鑪	山東省文物考古研究所	1978年沂水縣劉家店子遺跡M2	東周(春秋)	H:54.0 d:22.7
58	銅提梁壺	山東省文物考古研究所	1975年莒南縣大店M1	東周(春秋)	H:43.5 d:12.0
59	銅膝候簋	滕州市博物館	1982年滕州市莊里西遺跡墓葬	東周(春秋)	H:28.0 d:20.0
60	銅簠	濟寧市博物館	1978年滕州市薛國故城遺跡M1	東周(春秋)	H:17.5
61	銅簋	濟寧市博物館	1978年滕州市薛國故城遺跡M1	東周(春秋)	H:18.0
62	銅鼎	濟寧市博物館	1978年滕州市薛國故城遺跡M2	東周(春秋)	H:37.5 d:24.3
63	銅舟	山東省文物考古研究所	臨淄縣採集	東周(戰國)	H:14.0
64	銅扁壺	濟寧市博物館	1976年滕州市薛國故城遺跡M1	東周(春秋)	h:28.8
65	銅鋗	山東省文物考古研究所	1992年淄博市臨淄勇士區M1	東周(戰國)	H:23.8
66	銅提梁壺	山東省文物考古研究所	1996年淄博市臨淄相家墓地M6	東周(戰國)	H:43.2 d:9.5
67	銅罍	山東省文物考古研究所	1996年淄博市臨淄相家墓地M6	東周(戰國)	H:31.5 d:15.7
68	陶簋	滕州市博物館	1982年滕州市莊里西遺跡	東周(戰國)	H:28.0 d:13.0
69	陶簋	滕州市博物館	1982年滕州市莊里西遺跡	東周(戰國)	H:28.0 d:13.0
70	陶鋗	濟寧市博物館	1978年滕州市薛國故城遺跡M5	東周(戰國)	H:42.0
71	陶鋗	濟寧市博物館	1978年滕州市薛國故城遺跡M5	東周(戰國)	H:42.0
72	陶犧尊	山東省文物考古研究所	1996年淄博市臨淄相家墓地M6	東周(戰國)	H:32.3 L:46.5
73	銅斗	山東省文物考古研究所	1992年淄博市臨淄勇士區M1	東周(戰國)	L:21.7
74	彩繪陶壺	山東省文物考古研究所	1985年淄博市臨淄生活區M011	前漢	H:32.0 d:11.7
75	彩繪陶盒	濟寧市博物館	1991年採收品	前漢	H:9.5 d:16.6
76	陶扁壺	山東省文物考古研究所	1997年寒亭區後埠下M79	前漢	h:22.0 d:8.8
77	硬陶壺	山東省文物考古研究所	1992年淄博市臨淄勇士區M87	前漢	h:36.5 d:12.0
78	双耳罐	濟寧市博物館	1987年微山縣漢墓	後漢	H:23.0 d:10.5
79	陶羊尊	濟寧市博物館	1984年濟寧市師專漢墓	後漢	H:25.5
80	陶盒	山東省文物考古研究所	1985年淄博市臨淄金嶺M1	後漢	H:21.0
81	陶奩	山東省文物考古研究所	1985年淄博市臨淄金嶺M1	後漢	H:20.4 d:22.8
82	陶尊	山東省文物考古研究所	1985年淄博市臨淄金嶺M1	後漢	H:26.4 d:28.5
83	白陶扁壺	山東省文物考古研究所	1997年寒亭區後埠下M27	後漢	h:26.2 d:12.0
84	陶耳杯	山東省文物考古研究所	1997年淄博市臨淄金茵區M93	後漢	h:3.2
85	陶漏缸	山東省文物考古研究所	1979年莒縣陵陽河遺跡M17	大汶口文化	h:40.5 d:58.0
86	黑陶盆	山東省文物考古研究所	1979年莒縣陵陽河遺跡M21	大汶口文化	h:6.7 d:27.0
87	陶大口尊	山東省文物考古研究所	1979年莒縣陵陽河遺跡M17	大汶口文化	h:57.5 d:44.5
88	陶尊	山東省文物考古研究所	1979年莒縣大朱家村遺跡M17	大汶口文化	h:36.4 d:16.7
89	陶尊	山東省文物考古研究所	1990年章丘市城子崖遺跡H633	龍山文化	h:25.5 d:23.0
90	陶罍	山東省文物考古研究所	1990年章丘市城子崖遺跡	龍山文化	H:79.0 d:36.5
91	陶甗	山東省文物考古研究所	1982年淄博市臨淄田曜遺跡H5	龍山文化	H:115.0 d:44.5
92	銅甗	山東省文物考古研究所	1985年濟陽縣劉台子遺跡M6	西周	H:46.6 d:29.5
93	陶罐	山東省文物考古研究所	1990年章丘市女郎山M17	前漢	h:36.3 d:17.4
94	陶罐	濟寧市博物館	1988年濟寧市師專墓地M10	前漢	h:33.8 d:14.0
95	陶罐	山東省文物考古研究所	1990年章丘市女郎山M11	前漢	h:38.5 d:17.5
96	銅竈	濟寧市博物館	1968年濟寧市西郊苗圃漢墓	前漢	H:38.0

※法量については、「d」は口径、「h」は高さ、「D」は腹径、「H」は全高、「L」は全長を表す。

唐皇帝からの贈り物 中国法門寺地下宮殿の秘宝展

会期 平成12（2000）年4月1日（土）～5月7日（日）

会場 展示室3・4・5・6

主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、
YAB山口朝日放送、陝西省文物事業管理局、
陝西省文物展覧公司

出展協力 法門寺博物館、陝西歴史博物館、

陝西省考古研究所、西安市文物保护考古所

後援 外務省、中国大使館、萩市、KBC九州朝日放送

協力 日本通運、中国西北航空、裏千家

企画協力 日中文物事業協議会



(1) 趣旨

7世紀後半、世界最大の版図を誇った大唐帝国。その都であった長安（現陝西省西安市）の西約120kmの扶風県にある法門寺は、インドのアショーカ（阿育）王が分納したと伝える仏舍利（釈迦の真骨）が中国で最初に定居した寺として、歴代皇帝が帰依するなど多くの信仰を集めた名刹である。1987年の寺塔再建調査の際、唐代の地下宮殿（地宮）が現れ、仏舍利をはじめとするおびただしい数の文物が発見された。およそ1100年をへてこの世によみがえった品々は、唐朝文化の優雅さや唐代社会の繁栄がしのばれる第一級の工芸品であった。本展は、初めて確認された幻のやきもの「秘色青磁」、我が国遣唐使も将来したと考えられる喫茶道具、金銀の舍利容器など、法門寺出土の秘宝70件を中心に唐代文化の精華をつたえる文物120件を紹介した。

(2) カタログ

編集・発行 新潟県立近代美術館、朝日新聞社文化企画局、博報堂

内容 ごあいさつ 平山郁夫

賀辞 程 安東

賀辞 張 廷皓

巻頭論文

唐代文化 妹尾達彦

帝王の動産について 前川誠郎

法門寺地宮考古記 韓 偉（翻訳・構成：氣賀澤保規）

地図

大唐帝国境域図

陝西省文物出土地点関係図

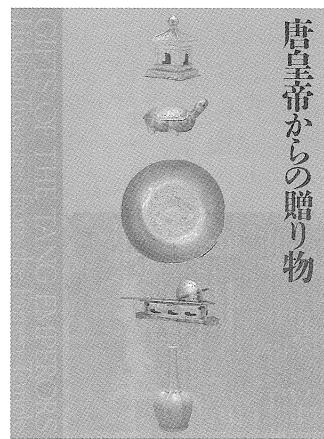
西安移籍文物所在図

法門寺地宮断面図

図版

I章 舎利の莊嚴（扉解説：松本伸之）

II章 茶道の原点（扉解説：高橋忠彦）



Ⅲ章 秘色青磁とその周辺（扉解説：出川哲朗）

Ⅳ章 唐宮廷文化の香り（扉解説：松本伸之）

（作品解説 松本伸之、谷一尚、森達也、出川哲朗）

卷末論文

法門寺の歴史と舍利供養 氷賀澤保規

資料解説

「衣物帳」（氣賀澤保規）

「真身誌文」（氣賀澤保規）

唐代の喫茶と法門寺出土の茶具 高橋忠彦

法門寺出土の秘色青磁 出川哲朗

法門寺地宮出土の金銀器 松本伸之

出品目録

英文目録

法門寺史関係略年表（氣賀澤保規）

法門寺関係文献一覧（氣賀澤保規）

体裁 A4判変形 210ページ

(3) 記念講演会

①日時 平成12（2000）年4月1日（土）10：30～12：00

演題 「唐代文化のモニュメント—法門寺地宮の宝物—」

講師 松本伸之（東京国立博物館学芸部企画課列品室長）

②日時 平成12（2000）年4月15日（土）14：00～15：30

演題 「秘色青磁について」（兼、平成12年度美術講座第1回）

講師 出川哲朗（大阪市立東洋陶磁美術館学芸課長）

③日時 平成12（2000）年4月29日（土）14：00～15：30

演題 「法門寺の仏教美術」

講師 長谷川道隆（元萩女子短期大学教授、安養寺住職）

(4) ギャラリーツアー

①ギャラリーツアー

日時 毎週日曜日 11：00～12：00

担当 石崎泰之（学芸課主任）

②子どものためのギャラリーツアー

日時 平成12（2000）年5月5日（子どもの日）午前10：00～11：00、午後13：00～14：00

担当 石崎泰之（学芸課主任）

(5) 出品目録

番号	作品名称	員数	時代	年代	生産窯	出土年・出土地・採集地	所蔵先名
1	金 塔形函	1基	唐	9c		1987年法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
2	石造貴石貼付 鴛鴦宝相華文函	1口	唐	9c		1987年法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
3	金貴石貼付 宝相華文函	1口	唐	9c		1987年法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
4	金 仏菩薩像函	1口	唐	9c		1987年法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
5	銀鍍金 仏菩薩像函	1口	唐	9c		1987年法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
6	銀 函	1口	唐	9c		1987年法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
7	銀鍍金 菩薩坐像	1躯	唐	9c		1987年法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
8	銀鍍金 二菩薩二天王双鳳文棺	1基	唐	9c		1987年法門寺塔基地宮中室	法門寺博物館
9	靈芝雲花鳥文様錦	5片	唐	9c		1987年法門寺塔基地宮中室	法門寺博物館

10	金函（舍利容器）	1口	唐	咸通12年（871）	1987年法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
11	銀函（舍利容器）	1口	唐	咸通12年（871）	1987年法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
12	石造 函	1口	唐	開元29年（741）	1987年法門寺塔基地宮前室	法門寺博物館
13	ガラス 方瓶（舍利容器）	1対	唐	9c	1971年西安市東郊秦川廠	西安市文物保護考古研究所
14	銀鍍金 混槃圖棺（舍利容器）	1基	唐	9c	1971年 西安市東郊秦川廠	西安市文物保護考古研究所
15	石造 四神圖櫈（舍利容器）	1基	唐	9c	1971年 西安市東郊秦川廠	西安市文物保護考古研究所
16	石造彩色 天王坐像	2軀(4軀の内)	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮の後室・中室	法門寺博物館
17	石造彩色 獅子	1軀(2軀の内)	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮前室	法門寺博物館
18	金「迎真身」鉢	1口	唐	咸通14年（873）	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
19	銀鍍金 団華文鉢	1口	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
20	銀鍍金 团華文鉢	1口	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
21	銀鍍金 人物禽獸文高脚香入れ	1口(2口の内)	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
22	銀鍍金 犀磨蓮弁文闕伽瓶	1口	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
23	銀鍍金 蓮華形碗	1口(2口の内)	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
24	銀鍍金 唐草文柄杓	1柄	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
25	銀 蓮弁文六曲香炉	1口	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮中室	法門寺博物館
26	青銅 象頭神像付獸脚香炉	1口	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮中室	法門寺博物館
27	銀鍍金 蓮形香炉	1口	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
28	銀 柄香炉	1柄	唐	咸通13年（872）	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
29	青銅 蓋付柄香炉	1柄	唐	8~9c	1971年 西安市北郊白家口	西安市文物保護考古研究所
30	銀 灯	1基	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
31	銀鍍金 仏像文如意	1柄	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
32	銀 如意	1柄	唐	咸通13年（872）	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
33	金 十二環錫杖	1柄	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
34	青銅鍍金 六環錫杖	1柄	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮前室	法門寺博物館
35	銀 机	1基	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
36	銀 蓮華	1基(2基の内)	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
37	水晶 宝珠	1個	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮秘龕	法門寺博物館
38	水晶 宝珠	4個	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮中室	法門寺博物館
39	水晶 蕉形飾り	1対	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
40	水晶 杖	1個	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
41	琥珀 級毘	2個	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
42	玳瑁貨幣（開元通宝）10枚	10枚(13枚の内)	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
43	青銅 貨幣 50枚	50枚	前漢～唐	前2~9c	1987年 法門寺塔基地宮	法門寺博物館
44	青銅鍍金 携帶用諸具	1具	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮前室	法門寺博物館
45	鉄 錠	1個	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮第一門	法門寺博物館
46	銀鍍金 錠	2個	唐	8c	1970年 西安市南郊何家村窖藏	陝西歴史博物館
47	銀鍍金 提梁脚付籠	1口	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
48	銀鍍金 天馬流雲文茶碾	1基	唐	咸通10年（869）	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
49	銀鍍金 花弁流雲文茶碾軸	1本	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
50	銀鍍金 亀形盒	1合	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
51	銀鍍金 パルメット唐草文隔	5口(10口の内)	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
52	銀鍍金 摩端文蓮華形三脚蓋付塗盤	1基	唐	咸通9年（868）	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
53	銀鍍金 飛鴻文匙	1柄	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
54	銀 香匙	1柄	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
55	香木貼金 山岳残片	6片	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
56	ガラス 茶碗	1口	中央アジア	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
57	ガラス 茶托	1基	中央アジア	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
58	銀 五花形脚杯	1口	唐	9c	1958年 耀県柳林背陰村	陝西歴史博物館
59	銀 穂花形托	1枚	唐	9c	1958年 耀県柳林背陰村	陝西歴史博物館
60	青磁 五花形碗	1口	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮中室	法門寺博物館
61	青磁 碗	1口	唐	9c	越州窯 1987年 法門寺塔基地宮中室	法門寺博物館
62	青磁 五花形盤	1枚	唐	9c	越州窯 1987年 法門寺塔基地宮中室	法門寺博物館
63	青磁 八稜形長頸瓶	1口	唐	9c	越州窯 1987年 法門寺塔基地宮中室	法門寺博物館
64	藍ガラス 劇花植物文盤	1枚	西アジア	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館

65 ガラス 貼花文盤口瓶	1口	西アジア	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
66 青磁 四耳壺	1口	隋~唐	6~7c	1971年 西安市長安縣韋曲	西安市文物保護考古研究所
67 白磁 套	1口	唐	8~9c	1989年 西安市東郊國棉五廠 住宅小区M65墓	陝西省考古研究所
68 白地黒花 花下盒	1合	唐	9c	1986年 銅川市黃堡鎮耀州窯址	陝西省考古研究所
69 白地黒花 花文盤	1口	唐	9c	1986年 銅川市黃堡鎮耀州窯址	陝西省考古研究所
70 白地黒花 花文碗	1口	唐	9c	1986年 銅川市黃堡鎮耀州窯址	陝西省考古研究所
71 黒釉 瓶	1基	唐	9c	耀州窯 1985年 銅川市黃堡鎮耀州窯址	陝西省考古研究所
72 黒釉 燭台	1基	唐	9c	耀州窯 1986年 銅川市黃堡鎮耀州窯址	陝西省考古研究所
73 黒釉 水注	1口	唐	9c	耀州窯 1984年 銅川市黃堡鎮耀州窯址	陝西省考古研究所
74 黒釉 琥	1面	唐	9c	耀州窯 1985年 銅川市黃堡鎮耀州窯址	陝西省考古研究所
75 白磁褐彩 珠文瓜形三足壺	1口	唐	9c	耀州窯 1952年 西安市韓森寨	西安市文物保護考古研究所
76 白磁 鸳鴦形二連盒	1合	唐	9c	1983年 西安市沙坡	西安市文物保護考古研究所
77 白磁 把手付杯	3口	唐	9c	1974年 西安市潘家鄉新村	西安市文物保護考古研究所
78 青磁 六耳壺	1口	唐	8c	1975年 西安市六村堡鄉	西安市文物保護考古研究所
79 白磁 壺	1口	唐	8~9c	1984年 西安市洪慶	西安市文物保護考古研究所
80 青磁 碗	1口	唐	9c	越州窯 1972年 西安市東郊長樂坡	西安市文物保護考古研究所
81 青磁 五花形碗	1口	唐~五代	9~10c	耀州窯 1972年 西安市長安縣韋曲	西安市文物保護考古研究所
82 白磁 碗	1口	唐	9c	定窯 1972年 西安市東郊長樂坡	西安市文物保護考古研究所
83 白磁 五花形碗	1口	唐~五代	9~10c	1972年 西安市建國路建設地	西安市文物保護考古研究所
84 白磁 盤	1枚	唐	9c	1985年 西安市北郊火燒壁	西安市文物保護考古研究所
85 白磁 盤	1枚	唐	9c	1985年 西安市北郊火燒壁	西安市文物保護考古研究所
86 白磁 積花盤「官」字銘	1枚	唐~五代	9~10c	定窯 1985年 西安市北郊火燒壁	西安市文物保護考古研究所
87 白磁 五花形盤「官」字銘	1枚	唐~五代	9~10c	定窯 1985年 西安市北郊火燒壁	西安市文物保護考古研究所
88 白磁 五花形盤「官」字銘	1枚	唐~五代	9~10c	定窯 1972年 西安市建國路建設地	西安市文物保護考古研究所
89 白磁 五花形盤「官」字銘	1枚	唐~五代	9~10c	定窯 1985年 西安市北郊火燒壁	西安市文物保護考古研究所
90 白釉魚々子地 刻花牡丹唐草文双耳壺	1口	北宋	10~11c	磁州窯 1972年 西安市韓森寨	西安市文物保護考古研究所
91 銀鍍金 翼鹿鳳凰唐草文盒	1合	唐	8c	1970年 西安市南郊家村窖藏	陝西歷史博物館
92 銀 薬盒 及び 内容品	1具	唐	8c	1970年 西安市南郊何家村窖藏	陝西歷史博物館
93 銀鍍金 宝相華団華文蓋碗	1口	唐	8c	1970年 西安市南郊何家村窖藏	陝西歷史博物館
94 銀 碗	1口	唐	8c	1970年 西安市南郊何家村窖藏	陝西歷史博物館
95 銀 提梁鍋	1口	唐	8c	1970年 西安市南郊何家村窖藏	陝西歷史博物館
96 銀 提梁壺	1口	唐	8c	1970年 西安市南郊何家村窖藏	陝西歷史博物館
97 銀鍍金 蓮華座壺	1口	唐	8c	1970年 西安市南郊何家村窖藏	陝西歷史博物館
98 銀 三脚壺 及び 銀 壺	2口	唐	8c	1970年 西安市南郊何家村窖藏	陝西歷史博物館
99 銀 三脚壺	1口	唐	8c	1970年 西安市南郊何家村窖藏	陝西歷史博物館
100 銀鍍金 六花形花文盤	1枚	唐	8c	1972年 西安市曲江池	西安市文物保護考古研究所
101 銀鍍金 鴛鴦鴻団華文碗	1口	唐	8~9c	1975年 西安市西北工業大學建設地	西安市文物保護考古研究所
102 銀鍍金 石榴団華文碗	1口	唐	8~9c	1975年 西安市西北工業大學建設地	西安市文物保護考古研究所
103 銀鍍金 荷葉形双魚文杯	1口	唐	9c	1975年 西安市城建局交	西安市文物保護考古研究所
104 青銅鍍金 双鳳唐草文五脚盤	1枚	唐	8~9c	1958年 西安駅建設地	西安市文物保護考古研究所
105 銀鍍金 鴛鴦団華文四花形双耳盆	1口	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
106 銀鍍金 団華文五花形皿	5枚(10枚の内)	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
107 銀 五花形渦巻座皿	2枚(3枚の内)	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
108 銀 方盒	1合	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
109 銀鍍金 双鴻文四曲盒	1合	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
110 銀鍍金 火箸	1組	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
111 銀鍍金 花文箸	1組	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
112 銀鍍金 双蜂団華文薰球	1個	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
113 金銀宝玉 頭飾	1具	唐	9c	1988年 咸陽國際空港建設地賀若氏墓	陝西省考古研究所
114 銀鍍金 蝶葉文簪	1対	唐	8~9c	(不詳)	陝西歷史博物館
115 銀 簪	1柄	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
116 銀鍍金 羯磨三鉛杵文臂釧	1対	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
117 銀鍍金 三鉛杵文臂釧	1対(2対の内)	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館
118 銀鍍金 指輪	1個	唐	9c	1987年 法門寺塔基地宮後室	法門寺博物館

119 瑪瑙 鉢	1口	唐	8c	1955年 西安市沙坡青磚廠	西安市文物保護考古研究所
120 白玉 鬼形鎮	1個	唐	9c	1989年 西安市東郊國棉五廠 住宅小区M29	陝西省考古研究所

東京国立近代美術館所蔵 近代の名作 日本画・洋画・版画・彫刻

会期 平成12（2000）年5月13日(土)～6月18日(日)

会場 展示室3・4・5・6

主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、
東京国立近代美術館、毎日新聞社、
TYSテレビ山口

後援 萩市



(1) 趣旨

東京国立近代美術館は、昭和27年（1952）に開館した日本で最初の国立美術館で、本館の美術館のほかに工芸館、フィルムセンターを有し、明治時代から今日までの約100年間にわたる日本や海外の美術工芸品を収蔵している。

今回は、約8,200点を超える同館の収蔵品のなかより、明治中期から昭和中期までの日本画、洋画、版画、彫刻の各ジャンルにわたる代表作81点を出品。

菱田春草「賢首菩薩」、中村彝「エロシエンコ氏の像」の重要文化財2点をはじめ、土田麦僊「舞妓林泉」、上村松園「母子」、和田三造「南風」、萬鉄五郎「裸体美人」、娘麗子を初めてモデルとして描いた岸田劉生の「麗子肖像（麗子五歳之像）」、安井曾太郎の肖像画の代表作「金蓉」、山本鼎「ブルトンヌ」、荻原守衛「坑夫」など、名作による維新後の新しい日本美術の流れをたどることのできる内容であった。

(2) カタログ

編集・発行 東京国立近代美術館

内容 ごあいさつ 主催者

序 近代、あるいは二十世紀の名作について 松本 透

作家略歴・作品解説 市川政憲、一條彰子、大谷省吾、
尾崎正明、藏屋美香、鈴木勝蔵、
千葉成夫、都築千恵子、中林和雄、
吉田 亮、松本 透

日本近代美術年表 水谷長志

作品リスト

体裁 A4判 120ページ



(3) 記念講演会

日時 平成12（2000）年5月13日(土) 10：30～12：00

演題 「近代日本美術の回顧」

講師 松本 透（東京国立近代美術館美術課長）

(4) ギャラリーツアー

日時 毎週日曜日 11：00～12：00

担当 鈴木浩平（学芸課主任）

(5) 出品目録

出品番号	作品名	作家名	形態・材質	制作年	寸法(cm)
1	落葉	黒田清輝	油彩・キャンバス	1891	80.8×63.8 cm
2	草上の小憩	石井柏亭	油彩その他・キャンバス	1904	92.0×137.5 cm
3	夏	中沢弘光	油彩・キャンバス	1907	81.2×60.7 cm
4	南風	和田三造	油彩・キャンバス	1907	151.5×182.4 cm
5	水郷	小杉未醒	油彩・キャンバス	1911	161.0×107.0 cm
6	靴の女	山下新太郎	油彩・キャンバス	1910	71.7×59.8 cm
7	鉄路	川上涼花	油彩・キャンバス	1912	59.0×44.0 cm
8	裸体美人	萬 鐵五郎	油彩・キャンバス	1912	162.0×97.0 cm
9	うつつ	藤島武二	油彩・キャンバス	1913	64.0×52.0 cm
10	バラと少女	村山槐多	油彩・キャンバス	1917	116.5×72.0 cm
11	スクリアヒンの「エクスタシーの詩」に題す	神原 泰	油彩・布	1922	114.6×89.6 cm
12	制作	岡本唐貴	油彩、デ・トランペ・綿布	1924	106.0×72.3 cm
13	麗子肖像（麗子五歳之像）	岸田劉生	油彩・キャンバス	1918	45.3×38.0 cm
14	エロシェンコ氏の像	中村 畿	油彩・キャンバス	1920	45.5×47.2 cm
15	観音	古賀春江	油彩・キャンバス	1921	91.0×72.5 cm
16	Poisson d'Avril（四月馬鹿）	福沢一郎	油彩・キャンバス	1930	80.3×116.5 cm
17	モランの寺	佐伯祐三	油彩・キャンバス	1928	60.0×73.0 cm
18	鉄工場の裏	長谷川利行	油彩・キャンバス	1931	46.0×61.0 cm
19	北京秋天	梅原龍三郎	油彩、岩絵具・紙	1942	88.5×72.5 cm
20	金蓉	安井曾太郎	油彩・キャンバス	1934	96.5×74.5 cm
21	水より上る馬	坂本繁二郎	油彩・キャンバス	1937	80.0×116.2 cm
22	二階つきバス	石垣栄太郎	油彩・キャンバス	1926	76.5×61.0 cm
23	街の掃除夫	清水登之	油彩・キャンバス	1925	81.0×65.0 cm
24	秋のたそがれ	国吉康雄	油彩・キャンバス	1929	102.0×143.0 cm
25	帰路	野田英夫	油彩・キャンバス	1935	97.0×146.0 cm
26	雲の上を飛ぶ蝶	三岸好太郎	油彩・キャンバス	1934	91.5×60.6 cm
27	空港	北脇 昇	油彩・キャンバス	1937	72.5×60.5 cm
28	坑夫	荻原守衛	ブロンズ	1907	47.5×45.5×33.5 cm
29	手	高村光太郎	ブロンズ	1923	38.6×14.5×28.7 cm
30	萩原朔太郎	船越保武	ブロンズ	1955	25.5×21.0×25.0 cm
31	首	仲田定之助	白銅	1924	40.5×20.0×21.5 cm
32	ゆあみ	橋口五葉	木版（多色摺）・紙	1915	40.0×26.5 cm
33	ブルトンヌ	山本 鼎	木版（多色摺）・紙	1920	35.8×28.6 cm
34	疊り日の矢口	川瀬巴水	木版（多色摺）・紙	1919	45.5×16.6 cm
35	風の中の鳩	柳原義達	ブロンズ	1982	58.0×97.5×47.0 cm
36	水亭夜曲（3点組）	織田一磨	リトグラフ・紙	1927	54.5×39.7 cm, 18.2 cm
37	眼のある風景	龜 光	油彩・キャンバス	1938	102.0×193.5 cm
38	ニコライ堂と聖橋	松本竣介	油彩・板	1941	37.7×45.0 cm
39	水鏡	香月泰男	油彩・キャンバス	1942	72.3×116.5 cm
40	母子	山口 薫	油彩・キャンバス	1951	80.0×65.0 cm
41	母子像	麻生三郎	油彩・キャンバス	1959	90.0×71.5 cm

42	犬	須田国太郎	油彩・キャンバス	1950	91.0×73.3 cm
43	れいめい	瑛 九	油彩・キャンバス	1957	80.3×65.2 cm
44	発生	難波田龍起	油彩・キャンバス	1959	130.5×162.0 cm
45	戒厳状態	石井茂雄	油彩・キャンバス	1956	182.0×227.5 cm
46	作品	カサト・トシヲ	油彩・キャンバス	1962	130.5×193.5 cm
47	赤陽	藤牧義夫	木版(多色摺)・紙	1934	41.0×27.0 cm
48	『氷島』の著者 (萩原朔太郎像)	恩地孝四郎	木版(多色摺)・紙	1943	55.4×44.0 cm
49	春の自転車	谷中安規	木版(多色摺)・紙	c.1937~39	20.7×26.7 cm
50	束の間の幻影	駒井哲郎	銅版・紙	1951	17.5×28.5 cm
51	パリの屋根	浜口陽三	銅版・紙	1956	18.4×18.5 cm
52	草花とアカリヨム (アカリヨムの前の草花)	長谷川 潔	銅版・紙	1969	26.4×35.4 cm
53	木の間の秋	下村觀山	紙本彩色・屏風 2曲 1双	1907	各169.5×170.0 cm
54	賢首菩薩	菱田春草	絹本彩色・掛軸 1幅	1907	185.7×99.5 cm
55	極楽井	小林古径	絹本彩色・掛軸 1幅	1912	193.5×100.8 cm
56	東坡三養図	富岡鉄斎	紙本墨画淡彩・掛軸 1幅	1921	132.0×49.5 cm
57	蓬萊仙境図	富岡鉄斎	紙本墨画淡彩・掛軸 1幅	1924	140.5×37.5 cm
58	茶碗と果実	速水御舟	絹本彩色・掛軸 1幅	1921	27.0×24.0 cm
59	出雲江角港	小茂田青樹	紙本彩色・掛軸 1幅	1921	38.7×59.5 cm
60	盜心	川端龍子	絹本墨画・掛軸 1幅	1923	82.6×113.2 cm
61	東山	横山大観	絹本墨画・掛軸 1幅	1924	68.5×101.0 cm
62	宿鴨宿鶴	竹内栖鳳	紙本墨画・掛軸 1幅	1926	92.0×116.0 cm
63	空山清高之図	村上華岳	紙本彩色・掛軸 1幅	c.1935	34.5×55.5 cm
64	母子	上村松園	絹本彩色・額装 1面	1934	168.0×115.5 cm
65	舞妓林泉	土田麦僊	絹本彩色・額装 1面	1924	217.7×102.0 cm
66	涅歎	菊池契月	紙本彩色・額装 1面	1933	159.5×76.5 cm
67	三遊亭円朝像	鏑木清方	絹本彩色・額装 1面	1930	138.5×76.0 cm
68	荒園晴秋	小川芋銭	紙本墨画淡彩・掛軸 1幅	1928	65.2×102.4 cm
69	堅田の一休	平福百穂	紙本彩色・掛軸 1幅	1929	86.0×83.0 cm
70	春宵花影図	松林桂月	絹本墨画・掛軸 1幅	1939	119.3×134.5 cm
71	彩雨	川合玉堂	絹本彩色・掛軸 1幅	1940	87.7×116.7 cm
72	伏見の茶亭	安田觀彦	紙本彩色・掛軸 1幅	1956	109.3×117.5 cm
73	激流	前田青邨	紙本彩色・掛軸 1幅	1944	63.5×87.0 cm
74	道	東山魁夷	絹本彩色・額装 1面	1950	134.4×102.2 cm
75	ウォール街	横山 操	紙本彩色・額装 1面	1962	271.5×136.5 cm
76	冬	加山又造	紙本彩色・額装 1面	1957	128.5×191.5 cm
77	いだく	高山辰雄	紙本彩色・額装 1面	1977	194.5×181.0 cm
78	赤松	徳岡神泉	紙本彩色・額装 1面	1956	157.5×139.5 cm
79	孔雀	杉山 寧	紙本彩色・額装 1面	1956	183.5×152.5 cm
80	O夫人坐像	小倉遊龜	紙本彩色・額装 1面	1953	129.0×103.0 cm
81	閑日	奥村土牛	紙本彩色・額装 1面	1974	73.0×100.0 cm

Trade Ceramics Found in the Philippines

フィリピンにわたった焼きもの

— 青磁と白磁を中心に —

会期 平成12（2000）年6月24日（土）～7月23日（日）

会場 展示室3・4・5・6

主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、

YAB山口朝日放送

後援 萩市、KBC九州朝日放送

協力 財団法人富山佐藤美術館



(1) 趣旨

「関コレクション」は、正式には「アンドリュウ・関・ドゥズィック夫妻コレクション」として知られ、1970年代を中心に夫妻がフィリピンで収集された陶磁器である。コレクションのなかには、唐代から清代までの中国諸地域で生産されたものを中心に、タイ・ベトナム・カンボジア・朝鮮の陶磁器も含む。これらの作品は、これから貿易陶磁研究に大きな課題を投げかけるものである。

コレクション全体をみてみると、いかにフィリピンという国が多様であり、その地理的条件から、南海の交易ネットワークの中で様々な地域の船が行き交った性質をもった地域であった事がというイメージがわいてくる。かつて活況を呈した東南アジアの海上交易の姿を、今回の展覧会の作品ひとつひとつをみていくことで再現したい。

(2) カタログ

編集・発行 財団法人富山佐藤美術館

内容 ごあいさつ 山口県立萩美術館・浦上記念館 館長 足立明男

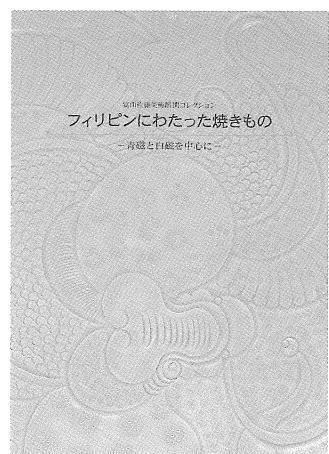
フィリピン出土の中国陶磁 長谷部樂爾

実測図 宮田進一、宮田絵津子

出品目録

関係地図

体裁 A4判 127ページ



(3) 記念講演会

日時 平成12（2000）年6月24日(土) 10:30～12:00

演題 「フィリピン考古学と南海交易」

講師 小川英文（東京外国語大学助教授）

日時 平成12（2000）年7月8日(土) 14:00～15:30

演題 「東南アジアの焼きもの—ベトナム・タイ・クメール」（兼・平成12年度美術講座 第3回）

講師 矢島律子（町田市立博物館学芸員主事）

(4) ギャラリーツアー

日時 毎週日曜日 11:00～12:00（ただし、7月16日を除く）

担当 宮田絵津子（学芸課学芸員）

(5) 出品目録

作品番号	名称1	生産地	時代	法量 (cm)
1	黄釉緑褐彩花文碗	中国・長沙窯	唐 9世紀	h:4.8 d:14.9
2	白磁玉縁碗	中国・邢州窯	唐 9世紀	h:4.4 d:15.0
3	白磁玉縁鉢	中国	五代～北宋 10世紀	h:6.2 d:18.7
4	白磁玉縁碗	中国	北宋 10～11世紀	h:4.6 d:12.7
5	白磁堆線文輪花鉢	中国	五代～北宋 10世紀	h:6.0 d:24.5
6	白磁堆線文鉢	中国	五代～北宋 10世紀	h:5.9 d:18.7
7	白磁陵花鉢	中国	五代～北宋 10世紀	h:4.8 d:18.5
8	白磁輪花鉢	中国	五代～北宋 10～11世紀	h:7.4 d:22.2
9	白磁碗	中国	北宋 11世紀	h:4.0 d:10.4
10	白磁花卉文輪花皿	中国	北宋 11世紀	h:3.5 d:15.7
11	白磁蓮弁文鉢	中国	北宋 10～11世紀	h:7.6 d:21.9
12	白磁蓮弁文碗	中国	北宋 11世紀	h:4.7 d:12.9
13	白磁蓮弁文壺	中国	北宋 11世紀	h:5.7 D:6.8
14	白磁牡丹唐草文鉢	中国	宋 11～12世紀	h:8.3 d:18.3
15	白磁花文鉢	中国	北宋 11～12世紀	h:6.7 d:18.7
16	白磁唐草文鉢	中国	北宋 11～12世紀	h:7.2 d:23.7
17	白磁波文鉢	中国	北宋 11～12世紀	h:7.9 d:21.1
18	白磁波文鉢	中国	南宋 12～13世紀	h:7.1 d:18.2
19	白磁花文皿	中国	南宋 12～13世紀	h:4.7 d:17.6
20	白磁花卉文皿	中国	南宋 12～13世紀	h:4.6 d:20.4
21	白磁陵花盤	中国・景德鎮窯	北宋 11～12世紀	h:7.0 d:31.7
22	白磁輪花盤	中国・景德鎮窯	北宋 11～12世紀	h:5.3 d:30.6
23	白磁高足碗	中国	宋 11～12世紀	h:6.4 d:11.1
24	白磁高足碗	中国	宋 11～12世紀	h:6.6 d:12.3
25	白磁柳斗文碗	中国	南宋 12～13世紀	h:7.6 d:11.6 D:12.8
26	白磁輪花鉢	中国	北宋 11世紀	h:7.2 d:17.4
27	白磁堆線文輪花皿	中国	宋 11～12世紀	h:5.4 d:12.3
28	白磁堆線文輪花皿	中国	宋 11～12世紀	h:3.0 d:12.0
29	白磁堆線文輪花皿	中国	宋 11～12世紀	h:2.1 d:11.2
30	白磁堆線文輪花皿	中国	宋 11～12世紀	h:2.2 d:10.5
31	白磁堆線文輪花皿	中国	宋 11～12世紀	h:2.5 d:11.0
32	白磁盤口瓶	中国・潮州窯	北宋 11世紀	h:12.9 d:5.3 D:7.2
33	白磁水注	中国・潮州窯	北宋 11～12世紀	h:19.8 d:11.4 D:13.3
34	白磁魚形瓶	中国・潮州窯	南宋 12～13世紀	h:17.5 d:4.7 D:11.3
35	白磁水注	中国	南宋 12～13世紀	h:14.7 d:6.6 D:12.8
36	白磁印花文水注	中国・徳化窯	南宋～元 13～14世紀	h:10.0 d:5.8 D:14.6
37	白磁盤口瓶	中国	宋 11～12世紀	h:13.0 d:3.8 D:6.0

38	白磁印花双鹤文碗	中国・德化窑	南宋～元 13～14世纪	h:4.9 d:12.3
39	白磁印花菊文皿	中国・德化窑	南宋～元 13～14世纪	h:2.2 d:12.7
40	白磁輪花皿	中国	南宋～元 13～14世纪	h:3.2 d:10.8
41	白磁瓜形壺	中国	北宋 11～12世纪	h:5.5 d:3.0 D:7.0
42	白磁壺	中国	南宋 12～13世纪	h:9.0 d:4.7 D:12.0
43	白磁瓜形合子	中国	南宋 12～13世纪	h:6.0 D:5.2
44	白磁石榴形合子	中国	南宋 13世纪	h:6.0 D:6.3
45	青磁劃花唐草文鉢	中国・越州窑	五代～北宋 10～11世纪	h:10.8 d:27.8
46	青磁劃花唐草文鉢	中国・越州窑	五代～北宋 10～11世纪	h:10.6 d:26.7
47	青磁六耳壺	中国・越州窑	五代～北宋 10世纪	h:9.3 d:3.0 D:9.0
48	青磁蓮弁文鉢	中国・越州窑系	北宋 10～11世纪	h:6.9 d:15.8
49	青磁花弁文皿	中国・越州窑系	北宋 11世纪	h:5.2 d:18.4
50	青磁花弁文皿	中国・越州窑系	宋 11世纪	h:5.0 d:18.1
51	青磁花弁文壺	中国・越州窑系	北宋 11世纪	h:8.9 d:5.6 D:12.2
52	青磁瓜形壺	中国・越州窑系	北宋 11世纪	h:8.7 d:4.2 D:9.8
53	青磁魚形壺	中国・越州窑系	北宋 11世纪	h:10.6 d:3.6 D:12.0
54	青磁魚形双耳壺	中国・越州窑系	北宋 11世纪	h:5.0 d:2.1 D:6.7
55	青磁魚形四耳壺	中国・越州窑系	北宋 11世纪	h:15.0 d:4.3 D:11.7
56	青磁魚形四耳壺	中国・越州窑系	北宋 11世纪	h:5.6 d:3.8 D:6.4
57	青磁唐草文輪花鉢	中国・越州窑系	北宋 10～11世纪	h:5.0 d:19.6
58	青磁碗	中国・越州窑系	北宋 10～11世纪	h:6.3 d:14.8
59	青磁花文輪花鉢	中国・龍泉窑系	北宋 11世纪	h:8.1 d:19.6
60	青磁花文盤	中国・龍泉窑系	北宋 11世纪	h:6.5 d:25.7
61	青磁花文鉢	中国・龍泉窑系	宋 11～12世纪	h:7.9 d:18.0
62	青磁花文鉢	中国	宋 11～12世纪	h:6.2 d:15.6
63	青磁花文鉢	中国・龍泉窑系	南宋 12世纪	h:8.2 d:18.7
64	青磁刻文鉢	中国	南宋～元 13世纪	h:6.9 d:16.5
65	青磁刻文皿	中国	南宋～元 13世纪	h:3.5 d:15.8
66	青磁花喰鳥文盤	中国・龍泉窑系	北宋 11～12世纪	h:7.2 d:28.0
67	青磁葉文盤	中国・龍泉窑系	南宋 12世纪	h:7.4 d:25.7
68	青磁蓮花文皿	中国	南宋 12～13世纪	h:4.8 d:18.2
69	青磁花文皿	中国・龍泉窑	元 13～14世纪	h:4.7 d:16.9
70	青磁花弁文碗	中国	南宋 12～13世纪	h:5.7 d:12.1
71	青磁蓮花文鉢	中国	南宋 12～13世纪	h:7.7 d:18.6
72	青磁刻文碗	中国	南宋～元 12～13世纪	h:4.5 d:11.7
73	青磁蓮弁文碗	中国	南宋 12～13世纪	h:6.1 d:10.8
74-1	青磁櫛目文皿	中国	南宋 12～13世纪	h:2.4 d:10.0
74-2	青磁櫛目文皿	中国	南宋 12～13世纪	h:2.4 d:10.2
75-1	青磁花文皿	中国	南宋 12～13世纪	h:2.2 d:9.9
75-2	青磁花文皿	中国	南宋 12～13世纪	h:2.3 d:9.9
76	白磁龍文盤	中国	北宋 10～11世纪	h:6.5 d:31.4
77	青磁鳳首水注	中国・広州窑	北宋 11世纪	h:19.1 D:12.9
78	青磁唐草文壺	中国・広州窑	北宋 11～12世纪	h:9.2 d:4.3 D:11.5
79	青磁鐵斑花文四耳壺	中国・広州窑	北宋 11世纪	h:10.6 d:3.9 D:9.0
80	青磁鐵斑牡丹唐草文盤	中国・広州窑	北宋 11世纪	h:5.4 d:23.7
81	青磁鐵絵花文盤	中国・広州窑	北宋 11～12世纪	h:8.6 d:31.4
82	黄釉鐵絵葉文洗	中国・広州窑	南宋 12～13世纪	h:10.2 d:28.7
83	白磁蓮弁文壺	中国	北宋 11世纪	h:11.3 d:3.4 D:7.4
84	青磁鐵斑文四耳壺	中国・広州窑	北宋 11世纪	h:9.8 d:3.1 D:6.1
85	青磁鐵斑文盤口壺	中国・広州窑	北宋 11世纪	h:7.4 d:3.6 D:5.9
86	青磁鐵斑鳥形合子	中国・広州窑	北宋 11世纪	h:5.8 D:6.5
87	黄釉印花文花洗	中国・広州窑	南宋 13世纪	h:6.8 d:20.7
88	黄釉印花文洗	中国・広州窑	南宋 13世纪	h:8.0 d:23.7
89	黑釉白綠碗	中国	南宋 12世纪	h:6.0 d:12.0
90	黑釉碗	中国	南宋 12～13世纪	h:5.9 d:12.5

91	黑釉瓜形水注	中国	南宋~元 13~14世紀	h:13.4 d:7.9
92	黑釉双耳壺	中国	南宋~元 13~14世紀	h:4.8 d:2.6 D:6.8
93	黑釉搔落唐草文壺	中国·福建省	南宋~元 13~14世紀	h:16.1 d:16.0 D:21.2
94	铁彩菊唐草文壺	中国	南宋~元 13世紀	h:7.4 d:7.0 D:7.8
95	褐釉擂座柳斗文壺	中国	南宋~元 13~14世紀	h:9.0 d:8.0 D:9.6
96	青磁四耳壺	中国·石湾窯	南宋 12~13世紀	h:30.0 d:12.7 D:25.2
97	青磁水注	中国	南宋 13世紀	h:22.0 d:9.8 D:14.4
98	青磁水注	中国·福建省	南宋 13~14世紀	h:15.5 d:5.5 D:11.6
99	青磁铁斑文水注	中国·福建省	南宋 13世紀	h:17.3 d:6.0 D:14.3
100	黄釉铁斑文水注	中国·福建省	南宋 13世紀	h:17.5 d:7.8 D:13.6
101	褐釉绿斑水注	中国·福建省	南宋 13世紀	h:17.2 d:5.8 D:12.5
102	青磁百合口瓶	中国·福建省	南宋 12~13世紀	h:12.6 d:6.2 D:8.2
103	青磁铁绘草文瓶	中国·福建省	南宋 12~13世紀	h:24.5 d:5.0 D:15.1
104	青磁铁绘草文壺	中国·福建省	南宋 12~13世紀	h:8.3 d:2.3 D:7.2
105	铁绘梅文壺	中国·吉州窯	南宋~元 13世紀	h:8.6 d:7.5 D:9.1
106	黄·绿釉黑地刻花文盤	中国·福建省	南宋~元 13世紀	h:5.8 d:30.5
107	黄·绿釉黑彩印花花文合子	中国·福建省	南宋~元 13~14世紀	h:3.9 D:7.3
108	黄·绿釉黑彩印花花喰鳥文合子	中国·福建省	南宋~元 13~14世紀	h:4.6 D:9.4
109	黄·绿釉黑彩印花双鳳文合子	中国·福建省	南宋~元 13~14世紀	h:4.0 D:9.8
110	绿釉印花双鳳文稜花皿	中国	元 13~14世紀	h:2.2 d:17.6
111	绿·褐釉花弁文六耳壺	中国·福建省	南宋~元 13~14世紀	h:27.5 d:10.8 D:16.2
112	褐釉四耳壺	中国·福建省	南宋~元 13~14世紀	h:9.3 d:8.5 D:10.0
113	绿釉四耳壺	中国·福建省	南宋~元 13~14世紀	h:9.1 d:7.9 D:10.0
114	青磁蓮弁文碗	中国·龍泉窯	元 14世紀	h:5.5 d:11.3
115	青磁双魚文皿	中国·龍泉窯	元 13~14世紀	h:4.9 d:21.3
116	青磁蓮花文盤	中国·龍泉窯	元 14世紀	h:9.0 d:34.7
117	青磁貼花花文碗	中国·龍泉窯系	元 13~14世紀	h:10.6 d:14.4 D:15.5
118	青磁鑄文注口器	中国·龍泉窯系	元 13~14世紀	h:8.5 d:8.3 D:7.8
119	青磁壺	中国·龍泉窯系	南宋~元 13~14世紀	h:5.4 d:2.6 D:7.1
120	青磁印花唐草文双耳壺	中国·龍泉窯系	元 14世紀	h:6.1 d:3.6 D:10.0
121	青磁三足香炉	中国	元 13~14世紀	h:5.3 d:8.2
122	青磁刻花花文鉢	中国·龍泉窯系	元 13~14世紀	h:7.8 d:17.8
123	青磁花文陵花皿	中国·福建省	明 15~16世紀	h:3.1 d:11.0
124	青磁印花福字皿	中国·福建省	明 15~16世紀	h:2.7 d:10.3
125	澱青釉双耳壺	中国·金華窯	元 14世紀	h:16.6 d:10.8 D:14.8
126	铁绘花文皿	中国·磁州窯	元 14世紀	h:4.9 d:17.8
127	白磁印花文稜花鉢	中国·景德鎮窯	元 14世紀	h:7.3 d:17.5
128	白磁印花菊花文高足杯	中国	元 13~14世紀	h:9.1 d:10.1 D:8.5
129	白磁印花唐草文壺	中国	元 13~14世紀	h:4.2 d:2.8 D:5.3
130	白磁印花唐草文杯	中国	元 13~14世紀	h:3.7 d:6.9
131	白磁鳳凰文水注	中国·德化窯	元 13~14世紀	H:10.3 D:8.3
132	白磁瓜形水滴	中国	元 13~14世紀	h:5.6 D:6.3
133	白磁瓜形单耳壺	中国	元 13~14世紀	h:3.8 d:3.0 D:5.4
134	青花蓮池文鉢	中国·景德鎮窯	元 14世紀	h:8.9 d:18.8
135	釉裏紅柳兔文片口	中国·景德鎮窯	元 14世紀	h:4.8 d:18.3
136	青花唐草文双耳壺	中国·景德鎮窯	元 14世紀	h:6.9 d:3.6 D:7.4
137	青花菊花文双耳壺	中国·景德鎮窯	元 14世紀	h:5.8 d:2.8 D:5.8
138	白磁铁斑文壺	中国·景德鎮窯	元 13~14世紀	h:4.7 d:3.2 D:5.6
139	青花草花文杯	中国·景德鎮窯	元 14世紀	h:3.5 d:6.8
140	五彩菊花文碗	中国·景德鎮窯	元 14世紀	h:7.0 d:11.9
141	五彩菊花文碗	中国·景德鎮窯	元 14世紀	h:6.0 d:9.5
142	青花蓮池文鉢	中国·景德鎮窯	明 15世紀	h:8.6 d:21.9
143	青花蓮池文鉢	中国·景德鎮窯	明 15世紀	h:6.4 d:15.9
144	青花八宝文鉢	中国·景德鎮窯	明 15世紀	h:6.8 d:15.6
145	青花人物文碗	中国·景德鎮窯	明 15世紀	h:7.0 d:14.3

146	青花樓閣人物文鉢	中国・景德鎮窯	明 15世紀	h:7.8 d:15.9
147	青花花文碗	中国・景德鎮窯	明 15世紀	h:5.9 d:12.5
148	青花宝相華唐草文壺	中国・景德鎮窯	明 15世紀	h:19.5 d:7.5 D:12.5
149	青花草文壺	中国・景德鎮窯	明 15世紀	h:9.8 d:5.0 D:9.7
150	青花花文盤	中国・景德鎮窯	明 15~16世紀	h:4.2 d:25.6
151	青花麒麟文稜花皿	中国・景德鎮窯	明 15~16世紀	h:3.9 d:21.0
152	青花麒麟文稜花皿	中国・景德鎮窯	明 15~16世紀	h:2.5 d:12.1
153	青花麒麟文皿	中国・景德鎮窯	明 16世紀	h:2.9 d:17.6
154	青花人物文合子	中国・景德鎮窯	明 15~16世紀	h:4.9 D:7.6
155	青花花唐草文碗	中国・景德鎮窯	明 16世紀	h:5.2 d:10.5
156	青花飛馬文碗	中国・景德鎮窯	明 16世紀	h:6.3 d:13.0
157	青花鳥鹿文碗	中国・景德鎮窯	明 16世紀	h:5.7 d:12.2
158	青花花唐草文壺	中国・景德鎮窯	明 16世紀	h:6.3 d:2.1 D:6.1
159	青花花唐草文壺	中国・景德鎮窯	明 16世紀	h:6.7 d:1.5 D:5.7
160	青花花鳥文皿	中国・景德鎮窯	明 15~16世紀	h:2.5 d:10.0
161	青花蓮池文皿	中国・景德鎮窯	明 15~16世紀	h:2.9 d:10.1
162	青花花文皿	中国・景德鎮窯	明 15~16世紀	h:3.0 d:12.4
163	青花花文皿	中国・景德鎮窯	明 15~16世紀	h:3.0 d:9.6
164	青花菊花文皿	中国・景德鎮窯	明 15~16世紀	h:3.3 d:11.8
165	青花・赤絵魚藻文皿	中国・景德鎮窯	明 15~16世紀	h:3.5 d:12.1
166	青花獅子文皿	中国・景德鎮窯	明 16世紀	h:2.7 d:12.2
167	青花花壽石文皿	中国・景德鎮窯	明 16世紀	h:3.6 d:20.0
168	青花花文皿	中国・景德鎮窯	明 16世紀	h:3.1 d:10.1
169	青花蓮池文皿	中国・景德鎮窯	明 16世紀	h:3.4 d:12.0
170	青花雲鶴文皿	中国・景德鎮窯	明 16世紀	h:2.7 d:10.2
171	青花人物文皿	中国・景德鎮窯	明 16世紀	h:2.8 d:11.9
172	青花魚文皿	中国・景德鎮窯	明 16世紀	h:2.8 d:13.1
173	青花人物文皿	中国・景德鎮窯	明 16世紀	h:2.9 d:14.3
174	青花鹿文皿	中国・景德鎮窯	明 16世紀	h:3.0 d:17.8
175	青花海老文盤	中国・漳州窯	明 16世紀	h:6.8 d:25.3
176	青花鳳凰文皿	中国・景德鎮窯	明 16~17世紀	h:3.0 d:19.8
177	青花花文皿	中国・景德鎮窯	清 17世紀	h:3.0 d:14.7
178	青花人物文四方皿	中国・漳州窯	明 16世紀	h:2.4 d:7.9
179	青花鳥文杯	中国・景德鎮窯	明~清 17世紀	h:4.6 d:4.7
180	白磁杯	中国・景德鎮窯	明~清 17世紀	h:4.6 d:4.7
181	瑠璃釉杯	中国・景德鎮窯	明~清 17世紀	h:4.4 d:5.6
182	瑠璃釉鉢	中国・景德鎮窯	清 17世紀	h:6.9 d:15.1
183	瑠璃釉双鳥形水注	中国・景德鎮窯	明 16世紀	h:10.1
184	五彩人物樓閣文盤	中国・景德鎮窯	明 16世紀	h:6.3 d:29.7
185	五彩魚藻文鉢	中国・景德鎮窯	明 16世紀	h:9.8 d:21.0
186	五彩鳥形水滴	中国・景德鎮窯	明 16~17世紀	h:6.9
187	五彩花唐草文杯	中国・景德鎮窯	明 16~17世紀	h:4.5 d:5.6
188	三彩花文水注	中国・福建省	明 15世紀	h:12.5 D:10.0
189	緑釉唐草文水注	中国	明 15~16世紀	h:19.1 D:14.5
190	緑釉印花「禄」字合子	中国・漳州窯	明 16世紀	H:3.5 D:6.6
191	孔雀釉印花鹿文盤	中国	明 16世紀	h:3.2 d:26.2
192	鉄絵蓮池文鉢	中国	明~清 17世紀	h:6.4 d:16.5
193	青磁輪花皿	朝鮮	高麗 12世紀	h:3.6 d:14.9
194	青磁蓮華文稜花皿	朝鮮	高麗 12世紀	h:3.3 d:10.5
195	印花花文皿	朝鮮	李朝 15世紀	h:3.2 d:12.8
196	灰釉合子	カンボジア・クメール	9~10世紀	H:9.5 D:8.9
197	灰釉壺	カンボジア・クメール	9~10世紀	H:16.1 D:13.4
198	灰釉合子	カンボジア・クメール	9~10世紀	H:5.0 D:6.5
199	灰釉合子	カンボジア・クメール	9~10世紀	H:8.7 D:8.6
200	灰釉合子	カンボジア・クメール	11~12世紀	H:15.8 D:11.1

201	灰釉壺	カンボジア・クメール	11~12世紀	H:9.6 D:9.3
202	黒褐釉柳目文盤口瓶	カンボジア・クメール	11~12世紀	h:45.7 d:13.3 D:27.1
203	黒褐釉柳目文盤口瓶	カンボジア・クメール	12~13世紀	h:12.5 d:23.2 D:17.5
204	黒褐釉瓶	カンボジア・クメール	12~13世紀	h:9.8 d:3.6 D:8.0
205	黒褐釉鳥形壺	カンボジア・クメール	12~13世紀	h:7.9 D:7.8
206	黒褐釉碗	カンボジア・クメール	12~13世紀	h:8.8 d:12.9
207	灰釉盤	タイ・シサチャナライ	13~14世紀	h:7.6 d:26.0
208	鉄絵魚花文盤	タイ・シサチャナライ	14~15世紀	h:6.5 d:27.5
209	鉄絵草花文盤	タイ・シサチャナライ	14~15世紀	h:6.5 d:27.9
210	青磁蓮弁文瓶	タイ・シサチャナライ	15~16世紀	h:16.8 d:5.5 D:9.7
211	青磁蓮弁文碗	タイ・シサチャナライ	15~16世紀	h:7.5 d:13.5
212	褐釉双耳壺	タイ・シサチャナライ	15~16世紀	h:12.4 d:2.5 D:7.0
213	白濁釉双耳瓶	タイ・シサチャナライ	15~16世紀	h:11.5 d:2.8 D:6.6
214	鉄絵唐草文瓶	タイ・シサチャナライ	15~16世紀	h:16.3 d:4.3 D:10.8
215	鉄絵鳥形合子	タイ・シサチャナライ	15~16世紀	H:4.8 D:5.9
216	褐斑文壺	タイ・シサチャナライ	15~16世紀	h:4.8 d:1.4 D:4.9
217	朱彩水注	サティンプラ・タイプ	13世紀	h:18.8 d:7.7 D:14.4
218	白陶水注	サティンプラ・タイプ	13世紀	h:19.4 d:4.0 D:13.6
219	青磁双耳壺	ビルマ	16~17世紀	h:23.1 d:6.8 D:14.1
220	黄白釉蓮弁文壺	ベトナム	12~13世紀	h:17.3 d:16.0
221	白磁印花花文鉢	ベトナム	13~14世紀	h:6.7 d:16.5
222	青磁印花宝尽文鉢	ベトナム	13~14世紀	h:7.6 d:17.0
223	緑釉輪花鉢	ベトナム	14~15世紀	h:6.5 d:16.5
224	緑釉小壺	ベトナム	14~15世紀	h:4.6 d:2.8 D:6.1
225	鉄絵草花文鉢	ベトナム	14世紀	h:9.6 d:22.0
226	鉄絵草花文皿	ベトナム	14世紀	h:3.3 d:11.7
227	鉄絵草花文輪花皿	ベトナム	14世紀	h:3.2 d:13.5
228	青花草花文輪花皿	ベトナム	14世紀	h:3.3 d:13.5
229	青花草花文皿	ベトナム	14世紀	h:4.6 d:17.9
230	青花草花文鉢	ベトナム	14世紀	h:7.7 d:16.3
231	青花草花文鉢	ベトナム	14~15世紀	h:11.4 d:25.7
232	青花花唐草文水注	ベトナム	16世紀	h:15.5
233	青花花唐草文水注	ベトナム	16世紀	h:11.2
234	青花牡丹文盤	ベトナム	16世紀	h:7.8 d:35.5
235	青花花文合子	ベトナム	15世紀	H:4.3 D:6.5
236	青花唐草文壺	ベトナム	14~15世紀	h:4.4 d:2.9 D:10.3
237	青花宝珠文三耳壺	ベトナム	14~15世紀	h:7.5 d:2.4 D:7.8
238	青花鳥形水滴	ベトナム	15~16世紀	h:6.3
239	青花花文杯	ベトナム	16世紀	h:4.6 d:7.9
240	五彩花唐草文壺	ベトナム	16世紀	h:4.5 d:2.0 D:5.1
241	五彩蓮弁文鉢	ベトナム	16世紀	h:4.3 d:9.3
242	青磁皿	ベトナム	14~15世紀	h:3.0 d:10.8

※法量については、「d」は口径、「h」は高さ、「D」は胴径、「H」は全高を表す。

KRY山口放送開局45周年記念 六大浮世絵師名品展 春信・清長・歌麿・写楽・北斎・広重

会期 平成12（2000）年7月29日(土)～9月3日(日)

会場 展示室3・4・5・6

主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、

読売新聞西部本社、KRY山口放送

協力 平木浮世絵美術館

後援 萩市



(1) 趣旨

数多く登場した浮世絵師の中でも、際だった光彩を放つ6人の浮世絵師を讃えて『六大浮世絵師』という言葉がある。鮮やかな色彩と可憐な美人様式で、錦絵時代（多色摺版画）の幕開けを飾った【鈴木春信】、現実的な時代相を背景に八頭身のプロポーションを持つ天明美人を描いた【鳥居清長】、心理描写まで試みて美人画の頂点を極めた【喜多川歌麿】、役者の個性を追求した【東洲斎写楽】、西洋的な感覚で新しい風景描写を試みた【葛飾北斎】、詩情豊かに日本の風土美を謳い上げた【歌川広重】。この六人の浮世絵師が世に送りだした作品が、同時代や後世の浮世絵に与えた影響は多大で、彼らによって浮世絵の黄金期が築かれたといえる。本展では、日本有数の浮世絵コレクションを誇る平木浮世絵美術館の所蔵品から、六大浮世絵師の代表作120点（うち重要美術品42点）を展示した。

(2) カタログ

監修 佐藤光信

編集 (財)平木浮世絵財団、平木浮世絵美術館

発行 山口県立萩美術館・浦上記念館、読売新聞西部本社、

KRY山口放送

内容 ごあいさつ 主催者

六大浮世絵師 佐藤光信（平木浮世絵美術館館長）

鈴木春信

鳥居清長

喜多川歌麿

東洲斎写楽

葛飾北斎

歌川広重

体裁 A4判変形 156ページ



(3) 記念講演会

①日時 平成12（2000）年7月29日(土) 10:30～12:00

演題 「六大浮世絵師の魅力」

講師 佐藤光信（平木浮世絵美術館 館長）

②日時 平成12（2000）年8月19日(土) 14:00～15:30

演題 「役者似顔絵の描き方」（兼・平成12年度美術講座 第4回）

講師 森山悦乃（平木浮世絵美術館 学芸員）

(4) ギャラリーツアー

日時 毎週日曜日 11:00～12:00（ただし、7月30日を除く）

担当 吉田洋子（学芸課学芸員）

(5) 出品目録

鈴木春信

No.	作品名	判型 形態	制作年代	指定
1	座舗八景 あふぎの晴嵐	中判 錦絵	明和3年（1766）頃	重要美術品
2	座舗八景 あんとうの夕照	中判 錦絵	明和3年（1766）頃	重要美術品
3	座舗八景 台子の夜雨	中判 錦絵	明和3年（1766）頃	重要美術品
4	だるまの相合傘	中判 錦絵	明和2年（1765）	
5	紅葉狩り	中判 錦絵	明和4年（1767）頃	重要美術品
6	見立陶朱公	横中判 錦絵	明和3～4年（1766～1767）頃	重要美術品
7	遊女に玉づさ	中判 錦絵	明和3～4年（1766～1767）頃	重要美術品
8	見立黄石公張良	中判 錦絵 2枚続	明和3～4年（1766～1767）頃	
9	僧正遍照	中判 錦絵	明和3～4年（1766～1767）頃	重要美術品
10	風流六哥仙 僧正遍照	中判 錦絵	明和3～5年（1766～1768）頃	重要美術品
11	螢狩り	中判 錦絵	明和5年（1768）頃	重要美術品
12	本柳屋お藤	横中判 錦絵	明和6年（1769）頃	重要美術品
13	五色墨 素丸	中判 錦絵	明和5～6年（1768～1769）頃	
14	文書く女	柱絵判 錦絵	明和5～6年（1768～1769）頃	
15	格子先の虚無僧	中判 錦絵	明和6～7年（1769～1770）頃	重要美術品
16	當世七福神 布袋	中判 錦絵	明和6～7年（1769～1770）頃	
17	見立琴高	中判 錦絵	明和6～7年（1769～1770）頃	
18	雪中相合傘	柱絵判 錦絵	明和7年（1770）頃	重要美術品
19	風流艶色真似ゑもん まねへもん十三	横中判 錦絵	明和7年（1770）	
20	風流艶色真似ゑもん まねへもん廿一	横中判 錦絵	明和7年（1770）	

鳥居清長

No.	作品名	判型 形態	制作年代	指定
1	四代目岩井半四郎の少将	細判 錦絵	安永8年（1779）	重要美術品
2	菊花男女 二代目市川門之助と遊女	間判 錦絵	天明2年（1782）頃	
3	四代目岩井半四郎の葛の葉	大判 錦絵	天明4年（1784）	
4	出語り図 嬌柳妹背ノ的	大判 錦絵	天明5年（1785）	
5	江都八景 級江汐干	中判 錦絵	天明元年（1781）頃	
6	色艶麗婦姿 髪結	中判 錦絵	天明元年（1781）頃	
7	新吉原仁和嘉女藝者	横大々判 墨摺絵	天明3年（1783）8月	
8	茶見世十景 富ヶ岡	中判 錦絵	天明3年（1783）頃	
9	美南見十二候 五月	中判 錦絵	天明3年（1783）頃	
10	美南見十二候 十月	中判 錦絵	天明3年（1783）頃	
11	當世遊里美人合 橋中妓	大判 錦絵	天明2年（1782）頃	重要美術品
12	三美人子供図	大判 錦絵	天明3年（1783）頃	
13	三人虚無僧	大判 錦絵	天明5年（1785）頃	

14	六郷渡船	大判 錦絵 3枚続の中、右	天明4年（1784）頃	重要美術品
15	小野小町	大判 錦絵	天明4年（1784）頃	重要美術品
16	藤下婦女	柱絵判 錦絵	天明元年（1781）頃	重要美術品
17	日傘をさす芸者	柱絵判 錦絵	天明3年（1783）頃	重要美術品
18	十體画風俗 遊女と禿	大判 錦絵	寛政6年（1794）頃	重要美術品
19	坎々樓由良之助戯劇	大判 錦絵 3枚続	寛政6年（1794）頃	重要美術品
20	子犬を牽く金太郎	大判 錦絵	文化6年（1809）頃	

喜多川歌麿

No.	作品名	判型 形態	制作年代	指定
1	青樓仁和嘉女藝者部 大万度 末ひろ屋 志満富 とみ吉	大判 錦絵	天明3年（1783）	
2	庭中の涼み	大判 錦絵 3枚続の左	天明8～寛政2年（1788～1790）頃	
3	高名三美人	大判 錦絵	寛政4～5年（1792～1793）頃	重要美術品
4	高島屋おひさ	柱絵判 錦絵	寛政5年（1793）頃	重要美術品
5	青樓十二時 繰 巳ノ刻	大判 錦絵	寛政6年（1794）頃	重要美術品
6	紅つけ	大判 錦絵	寛政6～7年（1794～1795）頃	重要美術品
7	芸者亀吉	大判 錦絵	寛政8年（1796）頃	重要美術品
8	風俗浮世八景 かこわれの夜雨	間判 錦絵	寛政8年（1796）頃	
9	鶉舌樓 雛霧 廊下の風情	大判 錦絵	寛政（1789～1801）末期	重要美術品
10	ねかひの糸ぐち	横大判 錦絵	寛政11年（1799）春	
11	煤払い	大判 錦絵 5枚続の内	寛政11年（1799）頃	重要美術品
12	橋下男女魚釣	長絵判 錦絵	寛政12年（1800）頃	重要美術品
13	松葉屋 舛ひ 松村	大判 錦絵	享和元～2年（1801～1802）	重要美術品
14	婚礼色直し之図	大判 錦絵 3枚続	享和期（1801～1804）	
15	山姥と金太郎	長判 錦絵	享和期（1801～1804）	重要美術品
16	二葉草七小町 かよひ小町	大判 錦絵	享和期（1801～1804）	重要美術品
17	春興見たて狐けん 庄屋	大判 錦絵 3枚組の中	享和期（1801～1804）	重要美術品
18	おはん 岩井経三郎 長右衛門 三代目市川八百蔵	大判 錦絵	享和3年（1803）8月	
19	浮絵近江八景 栗津晴嵐	横間判 錦絵	寛政4～7年（1792～1795）頃	
20	浮絵近江八景 三井晩鐘	横間判 錦絵	寛政4～7年（1792～1795）頃	

東洲斎写楽

No.	作品名	判型 形態	制作年代	指定
1	二代目嵐龍藏の金貸石部金吉	大判 錦絵	寛政6年（1794）5月	重要美術品
2	三代目佐野川市松の祇園町の白人おなよ	大判 錦絵	寛政6年（1794）5月	
3	三代目市川八百蔵の田辺文蔵	大判 錦絵	寛政6年（1794）5月	
4	三代目瀬川菊之丞の田辺文蔵の妻おしづ	大判 錦絵	寛政6年（1794）5月	
5	二代目瀬川富三郎の大岸藏人妻やどり木と中村万世の腰元若草	大判 錦絵	寛政6年（1794）5月	
6	四代目松本幸四郎の山谷の肴屋五郎兵衛	大判 錦絵	寛政6年（1794）5月	
7	尾上松助の松下造酒之進	大判 錦絵	寛政6年（1794）5月	
8	三代目市川高麗藏の志賀大七	大判 錦絵	寛政6年（1794）5月	重要美術品
9	谷村虎蔵の鷺塚八平次	大判 錦絵	寛政6年（1794）5月	
10	二代目嵐龍藏の奴浮世又平と三代目大谷広次の奴土佐又平	大判 錦絵	寛政6年（1794）7月	
11	四代目岩井喜代太郎の二見屋娘お袖	細判 錦絵	寛政6年（1794）7月	重要美術品
12	中山富三郎の梅川と三代目市川高麗藏の亀屋忠兵衛	大判 錦絵	寛政6年（1794）8月	
13	二代目山下金作の貞任妻岩手御前	細判 錦絵	寛政6年（1794）11月	重要美術品
14	三代目市川高麗藏の小山田太郎	細判 錦絵	寛政6年（1794）11月	
15	大童山土俵入	間判 錦絵	寛政6年（1794）	
16	曾我五郎と御所五郎丸	間判 錦絵	寛政7年（1795）正月	重要美術品

葛飾北斎

No.	作品名	判型	形態	制作年代	指定
1	男踏歌	横大判	錦絵	寛政10年（1798）	
2	新板浮繪八ッ山花盛群集之圖	横間判	錦絵	享和（1801～1804）～	
3	新板浮繪忠臣蔵 第五段目	横間判	錦絵	文化（1804～1818）初期	
4	新板浮繪忠臣蔵 第十一段目	横間判	錦絵	享和（1801～1804）末～	
5	淨瑠璃八景 せきの小萬 伊達与作 夕照	中判	錦絵	文化（1804～1818）初期	
6	室内舞樂図	横長判	摺物	文政3年（1806）頃	
7	うつば猿	横長判	摺物	文政4～5年（1821～1822）頃	重要美術品
8	江の島かへり	色紙判	摺物	文政4～5年（1821～1822）頃	
9	小野小町	大判	錦絵	文政4～5年（1821～1822）中期	
10	在原業平	大判	錦絵	文政4～5年（1821～1822）中期	
11	木曾路名所一覽	横大々判	錦絵	文政2年（1819）	
12	富嶽三十六景 凱風快晴	横大判	錦絵	天保2～5年（1831～1834）	
13	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏	横大判	錦絵	天保2～5年（1831～1834）	
14	富嶽三十六景 山下白雨	横大判	錦絵	天保2～5年（1831～1834）	
15	諸国瀧廻り 木曾海道小野ノ瀑布	大判	錦絵	天保4年（1833）頃	
16	諸國名橋奇覧 飛越の堺つりはし	横大判	錦絵	天保5～6年（1834～1835）頃	
17	詩哥寫真鏡 少年行	長大判	錦絵	天保4～5年（1833～1834）頃	重要美術品
18	百人一首姥かえとき 大中臣能宣朝臣	横大判	錦絵	天保6～7年（1835～1836）頃	
19	杜若にきりぎりす	横大判	錦絵	天保3年（1832）頃	重要美術品
20	鶲 小薺	中判	錦絵	天保4年（1833）頃	

歌川広重

No.	作品名	判型	形態	制作年代	指定
1	東海道五拾三次之内 箱根 湖水圖	横大判	錦絵	天保4～5年（1833～1834）頃	
2	東海道五拾三次之内 蒲原 夜之雪	横大判	錦絵	天保4～5年（1833～1834）頃	
3	東海道五拾三次之内 亀山 雪晴	横大判	錦絵	天保4～5年（1833～1834）頃	
4	京都名所之内 祇園社雪中	横大判	錦絵	天保5年（1834）頃	
5	京都名所之内 紅川原之夕立	横大判	錦絵	天保5年（1834）頃	
6	東都名所 吉原仲之町夜櫻	横大判	錦絵	天保5～10年（1834～1839）頃	
7	東都名所 五百羅漢寺さゞゐ堂	横大判	錦絵	天保5～10年（1834～1839）頃	
8	東都名所 真土山之圖	横大判	錦絵	天保5～10年（1834～1839）頃	
9	東都名所 神田明神東阪	横大判	錦絵	天保5～10年（1834～1839）頃	
10	東都名所 日本橋之白雨	横大判	錦絵	天保5～10年（1834～1839）頃	
11	東都両國遊船之圖	大判	錦絵 3枚続	天保5～6年（1834～1835）頃	
12	本朝名所 摂州布引之瀧	横大判	錦絵	天保8～10年（1837～1839）頃	
13	東都名所之内 隅田川八景 真崎夜雨	横間判	錦絵	天保（1830～1844）後期	
14	日本湊盡 相州浦賀	横大判	錦絵	天保（1830～1844）後期	
15	日本湊盡 播州室ノ津	横大判	錦絵	天保（1830～1844）後期	
16	東都名所坂つくし之内 葵阪之圖	横大判	錦絵	天保（1830～1844）後期	
17	鴛鴦	大短冊判	錦絵	天保（1830～1844）初期	重要美術品
18	あやめに翡翠	中短冊判	錦絵	天保（1830～1844）前期	重要美術品
19	獅子の兜おとし	掛物絵判	錦絵	天保（1830～1844）中期	
20	江戸名所五性 両國の花火	大判	錦絵	嘉永（1848～1854）	
21	江戸名所五性 上野時の鐘	大判	錦絵	嘉永（1848～1854）	
22	江戸名所五性 隅田堤桜の木	大判	錦絵	嘉永（1848～1854）	
23	江戸名所五性 飛鳥山の土	大判	錦絵	嘉永（1848～1854）	
24	江戸名所五性 亀井戸の水	大判	錦絵	嘉永（1848～1854）	

シリーズ山東文物3 『磁器の誕生—原始瓷器—』

会期 第1期 平成12(2000)年10月7日(土)～10月25日(水)
第2期 平成12(2000)月16日(土)
～平成13(2001)年2月12日(月・祝)

会場 展示室3・5・6
主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、山東省文物局
毎日新聞社、TYSテレビ山口
協力 中国社会科学院考古研究所、
山東省人民政府外事弁公室
助成 芸術文化振興基金
後援 萩市



第1期:平成12年10月7日(土)～10月25日(水) 第2期:12月16日(土)～平成13年2月12日(月・祝)
山口県立萩美術館・浦上記念館
会場:山口県萩市萩町大字萩原1170番地 TEL:0838-821100(入場料100円)
主催:山口県立萩美術館・浦上記念館、山東省文物局 TEL:0838-821100(入場料100円)
協力:TYSテレビ山口 TEL:0838-821500(入場料100円)
助成:芸術文化振興基金 TEL:03-5285-0001(入場料100円)
後援:萩市 TEL:0838-821500(入場料100円)
監修:磁器の誕生、原始瓷器、隨意行者
企画・監修:山口県立萩美術館・浦上記念館
編集・発行:山口県立萩美術館・浦上記念館
内容:ごあいさつ 山口県立萩美術館・浦上記念館
磁器の誕生 上田秀夫
論考
山東地方における原始瓷器の発見と研究 梁 中合
山東地方の白陶、印文硬陶と原始瓷器 李 魯勝
図版
作品解説 梁 中合、李 魯勝、王 之源

(1) 趣旨

中国は、世界で最も早く磁器を作り出した国で、早くも商代中期頃には1200℃以上の高温で焼かれ、施釉された一種の青磁が出現した。それらは中国で、原始瓷器（日本で原始磁器）と呼ばれている。また、これらのやきものの釉が、少量の鉄分の発色による青磁系の釉であることから、原始青瓷（日本で原始青磁）とも呼ばれる。

1万年を超えるやきものの歴史は、土器から陶器、そして磁器への発展過程としてとらえることができる。一般的な磁器の条件として、原料に酸化アルミニウム (Al_2O_3) の含有量が多く、第二酸化鉄 (Fe_2O_3) が少ないカオリン土を使用し、素地が白色を呈すること、1200℃以上の高温で焼成され、胎土は堅緻に焼締まり、不透水性をもつこと、表面にガラス質の釉が施され、胎土にしっかりと定着していること、などがあげられる。この原始磁器の出現は、やがて青磁へと転換し、黒磁や白磁へと発展、三彩や青花、五彩へと展開する、その後の中国陶磁の展開を方向付けた画期的なできごとでもあった。

近年、原始瓷器と青銅器、印文硬陶、灰陶、黑陶などが共伴する良好な遺跡として山東省滕州市の前掌大遺跡が注目されている。この展覧会では、一級文物9点を含む前掌大商周墓の一括資料76点を展示し、青磁の源流であり、すべての中国陶磁のルーツともいえる原始磁器出現の位置づけを、墓制との関わりを通じてさぐり、その後の陶磁史に及ぼす大きな役割を考察する。

(2) カタログ

企画・監修 山口県立萩美術館・浦上記念館、山東省文物局
編集・発行 山口県立萩美術館・浦上記念館
内容 ごあいさつ 山口県立萩美術館・浦上記念館
磁器の誕生 上田秀夫
論考
山東地方における原始瓷器の発見と研究 梁 中合
山東地方の白陶、印文硬陶と原始瓷器 李 魯勝
図版
作品解説 梁 中合、李 魯勝、王 之源



(3) 記念講演会

日時 平成12（2000）年10月7日(土) 10:30~12:00

演題 「山東省における原始瓷器の出現と研究」

講師 梁 中合（中国社会科学院考古研究所副研究員）

日時 平成12（2000）年10月21日(土) 14:00~15:30

演題 「磁器の誕生」

講師 弓場紀知（出光美術館学芸課長）

(4) ギャラリーツアー

日時 毎月第1・3日曜 11:00~12:00

担当 上田秀夫（学芸課長）

(5) 出品目録

番号	指定	名称	法量cm(口徑×高さ)	時代	出土時期・遺跡・遺構	所蔵
1		白陶壺	7.3×11.5	大汶口文化 4300~B.C.2400頃	1993・棗庄市新建村	棗庄市博物館
2	一級文物	白陶鼎	H.8.3	大汶口文化 4300~B.C.2400頃	1993・棗庄市新建村	山東省文物考古研究所
3		白陶杯	H.15.2	大汶口文化 4300~B.C.2400頃	1979・莒県陵陽河	山東省文物考古研究所
4		白陶鬹	H.46	龍山文化 2400~B.C.2000頃	1984・州市西吳寺遺址	山東省文物考古研究所
5	一級文物	原始瓷豆	12.4×7.8	商時代 1600~B.C.1027頃	1966・青州市蘇阜屯遺址	山東省博物館
6		白陶罍	15.1×26.8	商時代 1600~B.C.1027頃	齊魯大學明義士收藏	山東省博物館
7		灰陶罍	16×33.5	商時代 1600~B.C.1027頃	1981・滕州市前掌大遺址M202	滕州市博物館
8		原始瓷罐	7.1×8	商時代 1600~B.C.1027頃	1985・滕州市前掌大遺址M203	滕州市博物館
9		青灰陶罍	13×22	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M2	滕州市博物館
10		原始瓷罍	10.5×9.5	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M3	滕州市博物館
11		原始瓷豆	19.8×8.5	商時代 1600~B.C.1027頃	1991・滕州市前掌大遺址M3	中国社会科学院考古研究所
12		原始瓷豆	13.4×5.4	商時代 1600~B.C.1027頃	1991・滕州市前掌大遺址M3	中国社会科学院考古研究所
13		原始瓷豆	14.2×7.4	商時代 1600~B.C.1027頃	1991・滕州市前掌大遺址M3	中国社会科学院考古研究所
14		硬陶罍	23×24	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M3	滕州市博物館
15		硬陶瓿	11.8×14	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M3	滕州市博物館
16		硬陶孟	10.8×9	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M3	滕州市博物館
17		黑陶筒形壺	14.8×19.8	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M3	滕州市博物館
18		灰陶罍	18.2×33.4	商時代 1600~B.C.1027頃	1991・滕州市前掌大遺址M3	滕州市博物館
19		紅陶瓿	12×22	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M3	滕州市博物館
20		灰陶尊	21×20	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M1	滕州市博物館
21		灰陶筒形壺	13×23.7	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M1	滕州市博物館
22		原始瓷罐	17×26.5	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M4	滕州市博物館
23		原始瓷罍	18×13	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M4	滕州市博物館
24		原始瓷豆	14×7.4	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M4	滕州市博物館
25		原始瓷豆	15.7×7.5	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M4	滕州市博物館
26		原始瓷豆	15×7.5	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M4	滕州市博物館
27		硬陶罐	29.8×28.5	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M4	滕州市博物館
28		灰陶瓿	13.1×20.3	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M4	滕州市博物館
29		灰陶罍	18.8×34.6	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M4	滕州市博物館
30		灰陶盃	11×17	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M4	滕州市博物館
31		灰陶盃	13.5×25	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M4	滕州市博物館
32		原始瓷罍	25.2×25.3	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M5	滕州市博物館
33		原始瓷罍	26×25	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M5	滕州市博物館

34	黑陶 壺	14.8×29	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M6	滕州市博物館
35	灰陶 罍	19×36.5	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M7	滕州市博物館
36	灰陶 壺	13.5×29	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M9	滕州市博物館
37	原始瓷 豆	16.5×7.8	商時代 1600~B.C.1027頃	1994・滕州市前掌大遺址M13	中国社会科学院考古研究所
38	原始瓷 罍	11.5×15	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M109	中国社会科学院考古研究所
39	硬陶 尊	26×25.5	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M109	中国社会科学院考古研究所
40	青銅 円鼎	16.5×21.4	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M119	中国社会科学院考古研究所
41	青銅 方鼎	16.7・13.5×21.7	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M119	中国社会科学院考古研究所
42	青銅 舩	13.1×21.8	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M119	中国社会科学院考古研究所
43	青銅 舩	13.2×21.8	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M119	中国社会科学院考古研究所
44	青銅 角	H.19	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M119	中国社会科学院考古研究所
45	青銅 角	H.18.3	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M119	中国社会科学院考古研究所
46	青銅 角	H.18	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M119	中国社会科学院考古研究所
47	青銅 角	H.18.5	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M119	中国社会科学院考古研究所
48	青銅 円尊	19.7×23.8	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M119	中国社会科学院考古研究所
49	一級文物 青銅 提梁卣	13.3×31.3	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M119	中国社会科学院考古研究所
50	青銅 鑊	7.6×11.5	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M119	中国社会科学院考古研究所
51	青銅 盥	19.4×14.4	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M119	中国社会科学院考古研究所
52	一級文物 青銅 斗	H.4.5・L.22.4	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M119	中国社会科学院考古研究所
53	青銅 戈	L.26.5	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M119	中国社会科学院考古研究所
54	一級文物 原始瓷 豆	16.2×8.6	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M119	中国社会科学院考古研究所
55	一級文物 原始瓷 豆	13.9×8.5	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M119	中国社会科学院考古研究所
56	硬陶 簋	10×9.2	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M119	中国社会科学院考古研究所
57	硬陶 尊	21.6×22.6	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M119	中国社会科学院考古研究所
58	硬陶 尊	27×26.2	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M119	中国社会科学院考古研究所
59	黑陶 罍	12×26	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M119	中国社会科学院考古研究所
60	一級文物 彩絵陶 壺	8×14.7	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M119	中国社会科学院考古研究所
61	原始瓷 罍	18×15.5	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M209	中国社会科学院考古研究所
62	硬陶 罍	10.8×19.5	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M209	中国社会科学院考古研究所
63	硬陶 罍	22.5×27	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M209	中国社会科学院考古研究所
64	硬陶 尊	29.5×29	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M209	中国社会科学院考古研究所
65	硬陶 尊	12.5×19.5	商時代 1600~B.C.1027頃	1998・滕州市前掌大遺址M209	中国社会科学院考古研究所
66	灰陶 壺	12.5×25.5	西周時代 1027頃~B.C.771	1998・滕州市前掌大遺址M8	滕州市博物館
67	灰陶 罍	18.3×38	西周時代 1027頃~B.C.771	1998・滕州市前掌大遺址M8	滕州市博物館
68	灰陶 罍	16.7×37	西周時代 1027頃~B.C.771	1998・滕州市前掌大遺址M8	滕州市博物館
69	灰陶 罍	9×13.5	西周時代 1027頃~B.C.771	1998・滕州市前掌大遺址M8	滕州市博物館
70	灰陶 築	22.5×15	西周時代 1027頃~B.C.771	1998・滕州市前掌大遺址M8	滕州市博物館
71	灰陶器 蓋	16×10	西周時代 1027頃~B.C.771	1998・滕州市前掌大遺址M8	滕州市博物館
72	紅褐陶 築	18.5×18.4	西周時代 1027頃~B.C.771	1998・滕州市前掌大遺址M8	滕州市博物館
73	一級文物 原始瓷 罍	10.1×18.7	西周時代 1027頃~B.C.771	1985・済陽市劉台子遺址M6	山東省文物考古研究所
74	原始瓷 罍	7.2×11.3	西周時代 1027頃~B.C.771	1982・滕州市庄里西遺址M1	滕州市博物館
75	原始瓷 罍	17×22	戰国時代 476~B.C221	1989・滕州市庄里西遺址	滕州市博物館
76	一級文物 原始瓷 罍	18×21.5	戰国時代 476~B.C221	1989・滕州市庄里西遺址	滕州市博物館

平成大修理完成記念 京都大原三千院の名宝展 文化財保護法50年記念事業

会期 平成12（2000）年11月1日（水）～12月10日（日）
会場 展示室3・4・5・6
主催 三千院、山口県立萩美術館・浦上記念館、
朝日新聞社、YAB山口朝日放送
後援 文化庁、萩市



(1) 趣旨

洛北大原の名刹としてあまりにも有名な三千院は、延暦年間に伝教大師最澄が比叡山東塔にあった梨の木の下に一院を開いたのに始まる。平安時代初期、慈覚大師円仁が天台声明の根本道場として魚山大原寺を開いて以来、大原の地は比叡山を取り囲む天台仏教の中心地のひとつとなった。平安時代後期以降、皇族出身の僧が住持する宮門跡寺院となった三千院は梶井門跡とも呼ばれ、ゆかりの法具・絵画・書籍などとともに、浄土教や密教に係わる数々の文化財を所蔵している。

本展は重要文化財「三千院円融蔵典籍文書類3021点」をはじめ、三千院に伝わる多くの文化財の修理が完成するのを記念して開催するものである。歴史上はじめて門外に出る往生極楽院の観音菩薩像・勢至菩薩像を筆頭に、このたびの修理で発見された下村觀山による障壁画など、国の重要文化財44点を含む約100件の文化財により三千院の歴史と文化を紹介した。

(2) カタログ

編集 三千院、東武美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社

発行 朝日新聞社

内容 ごあいさつ 主催者

ごあいさつ 小堀光詮

女人往生の里・大原—往生院・弥陀三尊と「練供養」 梅原 猛

三千院の歴史 村井康彦

三千院のあゆみと声明の伝統 大島亮幸

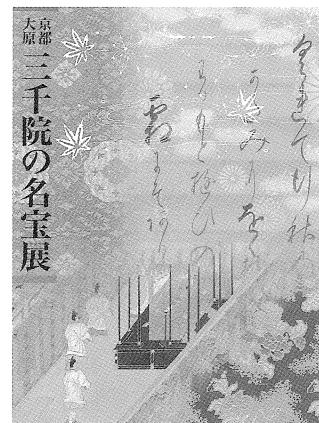
三千院文書の修理と職人の世界 池田 寿

三千院典籍古文書の修理 山内墨申堂、宇佐美松鶴堂、
藤岡光影堂、岡墨光堂

往生極楽院阿弥陀堂と平成の修理について 熊本達哉

年表

三千院門跡一覧



出品リスト

作品解説 石川登志雄、大島亮幸、米屋 優、藤村忠範（学芸課専門学芸員）

体裁 A4判変形 162ページ

(3) 記念講演会

日時 平成12（2000）年11月1日(水) 10：30～12：00

演題 「仏教の伝統音楽－声明－」

講師 小堀光雄（比叡山延暦寺一山月輪院住職・神奈川青柳院住職）

(4) ギャラリーツアー

日時 毎週土曜・日曜日 11：00～12：00

実施日		講師
1	11月4日(土)・5日(日)	土井内祐真（三千院総務部係員）
2	11月11日(土)・12日(日)	郷司忠道（三千院法務次長）
3	11月18日(土)・19日(日)	栗津光要（三千院法務課長）
4	11月25日(土)・26日(日)	松景昭稔（三千院執事長・護淨院住職）
5	12月2日(土)・3日(日)・9日(土)・10日(日)	大島亮幸（三千院法務部長・管理部長）

(5) 出品目録

No	指定	作品名	数	制作年代	材質・形状	寸法	所蔵先
1	重文指定	觀音菩薩坐像・勢至菩薩坐像 (阿弥陀三尊像のうち)	2躯	平安時代	木造	高さ 観音132.2 势至 132.7	三千院門跡
2		往生極樂院脇侍前机	2基	鎌倉時代	木製黒漆塗	30.8×63.0×43.3	三千院門跡
3		往生極樂院千仏図	1面(全10面)	平安時代	板絵彩色	42.0×327.0	三千院門跡
4		往生極樂院裝飾板	6点	平安～江戸時代	板絵彩色	最大12.8×42.4	三千院門跡
5	重文指定	極樂院勸進帳写・大原極樂院縁起写	1冊	江戸時代	紙本墨書	29.0×21.0	三千院門跡
6	京都府指定	阿弥陀聖衆來迎図	1幅	鎌倉時代	絹本着色	136.6×82.3	三千院門跡
7		阿弥陀二十五菩薩來迎図	1幅	鎌倉時代	絹本着色	134.7×87.4	三千院門跡
8	重文指定	往生講私記	1巻	室町時代	紙本墨書	29.4×1139.2	三千院門跡
9		十王像	10幅	室町時代	絹本着色	各97.2×38.4	三千院門跡
10	重文指定	閻魔天次第	1帖	平安時代	紙本墨書	18.3×15.0	三千院門跡
11	重文指定	声明口伝	1冊	鎌倉時代	紙本墨書	14.2×21.2	三千院門跡
12	重文指定	音律	1冊	鎌倉時代	紙本墨書	29.1×21.3	三千院門跡
13	重文指定	調子口伝	1巻	鎌倉時代	紙本墨書	27.5×265.2	三千院門跡
14		声明曲譜付と漢朗詠集	6曲1双	江戸時代	紙本墨書	各154.5×354.0(色紙各20.6×18.2)	三千院門跡
16		慈恵大師八天狗像	1幅	江戸時代	絹本着色	134.0×87.0	輪王寺
17	重文指定	慈恵大師講式	1巻	室町時代	紙本墨書	30.7×332.4	三千院門跡
18	重文指定	性空上人伝記遺続集	1帖	鎌倉時代	紙本墨書	23.7×16.5	三千院門跡
19		惠心僧都像	1幅	江戸時代	紙本着色	88.2×42.5	三千院門跡
20		安養尼像	1幅	江戸時代	紙本着色	88.7×43.7	三千院門跡
21		良忍上人像	1幅	室町時代	絹本着色	77.0×39.4	大念佛寺
22		融通念佛縁起	2巻	室町時代	紙本着色	上巻33.8×1670.8下巻33.8×1512.0	三千院門跡
23		法然上人像	1幅	室町時代	絹本着色	71.4×38.0	延暦寺
24		江文大明神像	1幅	江戸時代	絹本着色	76.6×41.6	三千院門跡
25		扁額「三千院」靈元天皇筆	1面	江戸時代	木製彩色	78.3×173.0	三千院門跡
26		金色不動明王立像	1躯	平安時代	木造	像高97.0	三千院門跡
27	重文指定	不動明王立像	1躯	鎌倉時代	木造	像高98.0	三千院門跡
28	重文指定	救世觀音半跏像	1躯	鎌倉時代	木造	総高72.0	三千院門跡
29	重文指定	寛元四年中原行範造像願文	1通	鎌倉時代	紙本墨書	32.8×53.5	三千院門跡
30	重文指定	四天王寺縁起残巻	1巻	平安時代	紙本墨書	28.8×583.3	三千院門跡
31	重文指定	古文孝経	1巻	鎌倉時代	紙本墨書	29.6×1246.0	三千院門跡
32		星供壇	1式				三千院門跡

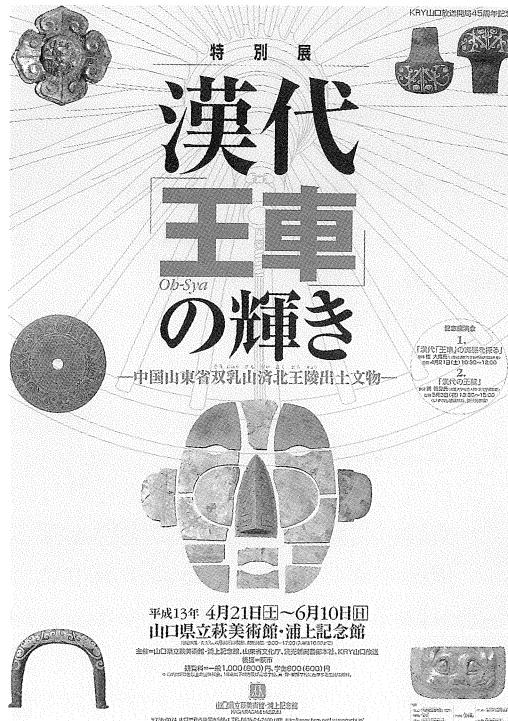
33	星曼荼羅図	1幅	鎌倉時代	絹本着色	80.5×57.6	三千院門跡
34	十二天像	12幅	江戸時代	絹本着色	各127.3×49.0	三千院門跡
35	重文指定 本命星供私記	1帖	鎌倉時代	紙本墨書	14.3×9.7	三千院門跡
36	重文指定 北斗法 悅林	1帖	鎌倉時代	紙本墨書	14.2×10.1	三千院門跡
37	両界曼荼羅図	2幅	室町時代	絹本着色	胎藏75.2×63.2、金剛74.6×63.1	三千院門跡
38	不動明王三童子像	1幅	鎌倉時代	絹本着色	104.7×52.3	三千院門跡
39	釈迦三尊十六善神像	1幅	室町時代	絹本着色	113.1×58.6	三千院門跡
40	三十番神像	1幅	江戸時代	絹本着色	96.2×36.6	三千院門跡
41	山王垂迹曼荼羅図	1幅	江戸時代	絹本着色	140.3×52.0	三千院門跡
42	重文指定 山王講式	1巻	鎌倉時代	紙本墨書	28.9×546.9	三千院門跡
43	重文指定 天神講式	1巻	室町時代	紙本墨書	32.3×571.6	三千院門跡
44	稚児文殊像	1幅	室町時代	絹本着色	50.4×33.0	三千院門跡
45	重文指定 文殊師利六字呪功能法経	1帖	平安時代	紙本墨書	17.6×14.8	三千院門跡
46	宮中御儀法講絵巻	1巻	江戸時代	絹本着色	34.6×516.3	三千院門跡
47	重文指定 宮中御儀法講絵巻	1巻	江戸時代	紙本着色	37.9×561.0	三千院門跡
48	重文指定 妙法蓮華経 譬喻品 第三	1巻	奈良時代	紙本墨書	27.0×1341.6	三千院門跡
49	重文指定 法華經陀羅尼梵本	1帖	平安時代	紙本墨書	16.4×13.5	三千院門跡
50	重文指定 法華儀法・例時作法	2帖	室町時代	紙本墨書	各16.9×8.8	三千院門跡
51	重文指定 雲井乃御法	1帖	室町時代	紙本墨書	26.2×17.6	三千院門跡
52	華籠	1口	江戸時代	竹製	径26.5	三千院門跡
53	柄香炉	1合	江戸時代	真鍮製	長31.0 高10.2 火舍径8.9	三千院門跡
54	火舍香炉	1合	江戸時代	真鍮製	高18.5 径16.3	三千院門跡
55	龍頭幡（灌頂幡）	一対	室町時代	金銅製	竜頭・高さ各13.5 幡・各62.0×15.5	三千院門跡
56	説相箱	1口	江戸時代	木製	13.8×36.8×27.3	三千院門跡
57	天台大師像	1幅	江戸時代	絹本着色	80.5×57.6	三千院門跡
58	伝教大師像	1幅	室町時代	絹本着色	157.0×74.0	延暦寺
59	栃木県 慈覚大師坐像	1躯	江戸時代	木造	像高79.8	輪王寺
指定文化財						
60	重文指定 慈覚大師伝	1巻	室町時代	紙本墨書	30.3×856.0	三千院門跡
61	重文指定 帝王系図	1巻	室町時代	紙本墨書	27.8×2147.0	三千院門跡
62	明雲書状	1幅	平安時代	紙本墨書	29.0×40.6	三千院門跡
63	護良親王出陣図	1幅	室町時代	絹本着色	52.0×35.8	個人蔵
64	薙刀 銘 真守造	1口	鎌倉時代	鋼製	長さ51.2 反り2.0	三千院門跡
65	和歌懐紙堯胤親王筆	1幅	室町時代	紙本墨書	33.5×51.3	三千院門跡
66	重文指定 禁裏着到百首和歌 最胤親王筆	1巻	安土桃山時代	紙本墨書	23.2×808.2	三千院門跡
67	七言絶句 盛胤親王筆	1幅	江戸時代	紙本墨書	29.0×39.1	三千院門跡
68	火雷天神像	1躯	江戸時代	木造	像高13.0	三千院門跡
70	慈眼大師像	1幅	江戸時代	紙本着色	105.8×43.4	輪王寺
71	重文指定 天海書状	1通	江戸時代	紙本墨書	38.9×54.3	三千院門跡
72	重文指定 昆盧遮那五字真言修習儀軌	1冊	平安時代	紙本墨書	15.9×16.4	三千院門跡
73	重文指定 燐盛光仏頂私記	1帖	平安時代	紙本墨書	18.0×15.6	三千院門跡
74	重文指定 摩訶止観 卷第四	1帖	平安時代	紙本墨書	23.6×15.7	三千院門跡
75	重文指定 行用抄	1帖	平安時代	紙本墨書	16.1×12.4	三千院門跡
76	重文指定 雙身私記	1帖	鎌倉時代	紙本墨書	16.3×14.8	三千院門跡
77	重文指定 梵網經盧舍那仏說菩薩心地戒品	1帖	鎌倉時代	紙本墨書	27.6×6.5	三千院門跡
78	重文指定 沙弥長苟戒牒	1巻	南北朝時代	紙本墨書	39.4×96.7	三千院門跡
79	板碑	3面	室町時代		46.5×15.7 44.3×14.6 55.5×18.7	三千院門跡
80	重文指定 織田信長黒印状	1通	安土桃山時代	紙本墨書	36.0×53.5	三千院門跡
81	重文指定 豊臣秀吉朱印状	1通	安土桃山時代	紙本墨書	32.3×50.5	三千院門跡
82	重文指定 豊臣秀吉朱印状	1通	安土桃山時代	紙本墨書	46.0×65.5	三千院門跡
83	後陽成天皇宸翰消息	1幅	江戸時代	紙本墨書	23.7×58.1	三千院門跡
84	後水尾天皇宸翰和歌懐紙	1幅	江戸時代	紙本墨書	29.8×46.3	三千院門跡
85	重文指定 古今和歌集	2帖	江戸時代	紙本墨書	23.5×17.2	三千院門跡
86	重文指定 三十六歌仙色紙	36枚	江戸時代	紙本墨書	各20.7×18.3	三千院門跡

87	重文指定	自讃歌	3帖	江戸時代	紙本墨書	各24.7×18.3	三千院門跡
88	重文指定	連歌懐紙	1巻	室町時代	彩牋墨書	18.5×445.5	三千院門跡
89	重文指定	連歌懐紙 道澄親王筆	1巻	安土桃山時代	彩牋墨書	18.8×438.4	三千院門跡
90	重文指定	池坊専好立花図	4枚	江戸時代	紙本着色	各46.7×32.8	三千院門跡
91		日誌	4冊	明治35~39年(1902~06)			三千院門跡
92		芦雁図 望月玉泉筆	6面	明治39年(1906)	紙本墨画淡彩	各172.0×89.0	三千院門跡
93		蓮池遊龜図 今尾景年筆	10面	明治39年(1906)	紙本墨画淡彩	6面・各172.0×89.0 4面・各172.0×65.0	三千院門跡
94		松龍騰空図 鈴木松年筆	12面	明治38年(1905)	紙本墨画着色	各172.0×89.0	三千院門跡
95		茅ヶ崎海岸図 菊池芳文筆	8面	明治38~39年(1905~06)	紙本墨画淡彩	各172.0×89.0	三千院門跡
96		御殿場暮景図 竹内栖鳳筆	8面(全9面)	明治39年(1906)	紙本墨画淡彩	各172.0×89.0	三千院門跡
97		猿猴図 竹内栖鳳筆	2面	明治39年(1906)	紙本墨画	各172.0×89.0	三千院門跡
98		鶯鶯図 下村觀山筆	3面	昭和4年(1929)	紙本着色	各177.0×129.0	三千院門跡
99		近代貼交屏風	6曲1隻	明治~大正時代		屏風154.0×358.0	三千院門跡
100		御所車衝立 画・神坂雪佳筆	1基	安土桃山~江戸時代	紙本着色	134.0×143.0×62.0	三千院門跡

※No15、69は東京会場のみの出品

KRY山口放送開局45周年記念 漢代「王車」の輝き —中国山東省双乳山濟北王陵出土文物—

会期 平成13（2001）年4月21日（土）～6月10日（日）
会場 展示室3・4・5・6
主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、山東省文化庁、
読売新聞西部本社、KRY山口放送
後援 萩市



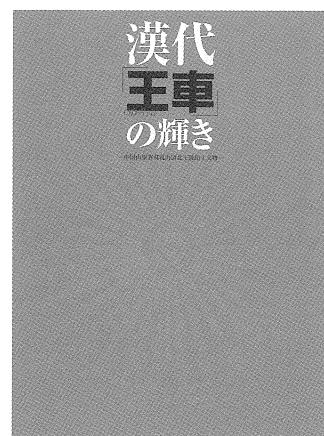
(1) 趣旨

わが弥生時代における社会形成や生活文化にも多大な影響をおよぼした、「漢」文化の実像は、今日わたしたちが使用する「漢字」「漢文」「漢詩」などといった言葉以外にも、日本各地から出土する遺物によって確認することができる。

本展覧会は、蓋弓帽をはじめとする漢代の車馬具遺品に焦点をあてて、前漢時代中期の諸侯王墓から出土した壮麗な文物を紹介するものであった。未盗掘であった双乳山1号漢墓から出土した2,000余点におよぶ華麗な副葬品は、溝城陵山中山靖王墓（河北省）・象崗山南越王墓（広東省）出土品に次ぐ豊富さを示し、1997年には中国における「全国十大考古発見」の一つとして発表されているが、なかでも墓中出土の5輢の車は残存状態が良好なうえに車の形式・規格も各種揃っており、漢代の車馬制度を知るうえでの非常に貴重な資料を提供してくれた。これまでの車馬研究にこれらの資料を加えて検討を重ねた最新の成果を復原模型として展示するほか、山東省内から出土した後漢時代石室墓の画像石拓本など参考資料もあわせ73件の文物を紹介した。

(2) カタログ

総監修 金関 恕
監修 張 従軍、王 傳昌
企画 由 少平、魯 文生、劉 伯勤、何 衛国
編集・発行 京都府京都文化博物館、山口県立萩美術館・浦上記念館
内容 ごあいさつ 主催者
前言 張 長森
謝辞
論文
漢と弥生 金 関恕
前漢時代における黄河下流域の諸侯国と济北国 劉 伯勤
双乳山前漢济北王陵 劉 善沂



漢代の王車－済北王陵から出土した車馬を中心に－ 崔 大庸

前漢時代年表 (編集：石崎泰之)

車馬部位名称図 (編集：石崎泰之、画：小川克己)

図版

車馬具

玉器・金餅

青銅器・鉄器・陶器

出品目録

参考文献 (編集：石崎泰之)

(巻末に論文と文物紹介の中英文原文を掲載)

翻訳 黃 曉芬

尾田洋子

体裁 A4判変形 136ページ

(3) 記念講演会

①日時 平成13(2001)年4月21日(土) 10:30~12:00

演題 「漢代「王車」の実態を探る」

講師 崔 大庸(山東省濟南市考古研究所所長)

②日時 平成13(2001)年5月3日(木・祝) 13:30~15:00

演題 「漢代の王墓」(兼、平成13年度美術講座第1回)

講師 黃 曉芬(東亜大学総合人間・文化学部教授)

(4) ギャラリーツアー

日時 毎週日曜日 11:00~12:00

担当 石崎泰之(学芸課主任)

(5) 出品目録

図版番号	作品名称	員数	時代	出土年	出土地・採集地	(略注)	所蔵先	材質	法量(cm)
1.1	青銅鍍金衡末	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車	山東省長清県博物館	青銅	高4.5 外径4.1 内径3.6
1.2	青銅鍍金衡末	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車	山東省長清県博物館	青銅	高5 外径4.2 内径3.6
2.1	青銅鍍金軛首	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車	山東省長清県博物館	青銅	高5.5 外径4.23 内径3.6
2.2	青銅鍍金軛首	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車	山東省長清県博物館	青銅	高5.2 外径4 内径3.6
3.1	青銅鍍金馬轡	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車	山東省長清県博物館	青銅	長20.7
3.2	青銅鍍金馬轡	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車	山東省長清県博物館	青銅	長22.7
3.3	青銅鍍金馬銜	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車	山東省長清県博物館	青銅	長20.9
4.1	青銅・鉄銜	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車	山東省長清県博物館	青銅・鉄	通長49.5
4.2	青銅・鉄銜	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車	山東省長清県博物館	青銅・鉄	通長49.7
5.0	青銅鍍金節約	4	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車	山東省長清県博物館	青銅	高2.1 直径2.3
6.1	青銅鍍金節約	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車	山東省長清県博物館	青銅	長2.2 直径1.3
	青銅鍍金節約	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車	山東省長清県博物館	青銅	口径32.6 高30.4 通高38.7
6.2	青銅鍍金節約	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車	山東省長清県博物館	青銅	長2.3 直径1.2
6.3	青銅鍍金節約	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車	山東省長清県博物館	青銅	長2.2 直径1.1
6.4	青銅鍍金節約	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車	山東省長清県博物館	青銅	長2.2 直径1.3
7.1	青銅鍍金環	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車	山東省長清県博物館	青銅	外直径4 内直径3
7.2	青銅鍍金環	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車	山東省長清県博物館	青銅	外直径2.7 内直径1.8
7.3	青銅鍍金環	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車	山東省長清県博物館	青銅	外直径3.6 内直径2.5
7.4	青銅鍍金環	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車	山東省長清県博物館	青銅	外直径2 内直径1.2
7.5	青銅鍍金環	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車	山東省長清県博物館	青銅	外径6.9 内径4.8 厚1.1
7.6	青銅鍍金環	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車	山東省長清県博物館	青銅	外径6.9 内径4.8 厚1.1

7.7	青銅鍍金 環	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	内径9 外径11.6 厚1.3
7.8	青銅鍍金 環	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	内径6.2 外径10.6 厚1
7.9	青銅鍍金 環	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	内径6.2 外径10.6 厚1
8.0	青銅鍍金 蒂首	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長3.3 幅3.3
9.0	青銅鍍金 泡飾	97	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長2.2 幅1.3
10.1	青銅鍍金 蹄形器	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長2.9 直径0.1
10.2	青銅鍍金 蹄形器	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長3.1 直径0.7
10.3	青銅鍍金 蹄形器	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長2.9 直径0.1
10.4	青銅鍍金 蹄形器	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長2.9 直径0.1
11.1	青銅鍍金 当廬	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長27 上幅11.1 壁厚0.1
11.2	青銅鍍金 当廬	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長27.5 上幅11.6 壁厚0.2
11.3	青銅鍍金 当廬	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長27.6 上幅11.3 壁厚0.2
11.4	青銅鍍金 当廬	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長27.6 上幅11.6 壁厚0.2
12.1	青銅鍍金 軛角	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長9.5 通高4.5
12.2	青銅鍍金 転角	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長9.6 通高4.5
12.3	青銅鍍金 転角	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長9.5 通高5.5
13.1	青銅鍍金 車轔	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	高6 幅7.6
13.2	青銅鍍金 車轔	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	高6.1 幅9.5
13.3	青銅鍍金 車轔	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	高9.3 幅12.4
13.4	青銅鍍金 車轔	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	高6.9 幅9.6
13.5	青銅鍍金 車轔	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	高6.3 幅8.8
14.1	青銅鍍金 带扣(鉸具)	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長3 幅2.6
14.2	青銅鍍金 带扣(鉸具)	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長4.4 幅3.1 厚0.6
14.3	青銅鍍金 带扣(鉸具)	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長4.3 幅3 厚0.7
15.1	青銅鍍金 車轂	4	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長26 直径7
15.2	青銅鍍金 車轂	4	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長30.2 直径7
16.1	鉄 軸飾	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 鉄	長12.5 幅13
16.2	鉄 軸飾	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 鉄	長10.3 幅13.2
17.1	青銅 軸飾	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長17 大直径6.9 小直径6.3
17.2	青銅 軸飾	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長17.9 直径6
18.1	青銅 柱頭飾	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	高7.1 直径6.1
18.2	青銅 柱頭飾	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	高7.7 直径6.7
18.3	青銅 柱頭飾	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	高6.6 直径6.7
18.4	青銅 柱頭飾	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	高10.5 直径6.3
19.1	青銅鍍金 俾倪	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長21.4 上直径5.1 下直径5
19.2	青銅鍍金 俾倪	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長21.8 上直径5.5 下直径5.1
19.3	青銅鍍金 俾倪	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長21.8 上直径5.5 下直径5.1
19.4	青銅鍍金 俾倪	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長21.5 上直径5 下直径5
20.0	青銅鍍金 兜柄座	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	高12.5 直径5.2
21.0	青銅鍍金 蓋弓帽	22	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	通長12-12.9 直径1.3 壁厚0.1
22.1	青銅鍍金 承弓器(輒)	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長24.3 高10.8
22.2	青銅鍍金 承弓器(輒)	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長24.2 高11.2
22.3	青銅鍍金 承弓器(輒)	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長24.3 高10.6
22.4	青銅鍍金 承弓器(輒)	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長24.3 高11.4
23.1	青銅鍍金 鉤心	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長5.7 壁厚0.2
23.2	青銅鍍金 鉤心	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長5.7 壁厚0.1
23.3	青銅鍍金 鉤心	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長6.1 壁厚0.1
23.4	青銅鍍金 鉤心	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 青銅	長6.1 壁厚0.1
24.1	鉄 環栓	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 鉄	長9.3
24.2	鉄 環栓	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	2号車 山東省長清県博物館 鉄	長9.5
25.0	青銅・鉄金銀象嵌 鐕	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	1号車 山東省長清県博物館 青銅・鉄	長27.5 直径0.5-0.9
26.0	青銅金銀象嵌 軟	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	1号車 山東省長清県博物館 青銅	長24.5 高6
27.1	青銅金銀象嵌 環	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	1号車 山東省長清県博物館 青銅	外径7.3 内径5.6
27.2	青銅金銀象嵌 環	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	1号車 山東省長清県博物館 青銅	外径7.3 内径5.6
27.3	青銅金銀象嵌 環	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	1号車 山東省長清県博物館 青銅	外直径3.5 内直径1.8 厚0.5

27.4	青銅金銀象嵌 環	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	1号車	山東省長清県博物館	青銅	外直径3.5 内直径1.8 厚0.5
27.5	青銅金銀象嵌 環	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	1号車	山東省長清県博物館	青銅	外直径3.5 内直径1.8 厚0.5
27.6	青銅金銀象嵌 環	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	1号車	山東省長清県博物館	青銅	外直径3.5 内直径1.8 厚0.5
27.7	青銅金銀象嵌 環	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	1号車	山東省長清県博物館	青銅	外径6 内径4
28.0	青銅金銀象嵌 車轔	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	1号車	山東省長清県博物館	青銅	長7 高5.4 最大直径1 墊片長4.9 幅1.7
29.1	青銅金銀象嵌 軸飾	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	1号車	山東省長清県博物館	青銅	通長7.1 幅6.2-2.6 厚1.5
29.2	青銅金銀象嵌 軸飾	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	1号車	山東省長清県博物館	青銅	通長7.1 幅6.2-2.6 厚1.5
30.1	青銅金銀象嵌 車轔	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	1号車	山東省長清県博物館	青銅	外側直径3.8 内側直径6 長5
30.2	青銅金銀象嵌 車轔	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	1号車	山東省長清県博物館	青銅	外側直径3.8 内側直径6 長5
31.0	青銅金銀象嵌 輶飾	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	1号車	山東省長清県博物館	青銅	長2.3 幅1.3 通高3.2
32.0	青銅金銀象嵌 方形飾	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	1号車	山東省長清県博物館	青銅	長2.1 幅1.4 高3.3
33.0	青銅鍍金 蓋弓帽	5	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	1号車	山東省長清県博物館	青銅	通長5.9-5.5 外径0.9-0.8 壁厚0.1
34.0	青銅鍍金 蓋弓帽	5	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	3号車	山東省長清県博物館	青銅	高9.5 大直径2.5 小直径1.5
35.0	青銅鍍金 軸飾	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	3号車	山東省長清県博物館	青銅	長10.5 幅10
36.0	青銅鍍金 輒角	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	3号車	山東省長清県博物館	青銅	長8.5 幅4.3 高4.4
37.0	青銅鍍金 輶飾	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	3号車	山東省長清県博物館	青銅	長4.5 幅5.2 厚3
38.0	青銅鍍金 蓋弓帽	5	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	4号車	山東省長清県博物館	青銅	長10.1 帽直径2 下直径0.7
39.0	青銅鍍金 当廬	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	4号車	山東省長清県博物館	青銅	長4.5 幅4.1
40.0	青銅鍍金 馬鑣	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	4号車	山東省長清県博物館	青銅	長6.9
41.0	青銅鍍金 車轔	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	4号車	山東省長清県博物館	青銅	高3.4 幅2.3
42.0	青銅鍍金 衡末	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	4号車	山東省長清県博物館	青銅	長2.8 直径1.6
43.0	青銅鍍金 軸飾	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	4号車	山東省長清県博物館	青銅	長3.2 幅2.7 高1.7
44.0	青銅鍍金 带首	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	4号車	山東省長清県博物館	青銅	長1.9 幅1.5
45.0	青銅鍍金 泡飾	120	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	4号車	山東省長清県博物館	青銅	橢円泡飾1.2 円泡飾長0.7
46.0	青銅鍍金 承弓器(軛)	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	5号車	山東省長清県博物館	青銅	通長11
47.0	玉 覆面	18	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	玉	幅23 長20 厚2.9
48.0	玉 枕	14	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	玉	通長42.1 幅7.5 高10.4
49.1	玉 璧	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	玉	直径14.53 厚0.4 口径1.97
49.2	玉 璧	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	玉	直径15.95 厚0.52 口径4.66
49.3	玉 璧	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	玉	直径14.2 厚0.5 口径2.34
49.4	玉 璧	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	玉	直径19 厚0.4 口径2.05
49.5	玉 璧	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	玉	直径21.3 厚0.45 口径2.53
50.1	玉 握(右)	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	玉	長10.4 幅2.0 高2.6
50.2	玉 握(左)	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	玉	長10.4 幅2.0 高2.6
51.0	玉 璜	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	玉	長7.9 幅1.8 厚0.9
52.1	玉 肝塞	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	玉	外径2.2 内径1.6 高7
52.2	玉 口琀	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	玉	長3.8 幅1.8 厚0.8
52.3	玉 耳塞	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	玉	長1.5 大直径1.05 小直径0.9
52.4	玉 耳塞	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	玉	長1.5 大直径1 小直径0.85
52.5	玉 鼻塞	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	玉	長1.7 大直径0.9 小直径0.8
52.6	玉 鼻塞	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	玉	長1.6 大直径0.8 小直径0.75
52.7	玉 陰罩	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	玉	高3.4 外径7.4 内径6.5
53.1	金餅	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	金	直径6.2
53.2	金餅	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	金	直径3.2
53.3	金餅	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	金	直径6.2
53.4	金餅	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	金	直径6.4
53.5	金餅	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	金	直径6.2
53.6	金餅	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	金	直径6.2
53.7	金餅	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	金	直径6.6
53.8	金餅	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	金	直径6.4
53.9	金餅	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	金	直径6.4
54.1	青銅 鈎	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	青銅	口長10.3 腹長21.5 通高32
54.2	青銅 鈎	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	青銅	口長12 腹長23 通高37.7

55.1	青銅 壺	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	青銅	口径17.3 腹径35.6 高45.5
55.2	青銅 壺	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	青銅	口径17.4 腹径36.5 高42.6
56.1	青銅 鼎	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	青銅	口径15.5 通高20.4 高16.1
56.2	青銅 鼎	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	青銅	口径17.2 高17.5 通高22.1
56.3	青銅 鼎	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	青銅	口径19 高16.2 通高20.8
56.4	青銅 鼎	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	青銅	口径19.4 高15.7 通高19.8
56.5	青銅 鼎	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	青銅	口径30.9 高29.3 通高38.2
57.0	青銅 釜	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	青銅	口径43 高25.6 底径13
58.0	青銅 鑑	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	青銅	口径61.1 高23.5 底径29
59.0	青銅 盆	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	青銅	口径32.2 高12.2 底径15
60.0	青銅 鈴	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓道	山東省長清県博物館	青銅	高3.5
61.0	青銅 薫炉	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	青銅	口径9.5 足径7.3 通高13
62.0	青銅 灯	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	青銅	口径18.2 足径13.5 高27.3
63.0	青銅 勺	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	青銅	柄長37.2 勺首直径10.3
64.1	青銅鍍金 鍔首(漆箱部品)	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	青銅	長2.8 幅2.8 直径2.6
64.2	青銅鍍金 鍔首(漆箱部品)	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	青銅	長6.2
64.3	青銅鍍金 脚(漆樽部品)	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	青銅	高4.7
65.0	青銅鍍金 箭機	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	青銅	長11.7 高13.3
66.0	鉄 剣	2	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	鉄	長96 幅3.6 柄長22 劍身長73
67.1	青銅 棺輪	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	青銅	長9.2 幅4.8 高8.2
67.2	青銅 棺輪	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	青銅	長9.1 幅4.6 高7.8
68.1	鉄 鏊	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	鉄	長26
68.2	鉄 鏊	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	鉄	長13.9
69.1	灰陶 罐	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	陶	口径17 底径13 高35.5
69.2	灰陶 罐	1	前漢	1996年	長清県双乳山1号漢墓	墓壙	山東省長清県博物館	陶	口径15.1 底径12.5 高36.8
70.1	1号車模型	1	(現代)	2001年			山東省博物館		全長350 全幅250 通高310
70.2	5号車模型	1	(現代)	2001年			山東省博物館		全長253 全幅120 通高175
71.1	車馬出行図(画像石拓本)	1	後漢		平陰県孟庄韋氏墓		山東省济南市文化局		縦54 橫287
71.2	車馬出行図(画像石拓本)	1	後漢		平陰県孟庄韋氏墓		山東省济南市文化局		縦57 橫289
73.1	青銅鍍金 蓋弓帽	1	漢	1969年	下関市稗田(地蔵堂)遺跡採集		国立歴史民俗博物館	青銅	長11.4
73.2	青銅鍍金 蓋弓帽	1	漢	1969年	下関市稗田(地蔵堂)遺跡採集		国立歴史民俗博物館	青銅	長6.4
74.0	青銅 内行花文鏡	1	漢	1969年	下関市稗田(地蔵堂)遺跡採集		国立歴史民俗博物館	青銅	径14.9

2000年パリ展 帰国記念 萩焼400年展 —伝統と革新—

会期 平成13（2001）年6月16日（土）～7月22日（日）
会場 展示室3・4・5・6
主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、萩市、
萩市教育委員会、朝日新聞社、YAB山口朝日放送
後援 山口市、長門市、萩商工会議所、萩市観光協会、
KBC九州朝日放送、萩ケーブルネットワーク
協力 日本航空、日本通運、萩陶芸家協会、
表千家萩教授会、裏千家淡交会萩支部、
遠州流萩支部、小堀遠州流萩支部



(1) 趣旨

萩焼は、藩主毛利氏が慶長9年（1604）萩に入府したのち、御用窯として開窯されたのをはじめとする。当時流行していた茶の湯の世界では、侘びた風情の感じられる朝鮮の普段使いの器を高麗茶碗と称して珍重する風潮が定着し、文禄・慶長の役（1592、1597～98）が後世に「ちゃわん戦争」ともよばれるほど、彼の地のやきものに対する熱い想いは数多くの陶工を日本へ連れ帰る行為となって現れた。萩焼の開窯も朝鮮から招致された李勺光、李敬という兄弟陶工の存在に拠っている。初期の萩焼では、開窯当時の製品需要から高麗茶碗写しの茶碗もずいぶん制作されたが、茶の湯における美意識の転換に呼応して織部好みの造形をも取り入れながら、しだいに独自の表現世界を志向するようになった。

本展は、以来400年に及ぼうとする萩焼の作陶の歴史を振り返るとともに、伝統と革新という視点から、作陶における伝統技術の継承と研鑽や創造性追求の精神的足跡を辿るなかで、革新的表現の誕生を明示することによって、萩焼の過去・現在・未来を展望するものであった。

「江戸時代」「近代」「現代」と各時代の特徴を抽出したうえで、さらに萩焼の器形の多様性に注目し、茶碗・茶入・水指などの茶陶、花器・食器などの用途と同時に見せることを意図した作品群、そして鑑賞に重点を置いた置物や現代のオブジェまでの3区分した展示構成で115点を展示した。

なお、本展は平成12（2000）年10月17日から12月9日までの会期で、パリ日本文化会館で開催された同展の帰国記念展である。

(2) カタログ

監修 河野良輔、榎本 徹
編集・発行 朝日新聞社文化企画局西部企画部
内容 ご挨拶
謝辞
巻頭論文
萩焼四百年の歴史 河野良輔

解説

萩焼の特徴 河野良輔

図版 (各章扉解説: 榎本 徹)

第1章 江戸時代の萩焼

萩焼主要産地及び原土所在図

第2章 近代の萩焼

第3章 現代の萩焼

参考資料 三輪家の型

卷末論文

萩焼スタイルの成立と展開 榎本 徹

萩焼の素材と製法 河野良輔

御用窯の様式 河野良輔

作品解説 榎本 徹

年表 河野良輔

萩藩の御用窯の系譜 河野良輔

出品リスト

体裁 A4判変形 190ページ



(3) 記念講演会

①日時 平成13(2001)年6月16日(土) 13:30~15:00

演題 「萩焼スタイルの成立と展開」

講師 榎本 徹 (山口県立美術館副館長)

②日時 平成13(2001)年6月23日(土) 13:30~15:00

演題 「萩焼古窯と防長の近世窯業」(兼・平成13年度美術講座 第2回)

講師 渡辺一雄 (梅光学院大学助教授)

(4) ギャラリーツアー

日時 毎週日曜日 11:00~12:00

担当 今村佳子 (学芸課学芸員) ほか

(5) その他

関連イベント

①呈茶席

主催 萩焼400年展萩実行委員会

協力 表千家萩教授会、裏千家淡交会萩支部、遠州流萩支部、小堀遠州流萩支部

日時 同展会期中(平成13(2001)年6月16日(土)~7月22日(日))のうち、下記実施日10:00~15:00

	実施日	団体名
1	6月16日(土)・17日(日)	表千家萩教授会
2	6月23日(土)・24日(日)	小堀遠州流萩支部
3	6月30日(土)・7月1日(日)	表千家萩教授会
4	7月7日(土)・8日(日)	裏千家淡交会萩支部
5	7月14日(土)・15日(日)	裏千家淡交会萩支部
6	7月21日(土)・22日(日)	遠州流萩支部

場所 エントランスホール、滝前広場

利用客 約800名

②邦楽の調べ

日時 平成13（2001）年7月8日(日) 10:15~11:00、13:00~13:50

場所 講座室

出演 邦楽アンサンブル やまぐち

プログラム 六段の調べ（八橋検校）/日本の歌から～出船、中国地方の子守歌/

箏と三絃りための喜遊曲（船川利夫）/詩曲I（松村禎三）/

飛驒に寄せる三つのバラード

観客 約250名

(6) 出品目録

No.	作品名	作家名	時代	寸法(cm)	所蔵先
1	萩茶碗		江戸時代前期	高8.2 口径12.2 底径5.4	毛利博物館
2	萩肩衝茶入		江戸時代前期	高9.5 口径4.7 胴径6.7 底径5.0	毛利博物館
3	萩綴目水指		江戸時代中期	高15.5 口径20.3 底径16.5	
4	萩割高台茶碗		江戸時代前期	高10.2 口径16.0 底径6.8	
5	萩茶碗		江戸時代前期	高8.9 口径14.5 底径6.9	
6	萩茶碗		江戸時代前期	高8.6 口径13.9 底径6.7	
7	萩三島写茶碗 銘「椎葉」		天和4（1684）	高8.9 口径13.9 底径5.4	
8	萩茶碗		江戸時代前期～中期	高8.7 口径11.3 底径6.6	山口県立美術館
9	萩割高台茶碗		江戸時代前期	高9.2 口径14.9 底径6.8	
10	萩割高台茶碗		江戸時代前期	高9.0 口径14.7 底径6.6	
11	萩檜垣文筆洗形茶碗		江戸時代前期	高7.3 口径15.4 底径6.1	
12	萩檜垣文筆洗形割高台茶碗		江戸時代前期	高8.3 口径15.4 底径6.0	山口県立美術館
13	萩割高台茶碗		江戸時代前期	高8.8 口径12.5 底径7.0	山口県立美術館
14	萩茶碗 銘「立田」		江戸時代前期	高8.7 口径13.8 底径6.3	山口県立美術館
15	萩片身替茶碗 銘「むら雀」		江戸時代前期	高7.7 口径14.3 底径5.5	
16	萩立鶴茶碗		江戸時代前期～中期	高9.3 口径10.3 底径5.1	
17	萩熊川写茶碗 銘「ふくら雀」		江戸時代前期～中期	高9.1 口径13.7 底径5.9	
18	萩馬上杯形茶碗		江戸時代前期～中期	高10.4 口径12.3 底径6.5	山口県立美術館
19	萩割高台茶碗		江戸時代前期～中期	高8.5 口径16.5 底径6.2	
20	萩井戸形茶碗		江戸時代中期	高8.2 口径16.1 口径5.1	山口県立美術館
21	萩井戸形茶碗		江戸時代中期	高8.5 口径17.0 底径5.8	山口県立美術館
22	萩茶碗		江戸時代中期	高8.1 口径14.3 底径5.6	毛利博物館
23	萩説絵花文茶碗		江戸時代中期	高7.5 口径12.5 底径5.3	毛利博物館
24	紅萩割高台茶碗		江戸時代中期～後期	高9.0 口径12.0 底径5.6	
25	萩富士図割高台茶碗	林半六（6代）	江戸時代後期	高6.7 口径13.2 底径5.3	
26	萩唐人笛形茶碗		江戸時代後期	高10.8 口径11.1 底径5.0	
27	萩唐人笛形茶碗	坂高麗左衛門（8代）	江戸時代後期	高12.0 口径12.0 底径7.5	
28	萩赤楽茶碗	三輪休雪（初代）	元禄16（1703）年	高7.6 口径10.5 底径4.8	
29	萩赤楽茶碗	三輪勘七	江戸時代中期～後期	高8.9 口径11.0 底径5.3	
30	萩赤楽茶碗	三輪勘七	江戸時代中期～後期	高7.3 口径10.5 底径4.8	
31	萩割俵形茶碗		江戸時代前期	高6.5 口径14.5 底径6.5	山口県立美術館
32	萩割俵形茶碗 銘「福の神」		江戸時代前期	高9.5 口径13.5 底径5.1	
33	萩花文割俵形鉢		江戸時代前期	高10.8 口径19.5×16.8 底径8.1×6.1	山口県立美術館
34	萩十字文割俵形鉢		江戸時代前期	高14.0 口径32.2×22.5 底径12.8×11.0	
35	萩十字文割俵形鉢		江戸時代前期	高10.2 口径18.7×15.5 底径10.3×7.5	
36	萩鮫釉砂金袋形水指		江戸時代後期	高15.4 口径19.8 底径11.0	
37	萩祭器形鉢		江戸時代前期	高8.5 口径21.8×15.0 底径10.5	
38	萩手付鉢		江戸時代前期	高12.5 口径26.0 底径9.3	
39	萩龍耳花瓶		江戸時代前期	高30.7 口径23.8 底径18.0	毛利博物館

40	萩耳付花瓶	江戸時代後期	高33.3 口径26.5 底径17.5	
41	萩蓮葉形大鉢	江戸時代後期	高14.3 口径33.0 底径12.0	
42	萩あわび形大鉢	江戸時代後期	高11.0 口径34.8×29.0 底径11.0	
43	萩ピラ掛徳利	江戸時代後期	高29.8 口径5.0 胴径17.0 底径10.3	
44	萩鉄拐仙人置物	江戸時代前期～中期	高38.0 幅30.0 奥行19.7	毛利博物館
45	萩布袋置物	寛政11（1799）年	高27.0 幅30.5 奥行19.0	
46	萩赤楽大黒天置物	江戸時代中期～後期	高25.1 幅30.0 奥行22.5	
47	萩布袋置物	井上武兵衛親則	高26.0 幅30.5 奥行19.0	
48	萩牡丹唐草文手洗	三輪喜楽（6代）	文政7（1824）年	高34.0 口径15.5 胴径30.0 底径19.0 山口県立美術館
49	萩牡丹唐獅子香炉	三輪喜楽（6代）	江戸時代後期	高23.3 幅22.0 奥行15.0
50	萩飛獅子置物	三輪喜楽（6代）	江戸時代後期	高37.0 幅18.5 奥行20.5
51	萩飛獅子置物	三輪喜楽（6代）	江戸時代後期	高32.2 幅19.0 奥行18.0
52	萩子連獅子置物	三輪喜楽（6代）	江戸時代後期	高21.5 幅27.0 奥行16.0
53	萩狸置物	三輪喜楽（6代）	江戸時代後期	高34.3 幅26.0 奥行28.5
54	萩郭子儀置物	三輪喜楽（6代）	江戸時代後期	高28.0 幅21.0 奥行28.0
55	萩西行置物	三輪喜楽（6代）	江戸時代後期	高20.0 幅19.0 奥行17.0
56	萩鉄拐仙人置物	三輪喜楽（6代）	江戸時代後期	高26.8 幅21.0 奥行17.0
57	萩立獅子置物	三輪休雪（7代）	江戸時代後期	高36.5 幅23.0 奥行29.0
58	萩鯉籠登り花入	三輪休雪（7代）	江戸時代後期	高30.8 幅15.0 奥行19.0
59	萩琴高仙人置物	三輪休雪（7代）	江戸時代後期	高37.6 幅45.5 奥行25.0
60	萩蝦蟇仙人置物	三輪休雪（7代）	江戸時代後期	高41.3 幅31.5 奥行33.5
61	萩柿釉獅子置物		江戸時代後期	高26.5 幅25.5 奥行18.0
62	萩鍾馗置物		江戸時代後期	高33.8 幅19.0 奥行14.5
63	萩玉取獅子置物		明治期	高21.7 幅23.0 奥行22.0
64	萩加藤清正置物		明治期～昭和期	高61.0 幅29.0 奥行30.5
65	萩長寿楽置物	三輪休和	1928	高42.0 幅26.0 奥行31.5
66	萩布袋唐子置物	大野瑞峰	1975年頃	高27.3 幅25.0 奥行20.5
67	萩筆洗切茶碗	坂高麗左衛門（9代）	明治期	高7.2 口径13.2 底径4.5
68	萩茶碗	大和松緑	大正期	高8.5 口径12.8 底径5.9
69	萩蕎麦茶碗	坂倉新兵衛（12代）	1935	高6.2 口径15.8 底径5.8
70	萩印毛目茶碗	坂倉新兵衛（12代）	1958	高8.2 口径15.0 底径5.5
71	萩筆洗切茶碗	三輪休和	1975	高9.7 口径12.6 底径6.6
72	萩編笠水指	三輪雪山（8代）	明治期	高12.5 口径25.2×20.4 底径9.8×8.4
73	萩編笠水指	三輪休和	1973	高12.2 口径26.8 底径13.7
74	萩幸茸耳付花瓶	大和松緑	明治期～大正期	高37.4 口径15.2 胴径23.4 底径12.2
75	鬼萩割高台茶碗	三輪休雪	1987	高9.7 口径15.4 底径9.1
76	萩井戸形茶碗	坂高麗左衛門（11代）	1980	高8.3 口径15.0 底径6.2
77	萩小井戸茶碗	坂田泥華	1999	高7.0 口径14.3 底径5.0
78	萩御手本茶碗	坂倉新兵衛（14代）	1974	高8.6 口径14.0 底径6.0
79	萩割高台茶碗	田原陶兵衛（12代）	1990年頃	高8.2 口径14.0 底径5.8
80	萩井戸形茶碗	脇本定三	1997	高9.2 口径14.9 底径5.3
81	紫雲龍氣	三輪龍作	2000	高9.7 口径13.7 底径8.5
82	萩井戸形茶碗	大和吉孝	1999	高9.0 口径15.0 底径5.4
83	萩陶彩蘭面目取茶碗	坂高麗左衛門（12代）	1999	高11.7 口径12.5 底径7.9
84	萩白釉窯変削貫茶碗	兼田昌尚	1995	高11.9 口径12.1 底径10.5
85	「天花」	三輪和彦	1999	高10.0 口径3.2 底径4.4×4.4
86	萩白釉平水指	坂田泥華	1999	高10.5 口径23.0 底径12.5
87	萩平水指	坂倉新兵衛（14代）	1974	高11.0 口径30.3 底径17.3
88	萩灰被水指	田原陶兵衛（12代）	1980年頃	高16.0 口径19.5 底径16.0
89	萩練上水指	大和保男	1990	高16.2 口径19.8 底径17.5
90	「白い夢」	三輪和彦	1995	高29.0 口径9.0 胴径28.5 底径21.5
91	白萩手桶花入	三輪休雪	1965	高34.5 口径13.5×13.5 底径20.6×18.5
92	萩灰被面取花入	三輪榮造	1986	高26.6 口径13.0 底径13.0
93	萩炎箔文陶管	大和保男	1979	高12.7 幅27.8 奥行26.7
94	萩菊花文食籠	坂倉新兵衛	1993	高13.0 幅22.0 奥行15.7

95	萩魚文壺	坂高麗左衛門（11代）	1975	高22.5 口径13.7 腹径29.8 底径11.5	山口県立美術館
96	萩麦文壺	吉賀大眉	1946	高26.8 口径17.0 腹径32.5 底径17.0	山口県立美術館
97	花器「暁雲」	吉賀大眉	1973	高40.6 口径21.0 腹径40.6 底径10.0	山口県立美術館
98	「騰宮」	兼田文男	1999	高20.0 幅62.0 奥行12.0	
99	萩伊羅保線文鉢	野坂康起	1999	高12.0 口径40.5 底径19.5	
100	萩窯変大鉢	大野孝晴	1997	高12.5 口径51.0 底径16.0	
101	「鳥と雲と風と」	石村正彦	1997	高51.5 口径36.0 奥行 23.0	
102	萩窯変壺	波多野善蔵	1977	高28.2 口径22.7 腹径40.0 底径15.0	
103	「曜」	吉賀将夫	1985	高38.0 幅35.0 奥行9.5	
104	萩白釉窯変壺	岡田裕	1988	高38.0 口径18.0 腹径35.0 底径18.0	山口県立美術館
105	萩窯変掛分皿	大和祐二	1999	高8.0 口径53.0 底径39.0	
106	萩印華窯変壺	大野誠二	1995	高40.0 口径15.5 腹径40.0 底径16.0	
107	萩剥離窯変花器	坂田慶造	1990	高31.5 径36.0 底径14.5	山口県立美術館
108	萩白釉台皿	新庄貞嗣	1999	高29.0 口径37.5×31.0 底径16.0	
109	萩窯変壺	田原陶兵衛	1999	高34.5 口径13.2 底径12.0	
110	「WORK 99-5」	兼田昌尚	1999	高34.5 幅77.0 奥行25.7	
111	萩粉引彩四面捺花瓶	大和努	1999	高41.0 口径25.0 腹径36.0 底径10.5	
112	「流沙の人」	三輪龍作	1979	高25.0 幅112.0 奥行32.0	山口県立美術館
113	碑「アーチ」	中村真一	1987	高48.5 幅65.0 奥行40.0	
114	「FLOWER」	金子信彦	1998	高100.0 口径40.0 底径25.0	
115	「RING 1」	三輪和彦	1988	高55.0 幅115.0 奥行き115.0	
参考資料1	木ノ葉形皿型	三輪休雪（初代）	貞亭5（1688）年	縦26.0 横13.6 厚7.5	
参考資料2	牡丹文蓋物型	三輪休雪（初代）	元禄9（1696）年	高7.5 口径22.0 底径22.0	
参考資料3	芙蓉文円皿型	三輪休雪（初代）	元禄13（1700）年	高4.0 口径17.5 底径17.5	
参考資料4	牡丹文円皿型	三輪休雪（初代）	天和4（1684）年	高4.0 口径21.5 底径21.5	
参考資料5	仙人頭部型			縦17.5 横10.8 厚7.5	
参考資料6	鯉貼付型	三輪喜樂	文化14（1817）年	縦16.0 横10.8 厚1.4	
参考資料7	水月猿猴図貼付型	三輪喜樂（6代）		縦13.0 横6.8 厚1.4	
参考資料8	兎貼付型			縦20.1 横15.0 厚2.8	
参考資料9	破傘人物図貼付型			縦7.6 横10.0 厚5.3	
参考資料10	鬼頭部型			縦9.0 横10.1 厚2.5	
参考資料11	牡丹貼付型				

色彩の歓び メルツバッハ・コレクション展

会期 平成13（2001）年7月28日(土)～9月28日(金)
会場 展示室3・4・5・6
主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、
(財)山口県教育財団、毎日新聞社、TYSテレビ山口
共催 RKB毎日放送、RCC中国放送
後援 スイス大使館、萩市
協賛 山口セキスイハイム株式会社
協力 日本航空



(1) 趣旨

メルツバッハ・コレクションは、スイス在住のメルツバッハ夫妻が30年以上にわたって収集した世界的に知られる西洋美術のコレクションである。今回は「色彩の歓び」をテーマに、〈印象派からフォーヴィスムまで〉、〈ドイツ表現主義〉、〈現実を超えて〉の3つのセクションにわけて、セザンヌ、モネ、ルノワール、ゴッホ、ロートレック、ピカソ、モディリアーニ、マティス、カンディンスキイ、クレー、シャガールなど、19世紀末から20世紀中葉までを代表する画家たちの名品87点を紹介。個人コレクションとして、これほど多くの作品が一堂に公開されるのは日本で初めての機会となる。

(2) カタログ

監修 千足伸行
編集 愛知県美術館、安田火災東郷青児美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館、岩手県美術館、東京新聞

発行 東京新聞

内容 ごあいさつ 主催者

メッセージ ヨハネス・J・マンツ

メッセージ ヴェルナー・メルツバッハ

色彩の喜び—メルツバッハ夫妻とそのコレクション

ステファニー・ラッカム

近代絵画と色彩：ドラクロワからフォーヴィスム、表現主義へ

千足伸行

第1章 印象派からフォーヴィスムまで

第2章 ドイツ表現主義

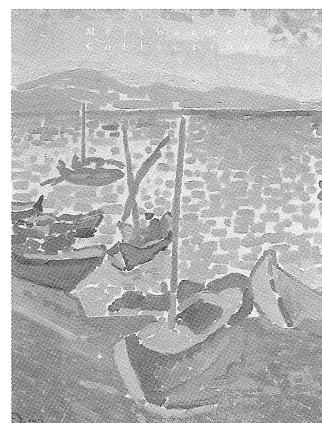
第3章 現実を超えて

章・作品解説 中島啓子、佐々木一成、大野正勝、根本亮子、
古田浩俊、村上博哉

The Joy of Color : The Merzbachers and their Collection

Stephanie Rachum

出品目録



(3) 記念講演会

- ①日時 平成13（2001）年7月28日(土) 13:30～15:00
 演題 「線の芸術から色彩の芸術へ—表現主義・フォーヴィスムを中心として」
 講師 千足伸行（成城大学教授）
- ②日時 平成13（2001）年8月18日(土) 13:30～15:00（兼 平成13年度第3回美術講座）
 演題 「浮世絵とジャポニズム」
 講師 河野元昭（東京大学教授）

(4) ギャラリーツアー

- ①ギャラリーツアー
 日時 毎週日曜日 11:00～12:00
 担当 鈴木浩平（学芸課主任）
- ②親子ギャラリーツアー
 日時 平成13（2001）年8月13日(月)・14日(火) 15:00～16:00
 担当 鈴木浩平（学芸課主任）

(5) その他

関連イベント

絵画と音楽にみる1900年前後のヨーロッパ～トーク&ミュージック～

日時 平成13（2001）年8月14日(火) 13:30～15:00

講師 石飛祥一（山口芸術短期大学非常勤講師）

司会 鈴木浩平（学芸課主任）

聴講 30名

(6) 出品目録

番号	作家	作品名	制作年	技法・材質	法量
1	ポール・セザンヌ	觸體と燭台のある静物	1866-67	油彩、カンヴァス	47.5×62.5 cm
2	クロード・モネ	ヴァル・ド・ファレーズ (ジヴェルニー) の谷、冬	1885	油彩、カンヴァス	65.4×80.5 cm
3	アルフレッド・シスレー	オルヴァンヌの河岸の柳	1883	油彩、カンヴァス	54.3×73.7 cm
4	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	白いドレスの若い婦人	1901	油彩、カンヴァス	65.0×54.0 cm
5	フィンセント・ファン・ゴッホ	枝垂れ柳のある庭	1888	油彩、カンヴァス	60.5×73.5 cm
6	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	庭の青葉の中に座る婦人	1890-91	油彩、板 (木枠の裏打ちのあるもの)	55.0×46.0 cm
7	アンリ・マティス	コリウールの室内（昼寝）	1905	油彩、カンヴァス	60.0×73.0 cm
8	アンドレ・ドラン	木のある河岸の風景	1905	油彩、カンヴァス	61.0×81.0 cm
9	アンドレ・ドラン	コリウールの港の舟	1905	油彩、カンヴァス	72.0×91.0 cm
10	アンドレ・ドラン	ロンドン・ブリッジ	1905-06	油彩、カンヴァス	63.0×95.5 cm
11	モーリス・ド・ヴラマンク	「ラ・モール」の踊り子	1905-06	油彩、カンヴァス	77.0×65.5 cm
12	モーリス・ド・ヴラマンク	ジャガイモを拾う人々	1905-07	油彩、カンヴァス	46.0×55.3 cm
13	モーリス・ド・ヴラマンク	シャトゥーからの眺め	1906	油彩、カンヴァス	54.0×65.0 cm
14	ジョルジュ・ブラック	レスタック	1906	油彩、カンヴァス	46.0×55.0 cm
15	ジョルジュ・ブラック	レスタックの風景	1906	油彩、カンヴァス	60.0×81.0 cm
16	ジョルジュ・ブラック	ラ・シオタの風景	1907	油彩、カンヴァス	54.0×65.4 cm
17	エミール＝オットン・フリエス	ラ・シオタの「鶯のくちばし」山	1906-07	油彩、カンヴァス	65.5×81.0 cm
18	パブロ・ピカソ	二人（貧しき者たち）	1904	油彩、カンヴァス	100.5×81.5 cm

19	アメデーオ・モディリアーニ	座るジャンヌ・エピュテルヌ	1918	油彩、カンヴァス	92.0 × 60.3 cm
20	カール・シュミット=ロットルフ	花咲く木	1909	油彩、カンヴァス	69.0 × 80.5 cm
21	カール・シュミット=ロットルフ	門口	1910	油彩、カンヴァス	77.0 × 85.5 cm
22	マックス・ペヒュタイン	水浴者のための赤い家	1910	油彩、カンヴァス	71.0 × 81.0 cm
23	エーリヒ・ヘッケル	秋の家	1908	油彩、カンヴァス	69.2 × 80.0 cm
24	エーリヒ・ヘッケル	赤い屋根、ダンガストの家並み	1909	油彩、カンヴァス	67.5 × 75.5 cm
25	エーリヒ・ヘッケル	橋のある街路風景	1916	テンペラ、カンヴァス	50.0 × 70.0 cm
26	エルнст・ルートヴィヒ・キルヒナー	バラ色の二人の裸婦、モーリッツブルグ湖畔にて	1909/20	油彩、カンヴァス	90.0 × 120.0 cm
27	エルнст・ルートヴィヒ・キルヒナー	青いソファーの上の二人の裸婦	1910/20	油彩、カンヴァス	50.2 × 70.5 cm
28	エルnst・ルートヴィヒ・キルヒナー	一輪車乗り	ca.1911	油彩、カンヴァス	80.0 × 90.0 cm
29	エルnst・ルートヴィヒ・キルヒナー	馬車馬と三人の農夫	1920-21	油彩、カンヴァス	92.0 × 123.0 cm
30	エルnst・ルートヴィヒ・キルヒナー	ゼルティヒ渓谷の風景	1924	油彩、カンヴァス	110.0 × 150.0 cm
31	エミール・ノルデ	花園一赤紫の服を着た婦人	1908	油彩、カンヴァス	56.0 × 83.5 cm
32	エミール・ノルデ	ひまわり	1930-35	水彩、和紙	35.5 × 44.0 cm
33	エミール・ノルデ	ヒナゲシヒルピナス	n.d.(制作年不明)	水彩、紙	33.4 × 46.2 cm
34	エミール・ノルデ	ケシの花	n.d.(制作年不明)	水彩、紙	44.5 × 36.0 cm
35	エミール・ノルデ	夕暮れの空	n.d.(制作年不明)	水彩、紙	33.5 × 45.0 cm
36	ヴァシリー・カンディンスキー	ムルナウー村の道	1908	油彩、厚紙(後に板に貼付け)	48.0 × 69.5 cm
37	ヴァシリー・カンディンスキー	ムルナウーコールグルーバー通り	1908	油彩、ボード	71.0 × 97.5 cm
38	ヴァシリー・カンディンスキー	ポートの見える秋の風景	1908	油彩、ボード	71.0 × 96.5 cm
39	ヴァシリー・カンディンスキー	風景の中の槍騎兵	1908	油彩、板に貼付けたボード	63.0 × 81.0 cm
40	ヴァシリー・カンディンスキー	「コンポジションII」のための部分習作	1910	油彩、厚紙	57.0 × 47.5 cm
41	ヴァシリー・カンディンスキー	ムルナウー庭 II	1910	油彩・ボード	67.0 × 51.0 cm
42	ヴァシリー・カンディンスキー	最後の審判の天使	1911	油彩、厚紙	64.0 × 50.0 cm
43	ガブリエーレ・ミュンター	シュタッフェル湖の夕暮れ	ca.1910-11	油彩、厚紙	33.0 × 40.6 cm
44	マリアンネ・フォン・ヴェレフキン	工場	1910-12	グワッシュ、紙	36.5 × 26.5 cm
45	アレクセイ・フォン・ヤウレンスキイ	灰色のエプロンをした少女	1909	油彩、厚紙	98.5 × 68.0 cm
46	アレクセイ・フォン・ヤウレンスキイ	濃紺のターバンを巻いたヘレーネ	1910	油彩、木に貼付けた厚紙	72.1 × 68.9 cm
47	アレクセイ・フォン・ヤウレンスキイ	黄色い麦藁帽子の婦人	ca.1910	油彩、厚紙	86.5 × 73.5 cm
48	アレクセイ・フォン・ヤウレンスキイ	赤い花のある静物	ca.1910	油彩、木に貼付けた厚紙	48.5 × 54.0 cm
49	アレクセイ・フォン・ヤウレンスキイ	神秘的な少女の顔	ca.1917	油彩、厚紙	35.0 × 29.0 cm
50	アレクセイ・フォン・ヤウレンスキイ	救世主の顔	ca.1917	油彩、厚紙に貼付けた麻目の紙	36.0 × 28.0 cm
51	アレクセイ・フォン・ヤウレンスキイ	変奏一みずみずしく高らかに	ca.1918	油彩、厚紙に貼付けた麻目紙	35.8 × 27.1 cm
52	アレクセイ・フォン・ヤウレンスキイ	抽象的な顔	1929	油彩、厚紙に貼付けた麻目の紙	36.0 × 25.0 cm
53	フランツ・マルク	家と犬と牛のいる風景	1914	油彩、カンヴァス	66.0 × 71.0 cm
54	ハインリヒ・カンペンドンク	バルコニー	1913	油彩、カンヴァス	87.5 × 76.0 cm
55	ハインリヒ・カンペンドンク	大きな風景	ca.1918-20	油彩、カンヴァス	74.5 × 99.5 cm
56	パウル・クレー	黄色い家	1914	水彩、紙	26.8 × 20.5 cm
57	パウル・クレー	不吉な家の上の星	1916	水彩・砂、カンヴァス	19.7 × 22.0 cm
58	パウル・クレー	色彩と黒い線による構成	1919	水彩、厚紙に貼り付けた紙	22.0×21.0, 21.8×16.0 cm
59	パウル・クレー	月は昇り、陽は沈む	1919	油彩、ボード	40.5 × 34.5 cm
60	パウル・クレー	碑文のような	1920	油彩、厚紙	16.5 × 35.2 cm
61	パウル・クレー	鳥のペプ	1925	油彩・水彩、紙	30.0 × 37.3 cm
62	パウル・クレー	リンドウのような静物	1939	パステル、薄織りの綿布	38.5 × 37.0 cm
63	ライオネル・ファイニング	村の教会	ca.1915	油彩、カンヴァス	85.0 × 99.0 cm
64	オスカー・ココシュカ	フィレンツェ、マネッリ塔からの眺め	1948	油彩、カンヴァス	85.5 × 110.0 cm
65	マックス・ベックマン	蛇使いの女	1940	油彩、カンヴァス	145.5 × 91.0 cm
66	マックス・ベックマン	女と赤い鳥	1941	油彩、カンヴァス	55.0 × 95.0 cm
67	マックス・ベックマン	静物—赤いバラと犬のブッチャー	1942	油彩、カンヴァス	95.5 × 55.5 cm
68	マックス・ベックマン	鏡とオニユリのある静物	1950	油彩、カンヴァス	76.0 × 61.0 cm
69	フランティシェフ・クプカ	黄色の形(ノートル・ダム)	1911	油彩、カンヴァス	73.0 × 59.5 cm
70	フランティシェフ・クプカ	フーガのための習作	1912-19	グワッシュ、紙	38.0 × 36.0 cm
71	フランティシェフ・クプカ	抽象的構成	ca.1913-19	グワッシュ・水彩・黒インク、紙	30.0 × 30.0 cm

72	ソニア・ドロー＝テルク	ダンスホール「ビュリエ」	1913	油彩、カンヴァス	50.2 × 73.0 cm
73	ソニア・ドロー＝テルク	スイカを持つ女	1916	エンコースティック、紙	63.0 × 47.5 cm
74	フェルナン・レジェ	都市の二つの円盤	1919	油彩、カンヴァス	65.5 × 54.3 cm
75	フェルナン・レジェ	母と子（机の下の犬）	1920	油彩、カンヴァス	65.0 × 92.0 cm
76	ウンベルト・ポッチョーニ	馬の造形的な形	1913-14	油彩、カンヴァス	40.0 × 40.0 cm
77	ナタリア・ゴンチャローヴア	川辺の風景	ca.1909-11	油彩、カンヴァス	99.0 × 87.0 cm
78	ミハイル・ラリオーノフ	赤のレイヨニズム	1913	水彩、紙	26.3 × 32.4 cm
79	ミハイル・ラリオーノフ	青のレイヨニズム	1915	水彩、紙	37.5 × 46.5 cm
80	オリガ・ローザノヴァ	港	1912	油彩、カンヴァス	100.4 × 79.2 cm
81	リューボフィ・ポボーヴア	キュビズム風の都市風景	ca.1914	油彩、カンヴァス	104.0 × 86.0 cm
82	アレクサン德拉・エクステル	色彩のダイナミズム	ca.1916-18	油彩・グワッシュ、カンヴァス	111.5 × 73.5 cm
83	カジミール・マレーヴィチ	風景の中の二人	1931-32	油彩、カンヴァス	48.0 × 58.5 cm
84	アルトゥール・ゼーガル	マイヤー商会	1919	油彩、カンヴァス	69.0 × 89.3 cm
85	マックス・エルнст	春	1918-19	油彩、カンヴァス	57.0 × 51.0 cm
86	ジョアン・ミロ	希望	1946	油彩、カンヴァス	58.0 × 58.0 cm
87	マルク・シャガール	律法を持つユダヤ人	1940s/58-59	油彩、(木枠のサポートのある) 板に貼り付けた厚紙	65.0 × 51.0 cm

山口きらら博・開催記念特別展 ゴッホと浮世絵 タンギー爺さん

会期 平成13（2001）年8月22日(火)～9月30日(日)
会場 展示室1・2
主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、
（財）山口県教育財団、毎日新聞社、TYSテレビ山口
共催 RKB毎日放送、RCC中国放送
後援 萩市
協賛 山口セキスイハイム株式会社
協力 日本航空



(1) 趣旨

約100年前、ヨーロッパで日本ブームが起こった。ジャポニスムが流行し、多くの芸術家たちが日本の美術・工芸品に影響を受けた中でも、浮世絵を油絵で模写したゴッホは最も日本に傾倒した画家といえる。背景に浮世絵の描かれた「タンギー爺さん」は、日本をユートピアと思い描いたゴッホを象徴する作品であるばかりでなく、ジャポニスムを代表する作品であり、近代フランス絵画の名作である。本展は「タンギー爺さん」と模写された元の浮世絵を展示する世界初の試みである。浮世絵がゴッホに与えた影響とジャポニスムについて振り返る。

(2) カタログ

編集・発行 山口県立萩美術館・浦上記念館

内容 ごあいさつ 主催者

ロダンとファン・ゴッホの《タンギー爺さん》 クローディー・ジュドラン

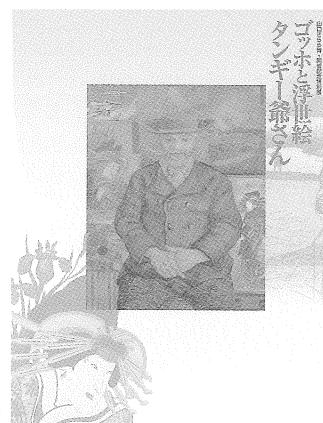
《タンギー爺さん》の背景の浮世絵について 神谷 浩

ゴッホと縮緬絵 一新出資料紹介「東京名所 いり屋」— 藤村忠範（学芸課専門学芸員）

第1部 「タンギー爺さん」と浮世絵

第2部 ゴッホとジャポニスム

体裁 A4判変形 48ページ



(3) 記念講演会

日時 平成13（2001）年8月22日(水) 10：30～12：00

演題 「ロダンとファン・ゴッホの「タンギー爺さん」」

講師 クローディー・ジュドラン（パリ・ロダン美術館素描部長）

日時 平成13（2001）年9月1日(土) 13：30～15：00

演題 「ゴッホの見た浮世絵」

講師 神谷 浩（名古屋市美術館学芸係長）

(4) ギャラリーツアー

親子ギャラリーツアー

日時 平成13（2001）年9月8日(土)、9月22日(土) 15:00～16:00

担当 藤村忠範（学芸課専門学芸員）

(5) 出品目録

番号	作者	作品名	制作年	判型・形態・技法	寸法(cm)	所蔵先	分類番号
1	フィンセント・ファン・ゴッホ	タンギー爺さん	1887年秋	油彩、カンヴァス	92.0×75.0	フランス国立ロダン美術館	P.7302
2	歌川広重	五十三次名所図会 石薬師 義経さくら 範頬の祠		大判錦絵		ファン・ゴッホ美術館	N72V/1962
3	歌川広重	富士三十六景 さがみ川		大判錦絵		ファン・ゴッホ美術館	N91V/1962.
4	歌川国貞	三世岩井経三郎の三浦屋高尾		大判錦絵		ファン・ゴッホ美術館	N327V/1962.
5	作者不詳	東京名所 いり屋		縮緬絵		山口県立萩美術館・浦上記念館	HUM/U5006
6	溪齋英泉	雲龍打掛の花魁		大判錦絵二枚継		千葉市美術館	
7	溪齋英泉	雲龍打掛の花魁		大判錦絵二枚継		及川茂氏蔵	
8		雑誌『パリ・イリュストレ』 (1886年5月1日号)				東京・個人蔵	
9	歌川広重	名所江戸百景 龜戸梅屋舗		大判錦絵		山口県立萩美術館・浦上記念館	HUM/U970(TU)
10	歌川広重	名所江戸百景 大はしあたけの夕立		大判錦絵		山口県立萩美術館・浦上記念館	HUM/U993(TU)

ドイツ陶芸の100年

アール・ヌーヴォーから現代作家まで

DEUTSCHE KERAMIK 1900-2000

Geschichte und Positionen des Jahrhunderts

会期 平成13（2002）年10月6日(土)～11月25日(日)

会場 展示室3・4・5・6

主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、

関西ドイツ文化センター、朝日新聞社、

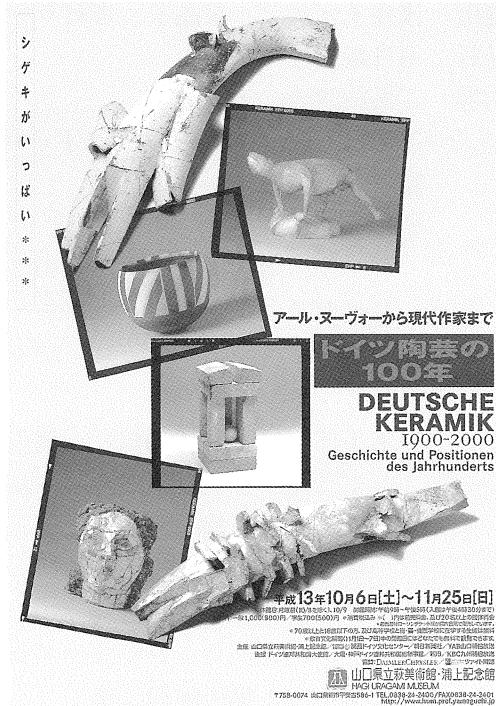
YAB山口朝日放送

後援 ドイツ連邦共和国大使館、

大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館、

萩市、KBC九州朝日放送

協賛 DAIMLER CHRYSLER、ツァイト財団



(1) 趣旨

日本でドイツの現代陶芸が紹介されるのは、1976年の「ドイツの現代陶芸」展（京都国立近代美術館）以来じつに25年ぶりのことになる。とくに1989年のベルリンの壁崩壊以前の東ドイツにおける陶芸や再統一後の陶芸事情が紹介されるのは初めてのことと、本展覧会はドイツ陶芸の全貌を過去100年に遡って展望するものであった。

ドイツ陶芸史の近代は、19世紀後半にまず日本、そして中国や朝鮮における高水準のやきものの発見からはじまった。これらのやきものに表れた多彩な釉薬についての化学分析をすすめたヘルマン・ゼーゲルをはじめとする化学者たちの研究成果が、美的な刺激剤となって、1800年代最後の10年間には創作活動としての陶芸がスタートした。

展覧会は、ユーゲントシュティール（ドイツにおけるアール・ヌーヴォー）のもと、日本美術をはじめ東アジアのやきものの影響を受けながら革新的な作風を生み出した1900年から1970年までを第1部、陶芸を容器という機能性の束縛から解放して彫刻的造形表現を志向しつつ多様な展開をみせる1970年以降2000年までを第2部として展示した。

69名のデザイナーや陶芸家による189点の作品でドイツ陶芸100年の歩みを紹介した本展は、当館を最終会場する日本国内巡回の後、2002年の2月から5月にかけて、ケルン市近郊のケラミオンーフレッヘン現代陶芸美術館での帰国展が開催された。

(2) カタログ

企画・編集

金子賢治、木田拓也（東京国立近代美術館）

唐澤昌宏（愛知県陶磁資料館）

三浦弘子（滋賀県立陶芸の森）

稻垣和幸（江別市セラミックアートセンター）

石崎泰之（山口県立萩美術館・浦上記念館）

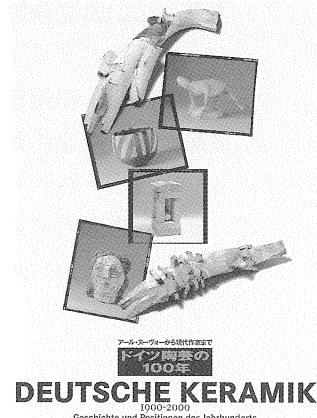
ペトウ・マトウシェ、丹野美穂子（東京ドイツ文化センター）

上村義夫、小野公久（朝日新聞文化企画部）
 ハインツ・シュピールマン（シュレスヴィッヒ＝ホルシュタイン州立ゴットルフ城美術館前館長）
 ガビ・デヴァルト（ケラミック・マガジン編集長）
 レナーテ・ルックナー＝ビーン
 （ギービッヒエンシュタイン城ハレ美術デザイン大学広報担当官・美術史家）

翻訳 浅井イヅルデ、泉晶子、ギゼラ・オガサ&戸川幸夫、櫻庭美咲、田辺マリア・リディア
 発行 朝日新聞社
 内容 ごあいさつ 主催者
 ご挨拶 Dr.ウーヴェ・ケストナー（ドイツ連邦共和国大使）
 謝辞
 卷頭論文
 ドイツの陶芸1900～1970年の歩み ハインツ・シュピールマン
 旧東ドイツの陶芸 レナーテ・ルックナー＝ビーン
 旧西ドイツの陶芸 ガビ・デヴァルト

図版
 第1部 1900～1970年 (解説: ハインツ・シュピールマン)
 1. ユーゲントシュティール (アール・ヌーヴォー)
 2. 民間陶器
 3. 1920年代
 「バウハウス」の陶芸
 ギービッヒエンシュタイン城における「ハレ市工房」の陶芸
 キール美術陶器工房
 4. 近代陶芸の指導者
 第2部 1970～2000年 (解説: ガビ・デヴァルト)
 1970年以降のドイツ陶芸の観点
 1. フォルム—構築的なボリュームと無定形のボリューム
 2. 色—色と輝き
 3. 絵画と装飾
 4. 土—素材の語りかける言葉
 5. ひとのかたち
 6. 空間への広がり—インスタレーション

卷末論文
 19世紀末ドイツにおける日本のやきもの 木田拓也
 陶芸にみる「ひとのかたち」—「ドイツ陶芸の100年」に寄せて 唐澤昌宏
 ドイツと日本人—二人の作家から 三浦弘子
 作家略歴 (ハインツ・シュピールマン、ガビ・デヴァルト編)
 出品目録
 関連用語解説 (石崎泰之、ハインツ・シュピールマン編)
 美術館と個人コレクション (ハインツ・シュピールマン編)
 参考文献
 体裁 A4判変形 224ページ



(3) 記念講演会

- ①日時 平成13（2001）年10月6日(土) 13:30～15:00
演題 「20世紀ドイツ陶芸への極東の影響」
講師 ハインツ・シュピールマン（シュレスヴィッヒ＝ホルシュタイン州立ゴットルフ城美術館前館長）
- ②日時 平成13（2001）年10月20日(土) 13:30～15:00
演題 「ドイツの現代陶芸」（兼・平成13年度美術講座第5回）
講師 木田拓也（東京国立近代美術館工芸課研究員）

(4) ギャラリーツアー

日時 毎週日曜日 11:00～12:00
担当 石崎泰之（学芸課主任）

(5) 出品目録

1	ヘルマン・ゼーゲル	花器	c.1890	h27.2	ベルリン美術工業博物館
2	ヘルマン・ゼーゲル	花器	1900以前	h26.3 D8.0	ベルリン美術工業博物館
3	リヒャルト・ムツツ	双耳花器	c.1903	h25.4 D14	ゴットルフ城美術館
4	リヒャルト・ムツツ	双耳花器	c.1905	h27.8 D28.7	ゴットルフ城美術館
5	リヒャルト・ムツツ	オランダの女魚売り	1906	h19.8	ライプツィッヒ美術工芸美術館
6	リヒャルト・ムツツ	鉢	c.1913	h8.9 D20.4	ゴットルフ城美術館
7	ヨハン・ユリウス・シャルフォーゲル	瓢形花器	c.1900	h13.7 D9.8	ライプツィッヒ美術工芸美術館
8	ヨハン・ユリウス・シャルフォーゲル	鶴首花器	c.1900	h18.6 D12.6	ライプツィッヒ美術工芸美術館
9	ヨハン・ユリウス・シャルフォーゲル	瓢形花器	c.1900	h16.2	ライプツィッヒ美術工芸美術館
10	ヨハン・ユリウス・シャルフォーゲル	円錐型双耳花瓶	1904以後	h7.6 D11.4	ライプツィッヒ美術工芸美術館
11	マックス・クリンガー	イルカと裸婦（暖炉タイル）	1919	18.5×36	ライプツィッヒ美術工芸美術館
12	アンリ・ヴァン・ド・ヴェルド	(ラインホルト・ハンケ工房) 双耳花器	1902	h9 D27.4	
13	アンリ・ヴァン・ド・ヴェルド	(ラインホルト・ハンケ工房) 四耳花器	c.1902	h22.7 D17.1	
14	アンリ・ヴァン・ド・ヴェルド	角鉢	c.1903~04	h9.8 20.5×20.5	モーリッツブルク美術館
15	マックス・ロイガー	飾皿「マーガレット花輪の少女」	1896	h5.2 D36	カールスルーエ美術館
16	マックス・ロイガー	白つめ草文花器	1897	h29.5 D7.3	カールスルーエ美術館
17	マックス・ロイガー	松文花器	1897	h31.3 D18	カールスルーエ美術館
18	マックス・ロイガー	浴後の少女（ヴィーナス）	1930	h62	カールスルーエ美術館
19	マックス・ロイガー	陶板「座る二人の少女」	c.1933	30×30	カールスルーエ美術館
20	リヒャルト・リーマーシュミット（デザイン）	ラインホルト・メルケルバッハ（作）球形水差	1906	h26	
21	リヒャルト・リーマーシュミット（デザイン）	ラインホルト・メルケルバッハ（作）パンチ酒器	c.1906	h36 D28.7	ゴットルフ城美術館
22	ペーター・ベーレンス	塩釉水差	1904	h24.6 D8.3	ゴットルフ城美術館
23	エルнст・バルラッハ	ユストゥス・プリンクマン記念 陶板	1902	9×15	
24	エルnst・バルラッハ	双耳花器（人面把手）	c.1905	h42	ゴットルフ城美術館
25	エルnst・バルラッハ	盲目の乞食	c.1906~07	h31	ベルリン美術工業博物館
26	ベルンハルト・ヘトガー	愛と希望	1912	h38 w56.5/h41.5 w59	ライプツィッヒ美術工芸美術館
27	クレーニングの工房	(ニーダーバイエルン地方) 醋入れ	19C末～20C初	h28.3 D18.7	
28	ヴェスター・ヴァルトの工房	(ヘーエル＝グレンツハウゼン地方か)	c.1900	h30 D23	
29	ヴェスター・ヴァルトの工房	動物文バター壺			
		(ヘーエル＝グレンツハウゼン地方か)	c.1900	h43 D16	
30	ユリウス・パウル工房（ブンツラウ地方）	草花文瓶			
31	ユリウス・パウル工房（ブンツラウ地方）	取手付容器	1908~20	h19.2 D17.3	ヨアヒム・ライヒュタイン・コレクション
32	レンナー工房（トゥルナウ地方）	コーヒーポット	1920年代	h26.5 D13.8	ヨアヒム・ライヒュタイン・コレクション
33	テオドール・ボークラー（成形）、	双耳壺	1975	h24.2 w37.5	
		ゲルハルト・マルクス（縦付） 似顔絵削付杯	1922	h14	
		(オットー・リンディッヒとヨハネス・ドリーゼ)			
34	オットー・リンディッヒ	風変りな注口付水次ぎ	1922	h33	ワイマール美術館

35	オットー・リンディッヒ	紐付注口水差	1922	h54	ワイマール美術館
36	オットー・リンディッヒ	蓋付水差	1922	h69	ワイマール美術館
37	オットー・リンディッヒ	蓋付双口水差	1922	h33	ワイマール美術館
38	オットー・リンディッヒ	ココアポット	1923	h23.7	ワイマール美術館
39	オットー・リンディッヒ	コーヒーポット	1923	h18.5	ワイマール美術館
40	テオドール・ボーグラー	ティーポット	1923	h11.5	ワイマール美術館
41	テオドール・ボーグラー	筒形取手付ティーポット	1923	h10.5	ワイマール美術館
42	テオドール・ボーグラー (デザイン)	オットー・リンディッヒ (作) ティーカップ、ソーサー、ケーキ皿	1923	h4.3 (ティーカップ) / D16.7 (ソーサー) / D19.0 (ケーキ皿)	ワイマール美術館
43	グスタフ・ヴァイダンツ	水差	c.1922~23	h18	モーリッツブルク美術館
44	マルグリット・フリートレンダー	ティーポット	c.1926	h10	モーリッツブルク美術館
45	マルグリット・フリートレンダー	水差	c.1929	h35	モーリッツブルク美術館
46	マルグリット・フリートレンダー	水差	c.1929	h37.5	モーリッツブルク美術館
47	マルグリット・フリートレンダー	深鉢	c.1930	h8.6 D18.4	ハンブルク美術工業博物館
48	マルグリット・フリートレンダー	花器	c.1932	h42.1	ライツィッヒ美術工芸美術館
49	フランツ・ルドルフ・ヴィルデンハイイン	蓋付大壺	c.1930~33	h49	モーリッツブルク美術館
50	フーベルト・グリーメルト	ベルリンオリンピック大会記念 花瓶	1936	h60	モーリッツブルク美術館
51	フーベルト・グリーメルト	ティーポット	1939	h11	モーリッツブルク美術館
52	フーベルト・グリーメルト	水差	1961	h40.5	ハンブルク美術工業博物館
53	フーベルト・グリーメルト	花器	1961	h29 D29	ハンブルク美術工業博物館
54	キール美術陶器工房	ペリカン	c.1925~28	h20	ゴットルフ城美術館
55	キール美術陶器工房	跪く女	1927以前	h26	ゴットルフ城美術館
56	キール美術陶器工房	花器	1933以後	h35.5 D22	ゴットルフ城美術館
57	パウル・ドレスラー	鉢	c.1921	h10.2	ライツィッヒ美術工芸美術館
58	パウル・ドレスラー	蓋付壺	c.1922	h11.1 D12.4	ライツィッヒ美術工芸美術館
59	パウル・ドレスラー	皿	c.1929	D37	ライツィッヒ美術工芸美術館
60	パウル・ドレスラー	小鉢	1930以後	h5 D13.5	ライツィッヒ美術工芸美術館
61	グッソ・ロイス	花器	c.1932	h30.6 D15.9	ライツィッヒ美術工芸美術館
62	グッソ・ロイス	大皿	c.1932	h4.0 D39.3	ライツィッヒ美術工芸美術館
63	グッソ・ロイス	鉢	1939	h8.4 D16.5	ハンス・ティーマン・コレクション
64	リヒャルト・バンピ	繪彩鉢 (繪彩: ユリウス・ビシエール)	c.1950	h6.4 D22.5	ハンブルク美術工業博物館
65	リヒャルト・バンピ	果物形花器	1952	h22.5 D12.8	ハンス・ティーマン・コレクション
66	リヒャルト・バンピ	首が曲がった花器「象牙」	c.1955	h35 D8.5	ハンブルク美術工業博物館
67	リヒャルト・バンピ	円筒型花器	1964	h26.4 D7.4	ハンブルク美術工業博物館
68	オットー・ダグラス=ヒル	花器	1927	h34.5	ライツィッヒ美術工芸美術館
69	オットー・ダグラス=ヒル	広口球形花器 (大)	c.1928	h18.5 D16.4	ライツィッヒ美術工芸美術館
70	オットー・ダグラス=ヒル	広口球形花器 (小)	1930	h11.5 D11.4	ライツィッヒ美術工芸美術館
71	ヤン・ボンティエス・ファン・ベーグ	花器	c.1930	h28.3	ライツィッヒ美術工芸美術館
72	ヤン・ボンティエス・ファン・ベーグ	深鉢	c.1935	h13.5 D17	ライツィッヒ美術工芸美術館
73	ヤン・ボンティエス・ファン・ベーグ	蓋付容器	1937	h14.1 D17.1	ライツィッヒ美術工芸美術館
74	ヤン・ボンティエス・ファン・ベーグ	梅瓶	c.1940	h24.7 D12.3	ハンブルク美術工業博物館
75	ヤン・ボンティエス・ファン・ベーグ	筒形花器	1961	h34.8 D9.1	ハンブルク美術工業博物館
76	ヤン・ボンティエス・ファン・ベーグ	碗	1962	h6.5 D15.3	ハンブルク美術工業博物館
77	ヘトヴィヒ・ボルハーゲン	線文鉢	1929	h7.0 D13.5	ベルリン美術工業博物館
78	ヘトヴィヒ・ボルハーゲン	チェック模様花器	1936	h12.7	ベルリン美術工業博物館
79	ヘトヴィヒ・ボルハーゲン	陶笛	1960年代	h10.1 D19.2	ベルリン美術工業博物館
80	ヘトヴィヒ・ボルハーゲン	陶笛	1999	h4.4 D11.5	ベルリン美術工業博物館
81	ヘトヴィヒ・ボルハーゲン	鉢	1999	h5.1 D17.9	ベルリン美術工業博物館
82	ヴァルター・ポップ	花器	1956	h24.3 D12.8	ハンス・ティーマン・コレクション
83	ヴァルター・ポップ	球形花器	1959	h18 D19	ハンブルク美術工業博物館
84	ヴァルター・ポップ	花器	c.1965~68	h22.0 D10.5	ハンス・ティーマン・コレクション
85	アルブレヒト・ホールト	鉢	c.1958~59	h8.3 D19.4	ハンブルク美術工業博物館
86	アルブレヒト・ホールト	花器	c.1959	h33.8 D6.1	ハンブルク美術工業博物館
87	アルブレヒト・ホールト	球形花器	c.1959	h8.5 D8.8	ハンブルク美術工業博物館
88	ゲラルド・ヴァイグル	大きな石の形	1997	h28 w34 d38	ハンブルク美術工業博物館

89	ゲラルド・ヴァイグル	大きな翼の形	2000	h39 w57 d17
90	ペアーテ・クーン	水生植物	1995	h56 w22.8 d24
91	ペアーテ・クーン	水の華	1999	h23 w34 d30.6
92	ペアーテ・クーン	水一有機体	1999	h31.8 w31.2 d23.6
93	クラウス・レーマン	616-89	1989	16×25×19
94	クラウス・レーマン	無題	1999	19×22×15
95	クラウス・レーマン	ウォール・ピース	1999	32×22×16
96	カール・シャイト	鉢	1975	h8.6 D10.8
97	カール・シャイト	「小さな木」のフォルム	1976	h15.2 w9.5 d2
98	カール・シャイト	陶菖	1977	h4.3 D12.3
99	カール・シャイト	花器オブジェ (7点構成)	1996	
100	カール・シャイト	「菱形」のフォルム	2000	h37.5 w21 d11.5
101	ヨハネス・ゲプハルト	戒律石板	1990	h61.4 w25 d12
102	ヨハネス・ゲプハルト	「神殿の庭」のための社	1991	h52 w28.1 d24.3
103	ヨハネス・ゲプハルト	首	1992	h39.5 w24.7 d11.3
104	クリスタ・ヘレネ・ゲプハルト	二つの像	1983	h19.4 w9.2/h17 w11.7
105	クリスタ・ヘレネ・ゲプハルト	蝶の本	1987	49.3×40
106	クリスタ・ヘレネ・ゲプハルト	箱	1998	h16.7 w21.4 d19.8
107	ゲルト・クナッパー	海扇	1998	h46 w49
108	ゲルト・クナッパー	トルソ	1998	h33.6 w36.3
109	ヴェラ・フェーリング	風景	1976	h32.5 w26.5 d9.4
110	ヴェラ・フェーリング	庭の風景 (2部構成)	1999	h36.2 w64
111	ヴェラ・フェーリング	庭の風景	1999	h36 w30
112	キラ・シュピーカー	無題	1993	65×25×18
113	キラ・シュピーカー	無題	1993	40×34×14
114	ミヒヤエル・クレフ	無題	1999	D38 d22
115	ミヒヤエル・クレフ	無題	1999	h25 w38 d27
116	ミヒヤエル・クレフ	無題	1999	h37 w34 d25.5
117	ヴェンデリン・シュタール	白い花器	1991	h21 D30
118	ヴェンデリン・シュタール	緑の花器	1996	h25 D28
119	ヴェンデリン・シュタール	大きな緑の花器	1997	h40 D50
120	ゴットリント・ヴァイグル	青いティーポット	1988	h17 w21 d15
121	ゴットリント・ヴァイグル	黒いティーポット	1994	h10 w22 d22
122	ゴットリント・ヴァイグル	白いティーポット	1995	h17 w13 d21
123	カール・フリードリッヒ・コルデン	分厚い円筒形鉢	1997	h11.3 D22.7
124	カール・フリードリッヒ・コルデン	分厚い円筒形鉢	1998	h12.3 D26.8
125	カール・フリードリッヒ・コルデン	分厚い陶菖	1999	h24.8 D18.1
126	ホルスト・ケルスタン	南瓜形花器	1994	h34.5 D25
127	ホルスト・ケルスタン	瓢箪型花器	1999	h28 D16
128	ホルスト・ケルスタン	球形花器	1999	h16.5 D21
129	ホルスト・ケルスタン	扇形鉢	1999	h8.5 w28.5 d21.5
130	アイカ・リーディンガー	結晶釉壺	1998	h44 D44
131	アイカ・リーディンガー	結晶釉皿	2000	h11 D46
132	マルティン・ミンダーマン	大きな器	1999	h46.8 w65 d56
133	エミール・シューマッハー	オブジェ K50	1974	39×48
134	エミール・シューマッハー	皿 K12	1986	D48.5
135	ハイディ・マンタイ	葉付盃	1983	h11.2
136	ハイディ・マンタイ	ネーレーイデス	1984	h19
137	ハイディ・マンタイ	花器	1994~2000	h31
138	ハイディ・マンタイ	キマイラ (器)	1998	h16.5
139	ハイディ・マンタイ	青い脚付杯	2000	h18.5
140	ウルズラ・シャイト	陶板	1989	h2.5 w37.5 d37
141	ウルズラ・シャイト	陶菖	1999	h18.2 w24.1 d15
142	ウルズラ・シャイト	筒形鉢	1999	h9 D17
143	ウルズラ・シャイト	深鉢	1999	h26 D32

144 イエルク・フォン・マンツ	飾皿	1969 D53	ケラミオン美術館
145 イエルク・フォン・マンツ	陶笛	1996 h19	ヴェスター・ヴァルト陶芸美術館
146 イエルク・フォン・マンツ	陶笛	1996 h20	ヴェスター・ヴァルト陶芸美術館
147 リタ・テルネス	おりたたまれた皿	1999 h29 w70	
148 リタ・テルネス	おりたたまれた皿	2000 h33 w34 d46	
149 モニカ・デブス	器のフォルム	2000 h59 w34 d13	
150 モニカ・デブス	器のフォルム	2000 h67 w35 d15	
151 アストリット・ゲルハルツ	器	1995 h20.5 d23	ヴェスター・ヴァルト陶芸美術館
152 アストリット・ゲルハルツ	ランセット (一对)	1998 h16.5 w24 d6.5/ h16.5 w23 d6	
153 ヨハネス・ペータース	蓋付ポット	2000 h36 D27	
154 ヨハネス・ペータース	陶板	2000 70×37	
155 ハインツ・ブレロー	イエッセと私	1990 75×40×38	
156 ハインツ・ブレロー	彫刻家 ナグとネル(15点)	2000 (各) 20×30 (写真)	
157 アンティエ・シャルフェ	静物—器III (空瓶)	1998 h42 w40 d20	
158 アンティエ・シャルフェ	静物—器I (春)	1999 h28 w40 d13	
159 アンティエ・シャルフェ	静物—器II (インゴおばさんのところ)	1999 h20 w40 d13	
160 カティ・フレクシュタイン	貯蔵所	1999 63.2×35.8	
161 ルネ・ライヒエンバッハ	刺のある動物の箱	1998 h58	
162 ルネ・ライヒエンバッハ	魚II	1999 61×15×10	
163 ルネ・ライヒエンバッハ	魚I	2000 70×33×11	
164 ハンス・フィッシャー	無題	2000 h90	
165 ハンス・フィッシャー	無題	2000 h45	
166 ヨッヘン・プラント	大鉢	1997 h29 D68	
167 ヨッヘン・プラント	大鉢	1999 h20 D70	
168 アンドレ・フォン・マルテンス	大鉢	1999 D59	
169 アンドレ・フォン・マルテンス	器	2000 D49	
170 ゲルトラウト・メーヴァルト	小さなトルソ	1984 h68	モーリッツブルク美術館
171 ゲルトラウト・メーヴァルト	首をかしげるトルソ	1984 h65	モーリッツブルク美術館
172 ゲルトラウト・メーヴァルト	若い女の首	1984 h28	モーリッツブルク美術館
173 ゲルトラウト・メーヴァルト	横たわる首VII	1997~99 h32 d40.5 w57.5	ゲルトラウト・メーヴァルト
174 ゲルトラウト・メーヴァルト	縞模様の髪の首	1999 h26.5 w45	
175 ローベルト・シュトゥルム	トルソ	1983 h64	ケラミオン美術館
176 ローベルト・シュトゥルム	首	1985~86 h36	ヴェスター・ヴァルト陶芸美術館
177 ローベルト・シュトゥルム	彫刻	1989 h105 w38 d16.5	ヴェスター・ヴァルト陶芸美術館
178 レイコ・イケムラ	二羽の鳥のとまる黄色い服	1996 66×44×46	
179 ヴィルフリート・マリア・ブルーム	二人の鬼	1989 h12 w32 d9/h19 w25 d9	
180 ヴィルフリート・マリア・ブルーム	戦い	1993 h25 w24 d15	
181 ザビーネ・ヘラー	無題	1999 h90	
182 ヤナ・チメック	秘密の三部作I	1988 d35	
183 ヤナ・チメック	ヴィーナス	1992 h33	
184 ヤナ・チメック	ヘクトール	1993 h33	
185 ノルベルト・プランゲンベルク	像	1999 h140 D100	(ドイツ展のみ出品)
186 クリストフ・メラー	七つの器	1999 w390 D25~30	
187 ドリス・カイザー	無題	1994 h21 w94 d94	
188 ドリス・カイザー	無題	1999~2000 h11.5 w245 d69	
189 エルケ・トーマン	「来て、いっしょに逃げましょ」	1999 約250×200×100	
190 キルステン・イェシェケ	オリンピア (5点組)	1995 (各) h38 D 約45	ヴェスター・ヴァルト陶芸美術館

ルネサンスの精華 イタリア・ファエンツァ国際陶芸博物館所蔵 マジョリカ名陶展

会期 平成14（2002）年1月3日(木)～3月24日(日)
会場 展示室3・4・5・6
主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、
日本経済新聞社、毎日新聞西部本社、
TYSテレビ山口、ファエンツァ市、
ファエンツァ国際陶芸博物館
後援 外務省、文化庁、イタリア大使館、萩市、
日本におけるイタリア2001年財団、
イタリア文化会館
特別協賛 EPSON、キリンビール、資生堂、
大日本印刷、東レ、野村證券、山之内製薬
特別協力 安田火災海上保険
協力 アリタリア航空



(1) 趣旨

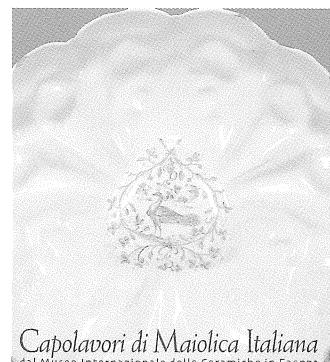
マジョリカ陶器とは、マヨルカ、マヨリカ、マイヨリカとも呼ばれ、イタリアを代表する錫釉色絵陶器の総称である。その名称の起源は、イタリアで盛んに輸入したスペイン陶器がマジョリカ島から積み出されたことにあり、その後イタリアで模倣に成功し、各地に窯が築かれた。マジョリカ陶器は、地中海地方の赤土を用いて成形し、800度くらいで素焼きした後に、器表のほぼ全体に錫釉を施す。この錫釉は乳濁白色に発色するものであるが、その上に赤、黄、緑や藍など多くの絵の具（酸化色材）を使って絵付けをし、もう一度900～1100度前後で焼き上げて完成させる。

マジョリカ陶器はイタリアを中心として、ヨーロッパ全域を席巻していくが、15～16世紀のいわゆる工芸におけるルネサンス期に最盛期を迎える。この盛期に先立つ素朴な作品もあるが、一般的には色彩豊かで巧みな絵付けが施され、ラテン系の明るさに満ちた豪華絢爛たるやきものであった。

本展ではファエンツァ国際陶芸博物館のマジョリカ陶器コレクションからルネサンス期を中心に名品100点を厳選し、マジョリカ陶器の魅力を余すところなく紹介する。また、合わせてマジョリカ陶器の源流であるイスラム陶器、そして江戸時代にオランダ貿易を通じて輸入された大坂城址出土のマジョリカ陶器片を展示し、やきものにおける東西交流の歴史を検証する。

(2) カタログ

監修 ジャン・カルロ・ボヤーニ、井関正昭、伊藤郁太郎
編集 大阪市立東洋陶磁美術館、愛知県陶磁資料館、
山口県立萩美術館・浦上記念館、東京都庭園美術館、
茨城県陶芸美術館、日本経済新聞社
編集協力 平井智一
発行 日本経済新聞社
内容 あいさつ 日本側主催者
あいさつ クラウディオ・カサディオ（ファエンツァ市長）
ドナテッラ・カッレガーリ（ファエンツァ市文化政策担当評議員）



あいさつ ダンテ・ステーファニ（ファエンツァ国際陶芸博物館評議会会長）
 メッセージ ガブリエーレ・メネガッティ（駐日イタリア大使）
 ファエンツァ国際陶芸博物館：イタリアの歴史編纂活動の途上で
 ジヤン・カルロ・ボヤーニ
 チプリアーノ・ピッコルパッソとルネサンスにおけるイタリアのマジョリカ藝術
 ジヤン・カルロ・ボヤーニ

参考地図ールネサンス期イタリアの主な窯業地

- I 地中海とイタリアーイスラム陶器からアルカイック・マジョリカ陶器へー
アンナ・リア・エルメティ
- II 15世紀から17世紀のファエンツァ陶器 カルメン・ラヴァネッリ・グイドッティ
- III ファエンツァ国際陶芸博物館にみるマジョリカ陶器とイタリア各地の作陶活動
ジヤン・カルロ・ボヤーニ
- IV リヨンとイタリア・ルネサンスのマジョリカ陶器ー日本の遺跡から出土したイタロ＝フランス様式のリヨンのアルバレッロー リリアン・スフェール・ファクリ
- V 大坂城下町出土マジョリカ陶について 松本啓子
器形について

体裁 26.7×22.6cm判 225ページ

(3) 記念講演会

日時 平成14（2002）年3月2日（土）13:30～15:00
 演題 「マジョリカ陶の魅力」
 講師 伊藤郁太郎（大阪市立東洋陶磁美術館館長）

(4) ギャラリーツアー

日時 毎週日曜日 11:00～12:00
 担当 今村佳子（学芸課学芸員）

(5) 出品目録

品番	作品名	技法	地方	窯場（製作者）	制作年代	法量（cm）
1	皿の陶片	施釉搔落しテラコッタ	コリント「メダイヨン様式」		1170～1200年	11.5×9.1、厚さ0.6、高台径7
2	杯の陶片	施釉搔落しテラコッタ	コリント（？）		パレオロゴス朝時代	14×7、厚さ1
3	皿の陶片	マジョリカ	イラン		10世紀	8×7、厚さ1
4	杯の陶片	マジョリカ	エジプト		11世紀	12.5×8、厚さ0.6
5	杯の陶片	施釉搔落しテラコッタ	イラン	ガッルス地方	11～13世紀	12.5×12、厚さ0.6
6	皿の陶片	施釉硅土質テラコッタ	ペルシャ	スルターナーバード窯	モンゴル時代 14世紀前半	16.7×15.7、厚さ0.4、高台径10.3
7	鉢の陶片	施釉硅土質テラコッタ	シリア			11×10、厚さ0.4、高台径10
8	鉢の陶片	施釉硅土質テラコッタ	エジプトのカイロあるいは シリアのダマスカス	マムルーク朝	10.9×7.9、厚さ0.4、高台径7.5 14世紀	
9	鉢の陶片	施釉硅土質テラコッタ	エジプト			11.5×9.6、厚さ0.4、高台径8.5
10	鉢の陶片	施釉硅土質テラコッタ	エジプト	マムルーク朝	11×7、厚さ0.5、高台径4 14世紀	
11	鉢の陶片	施釉硅土質テラコッタ	エジプト	マムルーク朝	6.4×6.4、厚さ0.4、高台径6 14世紀	
12	鉢の陶片	施釉硅土質テラコッタ	エジプト	マムルーク朝	7×7.5、厚さ0.5、高台径6.3 14世紀	
13	杯の陶片	施釉硅土質テラコッタ	エジプト	イスラム時代	7.1×7.1、厚さ0.3、高台径4.2	
14	鉢の陶片	施釉硅土質テラコッタ	シリアのダマスカスあるいは エジプトのカイロ		13.5×10、厚さ0.7～1、高台径10.5	

15	鉢の陶片	施釉珪土質テラコッタ	エジプト		イスラム時代	9.5×7、厚さ0.4
16	鉢の陶片	施釉テラコッタ	エジプト		イスラム時代	7×7、厚さ0.5、高台径9
17	鉢の陶片	施釉搔落しテラコッタ	エジプト	カイロ	13世紀末 ～14世紀初	16.5×14.5、厚さ0.6、高台径8.5
18	鉢の陶片	施釉白絵テラコッタ	エジプト		イスラム時代	13×12.5、厚さ0.7
19	鉢の陶片	緑釉珪土質テラコッタ	エジプト		イスラム時代	13.7×13.1、高台径7.5
20	鉢の陶片	施釉珪土質テラコッタ	イラン		15世紀	11.5×13、厚さ0.5、高台径9.5
21	タイルの陶片	施釉テラコッタ	イズニク		16世紀後半	24×13～14.5、厚さ2.8
22	女性図ボッカーレ	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	14世紀末	高さ18.5、底径8.5
23	紋章入り樹木文	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	14世紀第3四半世紀 ボッカーレ	高さ24.2、底径11.2
24	盾文ボッカーレ	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	14世紀第3四半世紀	高さ18.4、底径9.6
25	幾何学文ボッカーレ	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	14世紀後半	高さ16.5、底径10.4
26	M字文ボッカーレ	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	15世紀初	高さ20、底径10
27	鳥文皿	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	15世紀初	口径24.8、高さ6.5
28	草花文皿	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	15世紀中葉	口径27、高台径10.5、高さ4.5
29	鳥文皿	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	1470～80年	口径25、高さ6
30	アラベスク文	マジョリカ	トスカーナ	モンテルーポ窯	1480年頃	高さ25、底径11 アルバレッロ
31	幾何学文	マジョリカ	トスカーナ	モンテルーポ窯あるいは フィレンツェ地方の窯	1430～60年	高さ23.5、底径10.7 アルバレッロ
32	山羊文ボッカーレ	マジョリカ	トスカーナ	モンテルーポ窯	1470～80年	高さ30.5、底径14.5
33	柘榴文ボッカーレ	マジョリカ	トスカーナ	フィレンツェ地方の窯	15世紀	高さ14.6、底径8.3
34	鹿文ボッカーレ	マジョリカ	ラツイオ	ヴィティルボ窯（？）	14世紀	高さ24、底径10.2
35	葉文ボッカーレ	マジョリカ	ラツイオ	ヴィティルボ窯（？）	15世紀	高さ20.3、底径9
36	鳥文碗	マジョリカ	ラツイオ	ヴィティルボ窯	15世紀	口径13.3、高さ6.1
37	紋章入り波状文	マジョリカ	マルケ	マテリカ窯あるいは エザナトーリア窯	14世紀	高さ28.2、底径12.5 ボッカーレ
38	植物文皿	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	15世紀第3四半世紀	口径23.5、高さ4
39	「孔雀の羽根 の目」文皿	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	15世紀第3四半世紀	口径22、高さ5
40	「ペルシャのパ ルメット」文皿	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	15世紀第4四半世紀	口径14.4、高さ3
41	握手文深皿	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	15世紀第4四半世紀	口径23.4、高さ6.3
42	ハート文皿	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	15世紀末～16世紀初	口径27、高さ4
43	握手文皿	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	15世紀末～16世紀初	口径18.4、高さ2.1
44	「アモーレ」 文深皿	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	15世紀末	口径16、高さ3
45	兔文皿	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	16世紀初	口径23、高さ2
46	兔文皿	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	15世紀末	口径27.5、高さ4.6
47	女性図皿	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	15世紀末 ～16世紀初	口径28、高さ4
48	女性図皿片	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	15世紀末 ～16世紀初	21×15.5
49	女性図深皿	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	15世紀末	口径16、高さ3
50	女性図ボッカーレ	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	15世紀初	高さ20、底径10
51	男性図碗	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	15世紀末 ～16世紀初	口径13.5、高さ5.5
52	女性図皿	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	15世紀末 ～16世紀初	口径39、高さ10.5
53	女性図鉢	施釉搔落し陶器	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	15世紀末 ～16世紀初	口径17、高さ6
54	女性図鉢	施釉搔落し陶器	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	15世紀末 ～16世紀初	口径21.8、高さ6.3
55	女性図鉢片	施釉搔落し陶器	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	15世紀末	19×17

					~16世紀初
56	蓮弁文四耳 ファイスカ	施釉搔落し陶器	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	15世紀末 ~16世紀初
57	「キリスト生誕」マジョリカ インク壺		エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	16世紀初
58	水鳥文皿	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	16世紀前半
59	葉文角皿	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	16世紀前半
60	メディチ家 紋章入り皿	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	1525~30年頃
61	メディチ家 紋章入りボッカーレ	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	16世紀中葉
62	エステ家 紋章入りボッカーレ	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	1525~30年頃
63	祈祷図皿の 中央部分	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	16世紀初
64	紋章入り「パル ナッソス山」図皿	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	1531年
65	紋章入り グロテスク文皿	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	16世紀第2四半世紀
66	花綱・果物文壺	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	16世紀第2四半世紀
67	オルフェウス図杯	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	1540~50年頃
68	孔雀文杯	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	16世紀第3四半世紀
69	メディチ家 紋章入り四脚鉢	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	1568年
				ベッティージ工房	
70	キューピッド 図双耳瓶	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	16世紀末
71	騎士戦闘図皿	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	16世紀第4四半世紀
				ウティーリ工房	口径44.5、高さ5.5
72	「パリスの審判」 図皿	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	16世紀末
				「障壁のマエストロ」作	口径43.8、高さ5
73	カヴィーナ家 紋章入り皿	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	17世紀前半
					口径38、高さ6.7
74	紋章入り 双耳ファイスカ	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	16世紀末
					高さ28.5、脚部の長さ9
75	聖画陶板	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	1610年
				ステファン・アッカリージ作	36×31、厚さ1.5
76	モノグラム入り ボッカーレ	マジョリカ	エミリア・ロマーニヤ	ファエンツァ窯	16世紀末~17世紀初
					高さ17.3、底径8.8
77	聖パウロ図 ブロック	マジョリカ	リグーリア	サヴォーナ窯	1666年頃
					高さ24.7、底径11.6
78	「スザンナと 長老たち」図皿	マジョリカ	リグーリア	サヴォーナ窯	17世紀後半
					口径44.8、高さ5.9
79	「カンディア風」 草花文皿	マジョリカ	ヴェネト	パドヴァ窯あるいは バッサーノ窯	17世紀後半
					口径23.9、高さ3
80	人物図ブロッカ	マジョリカ	ヴェネト	ヴェネツィア窯	16世紀
					高さ20.2、底径9.7
81	女性図ボッカーレ 施釉搔落しテラコッタ	マジョリカ	ヴェネト	パドヴァ窯(?)	16世紀第1四半世紀
					高さ13、底径7.4
82	聖マルコ獅子図 アルバレッロ	マジョリカ	ヴェネト	ヴェネツィア窯	1613年
					高さ20、底径9.9
83	果実文皿	マジョリカ	ヴェネト	ヴェネツィア窯	16世紀末
					口径26.5、高さ3.4
84	人物図壺	マジョリカ	ヴェネト	ヴェネツィア窯	16世紀第3四半世紀
					高さ21.5、底径9
85	聖女ルチア図壺	マジョリカ	ヴェネト	ヴェネツィア窯	16世紀第3四半世紀
				マエストロ・ドメニコの工房	高さ21、底径13.3
86	猪図皿	マジョリカ	トスカーナ	モンテルーポ窯	1460~80年
					口径33、高さ7
87	「ペルシャのバル メット」文双耳壺	マジョリカ	トスカーナ	モンテルーポ窯	16世紀初
					高さ19.8、底径10 両柄下に「P」のマーク

88	リドルフィ家 紋章入りボッカーレ	マジョリカ	トスカーナ	カファッジョーロ窯 あるいはモンテルーポ窯	1500~15年頃	高さ31.2、底径13.2 把手下に「N」のマーク
89	教皇レオ10世図 ボッカーレ	マジョリカ	トスカーナ	カファッジョーロ窯	1513~21年	高さ35、底径14.8 把手下に「SP」のマーク
90	メディチ家 紋章入りボッカーレ	マジョリカ	トスカーナ	モンテルーポ窯	1570~90年頃	高さ37.7、底径13.5
91	唐草文ブロッカ マジョリカ	トスカーナ	トスカーナ	モンテルーポ窯	17世紀	高さ24、底径10.3 把手に「SE」のマーク
92	剣士図皿	マジョリカ	トスカーナ	モンテルーポ窯	1620~40年	口径32.5、高さ5.5~6.2
93	旗手図皿	マジョリカ	トスカーナ	モンテルーポ窯	1640~70年	口径32.5、高さ4.1
94	唐草文アルバレッロ	マジョリカ	トスカーナ	モンテルーポ窯	17世紀前半	高さ20.3、底径9
95	「マルスの戦車」図皿	マジョリカ	マルケ	ニコラ・ダ・ウルビーノ作	1533年頃	口径27.5、高さ3
96	男性図アルバレッロ	マジョリカ	マルケ	カステルドゥランテ窯	1550年頃	高さ29.7、底径13.5 シモーネ・ダ・コロネッロ工房
97	「ガラテアの 勝利」図杯	マジョリカ	マルケ	ウルビーノ窯	1550年頃	高さ10.6、胴径21.4
98	グロテスク文皿	マジョリカ	マルケ	フォンターナ工房		
99	唐草文アルバレッロ	マジョリカ	マルケ	カステルドゥランテ窯	1525年頃	口径28、高さ2
100	五線譜図皿	マジョリカ	マルケ	ペーザロ窯	15世紀末	高さ16.8、底径11.8
101	女性図アルバレッロ	マジョリカ	マルケ	カステルドゥランテ窯	1525~30年	口径24、高さ4.1
102	ライオン図 アルバレッロ	マジョリカ	ウンブリア	カステルドゥランテ窯	1530年頃	高さ23.7、底径9.7
103	バルメット文皿	マジョリカ	ウンブリア	デルータ窯	1560年	高さ21.4、底径10
104	聖母子図陶板	マジョリカ	ウンブリア	デルータ窯	16世紀後半~17世紀初	縦42.7、横32.2
105	ファルネーゼ家 紋章入り皿	マジョリカ	ウンブリア	デルータ窯	1534~49年	口径42、高さ10.5
106	双把手アルバレッロ	マジョリカ	ウンブリア	デルータ窯	15世紀	高さ30、底径16.8
107	騎士図ブロッカ アルバレッロ	マジョリカ	アブルツツオ	カステッリ窯	1540~50年頃	高さ25、底径17
108	女性図双把手 フィアスカ	マジョリカ	アブルツツオ	ポンペイ工房	オルシーニ=コロンナ薬局・調度品	
109	ファルネーゼ家 紋章入り皿	マジョリカ	アブルツツオ	カステッリ窯	1540~50年頃	高さ42.5、底径15.7
110	ファルネーゼ家紋章入り 横円形大鉢(冷却器)	マジョリカ	アブルツツオ	ポンペイ工房	オルシーニ=コロンナ薬局・調度品	
111	飲食図コンポート	マジョリカ	アブルツツオ	カステッリ窯	1589年以前	口径23.3、高さ3.7
112	紋章入り アルバレッロ	マジョリカ	アブルツツオ	カステッリ窯	1589年以前	口径51×35.5、高さ27
113	人物図壺	マジョリカ	アブルツツオ	ラテルツア窯	17世紀末	口径31、高さ4.5
114	幾何学文 アルバレッロ	マジョリカ	アブルツツオ	レオナルド・アントニオ・アンドゥリウツツオ作と同定		
115	紋章入り壺	マジョリカ	シチリア	ラテルツア窯	17世紀	高さ29.5、底径16
116	葉文アルバレッロ	マジョリカ	シチリア	ナポリ窯	16世紀前半	高さ32、底径14.4
117	アルバレッロ	マジョリカ	シチリア	「不機嫌な横顔のマエストロ」作		
			フランス	カルタジローネ窯	17世紀	高さ31、底径9.6
			ヨーロッパのいざれかの窯	トラーパニ窯(?)	17世紀	高さ27.5、底径13.8
				リヨン窯	16世紀	高さ19.5、底径10.2
				ヨーロッパのいざれかの窯	16世紀末	高さ22、底径11.9
					~17世紀	

(2) 平常展示

平常展示として、1階の展示室1、2において、館蔵品による小テーマを掲げた浮世絵・東洋陶磁展示を年間を通して行っている。

浮世絵については、その保存性の問題から、展示期間を1ヶ月程度とするため（その後の1年間は展示しない）、年間で11～12回の展示替えを行っている。テーマ設定が非常に重要であり、苦慮するところである。

東洋陶磁の展示は、年間4回程度の展示替えを行う。館蔵品の絶対数の関係から展示のマンネリ化を避けるため、考古資料などによる補助展示、参考展示にも工夫をしている。

1. 浮世絵展示

豊原国周 明治役者絵と美人画

会期 平成9（1997）年1月5日(日)～2月9日(日) 展示室1

出品作品 32点

浮世絵
豊原国周
明治役者絵と美人画
展示期間 平成9年1月5日(日)～2月9日(日)



「寅次や三吉」 豊原国周画
豊原国周（1835～1900）は月岡芳年、小林清親とともに、明治浮世絵の三傑として知られている。明治という新しい時代の流れのなかにありながら、ちゃきちゃきの江戸っ子浮世絵師として、また三代歌川豊国の大門人として歌川派の伝統的な様式を受けついだ役者絵や美人画などを描いて活躍した。とくに、明治歌舞伎界の人気役者を大首絵や3枚続の画面に半身像で一人だけ配した作品を多く発表して、のち「写楽以来の第一人者」とまで称された国周独特の役者絵世界を築いた。

（鈴木浩平）

月岡芳年 風俗三十二相

会期 平成9（1997）年2月11日(火)～3月16日(日) 展示室1

出品作品 33点

浮世絵
月岡芳年
風俗三十二相
展示期間 平成9年2月11日(火)～3月16日(日)



「風俗三十二相」 豊原国周画
月岡芳年（1839～1892）は、豊原国周、小林清親とともに、明治時代に最も活躍した浮世絵師である。「風俗三十二相」は芳年の美人画の代表作として知られており、寛政期（1789～1800）から明治までの各時代の女性風俗を芳年の理想とする美人の半身像で描いている。「三十二相」は私がそなえている32の優れた身体的特徴をいうが、この作品では女性のさまざまな表情やなまめかしい姿を、遊女、奥方、娘などの階層や日常生活の情景のなかで表現している。

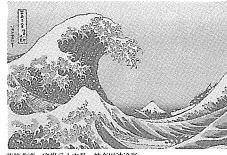
（芳賀淑子）

北斎と広重の富士三十六景 I

会期 平成9(1997)年3月25日(火)～4月13日(日) 展示室1

出品作品 32点

浮世絵
北斎と広重の
富士三十六景 I
展示期間 平成9年3月25日(火)～4月13日(日)



北斎と広重の富士三十六景 II

会期 平成9(1997)年4月15日(火)～5月11日(日) 展示室1

出品作品 31点

江戸の町からは富士山がよく見え、江戸の人々にとって、富士山は憧れと信仰の対象でもあった。そうした背景をもとに刊行された葛飾北斎の「富嶽三十六景」は、歌川広重の「東海道五十三次之内」とともに、日本の風景版画の代表作として世界的に知られている。

北斎没後、広重は晩年になってから「不二三十六景」と「富士三十六景」の2種類のシリーズを描いている。北斎の藍色を基調とした斬新な構図に対して、広重の作品は堅実にして明解な構図と色彩で表現されている。

(鈴木浩平)

浮世絵
北斎と広重の
富士三十六景 II
展示室1
展示期間 平成9年4月15日(火)～5月11日(日)



武者絵

会期 平成9(1997)年8月8日(金)～9月15日(月) 展示室1・2

出品作品 54点

浮世絵
武者絵
展示室1・2
展示期間 平成9年8月8日(金)～9月15日(月)



武者絵は歴史上の英雄・豪傑や合戦の様子、武将にまつわる説話や伝説、文学にあらわれた想像上の武者などを描いたものである。浮世絵においてもごく初期から描かれ、特に勝川春章をはじめとする勝川派の絵師達に取り上げられ、浮世絵の一分野として定着する。北尾政美、歌麿、豊国、北斎など様々な絵師達によって描かれ、幕末には「武者絵の国芳」と呼ばれた歌川国芳が当時非常に発達していた彫摺の技術を見事に生かして武者絵を大成した。展示では、春信から明治の浮世絵に至るまでの武者絵を紹介した。

(芳賀淑子)

武者絵
展示室1
展示期間 平成9年8月8日(金)～9月15日(月)

浮世絵に描かれた女性たち

会期 平成9(1997)年10月22日(水)～11月24日(月) 展示室1

出品作品 30点

美人画は浮世絵の創始の時代から描かれてきた主題で、浮世の風俗をうつす浮世絵にとって現世の享楽を象徴する遊里の女性や当世流行の女性風俗は格好の題材であった。しかしひとことに美人画といつてもそこには時代の流れに即してさまざまな女性の姿が描かれている。遊女、芸者、大原女など美人画に多く描かれた職業やさまざまな立場の女性たちの作品に焦点をあてて構成した。

(吉田洋子)

展示室1

浮世絵平常展示

浮世絵に描かれた女性たち

展示期間 平成9年10月22日(水)～11月24日(月)



歌川国芳 『遊女入合』

美人画は、浮世絵の創始の時代から描かれてきた主題である。浮世の風俗をうつす浮世絵に描かれた女性たちが、現世の享楽を象徴する遊里の女性や、当世流行の女性風俗は格好の題材であった。しかし、ひとことに美人画といっても、そこには時代の流れに即して、さまざまな女性の姿が描かれている。そこで今回の展示では、遊女、芸者、大原女など、美人画に多く描かれた職業やさまざまな立場の女性たちの作品に焦点をあてて構成している。

忠臣蔵

会期 平成9(1997)年11月26日(水)～12月21日(日) 展示室1

出品作品 33点

浮世絵平常展示

忠臣蔵

展示期間 平成9年11月26日(水)～12月21日(日)



歌川国芳 『忠臣蔵・内侍』

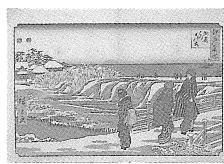
故主君浅野内匠頭長矩の恨みを晴らすため、赤穂浪士が吉良邸を襲い吉良上野介義央の首を挙げた赤穂事件は、文学や演劇など多くの分野で取り上げられた。十一段から成る『仮名手本忠臣蔵』(竹田出雲他作・寛延1年)によって淨瑠璃や歌舞伎で上演され評判を取ってからは、その略称である「忠臣蔵」という言葉で一連の事件や赤穂浪士劇一般を指すようになる。浮世絵では、役者絵、十一段の場面を描いたシリーズ、浪士を描いた武者絵や見立絵などが様々な絵師によって数多く制作されており、展示では多彩な表現を行われた忠臣蔵の世界を紹介した。

(芳賀淑子)

浮世絵平常展示

江戸の一年

展示期間 平成9年12月23日(火)～平成10年2月1日(日)



歌川広重 『江戸名所 江戸の一年』

江戸の人たちは現代人と比べてより自然に親しむ暮らしを営んでいた。五節句や祭礼など年中行事が生活と溶け込んでおり四季おりおりには、花見や夕涼みといった物見遊山を楽しんだ。このような江戸の人々の季節に即した生活感情を感じられる事物が、浮世絵には多く描かれている。展示では春夏秋冬の四季にあわせて江戸の一年を紹介した。

(吉田洋子)

浮世絵の画題

会期 平成10（1998）年2月3日（火）～3月1日（日） 展示室1

出品作品 33点

浮世絵平常展示
浮世絵の画題
展示室1
展示期間 平成10年2月3日（火）～3月1日（日）



浮世（現世）を描いた浮世絵は、その名の通り現世に見られる多様な分野の画題を取り入れ、美人・名所・武者・花鳥と様々な事物をテーマとした。また浮世絵には古典的な画題を現世風俗に見立てたり、画題の音を借りてシリーズ化し、別のモチーフを使ってアレンジして描くという特徴がある。同主題を描く作品を数点展示し比較することで、浮世絵師たちの解釈によって描かれる題材が変化する様を紹介した。

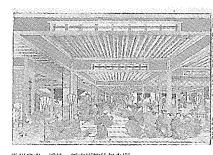
（芳賀淑子）

歌川派 Part I

会期 平成10（1998）年3月5日（木）～3月29日（日） 展示室1・2

出品作品 54点

浮世絵平常展示
歌川派 Part I
展示室1,2
展示期間 平成10年3月5日（木）～3月29日（日）



歌川派は江戸後期の浮世絵の最大流派に発展した一派である。始祖の歌川豊春は明和末から安永期にかけて「浮絵」という遠近法を用いた風景画を描いて活躍した人である。門人の初代歌川豊国が寛政期に役者絵や美人画の世界で人気を得て、多くの門人が集い、流派として形成されていく。豊国門下からは歌川国貞が役者絵や美人画の世界で、歌川国芳が武者絵の世界で、また豊春門下の豊広から歌川広重が出て風景画の世界で活躍し、歌川派はこの3人の活動を中心に、大流派へと発展していく。そして、浮世絵の終焉を迎える明治・大正期までその流れは続くことになる。

歌川派 Part II

会期 平成10（1998）年3月31日（火）～4月24日（金） 展示室1・2

出品作品 53点

浮世絵平常展示
歌川派 Part II
展示室1,2
展示期間 平成10年3月31日（火）～4月24日（金）



歌川派は江戸後期の浮世絵の最大流派に発展した一派である。始祖の歌川豊春は明和末から安永期にかけて「浮絵」という遠近法を用いた風景画を描いて活躍した人である。門人の初代歌川豊国が寛政期に役者絵や美人画の世界で人気を得て、多くの門人が集い、流派として形成されていく。豊国門下からは歌川国貞が役者絵や美人画の世界で、歌川国芳が武者絵の世界で、また豊春門下の豊広から歌川広重が出て風景画の世界で活躍し、歌川派はこの3人の活動を中心に、大流派へと発展していく。そして、浮世絵の終焉を迎える明治・大正期までその流れは続くことになる。

諸国名所風景画

会期 平成10（1998）年4月29日(水)～6月7日(日) 展示室2

出品作品 38点

歌川広重の活躍で、名所風景画は江戸の地域だけではなく、京都や大坂、さらには日本全国の名所が描かれるようになった。こうした諸国名所風景画は全て絵師がその実景を見て表現したものとはいえないが、絵師の創意工夫もみられ、充分に江戸庶民の諸国名所への関心を満たしたものと思われる。今回は「六十余州名所図会」や「諸国名所百景」など、初代広重と二代広重の代表作品を中心に、葛飾北斎、渓斎英泉、歌川国芳、小林清親、歌川貞秀の作品も交えて紹介した。

(鈴木浩平)

浮世絵平常展示
諸国名所風景画
展示期間 平成10年4月28日(水)～平成10年6月7日(日)



歌川広重 六十ヶ所名所図会 岩内 岩内鏡帶路

歌川広重の芸術は、名所風景画を江戸の地域だけではなく、京都や大阪、さらには日本全国の名所が描かれるようになつた。こうした諸国名所風景画は全て絵師がその実景を見て表現したものとはいえないが、絵師の創意工夫もみられ、充分に江戸庶民の諸国名所への関心を満たしたものと思われる。今回は「六十ヶ所名所図会」や「諸国名所百景」など、初代広重と二代広重の代表作品を中心に、葛飾北斎、渓斎英泉、歌川国芳、小林清親、歌川貞秀の作品も交えて紹介します。

夏の美人たち

会期 平成10（1998）年6月13日(土)～7月20日(月) 展示室2

出品作品 34点

美人画は実在した遊女や芸者、水茶屋の美人から日常でみられる女性風俗まで、浮世絵の歴史を通じてさまざまな女性が描かれている。季節に合わせて浴衣姿で夕涼み、夕立での情景、蚊帳でのなまめかしい姿など、夏の美人たちを描く江戸中期から昭和初期までに制作された作品を展示了。

(鈴木浩平)

浮世絵平常展示
夏の美人たち
展示期間 平成10年6月13日(土)～平成10年7月20日(月)



歌川国芳 謙派白雲路 着り舟

美人画は実在した遊女や芸者、水茶屋の美人から日常でみられる女性風俗まで、浮世絵の歴史を通じてさまざまな女性が描かれています。
今日はこの美人画を中心にお部屋あわせて、前半での夕涼み、夕立での情景、蚊帳でのなまめかしい姿など、江戸中期から昭和初期にかけて描かれた、夏の美人たちの作品を読んで展示します。

五十三次の世界Part I

会期 平成10（1998）年7月25日（土）～8月16日（日） 展示室2

出品作品 36点

展示室2

五十三次の世界 Part1

展示期間 平成10年7月25日（土）～平成10年8月16日（日）



京都府立 実業団五十三次之内 日本橋

江戸の庶民にとって旅は憧れであった。天保3年（1832）広重は江戸から京都へのおり、この時の写生を元に刊行された浮世絵師の「東海道五十三次之内」は大成功をおさめ、人々の東海道への想いをさらに高めた。これ以降、庶民自らを始めさまざまな浮世絵師によって「五十三次」の題は取り扱はれていく。

今回の展示品の中から「五十三次」にテーマを絞り、広重とそれに続く浮世絵師の作品を展覧し、同じテーマながらも多角的な表現が工夫された軽妙をたどる。

五十三次の世界Part II

会期 平成10（1998）年8月18日（火）～9月6日（日） 展示室2

出品作品 36点

展示室2

五十三次の世界 Part2

展示期間 平成10年8月18日（火）～平成10年9月6日（日）



京都府立 実業団五十三次之内 住井

江戸の庶民にとって旅は憧れであった。天保3年（1832）広重は江戸から京都へのおり、この時の写生を元に刊行された浮世絵師の「東海道五十三次之内」は大成功をおさめ、人々の東海道への想いをさらに高めた。これ以降、庶民自身を始めさまざまな浮世絵師によって「五十三次」の題は取り扱はれていく。

今回の展示品の中から「五十三次」にテーマを絞り、広重とそれに続く浮世絵師の作品を展覧し、同じテーマながらも多角的な表現が工夫された軽妙をたどる。

浮世絵に描かれた美人たち（1）遊女

会期 平成10（1998）年9月12日（土）～10月4日（日） 展示室2

出品作品 32点

展示室2

浮世絵に描かれた 美人たち（1）遊女

展示期間 平成10年9月12日（土）～平成10年10月4日（日）



絵本市販 浮世絵美人寄合 山しらや内はつと 著

遊女や遊郭の風俗は、浮世絵の創始の時代から描かれ続けた主要な画題の一つ。江戸時代には幕府が公認した吉原のような遊郭のほかに、岡場所という非公認の遊郭もあり、遊女の種類も千差万別であった。一流の遊女は、高い教養と芸能を身につけた女性で、その遊客も教養を備えた富裕層に限られた。遊郭で生じた新しい文化や流行が庶民に影響することも多く、有名な遊女の絵姿には庶民からは憧憬のまなざしが向けられていた。展示では春信から明治までの遊女を描いた美人画を紹介した。

（吉田洋子）

遊女や遊郭の風俗は、浮世絵の創始の時代から描かれ続けた、主要な画題の一つである。江戸時代には、幕府が公認した吉原のような遊郭のほかに、岡場所という非公認の遊郭もあり、遊女の種類も千差万別であった。一流的遊女は、高い教養と芸能を身につけた女性で、その遊客も教養を備えた富裕層に限られた。遊郭で生じた新しい文化や流行が庶民に影響することも多く、有名な遊女の絵姿には、男女を問わず、江戸市民の憧憬のまなざしが向けられていた。

戯画展

会期 平成10（1998）年10月10日(土)～11月1日(日) 展示室1

出品作品 29点

美人・役者・風景・花鳥など浮世（この世）のあらゆる事柄を描いた浮世絵にはまた、戯画と呼ばれる一群の作品がある。これには諷刺画、擬人画、影絵など様々なものが含まれている。今回は収蔵品の中から、幕府の役者絵禁止令（天保の改革）をくぐり抜けるために描かれた壁の落書き風の、あるいは人面魚風の役者似顔絵や、宴会芸の手ほどきを主題にした作品など、機知とユーモアたっぷりの浮世絵作品を展示した。

（藤村忠範）

戯画展

展示室1

展示期間 平成10年10月10日(土)～11月1日(日)



幕府の役者似顔絵

美人・役者・風景・花鳥などを浮世（この世）のあらゆる事柄を描いた浮世絵にはまた、戯画と呼ばれる一群の作品があります。これには諷刺画、擬人画、影絵など様々なものが含まれています。今回は収蔵品の中から、幕府の役者絵禁止令（天保の改革）をくぐり抜けたために描かれた壁の落書き風の、あるいは人面魚風の役者似顔絵や、宴会芸の手ほどきを主題にした作品など、機知とユーモアたっぷりの浮世絵作品を展示します。

雪景色

会期 平成10（1998）年12月1日(火)～12月27日(日) 展示室1

出品作品 30点

四季折々の自然を愛する日本人は雪・月・花を好んで画題に取り上げた。特に浮世絵では伝統的に雪と雨の図が好まれている。雨が主に墨の線で表されるのに対し、雪は紙の白い色を生かして表現されるのが普通である。柔らかい白色をした和紙は雪の表現に実にかなっており、雪景色を描いた浮世絵には優れたものが多いといえる。今回は館蔵品の中から雪中の人物、江戸や諸国名所の雪景など、雪景色をテーマにした作品を幅広く展示した。

（藤村忠範）

浮世絵展示

展示室1

雪景色

展示期間 平成10年12月1日(火)～12月27日(日)



二代東山天保の雪景

四季折々の自然を愛する日本人は雪・月・花を好んで画題に取り上げました。特に浮世絵では伝統的に雪と雨の図が好まれています。雨が主に墨の線で表されるのに対し、雪は紙の白い色を生かして表現されるのが普通です。柔らかい白色をした和紙は雪の表現に実にかなっており、雪景色を描いた浮世絵には優れたものが多いといえます。今回は館蔵品の中から雪中の人物、江戸や諸国名所の雪景など、雪景色をテーマにした作品を幅広く展示します。

月岡芳年Part 1

会期 平成11（1999）年1月5日(火)～1月31日(日) 展示室1

出品作品 31点

月岡芳年Part 2

会期 平成11（1999）年2月2日(火)～2月21日(日) 展示室1

出品作品 30点

月岡芳年Part 3

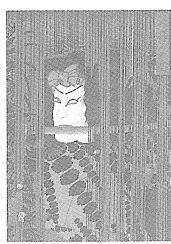
会期 平成11（1999）年2月23日(火)～4月7日(水) 展示室1

出品作品 28点

月岡芳年は明治時代に活躍した最も知られる浮世絵師の一人である。歌川国芳の門人として幕末から武者絵、美人画、役者絵などを描き、とくに幕末から明治にかけての政治不安を意識させる残酷絵、西洋の合理的精神に基づいた晩年の写実的な歴史画や稗史絵の作品は芳年が築いた独自の世界といえる。今回は館蔵品の中から、芳年の特色をPart 1（役者絵・美人画）、Part 2（武者絵・残酷絵）、Part 3（歴史画・稗史絵）の3回にわけて紹介。

（鈴木浩平）

浮世絵展示
月岡芳年 Part 1
展示期間 平成11年1月5日(火)～1月31日(日)



月岡芳年は明治時代に活躍した最も知られる浮世絵師の一人です。歌川国芳の門人として幕末から武者絵、美人画、役者絵などを描き、とくに幕末から明治にかけての政治不安を意識させる残酷絵、西洋の合理的精神に基づいた晩年の写実的な歴史画や稗史絵の作品は芳年が築いた独自の世界といえます。今回は館蔵品の中から、芳年の特色をPart 1（役者絵・美人画）、Part 2（武者絵・残酷絵）、Part 3（歴史画・稗史絵）の3回にわけて紹介します。

浮世絵展示
月岡芳年 Part 2
展示期間 平成11年2月2日(火)～2月21日(日)



月岡芳年は明治時代に活躍した最も知られる浮世絵師の一人です。歌川国芳の門人として幕末から武者絵、美人画、役者絵などを描き、とくに幕末から明治にかけての政治不安を意識させる残酷絵、西洋の合理的精神に基づいた晩年の写実的な歴史画や稗史絵の作品は芳年が築いた独自の世界といえます。今回は館蔵品の中から、芳年の特色をPart 1（役者絵・美人画）、Part 2（武者絵・残酷絵）、Part 3（歴史画・稗史絵）の3回にわけて紹介します。

浮世絵展示
月岡芳年 Part 3
展示期間 平成11年2月23日(火)～4月7日(水)



月岡芳年は明治時代に活躍した最も知られる浮世絵師の一人です。歌川国芳の門人として幕末から武者絵、美人画、役者絵などを描き、とくに幕末から明治にかけての政治不安を意識させる残酷絵、西洋の合理的精神に基づいた晩年の写実的な歴史画や稗史絵の作品は芳年が築いた独自の世界といえます。今回は館蔵品の中から、芳年の特色をPart 1（役者絵・美人画）、Part 2（武者絵・残酷絵）、Part 3（歴史画・稗史絵）の3回にわけて紹介します。

木曾海道六十九次

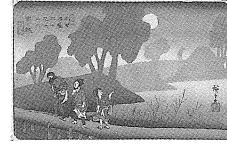
会期 平成11（1999）年4月10日（土）～5月9日（日） 展示室1

出品作品 33点

「木曾海道六十九次」は全71図からなる揃物の大作。歌川広重の名作「東海道五十三次」の好評に刺激され、それが完成した翌年、天保6年（1835）、同じ版元の保永堂（竹内孫八）から上梓された。溪斎英泉が24図を担当、歌川広重が引き続き47図を描き、途中で版元として錦樹堂（伊勢屋利兵衛）が加わり、まもなく保永堂が手を引くという、複雑な出版経緯のため、通説では完成までに6年が経過していると言われる。美人画家として有名な英泉の稀少な風景画と風景画家広重の本領を紹介した。

（吉田洋子）

浮世絵展示
木曾海道六十九次
展示期間 平成11年4月10日（土）～5月9日（日）



歌川広重 木曾海道六十九次之内 宮ノ坂

『木曾海道六十九次』は、今700からなる揃物のうちです。歌川広重の名作「東海道五十三次」の好評に刺激され、それが完成した翌年の天保6年（1835）。同じ版元の保永堂（竹内孫八）から上梓されました。はじめ溪斎英泉が24図を担当、歌川広重が引き続き47図を描き、途中で錦樹堂（伊勢屋利兵衛）が加わり、まもなく保永堂が手を引くという、複雑な出版経緯のため、通説では完成までに6年が経過しているといわれます。美人画家として有名な英泉の稀少な風景画と風景画家広重の本領をお楽しみください。

美人画の黄金時代

会期 平成11（1999）年5月11日（火）～6月13日（日） 展示室1

出品作品 29点

天明から寛政期（1781～1800）にかけては《浮世絵の黄金時代》と呼ばれ、著名な浮世絵師の活躍によって芸術的に評価の高い作品が数多く制作された時期である。とくに美人画では、鳥居清長、勝川春潮、喜多川歌麿、鳥文斎栄之、歌川豊国、栄松斎長喜らが活躍し、続き物の群像表現、顔や半身による大首絵、全身の座像や立姿など、さまざまな表現様式を用いて独自の美人像を描き、大らかで華やかな美人たちの世界を築いた時代でもあった。

（鈴木浩平）

浮世絵展示
美人画の黄金時代
展示期間 平成11年5月11日（火）～6月13日（日）



喜多川歌麿 同時代美人画 よしの たつみ

天明から寛政期（1781～1800）にかけては《浮世絵の黄金時代》と呼ばれ、著名な浮世絵師の活躍によって芸術的に評価の高い作品が数多く制作された時代です。とくに美人画では、鳥居清長、喜多川歌麿、喜多川春潮、鳥文斎栄之、喜多川豊国、栄松斎長喜らが活躍し、続き物の群像表現、顔や半身による大首絵、全身の座像や立姿など、さまざまな表現様式を用いて独自の美人像を描きました。大らかで華やかな美人たちの世界を築いた時代でもありました。

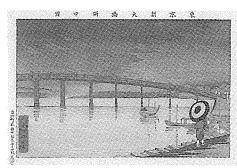
明治の風景画—小林清親—

会期 平成11（1999）年6月20日（日）～7月18日（日） 展示室1

出品作品 31点

明治時代の風景版画が、文明開化とともに新たな時事や新風俗を鮮烈な色調で伝える新聞絵や開化絵を主流とした中で、小林清親の風景版画はひときわ光彩を放っている。西洋絵画の技法を意識した「光線画」では江戸の面影を残す東京の風景を落ち着いた色合いで描き、その後、歌川広重の作品を思わせる名所風景画を制作する。明治末から大正時代には江戸を懐古する木下空太郎や永井荷風といった小説家によって再評価された。展示では、主要な風景画の揃物から展観し、新旧が渾然として存在した明治時代的一面を紹介した。（吉田洋子）

浮世絵展示
明治の風景画—小林清親—
展示期間 平成11年6月20日（日）～7月18日（日）



東京大根山中國 横七間堂

明治時代の浮世絵風景版画が、文明開化とともに新たな時事や新風俗を鮮烈な色調で伝える新聞絵や開化絵を主流とした中で、小林清親の風景版画はひときわ光彩を放っています。西洋絵画の技法を意識した「光線画」では江戸の面影を残す東京の風景を落ち着いた色合いで描き、その後、歌川広重の作品を思わせる名所風景画を制作する。明治末から大正時代には江戸を懐古する木下空太郎や永井荷風といった小説家によって再評価されました。

妖怪絵

会期 平成11（1999）年7月20日(火)～8月15日(日) 展示室1

出品作品 27点

浮世絵展示

妖怪絵

展示期間 平成11年7月20日(火)～8月15日(日)

展示室1



鳥山石燕 芭翁夜話 こねや小平二

妖怪変化や幽霊などを描いた作品を総じて妖怪絵と呼んでいます。特に化物絵とも幽霊絵ともいふこともある。妖怪そのものを表現した作品は少なく、妖怪を退治する人間側の英雄譚など、武者絵的な作品が多く残されている。また、役者絵にも怪談物から取材して妖怪や幽霊を描いた作品がある。浮世絵に表現された妖怪たちは不気味ではありますが、どことなくユーモラスな存在としても描かれている。

(鈴木浩平)

明治開化絵

会期 平成11（1999）年8月21日(土)～9月19日(日) 展示室1

出品作品 20点

浮世絵展示

明治開化絵

展示期間 平成11年8月21日(土)～9月19日(日)

展示室1



鳥山石燕 結婚開化絵 南之助 大村義重の内

慶応3年（1867）大政奉還によって江戸幕府から明治維新に政権が移ると新政府は政治体制を整備し、西洋文化の導入に努めた。明治時代の浮世絵は、江戸の浮世絵が持ち合っていた大衆性、時事報道性という性格を強調させて、急速に西洋化する風俗や建築、新政府の進める新政策などを好題材にして展開していく。これらの作品を鮮烈な色彩が特徴である舶来の科学性の色料とともに、新しい時代の幕開けを伝えている。

(吉田洋子)

慶応3年（1867）、幕府が譲り受けた江戸幕府から西洋化の影響を受けた政治体制を整備して新政府を創設し、西洋文化の導入に努めた。明治時代の浮世絵は、江戸の浮世絵が持ち合っていた大衆性、時事報道性という性格を持ち合わせていて大衆性、時事報道性という性格を持ち合わせていて、急速に西洋化する風俗や建築、新政府の進める新政策などを好題材として表現されています。これには、新政府の開拓と開拓として表現されています。これらの作品を明治絵と称し、倍率された化学染料のおりやす鮮烈な色彩とともに、新しい時代の幕開けを伝えている。

雪月花—月—

会期 平成11（1999）年9月21日(火)～10月24日(日) 展示室1

出品作品 28点

浮世絵展示

雪月花-月-

展示期間 平成11年9月21日(火)～10月24日(日)

展示室1



歌川国芳 月見る女

春の夜、秋の月、冬の雪に代表される、人々に愛しまれた季節の風物詩の題材として「雪月花」といわれる題材が、江戸時代の浮世絵に、「雪月花の時に最も月を愛う」と表現されて以降、日本の文芸や脚本の題材にされてきました。当時において雪月花は伝統的な題材として定着しています。歌川国芳もこの題材を描いたものが多くの脚本家たちによって脚本を描いています。歌川国芳は多くの脚本家たちの中で、歌川国芳の骨牌を中心とした月景色や月の美人図などを、ご観覧いただけます。

美しい四季の景観を意味して「雪月花」という言葉があり、白楽天の漢詩に「雪月花の時に最も君を思う」と詠まれて以来、日本の文学や和歌の題材にされてきた。絵画において雪月花は伝統的画題として定着しており、浮世絵にもこの画題は多く描かれる。展示は、秋の季節にちなみ歌川広重の作品を中心として月景色や月下の美人図などを紹介した。

(吉田洋子)

歌川派の役者絵

会期 平成11（1999）年10月26日（火）～11月28日（日） 展示室1

出品作品 30点

歌川派は江戸後期に浮世絵の最大流派へと発展した一派である。始祖の歌川豊春にはじまり、門人の初代豊国が寛政期に役者絵や美人画の世界で活躍して、多くの門人が集まり、流派としての活動は浮世絵が終焉をむかえる明治期までつづく。今回はとくに歌川派が最も華々しく活躍した役者絵に焦点をあて、館蔵品のなかから初代豊国、国政、国貞、國芳、芳虎、落合芳幾、豊原国周、月岡芳年らが描いた作品を紹介した。

（鈴木浩平）

浮世絵展示

歌川派の役者絵

展示期間 平成11年10月26日（火）～11月28日（日）

展示室1



美術館蔵 初代豊本家

歌川派は江戸後期に浮世絵の大流派へと発展した一派です。始祖の歌川豊春にはじまり、門人の初代豊国が寛政期に役者絵や美人画の世界で活躍して、多くの門人が集まり、流派としての活動は浮世絵が終焉をむかえる明治期までつづきました。

今回はとくに歌川派が最も華々しく活躍した役者絵に焦点をあて、館蔵品のなかから初代豊国、国政、国貞、國芳、芳虎、落合芳幾、豊原国周、月岡芳年らが描いた作品を紹介します。

明治の美人画—前期—

会期 平成12（2000）年1月15日（土）～2月13日（日） 展示室1

出品作品 28点

浮世絵展示

明治の美人画—前期—

展示期間 平成12年1月15日（土）～2月13日（日）

展示室1



山本邦芳 いよ等 寿日月

北斎や広重など江戸末期に一世代を築いた主要な浮世絵師たちは、江戸幕府と運命を共にするかのように残らず姿を消し、明治に入ると世代交代した他の新たな時代を生き残ります。芳年や国芳、周延など明治初期の浮世絵師たちが、浮世絵師の伝統を継承した絵師たちの作品ははじめて多く登場する。その他の少い明治初期の月耕、年方、年英などの作品から女性像に焦点を絞り、伝統と近代化のせめぎあう明治美人画の世界を展覧します。

明治の美人画—後期—

会期 平成12（2000）年2月15日（火）～3月20日（月） 展示室1

出品作品 27点

北斎や広重など江戸末期に一世代を築いた主要な浮世絵師たちは、江戸幕府と運命を共にするかのように残らず姿を消し、明治に入ると世代交代した他の新たな時代を生き残ります。芳年や国芳、周延など明治初期の浮世絵師たちが、浮世絵師の伝統を継承した絵師たちの作品ははじめて多く登場する。その後の少い明治初期の月耕、年方、年英などの作品から女性像に焦点を絞り、伝統と近代化のせめぎあう明治美人画の世界を展覧します。

浮世絵展示

明治の美人画—後期—

展示期間 平成12年2月15日（火）～3月20日（月・祝）

展示室1



鶴間邦矩 内美入 寿月

北斎や広重など江戸末期に一世代を築いた主要な浮世絵師たちは、江戸幕府と運命を共にするかのように残らず姿を消し、明治に入ると世代交代した他の新たな時代を生き残ります。芳年や国芳、周延など明治初期の浮世絵師たちが、浮世絵師の伝統を継承した絵師たちの作品ははじめて多く登場する。その後の少い明治初期の月耕、年方、年英などの作品から女性像に焦点を絞り、伝統と近代化のせめぎあう明治美人画の世界を展覧します。

春景色

会期 平成12（2000）年3月22日(水)～4月16日(日) 展示室1

出品作品 31点

江戸の市民は、神社、仏閣巡り、花見、縁日、納涼、名所見物などを積極的に楽しみ、四季を通じて生活を彩る行事として定着していた。庶民が年中行事で親しんだ江戸府内や近郊の名所が浮世絵に多く描かれている。歌川広重の作品を中心に、春の行事として梅や桜のお花見を描いた作品、春の花で知られた名所風景を描いた作品などを紹介した。

(吉田洋子)

浮世絵展示

春景色

展示期間 平成12年3月22日(水)～4月16日(日)

展示室1



春景色 春の花で知られた名所風景を描いた作品などを紹介

江戸の市民は、神社、仏閣巡り、花見、縁日、納涼、名所見物などを積極的に楽しみ、四季を通じて生活を彩る行事として定着していました。庶民が年中行事で親しんだ江戸府内や近郊の名所が浮世絵に多く描かれています。歌川広重の作品を中心に、春の行事として梅や桜のお花見を描いた作品、春の花で知られた名所風景を描いた作品などを紹介します。

歌川広重 名所江戸百景 I

会期 平成12（2000）年4月18日(火)～5月7日(日) 展示室1

出品作品 31点

歌川広重 名所江戸百景 II

会期 平成12（2000）年5月13日(土)～6月18日(日) 展示室1

出品作品 32点

歌川広重 名所江戸百景 III

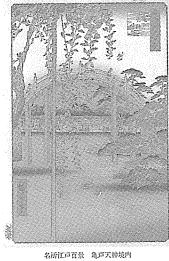
会期 平成12（2000）年6月24日(土)～7月23日(日) 展示室1

出品作品 31点

ゴッホが模写した「大はしあたけの夕立」「亀戸梅屋舗」などの傑作で知られる「名所江戸百景」は広重が没した安政5年（1858）までの3年間にわたって出された総数118枚の大シリーズである。乱作多作で秀作の少ない晩年にあって、構図や配色にこだわり、描りにも多くの技と引いたれた意欲作として高い評価を得ている。全3回の本展では、制作された年と月の判明している同シリーズを、制作年代を追って展覧し、広重が最後の3年に残した足跡をたどった。

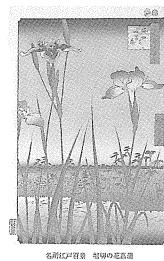
(藤村忠範)

浮世絵展示 展示室1
歌川広重 名所江戸百景 I
展示期間 平成12年4月18日(火)～5月7日(日)



ゴッホが模写した「大はしあたけの夕立」「亀戸梅屋舗」などの傑作で知られる「名所江戸百景」は広重が没した安政5年（1858）までの3年間にわたって出された総数118枚の大シリーズです。乱作多作で秀作の少ない晩年にあって、構図や配色にこだわり、描りにも多くの技と引いたれた意欲作として高い評価を得ています。全3回の本展では、制作された年と月の判明している同シリーズを、制作年代を追って展覧し、広重が最後の3年に残した足跡をたどります。

浮世絵展示 展示室1
歌川広重 名所江戸百景 II
展示期間 平成12年5月13日(土)～6月18日(日)



ゴッホが模写した「大はしあたけの夕立」「亀戸梅屋舗」などの傑作で知られる「名所江戸百景」は広重が没した安政5年（1858）までの3年間にわたって出された総数118枚の大シリーズです。乱作多作で秀作の少ない晩年にあって、構図や配色にこだわり、描りにも多くの技と引いたれた意欲作として高い評価を得ています。全3回の本展では、制作された年と月の判明している同シリーズを、制作年代を追って展覧し、広重が最後の3年に残した足跡をたどります。

浮世絵展示 展示室1
歌川広重 名所江戸百景 III
展示期間 平成12年6月24日(土)～7月23日(日)



ゴッホが模写した「大はしあたけの夕立」「亀戸梅屋舗」などの傑作で知られる「名所江戸百景」は広重が没した安政5年（1858）までの3年間にわたって出された総数118枚の大シリーズです。乱作多作で秀作の少ない晩年にあって、構図や配色にこだわり、描りにも多くの技と引いたれた意欲作として高い評価を得ています。全3回の本展では、制作された年と月の判明している同シリーズを、制作年代を追って展覧し、広重が最後の3年に残した足跡をたどります。

後期浮世絵の美人画

会期 平成12（2000）年7月29日（土）～9月3日（日） 展示室1

出品作品 27点

浮世絵展示
後期浮世絵の美人画
展示期間 平成12年7月29日（土）～9月3日（日）



浮世絵では、文化年間（1804～1817）から幕末までのおよそ60年間を後期浮世絵の時代とよんでいる。北斎、広重、国芳などの活躍によって風景画や花鳥画、武者絵などがジャンルとして大成され、従来から固定して存在する役者絵や美人画は爛熟期に至り、様式が典型化されながらも世相を反映し多様な表現がみられるようになる。展示では後期浮世絵時代を代表する画系である、菊川派の英山、英泉と歌川派の国貞、国芳、広重などが描いた江戸後期の美人像を紹介した。

（鈴木浩平）

浮世絵では江戸時代の文化（1804～17）から幕末までの約60年の期間を後期浮世絵の時代と呼んでいます。この時代は、北斎、広重、国芳などのジャンルとして大成される、役者絵や美人画は成熟期にあたり、多様化されながらも多様な表現がみられます。今回は美人画に焦点をあて、菊川派の英山、英泉、歌川派の国貞、国芳、広重などが描いた、江戸後期の柔軟っぽい美人たちの姿をご紹介します。

富嶽三十六景

会期 平成12（2000）年9月5日（火）～10月4日（水） 展示室1

出品作品 36点

浮世絵展示
富嶽三十六景
展示期間 平成12年9月5日（火）～10月4日（水）



富士山をテーマにして、さまざまな場所や角度から描いたこのシリーズは葛飾北斎の代表作であるばかりでなく、風景版画のシリーズとして世界的に知られているものである。題名が示すとおり、初めは36枚の揃物として、ベロリン藍という西洋の化学合成顔料を用いて、藍摺一色の作品で版行する予定であったが、途中で他の色も使われるようになり、人気を呼んだため、俗に「裏富士」と称される10枚が追加されて、全46枚のシリーズとなっている。

（鈴木浩平）

富士山をテーマにして、さまざまの場所や角度から描いたこのシリーズは葛飾北斎の代表作であるばかりでなく、風景版画のシリーズとして世界的に知られているものです。題名が示すとおり、初めは36枚の揃物として、ベロリン藍という西洋の化学合成顔料を用いて、藍摺一色の作品で版行する予定であります。途中で他の色も使われるようになり、人気を呼んだため、俗に「裏富士」と称される10枚が追加されて、全46枚のシリーズとなっています。

歌麿とその時代

会期 平成12（2000）年10月7日（土）～10月25日（水） 展示室1

出品作品 28点

浮世絵展示
歌麿とその時代
展示期間 平成12年10月7日（土）～10月25日（水）



喜多川歌麿は美人画の大家として世界的に知られている絵師である。とくに寛政期（1789～1800）に入って、顔や半身だけを描いた大首絵という様式を用いた作品で人気を得て、たびたび禁止令の出された美人画界にあって一世を風靡する。その人気は文化3年（1806）に亡くなるまで衰えず、数多くの歌麿美人を世に送り出した。今回は収蔵品のなかから歌麿の作品を中心に、同時代に活躍した春潮、春山、栄之、豊国、長喜などの作品も合わせて紹介した。

（鈴木浩平）

喜多川歌麿は美人画の大師として世界的に知られている絵師です。とくに寛政期（1789～1800）に入って、顔や半身だけを描いた大首絵という様式を用いた作品で人気があり、一度も禁錮令の出されたことのない歌麿ですが、その人気は文化3年（1806）に亡くなるまで衰えず、数多くの歌麿美人を世に送り出したのです。今まには歌麿の作品を中心とした時代に活躍した春潮、春山、栄之、豊国、長喜などの作品も合わせて紹介します。

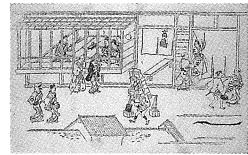
浮世絵版画の歴史

会期 平成12(2000)年11月1日(水)~11月26日(日) 展示室1

出品作品 31点

浮世絵版画の一枚絵を初めて制作したとされる菱川師宣の墨摺絵から、明治時代までの浮世絵版画の歴史を辿る展示。師宣の時代は墨一色の墨摺絵だったが、筆で彩色を施し赤色に丹を用いた丹絵、紅を用いた紅絵、墨に膠を混ぜ漆塗の光沢を模した漆絵へと制作の中心が替わり、寛保年間（1741～1743）には2～3色を版木で彩色する紅摺絵が、明和2年（1765）に錦絵が創始され、浮世絵版画の中心は錦絵となる。錦絵以後、時代の美意識を描き出した浮世絵師が続々登場した。展示は各時代の技法と代表的な絵師を紹介する内容となった。

(吉田洋子)



浮世絵版画の「絵物語」を制作したのが吉川英冨で、これは第一次世界大戦の前回の浮世絵版画でしたが、筆で絵をはこぼし、赤い墨で用いた丹舟は、代わって「絵」で用いた紅葉亭で、筆を詠じて「浮世の光景と浮世の心」と題して心がわかるであります。吉川英冨（1717～1743）は、2～3色を主で色を絶妙に組み、そして光明印（2年 1735）に多くの浮世絵版画が紹介されると、浮世絵版画の中心は吉川になります。寛政以後、時代の意象を詠じた浮世絵版画が萌々と登場し、浮世の技術革新とともに、多様な表現を展開していくのです。今回の展示では、京都の源氏物語から、明治時代までの浮世絵版画の歴史をご見学します。

明治の役者絵

会期 平成12(2000)年11月28日(火)~12月24日(日) 展示室1

出品作品 24点

明治時代、役者絵の分野で最も活躍したのが豊原国周である。文明開化という新しい流れのなかにありながら、ちゃきちゃきの江戸っ子浮世絵師として、歌川派様式による役者絵を大首絵や3枚続の作品に数多く描いている。彼の大首絵はのち「明治の写楽」と称されたほど、迫力のある画面となっている。今回は演劇改良運動から生まれた活歴劇や新趣向の散切狂言を描いた作品も含めて、国周を中心に、芳虎、芳幾、芳年、三代国貞など、明治期に描かれた役者絵を紹介した。

(鈴木浩平)



明治時代、後者絵の分野で最も活躍したのが後

原田国吉です。文明開化といひついで流れのなかに
あなたが、からくわきの江戸の浮世絵師として、
岩佐絵師による後経を大富翁や3枚絵
の作品に多く描いています。他の大富翁のうち
「明治の浮世絵」をされたけれど、道力のある画面
となっています。今柳の道良が改良浮世絵から生まれ
た活版刷り技術の初期の狂歌版を描いた作品も含め
て、国宝を中心に、浮舟、芳年、芳翠、三遊院真
など、明治期に描かれた後絵を展示します。

歌川広重 東海道五十三次

会期 平成13(2001)年1月3日(水)~2月12日(月) 展示室1・2

出品作品 55点

歌川広重の代表作「東海道五十三次」は、天保4～5年（1833～1834）に制作され、これによって風景画家の名手としての地位を不動のものとした。江戸日本橋から京都三条大橋までの東海道の宿場町を描いた全55枚の揃物で、旅の不安や開放感に満ちた旅人の気分に溢れ、四季おりおりの自然景観を詩情豊かに描いた風景画の傑作である。東海道制定400年を記念して新春に展示した。

(吉田洋子)



明治絵 文明開化の世界 前期

会期 平成13（2001）年2月14日(水)～3月18日(日) 展示室1

出品作品 21点

浮世絵展示

展示室1

明治絵 文明開化の世界 前期

展示期間 平成13年2月14日(水)～3月18日(日)



江戸の風景
著者不明・題材不明 情況図ひらま所持

明治の美術に特徴があり、同時にとして明治政府の
海外へ、また、明治初期の政治家から思はれて、
日本が伝統的な文化と世界の文化を融合させます。
鉄道、馬車、洋服文化、議会、工場、産業博覧会
など、西欧や中国の明治の人々は日本を見張り
ました。写真や銅版画の風景が記録で、しかも、
日本が近代化していく風景を記録し、他の我々
に教えてくれたのが、江戸時代から技術の発達
していた浮世絵版画でした。歴史資料として価
値が高い、これら明治の開化像により、近代化
する明治の歴史を解説します。

明治絵 文明開化の世界 後期

会期 平成13（2001）年3月19日(月)～4月15日(日) 展示室1

出品作品 21点

浮世絵展示

展示室1

明治絵 文明開化の世界 後期

展示期間 平成13年3月19日(月)～4月15日(日)



江戸の風景
著者不明・題材不明 情況図ひらま所持

明治の美術には特徴があり、同時にとして明治政府の
海外へ、また、明治初期の政治家から思はれて、
日本が伝統的な国際文書の役割には向かっていません。
鉄道、馬車、洋服文化、議会、工場、産業博覧会
など、西欧や中国の明治の人々は日本を見張り
ました。写真や銅版画の風景が記録で、しかも、
日本が近代化していく風景を記録し、他の我々
に教えてくれたのが、江戸時代から技術の発達
していた浮世絵版画でした。歴史資料として価
値が高い、これら明治の開化像により、近代化
する明治の歴史を解説します。

黒船の来航に始まり、開国そして明治政府の誕生と、幕末・明治期の政治的な混乱を経て、日本は積極的な西洋文明の吸収に向かう。鉄道、馬車、洋風建築、議会、工場、産業博覧会など、新奇な事物に明治の人々は目を見張った。写真や銅版画の普及が遅れていた当時、日本が西洋化していく様子を記録し、他の我々に教えてくれたのが、江戸時代から技術の発達していた浮世絵版画でした。歴史資料として価値が高い、これら明治の開化像により、近代化する明治の歴史を解説します。

(藤村忠範)

月岡芳年 風俗三十二相

会期 平成13（2001）年4月21日(土)～5月13日(日) 展示室1

出品作品 33点

浮世絵展示

展示室1

月岡芳年 風俗三十二相

展示期間 平成13年4月21日(土)～5月13日(日)



風俗三十二相 うるさきう 宝政年間始化之始

月岡芳年は、豊原国周、小林清親とともに明治時代を代表する浮世絵師である。歴史画や残酷絵で知られる芳年だが、妖艶な美しさを持つ独自の美人画を描き人気を博した。「風俗三十二相」は明治20年（1887）頃から流行した江戸懐古の風潮を反映し、江戸から明治に至る女性風俗を描いた揃物。伝統的な画題に取り組みながら女性の内面までも艶かしく描き出し、彫摺の技法にもこだわった芳年美人画の代表作を展示紹介した。

(吉田洋子)

月岡芳年は、豊原国周、小林清親とともに明治時代を代表する浮世絵師です。歴史画や残酷絵で知られる芳年ですが、妖艶な美しさを持つ独自の美人画を描き人気を博しました。今回ご紹介する「風俗三十二相」は、明治20年頃から流行した江戸の風潮を反映し、江戸の明治に至る女性風俗を描いた揃物です。伝統的な画題に取り組みながら女性の内面までも艶かしく描き出し、彫摺の技法にもこだわった芳年美人画の代表作です。

歌川広重 江戸名所の世界

会期 平成13（2001）年5月15日(火)～6月10日(日) 展示室1

出品作品 31点

歌川広重（1797～1858）は江戸名所を主題とする揃物を生涯にわたって多数制作している。揃物ごとに描かれる名所が異なり、外題の描き方、枠の形のほか特徴的な表現を行われている。広重が風景画家として成功を収めた最初の作品、俗にいう一幽斎がき「東都名所」をはじめとして、晩年の大作「名所江戸百景」に至るまでの江戸名所を描く作品を紹介した。

(吉田洋子)

浮世絵展示
歌川広重 江戸名所の世界
展示期間 5月15日(火)～6月10日(日)



名所江戸百景 まし招き本版

歌川広重（1797～1858）は、江戸名所を主題とする揃物を生涯にわたって多数制作しました。揃物ごとに描かれる名所が異なる外題の描き方、枠の形のほか特徴的な表現を行われています。広重が風景画家として成功を収めた最初の作品として成功を収めた最初の作品、俗にいう一幽斎がき「東都名所」をはじめとして、晩年の大作がき「東都名所」をはじめとして、晩年の大作「名所江戸百景」に至るまでの江戸名所を描く作品を紹介します。広重の江戸名所の世界をお楽しみください。

安永・天明期の美人画

会期 平成13（2001）年6月16日(土)～7月22日(日) 展示室1

出品作品 30点

明和7年（1770）、鈴木春信が没すると春信風にかたよっていた美人画界に次々と新しい画風を持つ絵師が登場した。安永期を代表する絵師、磯田湖龍斎は肉感的で滋味溢れる女性像を描き、当時流行した灯籠鬟という横に張り出した髪型が特徴的な美人画を描いた。天明期を代表する鳥居清長は、大らかな時代の気風を伝える長身の女性像が特徴的で、戸外に遊ぶ群像を多く描いている。この二人の絵師を中心に窪俊満、勝川春潮、勝川春山など安永・天明期の美人画を紹介した。

(吉田洋子)

浮世絵展示
安永・天明期の美人画
展示期間 平成13年6月16日(土)～7月22日(日)



明和7年（1770）、鈴木春信が没すると、春信風にかたよっていた美人画界に次々と新しい画風を持つ絵師が登場します。安永期を代表する絵師、磯田湖龍斎は、肉感的で滋味溢れる女性像を描き、当時流行した灯籠鬟という横に張り出した髪型が特徴的な美人画を描きました。天明期を代表する鳥居清長は、大らかな時代の女性像を伝える長身の女性像が特徴的で、戸外に遊ぶ群像を多く描いています。彼らとその道徳性によって、この時代の美人画は描かれています。今では、二人の絵師をはじめに窪俊満、勝川春潮、勝川春山など、多くの美人画が見られます。

浮世絵にみられる西洋の影響

会期 平成13（2001）年7月28日(土)～8月19日(日) 展示室1

出品作品 34点

日本の浮世絵版画が19世紀～20世紀初頭の西洋美術史において重要な役割を果たしたことはよく知られる。他方、18世紀中期以降の浮世絵版画には中国やオランダとの貿易でもたらされた舶載品「遠眼鏡」や「のぞき眼鏡」「眼鏡絵」などから触れた遠近法や陰影法という西洋的な視覚表現を取り入れた浮世絵作品があり、油彩画や銅版画など西洋絵画の技法を模した作品もある。浮世絵に描かれる西洋的な絵画表現から、鎖国中の江戸庶民の目に映った西洋を知る展示を行った。

(吉田洋子)

浮世絵展示
浮世絵にみられる西洋の影響
展示期間 平成13年7月28日(土)～8月19日(日)



日本の浮世絵版画が19世紀後半～20世紀初頭の西洋美術史において重要な役割を果たしたこととはよく知られています。一方で、18世紀中期以降の浮世絵版画には、中国やオランダとの貿易でもたらされた舶載品「遠眼鏡」や「のぞき眼鏡」「眼鏡絵」などを触れた遠近法や陰影法という西洋的な視覚表現を取り入れた浮世絵作品があり、油彩画や銅版画など西洋絵画の技法を模した作品も見られます。浮世絵に描かれる西洋的な絵画表現は、鎖国中の江戸庶民の目にうつった西洋とよってよいでしょう。

歌川国貞の美人画

会期 平成13(2001)年10月6日(土)~10月28日(日) 展示室1

出品作品 30点

歌川国貞は、初代歌川豊国の門弟で、画壇に登場してまもなく頭角を表し、版本挿絵や役者絵、美人画、風景画と浮世絵のあらゆる画題において活躍した。生涯に万を越すといわれるほど数多くの作品を残し、豊国の実質的な後継者として歌川派を最盛に導いた国貞は、三代豊国を襲名、幕末の浮世絵界をリードした。幕末の世相を反映し、庶民感覚に溢れた女性風俗や芸者に代表される粋で伝法肌な女性の気質を描き出した国貞の美人画を紹介した。

(吉田洋子)

浮世絵展示
歌川国貞の美人画
展示期間 平成13年10月6日(土)~10月28日(日)



方樹三小二組 應寧承上來相

武田邦貞は、初代豊臣秀吉の門弟で、岡崎に登場して最も頼りあわしらしく、殷勤の仕様や抱き合ひ、夫人・娘、鳳凰堂と淳子院のあらわる側面において活躍しました。生誕に万を出すといわれるほど多くの作品を残し、初代豊臣の實質的な後援者として歌謡を發展させた豊臣の臣下は、三代徳川家康を褒美し、幕末の歌舞妓界をドリードいたしました。今回の登場では、豪爽の相撲を反転し、徳川空将軍であふれた女性柔術や、芸者に代表される女性伝統芸能の良さを惜しみなく語りました。

役者絵の展開

会期 平成13(2001)年10月30日(火)~11月25日(日) 展示室1

出品作品 31点

役者絵は美人画とともに最も主要なテーマとして数多くの作品が描かれてきた。初期浮世絵の時代では歌舞伎界と密接な関係をもった鳥居派の絵師たちが活躍。錦絵の時代になると、一筆斎文調と勝川春章が役者似顔絵という役者の姿を個性的に描いた作品で人気を得る。とくに、春章は春好、春英などを輩出して勝川派を形成し、安永・天明期（1772～1788）の役者絵界をリードしていった。そして、写楽の登場で役者の個性描写はその頂点を迎える。今回は鳥居派、勝川派の作品を中心に写楽までの役者絵の流れを紹介した。（鈴木浩平）

(鈴木浩平)

浮世絵展示
役者絵の展開



文部省圖書監修官の上野源吉著『大日本圖書集成』

後者は寅人兩とどちらに最も重要なテーマとして多くの論議がなされました。初期浮世絵の時代では歌謡と俳諧と俳諧の三種ともも爲した鳥居宣長の師匠たる吉原清左衛門、時代になると、「萬葉筆歌」(萬葉筆)や「歌麿筆歌」などという歌麿の歌詞に特に注目して品を氣を得ます。ところが春喜と春菴と共に結成して鳥居宣長を形成し、依然、光明門(1772-1783)の後詮首歌をリードしています。そして、草野の發役と後詮首の歌麿はその頂點をえます。今回は鳥居宣長、歌麿の作品を中心にして今までの後詮首を創りを紹介します。

忠臣蔵

会期 平成13(2001)年11月27日(火)~12月24日(月) 展示室1

出品作品 27点

元禄15年（1702）12月14日夜半、吉良邸への赤穂浪士討ち入りを題材とする「忠臣蔵」は、浄瑠璃、歌舞伎とともに、最も数多く上演された演目で、浮世絵の画題としても人気が高い。本展では、劇中の各段場面を描いた芝居絵により物語を再現する。また、歌川豊春の浮絵や、「忠臣蔵」に取材した喜多川歌麿の見立絵などを取り上げ、浮世絵において展開した、多様な芝居絵・役者絵のあり方を紹介。

(藤村忠節)

浮世絵展示
忠臣蔵 展示室1
展示期間 平成13年11月27日(火)～12月24日(月)



洛多川歌集 总拾藏 七四二

元禄15年(1702)12月14日夜半、吉良邸への赤坂土居討ち入りを題材とする「忠臣蔵」は、赤坂土居、駿河守ともに、最も最も多く上演された演目で、浮世絵の題材としても人気が高いのです。本筋では、劇中の各幕場景を踏まえた芝居台詞により物語を再現します。また、次川春斎の浮世絵、「忠臣蔵」に収載した豊田多喜の見立絵などを取り上げ、浮世絵において長崎風、多摩郡芝居絵・夜翁絵のあたりが紹介します。

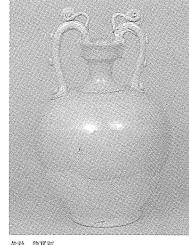
2. 東洋陶磁展示

館蔵中国陶磁

会期 平成9(1997)年1月5日(日)～3月16日(日) 展示室2

出品作品 48点

東洋陶磁
館蔵中国陶磁
展示期間 平成9年1月5日(日)～3月16日(日)



青白 瓷耳杯

約4万年前から人類の長い歴史の中で、人が土器という化学式の産物を獲得したのは、わずか1万年前のことです。土器は粘土を600度から800度の比較的低い温度で素焼きしたやきもので、自然発生的に、世界の広範囲で作られたとされています。人々の生活に最も必要な道具として人類の発達と密接に関わってきました。しかし、この“土器”を釉薬のかかった“陶器”へと独自に発展させることができたのは世界4大文明に代表されるわずかな地域しかありません。中国はその代表としての地位を長く保ち、英語のChina(中国)に“陶磁器”的意味さえ与えられているのです。

展示は紀元前3000年頃の土器から明時代末期(17世紀)までの陶磁器48点で、中国陶磁の発展に従って、節目節目の代表的な作品で構成しました。

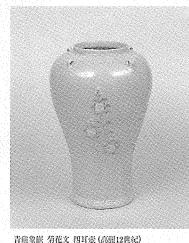
(上田秀夫)

館蔵朝鮮陶磁

会期 平成9(1997)年3月25日(火)～5月11日(日) 展示室2

出品作品 54点

東洋陶磁
館蔵朝鮮陶磁
展示期間 平成9年3月25日(火)～5月11日(日)



青白象形 布紋文 雪打花(高さ12.8cm)

朝鮮半島においても早くからやきものがつくられてきました。紀元前4000年前頃までさかのぼることのできるやきものの歴史には、朝鮮半島の風土と朝鮮民族の気質が明確に反映され、それぞれ時代ごとに特色のある陶磁生産のあとをみることができます。

今回展示する中世の高麗王朝、近世の朝鮮王朝(李朝)の陶磁もこういった朝鮮陶磁史の性質を端的に示しています。高麗(918-1392)約470年間の基本的陶磁は青磁で、中国越州窯にならい生産がはじまった初期から後期までの間独自の発達を遂げ、白黒象嵌文様による加飾技法を施した、翡翠色と形容される美しい釉色の名作を数多く生みだしました。

つづく朝鮮(1392-1910)では特長ある李朝の陶磁器がつくられました。豊臣秀吉による侵略以前の前半期には白磁と粉青沙器が、後半期には白磁とそのバリエーションといえる青花(染付)、鉄砂、辰砂など、いずれも白色を基調とした清雅な趣をたたえた陶磁が主流でした。

(石崎泰之)

中国の陶俑

会期 平成9(1997)年5月16日(金)~8月3日(日) 展示室6

出品作品 36点

趣旨：

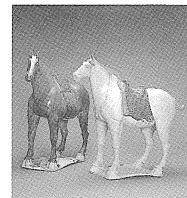
“俑”とは中国で死者と共に埋葬する人物・動物の像をいいます。中国では殷周の頃には一般的に王の死に際して殉葬が行われていたと考えられています。このような風習がいつごろまで行われたかは明らかではありませんが、臣下、妻妾などの殉葬が次第に“俑”に変わっていったと思われます。俑は明器の一種と言えます。死者の臣下、妻妾、侍従、兵士や家畜、愛玩動物などを象り、冥府へ供奉します。

俑の副葬は戦国時代以降近世まで行われ、木製、土製、陶製、金属製など各種の材質の俑が作られました。最初は主に木で作られましたが、前漢の頃には土の俑（陶俑）に主体が移ったとされます。

中国での俑の副葬は清朝頃まで続きますが、唐代以降形式化し、芸術的な造形としては次第に萎縮していきます。ここでは、漢代から唐代までの館蔵品のさまざまな人物俑や動物俑、器財俑などの陶俑を紹介しました。

(上田秀夫)

東洋陶磁平常展
中国の陶俑
展示期間 平成9年5月16日(金)～8月3日(日)



三彩馬（唐 8世紀）

「自」は中田で死と見出されるが、死体の扱いをいいます。中田では認定の際に一時的に正門に立てて殉葬が行われたことがあります。このような巡回いつばりで行われたものは現存ではありませんが、下仁等の殉葬式場では「自」に立っていったと思われます。

「居」は別荘の意味です。坂の下屋敷、茅葺、兵士や軍曹、受刑徒などををり、坂への入矢です。

坂の用語は昭和時代以前までわかれ、木造、土蔵、障壁、金銅など材質の質や仕様がわかれました。坂道は主に木造で作られましたが、坂道の上には石造（御印）にて木が並ぶなどされました。

中国での陶の発達は唐以前まで既にあります。唐代以降形式化し、藝術的な造形としては次第に変遷していきます。ここでは、漢代から唐代までの陶器のさまざまな人物像や動物像、器物などの中興を紹介します。

李朝の陶磁

会期 平成9(1997)年10月22日(水)~12月21日(日) 展示室2

出品作品 63点

趣旨：

李朝（朝鮮 [1392-1910]）陶磁のイメージは、清楚な白色といえるほど、この時代の陶磁器にははっきりとした特徴が感じられます。

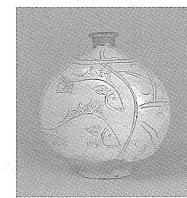
15～16世紀には、白磁のほかに粉青沙器が存在し、李朝前期陶磁の二大主流をなしていました。粉青沙器とは粉粧灰青沙器の略語で、日本では「三島」と呼ばれています。これは高麗末期の象嵌青磁が変転発達したものですが、この時代の気分を反映した粉粧の白色と、器形や文様の自由奔放な曲線が主調をなしており、ひときわ異彩を放った存在でした。

しかしやがて、16世紀末の壬辰・丁酉の倭乱（文禄・慶長の役）や後金・清の侵略による戦乱を境に、粉青沙器は次第に姿を消し、李朝陶磁の主流は白磁に統一されていきます。

李朝後期における陶磁生産は、白磁と、中国の元や明の陶磁の影響下に白磁の端麗な性格を保持しながらも清冽な雰囲気を併せ持つ青花白磁（染付）とに傾斜しています。これらは質的な変化を伴いながらも、使用する階層を裾野にまで広め、末期まで李朝陶磁の中心であり続けました。

(石崎泰之)

東洋陶磁平常展示
李朝の陶磁
展示期間 平成9年10月22日(水)～12月21日(日)



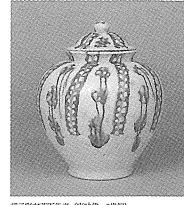
楊貴沙富綠刻魚文刷金 (15世紀)

三彩と綠釉

会期 平成9（1997）年12月23日(火)～3月1日(日) 展示室2

出品作品 59点

東洋陶磁平常展示
三彩と綠釉
展示室2
展示期間 平成9年12月23日(火)～平成10年3月1日(日)



唐三彩有蓋萬字盃 唐時代 8世紀

趣旨：

三彩はその独特的な色合いから中国陶磁の中でも鮮烈な印象を放つものとして人々に愛されてきました。そもそも三彩は技術上漢代に盛んに作られた鉛釉陶器の流れを汲むもので、その伝統の中から生まれたものといえます。鉛釉陶は、鉛の入った釉薬を用いて800度前後の低温で焼いた陶器のことで、酸化銅を呈色剤として使用した場合綠釉陶となり、酸化鉄を使用した場合には褐釉陶となります。

この鉛釉陶の技術に加えて白磁が作られるようになったことで白い素地に緑、茶、土岐にはコバルトの青をのせた三彩が生まれ、唐の時代には副葬品として貴族や官僚の文化を背景に隆盛をみました。一見まったく異なった陶器にも見える三彩と綠釉はこうして同じ技術的基盤を持ち、綠釉から三彩へと発展していったのです。

両者は本来副葬品である明器としての性格が強く、人物、家屋などを模写した俑が多く作られました。これらの陶器には当時の人々のびやかな感性がよく表現されています。

(石崎泰之)

三彩はその色合いから中国陶磁の中でも鮮烈な印象を放つものとして人々に愛されてきました。そもそも三彩は技術上漢代に盛んに作られた鉛釉陶器の流れを汲むもので、その伝統の中から生まれたものといえます。鉛釉陶は、鉛の入った釉薬を用いて800度前後の低温で焼いた陶器のことで、酸化銅を呈色剤として使用した場合綠釉陶となり、酸化鉄を使用した場合褐釉陶となります。

この鉛釉陶の技術に加えて白磁が作られるようになったことで白い素地に緑、茶、土岐にはコバルトの青をのせた三彩が生まれ、唐の時代には副葬品として貴族や官僚の文化を背景に隆盛をみました。一見まったく異なる陶器にも見える三彩と綠釉はこうして同じ技術的基盤を持ち、綠釉から三彩へと発展していったのです。

両者は本来副葬品である明器としての性格が強く、人物、家屋などを模写した俑が多く作られました。これらの陶器には当時の人々のびやかな感性がよく表現されています。

中国陶磁の展開

会期 平成10（1998）年3月5日(木)～4月24日(日) 展示室3

出品作品 63点

東洋陶磁平常展示
中国陶磁の展開
展示室3
展示期間 平成10年3月5日(木)～平成10年4月24日(金)



青花缠枝牡丹纹瓶
(ホウカシテンボウモンワツボウ)
西周時代 1300～1700B.C.

趣旨：

地球上のどこにある粘土を素材とする土器の焼成は、人類の最初の科学的発明品といえます。

中国では約8,000年前の新石器時代に土器の焼成が始まりました。彩陶や黒陶、白陶、灰陶などの土器の時代が永く続きますが、紀元前1,000年頃には灰釉陶器の生産が開始されました。灰釉陶器の発明はやがて青磁へと転換され、白磁や青花などの磁器へと展開します。

陶磁器の用途は非常にひろく、食料や水の貯蔵、運搬、調理、飲食の器、あるいは墓室を飾る副葬品などとして、常に人々の生活とともにありました。しかも同時に、鑑賞の対象としても重要な意義を持ち、美術的にも高く評価されてきました。この展覧会では、その歴史性と、あわせて優れた造形品としての美的創造性を紹介しました。

(上田秀夫)

地球上のどこにある粘土を素材とする土器の焼成は、人類の最初の科学的発明品といえます。中国では約8,000年前の新石器時代に土器の焼成が始まりました。彩陶や黒陶、白陶、灰陶などの土器の時代が永く続きましたが、紀元前1,000年頃には灰釉陶器の生産が開始されました。灰釉陶器の発明はやがて青磁へと転換され、白磁や青花などの磁器へと展開されました。中国の磁器は、白磁や青花などの磁器とともに、世界中の文化を影響を与えてきました。しかし同時に、鑑賞の対象として重要な意義を持ち、美術的にも高く評価されてきました。この展覧会では、その歴史性と、あわせて優れた造形品としての美的創造性を紹介しています。

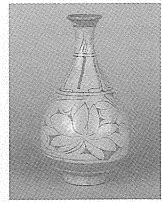
高麗青磁と粉青沙器

会期 平成10（1998）年4月29日(水)～7月20日(日) 展示室1

出品作品 30点

東洋陶磁平常展示
高麗青磁と粉青沙器
展示期間 平成10年4月29日(水)～平成10年7月20日(日)

展示室1



高麗青磁 花口瓶
朝鮮（李朝）時代 15世紀

趣旨：

古来より、その美しい釉色を「翡色」の美称で讃えられてきた高麗青磁は、象嵌に代表される超絶技巧を持って繊細優美な趣を創出し、世界の陶磁史のなかに異彩を放っています。

また、粉青沙器は、高麗王朝に続く朝鮮王朝（李朝）前半期のやきものの大主流をなし、翡色青磁とは異なる清澄な美の世界を形づくりました。

今回の展示ではこれら朝鮮美術工芸の粋を代表する作品を展示しました。

（石崎泰之）

古来より、その美しい釉色を「翡色」の美称で讃えられてきた高麗青磁は、象嵌に代表される超絶技巧を持って繊細優美な趣を創出し、世界の陶磁史のなかに異彩を放っています。

また、粉青沙器は、高麗王朝に次ぐ朝鮮王朝（李朝）前半期のやきものの大主流をなし、翡色青磁とは異なる清澄な美の世界を形づくりました。

今回はこれら朝鮮美術工芸の粋を代表する作品を展示します。

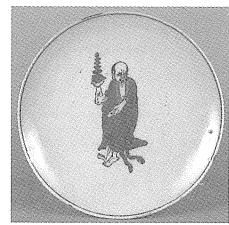
古染付の世界

会期 平成10（1998）年7月25日(土)～10月4日(日) 展示室1

出品作品 39点

古染付の世界
展示期間 平成10年7月25日(土)～平成10年10月4日(日)

展示室1



青花 景徳鎮製
明時代 17世紀

趣旨：

江戸時代、中国景德鎮で焼かれた染付のうち、日本に請來され、金銀珠玉にまさる勢いで珍重されたと伝えられる陶磁器があります。

「古染付」と呼称されているこのやきものは、明朝の天啓年間（1621～1627）に雑用器として大量生産された製品であると一般的に言われていますが、実際にははっきりとした制作年代も、また古染付自身の定義も明確ではなく、曖昧模糊とした世界を開いています。

日本に輸入された古染付は、そのユーモアのある独特な絵付けの面白さが茶人の間で大変に好まれ、茶陶として数多くの伝世品が今も国内に存在します。仙人、羅漢、動物、植物などの文様が斬新な構図とともに軽妙なタッチで描かれ、今も多く日本人の心を惹きつけてやみません。

今回の展示では、絵付けの面白さが最大限に引き出されている皿を中心に紹介しました。

（宮田絵津子）

江戸時代、中国景德鎮で焼かれた染付のうち、日本に請來され、金銀珠玉にまさる勢いで珍重されたと伝えられる陶磁器があります。

「古染付」と呼称されているこのやきものは、明朝の

天啓年間（1621～1627）に雑用器として大量生産された製品で

あると一般的に言われていますが、実際にははっきりとした制

作年代も、また古染付自身の定義も明確ではなく、曖昧模糊と

した世界を開いています。

日本に請來された古染付の中でも、最も多く見られる絵付け

のものは、人物や動物、植物などを中心に描かれた物

が多いため、その総称として古染付と呼ばれることがあります。

人物、羅漢、動物、植物などの

文様が斬新な構図とともに軽妙なタッチで描かれ、今も多くの

日本人の心を惹きつけてやみません。

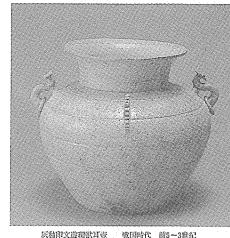
今回の展示では、絵付けの面白さが最大限に引き出されている

皿を中心に紹介していきます。

館藏中国陶磁 一青銅器の時代のやきものー

会期 平成10(1998)年12月1日(火)～平成11(1999)年2月21日(日) 展示室2
出品作品 33点

東洋陶磁展示
館藏中国陶磁
一青銅器の時代のやきものー^{展示室2}
展示期間 平成10年12月1日(火)～平成11年2月21日(日)



青銅文獻蓋鉢付口盤 魏(386-534)年

趣旨：

古代中国ではやきものと青銅器が対照的な盛衰ぶりを見せます。やきものは、青銅器が現れる以前の約4,500年間、工芸分野の主座にあり、彩陶、黒陶、白陶などの創造的な土器を生産してきました。ところが、商(殷)周時代になると、金属鋳造という空前の技術革新に支えられた青銅器製作の発展に押され、やきものはその座を奪われてしまいます。このような傾向は魏晋南北朝に青磁の生産が進展し、鑑賞性の高い美的水準に到達するようになるまでの約1,700年ほども続きます。やきものにとっての「冬の時代」ともいえる、青銅器全盛時代における造形的特徴を概観しました。

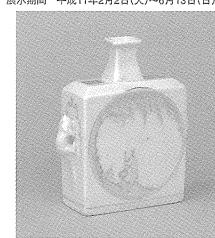
(石崎泰之)

古代中国ではやきものと青銅器が対照的な盛衰ぶりを見せます。やきものは、青銅器が現れる以前の約4,500年間、工芸分野の主座にあり、彩陶、黒陶、白陶などの創造的な土器を生産してきました。ところが、商(殷)周時代になると、金属鋳造という空前の技術革新に支えられた青銅器製作の発展に押され、やきものはその座を奪われてしまいます。このような傾向は魏晋南北朝に青磁の生産が進展し、鑑賞性の高い美的水準に到達するようになるまでの約1,700年ほども続きます。やきものにとっての「冬の時代」ともいえる、青銅器全盛時代における造形的特徴を概観します。

朝鮮陶磁の展開

会期 平成11(1999)年2月23日(火)～6月13日(日) 展示室2
出品作品 50点

東洋陶磁展示
朝鮮陶磁の展開
展示期間 平成11年2月23日(火)～6月13日(日)



青花青磁花口瓶 韓(918-1392)年

趣旨：

朝鮮陶磁史上、技術的側面と芸術的水準においてめざましい発達がみられたのは、五代越州窯青磁の受容が拡大していった10世紀以降の高麗時代(918-1392)です。はじめは中国に倣った製作をしていましたが、しだいに中国的な造形表現から離れた高麗的な器形、文様、彫技などが成熟し、12世紀後半ついに白黒象嵌技法に代表される繊細優美な趣をもった高麗青磁を創出しました。この時代の象嵌青磁は世界のやきものの中でもひときわ異彩を放っています。

つづく朝鮮(李朝)時代(1392-1910)は、高麗象嵌青磁のあとをなす粉青沙器と白磁が陶磁生産の主流として、この時代の人々の精神とその趣向に沿った造形表現により独自の発展をとげました。15世紀前半頃まで盛んに生産された粉青沙器は、16世紀の後半になると白磁化の傾向を強め、やがてその主座を白磁に明け渡して消滅します。かわって朝鮮陶磁の主流となった白磁は儒教的精神生活に裏打ちされた文化の横溢とともに発展をとげ、コバルト顔料による青花技法など清雅な趣の装飾美を展開しつつ、白色の美を世界を形づくりました。

(石崎泰之)

朝鮮陶磁史は、技術的侧面と芸術的水準においてめざましい発達がみられたのは、五代越州窯青磁の受容が拡大していった10世紀以降の高麗時代(918-1392)です。はじめは中国に倣った製作をしていましたが、しだいに中国的な造形表現から離れた高麗的な器形、文様、彫技などが成熟し、12世紀後半ついに白黒象嵌技法に代表される繊細優美な趣をもった高麗青磁を創出しました。この時代の象嵌青磁は世界のやきものの中でもひときわ異彩を放っています。

つづく朝鮮(李朝)時代(1392-1910)は、高麗象嵌青磁のあとをなす粉青沙器と白磁が陶磁生産の主流として、この時代の人々の精神とその趣向に沿った造形表現により独自の発展をとげました。15世紀前半頃まで盛んに生産された粉青沙器は、16世紀の後半になると白磁化の傾向を強め、やがてその主座を白磁に明け渡して消滅します。かわって朝鮮陶磁の主流となる白磁は、儒教的精神生活に裏打ちされた文化の横溢とともに発展をとげ、コバルト顔料による青花技法など清雅な趣の装飾美を展開しつつ、白色の美を世界を形づくりました。

明器泥象 一愛すべき土偶たちー (前期)

会期 平成11(1999)年6月20日(日)~9月19日(日) 展示室2

出品作品 31点

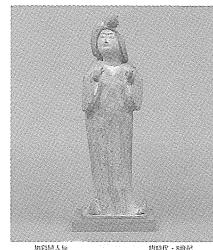
東洋陶磁展示

展示室2

明器泥象

-愛すべき土偶たちー(前期)

展示期間 平成11年6月20日(日)~9月19日(日)



始祖夫人像 汉代・秦汉・隋唐

人間に似せた像つまり人形は、その素材ごとに「木偶」「土偶」などと呼ばれますが、喪葬に際してつくられた副葬用の人形については、一般的に「俑」という語が用いられています。そのなかでも、粘土という素材によって造形された陶製の「俑」すなわち「陶俑」に、陶製の動物像や器物・模型を含めたものを、泥で象った明器(副葬品)という意味で「明器泥象」と呼んでいます。

これらの造形には、種類や組み合わせに時代や地域社会の特徴が反映されており、往時の生活習慣や葬送制度を伺い知ることができるとともに、日常の生活空間で必要とされたさまざまな「かたち」に加味された象徴性をもかいま見ることもでき、つきない魅力をもっています。

今回の展示では、「俑」の制度が完成された漢代から、豪壮な陵墓を飾る華やかな「陶俑」が盛んにつくられた唐代までの人物像、動物像、器物・模型などに表現された、明器としての造形を紹介しました。

明器泥象 一愛すべき土偶たちー (後期)

会期 平成11(1999)年9月21日(火)~11月28日(日) 展示室2

出品作品 32点

東洋陶磁展示

展示室2

明器泥象

-愛すべき土偶たちー(後期)

展示期間 平成11年9月21日(火)~11月28日(日)



陶骑马 唐代・隋唐・五代宋

人間に似せた像つまり人形は、その素材ごとに「木偶」「土偶」などと呼ばれます。喪葬に似せてつくられた粘土の人形については、一般に「俑」という語が用いられています。そのなかでも、粘土という素材によって造形された陶製の「俑」すなわち「陶俑」に、陶製の動物像や器物・模型を含めたものを、泥で象った明器(副葬品)といいう意味で「明器泥象」と呼んでいます。

今回は、「俑」の制度が完成された漢代から、豪壮な陵墓を飾る華やかな「陶俑」が盛んにつくられた唐代までの人物像、動物像、器物・模型などに表現された、明器としての造形を紹介します。

趣旨：

人間に似せた像つまり人形は、その素材ごとに「木偶」「土偶」などと呼ばれます。喪葬に似せてつくられた粘土の人形については、一般に「俑」という語が用いられています。そのなかでも、粘土という素材によって造形された陶製の「俑」すなわち「陶俑」に、陶製の動物像や器物・模型を含めたものを、泥で象った明器(副葬品)といいう意味で「明器泥象」と呼んでいます。

これらの造形には、種類や組み合わせに時代や地域社会の特徴が反映されており、往時の生活習慣や葬送制度を伺い知ることができるとともに、日常の生活空間で必要とされたさまざまな「かたち」に加味された象徴性をもかいま見ることもでき、つきない魅力をもっています。

今回の展示では、「俑」の制度が完成された漢代から、豪壮な陵墓を飾る華やかな「陶俑」が盛んにつくられた唐代までの人物像、動物像、器物・模型などに表現された、明器としての造形を紹介しました。

(石崎泰之)

朝鮮時代後期の青花 [李朝染付]

会期 平成12(2000)年1月15日(土)~3月20日(月・祝) 展示室2
出品作品 42点

趣旨：

白地の素地に酸化コバルト顔料すなわち呉須で絵付けを施し、その上に透明の釉薬をかけて焼成する陶磁技法を青花（韓国では青画白瓷、日本では染付）とよんでいます。

朝鮮（李朝）では中国明朝の影響下に独自の発展を見せ、15世紀後半から設置された「分院」という官窯を中心に生産されます。18世紀からの朝鮮時代後期になると、政治・社会・文化の安定的発展を背景として、陶磁生産は独自の美の世界を開かせて質量ともに充実度を高めていきます。18世紀後半から19世紀後半まで活動したソウルにほど近い広州郡分院里では、巧緻な白磁に加飾された官窯器として本格的な生産がおこなわれていました。

装飾文様は叙情的なものが多くを占めますが、19世紀には清朝磁器の影響を受けた纖細な描写や吉祥を象徴するモチーフを表現したものも現れ、清雅な雰囲気のなかにも飄逸な作風へのひろがりがみられます。

(石崎泰之)



自らの「抱負」を語る「志」は、それからもさすがに自分を思はず、そのままに自分の抱負を語るまでの間で何が出来たかは、自分では肯定的だ、と自己評価している。

朝日新聞では、その内閣の「抱負」に「国民の暮らし」は、経済成長から設立された「社会保障」という形態で主張に生じました。経済成長から派生した財政政策など、政治家・文化人の政治的抱負と、社会問題に対する政治家・文化人の政治的抱負など、どちらも、その内閣の「抱負」には、必ずして語らなければならないものだと思われる形態で記述されています。専門的な知識をもつて書く政治家・文化人による政治的抱負は、専門的な知識をもつて書く政治家・文化人による政治的抱負とは大別されるべきかなとおもわれます。

若宮洋子は、専門的な知識のない内閣ですが、10月18日に開催された閣議の場で受け取った横尾信義が持つ社会全般を語るモチーフを表現したものもあれば、専門的な背景のないもとで創作活動を行っていたものが含まれる。

彩磁の流れ

会期 平成12(2000)年3月22日(水)~7月23日(日) 展示室2
出品作品 45点

趣旨：

中国陶磁の歴史の中で、器の表面に彩色を施す彩陶の技法が行われるようになったのは新石器時代からです。その後、黒陶を主流とする時代が到来しますが、漢代から北魏を通じて灰陶に鮮やかな色を施す加彩陶器が明器（副葬品）として現れます。唐時代には、よく知られる唐三彩が緑・黄・青などの色の鉛釉を駆使して生まれ、当時の華やかな貴族社会を反映しました。その後磁州窯の鉄絵が民窯として生産活動を行いますが、単色釉である白磁・青磁・黒釉磁の人気が高まるなかで、三彩の技法は遼三彩・宋三彩・元三彩・法花・交趾三彩へと受け継がれていきます。一方、青磁の隆盛が衰えると、元時代以降、コバルトの青を用いて絵付けをする青花が景德鎮で盛んに生産され、世界中の人々を魅了します。明時代には赤・緑・黄などの釉薬を用いた五彩と呼ばれる陶磁器も出現し、中国陶磁の華やかさは明・清時代に頂点に達します。

今回の展示では「色」の施された陶磁器に焦点を当て、その歴史が繰り広げる「彩磁」の世界を紹介しました。

(宮田絵津子)



中国の歴史の中身から、其の歴史に在る極めて重要な特徴が現れる。それは、必ずしも「かみ」の時代は「かみ」の時代で、必ずしも「凡人」の時代は「凡人」の時代である。その「かみ」を主張する時代が「神代」といわれるが、それから「凡人」を主張する時代が「人間代」といわれる。時代的には、よく「古くから」と「近頃」といふ言葉が俗語として生まれ、當時の社会的な貴賤を表すに用いられる。その結果、時代は5段階に思われる。即ち、神代から「古くから」、昔、昔、昔、近頃の順であるが、必ずしも「かみ」時代が「かみ」時代で、「凡人」時代が「凡人」時代と一概にはいられない。一方では、時代の流れによると、元々は「かみ」、つまり「神代」を用いて「かみ」に対する敬意や説教で人生に生きていた、専門の人のことを「凡人」とす。明治時代になると、食文化を用いた「凡人」に対する親切な形容詞とされ、中国の歴史の中身は「古くから」時代と「近頃」と呼ばれる。

青磁

会期 平成12（2000）年7月29日(土)～10月25日(水) 展示室2
出品作品 31点

東洋陶磁平常展示
青磁
展示期間 平成12年7月29日(土)～10月25日(水)



青磁 本注 (せいじゆ さいちゅう)
北宋時代 口掛 越窑

「青磁」、それは中国陶磁において最も基本的な焼物です。青磁は永く中国陶磁器の中心にありました。青磁の出現は、黒磁や白磁へと転換し、青花や五彩へと発展する中国陶磁の展開の歴史を方向付けたといえます。しかし、結果的に見れば、それは同時に青磁の衰退の必然を内包する方向性でもありました。

青磁は中国で一種の灰釉陶ともいえる原始瓷器から発達します。晚唐・五代には越窯で美しい彫り模様のある秘色青磁が生産されました。また、南宋代には杭州の南宋官窯では玉のような美しい青磁が焼かれ、龍泉窯でも砧青磁と呼ばれる優れた青磁が大量に焼成されました。しかし、南宋代の砧青磁をピークに、大量生産による低質化と作風の低下を見せ始めます。次第に青花や五彩などの多彩華麗な磁器に駆逐され、明代後期の16世紀には終焉を迎えることになります。

(上田秀夫)

東洋陶磁展示
古染付
展示期間 平成11年11月1日(水)～12月24日(日)



青花人物図入茶托
明時代末期・17世紀

古染付

会期 平成12（2000）年11月1日(水)～12月24日(日) 展示室2
出品作品 39点

趣旨：

古染付は、明代末期に輸出された青花磁器のうち、わが国だけに伝世する品々です。日本からの注文の茶道具として特別に眺えられた花生・水指・鉢・手鉢・向付・香合などのほかに、日用品的な皿・鉢・碗などの器形もみられます。「虫喰い」とよばれる釉剥げがあるなど、いずれも粗製の感は否めませんが、江戸初期以来わが国の茶人たちはかえってその古拙な風情を慈しみ、唐物・舶来などと称美し珍重してきました。その魅力の一つには、絵画調文様の主題や構図の豊富さも挙げられるでしょう。やわらかな釉調の下、澄んだコバルトの発色と胎土の色調とがおりなす淡墨の風趣や、自由奔放な筆致による飄逸な文様の絵付けのなかに、茶道の風流に適うありのままの素直な美を見出したのでしょう。

(石崎泰之)

青花図は、明朝の14世紀頃された青磁のうち、わが国に輸出された茶道具として特に眺えられた花生・水指・鉢・手鉢・向付などのほかに、日用品的な皿・鉢・碗などの器形もみられます。「虫喰い」とよばれる釉剥げがあるなど、いずれも粗製の感は否めませんが、江戸初期以来わが国の茶人たちがとても大切な茶道具を珍重してきました。その魅力の一つには、宏潤な文様や細かい直書きも挙げられます。これらは、茶道具の主題や構図の豊富さ、自由奔放な筆致による飄逸な文様の組合せなどに、茶道の風流に適うありのままの素直な美を見出したのです。

質朴の造形 一朝鮮陶磁一

会期 平成13（2001）年2月14日(火)～4月15日(日) 展示室2

出品作品 58点

東洋陶磁平常展示 展示室2

質朴の造形 一朝鮮陶磁一

展示期間 平成13年2月14日(火)～4月15日(日)



白山鉢沙文窓 朝鮮時代・17世紀

趣旨：

朝鮮（李朝）時代を代表するやきものは、粉青沙器と白磁です。

わが国では「三島」とよばれて親しまれてきた粉青沙器は、高麗時代末期の象嵌青磁の末裔的な性格をもったもので、化粧土の白色と器形や文様の自由奔放な曲線とがおおらかな気分を感じさせるやきものでした。それはやがて、16世紀末の壬辰・丁酉の倭乱（豊臣秀吉による文禄・慶長の役）や、後金・清の侵略による混乱期を境に姿を消して、朝鮮王朝における陶磁生産の主流は白磁へと統一されていきました。

王朝後半期の陶磁生産は、白磁と、白磁の持つ端麗な造形に清冽な雰囲気の加飾を施した青花(染付)とに傾斜しています。これらは中国の元や明の影響とともに多様な展開をみせつつも、この時代特有の美意識を造形に反映させながら使用階層を裾野にまで広め、末期まで陶磁生産の中心としてあり続けました。

今回の展示では、清楚な白色と素朴なかたちにあらわれた、朝鮮時代のやきものの美の世界を紹介しました。

(石崎泰之)

朝鮮の陶磁は時代を経るごとに、各窯場によって特色があります。
16世紀末に「三島」とよばれて親しまれていた粉青沙器は、高麗時代末期の象嵌青磁の末裔的な性格をもたらし、化粧土の白色と器形や文様の自由奔放な性質をもつていました。朝鮮王朝初期では窓を埋めるように象嵌を施すのが一般的で、その窓には、花鳥や山水などの自然景物が描かれていました。その後、化粧土の白色を用いた青花(染付)が登場し、その窓は白磁の窓となり、窓を埋めるのが一般的になりました。朝鮮王朝中期になると、窓を埋めるのが一般的になりました。

朝鮮の陶磁は、時代を経るごとに、各窯場によって特色があります。
16世紀末に「三島」とよばれて親しまれていた粉青沙器は、高麗時代末期の象嵌青磁の末裔的な性格をもたらし、化粧土の白色と器形や文様の自由奔放な性質をもつていました。朝鮮王朝初期では窓を埋めるように象嵌を施すのが一般的で、その窓には、花鳥や山水などの自然景物が描かれていました。その後、化粧土の白色を用いた青花(染付)が登場し、その窓は白磁の窓となり、窓を埋めるのが一般的になりました。朝鮮王朝中期になると、窓を埋めるのが一般的になりました。

今は、窓を白地とすると非常に美しい白磁が作られています。

三彩・緑釉 一鉛釉陶の展開一

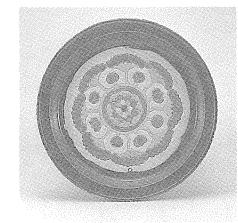
会期 平成13（2001）年4月21日(土)～8月19日(日) 展示室2

出品作品 54点

東洋陶磁展示 展示室2

三彩・緑釉 一鉛釉陶の展開一

展示期間 平成13年4月21日(土)～8月19日(日)



模写宋定窑青花三足炉 唐時代・唐宋

趣旨：

鉛釉は鉛を主成分とし、灰釉とともに陶磁器の基本的な釉薬の一つです。鉛は溶解力が強く700～800°の低火度で硅酸と化合し、艶のある滑らかな釉面が形成されます。鉛釉は石英に鉛丹を混合した無色の基礎釉で、これに少量の金属の呈色剤を添加し酸化焰で焼成すると独特の鮮やかな発色を示す色釉になります。特に銅化合物を加えた緑釉、鉄化合物を加えた褐釉は鉛釉陶の代表で、化学的にも安定し、製法も比較的簡単です。また、コバルト化合物を加えると藍釉にもなります。

中国では漢代の緑釉・褐釉、唐三彩、遼三彩、宋三彩、元三彩、明代の法花・交趾三彩など各時代にそれぞれ特徴のある鉛釉陶の展開が見られます。また、桃山時代にわが国に輸入された交趾三彩の技術導入は近世の織部焼や楽焼、京焼などの鉛釉系の焼物として展開します。この展覧会では華麗に展開する鉛釉陶の世界を紹介しました。

(上田秀夫)

鉛釉は鉛を主成分とする陶磁器の基本的な釉薬の一つです。鉛は溶解力が強く700～800°の低火度で硅酸と化合し、艶のある滑らかな釉面が形成されます。鉛釉は石英に鉛丹を混合した無色の基礎釉で、これに少量の金属の呈色剤を添加し酸化焰で焼成すると独特の鮮やかな発色を示す色釉になります。特に銅化合物を加えた緑釉、鉄化合物を加えた褐釉は鉛釉陶の代表で、化学的にも安定し、製法も比較的簡単です。また、コバルト化合物を加えると藍釉にもなります。

中国では漢代の緑釉・褐釉、唐三彩、遼三彩、宋三彩、元三彩、明代の法花・交趾三彩など各時代にそれぞれ特徴のある鉛釉陶の展開が見られます。また、桃山時代にわが国に輸入された交趾三彩の技術導入は近世の織部焼や楽焼、京焼などの鉛釉系の焼物として展開します。この展覧会では華麗に展開する鉛釉陶の世界を紹介します。

陶俑

会期 平成13（2001）年10月6日(土)～12月24日(月) 展示室2

出品作品 38点

東洋陶磁展示

展示室2

陶俑

展示期間 平成13年10月6日(土)～12月24日(月)



加賀人形陶(甲)
W・8.0cm

中国では、死者とともに埋葬される木製・土製・陶磁器製・金属製の人物・動物などの像を総称して『俑』といいます。そもそも人物像・動物像自体は新石器時代から存在しますが、副葬品としての俑は東周代（春秋・戦国時代）からみられ、漢代と唐代に盛期を迎え、清代まで続きます。

殷代・西周代には王を中心とした貴族の墓に多くの人間や動物を殉葬させる葬俗がありました。しかし、儒教などの影響を受けて殉葬の替わりにして登場したのが俑です。初期の俑は木製でしたが、秦の統一を経て戦乱がやみ社会が安定していくにつれて、葬礼が壮麗さを増していくため俑の需要が高まりました。そこで、木俑に替わって生産効率のよい陶俑が多く作られるようになりましたといわれています。俑には、多様な職種の人形をはじめとして、家屋・井戸、家財、家畜、水田などといったあらゆる身の回りのものがあります。富の象徴として、また被葬者があの世で不自由しないようにという願いを込めて俑が副葬されました。これらの陶俑を通して、当時の生活や葬送制度を想像してみましょう。

この展覧会では、漢代から唐代にかけての多彩な陶俑を紹介しました。

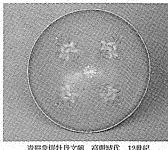
(今村佳子)

高麗青磁と粉青沙器

会期 平成14（2002）年1月3日(木)～3月24日(日) 展示室2

出品作品 31点

東洋陶磁展示
高麗青磁と粉青沙器
展示期間 平成14年1月3日(木)～3月24日(日)



青磁良玉付文鏡 高麗時代 12世紀

趣旨：

朝鮮半島の陶磁史上、その技術的側面と芸術的水準において、めざましい発達がみられたのは、五代越州窯青磁の受容が拡大していった10世紀以降の高麗時代（918-1392）でした。高麗貴族の中国文物に親しむ風潮は、中国陶磁に似たやきものの制作を要請し、江南地方の吳越国の産する「秘色青磁」をその模倣の対象として生産が進められました。やがて12世紀に入ると、中国陶磁に倣った造形表現から離れ、高麗的な器形、文様、彫技などが熟達段階となり、世紀後半には白黒象嵌という超絶技巧で加飾した繊細優美な青磁を創出するに至りました。

つづく朝鮮（李朝）時代（1392-1910）は、高麗貴族に替わる新興支配層の精神とその趣向に沿ったやきものがつくられました。この時代の陶磁のイメージは清楚な「白」と言い切れるほど、時代の儒教的精神を反映した高潔な象徴としての白色を志向する造形表現に明確な特徴がみられます。

朝鮮時代前半期の15～16世紀には、白磁とならんで、高麗末期の象嵌青磁が簡略化量産されたいわば末裔的な陶磁器といえる粉青沙器（わが国で「三島」とよばれてきました）が盛んにつくられました。化粧土の白色と器形や文様の自由奔放な曲線とが主調となって、時代と民族の大らかな気質を感じさせる粉青沙器は、16世紀末の豊臣秀吉による文禄・慶長の役や後金・清の侵略による戦乱の頃まで、白色化の傾向を強めながら各地で盛んに生産されました。

今回の展示では、造形表現に反映された時代精神と民族の美意識を館蔵品の高麗青磁と粉青沙器で紹介しました。

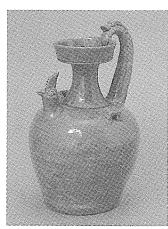
（石崎泰之）

青磁 一系譜と展開一

会期 平成14（2002）年3月26日(火)～6月2日(日) 展示室2

出品作品 40点、参考展示2件17点

東洋陶磁展示
青磁一系譜と展開一
展示期間 平成14年3月26日(火)～6月2日(日)



青磁良玉付注子 遷宋系（占趙窑） 宋青 14世紀

趣旨：

青磁は永く中国陶磁器の中心にありました。その系譜は紀元前14～15世紀の商代中期に出現した原始瓷器に求められ、本格的な青磁への転換は後漢代後半の2世紀中葉から後半頃とされるべきです。青磁の本格化は南北朝時代の5世紀後半頃から南北朝時代にかけて、南北に盛んに焼かれました。その中の一つが越窯で、越窯は隋代にも焼かれていましたが、その後は唐、宋、元代にかけて盛んに焼かれました。その他の窯場は、吉州窯で、吉州窯は宋代には杭州の南宋官窯で玉のような輝きの青磁が焼かれ、龍泉窯でも日本で砧青磁と呼ばれる美しい青磁が大量に焼成されました。

長く中国陶磁の主役であった青磁も元、明と時代を経るに従って、大量生産による低質化と作風の低下を見せ始めます。そして明代中期の16世紀前半頃には衰退していきます。この展覧会では、青磁の出現の系譜からその発展と展開、そして終焉までを概観しました。

（上田秀夫）

青磁は永く中国陶磁器の中心にありました。その系譜は紀元前14～15世紀の商代中期に出現した原始瓷器に求められ、本格的な青磁への転換は後漢代後半の2世紀中葉から後半頃とされるべきです。青磁の本格化は南北朝時代の5世紀後半頃から南北朝時代にかけて、南北に盛んに焼かれました。その中の一つが越窯で、越窯は隋代にも焼かれていましたが、その後は唐、宋、元代にかけて盛んに焼かれました。その他の窯場は、吉州窯で、吉州窯は宋代には杭州の南宋官窯で玉のような輝きの青磁が焼かれ、龍泉窯でも日本で砧青磁と呼ばれる美しい青磁が大量に焼成されました。

長く中国陶磁の主役であった青磁も元、明と時代を経るに従って、大量生産による低質化と作風の低下を見せ始めます。そして明代中期の16世紀前半頃には衰退していきます。この展覧会では、吉州窯の出現の系譜からその発展と展開、そして終焉までを概観します。

(3) 特別展示室展示

特別展示室は収蔵品の浮世絵版画のなかから名品を1点だけ選んで展示し、じっくりと鑑賞していただくコーナーです。

1996（平成8）年度展示

平成9年1月	歌川広重	名所江戸百景 深川洲崎十万坪	大判錦絵
2月	歌川広重	名所江戸百景 亀戸梅屋舗	大判錦絵
3月	歌川広重	名所江戸百景 廊中東雲	大判錦絵

1997（平成9）年度展示

4月	歌川広重	名所江戸百景 堀切の花菖蒲	大判錦絵
5月	歌川広重	名所江戸百景 駒形堂吾嬬橋	大判錦絵
6月	二代歌川広重	名所江戸百景 赤坂桐畠雨中のけい	大判錦絵
7月	歌川広重	名所江戸百景 大はしあたけの夕立	大判錦絵
8月	歌川広重	名所江戸百景 両国花火	大判錦絵
9月	歌川広重	名所江戸百景 猿若町よるの景	大判錦絵
9月20日（土）～10月19日（日）の間 「開館1周年記念 チコチンの浮世絵～新収蔵品展」のため、 「東洲斎写楽 三世瀬川菊之丞の田辺文蔵妻おしづ」大判錦絵を展示			
10月	歌川広重	名所江戸百景 よし原日本堤	大判錦絵
11月	歌川広重	名所江戸百景 浅草田甫酉の町詣	大判錦絵
12月	歌川広重	名所江戸百景 王子装束ゑの木大晦日の狐火	大判錦絵
平成10年1月	東洲斎写楽	三世市川高麗藏の志賀大七	大判錦絵
2月	歌川広重	東海道五十三次之内 蒲原 夜之雪	横大判錦絵
3月	鈴木春信	腰付馬で遊ぶ男児	中判錦絵

1998（平成10）年度展示

4月	葛飾北斎	風流無くてなゝくせ 遠眼鏡	大判錦絵
5月	鳥高斎栄昌	お高祖頭巾	大判錦絵
6月	鳥文斎栄之	青楼美人六花仙 越前屋唐土	大判錦絵
7月	喜多川歌麿	難波屋おきた	大判錦絵
8月	鳥居清長	当世遊里美人合 蚊帳の内外	大判錦絵
9月	葛飾北斎	富嶽三十六景 凱風快晴	横大判錦絵
10月	鈴木春信	坐鋪八景 鏡台の秋月	中判錦絵
11月	東洲斎写楽	三世瀬川菊之丞の田辺文蔵妻おしづ	大判錦絵
12月	歌川広重	名所江戸百景 王子装束ゑの木大晦日の狐火	大判錦絵
平成11年1月	東洲斎写楽	三世市川高麗藏の志賀大七	大判錦絵
2月	歌川広重	東海道五十三次之内 蒲原 夜之雪	横大判錦絵
3月	鈴木春信	腰付馬で遊ぶ男児	中判錦絵

1999（平成11）年度展示

4月	葛飾北斎	風流無くてなゝくせ 遠眼鏡	大判錦絵
5月	鳥高斎栄昌	お高祖頭巾	大判錦絵
6月	鳥文斎栄之	青楼美人六花仙 越前屋唐土	大判錦絵
7月	喜多川歌麿	難波屋おきた	大判錦絵

8月	鳥居清長	当世遊里美人合 蚊帳の内外	大判錦絵
9月	葛飾北斎	富嶽三十六景 凱風快晴	横大判錦絵
10月	鈴木春信	坐鋪八景 鏡台の秋月	中判錦絵
11月	東洲斎写楽	三世瀬川菊之丞の田辺文蔵妻おしづ	大判錦絵
12月	歌川広重	名所江戸百景 王子装束ゑの木大晦日の狐火	大判錦絵
平成12年1月	東洲斎写楽	三世市川高麗藏の志賀大七	大判錦絵
2月	歌川広重	東海道五十三次之内 蒲原 夜之雪	横大判錦絵
3月	歌川広重	名所江戸百景 亀戸梅屋舗	大判錦絵

2000 (平成12) 年度展示

4月	葛飾北斎	風流無くてな、くせ 遠眼鏡	大判錦絵
5月	鳥高斎栄昌	お高祖頭巾	大判錦絵
6月	鳥文斎栄之	青楼美人六花仙 越前屋唐土	大判錦絵
7月	喜多川歌麿	難波屋おきた	大判錦絵
8月	鳥居清長	当世遊里美人合 蚊帳の内外	大判錦絵
9月	葛飾北斎	富嶽三十六景 凱風快晴	横大判錦絵
10月	鈴木春信	坐鋪八景 鏡台の秋月	中判錦絵
11月	東洲斎写楽	三世瀬川菊之丞の田辺文蔵妻おしづ	大判錦絵
12月	歌川広重	名所江戸百景 王子装束ゑの木大晦日の狐火	大判錦絵
平成12年1月	東洲斎写楽	三世市川高麗藏の志賀大七	大判錦絵
2月	喜多川歌麿	扇屋内花扇 よしの たつた	大判錦絵
3月	鈴木春信	腰付馬で遊ぶ男児	中判錦絵

2001 (平成13) 年度展示

4月	葛飾北斎	風流無くてな、くせ 遠眼鏡	大判錦絵
5月	鳥高斎栄昌	お高祖頭巾	大判錦絵
6月	鳥文斎栄之	青楼美人六花仙 越前屋唐土	大判錦絵
7月	喜多川歌麿	難波屋おきた	大判錦絵
8月	鳥居清長	当世遊里美人合 蚊帳の内外	大判錦絵
9月	葛飾北斎	富嶽三十六景 凱風快晴	横大判錦絵
10月	葛飾北斎	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏	横大判錦絵
11月	東洲斎写楽	三世瀬川菊之丞の田辺文蔵妻おしづ	大判錦絵
12月	歌川広重	名所江戸百景 王子装束ゑの木大晦日の狐火	大判錦絵
平成14年1月	東洲斎写楽	三世市川高麗藏の志賀大七	大判錦絵
2月	歌川広重	東海道五十三次之内 蒲原 夜之雪	横大判錦絵
3月	喜多川歌麿	扇屋内花扇 よしの たつた	大判錦絵

(4) 和風展示室（特別展示室）展示

1. 趣旨

当館の和風展示室は、茶の湯の舞台装置として現代建築空間の内部に包含され規格化された「茶室」の形式を探っている。このことは「茶室」という建築様式が、わが国のさまざまな文化形態が歴史的に発展あるいは変転していく過程において形成された、日本の建築空間の典型として認識されているところに依拠すると捉えている。

当館はこのようにして成立し整ったかに見える典型的日本建築空間の「茶室」も、現在のさまざまな文化形態の表現「現場」としてありつづけるならば、今日においてなおも遷移し得る対象と認識し、芸術文化における『伝統と創造』という主題について、同時代的視点で主張し提言する優れた芸術表現者に継続的に提供するものである。

2. 概要

平成8年度 「茶室 三輪龍作の美学一壱」

会期 平成8（1996）年12月13日(月)～平成9（1997）年12月7日(日)

制作者 三輪龍作

展示物

掛物	書「花」三輪龍作 作
置物	香炉「薰風」三輪龍作 作
釜	和銚「西洋夫人」（鑄造：江田 薫）
風炉先	鏡面 三輪龍作 作
水指	「夏子」三輪龍作 作
茶器	「金彩 卑弥呼」三輪龍作 作
茶碗	「初咲」三輪龍作 作
茶杓	「娘心」三輪龍作 作
建水	大内塗「赤と黒」（塗：富田潤二）
蓋置	「黒陶彩 LOVE」三輪龍作 作

平成9年度 「茶室 鏡の中の鏡の鏡」

会期 平成9（1997）年12月13日(土)～平成10（1998）年12月27日(日)

制作者 中川幸夫

展示状況

藍布を二重に敷き詰めた四畳半の中央、白く染め残された円形部にかかる位置に、香氣馥郁たるラベンダーの花（花弁）を円弧状に配した。

花 ラベンダー

掛物	紅の花鑑 中川幸夫 作
一文字	漆 角偉三郎 作
藍布	染め 福本潮子 作

平成10年度 「Gaudíの透ける眼差し」

会期 平成11（1999）年1月5日(火)～12月26日(日)

制作者 内藤廣

展示状況

亭主の坐す畳一枚をガラスに替え、ガラスとアクリル板で囲まれた床の間にはガウディの覗き穴金具をかける。床の間正面の通路に天井から床におよぶ鏡面を立て、ガラスに映り込む眼差しの反復（倒錯）を手がかりとして、室内外の幾何学性を強調した。

掛物 カサ・カルベットのドア覗き穴金具
風炉先 ガラス

平成11年度 「黎—REI—」

会期 平成12（2000）年1月5日(水)～12月27日(水)

制作者 三輪和彦

展示状況

覗きスリットの入った鉄板によって囲まれた茶室、その内部は動画・静止画・文字等の素材で構成されたイメージ画像（6種）が映写される。

掛物 REI（スクリーン）

置物 て・ん・げ 三輪愛作

釜 利休好阿弥陀堂 角谷與斎作

炉縁 真塗

風炉先 (スクリーン) 徳地和紙 三輪和彦作

水指 「白い夢」三輪和彦作

茶器 「天花 ゴールド・プラチナ」三輪和彦作

茶碗 「白に舞う盃（わん）」三輪和彦作

平成12年度 「緑色的平凡—PLANTS MAN」

会期 平成13（2001）年1月3日(水)～12月24日(月)

制作者 椿 昇

展示状況

展示室バルコニーに設置したビニール製円筒中の水耕栽培による瓢箪（年間5回の植え替え）。インターネット接続によるロボキューブへの指令で稼働する水遣り装置とその模様を映した動画配信の仕掛けがある。

掛物 久隅守景筆「夕顔棚納涼図」（東京国立博物館所蔵）の部分を画像処理、夕顔の棚の下にくつろぐ「ててら」を脱いだ主と家人

置物 瓢箪

平成13年度 「柳井嗣雄の茶室 「境界—関係の通路として」」

会期 平成14（2002）年3月1日(金)～平成15（2003）年2月23日(日)

制作者 柳井嗣雄

展示状況 （展示物はすべて作者の制作）

畳を上げて（国立市から運んだ）土を入れ、漉かれたサイザル麻を茶室と露地（通路）、展示室内の壁面、およびガラス窓内面に掛ける。

掛物 漫かれたサイザル麻の掛幅装（端部は巻子状になっている）

I 事 業

2 教育普及事業

(1) 美術講座

1. 目的

当館収蔵品の中核をなす浮世絵版画と東洋陶磁の二領域とその関連する諸領域について、それらの鑑賞の基礎知識を、学術的視点に立脚した新知見に基づきながら平易に解説することによって、主体的に学習をすすめる県民および来館者にその機会を提供する。

2. 構成・内容

講義形式（講義内容によっては列品解説も実施する）により、年間6回。ただし、うち3回は浮世絵版画とその関連領域とし、他の3回は東洋陶磁とその関連領域とする。

平成8年度

回	日 時	講師（敬称略）	所 属 ・ 職	演 題	聴講者数
1	11月2日(土) 11月3日(日) 13:30~16:00	荒川 正明	出光美術館 学芸員	東洋陶磁の鑑賞基礎	74
2	12月7日(土) 12月8日(日) 13:30~16:00	大久保純一	跡見学園女子大学 助教授	浮世絵版画の鑑賞基礎	81

平成9年度

回	日 時	講師（敬称略）	所 属 ・ 職	演 題	聴講者数
1	4月19日(土) 14:00~15:30	鈴木 潔	北澤美術館 学芸課長	ジャポニスムとアールヌーボー ^{エミール・ガレのガラス工芸をめぐって}	56
2	6月7日(土) 14:00~15:30	大久保純一	跡見学園女子大学 助教授	広重名所絵の魅力	52
3	8月2日(土) 14:00~15:30	荒川 正明	出光美術館 学芸員	国宝渥美焼秋草文壺を追って	46
4	10月25日(土) 14:00~15:30	出川 哲朗	大阪市立東洋陶磁美術館 学芸課長	中国陶磁史における耀州窯の位置	75
5	11月1日(土) 14:00~15:30	金 巴望	高麗美術館研究所 事務局長 研究室長	李朝の焼きものにみる美意識	65
6	3月21日(土) 14:00~15:30	石田 泰弘	福岡市美術館 学芸課長	歌麿と写楽	40

平成10年度

回	日 時	講師（敬称略）	所 属 ・ 職	演 題	聴講者数
1	5月9日(土) 14:00~15:30	大橋 康二	佐賀県教育厅文化財課 課長補佐	古伊万里輸出とハプスブルグ家伝来品	65
2	7月11日(土) 14:00~15:30	浅野 秀剛	千葉市美術館 学芸係長	広重の風景画の虚構	40
3	8月8日(土) 14:00~15:30	大久保純一	跡見学園女子大学 助教授	広重—図会の時代の名所絵師—	46
4	9月19日(土) 14:00~15:30	小栗 祐美	北海道教育大学 助教授	浮世絵に見る19世紀の女性像	40
5	10月10日(土) 14:00~15:30	出川 哲朗	大阪市立東洋陶磁美術館 学芸課長	南宋砧青磁と青白磁	90
6	11月14日(土) 14:00~15:30	森 達也	愛知県陶磁資料館 学芸員	呉州赤絵について	50

平成11年度

回	日 時	講師（敬称略）	所 属 ・ 職	演 題	聴講者数
1	5月1日(土) 14:00~15:30	亀井 明徳	専修大学文学部 教授	文字の記された陶磁器	50
2	6月12日(土) 14:00~15:30	片山 まび	大阪市立東洋陶磁美術館 研究員	韓国陶磁の諸問題	48
3	7月3日(土) 14:00~15:30	今井 敦	東京国立博物館 東洋課主任研究官	皇帝の青磁、庶民の磁州窯	103
4	9月4日(土) 14:00~15:30	田辺 昌子	千葉市美術館 学芸員	浮世絵の魅力 —鈴木春信の世界—	71
5	10月2日(土) 14:00~15:30	鈴木 浩平	学芸課 主任	雪月花—浮世絵における虚と 実、託されるイメージ	43
6	11月6日(土) 14:00~15:30	新藤 茂	浮世絵研究者	歌川派の役者絵の魅力	32

平成12年度

回	日 時	講師（敬称略）	所 属 ・ 職	演 題	聴講者数
1	4月15日(土) 13:30~15:00	出川 哲朗	大阪市立東洋陶磁美術館 学芸課長	秘色青磁について	88
2	6月3日(土) 13:30~15:00	青木 隆幸	王舎城美術宝物館 学芸員	中国一枚摺版画と浮世絵	25
3	7月8日(土) 13:30~15:00	矢島 律子	町田市立博物館 学芸員主事	東南アジアの陶磁器 —ベトナム・タイ・クメールー	65
4	8月14日(土) 13:30~15:00	森山 悅乃	平木浮世絵美術館 学芸員	役者似顔絵の描き方	35
5	9月16日(土) 13:30~15:00	弓場 紀知	出光美術館 学芸課長	磁器の誕生	50
6	11月18日(土) 13:30~15:00	藤澤 紫	武蔵野美術大学 非常勤講師	鈴木春信の絵本と錦絵	33

平成13年度

回	日 時	講師（敬称略）	所 属	演 題	聴講者数
1	5月3日(木・祝) 13:30~15:00	黄 晓芬	東亞大学 教授	漢代の王墓	61
2	6月23日(土) 13:30~15:00	渡辺 一雄	梅光女学院大学 教授	萩焼古窯と防長の近世窯業	88
3	8月18日(土) 13:30~15:00	河野 元昭	東京大学 教授	浮世絵とジャポニスム	40
4	9月1日(土) 13:30~15:00	神谷 浩	名古屋市美術館 学芸係長	ゴッホの見た浮世絵	85
5	10月20日(土) 13:30~15:00	木田 拓也	東京国立近代美術館 工芸課研究員	ドイツの現代陶芸	31
6	11月17日(土) 13:30~15:00	内藤 正人	出光美術館 学芸員	勝川春章 役者絵と美人画	25

(2) こどものミュージアムスクール

平成9年度

こどものミュージアムスクール'97

陶俑をつくろう！ーのやきー（「中国の陶俑展」関連）

日時：平成9（1997）年7月20日（祝）・21日（休） 9：30～16：30 事前交流と成形、

8月2日（土）9：30～8月3日（日）17：30 焼成

場所：当館展示室・講座室・滝前広場、西の浜石彫公園

対象：小・中学生

講師：三輪和彦

参加：22組42名（ほかに、ボランティア参加：1名）

平成10年度

こどものミュージアムスクール'98

ア ばらばらまんがをつくろうー北斎漫画の表現に学ぶ

（「北斎ー東西の架け橋展」関連）

日時：平成10（1998）年6月21日（日）13：30～15：30

場所：当館講座室と展示室

参加：18名

担当：吉田洋子（学芸課学芸員、展覧会担当）、石崎泰之（学芸課専門学芸員）

イ 土火どかと遊び隊ーのやき体験ー

日時：平成10（1998）年7月19日（土）10：00～16：00成形、

8月8日（土）9：00～8月9日（日）18：00 焼成

場所：当館滝前広場・西の浜石彫公園

講師：三輪和彦

参加：28組38名（ボランティア参加：12名）

ウ もくもく遊ぼうー埋もれ木に生命を

（「祈りと美の伝承ー醍醐寺展」関連）

日時：平成10（1998）年8月1日（土）10：00～15：00

場所：当館滝前広場

担当：石崎泰之（学芸課専門学芸員、展覧会担当）

エ 音ズレのかたちー中国古代楽器「磬」づくりに挑戦しようー

（「神秘の王国ー鄧国王墓展関連）

日時：平成10（1998）年9月23日（祝）10：00～15：00

場所：当館講座室と滝前広場

講師：板垣萬理

参加：18名

担当：石崎泰之（学芸課専門学芸員）

平成11年度

子どものミュージアムスクール'99

ア 土火^{どか}と遊び隊ーのやき体験ー

日時：平成11（1999）年7月10日（土）事前交流 10：00～11：00、

7月17日（土）成形 10：00～16：00、

8月7日（土）9：00～8月8日（日）17：00 焼成

場所：当館滝前広場・西の浜石彫公園

講師：三輪和彦

参加：20組（36名）

イ 親子ギャラリーツアー

中国陶磁の至宝 英国デイヴィット・コレクション

日時：平成11（1999）5月3日（祝）、5月5日（祝）15：00～16：00

参加：7組（23名）

担当：宮田絵津子（学芸課学芸員、展覧会担当）

神品とよばれたやきもの 宋磁

日時：平成11（1999）8月13日（金）、8月14日（土）15：00～16：00

参加：4組（16名）

担当：石崎泰之（学芸課主任、展覧会担当）

ブルックリン美術館所蔵浮世絵名品展

日時：平成11（1999）9月15日（祝）15：00～16：00

参加：3組（11名）

担当：藤村忠範（学芸課専門学芸員、展覧会担当）

よみがえる漢王朝 －2000年の時をこえて－

日時：平成11（1999）10月11日（休）、11月3日（祝）、11月23日（祝）15：00～16：00

参加：6組（13名）

担当：石崎泰之（学芸課主任、展覧会担当）

平成12年度

子どものミュージアムスクール2000

ア 土火^{どか}と遊び隊ーのやき体験ー

日時：平成12（2000）年7月15日（土）10：00～11：00 事前交流、

7月20日（土）10：00～16：00 成形、

8月11日（金）15：00～8月12日（土）17：00 焼成

場所：当館滝前広場・西の浜石彫公園

講師：三輪和彦

募集：15組（33名）+（[秋吉台国際芸術村ワークショップ参加者] 29名）

イ 親子ギャラリーツアー

中国法門寺地下宮殿の秘宝展

日時：平成12（2000）年5月5日（祝）10：00～11：00、13：00～14：00

参加：3組（8名）

担当：石崎泰之（学芸課主任、展覧会担当）

六大浮世絵師名品展

日時：平成12（2000）年8月16日(土) 10:00～11:00、13:00～14:00

参加：2組（9名）

担当：吉田洋子（学芸課学芸員、展覧会担当）

平成13年度

子どものミュージアムスクール2001

ア 土火どかと遊び隊ぐらーのやき体験たいけんー

日時：平成13（2001）年7月20日(金) 10:00～16:00 成形、

8月10日(金) 15:00～8月11日(土) 17:00 焼成

場所：当館滝前広場・西の浜石彫公園

講師：三輪和彦

参加：12組（26名）

イ 親子ギャラリーツアー

色彩の歓び メルツバッハー・コレクション展

日時：平成13（2001）年8月13日(月)・14日(火) 15:00～16:00

参加：60名

担当：鈴木浩平（学芸課主任、展覧会担当）

ゴッホと浮世絵 タンギー爺さん

日時：平成13（2001）年9月8日(土)、9月22日(土) 15:00～16:00

参加：12名

担当：藤村忠範（学芸課専門学芸員、展覧会担当）

(3) ギャラリートーク

ギャラリートーク

平常展示の開催に合わせた担当学芸員による列品解説。

原則として、毎月の第2・4土曜日の11:00~12:00に実施。

平成8年度 ギャラリートーク

	実施月日	区分	展覧会名称	担当者
1	1/11	東洋陶磁	館蔵中国陶磁	上田 秀夫
2	1/25	浮世絵	明治役者絵と美人画	鈴木 浩平
3	2/8	東洋陶磁	館蔵中国陶磁	上田 秀夫
4	2/22	浮世絵	月岡芳年 風俗三十二相	芳賀 淑子
5	3/8	東洋陶磁	館蔵中国陶磁	石崎 泰之

平成9年度 ギャラリートーク

	実施月日	区分	展覧会名称	担当者
1	4/12	浮世絵	北斎と広重の富士三十六景Ⅰ	鈴木 浩平
2	4/26	東洋陶磁	館蔵朝鮮陶磁	石崎 泰之
3	5/10	浮世絵	北斎と広重の富士三十六景Ⅱ	鈴木 浩平
4	5/24	東洋陶磁	中国の陶俑	上田 秀夫
5	6/14	東洋陶磁	中国の陶俑	上田 秀夫
7	7/26	東洋陶磁	中国の陶俑	上田 秀夫
8	9/13	浮世絵	武者絵	芳賀 淑子
9	10/25	東洋陶磁	李朝の陶磁	石崎 泰之
10	11/22	浮世絵	浮世絵に描かれた女たち	吉田 洋子
11	12/13	浮世絵	忠臣蔵	芳賀 淑子
12	12/27	浮世絵	江戸の一年	吉田 洋子
13	1/24	東洋陶磁	三彩と緑釉	石崎 泰之
14	2/28	浮世絵	浮世絵の画題	芳賀 淑子
15	3/14	浮世絵	浮世絵の画題	芳賀 淑子
16	3/28	浮世絵	歌川派part1	鈴木 浩平

平成10年度 ギャラリートーク

	実施月日	区分	展覧会名称	担当者
1	4／11	東洋陶磁	中国陶磁の展開	上田 秀夫
2	5／2	浮世絵	歌川派part2	鈴木 浩平
3	5／9	東洋陶磁	高麗青磁と粉青沙器	石崎 泰之
4	5／23	浮世絵	諸国名所風景画	鈴木 浩平
5	6／27	浮世絵	夏の美人たち	鈴木 浩平
6	8／2(日)	浮世絵	五十三次の世界Part1	藤村 忠範
7	8／22	東洋陶磁	古染付の世界	宮田絵津子
8	9／26	浮世絵	浮世絵に描かれた美女たち (1) 遊女	吉田 洋子
9	10／24	浮世絵	戯画展	藤村 忠範
10	12／12	浮世絵	雪景色	藤村 忠範
11	12／26	東洋陶磁	館蔵中国陶磁 青銅器の時代のやきもの	石崎 泰之
12	1／9	浮世絵	月岡芳年Part1	鈴木 浩平
13	2／13	浮世絵	月岡芳年Part2	鈴木 浩平
14	3／27	浮世絵	月岡芳年Part3	鈴木 浩平
15	3／13	東洋陶磁	朝鮮陶磁の展開	石崎 泰之

平成11年度 ギャラリートーク

	実施月日	区分	展覧会名称	担当者
1	4／24	浮世絵	木曾海道六十九次	吉田 洋子
2	5／8	東洋陶磁	朝鮮陶磁の展開	石崎 泰之
3	5／22	浮世絵	美人画の黄金時代	鈴木 浩平
4	6／12	東洋陶磁	朝鮮陶磁の展開	石崎 泰之
5	6／26	浮世絵	明治の風景画－小林清親－	吉田 洋子
6	7／10	東洋陶磁	明器泥象－愛すべき土偶たち－ (前期)	石崎 泰之
7	7／24	浮世絵	妖怪絵	鈴木 浩平
8	8／28	浮世絵	明治開化絵	吉田 洋子
9	9／11	東洋陶磁	明器泥象－愛すべき土偶たち－ (前期)	石崎 泰之
10	9／25	浮世絵	雪月花－月－	吉田 洋子
11	10／23	東洋陶磁	明器泥象－愛すべき土偶たち－ (後期)	石崎 泰之
12	11／13	浮世絵	歌川派の役者絵	鈴木 浩平
13	11／27	東洋陶磁	明器泥象－愛すべき土偶たち－ (後期)	石崎 泰之
14	1／22	浮世絵	明治の美人画－前期－	藤村 忠範
15	2／12	東洋陶磁	朝鮮時代後期の青花[李朝染付]	藤村 忠範
16	2／26	浮世絵	明治の美人画－後期－	藤村 忠範
17	3／11	東洋陶磁	朝鮮時代後期の青花[李朝染付]	石崎 泰之
18	3／25	浮世絵	春景色	吉田 洋子

平成12年度 ギャラリートーク

	実施月日	区分	展覧会名称	担当者
1	4／8	東洋陶磁	彩磁の流れ	宮田絵津子
2	4／22	浮世絵	歌川広重 名所江戸百景Ⅰ	藤村 忠範
3	5／27	浮世絵	歌川広重 名所江戸百景Ⅱ	藤村 忠範
4	6／10	東洋陶磁	彩磁の流れ	宮田絵津子
5	7／8	浮世絵	歌川広重 名所江戸百景Ⅲ	藤村 忠範
6	7／22	東洋陶磁	彩磁の流れ	宮田絵津子
7	8／12	浮世絵	後期浮世絵の美人画	鈴木 浩平
8	8／26	東洋陶磁	青磁	上田 秀夫
9	9／23	浮世絵	富嶽三十六景	鈴木 浩平
10	10／14	浮世絵	歌麿とその時代	鈴木 浩平
11	11／11	浮世絵	浮世絵版画の歴史	吉田 洋子
12	11／25	東洋陶磁	古染付	石崎 泰之
13	12／9	浮世絵	明治の役者絵	鈴木 浩平
14	12／23	東洋陶磁	質朴の造形－朝鮮陶磁－	藤村 忠範
15	1／13	浮世絵	歌川広重 東海道五十三次	吉田 洋子
16	1／27	浮世絵	歌川広重 東海道五十三次	吉田 洋子
17	2／10	東洋陶磁	質朴の造形－朝鮮陶磁－	石崎 泰之
18	2／24	浮世絵	明治絵－文明開化の世界－（前期）	藤村 忠範
19	3／10	東洋陶磁	質朴の造形－朝鮮陶磁－	石崎 泰之
20	3／24	浮世絵	明治絵－文明開化の世界－（後期）	藤村 忠範

平成13年度 ギャラリートーク

	実施月日	区分	展覧会名称	担当者
1	4／14	浮世絵	明治絵－文明開化の世界－（後期）	藤村 忠範
2	4／28	浮世絵	月岡芳年 風俗三十二相	吉田 洋子
3	5／12	東洋陶磁	三彩・緑釉－鉛釉陶の展開－	上田 秀夫
4	5／26	浮世絵	歌川広重 江戸名所の世界	吉田 洋子
5	6／9	東洋陶磁	三彩・緑釉－鉛釉陶の展開－	上田 秀夫
6	6／23	浮世絵	安永・天明期の美人画	吉田 洋子
7	7／14	東洋陶磁	三彩・緑釉－鉛釉陶の展開－	上田 秀夫
8	8／11	浮世絵	浮世絵にみられる西洋の影響	吉田 洋子
9	10／13	東洋陶磁	陶俑	今村 佳子
10	10／24	浮世絵	歌川国貞の美人画	吉田 洋子
11	11／10	東洋陶磁	陶俑	今村 佳子
12	11／24	浮世絵	役者絵の展開	鈴木 浩平
13	12／8	東洋陶磁	陶俑	今村 佳子
14	12／22	浮世絵	忠臣蔵	藤村 忠範
15	1／12	東洋陶磁	高麗青磁と粉青沙器	石崎 泰之
16	1／23	浮世絵	月岡芳年 月百姿1	鈴木 浩平
17	2／9	東洋陶磁	高麗青磁と粉青沙器	石崎 泰之
18	2／23	浮世絵	月岡芳年 月百姿2	藤村 忠範
19	3／9	東洋陶磁	高麗青磁と粉青沙器	石崎 泰之

(4) 季刊誌「萩」

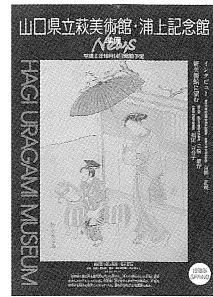
準備号（平成8年3月25日発行）

美術館概要

インタビュー「これからの中華人民共和国の美術館活動」青柳正規

「新美術館に望む」 三輪龍作 福田百合子

館蔵品写真



準備号No. 2（平成8年7月発行）

「新美術館に望む」 中原静子 大本信昭

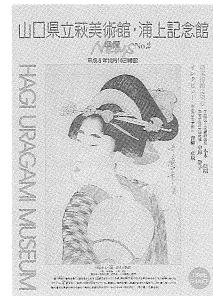
インタビュー「これからの中華人民共和国の美術館活動 続」 青柳正規

平成6年度新収蔵品リスト

平成7年度新収蔵品リスト

「開館記念Ⅰ 萩集家浦上敏朗の眼 一館蔵名品展－」

「開館記念Ⅱ 中国 仙人のふるさと－山東省文物展」



Vol. 1（平成8年10月14日発行）

「山口県立萩美術館・浦上記念館の創立をお祝いして」 楢崎宗重

インタビュー「或る美術コレクターの夢」 浦上敏朗

「山口県立萩美術館・浦上記念館 開館記念Ⅰ 萩集家 浦上敏朗の眼 館蔵名品展」

茶室 三輪龍作の美学 壱

寄贈作品より

陶磁選「青花 月兎文 栗鼠耳角扁壺」 石崎泰之

チコチン・コレクション

予告「開館記念Ⅱ 中国 仙人のふるさと 山東省文物展」



Vol. 1-2（平成9年1月15日発行）

「美術館に、玉兎を探そう。」 張従軍

連載 浮世絵に描かれた美人たち〔第1回〕「母と子」 芳賀淑子

「山口県立萩美術館・浦上記念館 開館記念Ⅱ 中国 仙人のふるさと 山東省文物展」

「山東省スケッチ」 鈴木浩平

陶磁選「青磁 牡丹唐草文 瓶」 石崎泰之

予告「オランダ国立ライデン古代博物館 所蔵 古代エジプト展」



Vol. 1-3（平成9年4月15日発行）

「アメリカの日本美術コレクター」 影山純夫

連載 浮世絵に描かれた美人たち〔第2回〕「水茶屋の看板娘」 鈴木浩平

「オランダ国立ライデン古代博物館 所蔵 古代エジプト展」

予告「歌川広重 生誕二〇〇年記念 広重の風景画展」

陶磁選「青磁象嵌 菊花文 藥器」 石崎泰之

平常展示案内



Vol. 1 — 4 (平成9年7月15日発行)

「粧—よそおい—」佐藤光信

「東洋陶磁平常展示 中国の陶俑展」上田秀夫

予告「毛利元就展」城市真理子

「開館一周年記念 チコチンの浮世絵—新収蔵品展」鈴木浩平

連載 浮世絵に描かれた美人たち〔第3回〕「遊女」鈴木浩平

陶磁選「白磁 合子」石崎泰之

平常展示案内



Vol. 2 — 1 <No. 5> (平成9年10月15日発行)

「中国中原に華ひらいた名窯 耀州窯」展

作品紹介 耀州窯展「青磁刻花宝相華文水注」

予告「新春のいのり 中国山東省木版年画展」

報告「山口県立萩美術館・浦上記念館 開館一周年記念 国際シンポジウム

浮世絵—東西の架け橋」

連載 浮世絵に描かれた美人たち〔第4回〕「遊女 Part 2」鈴木浩平

平常展示案内

陶磁選「紫紅釉 碗」石崎泰之



Vol. 2 — 2 <No. 6> (平成10年1月15日発行)

「年画雑感」青木茂

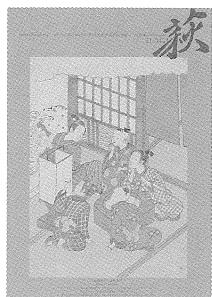
「新春のいのり 中国山東省木版年画展」

連載 浮世絵に描かれた美人たち〔第5回〕「遊女 Part 3」鈴木浩平

平常展示案内

陶磁選「青花 松樹虎文 角水滴」石崎泰之

予告「ハプスブルク家の至宝 マリア・テレジアの愛した古伊万里」展



Vol. 2 — 3 <No. 7> (平成10年4月15日発行)

「茶室のアバンギャルド」斉藤武男

特集 ハプスブルク家の遺宝 マリア・テレジアの愛した古伊万里展

(1) 「ヨーロッパ貴族の生活と古伊万里」

(2) 「古伊万里の輸出とハプスブルク家伝来品」大橋康二

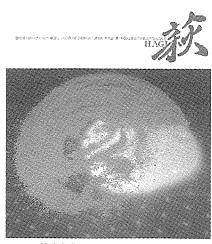
予告「没後百五十年記念 北斎—東西の架け橋」展

連載 浮世絵に描かれた美人たち〔第6回〕「遊女 Part 4」鈴木浩平

平常展示案内

陶磁選「粉青沙器線刻魚文扁壺」石崎泰之

平成10年度 主な教育普及活動のご案内



Vol. 2 — 4 <No. 8> (平成10年7月15日発行)

「秀吉・醍醐の花見」岡田祐雄

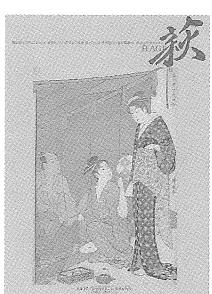
「祈りと美の伝承 醍醐寺展～秀吉 醍醐の花見四〇〇年～」

「シリーズ山東文物1 神秘の王国—邦国王墓展」

連載 浮世絵に描かれた美人たち〔第7回〕「夏の美人」鈴木浩平

浮世絵展示・東洋陶磁展示案内

陶磁選「青花 虎文 皿」宮田絵津子



Vol. 3 — 1 <No. 9> (平成10年10月15日発行)

「なぞのタイムカプセル 封印された南宋陶磁」出川哲郎

「なぞのタイムカプセル 封印された南宋陶磁」展

「相撲絵」展

連載 浮世絵に描かれた美女たち〔第8回〕「月下の美人」鈴木浩平

浮世絵展示・東洋陶磁展示案内

陶磁選「白釉 刻花兎文枕」石崎泰之



Vol. 3 — 2 <No.10> (平成11年1月15日発行)

「倒錯する視線の行方」内藤廣

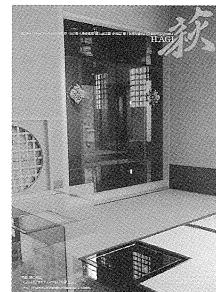
「内界を透視する内藤廣の茶室」斉藤武男

連載 浮世絵に描かれた美女たち〔第9回〕「雪中美人」鈴木浩平

浮世絵展示・東洋陶磁展示案内

陶磁選「五彩 船羅針文 盤」宮田絵津子

予告「中国陶磁の至宝 英国デイヴィッド・コレクション展」



Vol. 3 — 3 <No.11> (平成11年4月15日発行)

「「ゆらぎの場」としての釉」出川哲郎

「中国陶磁の至宝 英国デイヴィッド・コレクション展」

浮世絵展示・東洋陶磁展示案内

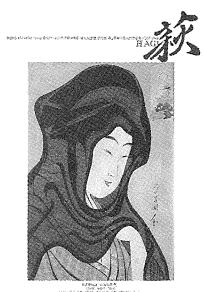
連載 浮世絵に描かれた美女たち〔第10回〕「情話の美人」鈴木浩平

予告「神品とよばれたやきもの 宋磁」展

陶磁選「白磁象嵌 蓮華文 碗」石崎泰之

特別展示室展示案内

平成11年度上半期 教育普及活動のご案内



Vol. 3 — 4 <No.12> (平成11年7月15日発行)

「アメリカの精神が育てた浮世絵コレクション」永田生慈

「ニューヨーカーを熱くさせた江戸の華 ブルックリン美術館所蔵浮世絵名品展」

浮世絵展示・東洋陶磁展示案内

連載 浮世絵に描かれた美女たち〔第11回〕「装いの美人」鈴木浩平

「神品とよばれたやきもの 宋磁」展

陶磁選「彩陶 双耳壺」宮田絵津子

予告「開館3周年記念特別展覧会 よみがえる漢王朝～2000年の時をこえて～」展

アートドキュメンタリー'99



Vol. 4 — 1 <No.13> (平成11年10月15日発行)

対談「開館三周年を迎えて」浦上敏朗 足立明男

「開館3周年記念特別展覧会 よみがえる漢王朝～2000年の時をこえて～」展

浮世絵展示・東洋陶磁展示案内

連載 浮世絵に描かれた美女たち〔最終回〕「見立絵」鈴木浩平

「発掘された日本列島'99－新発見考古速報展－」

「シリーズ山東文物Ⅱ 黄河の酒神展」

陶磁選「加彩婦人俑」石崎泰之



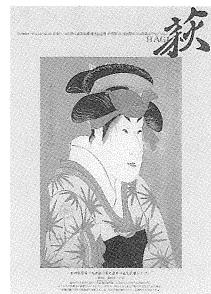
Vol. 4 — 2 <No.14> (平成12年1月15日発行)

「三輪和彦の茶室 黎—REI—」三輪和彦
 「シリーズ山東文物Ⅱ 黃河の酒神展」
 浮世絵展示・東洋陶磁展示案内
 「唐皇帝からの贈り物—中国法門寺 地下宮殿の秘宝展」
 連載 江戸の名所〔第1回〕「春之部」鈴木浩平
 平成11年度の新収蔵品から
 陶磁選「五彩龍文壺」藤村忠範



Vol. 4 — 3 <No.15> (平成12年4月15日発行)

「フィリピンと出土陶磁」長谷部樂爾
 「フィリピンにわたった焼きもの—青磁と白磁を中心に—
 富山佐藤美術館 関コレクション」
 「東京国立近代美術館所蔵 近代の名作 日本画・洋画・版画・彫刻」
 連載 江戸の名所〔第2回〕「夏之部」鈴木浩平
 浮世絵展示・東洋陶磁展示案内
 平成12年度上半期 教育普及活動のご案内
 陶磁選「法花蓮華文鉢」石崎泰之



Vol. 4 — 4 <No.16> (平成12年7月15日発行)

「六大浮世絵師名品展に寄せて 平木コレクションの成り立ち」佐藤光信
 「六大浮世絵師名品展—春信・清長・歌麿・写楽・北斎・広重—」
 連載 江戸の名所〔第3回〕「秋之部」鈴木浩平
 「シリーズ山東文物Ⅲ 磁器の誕生—原始瓷器—」
 浮世絵展示・東洋陶磁展示案内
 陶磁選「青磁水注」石崎泰之
 アート・ドキュメンタリー2000
 予告「京都大原三千院の名宝展」



Vol. 5 — 1 <No.17> (平成12年10月15日発行)

「平成大修理完成記念 京都大原三千院の名宝展」
 平成12年度受贈作品「青花龍文甕」
 浮世絵展示・東洋陶磁展示案内
 「歌川広重 東海道五十三次」展
 予告「色彩の歓び メルツバッハー・コレクション展」
 予告「ゴッホと浮世絵 タンギー爺さん」展
 連載 江戸の名所〔最終回〕「冬之部」鈴木浩平
 「シリーズ山東文物Ⅲ 磁器の誕生—原始瓷器—」
 陶磁選「青花 指月羅漢文Ⅲ」石崎泰之



Vol. 5 — 2 <No.18> (平成13年1月15日発行)

「緑色的平凡」椿昇

「「磁器の誕生－原始瓷器－」展 覚え書き」上田秀夫

浮世絵展示・東洋陶磁展示案内

「歌川広重 東海道五十三次」展

平成12年度収集作品より

予告「色彩の歓び メルツバッハー・コレクション展」

予告「ゴッホと浮世絵 タンギー爺さん」展



Vol. 5 — 3 <No.19> (平成13年4月15日発行)

「萩焼を見る前に－萩焼400年展によせて－」榎本徹

「2000年パリ展帰国記念 伝統と革新 萩焼400年展」

浮世絵展示・東洋陶磁展示案内

「漢代「王車」の輝き－中国山東省双乳山濟北王陵出土文物－」展

予告「色彩の歓び メルツバッハー・コレクション展」

予告「ゴッホと浮世絵 タンギー爺さん」展

陶磁選「青磁 四耳壺」上田秀夫



Vol. 5 — 4 <No.20> (平成13年7月15日発行)

「みっともない男たち」馬渢明子

「山口きらら博・開催記念特別展 ゴッホと浮世絵 タンギー爺さん」展

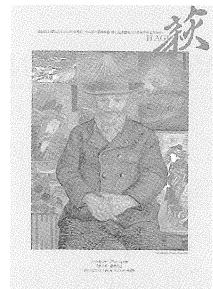
「山口きらら博・開催記念特別展 色彩の歓び メルツバッハー・コレクション展」

「ドイツ陶芸の100年 アールヌーヴォーから現代作家まで」展

アート・ドキュメンタリー2001

浮世絵展示・東洋陶磁展示案内

陶磁選「黒陶 高脚杯」今村佳子



Vol. 6 — 1 <No.21> (平成13年10月15日発行)

「現代作家における産業と個人作家－最近の論調にふれて」金子賢治

「ドイツ陶芸の100年 アールヌーヴォーから現代作家まで」展

浮世絵展示・東洋陶磁展示案内

「ルネサンスの精華 イタリア・ファエンツァ国際陶芸博物館所蔵

マジョリカ名陶展」

平成13年度の新収蔵品から

浮世絵展示・東洋陶磁展示案内

陶磁選「緑釉 狩猟文 博山爐」今村佳子



Vol. 6 — 2 <No.22> (平成14年1月15日発行)

「イタリア・マジョリカの美」森田義之

「ルネサンスの精華 イタリア・ファエンツァ国際陶芸博物館所蔵

マジョリカ名陶展」

浮世絵展示・東洋陶磁展示案内

インターネット作品検索システムの紹介

「北澤美術館所蔵 アール・ヌーヴォーガラス名品展」

陶磁選「青磁神亭壺」今村佳子



(5) ウェブ・サイト

1. 概要

美術館事業の広報活動の一環として、インターネットで閲覧できるホームページを平成12年12月26日に開設した。(URL <http://www.hum.pref.yamaguchi.jp>)

2. 内容

美術館の概要。年間の展覧会スケジュール。特別展の詳細。記念講演会、美術講座の日程。展覧会カタログ販売。施設。地図。交通アクセス。その他イベント等の告知。平成13年5月29日からは収蔵作品検索システムを設け、キーワードや形態・時代などから収蔵作品を検索し、画像を閲覧できるようにした。

3. アクセス数

(平成13年5月21日にアクセス・カウンターを設置。)

平成13年5月21日～平成14年3月31日

計37,036件

(6) アート・ドキュメンタリー

平成9年度

アート・ドキュメンタリー'97 <ビデオ上映>

日時 平成9 (1997) 年 8月20日(水)～26日(火) 13:00～ (8月25日(月)は休館)

場所 講座室

観客 のべ148名

プログラム

[A プログラム] 8月20日：11名、8月23日：25名

リチャード・アヴェンドン：闇と光 ('96／アメリカ／86分)、

ジャン=ピエール・レイノーの家 ('93／フランス／31分)、

ビル・T・ジョーンズ ('91／イギリス／60分)

[B プログラム] 8月21日：26名、8月24日：30名

フラメンコ ('95／スペイン／98分)、血の絆：サリー・マン ('92／アメリカ／32分)、

マネー・マン ('92／アメリカ／56分)

[C プログラム] 8月22日：28名、8月26日：28名

イヴ・サンローラン ('94／フランス／45分)、

マーサ・グラハムの生涯 ('94／アメリカ／55分)、

フランク・ロイド・ライトの落水荘 ('93／アメリカ／55分)、

ONE ENO ('93／フランス／22分)

平成10年度

アート・ドキュメンタリー'98 <ビデオ上映>

日時 平成10 (1998) 年 8月15日(土)～23日(日) 13:00～ (8月17日(月)は休館)

場所 講座室

観客 のべ98名

プログラム

[A プログラム] 8月15日：6名、8月20日：16名

バルチュス ('96／イギリス／51分)、

ピエール・クロソウスキイ イマージュの作家 ('96／フランス／47分)、

イアン・ケルコフによるパフォーマンス・アーティストたちの肖像 ('94～'97／アメリカ／56分)

[B プログラム] 8月16日：13名、8月21日：4名

エレクトロニック・スーパー・ハイウェイ：90年代のナムジン・パイク ('96／アメリカ／40分)、

ブルース・ナウマン－MAKE ME THINK ('96／仏・独・英／51分)、

ダブル・ブラインド ('92／アメリカ／71分)

[C プログラム] 8月18日：10名、8月22日：15名

ローザス・ダンス・ローザス ('97／ベルギー／57分)、クラム ('94／アメリカ／119分)

[D プログラム] 8月19日：15名、8月23日：19名

ウェグマンの世界 ('96／オランダ／60分)、

写真家ペール・マニング ('94／ノルウェイ／26分)、

落水荘：ライトと弟子たち ('96／アメリカ／56分)

平成11年度

アート・ドキュメンタリー'99 <ビデオ上映（一部フィルム上映）>

日時 平成11（1999）年8月24日(火)～29日(土)

場所 講座室

観客 のべ131名（8月29日の<フィルム上映>を除いて、プログラムごとの観賞者数は不明）

プログラム

8月24日(火) 13:00～

ピエール&ジル：ラブ・ストーリー ('97／フランス／58分)、

ボーイ・ジョージの肖像 ('93／イギリス／52分)

8月25日(水) 13:00～

KAWAMATA PROJECTS BY GILLES COUDERT 椅子の回廊 ('97／フランス／15分) ·

椅子たちの旅 ('98／フランス／26分)、トランスフェール ('94／フランス／30分)、

ジョン・ガリアーノ ('96／イギリス／52分)

8月26日(木) 13:00～

ジェルジ・リゲティ ('93／フランス・ベルギー／63分)、

ポール・オースター ('97／イギリス／52分)

8月27日(金) 13:00～

ダム・タイプ／pH ('92／日本／66分)、ダム・タイプ／OR ('98／日本／68分)

8月28日(土) 13:00～

パナマレンコ ('97／日本／27分)、

DV8フィジカルシアター エンター・アキレス ('96／イギリス／50分)、

ストレッジ・フィッシュ ('93／イギリス／56分)

8月29日(日) 10:00～（32名）、13:00～（42名）、15:00～（40名）

ミステリアス ピカソ－天才の秘密－ ('56／フランス／80分) <フィルム上映>

平成12年度

アート・ドキュメンタリー2000 <ビデオ上映>

日時 平成12（2000）年8月23日(水)～27日(日)

場所 講座室

観客 のべ51名

プログラムA プラネット・ドゥクフレ (1998／フランス／71分)、

アブラカタブラ (1998／フランス／37分)

プログラムB ビョーク (1997／イギリス／51分)、

パブリック・ムービー (1999／アメリカ・ポルトガル／51分)

プログラムC ブレッド・イーストン・エリス (1998／イギリス／75分)

プログラムD 和紙の身体 (1999／日本／35分)、

ボーイ・ジョージの肖像 (1993／イギリス／52分)

プログラムE ポール・オースター (1997／イギリス／52分)、

ジェルジ・リゲティ (1993／フランス・ベルギー／63分)

開映時間	8月23日(水)	8月24日(木)	8月25日(金)	8月26日(土)	8月27日(日)
10:00～	A（1名）	C（1名）	E（0名）	B（10名）	D（5名）
14:00～	B（3名）	D（10名）	A（6名）	C（6名）	E（9名）

() 内は観賞者数

平成13年度

アート・ドキュメンタリー2001 <ビデオ上映>

日時 平成13（2001）年8月4日(土)・5日(日)、8月25日(土)・26日(日)

場所 講座室

観客 のべ42名

プログラムA ウィリアム・フォーサイス (1995／イギリス／52分)、
マイケル・クラーク (1999／イギリス／50分)

プログラムB ビヨーク (1997／イギリス／51分)、
CHERE LOUISE～親愛なるルイーズ (1995／イギリス／50分)

プログラムC マイケル・ル・ビアン (1999／フランス／24分)、
サンティアゴ・カラトラバの旅 (1999／スイス／77分)

プログラムD C・ボルタンスキーについて彼らが思い出すこと (2000／フランス／33分)、
オノヨーコ (1999／イギリス／52分)

開映時間	8月4日(土)	8月5日(日)	8月25日(土)	8月26日(日)
10：00～	A (1名)	B (1名)	C (2名)	D (10名)
14：00～	D (1名)	C (8名)	B (11名)	A (8名)

() 内は観賞者数

(7) 特別展示の記念講演会

平成9年度

オランダ国立ライデン古代博物館所蔵 古代エジプト展

日時 平成9（1997）年3月24日（土）16：30～18：00

演題 「ホルエムヘブ：將軍、摂政、ファラオ（国王）」

講師 ハンス・ディーデリック・シュナイダー

（オランダ国立ライデン古代博物館エジプト部門主任学芸員）

聴講 77名

毛利元就展 一その時代と至宝一

①日時 平成9（1997）年8月10日（日）14：00～15：15

演題 「毛利氏の歴史と美術」

講師 白杵華臣（毛利博物館顧問）

聴講 70名

②日時 平成9（1997）年8月16日（土）14：00～15：15

演題 「毛利氏の染織美術」

講師 丸山伸彦（国立歴史民俗博物館助教授）

聴講 56名

耀州窯展 一中国中原に華ひらいた名窯一

①日時 平成9（1997）年10月25日（土）14：00～15：30

演題 「中国陶磁史における耀州窯の位置」

講師 出川哲朗（大阪市立東洋陶磁美術館学芸課長）

聴講 75名

②日時 平成9（1997）年11月3日（月）14：00～15：30

演題 教育・文化週間教養講座「食器と料理」

講師 平野雅章（食文化史研究家）

聴講 55名

新春のいのり 一中国山東省木版年画展一

日時 平成9（1997）年12月26日（金）10：30～12：00

演題 「山東民間年画」

講師 謝 昌一（中国国家一級美術師）

聴講 70名

平成10年度

ハプスブルグ家の遺宝 マリアテレジアの愛した古伊万里展

日時 平成10（1998）年4月29日(水) 10：30～12：00

演題 「ヨーロッパ貴族の生活と古伊万里」

講師 ペーター・パンツァー（ボン大学教授）

聴講 74名

没後150年記念 「北斎一東西の架け橋」展

日時 平成10（1998）年6月13日(土) 10：30～12：00

演題 「北斎と西洋」

講師 小林 忠（学習院大学教授）

聴講 71名

祈りと美の伝承 醍醐寺展

日時 平成10（1998）年7月25日(土) 10：30～12：00

演題 「醍醐寺の密教美術」

講師 有賀祥隆（東北大学教授）

聴講 78名

シリーズ山東文物1 神秘の王国—邿国王墓展

日時 平成10（1998）年9月12日(土) 10：30～12：00

演題 「中国山東長清周代邿国墓地の発掘及びその意義」

講師 任 相宏（山東大学考古系副教授）

聴講 68名

なぞのタイムカプセル「封印された南宋陶磁」展

日時 平成10（1998）年10月11日(日) 10：30～12：00

演題 「南宋砧青磁と青白磁」

講師 出川哲朗（大阪市立東洋陶磁美術館学芸課長）

聴講 90名

平成11年度

中国陶磁の至宝 英国デイヴィット・コレクション

日時 平成11（1999）年4月10日(土) 10：30～12：00

演題 「デイヴィッド・コレクションの中国陶磁—あるコレクターによる宫廷趣味の反映」

講師 スティシー・ピアソン（パーシヴァル・デイヴィット財団研究員）

聴講 64名

神品とよばれたやきもの 宋磁展

- ①日時 平成11（1999）年6月20日(日) 10：30～12：00
演題 「宋磁の鑑賞」
講師 長谷部樂爾（当館顧問、東洋陶磁学会副委員長）
聴講 96名
- ②記念トークショー「やきものに魅せられた わたし」
(宋磁展萩実行委員会と萩市教育委員会の共催)
日時 平成11（1999）年7月2日(金) 19：00～20：30
場所 萩市民館大ホール
出演 真野響子（女優）・三輪龍作（陶芸家）
聴講 452名

ブルックリン美術館所蔵浮世絵名品展

- 日時 平成11（1999）年8月21日(土) 14：00～15：30
演題 「浮世絵の歴史と魅力」
講師 永田生慈（太田記念美術館副館長）
聴講 72名

～特別展～よみがえる漢王朝－2000年の時をこえて－

- 日時 平成11（1999）年10月9日(土) 10：30～12：00
演題 「漢と弥生」
講師 金関 恕（大阪府立弥生文化博物館館長）
聴講 107名

シリーズ山東文物2 黃河の酒神展

- 日時 平成11（1999）年12月4日(土) 10：30～12：00
演題 「黄河下流域の酒文化－考古資料からの検討」
講師 鄭 同修（山東省文物考古研究所副研究員）
聴講 54名

発掘された日本列島'99

- ①日時 平成11（1999）年12月5日(日) 13：00～15：00
演題 「富本錢」
講師 松村恵司（奈良国立文化財研究所飛鳥藤原宮跡発掘調査部第2調査室長）
聴講 121名
- ②日時 平成11（1999）年12月25日(土) 13：00～15：00
演題 「考古学ファンに送るダイナミックヒストリー」
講師 中村徹也（山口県埋蔵文化財センター所長）
聴講 84名

平成12年度

中国法門寺地下宮殿の秘宝展

- ①日時 平成12（2000）年4月1日(土) 10：30～12：00
演題 「唐代文化のモニュメント－法門寺地宮の秘宝－」
講師 松本伸之（東京国立博物館学芸部企画課列品室長）
聴講 83名
- ②日時 平成12（2000）年4月15日(土) 14：00～15：30
演題 「秘色青磁について」
講師 出川哲朗（大阪市立東洋陶磁美術館学芸課長）
聴講 88名
- ③日時 平成12（2000）年4月29日(祝) 14：00～15：30
演題 「法門寺の仏教美術」
講師 長谷川道隆（元萩女子短期大学教授、安養寺住職）
聴講 58名

東京国立近代美術館所蔵 近代の名作 日本書・洋画・版画・彫刻

- 日時 平成12（2000）年5月13日(土) 10：30～12：00
演題 「近代日本美術の回顧」
講師 松本 透（東京国立近代美術館美術課長）
聴講 68名

フィリピンにわたった焼きもの—青磁と白磁を中心に— 富山佐藤美術館コレクション

- ①日時 平成12（2000）年6月24日(土) 10：30～12：00
演題 「フィリピン考古学と南海貿易」
講師 小川英文（東京外国語大学助教授）
聴講 65名
- ②日時 平成12（2000）年7月8日(土) 14：00～15：30
演題 「東南アジアの陶磁器－タイ・ベトナム・クメールー」
講師 矢島律子（町田市立博物館学芸員主任）
聴講 65名

六大浮世絵師名品展

- ①日時 平成12（2000）年7月29日(土) 10：30～12：00
演題 「六大浮世絵師の魅力」
講師 佐藤光信（平木浮世絵美術館館長）
聴講 30名
- ②日時 平成12（2000）年8月19日(土) 14：00～15：30
演題 「役所似顔絵の描き方」
講師 森山悦乃（平木浮世絵美術館学芸員）
聴講 35名

シリーズ山東文物3 磁器の誕生—原始瓷器—

①日時 平成12（2000）年10月7日(土) 10:30～12:00

演題 「山東省における原始瓷器の出現と研究」

講師 梁 中合（中国社会科学院考古研究所研究員）

聴講 71名

②日時 平成12（2000）年10月21日(土) 14:00～15:30

演題 「磁器の誕生」

講師 弓場紀知（財団法人出光美術館学芸課長）

聴講 50名

京都大原三千院の名宝展

日時 平成12（2000）年11月1日(水) 10:30～12:00

演題 「仏教の伝統音楽－声明－」

講師 小堀光雄（比叡山延暦寺一山月輪寺住職・神奈川青柳院住職）

聴講 135名

平成13年度

特別展 漢代「王車」の輝き

日時 平成13（2001）年4月16日(土) 10:30～12:00

演題 「漢代「王車」の実態を探る」

講師 崔 大庸（濟南市考古研究所所長）

聴講 67名

伝統と革新 萩焼400年展

日時 平成13（2001）年6月16日(土) 13:30～15:00

演題 「萩焼スタイルの成立と展開」

講師 榎本 徹（山口県立美術館副館長）

聴講 104名

山口きらら博・開催記念特別展

色彩の歓び メルツバッハー・コレクション展

日時 平成13（2001）年7月28日(土) 13:30～15:00

演題 「線の芸術から色彩の芸術へ—表現主義・フォーヴィズムを中心として」

講師 千足伸行（成城大学教授）

聴講 32名

山口きらら博・開催記念特別展

ゴッホと浮世絵 タンギー爺さん

日時 平成13（2001）年8月22日(水) 10:30～12:00

演題 「ロダンとファン・ゴッホの《タンギー爺さん》」

講師 クローディ・ジュドラン（ロダン美術館素描部長）

聴講 51名

ドイツ陶芸の100年 アールヌーヴォーから現代作家まで

日時 平成13（2001）年10月6日(土) 13:30～15:00

演題 「20世紀ドイツ陶芸への極東の影響」

講師 ハインツ・シュピールマン

(シャレスヴィッヒ=ホルシュタイン州立ゴットルフ城美術館前館長)

聴講 64名

イタリア・ファエンツァ国際陶芸博物館所蔵 マジョリカ名陶展

日時 平成14（2002）年3月2日(土) 13:30～15:00

演題 「マジョリカ陶の魅力」

講師 伊藤郁太郎（大阪市立東洋陶磁美術館館長）

聴講 70名

(8) 博物館実習

博物館実習の受入

平成9年度 実習希望者なし

平成10年度 平成10年8月4日(火)～10日(月) (7日間) 2名

平成11年度 平成11年8月3日(火)～9日(月) (7日間) 3名

平成12年度 実習希望者なし

平成13年度 平成13年8月6日(月)～12日(日) (7日間) 6名 (ただし、一部変則的な
日程 (8／8、8／11～12、8／27～31の8日間で1名の受入あり)

I 事 業

3 調査研究事業

山口県立萩美術館・浦上記念館 開館1周年記念 国際シンポジウム

「浮世絵—東西の架け橋」

平成9（1997）年10月4日(土)、5日(日)

萩市民館・大ホール

主催 山口県立萩美術館・浦上記念館

後援 萩市

プログラム

10月4日(土) 13:00～17:00

記念講演会 第1部

開会のあいさつ 足立明男館長

高階秀爾（国立西洋美術館館長・東京大学名誉教授）

「浮世絵とジャポニスム」

ヘンリー・スマス（コロンビア大学歴史学教授）

「浮世絵におけるブルー革命」

諏訪春雄（学習院大学文学部教授）

「演劇図としての役者絵・芝居絵」

10月5日(日) 9:00～11:50、13:30～17:00

午前の部 記念講演会 第2部

ティモシー・クラーク（大英博物館日本部副部長）

「18世紀の江戸とロンドンの遊里風俗画」

小林 忠（学習院大学文学部教授）

「浮世絵と庶民文化」

午後の部 シンポジウム

開催のあいさつ 上野孝明教育長

パネリスト 高階秀爾（国立西洋美術館館長・東京大学名誉教授）

ヘンリー・スマス（コロンビア大学歴史学教授）

諏訪春雄（学習院大学文学部教授）

ティモシー・クラーク（大英博物館日本部副部長）

司 会 小林 忠（学習院大学文学部教授）

閉会のあいさつ

聴講 約900名

I 事業

4 収集事業

山口県立萩美術館・浦上記念館第1次作品収集方針

＜基本の方針＞

山口県立萩美術館・浦上記念館が収蔵の核とする浦上コレクションは、浮世絵版画と東洋（中国・朝鮮）陶磁の有数な個人コレクションとして知られている。

しかし、これを公立美術館のコレクションとして、作品を単に一個の美術品として見るにとどまらず、浮世絵や東洋陶磁の歴史的展開を語ろうとするとき、また、社会史的、文化史的展開を述べようとするときには、種々の限界を有している。

今後、浦上コレクションを軸に、浮世絵と東洋陶磁を中心とする美術館として、展示、保存、調査研究、教育普及などのさまざまな美術館活動の素材として魅力のある、学術的、体系的な総合コレクションの形成を継続的に推進していく必要がある。

＜作品収集方針＞

- 1 浮世絵、東洋陶磁の歴史的展開に沿った体系的展示を行うため、浦上コレクションの希薄な部分を補填する作品収集を行う。
- 2 浮世絵、東洋陶磁に関する社会史的、文化史的展開に沿った総合的展示を行うために必要な周辺関連作品の収集を行う。
- 3 浮世絵、東洋陶磁に関する企画性の高い展示が可能なコレクションを構築するため、浦上コレクションの特徴ある部分を、より強化、充実する作品収集を行う。

＜作品収集の地域的、時代的対象範囲＞

1 浮世絵

発生期からおおむね明治期までとする。特に初期の錦絵以前の作品がきわめて希薄なため、この部分の補填が急務である。

また、必要に応じて関連する前後期の作品や、浮世絵以外の関連性の強い作品も収集対象とする。

2 東洋陶磁

地域的には、中国及び朝鮮の陶磁器の収集を行う。また、必要に応じてそれらの影響下に発生した、他地域の陶磁も収集対象とする。

時代的には、中国陶磁は古代から清朝までとし、朝鮮陶磁は高麗から李朝までとする。ただし、関連資料については、必要に応じてその前後期の作品も収集対象とする。

＜作品収集方法＞

作品の収集は購入、寄贈により、基本の方針にのっとり、収集方針及び地域的、時代的対象範囲などの収集基準に合致したものを収集する。

収集作品の適否、選考、評価は作品収集審査会（以下審査会）に諮問し、承認を得る。

審査会は、大学、美術館などの研究機関に属する見識ある、浮世絵と東洋陶磁の研究者各2名と、学識経験者1名の5名の委員で構成する。なお、特殊な関連資料については、適当な専門研究者を臨時に審査会委員に委嘱する。

なお、寄託品についても収集基準に合致したものに限ることとし、適否を審査会に諮問し、承認を得る。

(1) 館蔵品貸出利用状況

展覧会名称：喜多川歌麿展
 展覧会開催館名：大英博物館・千葉市美術館
 貸出年月日：1995/8/14～1995/12/22
 貸出先：千葉市教育委員会・大英博物館

作品名	員数・判型	作家名	(収蔵品番号)
おきたとおひさの首引き	横大判 1枚	喜多川歌麿	(U46)
鏡台前の母子	大判 1枚	喜多川歌麿	(U55)

展覧会名称：朝鮮陶磁シリーズ20 「珠玉の高麗陶磁小品展」
 展覧会開催館名：大阪市立東洋陶磁美術館
 貸出年月日：1996/1/7～1996/3/31
 貸出先：大阪市立東洋陶磁美術館

作品名	製作年代	時代	(収蔵品番号)
青磁象嵌菊花文松葉形合子	12世紀頃	高麗	(T1)
青磁瓜形水注	11～12世紀	高麗	(T7)
青磁象嵌菊花文有蓋小壺	12世紀頃	高麗	(T9)
青磁象嵌菊花文薬器	12世紀頃	高麗	(T10)

展覧会名称：フランス絵画と浮世絵 一東西文化の架け橋 林忠正の眼展一
 展覧会開催館名：高岡市美術館・ふくやま美術館・茨城県近代美術館
 貸出年月日：1996/9/10～1997/1/30
 貸出先：高岡市美術館・ふくやま美術館・茨城県近代美術館・美術館連絡協議会

作品名	員数・判型	作家名	(収蔵品番号)
富嶽三十六景 武州千佳	横大判 1枚	葛飾北斎	(U111)

展覧会名称：生誕200年記念 歌川国芳展
 展覧会開催館名：名古屋市博物館・千葉市美術館・サントリー美術館
 貸出年月日：1996/10/12～1997/4/14
 貸出先：名古屋市博物館・千葉市美術館・サントリー美術館・日本経済新聞社

作品名	員数・判型	作家名	(収蔵品番号)
通俗水滸伝豪傑百八人之一人 花和尚魯智深初名魯達	大判 1枚	歌川国芳	(U395)
江戸じまん名物くらべ 王子みやげ	中判 1枚	歌川国芳	(U416)
誠忠義士肖像 中村勘助正辰	大判 1枚	歌川国芳	(U433)
誠忠義士肖像 大星由良之助良雄	大判 1枚	歌川国芳	(U434)
誠忠義士肖像 邑松三太夫高直	大判 1枚	歌川国芳	(U435)
本朝水滸伝剛勇八百人一個 岩沼吉六郎信里	大判 1枚	歌川国芳	(U480)
武勇百伝 桃太郎	大判 1枚	歌川国芳	(U481)

朝倉当吾の亡靈	大判 3 枚綴	歌川国芳	(U537)
主馬佐酒田公時 鞍負尉碓井貞光 瀧口内舎人源次綱	大判 3 枚綴	歌川国芳	(U543)
山海名産尽 伊勢鮫	大判 1 枚	歌川国芳	(U546)
浅茅原一ツ家之図	大判 3 枚綴	歌川国芳	(U549)
忠孝名譽奇人伝 其角	大判 1 枚	歌川国芳	(U583)
忠孝名譽奇人伝 兼女	大判 1 枚	歌川国芳	(U585)
弁慶が勇力戯に三井寺の梵鐘を叢山へ引揚る図	大判 3 枚綴	歌川国芳	(U595)

展覧会名称：大歌麿展

展覧会開催館名：福岡市美術館・上野の森美術館・櫛形町立春仙美術館

貸出年月日：1997/12/26～1998/4/5

貸出先：福岡市美術館

作品名	員数・判型	作家名	(収蔵品番号)
文字樓一と本	大判 1 枚	喜多川歌麿	(U50)
青楼仁和嘉女芸者部 大万度 萩江 おいよ 竹沢	大判 1 枚	喜多川歌麿	(U63)
松葉屋内喜瀬川 たけの さゝの	大判 1 枚	喜多川歌麿	(U1801)
美人草花顔見せ 中万字屋内中川 萩	大判 1 枚	二代喜多川歌麿	(U1803)
二世中島三甫右衛門と中村富十郎	間判 1 枚	東洲斎写楽	(U2007)

展覧会名称：没後150年記念「北斎 東西の架け橋」展

展覧会開催館名：日本橋高島屋 8 F ホール

貸出年月日：1998/5/10～1998/6/6

貸出先：日本経済新聞社

作品名	員数・判型	作家名	(収蔵品番号)
富嶽三十六景 駿州江尻	横大判 1 枚	葛飾北斎	(U117)

展覧会名称：やまぐちアートミュージアム躍動・神仙・魑魅・英傑～幕末・維新の美術～

展覧会開催館名：恵比寿ガーデンプレイス

貸出年月日：1998/10/18～1998/10/25

貸出先：山口県広報課

作品名	員数・判型	作家名	(収蔵品番号)
讃岐院眷属をして為朝をすくふ図	大判 3 枚綴	歌川国芳	(U533)
龍虎	大判 3 枚綴	歌川貞秀	(U1188)
岩見重太郎妖怪退治	大判 3 枚綴	月岡芳年	(U1603)
奥州安達がはらひとつ家の図	大判豎 2 枚綴	月岡芳年	(U1604)

展覧会名称：神品とよばれたやきもの 宋磁展

展覧会開催館名：東武美術館・大阪市立東洋陶磁美術館（山口県立萩美術館・浦上記念館）

貸出年月日：1999/2/20～1999/6/15

貸出先：朝日新聞社

作品名	製作年代	製作年代	(収蔵品番号)
緑釉唐草文皮囊壺	10世紀頃	遼～北宋	(T196)
褐釉龍首水注	10世紀	遼	(T202)

展覧会名称：なんてきれいなんて不思議 紬薫の表現と陶芸美

展覧会開催館名：滋賀県立陶芸の森陶芸館

貸出年月日：1999/3/10～1999/5/30

貸出先：滋賀県立陶芸の森

作品名	生産窯	製作年代	時代	(収蔵品番号)
青磁双魚文盤	龍泉窯	13～14世紀	南宋	(T241)
月白釉盤	鈞窯	12～13世紀	北宋～金	(T347)

展覧会名称：江戸の華 歌舞伎絵展

展覧会開催館名：東武美術館

貸出年月日：1999/4/12～1999/6/11

貸出先：東武美術館

作品名	員数・判型	作家名	(収蔵品番号)
初代尾上菊五郎の松風	細判 2枚続の右	一筆斎文調	(U19)
三代目瀬川菊之丞 頭巾の女	細判 1枚	勝川春章	(U21)
中村仲蔵の狐忠信	細判 1枚	勝川春章	(U22)
二代目市川門之助	細判 1枚	勝川春好	(U27)
娘道成寺	細判 3枚続	勝川春英	(U29)
出語図 四天王大江山入	大判 1枚	鳥居清長	(U37)
三代目市川高麗藏の志賀大七	大判 1枚	東洲斎写楽	(U66)
浅倉当吾亡靈	大判 2枚続の左	歌川国芳	(U535)
織越大領政和	大判 2枚続の右	歌川国芳	(U536)
尾上松助 五世市川団十郎 二世市川門之助	細判 3枚続	勝川春好	(U2004)
梅紅葉伊達大閑	細判 1枚	二代鳥居清信	(U2605)
虎が石 曾我十郎祐成 市村卯左衛門	細判 1枚	二代鳥居清倍	(U2606)
京の二郎 市村亀藏 しげたゞ 尾上菊五郎	細判 1枚	鳥居清経	(U2622)
市村亀藏の曾我五郎	細判 1枚	鳥居清満	(U2625)
かさや半七 坂東彦三郎 馬かた長蔵 中嶋三甫蔵	細判 1枚	鳥居清満	(U2626)
水壳兵助 坂東彦三良	細判 1枚	鳥居清満	(U2627)
三世瀬川菊之丞の田辺文蔵妻おしづ	大判 1枚	東洲斎写楽	(U2691)
二世瀬川富三郎の大岸蔵人妻やどり木	大判 1枚	東洲斎写楽	(U2692)

展覧会名称：江戸の華 浮世絵展
 展覧会開催館名：町田市立国際版画美術館
 貸出年月日：1999/9/15～1999/12/10
 貸出先：町田市立国際版画美術館

作品名	員数・判型	作家名	(収蔵品番号)
写シ上手本絵の姿見 四睡之図	大判 1枚	喜多川歌磨	(U62)
青楼美人六花仙 松葉屋喜瀬川	大判 1枚	鳥文斎栄之	(U69)
青楼美人六花仙 角玉屋小紫	大判 1枚	鳥文斎栄之	(U70)
青楼十二時 夜亥の刻 玉屋内しら糸 おとわ たきの	大判 1枚	菊川英山	(U180)
当世三十二相 世事がよさ相	大判 1枚	歌川国貞	(U227)
当世三十二相 はやりさふ	大判 1枚	歌川国貞	(U228)
今世斗計十二時 未の刻 日ノ八ツ時	大判 1枚	歌川国貞	(U234)
当世美人七小町 雨乞	大判 1枚	歌川国貞	(U237)
当世美人七小町 草紙洗	大判 1枚	歌川国貞	(U238)
六様性国芳自慢 友引 佐々木高綱	大判 1枚	歌川国芳	(U484)
六様性国芳自慢 赤口 大森彦七	大判 1枚	歌川国芳	(U485)
耀武八景 市原野晴嵐	大判 1枚	歌川国芳	(U496)
青楼十二時 亥ノ刻	大判 1枚	喜多川歌磨	(U2005)
五常 仁	中判 1枚	鈴木春信	(U2632)
逢身八契 三勝半七の母節	大判 1枚	喜多川歌磨	(U2677)

展覧会名称：「日本美術のユーモア－笑いの諸相－」展
 展覧会開催館名：福岡市美術館・島根県立美術館
 貸出年月日：2000/5/1～2000/6/9
 貸出先：福岡市美術館・島根県立美術館

作品名	員数・判型	作家名	(収蔵品番号)
猫の当字 なまづ	大判 1枚	歌川国芳	(U513)
荷宝蔵壁のむだ書（黄腰壁）	大判 3枚続	歌川国芳	(U523)
讃岐院眷属をして為朝をすくふ図	大判 3枚続	歌川国芳	(U533)
見たて似たかきん魚	大判 3枚組の 1枚	落合芳幾	(U1172)
見たて似たかきん魚	大判 3枚組の 1枚	落合芳幾	(U1173)
見立似たかきん魚	大判 3枚組の 1枚	落合芳幾	(U1174)

展覧会名称：大妖怪展－異界への誘い－
 展覧会開催館名：大丸ミュージアムKOBE・大丸ミュージアムKYOTO
 貸出年月日：2000/7/21～2000/9/10
 貸出先：朝日新聞社文化企画局大阪企画部

作品名	員数・判型	作家名	(収蔵品番号)
百物語 しうねん	中判 1枚	葛飾北斎	(U143)
百物語 こはだ小平二	中判 1枚	葛飾北斎	(U144)
百物語 さらやしき	中判 1枚	葛飾北斎	(U145)

相馬の古内裏	大判 3 枚続	歌川国芳	(U429)
本朝水滸伝剛勇八百人一個 岩沼吉六郎信里	大判 1 枚	歌川国芳	(U480)
百物語化物屋敷の図 林屋正蔵工夫の怪談	横大判 1 枚	歌川国芳	(U508)
本朝三勇士	大判 3 枚続	歌川国芳	(U591)
相馬良門古寺之図	大判 3 枚続	豊原国周	(U1285)
尼子武勇伝	大判 3 枚続	望斎秀月	(U1466)
岩見重太郎妖怪退治	大判 3 枚続	月岡芳年	(U1603)
和漢百物語 楠多門丸正行	大判 1 枚	月岡芳年	(U1685)
和漢百物語 田原藤太秀郷 瀬田之竜女	大判 1 枚	月岡芳年	(U1688)
和漢百物語 小野川喜三郎	大判 1 枚	月岡芳年	(U1693)
和漢百物語 伊賀局 藤原仲成靈	大判 1 枚	月岡芳年	(U1694)
和漢百物語 頓欲ノ婆々	大判 1 枚	月岡芳年	(U1701)
和漢百物語 酒顛童子	大判 1 枚	月岡芳年	(U1706)
新形三十六怪撰 貞信公夜宮中に怪を懼しむの図	大判 1 枚	月岡芳年	(U1709)
新形三十六怪撰 三井寺頬豪阿闍梨悪念鼠と変ずる図	大判 1 枚	月岡芳年	(U1733)
新形三十六怪撰 おもみつゝら	大判 1 枚	月岡芳年	(U1744)

展覧会名称：木曾路の名所・図会

展覧会開催館名：中山道広重美術館

貸出年月日：2001/9/5～2001/12/10

貸出先：中山道広重美術館

作品名	員数・判型	作家名	(収蔵品番号)
富嶽三十六景 信州諏訪湖	横大判 1 枚	葛飾北斎	(U116)
諸国名橋奇覧 飛越の堺つりはし	横大判 1 枚	葛飾北斎	(U133)
木曾路之山川	大判 3 枚続	歌川広重	(U796)
本朝名所 信州更科田毎之月	横大判 1 枚	歌川広重	(U2253)
富士三十六景 信濃塩尻峠	大判 1 枚	歌川広重	(U2414)
富士三十六景 信州諏訪之湖	大判 1 枚	歌川広重	(U2425)
大日本物産図会 飛驒	横中判 2 丁掛	三代歌川広重	(U2975)
大日本物産図会 信濃	横中判 2 丁掛	三代歌川広重	(U2978)
大日本物産図会 美濃	横中判 2 丁掛	三代歌川広重	(U2992)

(2) 作品収集

平成8年度

[陶磁]

管理番号

作品名

員数

生産国（または制作者）

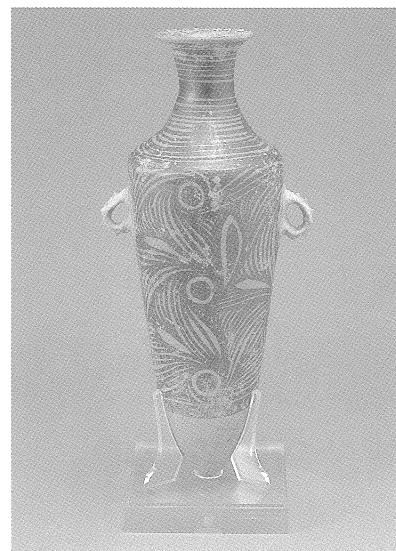
生産地

時代区分

制作年代

法量（cm）

受入区分



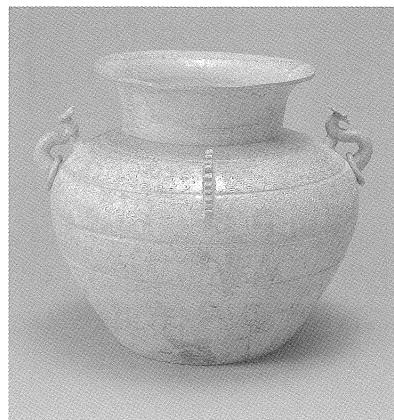
T348
彩陶尖底双耳瓶
1口
中国



T349
灰釉印文三耳壺
1口
中国

新石器（馬家窯文化）
紀元前30～紀元前25世紀
高 43.8
購入

西周後期
紀元前9～紀元前8世紀
径 23.3
購入



T350
灰釉印文遊環獸耳壺
1口
中国

戰國
紀元前5～紀元前3世紀
高 32.7
購入

T351
黑陶双耳壺
1口
中国

前漢（理番文化）
紀元前3～紀元1世紀
径 38.0
購入

T352
綠釉人物文温酒尊
1口
中国

後漢
1～3世紀
径 20.0
購入



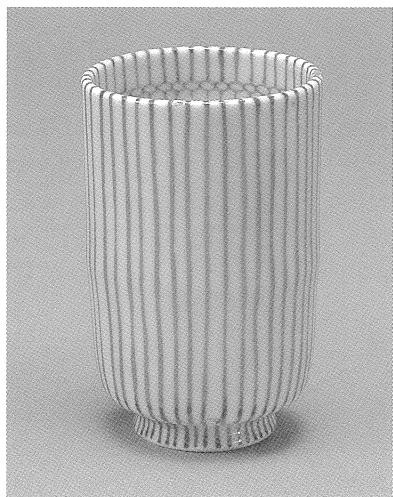
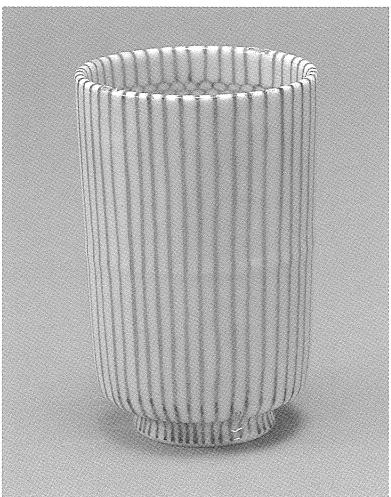
T353
綠釉狩獵文博山爐
1個
中国

後漢
1~3世紀
総高 22.3
購入

T354
綠褐釉犬
1軀
中国

後漢
1~3世紀
長 29.0
購入

T355
青花蛇の目文皿
1枚
中国
景德鎮窯系
明
17世紀
径 17.3
購入

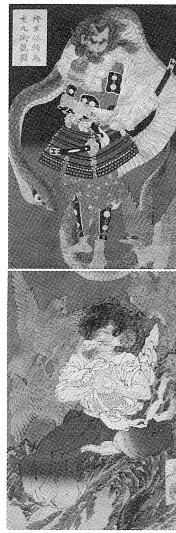


T356
青花麦藁手筒碗
1口
中国
景德鎮窯系
明
17世紀
高 10.8
購入

T357
青花麦藁手筒碗
1口
中国
景德鎮窯系
明
17世紀
高 10.7
購入

[浮世絵]

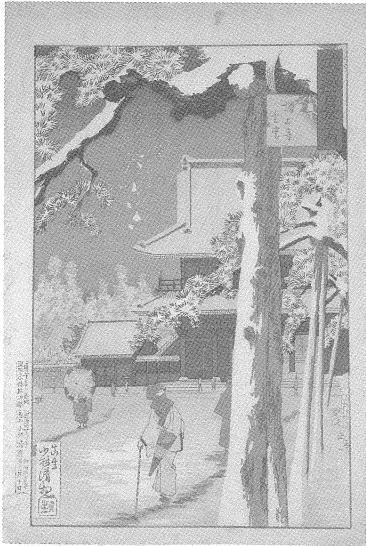
番号
作者名
作品名
判型(形状) 種別(形態) 品数
受入区分



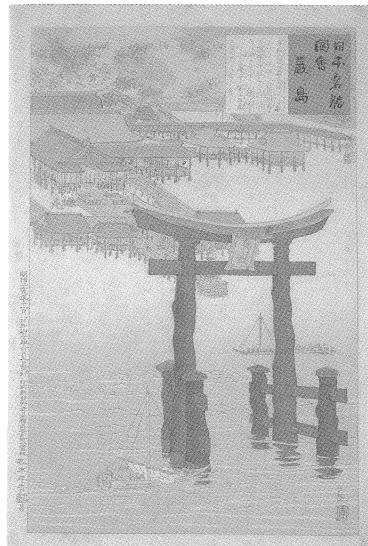
U2316
月岡芳年
袴垂保輔鬼童丸術競図
大判錦絵 縱 2 枚続
寄贈 安部宗明

U2319
尾形月耕
婦人風俗尽 歌むしろ
大判錦絵 1 枚
寄贈 安部宗明

番号	作者名	作品名	判型(形状)	種別(形態)	品数	受入区分
U2317	尾形月耕	婦人風俗尽 目録	大判	錦絵	1 枚	寄贈 安部宗明
U2318	尾形月耕	婦人風俗尽 序	大判	錦絵	1 枚	寄贈 安部宗明
U2320	尾形月耕	婦人風俗尽 閑家の雪	大判	錦絵	1 枚	寄贈 安部宗明
U2321	尾形月耕	婦人風俗尽 双六	大判	錦絵	1 枚	寄贈 安部宗明
U2322	尾形月耕	婦人風俗尽 木下川梅園	大判	錦絵	1 枚	寄贈 安部宗明
U2323	尾形月耕	婦人風俗尽 雛祭	大判	錦絵	1 枚	寄贈 安部宗明
U2324	尾形月耕	婦人風俗尽 御殿山のさくら	大判	錦絵	1 枚	寄贈 安部宗明
U2325	尾形月耕	婦人風俗尽 茶室	大判	錦絵	1 枚	寄贈 安部宗明
U2326	尾形月耕	婦人風俗尽 煎茶会	大判	錦絵	1 枚	寄贈 安部宗明
U2327	尾形月耕	婦人風俗尽 画室	大判	錦絵	1 枚	寄贈 安部宗明
U2328	尾形月耕	婦人風俗尽 亀井戸藤	大判	錦絵	1 枚	寄贈 安部宗明
U2329	尾形月耕	婦人風俗尽 縫模様	大判	錦絵	1 枚	寄贈 安部宗明
U2330	尾形月耕	婦人風俗尽 おどり振	大判	錦絵	1 枚	寄贈 安部宗明
U2331	尾形月耕	婦人風俗尽 仰景	大判	錦絵	1 枚	寄贈 安部宗明
U2332	尾形月耕	婦人風俗尽 堀切の葛西菖蒲の花競	大判	錦絵	1 枚	寄贈 安部宗明
U2333	尾形月耕	婦人風俗尽 挿花	大判	錦絵	1 枚	寄贈 安部宗明
U2334	尾形月耕	婦人風俗尽 御祭礼	大判	錦絵	1 枚	寄贈 安部宗明
U2335	尾形月耕	婦人風俗尽 虫ぼし	大判	錦絵	1 枚	寄贈 安部宗明
U2336	尾形月耕	婦人風俗尽 遠景の花火	大判	錦絵	1 枚	寄贈 安部宗明
U2337	尾形月耕	婦人風俗尽 四条納涼	大判	錦絵	1 枚	寄贈 安部宗明
U2338	尾形月耕	婦人風俗尽 七草の園	大判	錦絵	1 枚	寄贈 安部宗明
U2339	尾形月耕	婦人風俗尽 月二尼	大判	錦絵	1 枚	寄贈 安部宗明
U2340	尾形月耕	婦人風俗尽 琴のしらべ	大判	錦絵	1 枚	寄贈 安部宗明
U2341	尾形月耕	婦人風俗尽 三曲	大判	錦絵	1 枚	寄贈 安部宗明
U2342	尾形月耕	婦人風俗尽 盆石	大判	錦絵	1 枚	寄贈 安部宗明
U2343	尾形月耕	婦人風俗尽 庭前の菊	大判	錦絵	1 枚	寄贈 安部宗明
U2344	尾形月耕	婦人風俗尽 織女	大判	錦絵	1 枚	寄贈 安部宗明



U2365
小林清親
武藏百景之内 芝増上寺雪中
大判錦絵 1枚
寄贈 安部宗明



U2375
小林清親
日本名勝図会 嶺島
大判錦絵 1枚
寄贈 安部宗明



U2377
溪齋英泉
忠臣蔵 鶴ヶ岡
横大判錦絵 1枚
寄贈 浦上敏朗

U2345 尾形月耕	婦人風俗尽	能楽	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2346 尾形月耕	婦人風俗尽	いわい	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2347 尾形月耕	婦人風俗尽	折もの	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2348 尾形月耕	婦人風俗尽	競遊君	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2349 尾形月耕	婦人風俗尽	つぼね下り	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2350 尾形月耕	婦人風俗尽	髪束	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2351 尾形月耕	婦人風俗尽	素跣景	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2352 尾形月耕	婦人風俗尽	すみた川いでや棹させ雪見舟	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2353 尾形月耕	婦人風俗尽	香きく	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2354 尾形月耕	婦人風俗尽	花嫁	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2355 小林清親	武藏百景之内	池上本門寺	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2356 小林清親	武藏百景之内	江戸見坂	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2357 小林清親	武藏百景之内	道灌山	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2358 小林清親	武藏百景之内	不忍弁天雪晴	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2359 小林清親	武藏百景之内	谷中団子坂菊	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2360 小林清親	武藏百景之内	王子稻荷社	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2361 小林清親	武藏百景之内	下総真間つぎ橋	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2362 小林清親	武藏百景之内	下総鴻ノ台市川の遠景	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2363 小林清親	武藏百景之内	東京隅田堤乃さくら	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2364 小林清親	武藏百景之内	王子瀧の川	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2366 小林清親	武藏百景之内	深川ふゆき弁天	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2367 小林清親	日本名勝図会	房州鏡が浦	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2368 小林清親	日本名勝図会	月ヶ瀬奥の谷	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2369 小林清親	日本名勝図会	猿橋	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2370 小林清親	日本名勝図会	豊後耶馬渓古羅漢寺	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2371 小林清親	日本名勝図会	横須賀 造船所	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2372 小林清親	日本名勝図会	通天橋	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2373 小林清親	日本名勝図会	嵐山	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2374 小林清親	日本名勝図会	神橋	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2376 小林清親	日本名勝図会	清見潟	大判	錦絵	1 枚	寄贈	安部宗明
U2378 溪齋英泉	忠臣蔵 松切		横大判	錦絵	1 枚	寄贈	浦上敏朗



U2388
溪斎英泉
美艶仙女香 はつゆきや
大判錦絵 1枚
寄贈 浦上敏朗



U2389
歌川国貞
夕立景
大判錦絵 3枚続
寄贈 浦上敏朗



U2390
歌川国貞
梅がはる
大判錦絵 3枚続
寄贈 浦上敏朗

U2379	溪斎英泉	忠臣蔵 進物	横大判	錦絵	1 枚	寄贈	浦上敏朗
U2380	溪斎英泉	忠臣蔵 城渡	横大判	錦絵	1 枚	寄贈	浦上敏朗
U2381	溪斎英泉	忠臣蔵 鉄炮	横大判	錦絵	1 枚	寄贈	浦上敏朗
U2382	溪斎英泉	忠臣蔵 身壳	横大判	錦絵	1 枚	寄贈	浦上敏朗
U2383	溪斎英泉	忠臣蔵 揚屋	横大判	錦絵	1 枚	寄贈	浦上敏朗
U2384	溪斎英泉	忠臣蔵 道行	横大判	錦絵	1 枚	寄贈	浦上敏朗
U2385	溪斎英泉	忠臣蔵 山科	横大判	錦絵	1 枚	寄贈	浦上敏朗
U2386	溪斎英泉	忠臣蔵 天川屋	横大判	錦絵	1 枚	寄贈	浦上敏朗
U2387	溪斎英泉	忠臣蔵 夜討	横大判	錦絵	1 枚	寄贈	浦上敏朗
U2393	歌川国芳	源氏雲浮世画合 蓬生	大判	錦絵	1 枚	寄贈	浦上敏朗
U2394	歌川国芳	源氏雲浮世画合 紅梅	大判	錦絵	1 枚	寄贈	浦上敏朗
U2395	歌川国芳	源氏雲浮世画合 楢	大判	錦絵	1 枚	寄贈	浦上敏朗
U2396	歌川国芳	源氏雲浮世画合 蘭	大判	錦絵	1 枚	寄贈	浦上敏朗
U2397	歌川国芳	源氏雲浮世画合 常夏	大判	錦絵	1 枚	寄贈	浦上敏朗
U2403	歌川広重	富士三十六景 武蔵野毛横はま	大判	錦絵	1 枚	購入	
U2404	歌川広重	富士三十六景 伊勢二見か浦	大判	錦絵	1 枚	購入	
U2405	歌川広重	富士三十六景 鴻之台とね川	大判	錦絵	1 枚	購入	
U2406	歌川広重	富士三十六景 東都一石ばし	大判	錦絵	1 枚	購入	
U2407	歌川広重	富士三十六景 相州三浦之海上	大判	錦絵	1 枚	購入	
U2408	歌川広重	富士三十六景 下総小金原	大判	錦絵	1 枚	購入	
U2409	歌川広重	富士三十六景 上総鹿塹山	大判	錦絵	1 枚	購入	
U2410	歌川広重	富士三十六景 東都佃沖	大判	錦絵	1 枚	購入	
U2411	歌川広重	富士三十六景 甲斐犬目峠	大判	錦絵	1 枚	購入	
U2412	歌川広重	富士三十六景 駿遠大井川	大判	錦絵	1 枚	購入	
U2413	歌川広重	富士三十六景 相模江之島入口	大判	錦絵	1 枚	購入	
U2414	歌川広重	富士三十六景 信濃塩尻峠	大判	錦絵	1 枚	購入	
U2415	歌川広重	富士三十六景 武藏越かや在	大判	錦絵	1 枚	購入	
U2416	歌川広重	富士三十六景 東都飛鳥山	大判	錦絵	1 枚	購入	
U2417	歌川広重	富士三十六景 房州保田ノ海岸	大判	錦絵	1 枚	購入	
U2418	歌川広重	富士三十六景 雜司かや不二見茶や	大判	錦絵	1 枚	購入	
U2419	歌川広重	富士三十六景 東海堂左り不二	大判	錦絵	1 枚	購入	



U2391
歌川国貞
左馬頭義朝の姿 常盤御前
大判錦絵 1枚
寄贈 浦上敏朗



U2392
歌川国芳
源氏雲浮世画合 柏木
大判錦絵 1枚
寄贈 浦上敏朗



U2398
歌川国芳
源氏雲拾遺 雲隱
大判錦絵 1枚
寄贈 浦上敏朗



U2399
歌川国芳
妙でんす十六利勘 朝寝者損者
大判錦絵 1枚
寄贈 浦上敏朗

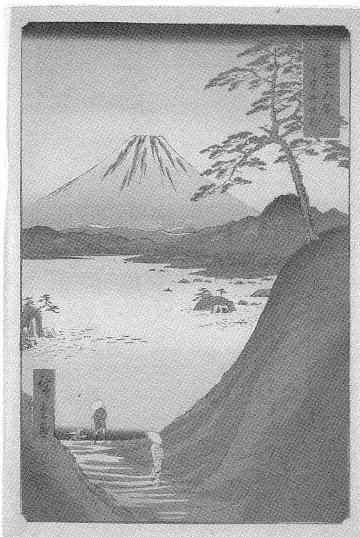


U2400
落合芳幾
菊ヶ浜勝蔵
大判錦絵 1枚
寄贈 浦上敏朗



U2401
水野年方
三十六佳撰 序文目次
横大判錦絵 1枚
寄贈 浦上敏朗

U2420	歌川広重	富士三十六景	東都御茶の水	大判	錦絵	1 枚	購入
U2421	歌川広重	富士三十六景	東都駿河町	大判	錦絵	1 枚	購入
U2422	歌川広重	富士三十六景	相模七里か浜	大判	錦絵	1 枚	購入
U2423	歌川広重	富士三十六景	はこねの湖すい	大判	錦絵	1 枚	購入
U2424	歌川広重	富士三十六景	上総黒戸の浦	大判	錦絵	1 枚	購入
U2425	歌川広重	富士三十六景	信州諫訪之湖	大判	錦絵	1 枚	購入



U2402
歌川広重
富士三十六景 甲斐御坂越
大判錦絵 1 枚
購入

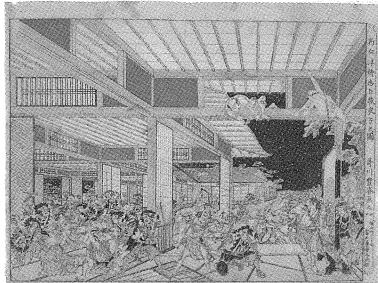


U2431
歌川広重
木曾海道六十九次之内 本山
横大判錦絵 1 枚
購入

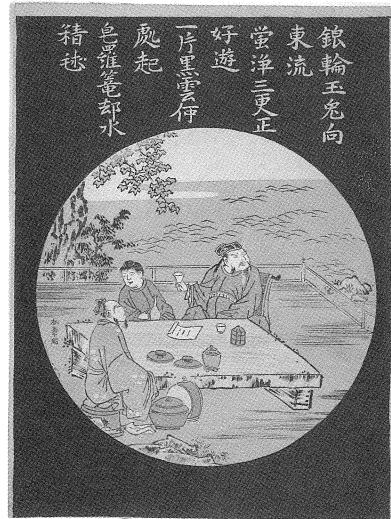


U2444
溪斎英泉
木曾街道 塩尻巔 諏訪ノ湖水眺望
横大判錦絵 1 枚
購入

U2426	歌川広重	富士三十六景 武藏多満川	大判	錦絵	1 枚	購入
U2427	歌川広重	富士三十六景 東都隅田堤	大判	錦絵	1 枚	購入
U2428	歌川広重	木曾海道六十九次之内 案中	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2429	歌川広重	木曾海道六十九次之内 松井田	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2430	歌川広重	木曾海道六十九次之内 下諏訪	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2432	歌川広重	木曾海道六十九次之内 福しま	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2433	歌川広重	木曾海道六十九次之内 上ヶ松	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2434	歌川広重	木曾海道六十九次之内 妻籠	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2435	歌川広重	木曾海道六十九次之内 鳥居本	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2436	溪斎英泉	木曾街道 蕨之駅 戸田川渡	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2437	溪斎英泉	支蘿路ノ駅 浦和宿 浅間山遠望	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2438	溪斎英泉	木曾街道 大宮宿 富士遠景	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2439	溪斎英泉	岐阻街道 桶川宿 曠原之景	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2440	溪斎英泉	岐阻街道 鴻巣 吹上富士遠望	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2441	溪斎英泉	支蘿路ノ駅 本庄宿 神流川渡場	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2442	溪斎英泉	木曾海道六十九次之内 坂本	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2443	溪斎英泉	木曾道中 岩村田	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2445	溪斎英泉	岐阻街道 奈良井宿 名産店之す	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2446	溪斎英泉	木曾街道 薮原 鳥居峠硯ノ清水	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2447	溪斎英泉	木曾路駅 野尻 伊奈川橋遠景	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2448	溪斎英泉	木曾街道 馬籠駅 峠ヨリ遠望之図	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2449	溪斎英泉	木曾街道 鵜沼ノ駅 従犬山遠望	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2452	勝川春章	唐人採蓮図	中判	錦絵	1 枚	購入
U2454	歌川広重	東海道五十三対 白須賀	大判	錦絵	1 枚	購入
U2455	歌川国芳	東海道五十三対 浜松の駅	大判	錦絵	1 枚	購入
U2456	歌川国芳	東海道五十三対 品川	大判	錦絵	1 枚	購入
U2457	歌川国芳	東海道五十三対 蒲原の駅	大判	錦絵	1 枚	購入
U2458	歌川国芳	東海道五十三対 藤川	大判	錦絵	1 枚	購入
U2459	歌川国芳	東海道五十三対 川崎	大判	錦絵	1 枚	購入
U2460	歌川広重	東海道五十三対 奥津	大判	錦絵	1 枚	購入
U2461	歌川国芳	東海道五十三対 見附	大判	錦絵	1 枚	購入



U2450
歌川豊春
新板浮繪忠臣蔵夜打之図
横大々判錦絵 1 枚
購入



U2451
勝川春章
唐人酒宴図
中判錦絵 1 枚
購入



U2453
歌川国貞
東海道五十三対 袋井
大判錦絵 1 枚
購入

U2462	歌川国芳	東海道五十三対	池鯉鮒	大判	錦絵	1 枚	購入
U2463	歌川広重	東海道五十三対	関	大判	錦絵	1 枚	購入
U2464	歌川広重	東海道五十三対	丸子	大判	錦絵	1 枚	購入
U2465	歌川広重	東海道五十三対	三嶋	大判	錦絵	1 枚	購入
U2466	歌川広重	東海道五十三対	平塚	大判	錦絵	1 枚	購入
U2467	歌川国芳	東海道五十三対	日本橋	大判	錦絵	1 枚	購入
U2468	歌川広重	東海道五十三対	金谷	大判	錦絵	1 枚	購入
U2469	歌川国貞	東海道五十三対	あら井	大判	錦絵	1 枚	購入
U2470	歌川広重	東海道五十三対	赤坂	大判	錦絵	1 枚	購入
U2471	歌川国芳	東海道五十三対	由井	大判	錦絵	1 枚	購入
U2472	歌川広重	東海道五十三対	原	大判	錦絵	1 枚	購入
U2473	歌川国貞	東海道五十三対	鳴海	大判	錦絵	1 枚	購入
U2474	歌川広重	東海道五十三対	二川	大判	錦絵	1 枚	購入
U2475	歌川広重	東海道五十三対	戸塚	大判	錦絵	1 枚	購入
U2476	歌川国貞	東海道五十三対	島田の駅	大判	錦絵	1 枚	購入
U2477	歌川国芳	東海道五十三対	箱根	大判	錦絵	1 枚	購入
U2478	歌川国芳	東海道五十三対	水口	大判	錦絵	1 枚	購入
U2479	歌川国芳	東海道五十三対	日坂	大判	錦絵	1 枚	購入
U2480	歌川国芳	東海道五十三対	石薬師	大判	錦絵	1 枚	購入
U2481	歌川国貞	東海道五十三対	神奈川の駅	大判	錦絵	1 枚	購入
U2482	歌川国貞	東海道五十三対	吉田	大判	錦絵	1 枚	購入
U2483	歌川国芳	東海道五十三対	沼津	大判	錦絵	1 枚	購入
U2484	歌川国芳	東海道五十三対	御油	大判	錦絵	1 枚	購入
U2485	歌川国芳	東海道五十三対	小田原の駅	大判	錦絵	1 枚	購入
U2486	歌川国芳	東海道五十三対	保土ヶ谷	大判	錦絵	1 枚	購入
U2487	歌川国芳	東海道五十三対	大磯	大判	錦絵	1 枚	購入
U2488	歌川国芳	東海道五十三対	土山	大判	錦絵	1 枚	購入
U2489	月岡芳年	大日本名将鑑	目録	大判	錦絵	1 枚	購入
U2490	月岡芳年	大日本名将鑑	坂上田村麻呂	大判	錦絵	1 枚	購入
U2491	月岡芳年	大日本名将鑑	狭穂姫 上毛野八綱田	大判	錦絵	1 枚	購入

U2492	月岡芳年	大日本名将鑑	大伴金村	大臣平郡真鳥	大判	錦絵	1 枚	購入
U2493	月岡芳年	大日本名将鑑	天照大神		大判	錦絵	1 枚	購入
U2494	月岡芳年	大日本名将鑑	神功皇后	武内宿彌	大判	錦絵	1 枚	購入
U2495	月岡芳年	大日本名将鑑	多田満仲		大判	錦絵	1 枚	購入
U2496	月岡芳年	大日本名将鑑	素盞烏尊	稻田姫	大判	錦絵	1 枚	購入
U2497	月岡芳年	大日本名将鑑	田原藤太秀郷		大判	錦絵	1 枚	購入
U2498	月岡芳年	大日本名将鑑	六孫王経基		大判	錦絵	1 枚	購入
U2499	月岡芳年	大日本名将鑑	源義光	豊原時秋	大判	錦絵	1 枚	購入
U2500	月岡芳年	大日本名将鑑	阿部比羅夫		大判	錦絵	1 枚	購入
U2501	月岡芳年	大日本名将鑑	厩戸皇子	守屋大連	大判	錦絵	1 枚	購入
U2503	月岡芳年	大日本名将鑑	酒呑童子	保昌 賴光	大判	錦絵	1 枚	購入
		公時 綱 季武 貞光						
U2504	月岡芳年	大日本名将鑑	平親王將門	常陸據平貞盛	大判	錦絵	1 枚	購入
U2505	月岡芳年	大日本名将鑑	平惟茂		大判	錦絵	1 枚	購入
U2506	月岡芳年	大日本名将鑑	東山義政		大判	錦絵	1 枚	購入
U2507	月岡芳年	大日本名将鑑	道臣命		大判	錦絵	1 枚	購入
U2508	月岡芳年	大日本名将鑑	左馬頭義朝	長田莊司景宗	大判	錦絵	1 枚	購入
U2509	月岡芳年	大日本名将鑑	八幡太郎義家		大判	錦絵	1 枚	購入
U2510	月岡芳年	大日本名将鑑	六條判官為義		大判	錦絵	1 枚	購入
U2511	月岡芳年	大日本名将鑑	新田左中将義貞		大判	錦絵	1 枚	購入
U2512	月岡芳年	大日本名将鑑	右大將源頼朝		大判	錦絵	1 枚	購入
U2513	月岡芳年	大日本名将鑑	平相国清盛		大判	錦絵	1 枚	購入
U2514	月岡芳年	大日本名将鑑	小野好吉朝臣		大判	錦絵	1 枚	購入
U2515	月岡芳年	大日本名将鑑	鎮西八郎為朝	鬼夜叉	大判	錦絵	1 枚	購入
U2516	月岡芳年	大日本名将鑑	御曹司牛若丸後伊予守源義経	西塔武藏坊弁慶	大判	錦絵	1 枚	購入
U2517	月岡芳年	大日本名将鑑	上杉輝虎入道謙信		大判	錦絵	1 枚	購入
U2518	月岡芳年	大日本名将鑑	大伴狭手彦	佐用姫	大判	錦絵	1 枚	購入
U2519	月岡芳年	大日本名将鑑	源頼信		大判	錦絵	1 枚	購入
U2520	月岡芳年	大日本名将鑑	源三位頼政	猪早太	大判	錦絵	1 枚	購入
U2521	月岡芳年	大日本名将鑑	源頼義		大判	錦絵	1 枚	購入
U2522	月岡芳年	大日本名将鑑	木曾義仲	大夫坊覺明	大判	錦絵	1 枚	購入
U2523	月岡芳年	大日本名将鑑	武田大膳太夫晴信	入道信玄	大判	錦絵	1 枚	購入
U2524	月岡芳年	大日本名将鑑	最明寺時頼	入道	大判	錦絵	1 枚	購入
U2525	月岡芳年	大日本名将鑑	北条氏康		大判	錦絵	1 枚	購入
U2526	月岡芳年	大日本名将鑑	足利義満公		大判	錦絵	1 枚	購入
U2527	月岡芳年	大日本名将鑑	足利尊氏	新田義貞	大判	錦絵	1 枚	購入
U2528	月岡芳年	大日本名将鑑	毛利元就		大判	錦絵	1 枚	購入
U2529	月岡芳年	大日本名将鑑	徳川家光公	井伊掃部頭	大判	錦絵	1 枚	購入
U2530	月岡芳年	大日本名将鑑	豊臣秀吉公	加藤主計守清正	大判	錦絵	1 枚	購入
U2531	月岡芳年	大日本名将鑑	織田右大臣	平信長	大判	錦絵	1 枚	購入
U2532	月岡芳年	大日本名将鑑	坂上刈田麻呂	訓儒麿	大判	錦絵	1 枚	購入
U2541	伊東深水	現代美人集第二輯	十五夜		大判	多色摺	1 枚	寄贈 デヴィット・キャプラン
U2542	伊東深水	現代美人集第二輯	臘		大判	多色摺	1 枚	寄贈 デヴィット・キャプラン
U2543	伊東深水	現代美人集第二輯	炬燼		大判	多色摺	1 枚	寄贈 デヴィット・キャプラン
U2544	伊東深水	現代美人集第二輯	花火		大判	多色摺	1 枚	寄贈 デヴィット・キャプラン
U2545	伊東深水	現代美人集第二輯	舞妓		大判	多色摺	1 枚	寄贈 デヴィット・キャプラン
U2546	伊東深水	現代美人集第二輯	紅梅		大判	多色摺	1 枚	寄贈 デヴィット・キャプラン
U2547	伊東深水	現代美人集第二輯	髪		大判	多色摺	1 枚	寄贈 デヴィット・キャプラン
U2548	伊東深水	現代美人集第二輯	螢		大判	多色摺	1 枚	寄贈 デヴィット・キャプラン
U2549	伊東深水	現代美人集第二輯	爪		大判	多色摺	1 枚	寄贈 デヴィット・キャプラン
U2550	伊東深水	現代美人集第二輯	洗い髪		大判	多色摺	1 枚	寄贈 デヴィット・キャプラン
U2551	伊東深水	現代美人集第二輯	瞳		大判	多色摺	1 枚	寄贈 デヴィット・キャプラン
U2706	葛飾北斎	富嶽三十六景	山下白雨	(変わり摺)	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2707	葛飾北斎	富嶽三十六景	深川万年橋下		横大判	錦絵	1 枚	購入



U2502
月岡芳年
大日本名将鑑 神武天皇
大判錦絵 1 枚
購入

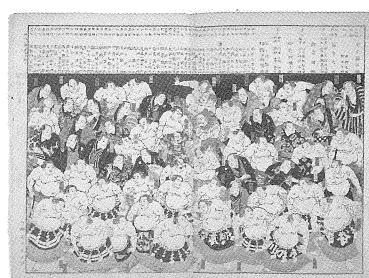


U2533
北尾重政
摂州一之谷鶴越平家追伐八嶋檀浦合戦之図
横大々判錦絵 1 枚
購入



U2534
歌川国貞
越ヶ浜 追手風
横大判錦絵 1 枚
寄贈 浦上敏朗

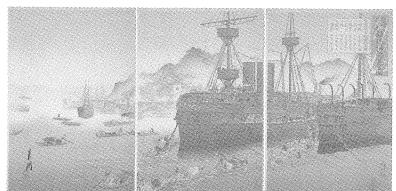
U2708	葛飾北斎	富嶽三十六景 東都駿台	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2709	葛飾北斎	富嶽三十六景 武州千住	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2710	葛飾北斎	富嶽三十六景 武州玉川	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2711	葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州犬目峠	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2712	葛飾北斎	富嶽三十六景 東都浅草本願寺	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2713	葛飾北斎	富嶽三十六景 武陽佃嶋	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2714	葛飾北斎	富嶽三十六景 相州梅沢左	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2715	葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州三嶋越	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2716	葛飾北斎	富嶽三十六景 江都駿河町三井見世略図	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2717	葛飾北斎	富嶽三十六景 五百らかん寺さゝゐどう	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2718	葛飾北斎	富嶽三十六景 上総ノ海路	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2719	葛飾北斎	富嶽三十六景 江戸日本橋	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2720	葛飾北斎	富嶽三十六景 磐川雪ノ旦	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2721	葛飾北斎	富嶽三十六景 下目黒	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2722	葛飾北斎	富嶽三十六景 隠田の水車	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2723	葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道江尻田子の浦略図	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2724	葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道吉田	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2725	葛飾北斎	富嶽三十六景 登戸浦	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2726	葛飾北斎	富嶽三十六景 相州箱根湖水	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2727	葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州三坂水面	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2728	葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州伊沢曉	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2729	葛飾北斎	富嶽三十六景 駿州片倉茶園ノ不二	横大判	錦絵	1 枚	購入
合計						290件



U2535
歌川国貞
稻妻 阿武松
横大判錦絵 1枚
寄贈 浦上敏朗

U2536
歌川国虎
大相撲東之方
大判錦絵 3枚続
寄贈 浦上敏朗

U2537
歌川周重
大日本大相撲 勇力闘取鏡
大判錦絵 2枚続
寄贈 浦上敏朗



U2538
尾形月耕
横須賀軍港 鎮遠号観覧之図
大判錦絵 3枚続
寄贈 浦上敏朗

U2539
溪齋英泉
周防岩国錦帶橋之図
横大判錦絵 1枚
購入

U2540
伊東深水
現代美人集第二輯 吹雪
大判多色摺 1枚
寄贈 デヴィット・キャプラン



U2662
鳥居清長
和国美人略集 小式部内侍
中判錦絵 1 枚
購入



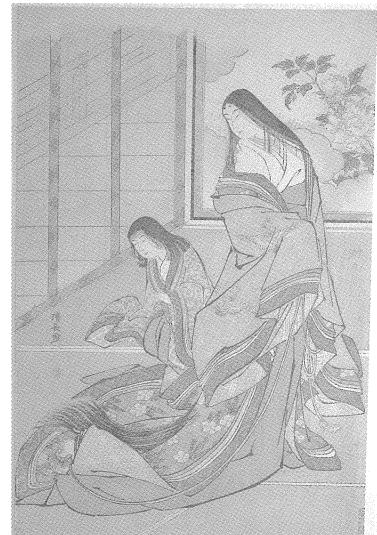
U2663
鳥居清長
茶見世十景 御殿山
中判錦絵 1 枚
購入



U2664
鳥居清長
雛形若菜の初模様 あふきや内遠路 里次 浦次
大判錦絵 1 枚
購入



U2665
鳥居清長
風俗東之錦 褒着
大判錦絵 1 枚
購入



U2666
鳥居清長
女三の宮
大判錦絵 1 枚
購入



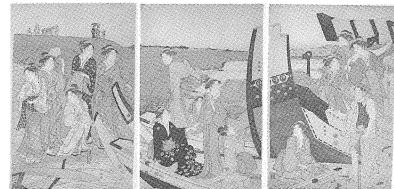
U2667
鳥居清長
隅田川渡し船
大判錦絵 3 枚続
購入



U2668
鳥居清長
雪景柳下に立つ四世松本幸四郎と美人
細判錦絵 1 枚
購入



U2669
勝川春潮
三世瀬川菊之丞の梅下片肌脱ぎの女
細判錦絵 1 枚
購入



U2670
勝川春潮
土手下遊山船の美人
大判錦絵 3 枚続
購入



U2671
勝川春潮
風流十二月
中判錦絵 1 枚
購入



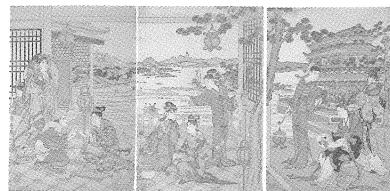
U2672
勝川春山
とうせい女忠臣蔵 四段目 城渡の段
中判錦絵 1 枚
購入



U2673
窪 俊満
由良之助 一力遊興
大判錦絵 3 枚続
購入



U2674
喜多川歌麿
座敷歌舞遊宴の図
大判錦絵 3 枚続
購入



U2675
喜多川歌麿
唐樓閣美人遊興図
大判錦絵 3 枚続
購入



U2676
喜多川歌麿
扇屋内花扇 よしの たつた
大判錦絵 1 枚
購入



U2677
喜多川歌麿
逢身八契 三勝半七の母節
大判錦絵 1 枚
購入



U2678
喜多川歌麿
実競色乃美名家見 城き屋お駒 尾花才三郎
大判錦絵 1 枚
購入



U2679
喜多川歌麿
忠臣蔵 五段目
大判錦絵 1 枚
購入



U2680
喜多川歌麿
丁子屋内唐琴 あけは やよひ
大判錦絵 1 枚
購入



U2681
喜多川歌麿
江戸六玉顔 此君情深し
大判錦絵 1 枚
購入



U2682
喜多川歌麿
見立静御前
大判錦絵 3 枚続
購入



U2683
喜多川歌麿
名所風景 美人十二相
大判錦絵 1 枚
購入



U2684
喜多川歌麿
風流六玉川 紀伊
大判錦絵 1 枚
購入



U2685
喜多川歌麿
見立妹背山
大判錦絵 3 枚続
購入



U2686
栄松斎長喜
青楼後朝雨 三枚続
大判錦絵 3 枚続の内 1 枚
購入



U2687
鳥文斎栄之
風流やつし源氏 若菜巻上
大判錦絵 3 枚続
購入



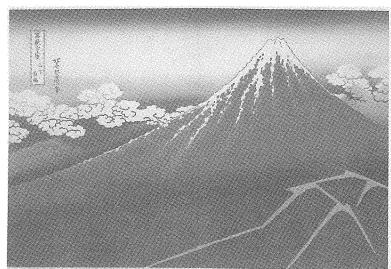
U2691
東洲斎写楽
三世瀬川菊之丞の田辺文蔵妻おしづ
大判錦絵 1 枚
購入



U2692
東洲斎写楽
二世瀬川富三郎の大岸藏人妻やどり木
大判錦絵 1 枚
購入



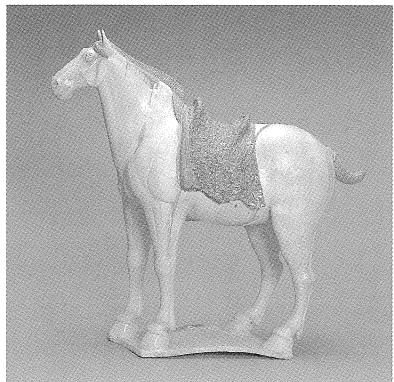
U2704
葛飾北斎
富嶽三十六景 凱風快晴
横大判錦絵 1 枚
購入



U2705
葛飾北斎
富嶽三十六景 山下白雨
横大判錦絵 1 枚
購入

平成 9 年度

[陶磁]



T358

三彩馬（白）

1軀

中国

唐

8世紀

高 77.0

購入

T359

三彩馬（褐）

1軀

中国

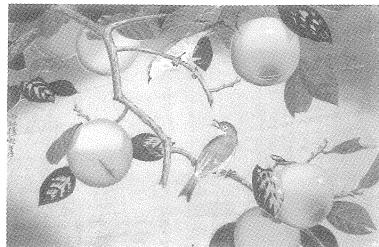
唐

8世紀

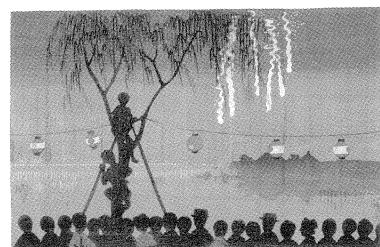
高 78.5

購入

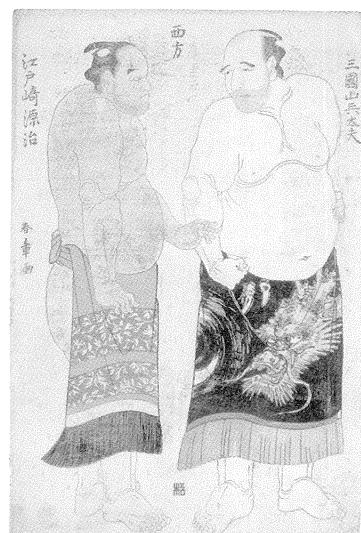
[浮世絵]



U2553
小林清親
柿に白目
横大判錦絵 1 枚
購入



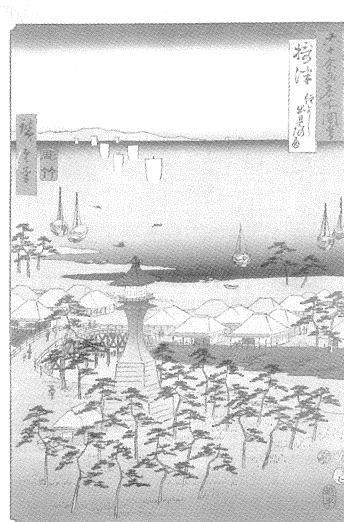
U2558
小林清親
池の端花火
横大判錦絵 1 枚
購入



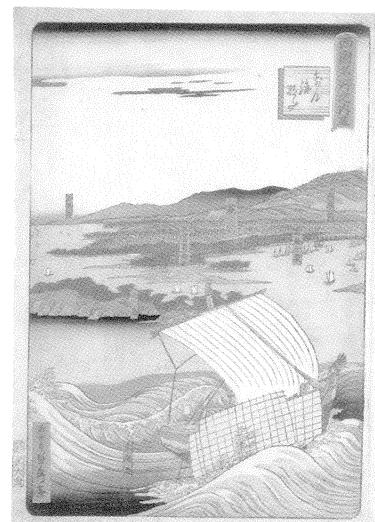
U2560
勝川春章
西方 三国山兵太夫 江戸崎源治
大判錦絵 1 枚
寄贈 浦上敏朗



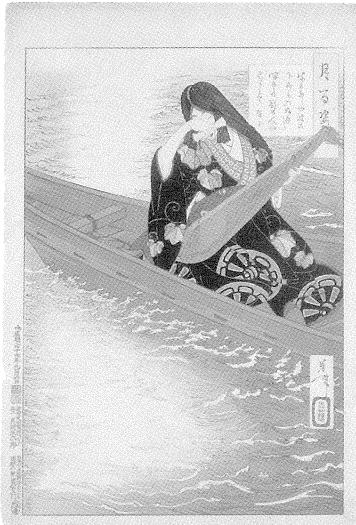
U2561
勝川春英
秀ノ山伝治郎
大判錦絵 1 枚
寄贈 浦上敏朗



U2562
歌川広重
六十余州名所図会 摂津 住よし出見のはま
大判錦絵 1 枚
寄贈 浦上敏朗



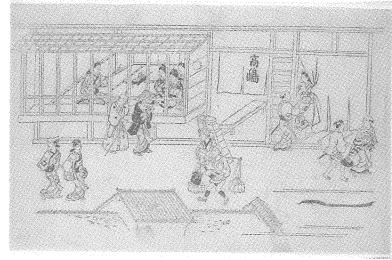
U2563
歌川貞秀
西国名所之内 廿五 げん海なだ
大判錦絵 1 枚
寄贈 浦上敏朗



U2564
月岡芳年
月百姿 はかなしや波の下にも入ぬへしつきの都の人やみるとて 有子
大判錦絵 1 枚
購入 寄贈 浦上敏朗



U2601
作者未詳
狼退治
大判墨摺絵 1 枚
購入



U2602
菱川師宣
よしらの躰 高嶋前
横大判墨摺絵 1 枚
購入



U2603
鳥居清信（二代か）
玉沢才次郎 松本七蔵
細判漆絵 1 枚
購入



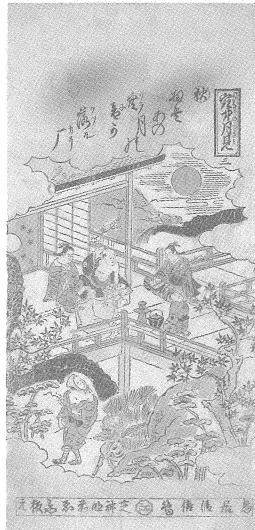
U2604
鳥居清信(二代か)
萩野伊三郎 山下龜松
細判漆絵 1 枚
購入



U2605
二代鳥居清信
梅紅葉伊達大門
細判紅摺絵 1 枚
購入



U2606
二代鳥居清倍
虎が石 會我十郎祐成 市村卯左衛門
細判漆絵 1 枚
購入



U2607
二代鳥居清倍
最中秋見 三秋
細判漆絵 1 枚
購入



U2608
二代鳥居清倍
辰五郎 さの川市松
細判紅摺絵 1 枚
購入



U2609
鳥居青春
鼓打つ若衆
細判漆絵 1 枚
購入



U2610
西村重長
人形を使う千ねんうり
細判紅絵 1 枚
購入



U2611
西村重信
市川団十郎 市川団蔵
細判漆絵 1 枚
購入



U2612
奥村政信
大黒の打金
横大判丹絵 1 枚
購入



U2613
奥村政信
格子先、長煙管を持つ遊女と乳
細判漆絵 1 枚
購入



U2614
奥村政信
ふだんさくらないぎ風
細判漆絵 1 枚
購入



U2615
奥村利信
おにつぐ女房つま木 瀬川菊之丞
細判漆絵 1 枚
購入



U2616
奥村政信
若衆人形を遣う封じ文紋の美人
細判紅摺絵 1 枚
購入



U2617
奥村政信
草子洗小町
横大判紅摺絵 1 枚
購入



U2618
作者未詳
花筏
横中判紅絵 1 枚
購入



U2619
作者未詳
淨瑠璃本を持って立つ女
細判墨摺絵 1 枚
購入



U2620
作者未詳
お七 吉三
細判墨摺絵 1 枚
購入



U2621
松寿
早川新勝
細判漆絵 1 枚
購入



U2622
鳥居清経
京の二郎 市村亀藏 しげたゞ 尾上菊五郎
細判紅摺絵 1 枚
購入



U2623
鳥居清広
湯上りの爪を切る女
細判紅摺絵 1 枚
購入



U2624
鳥居清満
市川秀穂画
細判紅摺絵 1 枚
購入



U2625
鳥居清満
市村龜藏の曾我五郎
細判紅摺絵 1 枚
購入



U2626
鳥居清満
かさや半七 坂東彦三郎 馬かた長蔵 中嶋三甫藏
細判紅摺絵 1 枚
購入



U2627
鳥居清満
水壳兵助 坂東彦三良
細判紅摺絵 1 枚
購入



U2628
石川豊信
高下駄の雪取り
細判紅摺絵 1 枚
購入



U2629
石川豊信
炬燼に掛けて文を読む中村喜代三郎
大判紅摺絵 1 枚
購入



U2630
雪圭斎昌房
尼ヶ崎坊 ゆり
細判合羽摺 1 枚
購入



U2631
鈴木春信
風俗四季哥仙 三月
中判錦絵 1 枚
購入



U2632
鈴木春信
五常 仁
中判錦絵 1 枚
購入



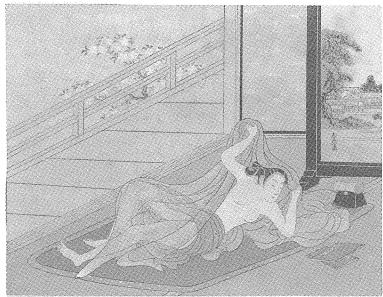
U2633
鈴木春信
柱絵の前に立つ遊女
細判錦絵 1 枚
購入



U2634
鈴木春信
三味線をひく若衆と尺八をもつ遊女
中判錦絵 1 枚
購入



U2635
鈴木春信
まねへもん 十三
横中判錦絵 1 枚
購入



U2636
鈴木春信
絵本東形
横中判錦絵 1 枚
購入



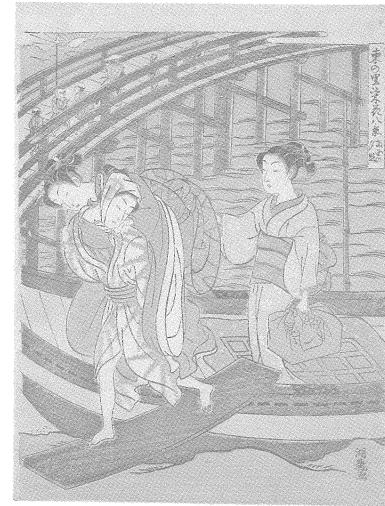
U2637
作者未詳
文を書く美人
中判錦絵 1 枚
購入



U2638
作者未詳
見立王子喬
横中判錦絵 1 枚
購入



U2639
作者未詳
邯鄲
横中判摺物 1 枚
購入



U2640
磯田湖龍斎
東の里栄花八景 両国の夕照
中判錦絵 1 枚
購入



U2641
磯田湖龍斎
風流四季遊 夏
中判錦絵 1 枚
購入



U2642
磯田湖龍斎
雛形若菜の初模様 大かなや内なをえ
大判錦絵 1枚
購入



U2643
磯田湖龍斎
雛形若菜の初模様 薦屋内しほきぬ
大判錦絵 1枚
購入



U2644
一筆斎文調
嵐雛治の菊を持つ侍女
細判錦絵 1枚
購入



U2645
一筆斎文調
二世山下金作の女三の宮の侍女むつ花
細判錦絵 1枚
購入



U2646
一筆斎文調
花相撲 西小結逢身屋半太輔
細判錦絵 1枚
購入



U2647
勝川春章
四世市川団十郎の雲に乗る天狗
細判錦絵 1枚
購入



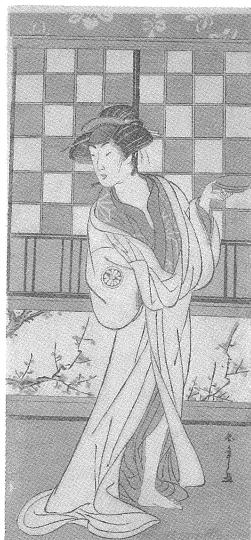
U2648
勝川春章
三世大谷広右衛門の刀をくわえた老爺
細判錦絵 1 枚
購入



U2649
勝川春章
四世市川団蔵の崇徳院
細判錦絵 1 枚
購入



U2650
勝川春章
中村仲蔵の衛士の鶴平実は斎藤別当実盛
細判錦絵 1 枚
購入



U2651
勝川春章
三世瀬川菊之丞の盃をもつ美人
細判錦絵 1 枚
購入



U2652
勝川春章
五世市川団十郎の編笠の侍
細判錦絵 1 枚
購入



U2653
勝川春好
三世瀬川菊之丞のお軽
細判錦絵 1 枚
購入



U2654
勝川春好
二世市川門之助の胡弓を弾く編笠の侍
細判錦絵 1 枚
購入



U2655
勝川春好
五世市川団十郎の弓杖を突く荒事師
細判錦絵 1 枚
購入



U2656
勝川春好
三世瀬川菊之丞のお軽
細判錦絵 1 枚
購入



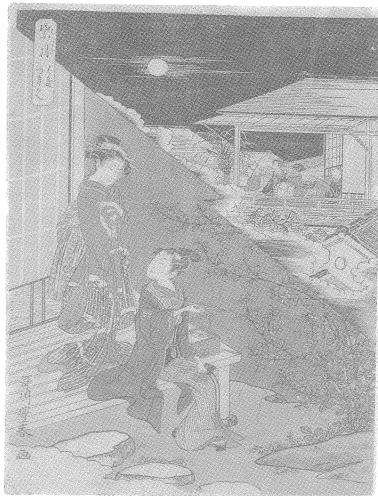
U2657
勝川春英
五世市川団十郎の浅間左衛門
細判錦絵 1 枚
購入



U2658
勝川春英
五世市川団十郎の奴刃平実は源次兵衛
広綱と二世小佐川常世の黒木壳
間判錦絵 1 枚
購入



U2659
勝川春英
四世岩井半四郎の兼好妹千早と尾上松
助の湯浅孫六入道定虎
間判錦絵 1 枚
購入



U2660
歌川豊春
歳時昼夜十二ヶ月 葉月 はぎ つき見
中判錦絵 1 枚
購入



U2661
歌川豊春
竹に虎
中短冊判錦絵 1 枚
購入



U2688
鳥文斎栄之
青楼美人六花仙 越前屋唐土
大判錦絵 1 枚
購入



U2689
鳥文斎栄之
青楼美人六花仙 静玉屋志津加
大判錦絵 1 枚
購入



U2690
鳥高斎栄昌
お高祖頭巾
大判錦絵 1 枚
購入



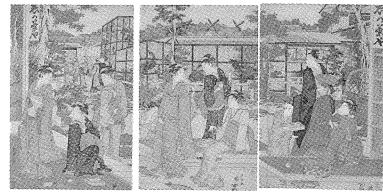
U2693
東洲斎写楽
中山富三郎の義興妻つくば御前
細判錦絵 1 枚
購入



U2694
東洲斎写楽
三世市川高麗藏の衛士姿の新田義貞
細判錦絵 1 枚
購入



U2695
歌川豊国
座敷狂言 鈎狐
大判錦絵 1 枚
購入



U2696
歌川豊国
しか茶や
大判錦絵 3 枚続
購入



U2697
歌川豊国
二世中村仲蔵の松王丸と二世中村野塩の松王女房千代
大判錦絵 1 枚
購入



U2698
歌川豊国
三世市川八百蔵の武部源蔵と岩井喜代太郎の戸浪
大判錦絵 1 枚
購入



U2699
歌川豊国
三世坂東彦三郎の菅丞相と七世片岡仁左衛門の白太夫
大判錦絵 1 枚
購入



U2700
歌川豊国
けいせい島寺の袖 瀬川菊三良 新田よしはる 中村伝九良
大判錦絵 1 枚
購入



U2701
歌川豊国
三浦の片かい 岩井糸三郎
大判錦絵 1 枚
購入



U2702
歌川国政
尾上栄三郎の曾我五郎
大判錦絵 1 枚
購入



U2703
歌川豊広
柳下 屋根舟に乗る美人
大判錦絵 捧 2 枚続
購入



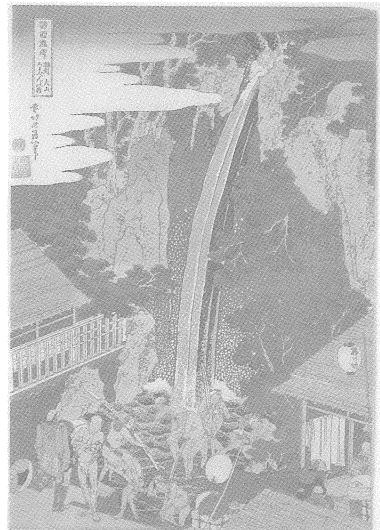
U2730
葛飾北斎
富嶽三十六景 東海道金谷ノ不二
横大判錦絵 1 枚
購入



U2731
葛飾北斎
富嶽三十六景 諸人登山
横大判錦絵 1 枚
購入



U2732
葛飾北斎
琉球八景 龍洞松濤
横大判錦絵 1 枚
購入



U2733
葛飾北斎
諸国瀧廻り 相州大山 ろうべんの瀧
大判錦絵 1 枚
購入



U2734
葛飾北斎
諸国名橋奇覧 足利行道山 くものかけはし
横大判錦絵 1 枚
購入



U2735
葛飾北斎
百人一首 乳母か絵説 中納言家持
横大判錦絵 1 枚
購入



U2736
魚屋北溪
諸国名所 上州三国越不動峠
横大短冊判錦絵 1 枚
購入



U2737
勝川春亭
相州江之嶋/図
横大判錦絵 1 枚
購入



U2738
溪斎英泉
木曾街道沓掛ノ駅 平塚原雨中之景
横大判錦絵 1 枚
購入



U2740
二代歌川豊国
名勝八景 玉川秋月 玉川鮎汲の図
横大判錦絵 1 枚
購入



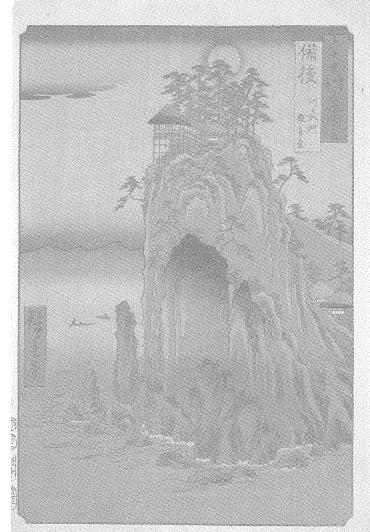
U2747
歌川国芳
東都名所 大森
横大判錦絵 1 枚
購入



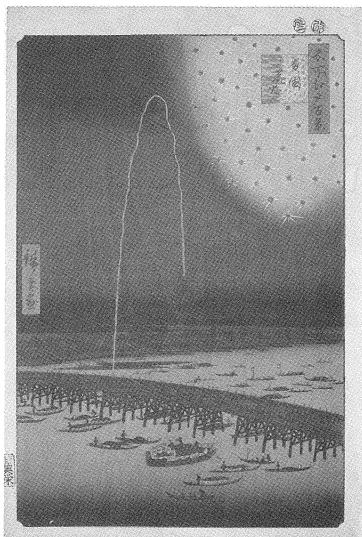
U2749
歌川広重
近江八景之内 石山秋月
横大判錦絵 1 枚
購入



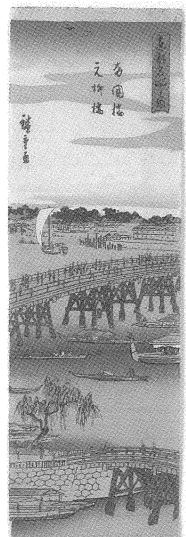
U2752
歌川広重
浪花名所団会 安井天神山花見
横大判錦絵 1 枚
購入



U2761
歌川広重
六十余州名所団会 備後 阿武門觀音堂
大判錦絵 1 枚
購入



U2767
歌川広重
名所江戸百景 両国花火
大判錦絵 1 枚
購入



U2771
歌川広重
東都名所之内 両国橋元柳橋
間短冊判錦絵 1 枚
購入



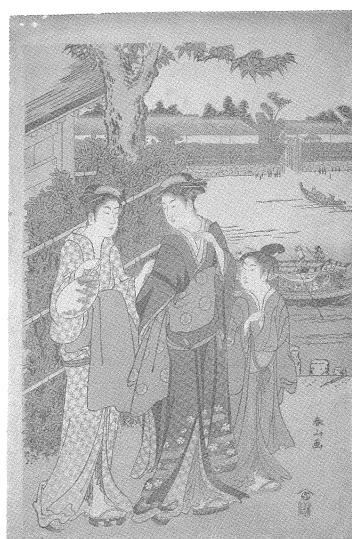
U2772
歌川広重
紫陽花に翡翠
大短冊判錦絵 1 枚
購入



U2773
歌川広重
朝顔とトンボ
団扇絵判錦絵 1 枚
購入



U2774
長谷川貞信
松に鳥
大短冊判錦絵 1 枚
購入



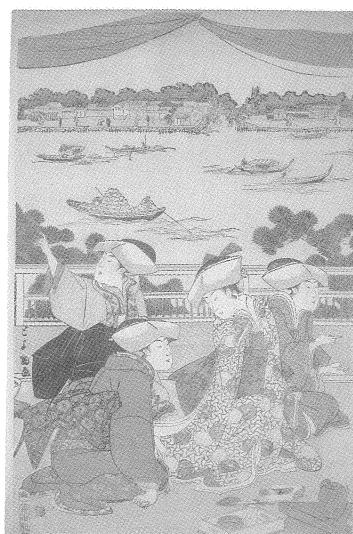
U2775
勝川春山
隅田川
大判錦絵 3 枚続の左
購入



U2776
狩俊満
六玉川 野路の玉川
大判錦絵 6枚続の内
購入



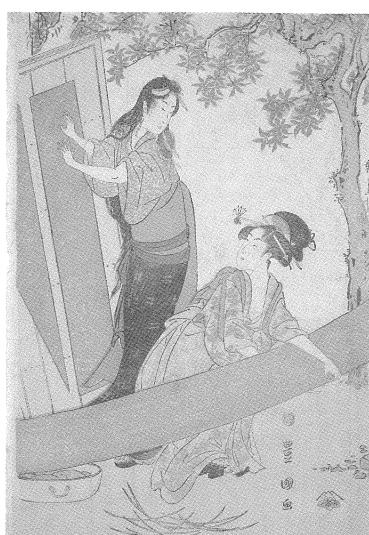
U2777
鳥文斎栄之
弓矢をもつ美人
大判錦絵 3枚続の内
購入



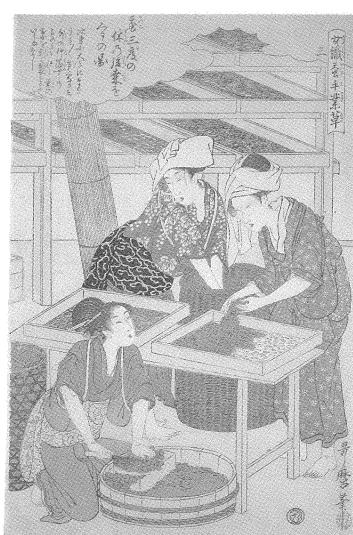
U2778
歌川豊国
隅田川
大判錦絵 5枚続の内
購入



U2779
歌川豊国
吉原大門口
大判錦絵 3枚続の内
購入



U2780
歌川豊国
洗張
大判錦絵 3枚続の左
購入



U2782
喜多川歌麿
女織蚕手業草 三
大判錦絵 12枚続の内
購入



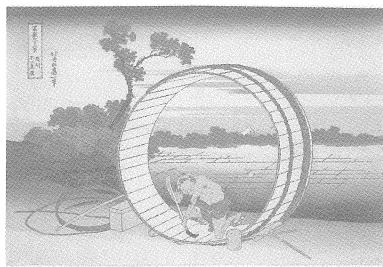
U2783
歌川広重
名所江戸百景 目黒太鼓橋夕日の岡
大判錦絵 1 枚
購入



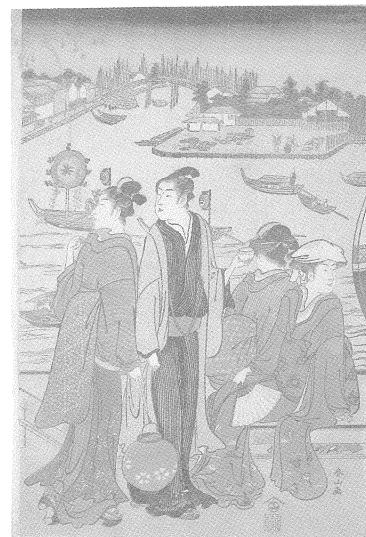
U2784
鈴木春信
蝶と花
中判錦絵 1 枚
購入



U2785
葛飾北斎
六歌仙 在原業平
大判錦絵 1 枚
購入



U2786
葛飾北斎
富嶽三十六景 尾州不二見原
横大判錦絵 1 枚
購入



U2787
勝川春山
両国花火
大判錦絵 3 枚続の中
購入



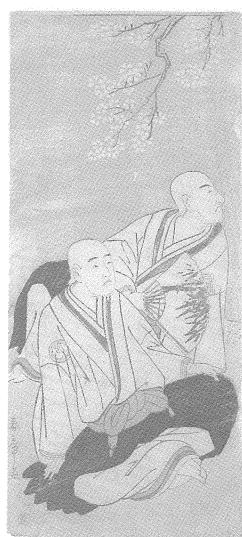
U2788
勝川春潮
忍ヶ岡散策
大判錦絵 3 枚続の内
購入



U2789
勝川春潮
萩の庭
大判錦絵 3枚続の右
購入



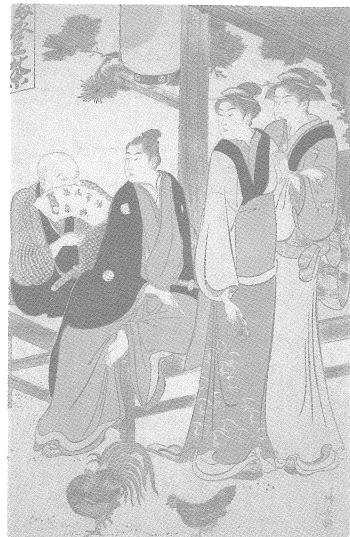
U2790
勝川春潮
三味線をもつ美人
大判錦絵 3枚続の内
購入



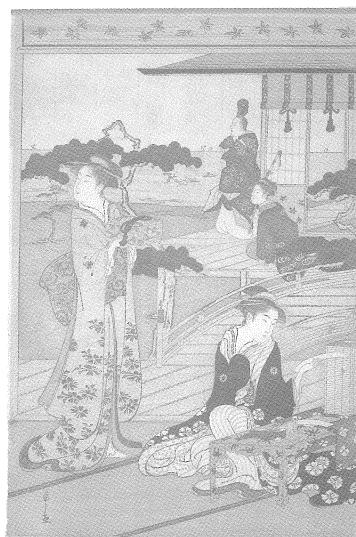
U2791
作者未詳
三世沢村宗十郎と二世市川門之助
細判錦絵 1枚
購入



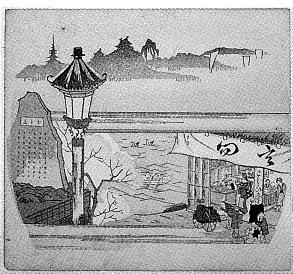
U2792
葛飾北斎
富嶽三十六景 本所立川
横大判錦絵 1枚
購入



U2793
鳥居清長
社頭の見合い
大判錦絵 2枚続の右
購入



U2794
鳥文斎栄之
風流やつし源氏 すま
大判錦絵 3枚続の右
購入



U4859~4916

明治期浮世絵・石版画作品

58件
購入

番号	作者名	作品名	判型(形状)	種別(形態)	員数	受入区分
U2552	小林清親	画布に猫	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2554	小林清親	鶏にトンボ	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2555	小林清親	梅若神社	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2556	小林清親	柳原夜雨	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2557	小林清親	久松町二而見る出火	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2559	小林清親	今戸夏月	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2565	橋守国	『画典通考』卷之二	版本		1 冊	寄贈 浦上敏朗
U2739	二代歌川豊国	名勝八景 大山夜雨 従前不動頂上之図	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2741	二代歌川豊国	名勝八景 金沢帰帆 従瀬戸橋野嶋之図	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2742	二代歌川豊国	名勝八景 鎌倉晩鐘 鶴ヶ岡より房州山の図	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2743	二代歌川豊国	名所八景 江ノ島晴嵐 小田留木の 磯もろこしが原	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2744	二代歌川豊国	名勝八景 热海夕照 热海ヶ浜より大嶋之真景	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2745	二代歌川豊国	名勝八景 三保落雁 駿州清見寺吉原宿遠景	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2746	二代歌川豊国	名勝八景 富士暮雪 下仙元従宮中宿全図	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2748	歌川国芳	東都名所 するがだひ	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2750	歌川広重	近江八景之内 三井晩鐘	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2751	歌川広重	浪花名所図会 今宮十日ゑひす	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2753	歌川広重	浪花名所図会 道とんぼりの図	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2754	歌川広重	浪花名所図会 八けん屋着船之図	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2755	歌川広重	浪花名所図会 しん町九けん丁	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2756	歌川広重	浪花名所図会 順慶町夜見世之図	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2757	歌川広重	浪花名所図会 堂じま米あきない	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2758	歌川広重	浪花名所図会 雜喉場魚市の図	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2759	歌川広重	難波名所図会 住吉御田の祭式田楽之図	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2760	歌川広重	浪花名所図会 安立町難波屋のまつ	横大判	錦絵	1 枚	購入
U2762	歌川広重	名所江戸百景 蒲田の梅園	大判	錦絵	1 枚	購入
U2763	歌川広重	名所江戸百景 柳しま	大判	錦絵	1 枚	購入
U2764	歌川広重	名所江戸百景 真乳山山谷堀夜景	大判	錦絵	1 枚	購入
U2765	歌川広重	名所江戸百景 深川万年橋	大判	錦絵	1 枚	購入
U2766	歌川広重	名所江戸百景 両国橋大川ばた	大判	錦絵	1 枚	購入
U2768	歌川広重	名所江戸百景 両国花火 (後摺)	大判	錦絵	1 枚	購入
U2769	歌川広重	名所江戸百景 よし原日本堤	大判	錦絵	1 枚	購入
U2770	歌川広重	名所江戸百景 南品川鮫州海岸	大判	錦絵	1 枚	購入
U2781	喜多川歌麿	女織蚕手業草 八	大判	錦絵	12枚続の内	購入
合計					212件	

平成10年度

[陶磁]



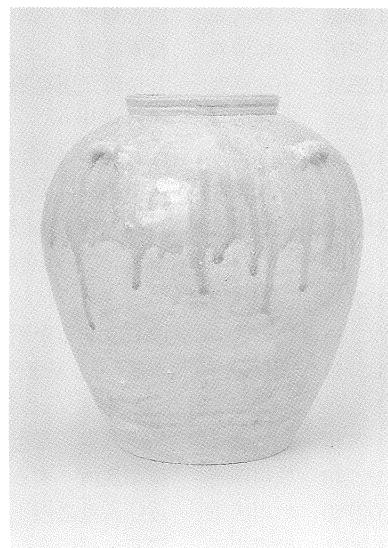
T360
黒陶研磨文有蓋鼎
1合
中国

戦国
紀元前5~3世紀
径 34.9
購入



T361
黒陶朱彩繩文壺
1口
中国

戦国～前漢
紀元前5~3世紀
径 32.9
購入



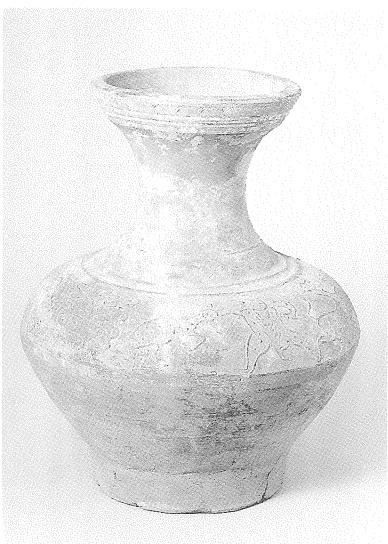
T00362-00
青磁布目文四耳壺
1口
中国

後漢
1~3世紀
径 32.2
購入



T363
灰陶加彩駕者
1軀
中国

後漢
1~3世紀
高 24.0
購入



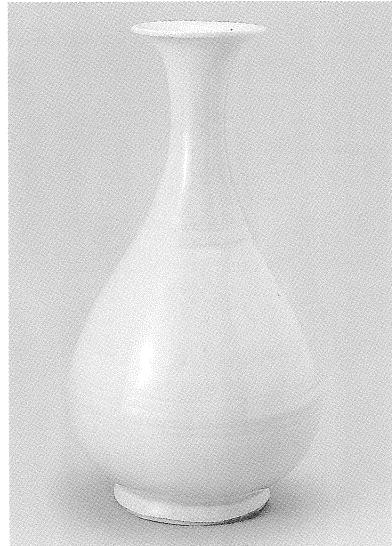
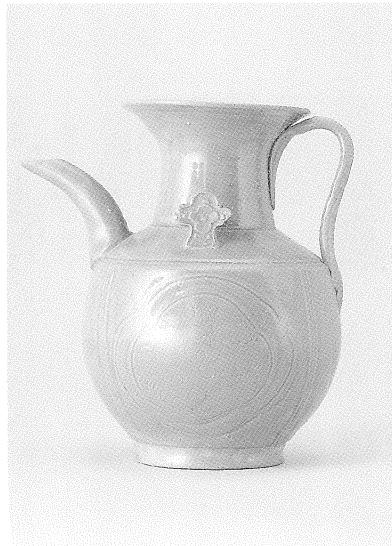
T364
灰陶神獸文壺
1口
中国

後漢
1~3世紀
高 29.4
購入



T365
青磁洗
1口
中国

西晋
3~4世紀
径 33.3
購入



T366
白地鉄斑文小壺
1口
中国
耀州窯
晚唐五代
9~10世紀
径 11.5
購入

T367
青磁刻花牡丹文水注
1口
中国
越窯
北宋
11世紀
高 25.4
購入

T368
白磁陰刻唐草文瓶
1口
中国
元
13世紀
高 28.8
購入

[浮世絵]



U2566
鳥居清長
見立初夢
大判錦絵 3枚続
購入

U2567
喜多川歌麿
七人猩々酩酊之図
大判錦絵 3枚続
購入



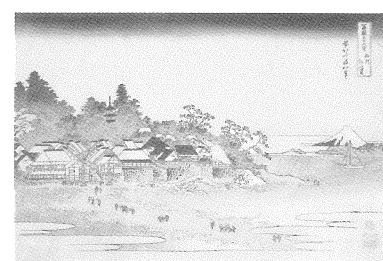
U2568
歌川豊国
役者舞台之姿絵 はまむらや
大判錦絵 1枚
購入



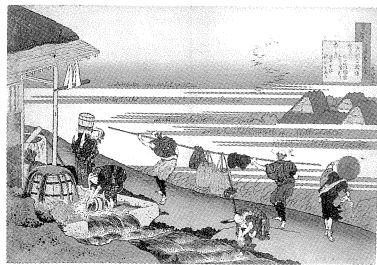
U2569
歌川国貞
気の合同子春の楽
大判錦絵 3枚続
購入



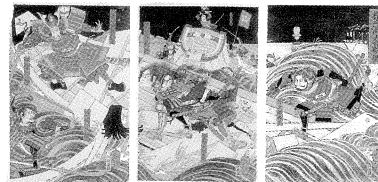
U2570
菊川英山
母と子
大判錦絵 1枚
購入



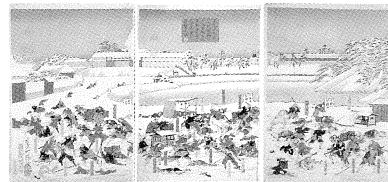
U2572
葛飾北斎
富嶽三十六景 相州江ノ島
横大判錦絵 1枚
購入



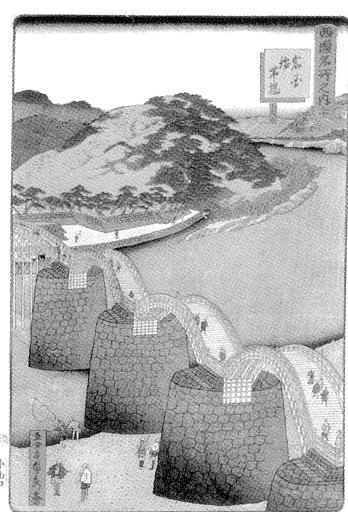
U2573
葛飾北斎
百人一首うばがえとき 大納言種信
横大判錦絵 1枚
購入



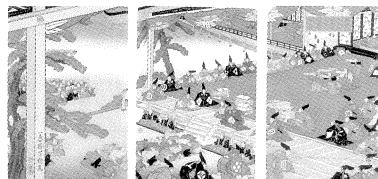
U2574
月岡芳年
檀之浦大合戦ノ図
大判錦絵 3枚続
寄贈 浦上敏朗



U2575
月岡芳年
安政五戊午年三月三日桜田御門外二於
テ水府脱士之輩会盟シテ雪中二大老彦
根候ヲ襲撃之図 貳
大判錦絵 3枚続
寄贈 浦上敏朗



U2576
歌川貞秀
西国名所之内 二十 岩国錦帶橋
大判錦絵 1枚
寄贈 浦上敏朗



U2577
落合芳幾
賴朝候上京之御慶賀人民へ財宝を給る図
大判錦絵 3枚続
寄贈 浦上敏朗



U2578
二代歌川広重
南京 於魯西亞
大判錦絵 1枚
寄贈 浦上敏朗



U2579
二代歌川広重
亜墨利加 沸蘭西 南京
大判錦絵 1枚
寄贈 浦上敏朗



U2580
二代鳥居清満
歌舞伎番付 十三代市村羽左衛門襲名披露
番付 1枚
寄贈 浦上敏朗



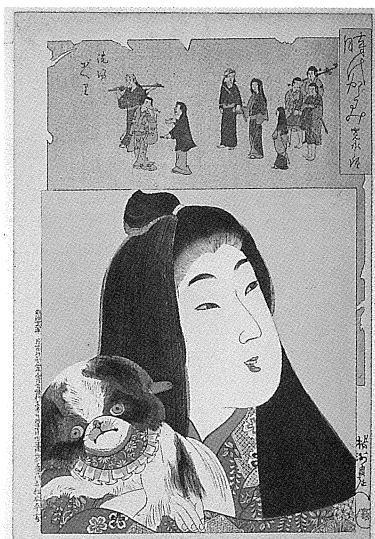
U2581
二代鳥居清満
歌舞妓狂言組十八番
番付 1枚
寄贈 浦上敏朗



U2582
溪齋英泉
大空武左衛門 亥二十三歳
大々判錦絵 1枚
寄贈 デヴィット・キャプラン



U2583
葛飾北斎
富嶽三十六景 従千住花街眺望ノ不二
横大判錦絵 1枚
寄贈 デヴィット・キャプラン



U3236~3292, 3325~3328, 3330~3433, 3583~3683, 3952~3990, 4126~4180

明治期浮世絵・石版画作品
360件
購入

合計

377件

平成11年度

[陶磁]



T369
灰釉印文獸首鼎
1口
中国

戦国
紀元前5~3世紀
高 14.2
購入



T370
灰陶加彩馬（大）
1軀
中国

前漢
紀元前3~紀元1世紀
高 51.3
購入



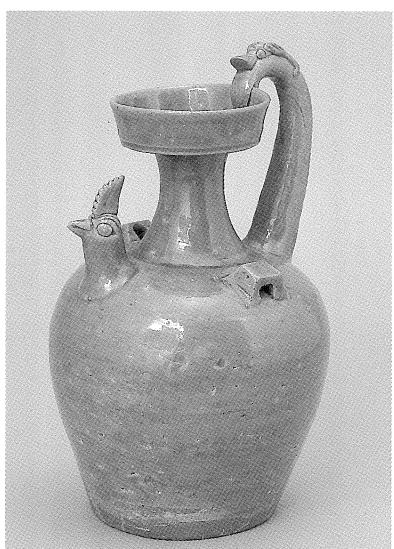
T371
灰陶加彩馬（中）
1軀
中国

前漢
紀元前3~紀元1世紀
高 42.9
購入



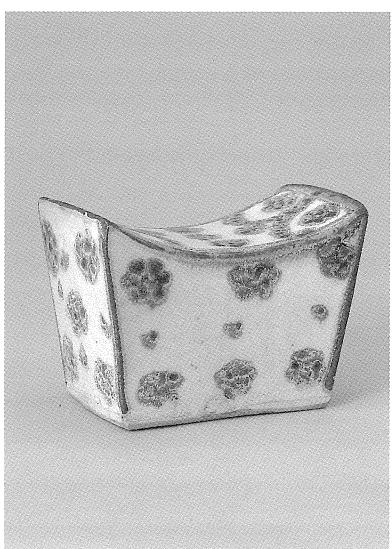
T372
灰陶加彩馬（小）
1軀
中国

前漢
紀元前3~紀元1世紀
高 38.4
購入

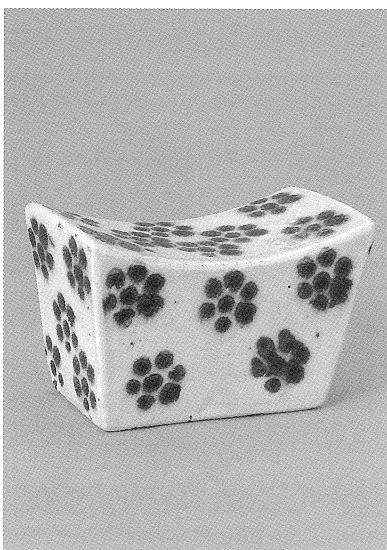


T373
青磁天雞壺
1口
中国

西晋
3~4世紀
高 25.4
購入



T374
白磁褐彩花文枕（褐）
1個
中国
景德鎮窯
五代
10世紀
長 15.4
購入



T375
白磁褐彩花文枕（白）
1個
中国
景德鎮窯
五代
10世紀
長 14.8
購入



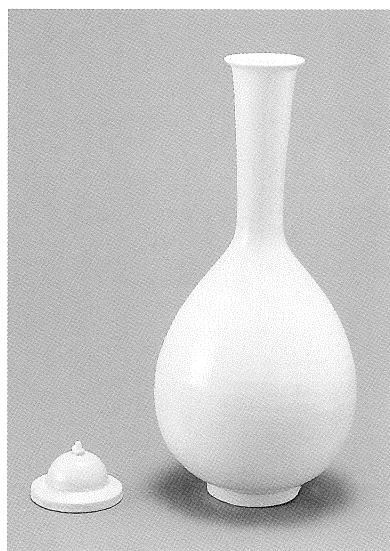
T376
青磁広口平壺
1口
中国
越窯
五代～北宋
10～11世紀
径 22.0
購入



T377
灰釉印文尊
1口
中国
戰國
紀元前5～3世紀
高 26.2
購入

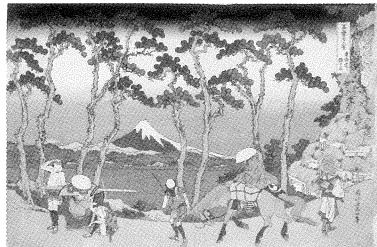


T378
黄釉綠褐彩草文碗
1口
中国
長沙窯
晚唐五代
9～10世紀
径 14.1
購入



T379
白磁有蓋長頸瓶
1合
中国
定窯
北宋
11～12世紀
総高 34.2
購入

[浮世絵]



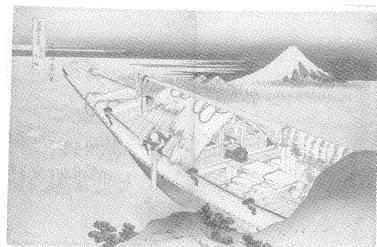
U2571
葛飾北斎
富嶽三十六景 東海道程ヶ谷
横大判錦絵 1枚
購入



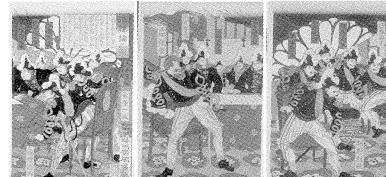
U2584
溪斎英泉
浮世四十八手 やさしくかわゆかるしんの手
大判錦絵 1枚
購入



U2585
喜多川歌麿
美人五面相 うま相
大判錦絵 1枚
購入



U2586
葛飾北斎
富嶽三十六景 常州牛堀
横大判錦絵 1枚
購入



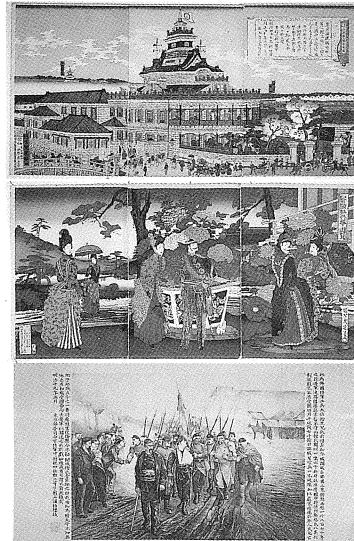
U2587
楊洲周延
征韓論之図
大判錦絵 3枚続
寄贈 浦上敏朗



U2588
歌川国芳
仮名手本忠臣蔵 十一段目 泉岳寺
横大判錦絵 1枚
寄贈 浦上敏朗



U2590
歌川広重
江戸名所張交団会 芝浦 深川八幡
今戸 吉原青陽
大判錦絵 1枚
寄贈 浦上敏朗



U2795~3225, 3137~3209, 4033~4113,
4232~4305, 4917~4918
明治期浮世絵・石版画作品
561件
購入



U4919
鳥居清長
当世遊里美人合 叉江
大判錦絵 2枚続
購入

番号	作者名	作品名	判型(形状)	種別(形態)	員数	受入区分
U2589	歌川国芳	仮名手本忠臣蔵 十一段目 合計	横大判	錦絵	1枚 570件	寄贈 浦上敏朗

平成12年度

[陶磁]

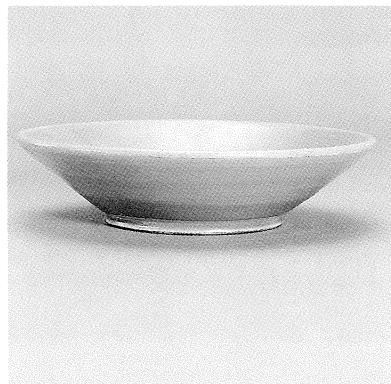


T380
黒陶高脚杯
1口
中国

新石器時代（龍山文化）
紀元前24~20世紀
高 17.0
購入



T381
青磁蓮花纹盤
1口
中国
越窯系
南朝
5世紀
径 21.8
購入



T382
青磁碗
1口
中国
越窯
晚唐
9世紀
径 15.5
購入



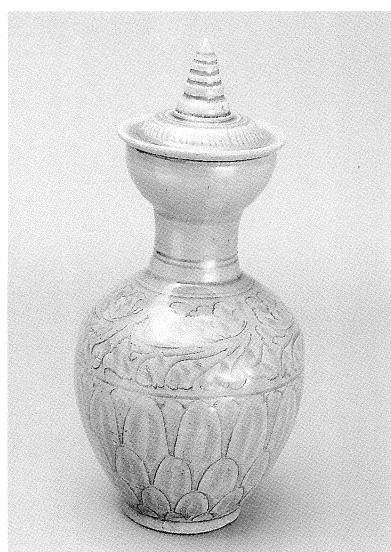
T383
灰陶加彩神王（阿）
1軀
中国

唐
8世紀
高 70.0
購入



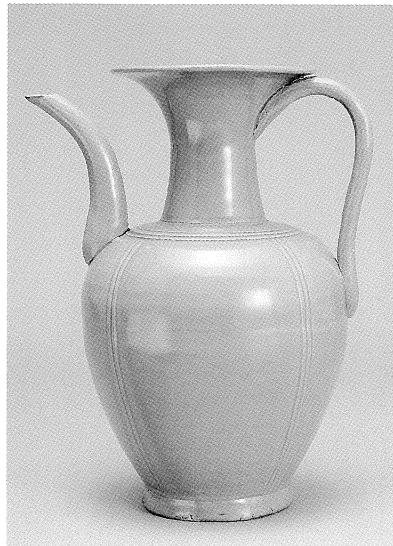
T384
灰陶加彩神王（吽）
1軀
中国

唐
8世紀
高 71.8
購入



T385
青磁刻花唐草文長頸瓶
1合
中国
龍泉窯
北宋
11世紀
総高 31.9

購入



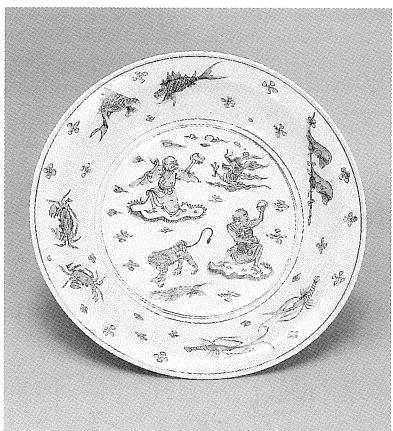
T386
青磁水注
1口
中国
越窯
北宋
11世紀
高 21.9
購入



T387
白磁皮囊壺
1口
中国
林東窯
遼
10世紀
高 24.4
購入



T388
青花芙蓉手水禽文皿
1枚
中国
景德鎮窯
明
17世紀
径 36.6
購入



T389
五彩羅漢図大皿（青吳須）
1枚
中国
漳州窯
明
17世紀
径 38.0
購入



T390
藍釉白花草花文盤（藍地餅花手）
1口
中国
漳州窯
明
17世紀
径 40.0
購入



T391
青花龍文瓶
1口
朝鮮
広州
朝鮮
19世紀
高 29.7
購入



T392

青花龍文甕

1口

中国

景德鎮窯

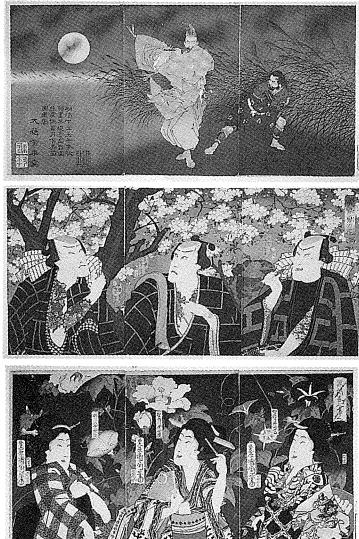
明

萬曆在銘 (1573-1640)

径 75.0

寄贈 (株)壺中居

[浮世絵]



U3293～4032

明治期浮世絵作品

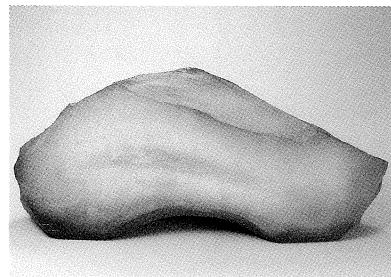
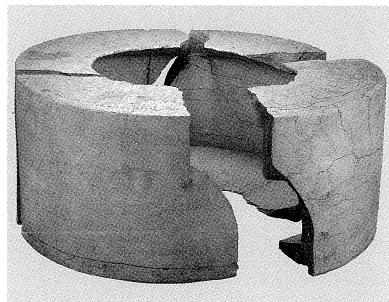
740件
購入

合計

740件

平成13年度

[陶磁]



J1
RING1
1基
日本
三輪和彥
現代
1988年
高 55.0、幅 115.0、奥行 115.0
寄贈 (有)休雪窯

J2
WORK99-5
1口
日本
兼田昌尚
現代
1999年
高 34.5、幅 77.0、奥行 25.7
寄贈 兼田昌尚

[浮世絵]



U5000
鈴木春信
かぢはら源太景すへ 市村羽佐衛門
細判紅摺絵 1枚
購入



U5001
鈴木春信
風流五色墨 長水
中判錦絵 1枚
購入



U5002
鈴木春信
風流艶色真似えもん 一
横中判錦絵 1枚 二帖の内上巻第1図
購入



U5003
葛飾北斎
諸国瀧廻 東都葵ヶ岡の滝
大判錦絵 1枚
購入



U5004
歌川広重
木曾海道六十九次之内 長久保
横大判錦絵 1枚
購入



U5005
歌川国貞
三世岩井栄三郎の三浦屋高尾
大判錦絵 1枚
購入



U5006
未詳
東京名所 いり屋
大判錦絵 1枚
購入



U5007
歌川国貞
『正写相生源氏』上之巻
寄贈 浦上敏朗



U5008
月岡芳年
勇の寿 沢村田之助
大判錦絵 1枚
寄贈 浦上敏朗



U5011

四代鳥居清忠

新歌舞伎十八番之内 紅葉川

中判錦絵 1枚

寄贈 浦上敏朗

番号	作者名	作品名	判型(形状)	種別(形態)	員数	受入区分	旧所有者名	受入年月日
U5009	早川松山	諸官人賜天盃之図	大判	錦絵	3枚続	寄贈	浦上敏朗	2001/6/14
U5010	河鍋暁斎	『暁斎画譚 内篇』卷之上				寄贈	浦上敏朗	2001/6/14
U5012	未詳	其面影姿之絵合 孝	大判	錦絵	1枚	寄贈	浦上敏朗	2001/6/14
合計					13件			

Ⅱ 入館者

山口県立萩美術館・浦上記念館 展覧会別入館者数 ベスト10

No	展 覧 会 名	入館数	日 数	平 均	実施期間
1	オランダ国立ライデン古代博物館所蔵 古代エジプト展	60,096	42	1,431	H 9.03.25～05.11
2	色彩の歓びメルツバッハー・コレクション展 ゴッホと浮世絵 タンギー爺さん	60,012	63	953	H13.07.28～09.30
3	開館記念Ⅰ 蒐集家 浦上敏朗の眼 -館蔵名品展	50,750	62	819	H 8.10.14～12.23
4	毛利元就展	47,209	34	1,389	H 9.08.08～09.15
5	生誕200年記念 広重の風景画展	28,738	69	416	H 9.05.16～08.03
6	マリア・テレジアの愛した古伊万里展	27,352	36	760	H10.04.29～06.07
7	祈りと美の伝承 醍醐寺展	26,533	38	698	H10.07.25～09.06
8	開館記念Ⅱ 中国 仙人のふるさと -山東省文物展-	25,283	62	408	H 9.01.05～03.16
9	京都大原三千院の名宝展	22,705	35	649	H12.11.01～12.10
10	北斎-東西の架け橋展	21,799	33	661	H10.06.13～07.20

No	展 覧 会 名	入館数	日 数	平 均	実施期間
11	シリーズ山東文物 1 神秘の王国・邿國王墓展	21,011	115	183	H10.09.12～H11.02.21
12	北澤美術館所蔵 アール・ヌーヴォーガラス名品展	20,982	51	411	H14.04.06～06.02
13	中国陶磁の至宝 英國デイヴィット・コレクション展	20,922	57	367	H11.04.10～06.13
14	神品とよばれたやきもの 宋磁展	19,840	49	405	H11.06.20～08.15
15	開館一周年記念 チコチンの浮世絵 -新収蔵品展	19,110	26	735	H 9.09.20～10.19
16	耀州窯展	17,601	50	352	H 9.10.25～12.21
17	東京国立近代美術館所蔵 近代の名作	17,501	32	547	H12.05.13～06.18
18	伝統と革新 萩焼400年展	17,290	32	540	H13.06.16～07.22
19	特別展 よみがえる漢王朝	15,732	47	335	H11.10.07～11.28
20	六大浮世絵師名品展	15,423	33	467	H12.07.29～09.03
21	封印された南宋陶磁展	14,621	32	457	H10.10.10～11.15
22	中国法門寺 地下宮殿の秘宝展	13,650	33	414	H12.04.01～05.07
23	ブルックリン美術館所蔵浮世絵名品展	13,192	26	507	H11.08.21～09.19
24	シリーズ山東文物 2 黄河の酒神展	13,154	82	160	H11.12.04～H12.03.20
25	特別展 漢代「王車」の輝き	11,175	45	248	H13.04.21～06.10

III 関係法規

1 地方自治法（抄）（昭和22年4月17日法律第67号）

第2条【地方公共団体の法人格、事務、地方自治行政の基本原則】

- ① 地方公共団体は、法人とする。
- ② 普通地方公共団体は、その公共事務及び法律又はこれに基づく政令により普通地方公共団体に属するもののほか、その区域内におけるその他の行政事務で国の事務に属しないものを処理する。
- ③ 前項の事務を例示すると、概ね次の通りである。但し、法律又はこれに基づく政令に特別に定めがあるときは、この限りでない。

五 学校、研究所、試験場、図書館、公民館、博物館、体育館、美術館、物品陳列所、公会堂、劇場、音楽堂その他の教育、学術、文化、勧業、情報処理又は電気通信に関する施設を設置し若しくは管理し、又はこれらを使用する権利を規制し、その他教育、学術、文化、勧業、情報処理又は電気通信に関する事務を行うこと。

2 博物館法（抄）（昭和26年12月1日法律第285号）

第一章 総則

第1条【この法律の目的】

この法律は、社会教育法の精神に基づき、博物館の設置及び運営に関する必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もって国民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的とする。

第2条【定義】

- ① この法律において「博物館」とは、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管（育成を含む。以下同じ。）し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関（社会教育法による公民館及び図書館法による図書館を除く。）のうち、地方公共団体、民法第34条の法人、宗教法人又は政令で定めるその他の法人が設置するもので第二章の規定による登録を受けたものをいう。
- ② この法律において、「公立博物館」とは、地方公共団体の設置する博物館をいい、「私立博物館」とは、民法第34条の法人、宗教法人又は前項の政令で定める法人の設置する博物館をいう。
- ③ この法律において、「博物館資料」とは、博物館が収集し、保管し、又は展示する資料をいう。

第3条【博物館の事業】

- ① 博物館は、前条第1項に規定する目的を達成するため、概ね左に掲げる事業を行う。
 - 一 実物、標本、模写、模造、文献、図表、写真、フィルム、レコード等の博物館資料を豊富に収集し、保管し、及び展示すること。
 - 二 分館を設置し、又は博物館資料を当該博物館外で展示すること。
 - 三 一般公衆に対して、博物館資料の利用に関し必要な説明、助言、指導等を行い、又は、研究室、実験室、工作室、図書室等を設置してこれを利用させること。
 - 四 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
 - 五 博物館資料の保管及び展示等に関する技術的研究を行うこと。
 - 六 博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
 - 七 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
 - 八 当該博物館の所在地又はその周辺にある文化財保護法の適用を受ける文化財について、解説書又は目録を作成する等一般公衆の当該文化財の利用の便を図ること。

九 他の博物館、博物館と同一の目的を有する国の施設等と緊密に連携し、協力し、刊行物及び情報の交換、博物館資料の相互貸借等を行うこと。

十 学校、図書館、研究所、公民館等の教育、学術又は文化に関する諸施設と協力し、その活動を援助すること。

② 博物館は、その事業を行うに当たっては、土地の事情を考慮し、国民の実生活の向上に資し、更に学校教育を援助し得るようにも留意しなければならない。

第4条【館長、学芸員、その他の職員】

- ① 博物館に、館長を置く。
- ② 館長は、館務を掌理し、所属職員を監督して、博物館の任務の達成に努める。
- ③ 博物館に、専門的職員として学芸員を置く。
- ④ 学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる。
- ⑤ 博物館に、館長及び学芸員のほか、学芸員補その他の職員を置くことができる。
- ⑥ 学芸員補は、学芸員の職務を助ける。

第二章 登録

第10条【登録】

博物館を設置しようとするものは、当該博物館について、当該博物館の所在する都道府県の教育委員会に備える博物館登録原簿に登録を受けるものとする。

第12条【登録要件の審査】

都道府県の教育委員会は、前条の規定による登録の申請があった場合においては、当該申請に係る博物館が左に掲げる要件を備えているかどうかを審査し、備えていると認めたときは、同条第一項各号に掲げる事項及び登録の年月日を博物館登録原簿に登録するとともに登録した旨を当該登録申請者に通知し、備えていないと認めたときは、登録しない旨をその理由を附記した書面で当該登録申請者に通知しなければならない。

- 一 第二条第一項に規定する目的を達成するために必要な博物館資料があること。
- 二 第二条第一項に規定する目的を達成するために必要な学芸員その他の職員を有すること。
- 三 第二条第一項に規定する目的を達成するために必要な建物及び土地があること。
- 四 一年を通じて百五十日以上開館すること。

第三章 公立博物館

第18条【設置】

公立博物館の設置に関する事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。

第19条【所管】

公立博物館は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会の所管に属する。

第23条【入館料等】

公立博物館は、入館料その他博物館資料の利用に対する対価を徴収してはならない。

但し、博物館の維持運営のためにやむを得ない事情のある場合は、必要な対価を徴収することができる。

3 山口県立美術館条例（昭和54年3月13日山口県条例第二号） (設置)

第一条 博物館法（昭和二十六年法律第二百八十五号）第十八条の規定に基づき、美術館を設置する。

(名称及び位置)

第二条 美術館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
山口県立美術館	山 口 市
山口県立萩美術館・浦上記念館	萩 市

(職員)

第三条 美術館に館長、学芸員、事務職員その他の職員を置く。

(観覧の手続)

第四条 美術館が展示する美術品その他美術に関する資料を観覧しようとする者は、山口県教育委員会（以下「教育委員会」という。）の定める手続きによらなければならない。

(使用の許可等)

第五条 美術館の施設のうち教育委員会規則で定めるものを使用し、又は美術館が収集し、保管し、若しくは展示する美術品その他美術に関する資料（以下「美術品等」という。）を熟覧し、模写し、模造し、若しくは撮影しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

(許可の制限)

第六条 教育委員会は、前条の許可を受けようとする者が次の各号の一に該当するときは、許可をしてはならない。

- 一 公益を害するおそれがあると認められるとき。
- 二 営利のみを目的とするおそれがあると認められるとき。
- 三 美術館の管理上支障があると認められるとき。

(観覧の拒否等)

第七条 教育委員会は、第四条の規定により美術品等を観覧する者又は第五条の規定による許可を受けた者（以下「利用者」という。）が次の各号の一に該当するときは、その観覧を拒み、又はその許可を取り消すことができる。

- 一 この条例又はこの条例に基づく教育委員会規則に違反したとき。
- 二 教育委員会の指示に従わないとき。

(使用料)

第八条 利用者は、山口県使用料手数料条例（昭和三十一年山口県条例第一号）に定めるところにより、使用料を納入しなければならない。

(弁償)

第九条 利用者は、美術館の施設又は美術品等を損傷し、又は亡失したときは、知事の指示に従い、その負担においてこれを補てんし、若しくは修理し、又は金銭をもってその損害を弁償しなければならない。ただし、知事がやむを得ない理由があると認めるときは、弁償金額の全部又は一部を免除することができる。

(その他)

第十条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

4 山口県立美術館規則（昭和54年3月27日山口県教育委員会規則第一号）

(趣旨)

第一条 この規則は、山口県美術館条例（昭和五十四年山口県条例第二号。以下「条例」という。）に定めるもののほか、美術館の管理について必要な事項を定めるものとする。

(開館日)

第二条 美術館は、次に掲げる日を除き、毎日開館する。

- 一 国民の祝日に関する法律（昭和二十三年法律第百七十八号。以下「法」という。）に規定する休日（子どもの日及び文化の日並びにこれら以外の法に規定する休日のうち美術館又は施設の使用者が臨時に展覧会等を開催して美術品その他美術に関する資料を展示する日（以下「特別開館日」という。）を除く。）
 - 二 月曜日（特別開館日に当たるときは、その翌日（子どもの日を除く。））
 - 三 一月二日から同月四日まで及び十二月二十八日から同月三十一日まで
- 2 館長は、特に必要があると認めるときは、前項各号に掲げる日に開館し、又は臨時に閉館することができる。

（開館時間）

第三条 美術館の開館時間は、午前九時から午後五時までとする。

- 2 館長は、特に必要があると認めるときは、前項の開館時間を延長し、又は短縮することができる。

（使用の許可の対象となる施設）

第四条 条例第五条に規定する美術館の施設のうち教育委員会規則で定めるものは、山口県立美術館にあっては第一企画展示室、第二企画展示室及び講座室とし、山口県立萩美術館・浦上記念館にあっては企画展示室及び講座室とする。

（施設の使用の許可の申請）

第五条 条例第五条の規定に基づき、施設の使用の許可を受けようとする者は、山口県立美術館施設使用許可申請書を館長に提出しなければならない。

（施設の使用の許可）

第六条 館長は、前条の山口県立美術館施設使用許可申請書の提出があった場合において、施設の使用を許可すべきものと認めるときは、当該山口県立美術館施設使用許可申請書を提出した者に対して使用許可書を交付するものとする。

（美術品等の利用の許可の申請）

第七条 条例第五条の規定に基づき、美術品等を熟覧し、模写し、模造し、又は撮影しようとするとする者は、山口県立美術館美術品等利用許可申請書を館長に提出しなければならない。

（美術品等の利用の許可）

第八条 館長は、前条の山口県立美術館美術品等利用許可申請書の提出があった場合において、熟覧、模写、模造又は撮影を許可すべきものと認めるときは、当該山口県立美術館美術品等利用許可申請書を提出した者に対して利用許可書を交付するものとする。

（遵守事項）

第九条 利用者は、次に掲げる事項を遵守し、美術館の設置の目的にそって、これを使用しなければならない。

- 一 美術館の施設若しくは設備若しくは美術品等を損傷し、又はそのおそれのある行為をしないこと。
- 二 他の利用者に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- 三 前二号に掲げるもののほか、館長が美術館の管理のため必要があると認めて定めた事項

（その他）

第十条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理について必要な事項は、教育長の承認を受けて館長が定める。

IV 運營組織（職員）

○平成6（1994）年度

萩美術館・浦上記念館開設準備室	
主幹	藤原俊明
主任	村重政昭
専門学芸員	上田秀夫
学芸員	芳賀淑子
非常勤嘱託	足立明男

○平成10（1998）年度

名誉館長	浦上敏朗
館長	足立明男
副館長	永田 誠
総務課	
総務課長（兼）	永田 誠
主任	村重政昭
主事	末成哲也
学芸課	
学芸課長	上田秀夫
主任	鈴木浩平
専門学芸員	石崎泰之
学芸員	藤村忠範（6. 1～）
学芸員	宮田絵津子
学芸員	吉田洋子

○平成7（1995）年度

萩美術館・浦上記念館開設準備室	
主幹	藤原俊明
主任	村重政昭
専門学芸員	上田秀夫
専門学芸員	石崎泰之
学芸員	芳賀淑子
非常勤嘱託	足立明男

○平成8（1996）年度

名譽館長	浦上敏朗
館長	足立明男
副館長	藤原俊明
総務課	
総務課長（兼）	藤原俊明
主任	村重政昭
主事	末成哲也
学芸課	
学芸課長	上田秀夫
専門学芸員	鈴木浩平（6. 14～）
専門学芸員	石崎泰之
学芸員	芳賀淑子

○平成11（1999）年度

名譽館長	浦上敏朗
館長	足立明男
副館長	永田 誠
総務課	
総務課長（兼）	永田 誠
主任	村重政昭
主事	高田和範
学芸課	
学芸課長	上田秀夫
主任	鈴木浩平
主任	石崎泰之
専門学芸員	藤村忠範
学芸員	宮田絵津子
学芸員	吉田洋子

○平成9（1997）年度

名譽館長	浦上敏朗
館長	足立明男
副館長	藤原俊明
総務課	
総務課長（兼）	藤原俊明
主任	村重政昭
主事	末成哲也
学芸課	
学芸課長	上田秀夫
専門学芸員	鈴木浩平
専門学芸員	石崎泰之
学芸員	芳賀淑子
学芸員	吉田洋子（7. 7～）

○平成12（2000）年度

名譽館長	浦上敏朗
館長	足立明男
副館長	永田 誠
総務課	
総務課長（兼）	永田 誠
主査	藤田浩一
主事	高田和範
学芸課	
学芸課長	上田秀夫
主任	鈴木浩平
主任	石崎泰之
専門学芸員	藤村忠範
学芸員	宮田絵津子（～7. 31）

学芸員

吉田洋子

○平成13（2001）年度

名譽館長	浦上敏朗
館長	足立明男
副館長	津田 隆
総務課	
総務課長（兼）	津田 隆
主査	藤田浩一
主事	高田和範
学芸課	
学芸課長	上田秀夫
主任	鈴木浩平
主任	石崎泰之
専門学芸員	藤村忠範
学芸員	吉田洋子
学芸員	今村佳子

職員の動静

- 平成6（1994）年度 4 教育長文化課に萩美術館・浦上記念館開設準備室設置
小松正憲文化課長を室長に任命（兼務）
地域振興課課長補佐、藤原俊明、文化課主幹に転入
大島青年の家主任、村重政昭、文化課主任に転入
和歌山県教育庁文化財課主任、上田秀夫、割愛により文化課専門学芸員に採用
文化課学芸員、芳賀淑子、新規採用（早稲田大学）
県立美術館副館長、足立明男、定年退職により非常勤嘱託に任命
- 平成7（1995） 4 非常勤嘱託、足立明男、任命
東京都立千歳高等学校教諭、石崎泰之、割愛により文化課専門学芸員に採用
11 非常勤嘱託、足立明男、ならびに専門学芸員、上田秀夫、中華人民共和国に出張（11.5－11.14）
1 非常勤嘱託、足立明男、ならびに専門学芸員、上田秀夫、中華人民共和国に出張（8.1.27－2.5）
- 平成8（1996） 4 山口県立萩美術館・浦上記念館発足
山口県知事、浦上敏朗氏に名誉館長の称号授与
館長（非常勤）、足立明男、任命
教育庁文化課主幹、藤原俊明、副館長（総務課長兼務）に転任
教育庁文化課主任、村重政昭、総務課主任に転任
農業試験場総務課主事、未成哲也、総務課主事に転入
教育庁文化課専門学芸員、上田秀夫、学芸課長に転任
教育庁文化課専門学芸員、石崎泰之、学芸課専門学芸員に転任
教育庁文化課学芸員、芳賀淑子、学芸課学芸員に転任
学芸課長、上田秀夫、中華人民共和国に出張（4.30－5.8）
6 学芸課専門学芸員、鈴木浩平、採用（6.14付）
9 学芸課長、上田秀夫、中華人民共和国に出張（9.28－10.3）
11 学芸課専門学芸員、石崎泰之、第11回指定文化財（美術工芸品）展示取扱講習会（初年度）出席
のため出張（11.24－11.30、京都国立博物館）
学芸課専門学芸員、鈴木浩平、中華人民共和国に出張（11.25－12.2）
2 総務課主任、村重政昭、ならびに学芸課専門学芸員、石崎泰之、中華人民共和国に出張
（9.2.18－3.1）
3 副館長（総務課長兼務）、藤原俊明、ならびに学芸課長、上田秀夫、中華人民共和国に出張
（9.3.22－3.30）
- 平成9（1997） 4 館長（非常勤）、足立明男、任命
6 学芸課専門学芸員、石崎泰之、中華人民共和国に出張（6.23－7.4）
7 学芸課学芸員、吉田洋子、新規採用（7.7付、学習院大学大学院修士課程在学中）
学芸課学芸員、芳賀淑子、平成9年度保存担当学芸員研修に出席のため出張
（7.13－7.25、東京国立文化財研究所）
9 学芸課学芸員、宮田絵津子、新規採用（9.8付、立教大学大学院修士課程在学中）
10 学芸課長、上田秀夫、中華人民共和国に出張（10.5－10.13）
浦上敏朗名誉館長、ならびに副館長（総務課長兼務）藤原俊明、中華人民共和国に出張
（10.26－11.6）
11 学芸課専門学芸員、石崎泰之、中華人民共和国に出張（11.2－11.13）
学芸課学芸員、宮田絵津子、アメリカ合衆国に出張（旅費別途支給）（11.8－11.15）

- 学芸課専門学芸員、石崎泰之、第11回指定文化財（美術工芸品）展示取扱講習会（第2年度）出席のため出張（11.24－11.30、京都国立博物館）
- 3 学芸課長、上田秀夫、同課専門学芸員、石崎泰之、および同課学芸員、宮田絵津子、中華人民共和国に出張（10.3.5－3.19）
- 平成10（1998）
- 4 館長（非常勤）、足立明男、任命
副館長（総務課長兼務）、藤原俊明、県立中央病院事務局次長へ転出
学芸課学芸員、芳賀淑子、退職
長門環境保健所次長、永田誠、副館長（総務課長兼務）に転入
学芸課専門学芸員、鈴木浩平、同課主任に昇任
 - 5 館長、足立明男、中華人民共和国に出張（5.13－5.18）
 - 6 学芸課学芸員、藤村忠範、採用（6.1付）
 - 7 学芸課長、上田秀夫、中華人民共和国に出張（7.27－8.2）
 - 8 学芸課長、上田秀夫、ならびに同課学芸員、宮田絵津子、中華人民共和国に出張（8.24－8.29）
 - 2 学芸課専門学芸員、石崎泰之、大韓民国に出張（旅費別途支給）（11.2.23－2.27）
 - 3 学芸課長、上田秀夫、ならびに同課学芸員、宮田絵津子、中華人民共和国に出張（11.3.3－3.13）
- 平成11（1999）
- 4 館長（非常勤）、足立明男、任命
総務課主事、未成哲也、山口県土地開発公社主事へ転出
山口県土地開発公社総務課主事、高田和範、総務課主事に転入
学芸課専門学芸員、石崎泰之、同課主任に昇任
学芸課学芸員、藤村忠範、同課専門学芸員に昇任
 - 8 学芸課主任、石崎泰之、大韓民国に出張（旅費別途支給）（8.19－8.21）
 - 11 学芸課長、上田秀夫、ならびに同課学芸員、宮田絵津子、中華人民共和国に出張（11.13－11.17）
 - 3 学芸課長、上田秀夫、ならびに同課主任、石崎泰之、中華人民共和国に出張（12.3.6－3.15）
学芸課長、上田秀夫、ならびに同課専門学芸員、藤村忠範、中華人民共和国に出張
(12.3.24－3.29)
- 平成12（2000）
- 4 館長（非常勤）、足立明男、任命
総務課主任、村重政昭、計量検定所業務課主査へ転出
田布施農林事務所農村整備部用地調整課主査、藤田浩一、総務課主査に転入
 - 7 学芸課学芸員、宮田絵津子、退職（7.31付）
 - 9 学芸課学芸員、吉田洋子、アメリカ合衆国に出張（旅費一部支給）（9.3－9.15）
学芸課長、上田秀夫、ならびに同課主任、石崎泰之、中華人民共和国に出張（9.21－9.27）
 - 10 学芸課主任、石崎泰之、山口県立大学講師（非常勤）を併任（10.1－13.3.31）
館長、足立明男、ならびに学芸課専門学芸員、藤村忠範、フランス共和国、オランダ王国、英國に出張（10.14－10.22）
 - 2 副館長（総務課長兼務）、永田誠、学芸課長、上田秀夫、および同課主任、石崎泰之、中華人民共和国に出張（13.2.20－3.1）
- 平成13（2001）
- 4 館長（非常勤）、足立明男、任命
副館長（総務課長兼務）、永田誠、県民生活課県民運動推進室長へ転出
(財)やまぐち産業振興財団産業情報部長、津田隆、副館長（総務課長兼務）に転入
学芸課学芸員、今村佳子、新規採用（九州大学大学院博士後期課程単位取得退学）
学芸課長、上田秀夫、ならびに同課主任、石崎泰之、中華人民共和国に出張（4.9－4.15）
 - 9 学芸課主任、石崎泰之、中華人民共和国に出張（9.22－9.26）

- 10 学芸課主任、石崎泰之、山口県立大学講師（非常勤）を併任（10.1－14.3.31）
- 11 副館長（総務課長兼務）、津田隆、学芸課主任、鈴木浩平、中華人民共和国に出張（11.3－11.9）